

令和6年度実施
地震・津波県民意識調査
報 告 書

令和7年3月
高知県危機管理部 南海トラフ地震対策課

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査の項目.....	3
III	調査結果の見方.....	5
IV	調査対象者の属性.....	6
V	調査結果〔解説・グラフ〕	
(1)	南海トラフ地震に関する認識について	
問2	南海トラフ地震について知っていたか.....	9
問3	自宅や地域にどのような危険があるか.....	11
問4	緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか.....	13
問5	主に情報をよく収集するメディアは何か.....	15
問6	南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか.....	17
問7	南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの.....	20
(2)	津波避難対策について	
問8	津波で浸水が予測される地域かどうか.....	23
問9	津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか.....	26
問10	津波が到達する時間を具体的に知っているか.....	28
問11	いつ避難するか.....	31
問12	すぐに避難しない理由.....	35
問13	避難場所を確認しているか.....	38
問14	どこに避難するか.....	41
問15	避難場所や避難経路に対してどのような不安があるか.....	43
問16	子どもが通っている学校の避難場所を知っているか.....	45

(3) 家庭での備えについて

問17	災害時用の飲料水・食料の備蓄状況.....	48
問18	日常的に消費する飲料水・食料のストック状況.....	58
問19	3日分以上備蓄していない理由.....	66
問20	地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について.....	70
問21	携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況.....	74
問22	南海トラフ地震への備えとして何を行っているか.....	76
問23	スマートフォンでのお薬手帳（電子版）を利用しているか.....	78
問24	地震に備えるための保険や共済に加入しているか.....	80
問25	車に給油するタイミング・ガソリンの給油量.....	82

(4) 地震の揺れ対策について

問26	家具や家電などを固定しているか.....	87
問27	固定していない理由.....	92
問28	家具や家電などの固定に関する補助制度を知っているか.....	94
問29	固定を促進するために県や市町村では何をすべきか.....	97
問30	自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか.....	99
問31	安全性の点検の実施状況.....	101
問32	点検していない理由.....	103
問33	自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額.....	106
問34	ブロック塀などの安全対策に関する補助制度を知っているか.....	108
問35	どのようにして知ったか.....	110
問36	倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか.....	112
問37	専門家による耐震診断を受けたことがあるか.....	114
問38	耐震診断を受けていない理由.....	116
問39	耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか.....	118
問40	耐震改修工事をしない理由.....	121

問41	耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事に関する補助制度を知っているか.....	123
問42	耐震改修工事や設計の自己負担許容額.....	126
問43	耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を入れるべきものは何か.....	128

(5) 地震火災対策について

問44	地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか.....	131
問45	感震ブレーカーを知っているか.....	133
問46	感震ブレーカーを設置しているか.....	136
問47	感震ブレーカーを設置していない理由.....	138

(6) 避難生活について

問48	避難場所と避難所の役割の違いを知っているか.....	140
問49	自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか.....	144
問50	自家用車内やテントで避難生活を送る理由.....	148
問51	避難所生活での不安.....	151
問52	避難所の開設や運営にかかわりたいか.....	155

(7) 自主防災組織について

問53	自主防災組織の活動への参加状況.....	158
問54	地域の自主防災組織の活動状況.....	161
問55	これからこういった活動に取り組んでいけばよいか.....	164

(8) 消防団について

問56	消防団に入団しているか.....	166
問57	消防団に入団した理由.....	168
問58	どのようなイメージを持っているか.....	170
問59	どうすれば興味を持ってもらえると思うか.....	172

(9)	地域の防災力について	
問60	地域や職場の地震防災訓練への参加状況.....	174
問61	どのような訓練に参加したか.....	177
問62	どうすれば参加人数が増えると思うか.....	179
問63	地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か.....	181
(10)	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）について	
問64	南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか.....	183
問65	事前避難対象地域かどうか.....	186
問66	市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか.....	188
(11)	県の施策について	
問67	県が行っている施策で特に力を入れるべきもの.....	190
VI	調査結果〔数表〕.....	193
VII	自由回答〔自由記述〕.....	269
VIII	自由回答〔その他〕.....	282
IX	経年変化.....	304
X	参考資料〔調査票〕.....	367

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、防災意識や地震防災対策及び津波避難対策の現状を把握・分析するとともに、県民の行政機関への要望を知ることにより、今後の防災対策の進め方に反映させることを目的とする。

2. 調査の事項

- (1) 回答者について
- (2) 南海トラフ地震に関する認識について
- (3) 津波避難対策について
- (4) 家庭での備えについて
- (5) 地震の揺れ対策について
- (6) 地震火災対策について
- (7) 避難生活について
- (8) 自主防災組織について
- (9) 消防団について
- (10) 地域の防災力について
- (11) 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）について
- (12) 県の施策について

3. 調査の対象

- (1) 対象地域 高知県内の①津波浸水想定が2 m以上の地域及び②それ以外の地域
- (2) 対象者 対象地域の①及び②に居住する満18歳以上の県民のうち、それぞれ1,500人
合計3,000人

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法（市町村の選挙人名簿より抽出）

5. 調査の方法

郵送及びインターネットを活用したアンケート調査

6. 調査の期間

令和6年8月5日（月）から同年9月13日（金）までの40日間

¹ 2 m以上の津波浸水が想定されている地域を含む大字単位で分類しているため、実際の津波浸水想定と異なる場合がある。

8. 調査票配布数と回収状況

配 布 数 3, 0 0 0 票

有効回収数 1, 5 1 6 票（有効回収率50.5%）

配布地域	配布数	回収数	回収率
津波浸水想定が2 m以上の地域	1, 500	696	46.4%
津波浸水想定が2 m未満の地域	1, 500	779	51.9%
不 明		41	1.4%
合 計	3, 000	1, 516	50.5%

Ⅱ 調査の項目

1. 調査の項目

(1) 南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか／主に情報をよく収集するメディアは何か／南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか／南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの

(2) 津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／津波が到達する時間を具体的に知っているか／いつ避難するか／すぐに避難しない理由／避難場所を確認しているか／どこに避難するか／避難場所や避難経路に対してどのような不安があるか／子どもが通っている学校の避難場所を知っているか

(3) 家庭での備えについて

災害時の飲料水・食料の備蓄状況／日常的に消費する飲料水・食料のストック状況／3日分以上備蓄していない理由／地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について／携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況／南海トラフ地震への備えとして何を行っているか／スマートフォンでのお薬手帳（電子版）を利用しているか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／車に給油するタイミング・ガソリンの給油量

(4) 地震の揺れ対策について

家具や家電などを固定しているか／固定していない理由／家具や家電などの固定に関する補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか／自宅の敷地内にブロック塀や石塀、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額／ブロック塀などの安全対策に関する補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか／専門家による耐震診断を受けたことがあるか／耐震診断を受けていない理由／耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか／耐震改修工事をしない理由／耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事に関する補助制度を知っているか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を入れるものは何か

(5) 地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

(6) 避難生活について

避難場所と避難所の役割の違いを知っているか／自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか／自家用車内やテントで避難生活を送る理由／避難所生活での不安／避難所の開設や運営にかかわりたいか

(7) 自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからこういった活動に取り組んでいけばよいか

(8) 消防団について

消防団に入団しているか／消防団に入団した理由／どのようなイメージを持っているか／どうすれば興味を持ってもらえると思うか

(9) 地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

(10) 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）について

南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか／事前避難対象地域かどうか／市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか

(11) 県の施策について

県が行っている施策で特に力を入れるべきもの

Ⅲ 調査結果の見方

1. 「Ⅴ 調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅵ 調査結果〔数表〕」に基づき、要点を記述してあるので、「Ⅵ 調査結果〔数表〕」をあわせて参照すること。
2. 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
3. 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」に記入している数値は有効調査人数と各解答項目に対する回答人数、回答率であり、回答率は下記の式によって求めている。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数点第2位を四捨五入し、表示している。

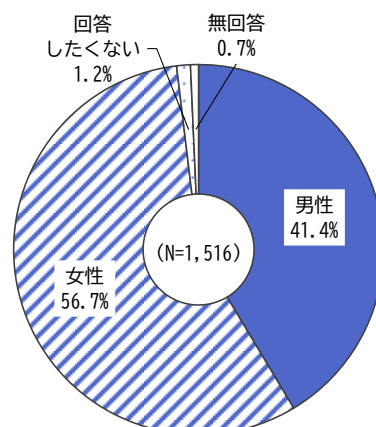
4. 質問への回答方法は「単数回答」、「複数回答」の2種類とする。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100％以上になる。
5. 質問のいくつかについては、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合もある。
7. 「Ⅹ 経年変化」においては選択肢が変更されたため、単純な比較ができないものもある。
8. 各質問に対する集計は、対象者の属性別、回答者別（質問間クロス）で分析した。ただし、同居している家族の人数については、0人（独居）、家族ありの2種類にてクロス分析を行った。
 - ① 性 別 … 男性、女性、回答しないの3種別に分類
 - ② 年 代 別 … 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類
 - ③ 職 業 別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営業、会社員（役員を含む）、公務員、自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）、主婦・主夫、パート・アルバイト、学生、無職（すでに退職を含む）、その他の10種類に分類
 - ④ 同居している家族の人数 … 0人（独居）、1人、2人、3人、4人、5人、6人以上の7種類に分類
 - ⑤ 家 族 の 状 況 … 3歳以下の幼児、4歳以上で小学校入学前の子ども、小学生、70歳以上の人、日常生活で介護や支援を必要とする人、妊産婦、上記の人はいないの7種類に分類
 - ⑥ 浸 水 予 測 区 域 別 … 津波浸水想定が2m以上の地域を「浸水予測区域内」、それ以外の地域を「浸水予測区域外」とする

IV 調査対象者の属性

1. 対象者の特性

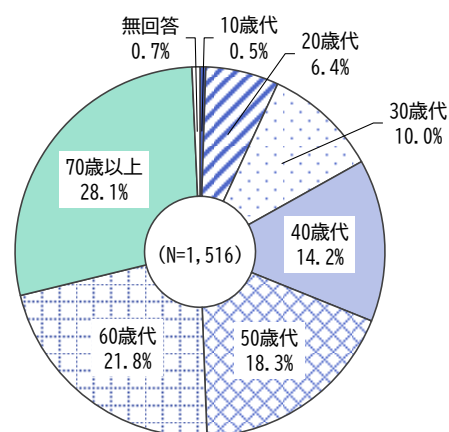
問1 ① 性別

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
男 性	627	41.4
女 性	860	56.7
回答しない	18	1.2
無回答	11	0.7
合 計	1,516	100.0



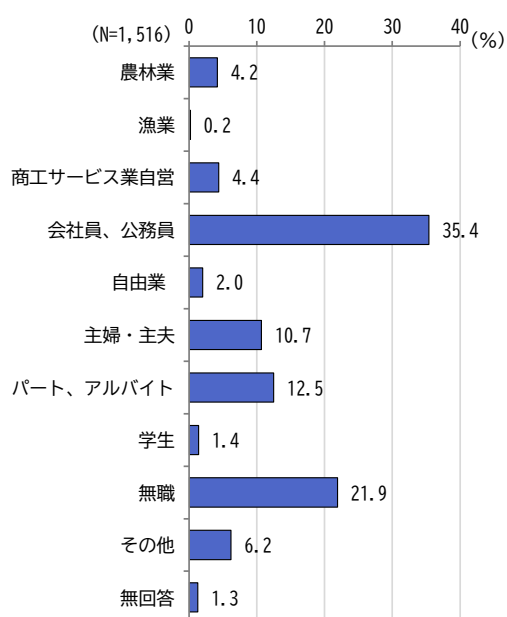
② 年齢

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
10歳代	7	0.5
20歳代	97	6.4
30歳代	151	10.0
40歳代	216	14.2
50歳代	278	18.3
60歳代	331	21.8
70歳以上	426	28.1
無回答	10	0.7
合 計	1,516	100.0



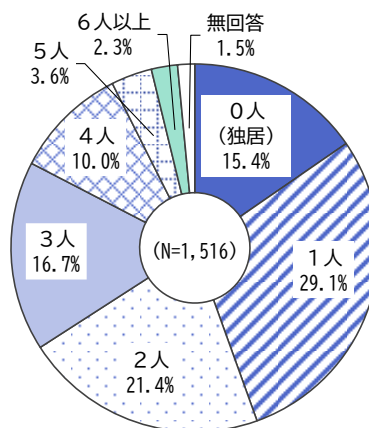
③ 職業

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	63	4.2
漁業	3	0.2
商工サービス業自営	66	4.4
会社員(役員を含む)、公務員	537	35.4
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	2.0
主婦・主夫	162	10.7
パート、アルバイト	189	12.5
学生	21	1.4
無職(すでに退職を含む)	332	21.9
その他	94	6.2
無回答	19	1.3
合 計	1,516	100.0



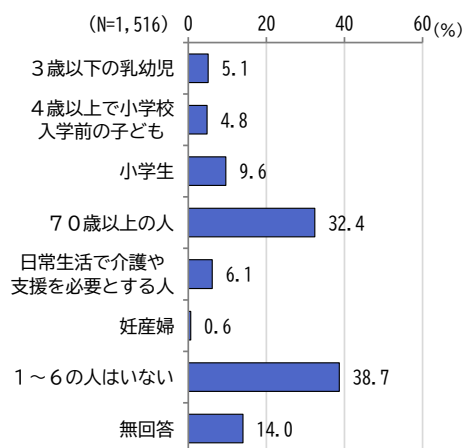
④ 同居しているご家族は何人いますか。

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
0人(独居)	233	15.4
1人	441	29.1
2人	324	21.4
3人	253	16.7
4人	152	10.0
5人	55	3.6
6人以上	35	2.3
無回答	23	1.5
合 計	1,516	100.0



⑤ ご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。(複数回答)

区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
3歳以下の幼児	78	5.1
4歳以上で小学校入学前の子ども	73	4.8
小学生	146	9.6
70歳以上の人	491	32.4
日常生活で介護や支援を必要とする人	93	6.1
妊産婦	9	0.6
1～6の人はいない	587	38.7
無回答	212	14.0
合 計	1,516	



V 調査結果

〔解説・グラフ〕

問1-②×回答方法 「年齢」と「回答方法」のクロス分析

回答方法が「郵送」の場合は、70歳以上が96.5%と最も高く、「WEB回答」の場合は、20歳代が51.5%と最も高くなっている。

また、20歳代のみ、「WEB回答」の割合が「郵送」よりも高くなっている。

		回答方法	
		郵送	WEB回答
問1-②年齢	10歳代	6 85.7	1 14.3
	20歳代	47 48.5	50 51.5
	30歳代	78 51.7	73 48.3
	40歳代	113 52.3	103 47.7
	50歳代	192 69.1	86 30.9
	60歳代	290 87.6	41 12.4
	70歳以上	411 96.5	15 3.5
	無回答	8 80.0	2 20.0

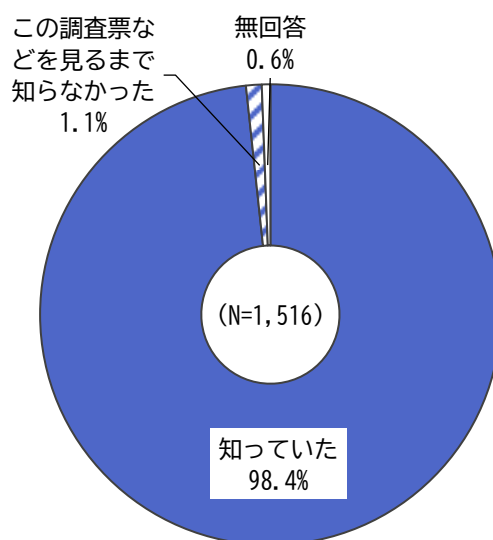
(1) 南海トラフ地震に関する認識について

問2 南海トラフ地震について知っていたか

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。

南海トラフ地震について、「知っていた」が98.4%となっており、多くの県民が認識している。

《 総 合 》



【前回比較】

「知っていた」は、令和3年度は98.3%であったが、令和6年度は98.4%と大きな変化は見られなかった。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向であり、性別で大きな差はない。

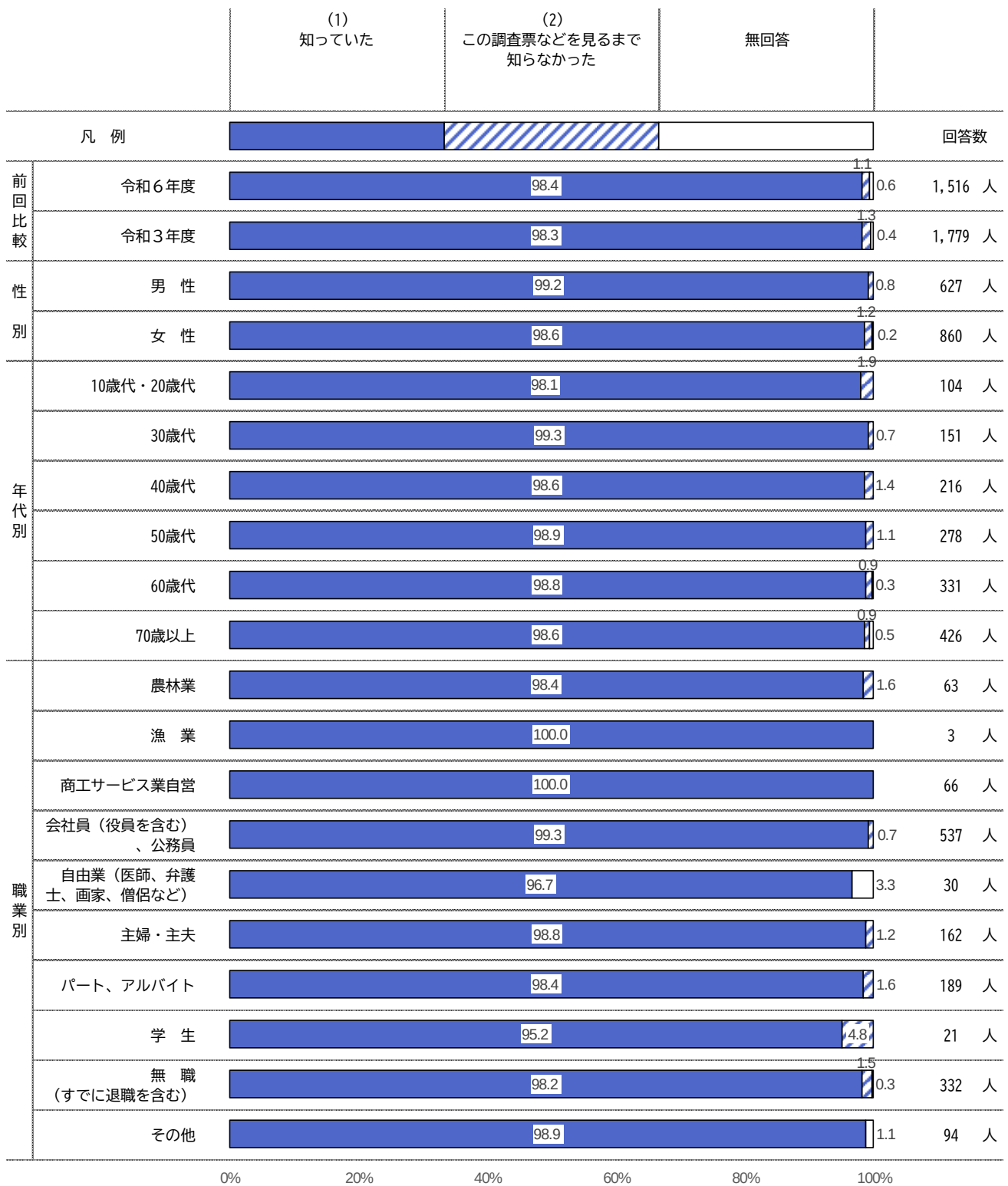
【年代別】

すべての年代で「知っていた」の割合が高くなっているが、中でも30歳代の割合が99.3%と一番高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「知っていた」の割合が高くなっているが、中でも『漁業』、『商工サービス業自営』の割合が100.0%となっている。一方、『学生』では「この調査票を見るまで知らなかった」の割合が4.8%と他の職業より高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問3 自宅や地域にどのような危険があるか

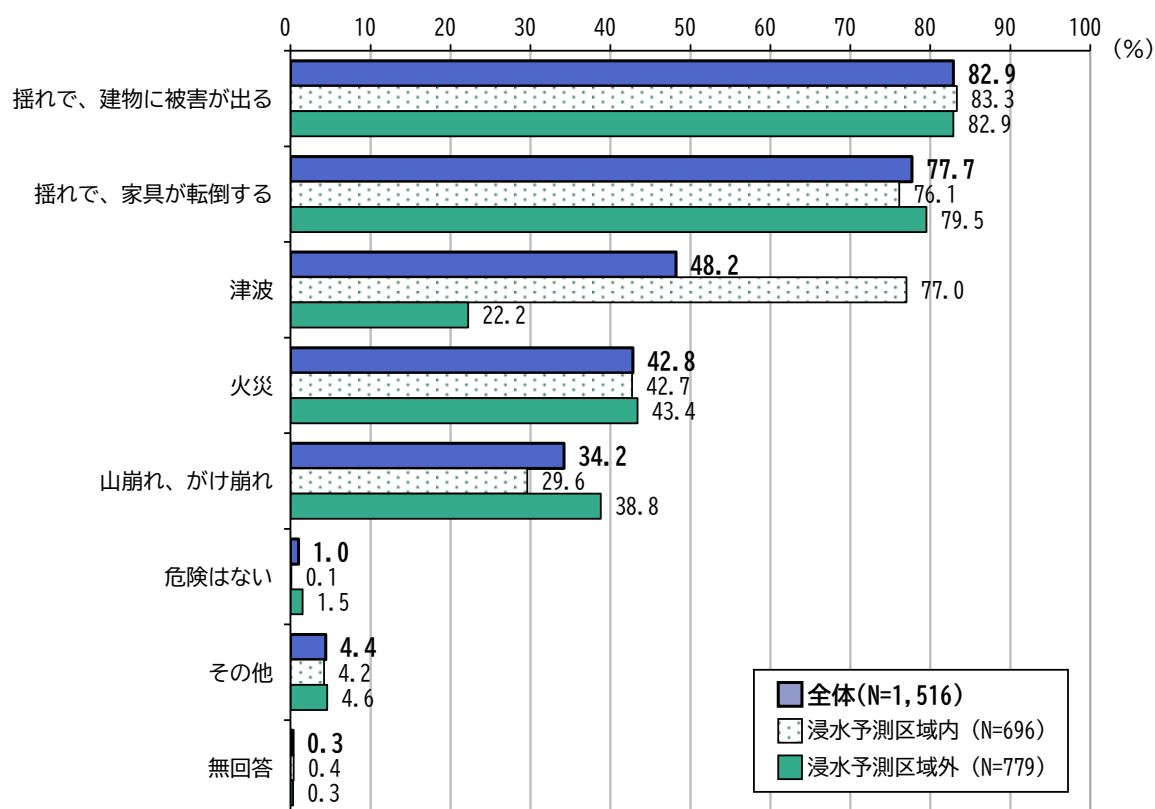
問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

南海トラフ地震で起きた場合の自宅や地域の危険は、「揺れで、建物に被害が出る」が82.9%と最も高く、次いで「揺れで、家具が転倒する」77.7%、「津波」48.2%と続いている。

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内・外ともに「揺れで、建物に被害が出る」が最も高く、次いで浸水予測区域内では「津波」77.0%、浸水予測区域外では「揺れで、家具が転倒する」79.5%と続いている。

＜ 総合・浸水予測区域別 ＞



【前回比較】

令和3年と同じ傾向で、差はほとんどない。

【性別】

「火災」は男性45.9%、女性40.7%と男性の方が高く、「山崩れ、がけ崩れ」は男性30.6%、女性36.3%と女性の方が高くなっている。

【年代別】

10歳代～40歳代では「揺れで、家具が転倒する」が最も高く、50歳代～70歳以上では「揺れで、建物に被害が出る」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、商工サービス業自営、会社員、公務員、主婦・主夫、学生、無職、その他では「揺れで、建物に被害が出る」が最も高くなっている。

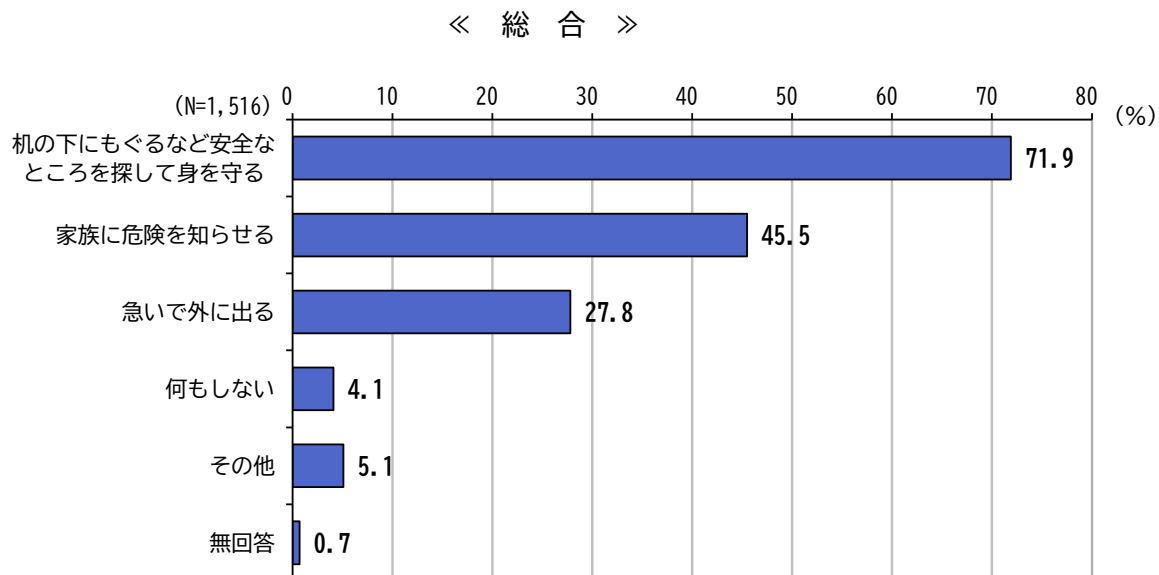
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		調査数	(1) 被揺れ 害が出、 建物に	(2) 転揺 倒れす で、 家具が	(3) 津波	(4) 火災	(5) が山崩 れ、 がけ崩 れ、	(6) その他	(7) 危険は ない	無回答
1位										
2位										
今回調査(R6)		1,516	82.9	77.7	48.2	42.8	34.2	4.4	1.0	0.3
前回調査(R3)		1,779	80.8	75.7	49.0	39.6	33.5	3.2	1.1	0.3
性別	男性	627	84.4	78.3	49.1	45.9	30.6	3.8	1.1	-
	女性	860	82.1	77.6	47.7	40.7	36.3	4.9	0.8	0.2
	回答しない	18	88.9	77.8	66.7	55.6	50.0	5.6	-	-
年代別	10歳代・20歳代	104	76.0	79.8	55.8	39.4	39.4	1.0	1.9	-
	30歳代	151	81.5	84.8	47.7	51.0	47.0	6.6	1.3	-
	40歳代	216	81.0	81.5	53.2	43.1	32.9	6.0	0.9	-
	50歳代	278	82.7	75.5	54.0	44.2	38.1	7.2	0.7	-
	60歳代	331	86.7	79.5	48.3	45.6	33.5	2.7	0.9	-
	70歳以上	426	83.8	73.2	40.8	38.5	26.8	3.3	0.7	0.5
職業別	農林業	63	88.9	82.5	42.9	31.7	46.0	1.6	1.6	-
	漁業	3	100.0	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66	89.4	77.3	45.5	50.0	28.8	6.1	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537	80.8	80.1	52.3	44.1	37.1	4.5	0.9	-
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	76.7	83.3	56.7	63.3	23.3	-	-	-
	主婦・主夫	162	81.5	73.5	37.0	40.7	33.3	3.1	1.9	0.6
	パート、アルバイト	189	82.5	82.5	49.7	39.7	38.1	3.7	-	-
	学生	21	71.4	61.9	52.4	33.3	19.0	-	9.5	-
	無職(すでに退職を含む)	332	85.2	75.6	45.8	43.4	28.6	3.6	0.6	0.3
	その他	94	87.2	68.1	51.1	43.6	34.0	12.8	1.1	-

問4 緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

地震速報を受け取った時の行動としては、「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が71.9%と最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」が45.5%、「急いで外に出る」が27.8%と続いている。



【前回比較】

「家族に危険を知らせる」の割合が令和3年度より、8.1ポイント減少している。

【性別】

「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」は女性の方が6.9ポイント高くなっている。一方、「急いで外に出る」では、男性の方が6.2ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高くなっており、中でも30歳代では81.5%と高いが、40歳代では70%を下回っている。

【職業別】

漁業を除くすべての職業で「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高くなっている。

「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」では、ほとんどの職業で60%を超えているが、農林業では57.1%と他の職業と比べて低くなっている。

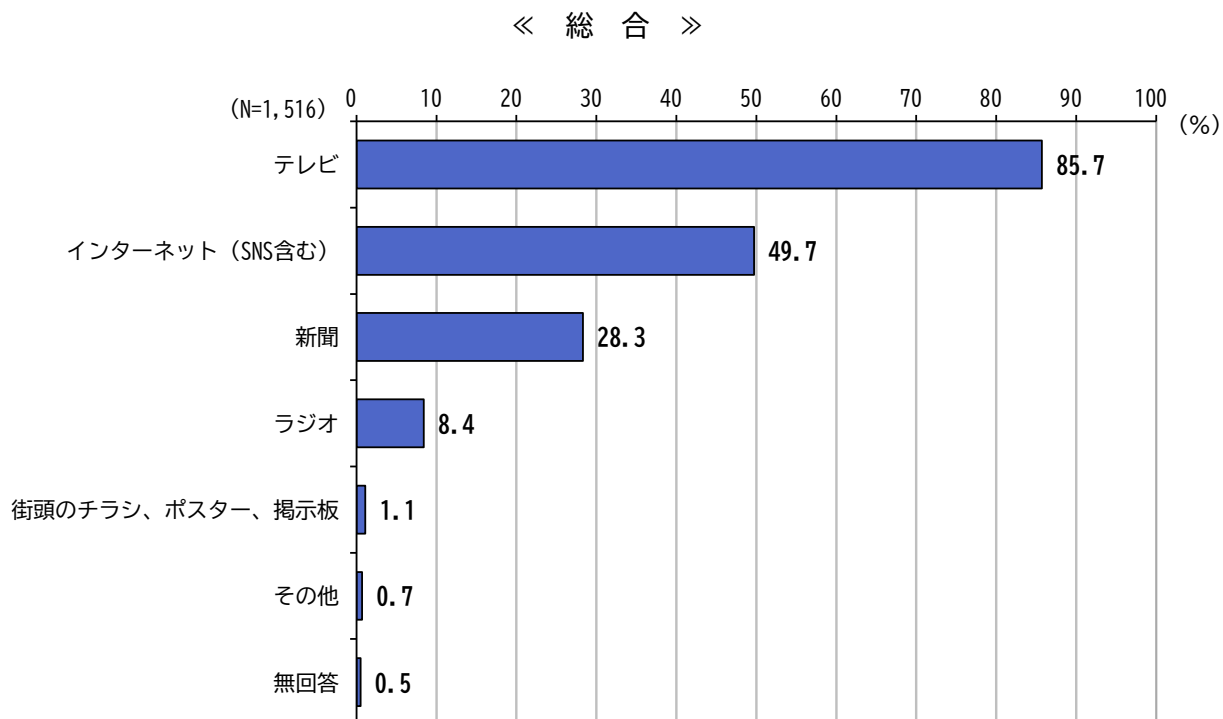
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) を全机 守なの 下にと ころも ぐるを 探して 身を守 るなど 身安	(2) 家族に 危険を 知らせ る	(3) 急いで 外に出 る	(4) 何もし ない	(5) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝								
			1位	2位				
今回調査(R6)		1,516	71.9	45.5	27.8	4.1	5.1	0.7
前回調査(R3)		1,779	73.2	53.6	27.2	2.6	2.9	0.3
性別	男性	627	68.3	46.1	31.3	5.1	5.1	0.8
	女性	860	75.2	45.2	25.1	3.3	5.2	0.3
	回答しない	18	50.0	61.1	33.3	5.6	5.6	-
年代別	10歳代・20歳代	104	79.8	42.3	22.1	1.0	-	-
	30歳代	151	81.5	60.3	25.8	1.3	2.6	0.7
	40歳代	216	64.8	53.2	28.7	4.2	8.3	-
	50歳代	278	70.9	49.3	28.1	2.9	5.8	0.7
	60歳代	331	70.7	42.6	28.4	6.6	6.0	0.3
	70歳以上	426	72.5	37.8	28.6	4.5	4.7	0.9
職業別	農林業	63	57.1	47.6	41.3	3.2	3.2	1.6
	漁業	3	66.7	66.7	66.7	-	-	-
	商工サービス業自営	66	77.3	39.4	30.3	3.0	3.0	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537	73.2	49.5	28.5	3.0	4.7	-
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	80.0	46.7	20.0	3.3	3.3	-
	主婦・主夫	162	77.8	46.9	20.4	3.1	3.7	-
	パート、アルバイト	189	70.4	49.2	28.6	3.2	6.9	0.5
	学生	21	71.4	38.1	23.8	4.8	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	70.5	38.9	27.1	6.6	5.7	1.5
その他		94	69.1	42.6	29.8	5.3	10.6	1.1

問5 主に情報をよく収集するメディアは何か

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

主に情報を収集するメディアとしては「テレビ」が85.7%で最も高く、「インターネット(SNS含む)」49.7%、「新聞」28.3%と続いている。



【前回比較】

「総合」と同じ傾向にあるが、「インターネット（SNS 含む）」は令和3年度から10.4ポイント減少している。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向にあるが、「新聞」は男性の方が4.0ポイント高く、「インターネット（SNS 含む）」は女性の方が3.2ポイント高くなっている。

【年代別】

10歳代～30歳代では「インターネット（SNS 含む）」が最も高く、40歳代～70歳以上では「テレビ」が最も高くなっている。

【職業別】

学生を除くすべての職業で「テレビ」が最も高く、学生では「インターネット（SNS 含む）」が最も高くなっている。

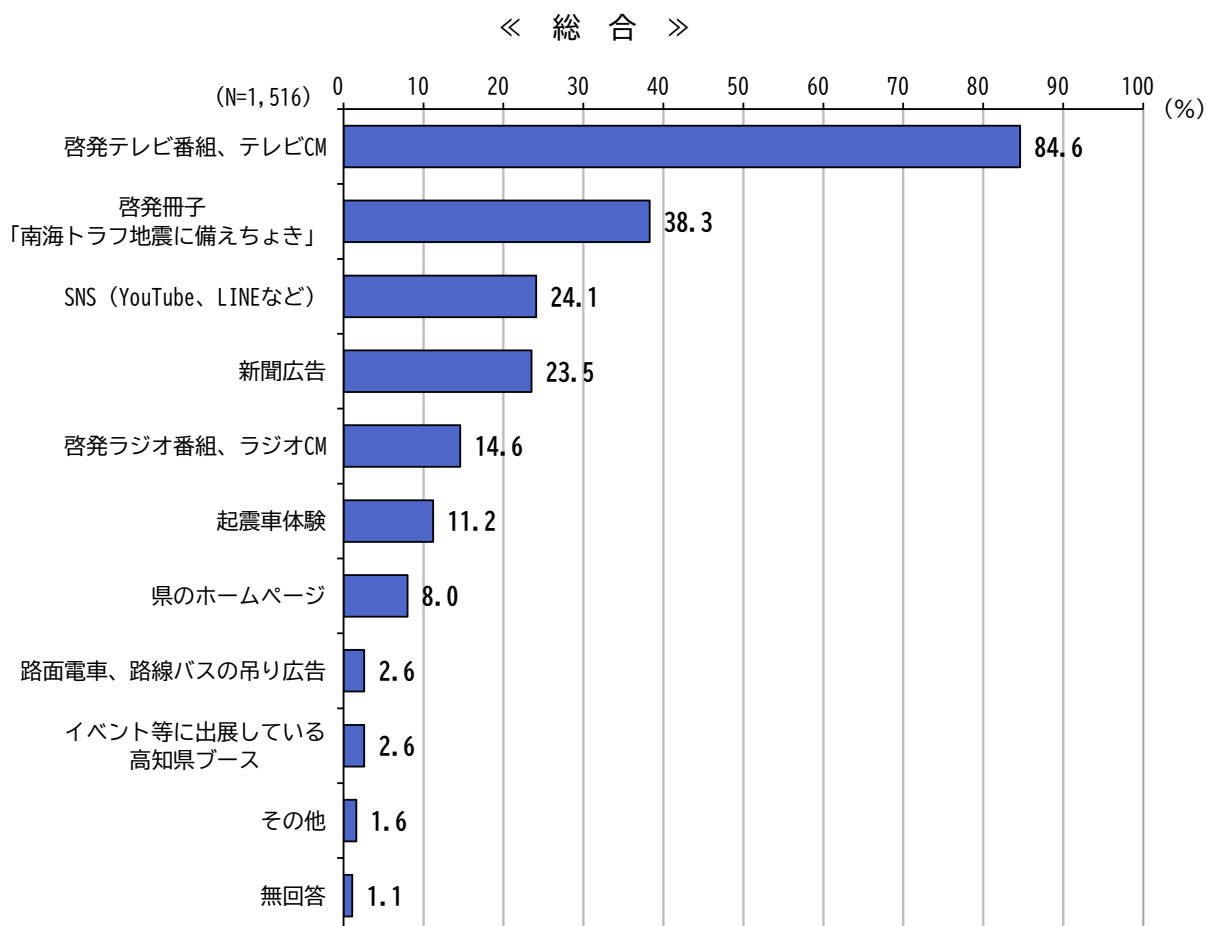
≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		調査 数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	無 回 答
			テレ ビ	(イ ン タ ー ネ ッ ト)	新 聞	ラ ジ オ	タ 街 頭 の 掲 示 板 、 ポ ス	そ の 他	
			1 位	2 位					
今回調査(R6)		1,516	85.7	49.7	28.3	8.4	1.1	0.7	0.5
前回調査(R3)		1,779	83.6	60.1	30.5	8.0	1.3	0.3	0.2
性 別	男性	627	84.1	47.8	30.9	8.6	1.1	0.5	0.2
	女性	860	87.2	51.0	26.9	8.3	1.0	0.9	0.3
	回答しない	18	77.8	72.2	11.1	-	-	-	-
年 代 別	10歳代・20歳代	104	63.5	85.6	4.8	2.9	2.9	-	-
	30歳代	151	66.9	84.8	9.3	4.6	-	0.7	0.7
	40歳代	216	80.1	67.1	20.4	7.4	0.5	0.5	0.5
	50歳代	278	87.4	67.6	15.8	5.8	0.7	0.7	0.4
	60歳代	331	90.9	44.1	34.7	8.2	0.3	0.9	-
	70歳以上	426	96.0	12.9	48.4	13.4	2.1	0.9	0.2
職 業 別	農林業	63	90.5	17.5	46.0	25.4	1.6	-	-
	漁業	3	100.0	66.7	-	33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66	86.4	42.4	36.4	9.1	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537	78.2	73.0	17.1	4.8	0.4	0.6	0.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	83.3	63.3	20.0	3.3	3.3	-	-
	主婦・主夫	162	96.3	30.9	42.0	9.3	1.9	-	-
	パート、アルバイト	189	86.8	49.7	25.9	9.0	1.6	1.1	0.5
	学生	21	42.9	90.5	-	4.8	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	94.3	25.0	41.0	10.8	1.5	1.2	0.3
	その他	94	86.2	51.1	24.5	6.4	1.1	2.1	-

問6 南海トラフ地震対策の啓発で知っているものはあるか

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

印象に残っている南海トラフ地震の啓発活動は、「啓発テレビ番組、テレビCM」が84.6%と最も高く、次いで「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」38.3%、「SNS (YouTube、LINE など)」24.1%が続いている。



【前回比較】

「総合」と同じ傾向で大きな差は見られないが、「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」は前回から14.1ポイント減少している

【性別】

最も高い「啓発テレビ番組、テレビ CM」では男女の差はほとんど無いが、「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」では男性32.7%、女性42.4%と女性の方が9.7ポイント高く、「啓発ラジオ番組、ラジオ CM」では、男性19.8%、女性10.8%と男性の方が9.0ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「啓発テレビ番組、テレビ CM」が最も高くなっているが、10歳代・20歳代は68.3%と他の年代よりも低い割合になっている。「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」も同様に10歳代・20歳代、30歳代が他の年代より低くなっている。

【職業別】

すべての職業で「啓発テレビ番組、テレビ CM」が最も高くなっている。

主婦・主夫では「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」が45.1%と、他の職業に比べ高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) C啓 M発 テレビ 番組、 テレビ	(2) にに 全備 戸え 配子 ちよ 布き ※ト Rラ 2フ 年地 度震	(3) L S I N S E (Y o u t u b e 、	(4) 新聞 広告	(5) C啓 M発 ラジオ 番組、 ラジオ	(6) 起震 車体験	(7) 県の ホーム ページ	(8) 広告 路面 電車、 路線 バスの 吊り	(9) 高知 県ブ ー等 スに 出展 して いる	(10) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位									
今回調査(R6)		1,516	84.6	38.3	24.1	23.5	14.6	11.2	8.0	2.6	2.6	1.6	1.1
前回調査(R3)		1,779	86.8	52.4	-	31.8	14.6	12.5	9.5	2.4	3.0	2.9	0.7
性別	男性	627	84.5	32.7	23.3	25.5	19.8	6.9	10.5	3.2	2.4	1.6	1.3
	女性	860	85.0	42.4	24.9	22.7	10.8	14.1	6.5	2.3	2.8	1.7	0.7
	回答しない	18	77.8	33.3	33.3	11.1	11.1	22.2	-	-	5.6	-	-
年代別	10歳代・20歳代	104	68.3	28.8	45.2	9.6	5.8	20.2	11.5	6.7	4.8	2.9	1.9
	30歳代	151	75.5	29.1	39.1	12.6	8.6	16.6	9.3	3.3	7.3	1.3	2.0
	40歳代	216	83.3	38.9	31.5	18.1	11.6	13.9	6.0	3.7	2.8	2.8	0.9
	50歳代	278	86.0	37.8	28.4	18.3	15.1	11.9	9.4	2.5	2.5	2.5	-
	60歳代	331	88.8	39.3	24.2	26.3	15.4	9.4	9.4	2.1	1.8	0.6	0.6
	70歳以上	426	89.0	43.4	7.7	35.4	19.5	6.8	6.1	1.2	1.2	1.2	1.2
職業別	農林業	63	90.5	34.9	6.3	25.4	38.1	1.6	4.8	-	4.8	-	-
	漁業	3	100.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	81.8	34.8	25.8	31.8	18.2	1.5	6.1	-	-	6.1	1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537	81.0	35.0	31.5	17.5	12.8	14.5	10.8	3.2	4.7	1.9	0.7
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	90.0	23.3	40.0	26.7	6.7	6.7	6.7	-	-	-	6.7
	主婦・主夫	162	88.9	45.1	14.8	28.4	11.1	11.7	3.1	2.5	1.9	1.2	1.2
	パート、アルバイト	189	84.7	38.6	29.6	20.1	16.4	9.5	7.9	2.1	2.1	1.1	1.6
	学生	21	61.9	23.8	52.4	9.5	4.8	28.6	9.5	9.5	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	88.9	41.9	14.2	33.1	14.8	9.0	7.8	2.7	1.2	1.2	0.6
	その他	94	86.2	42.6	24.5	21.3	12.8	13.8	7.4	3.2	1.1	3.2	-

《問6×問5》

印象に残っている南海トラフ地震対策の啓発と普段、情報をよく収集するメディアとのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアの種類にかかわらず、最も印象に残っている啓発は、「啓発テレビ番組、テレビCM」となっており、ほとんどのメディアで80%を超えている。

また、「啓発冊子『南海トラフ地震に備えちょき』」は30%～40%台となっている。

問6													
		調査数	(1) C啓 M発 テレビ 番組、 テレビ	(2) C啓 M発 ラジオ 番組、 ラジオ	(3) L S I N E (Y o u t u b e 、 な ど)	(4) 新聞 広告	(5) 広 路 告 面 電 車 、 路 線 バ ス の 吊 り	(6) 県 の ホ ー ム ペ ー ジ	(7) に に 啓 全 備 発 戸 え 冊 配 ち 子 布 よ ー 「 南 ※ 海 R 2 年 トラ 度 フ 地 地 震 震	(8) 高 イ 知 イベント ブ ー ス 等 に 出 展 し て い る	(9) 起 震 車 体 験	(10) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1 位	2 位									
問5	新聞	429	88.8	17.9	11.2	51.7	1.2	8.6	43.8	0.9	9.1	1.2	0.7
	テレビ	1,299	89.1	14.2	22.2	25.0	2.2	7.7	39.2	2.1	10.9	1.5	0.7
	ラジオ	127	81.1	57.5	13.4	15.7	-	6.3	38.6	2.4	9.4	0.8	-
	インターネット(SNS含む)	754	80.0	9.2	38.6	13.4	3.8	10.1	38.6	4.2	14.6	2.1	0.9
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	81.3	18.8	12.5	25.0	-	18.8	31.3	12.5	6.3	-	-
	その他	11	72.7	-	18.2	9.1	9.1	9.1	54.5	-	9.1	9.1	-
	無回答	7	42.9	14.3	-	-	14.3	-	28.6	14.3	-	-	57.1

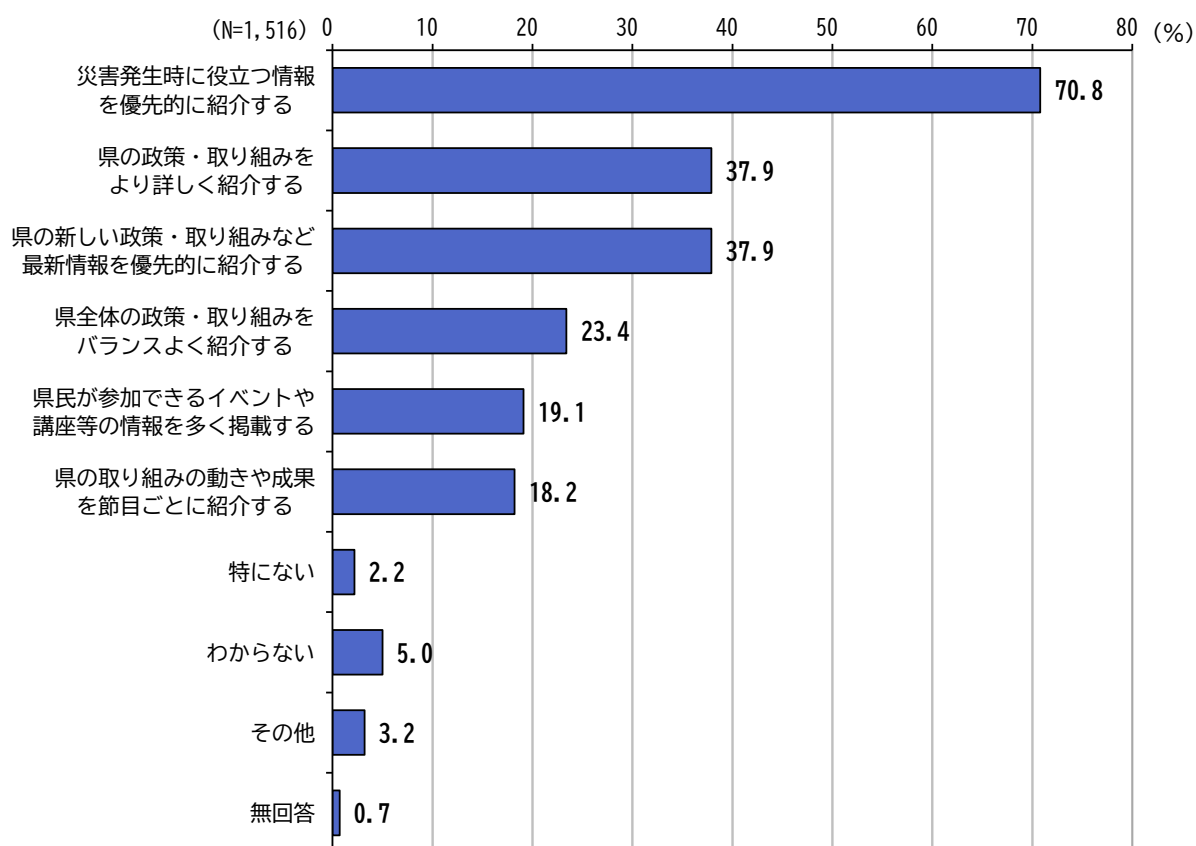
問7 南海トラフ地震対策の広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもの

問7 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。（3つまで○）

南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために中心に取り上げるべきものは、「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が70.8%と最も高く、次いで「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」、「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」が同率で37.9%と続いている。

特に「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」は、2番目に高い「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」、「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」より32.9ポイント高い。

《 総 合 》



【前回比較】

「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」では前回から6.0ポイント増加している。

【性別】

男女とも「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が最も高く、男性67.1%、女性74.0%となっており、男性では「県の政策・取り組みをより詳しく紹介する」41.9%、女性では「県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する」37.3%が続いている。

【年代別】

すべての年代で「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が60%以上と最も高く、中でも60歳代では75.2%と最も高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 優先的に紹介する	(2) 詳しい政策・取り組みをより	(3) 県最新の新しい政策を優先的に紹介する	(4) 県全体の政策・取り組みを	(5) 県民が参加する講座等の情報を多く掲載する	(6) 県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	(7) 特にな	(8) わからない	(9) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位								
今回調査(R6)		1,516	70.8	37.9	37.9	23.4	19.1	18.2	2.2	5.0	3.2	0.7
前回調査(R3)		1,779	70.1	35.0	31.9	24.9	20.7	24.0	2.1	5.7	2.5	0.3
性別	男性	627	67.1	41.9	39.2	24.6	18.8	17.2	2.7	3.7	2.9	0.2
	女性	860	74.0	35.2	37.3	22.3	19.8	19.2	1.9	5.6	3.6	0.8
	回答しない	18	61.1	16.7	16.7	33.3	-	11.1	5.6	27.8	-	-
年代別	10歳代・20歳代	104	73.1	41.3	27.9	18.3	20.2	15.4	1.9	5.8	3.8	-
	30歳代	151	69.5	37.1	27.8	28.5	23.8	18.5	1.3	4.6	1.3	1.3
	40歳代	216	66.7	39.4	31.9	29.6	25.9	19.4	1.4	4.6	3.2	0.5
	50歳代	278	70.9	31.3	30.9	20.1	22.3	23.0	2.2	5.4	5.4	-
	60歳代	331	75.2	38.4	44.1	23.0	16.9	18.1	3.0	3.9	2.1	0.3
	70歳以上	426	70.0	40.6	46.7	22.1	13.6	15.3	2.6	5.9	3.3	0.9
職業別	農林業	63	68.3	41.3	44.4	17.5	14.3	11.1	6.3	6.3	3.2	1.6
	漁業	3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	商工サービス業自営	66	68.2	45.5	37.9	22.7	13.6	10.6	4.5	3.0	1.5	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537	71.3	36.7	33.1	24.4	25.1	21.2	1.5	4.3	2.6	0.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	63.3	46.7	23.3	30.0	10.0	26.7	3.3	3.3	3.3	-
	主婦・主夫	162	74.1	38.3	44.4	21.0	19.1	21.0	1.9	4.9	4.3	0.6
	パート、アルバイト	189	70.4	45.0	32.3	25.9	16.9	19.6	2.1	5.8	4.2	1.6
	学生	21	61.9	28.6	19.0	9.5	9.5	-	9.5	19.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	71.4	35.8	47.9	21.4	13.9	14.5	2.4	5.4	3.6	0.3
	その他	94	70.2	31.9	35.1	28.7	21.3	19.1	1.1	4.3	3.2	1.1

問5×問7

普段、情報をよく収集するメディアと広報活動の充実のために中心に取り上げるべきもののクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアの種類にかかわらず、中心に取り上げるべきものとして、「災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する」が、ほとんどのメディアで70%以上と最も高い割合となっている。

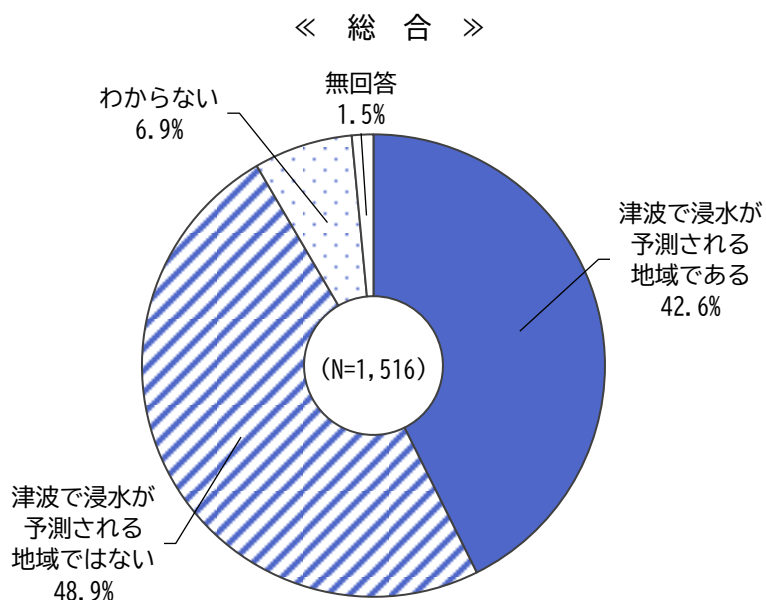
問7												
		調査数	(1) 詳しくの政 策紹介・取 組をより	(2) 県全体の政 策・取り 組を	(3) 県最新の情 報を策・先 取りに組 込み	(4) 県節の取 組に紹介 する成果	(5) 災害発生 時に役立 つ情報を	(6) 県民が参 加できる 多くのパ ンフレット	(7) 特にな い	(8) わから ない	(9) その他	無回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝												
問5	新聞	429	41.0	29.4	44.3	18.6	72.3	16.1	1.6	4.9	2.3	0.7
	テレビ	1,299	39.2	23.4	39.6	18.7	72.1	18.7	2.2	5.0	2.9	0.5
	ラジオ	127	35.4	22.0	42.5	21.3	75.6	20.5	2.4	4.7	1.6	0.8
	インターネット(SNS含む)	754	35.8	24.1	34.7	19.4	72.9	22.5	1.9	4.6	4.0	0.3
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	43.8	31.3	43.8	12.5	81.3	25.0	-	-	6.3	-
	その他	11	27.3	9.1	36.4	9.1	45.5	27.3	9.1	18.2	9.1	-
	無回答	7	14.3	-	14.3	14.3	42.9	28.6	-	-	14.3	57.1

(2) 津波避難対策について

問8 津波で浸水が予測される地域かどうか

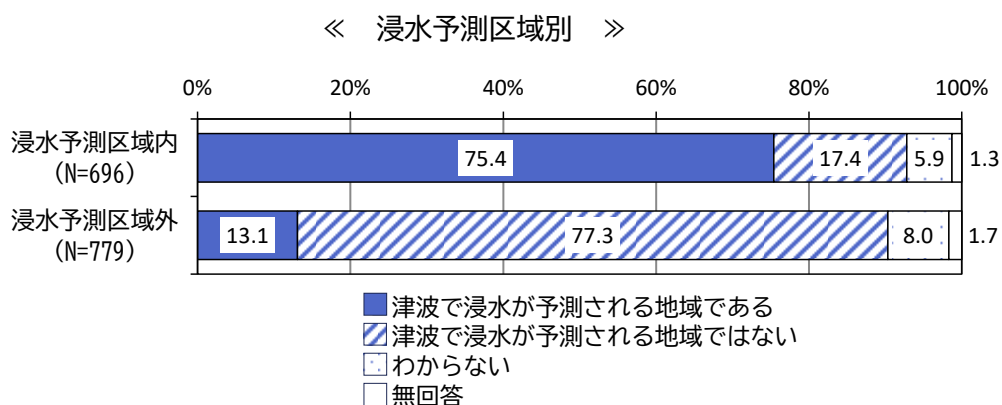
問8 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

「津波で浸水が予測される地域である」は42.6%、「津波で浸水が予測される地域ではない」は48.9%と合計して91.5%の方が自宅がどのような地域にあるか認識しているが、まだ6.9%の方が「わからない」と答えている。



【浸水予測区域別】

「わからない」が浸水予測区域内では5.9%、浸水予測区域外では8.0%となっており、浸水予測区域外の方がわずかに多くなっている。



※浸水区域については、県の被害想定により2m以上の津波浸水が予測されている地域を含む大字単位で分類しています。一部の地域では実際の浸水予測区域と異なる場合があります。

【前回比較】

令和6年度と令和3年度は同じ傾向となっている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

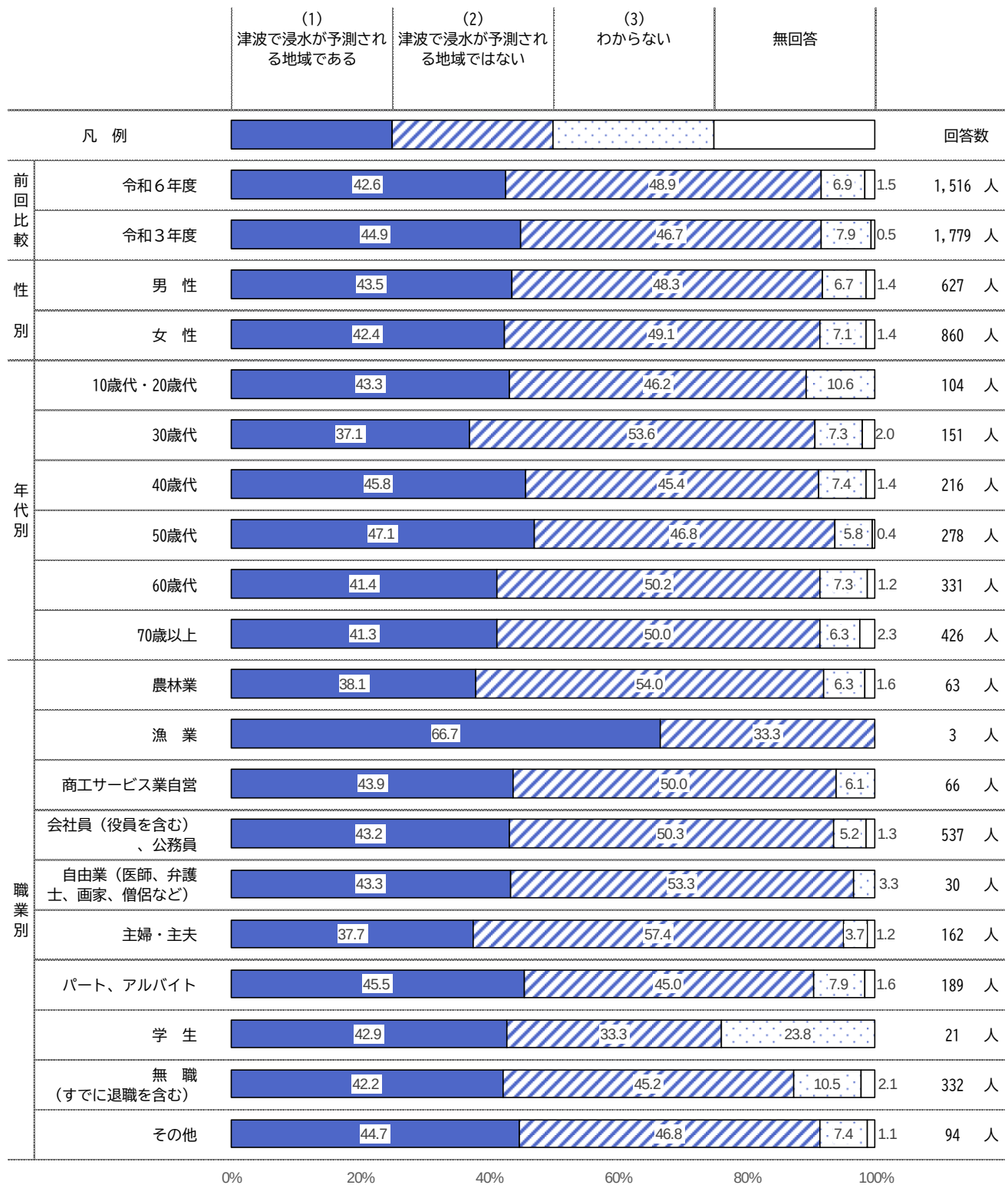
【年代別】

「わからない」は、10歳代・20歳代が10.6%と、総合及び他の年代より高くなっている。

【職業別】

「わからない」は、学生が23.8%と他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

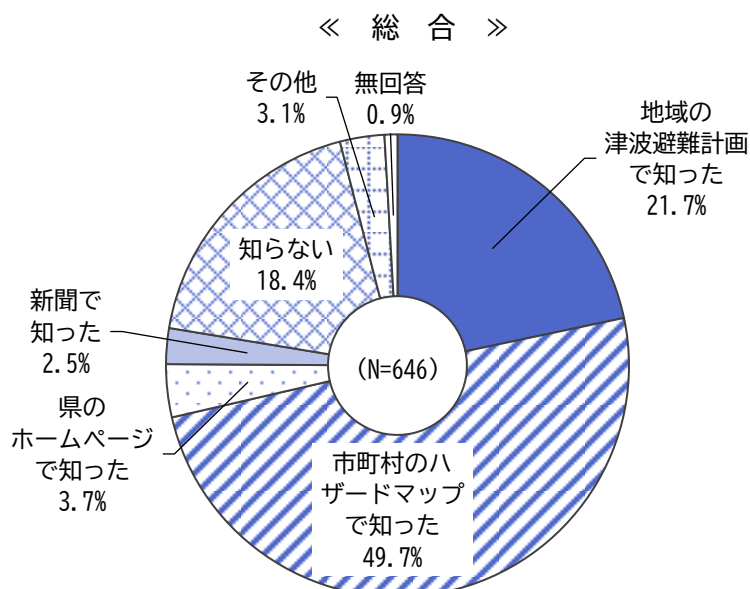


問9 津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか

問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

津波が到達する時間や浸水する深さを知っているかについては、「市町村のハザードマップで知った」が49.7%と最も高く、「知っている」と答えた方は全体の77.6%となっているが、「知らない」が18.4%となっている。



【前回比較】

令和6年度では、「地域の津波避難計画で知った」が4.6ポイントと増加しており、「知っている」と回答した割合が、令和3年度の71.9%より5.7ポイント増加している。

【性別】

「市町村のハザードマップで知った」の割合が女性では52.1%と男性の46.5%よりも5.6ポイント高くなっている。

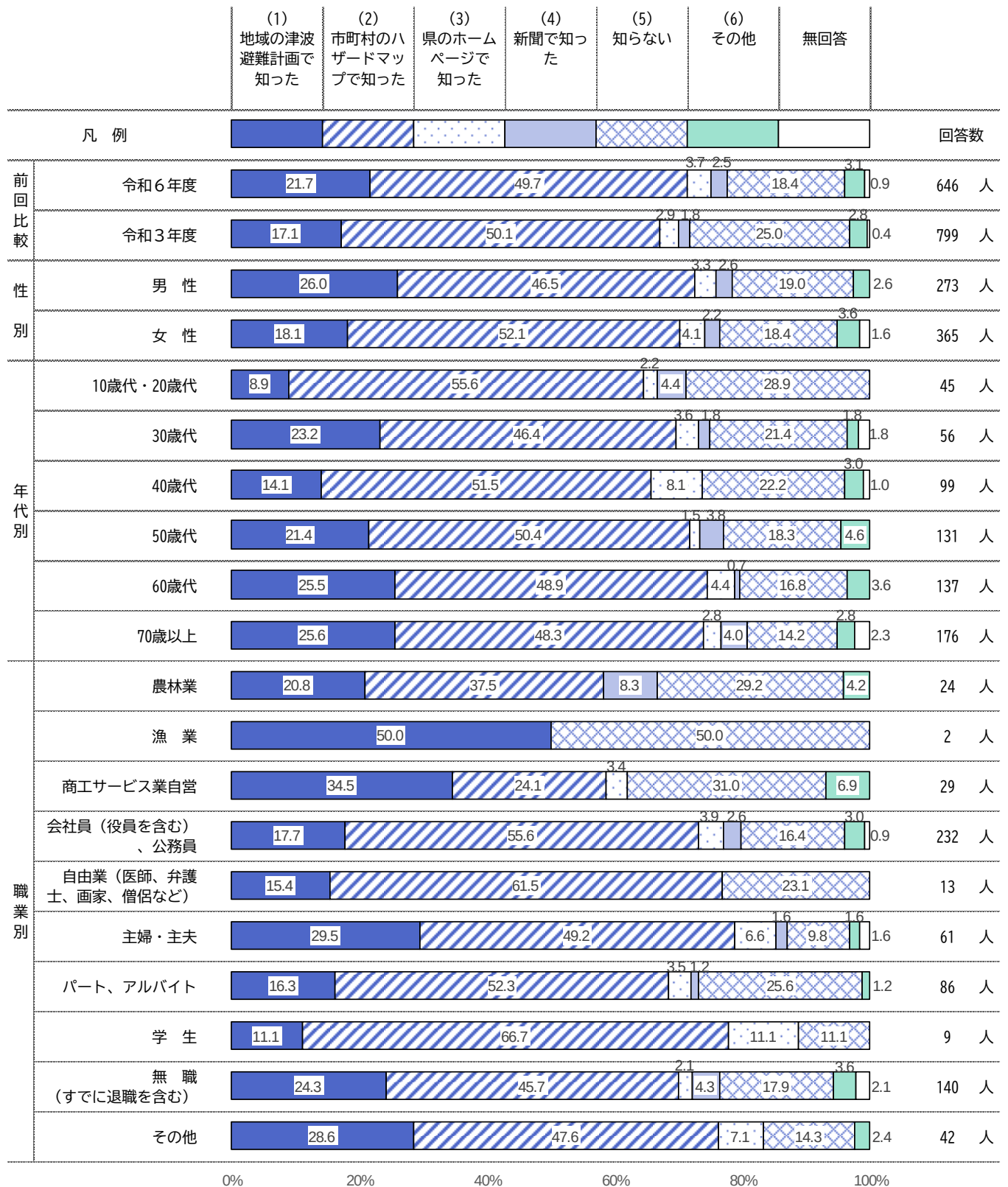
【年代別】

10歳代・20歳代では「知らない」と回答した方が28.9%と他の年代と比べても高い割合になっている。

【職業別】

商工サービス業自営を除くすべての職業で、「市町村のハザードマップで知った」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

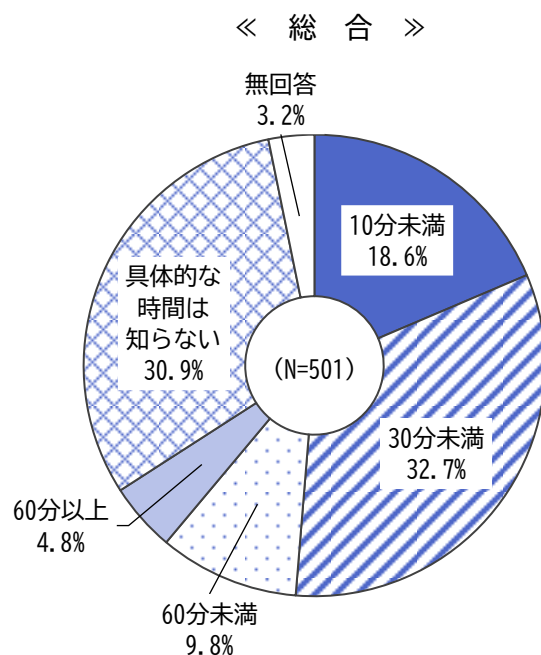


問 10 津波が到達する時間を具体的に知っているか

問10 問9で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

津波の到達する時間を具体的に知っているかについては、「10分未満」～「60分以上」の知っている
と回答した人の割合は65.9%であり、「具体的な時間は知らない」は30.9%となっている。



【前回比較】

「具体的な時間は知らない」と回答した割合は、令和3年度の27.9%より3.0ポイント増加している。

【性別】

「具体的な時間は知らない」は、男性が26.6%、女性が34.8%と女性の方が8.2ポイント高い。

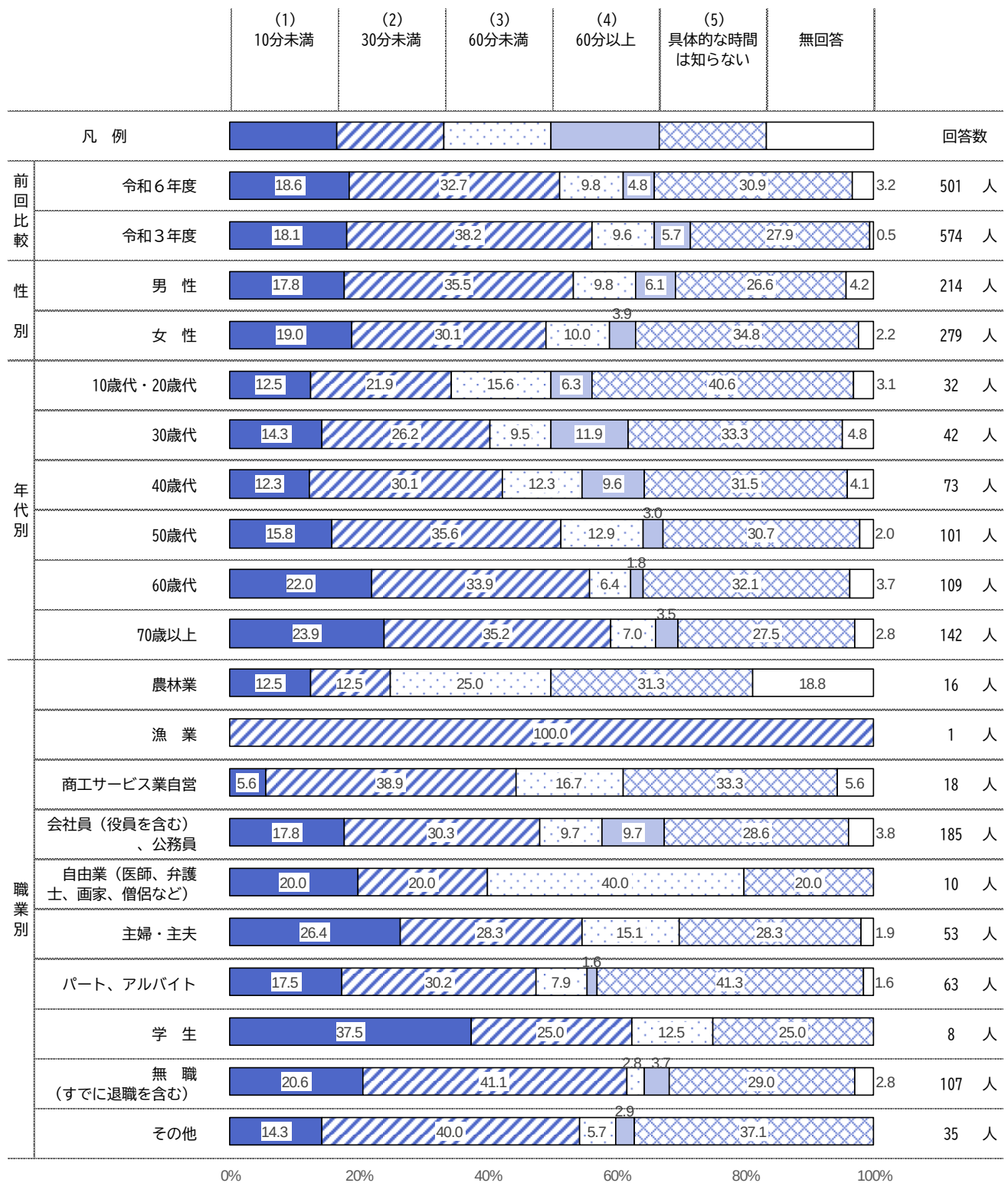
【年代別】

「具体的な時間は知らない」は10歳代・20歳代で40%を超えている。一方、70歳以上では27.5%と他の年代の中で最も低くなっている。

【職業別】

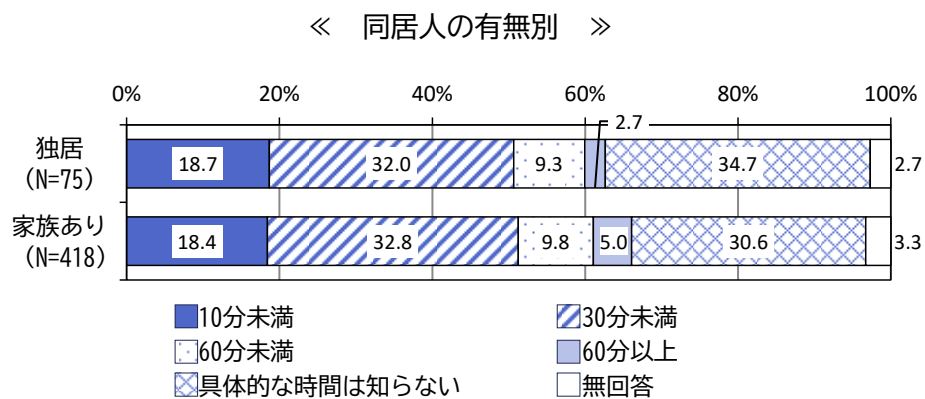
「具体的な時間は知らない」はパート・アルバイトが41.3%、その他が37.1%と他の職業より高くなっている。

≪ 性別・年代別・職業別 ≫



【同居人の有無別】

「具体的な時間は知らない」は、独居世帯が34.7%、家族あり世帯が30.6%と独居世帯の方が4.1ポイント高くなっている。

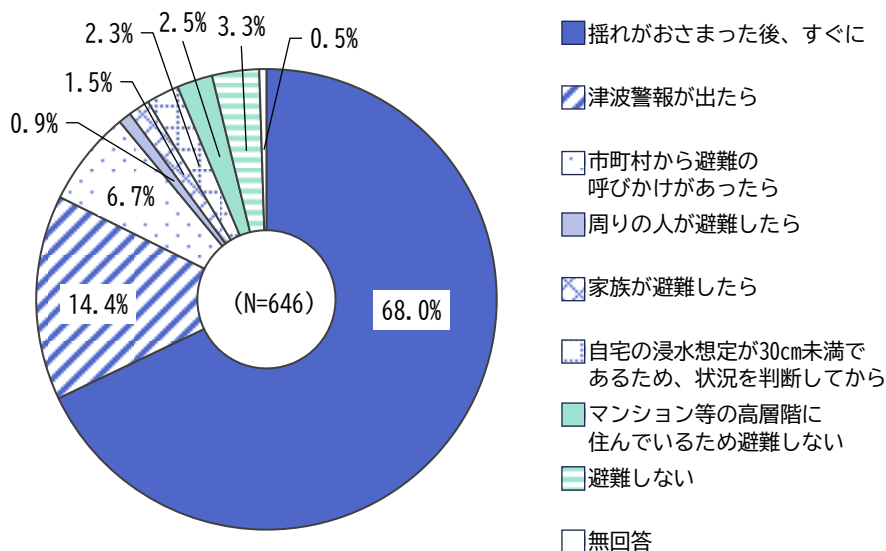


問 11 いつ避難するか

問11 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

津波からの避難については、「揺れがおさまった後、すぐに」が68.0%と最も高く、次いで「津波警報が出たら」14.4%、「市町村から避難の呼びかけがあったら」6.7%と続いている。

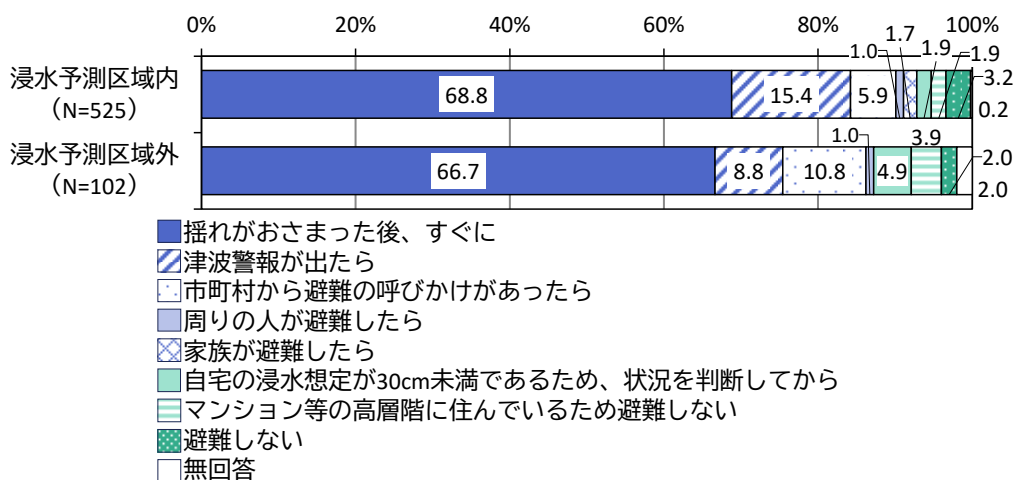
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「揺れがおさまった後、すぐに」の割合は、浸水予測区域内で68.8%、浸水予測区域外で66.7%となっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度と大きな差は見られない。

【性別】

「揺れがおさまった後、すぐに」と回答した割合は、男性70.7%、女性66.0%と男性の方が4.7ポイント高くなっている。

【年代別】

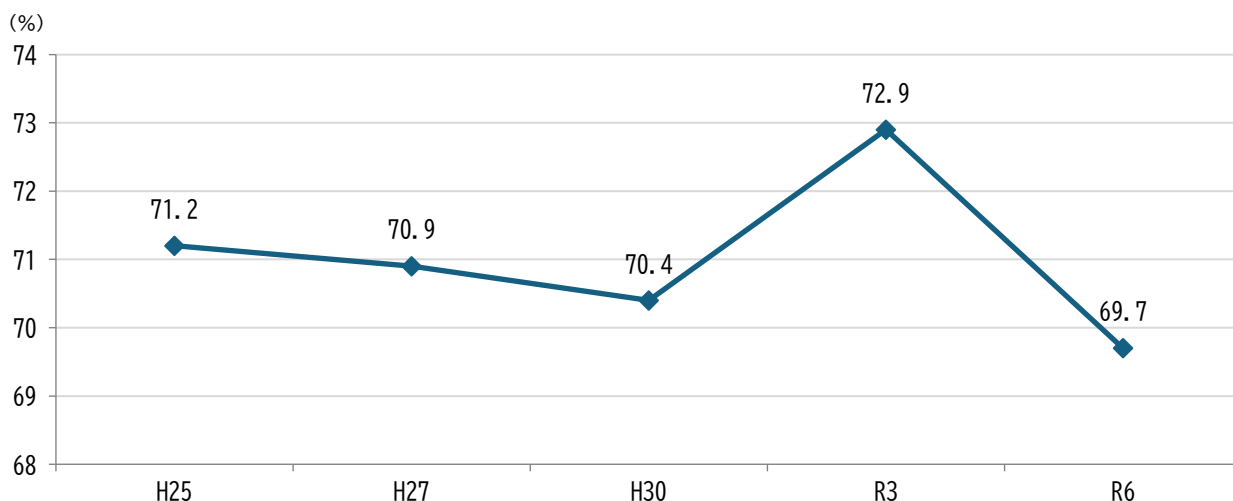
30歳代では「揺れがおさまった後、すぐに」が76.8%と年代別で最も高くなっている。一方、70歳以上では「避難しない」5.7%が他の年代より高くなっている。

【職業別】

「揺れがおさまった後、すぐに」は、学生が77.8%と最も高く、最も低い無職の57.9%とは19.9ポイントの差がある。

【津波からの早期避難意識率】

津波からの早期避難意識率をみると、H25年以降7割を超えて推移していたが、R6年では69.7%と減少している。

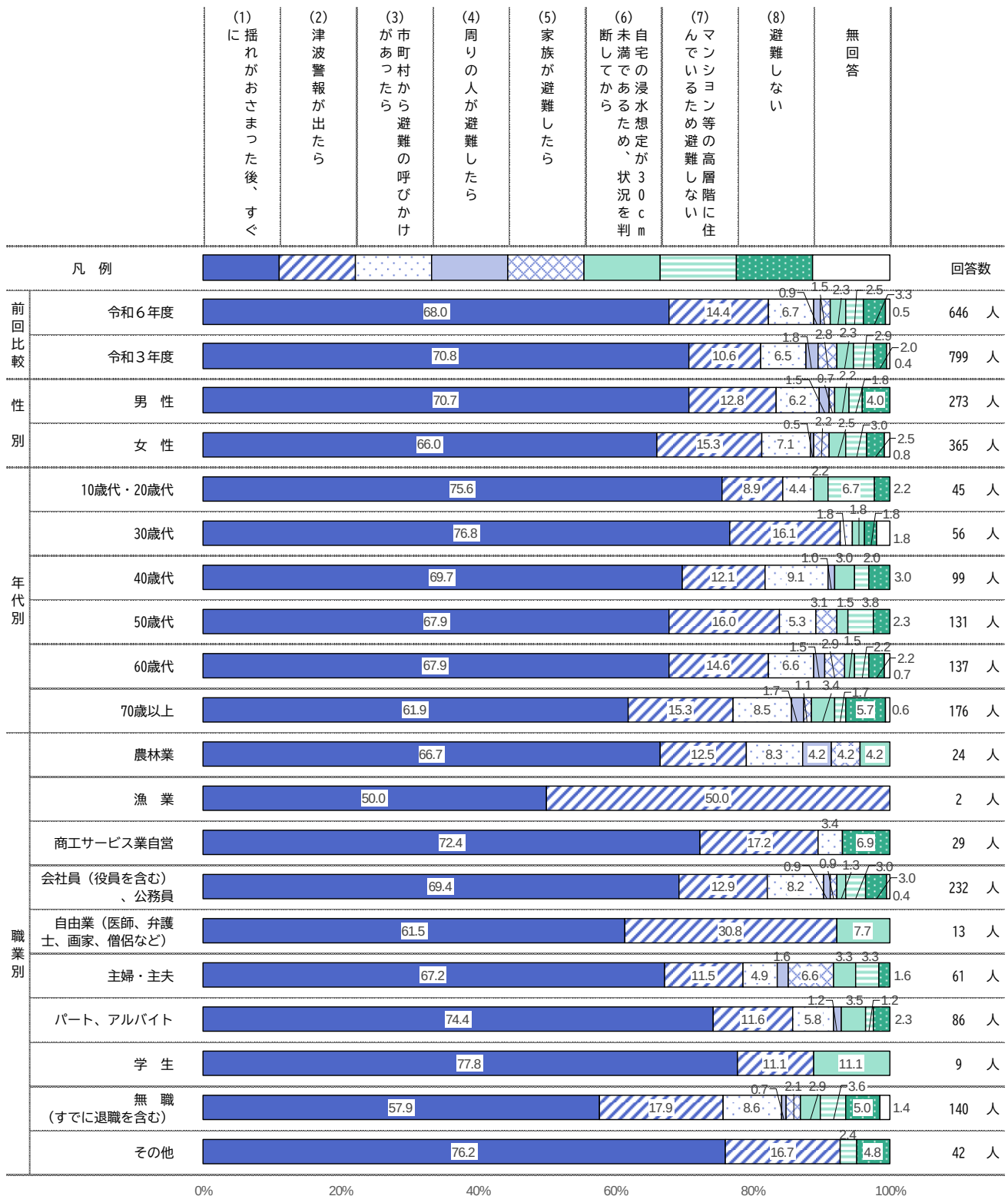


■早期避難意識率の計算方法

＜「1. 揺れがおさまった後、すぐに」と回答した人＞を＜回答者数から「マンション等の高層階に住んでいるため避難しない」を除いた値＞で除した値

【参考・R6】439人／（646人－16人）＝69.7%

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問11×問5

「いつ避難するか」と「普段、情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアの種類が多くで、「揺れがおさまった後、すぐに」が約50%以上と最も高い割合となっている。

問11											
		調査数	(1) 揺れがおさまった後、	(2) 津波警報が出たら	(3) 呼びかけから避難したら	(4) 周りの人が避難したら	(5) 家族が避難したら	(6) 状況を見極め、自宅の浸水想定を判断して避難するか	(7) マンションなどの避難階に	(8) 避難しない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位							
問5	新聞	177	63.8	14.1	9.0	2.3	2.3	2.3	2.8	2.8	0.6
	テレビ	545	68.1	13.9	7.0	0.9	1.7	2.6	2.6	2.8	0.6
	ラジオ	60	70.0	13.3	10.0	1.7	-	1.7	1.7	-	1.7
	インターネット(SNS含む)	334	70.4	12.6	6.3	0.3	1.5	2.4	2.7	3.6	0.3
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	6	50.0	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-
	その他	5	40.0	40.0	-	-	-	-	-	20.0	-
	不明	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-

問11×問10

「いつ避難するか」と「津波が到達する時間を具体的に知っているか」とのクロス分析

津波が到達する時間別において、いずれも「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高い割合となっている。

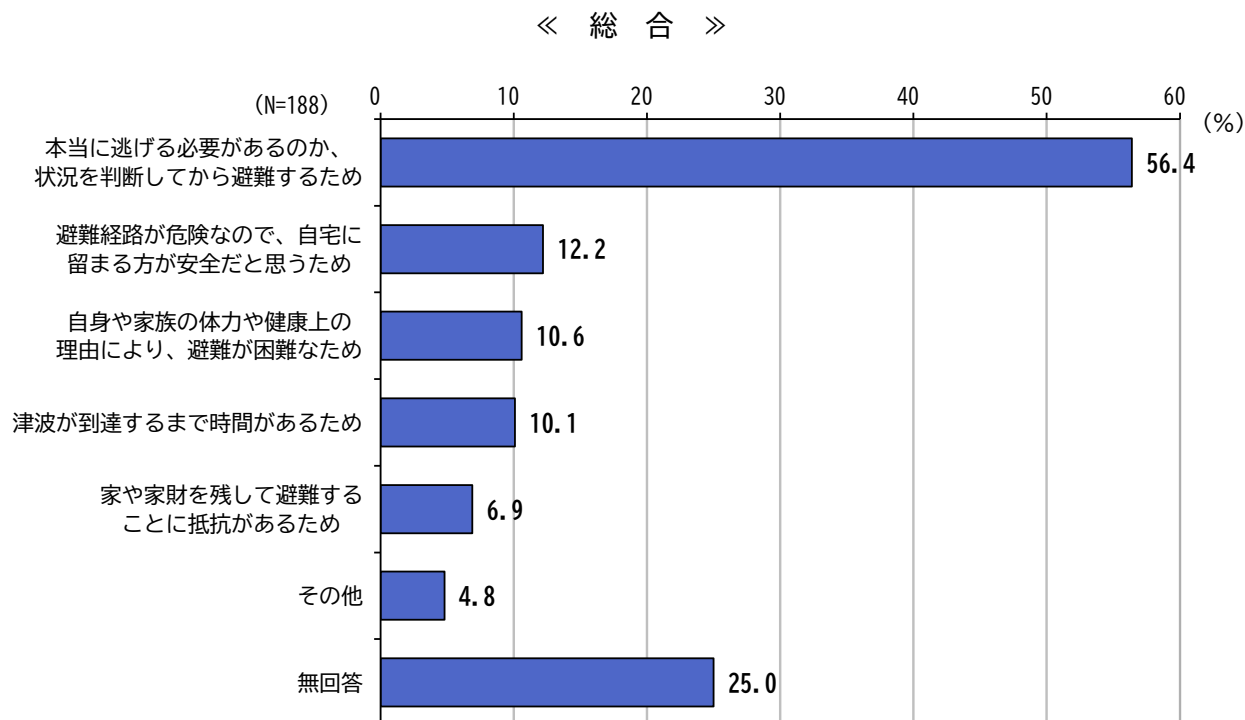
問11											
		調査数	(1) 揺れがおさまった後、	(2) 津波警報が出たら	(3) 呼びかけから避難したら	(4) 周りの人が避難したら	(5) 家族が避難したら	(6) 状況を見極め、自宅の浸水想定を判断して避難するか	(7) マンションなどの避難階に	(8) 避難しない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位							
問10	10分未満	93	73.1	17.2	5.4	-	-	1.1	-	3.2	-
	30分未満	164	70.1	12.8	7.3	-	1.2	1.8	3.7	3.0	-
	60分未満	49	71.4	10.2	4.1	-	2.0	2.0	10.2	-	-
	60分以上	24	58.3	16.7	8.3	4.2	4.2	4.2	-	4.2	-
	具体的な時間は知らない	155	63.9	15.5	8.4	2.6	2.6	2.6	1.3	2.6	0.6

問 12 すぐに避難しない理由

問12 問11で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

すぐに避難しない理由はなんですか。（当てはまるものすべてに○）

すぐに避難しない理由としては、「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が56.4%と最も高く、次いで「避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため」12.2%、「自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため」10.6%、「津波が到達するまで時間があるため」10.1%と続いている。



【前回比較】

令和6年度では「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」は令和3年度より減少している。

【性別】

男女とも「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」の割合が、男性45.3%、女性63.6%と最も高く、男性では「自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため」14.7%、女性では「避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため」11.8%が続いている。

【年代別】

すべての年代で「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」の割合が最も高く、中でも50歳代が73.0%と高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が最も高くなっている。

◀ 前回調査・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 難か本 す、当 る状に た況逃 めをげ る判 断必 し要 てが かあ らる 避の	(2) う宅避 たに難 め留経 路 るが 方危 が険 安な 全の だど と思 自	(3) な自 た理 め身 や に家 族 の 、 体 力 難 が 健 康 上	(4) あ津 る波 たが め 到達 する ま で 時 間 が	(5) こ家 とや に家 抵財 抗を が残 あし て た 避 め 難 する	(6) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位									
今回調査(R6)		188	56.4	12.2	10.6	10.1	6.9	4.8	25.0
前回調査(R3)		207	65.2	10.1	10.1	10.1	6.8	4.3	15.9
性別	男性	75	45.3	12.0	14.7	13.3	10.7	8.0	24.0
	女性	110	63.6	11.8	7.3	7.3	4.5	2.7	26.4
	回答しない	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-
年代別	10歳代・20歳代	8	62.5	-	-	-	25.0	12.5	12.5
	30歳代	12	50.0	16.7	8.3	25.0	16.7	-	8.3
	40歳代	28	60.7	14.3	-	7.1	10.7	10.7	17.9
	50歳代	37	73.0	16.2	5.4	8.1	8.1	-	16.2
	60歳代	40	60.0	7.5	12.5	7.5	7.5	-	27.5
	70歳以上	63	42.9	12.7	19.0	12.7	-	7.9	36.5
	農林業	8	25.0	-	-	-	-	-	75.0
職業別	漁業	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	8	75.0	25.0	25.0	25.0	-	12.5	-
	会社員(役員を含む)、公務員	63	61.9	14.3	3.2	11.1	11.1	1.6	20.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5	80.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-
	主婦・主夫	18	55.6	5.6	16.7	-	5.6	-	38.9
	パート、アルバイト	21	47.6	14.3	9.5	9.5	4.8	4.8	28.6
	学生	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	52	51.9	13.5	19.2	11.5	3.8	5.8	28.8
	その他	9	55.6	-	-	22.2	-	22.2	-

問12×問10

「すぐに避難しない理由」と「津波が到達する時間を具体的に知っているか」とのクロス分析

津波が到達する時間別において、いずれも「本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため」が最も高い割合となっている。

		問12							
		調査数	(1) 難か本 す、当 る状に た況逃 めをげ たを判 断必し 要てが かある らる避 の	(2) う宅避 たに難 め留経 る路 るが 方危 が険 安な のだ とで と思 自	(3) な理身 た由や め家に に族 の 、体 避力 や難 が健 困康 難上	(4) あ津 る波 たが め到 達 す る ま で 時 間 が	(5) こ家 とや に家 抵財 抗を が残 あし てあ るた め避 難 す る	(6) そ の 他	無 回 答
問 1 0	10分未満	25	36.0	8.0	16.0	16.0	4.0	-	28.0
	30分未満	43	58.1	14.0	9.3	11.6	4.7	7.0	23.3
	60分未満	9	77.8	11.1	11.1	11.1	11.1	-	11.1
	60分以上	10	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	20.0
	具体的な時間は知らない	53	54.7	11.3	7.5	5.7	7.5	5.7	30.2

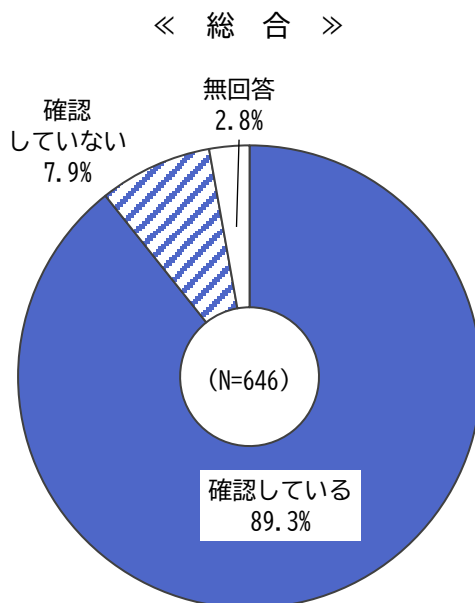
【表の見方】
比率(%)
網掛け=

1 位
2 位

問 13 避難場所を確認しているか

問13 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

津波からの避難場所の確認については、「確認している」が89.3%、「確認していない」が7.9%となっている。



【前回比較】

令和3年度と大きな差は見られない。

【性別】

「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんど無い。

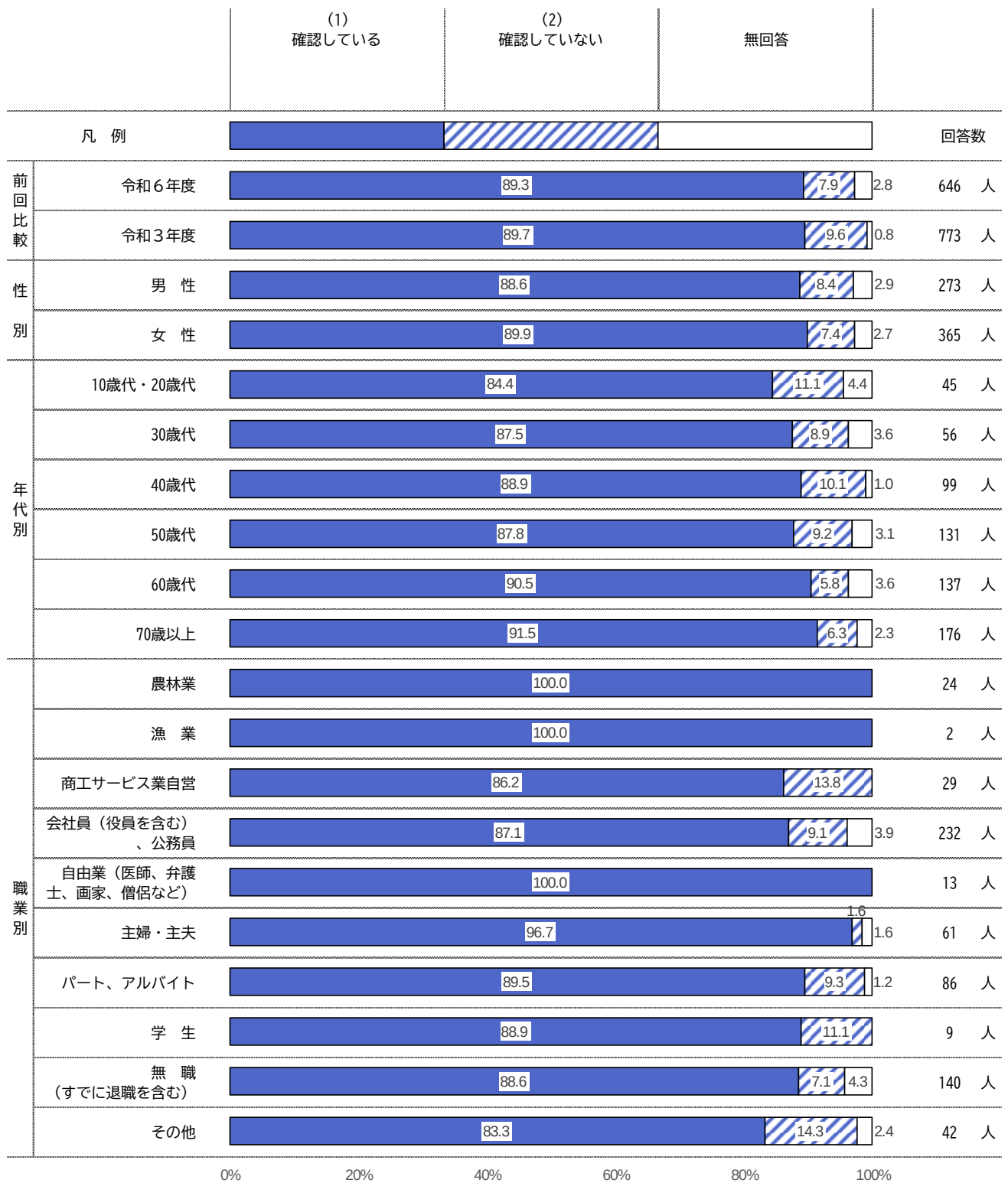
【年代別】

70歳以上は「確認している」が91.5%と他の年代と比べて高くなっている。一方、10歳代・20歳代は「確認している」が84.4%と最も低くなっている。

【職業別】

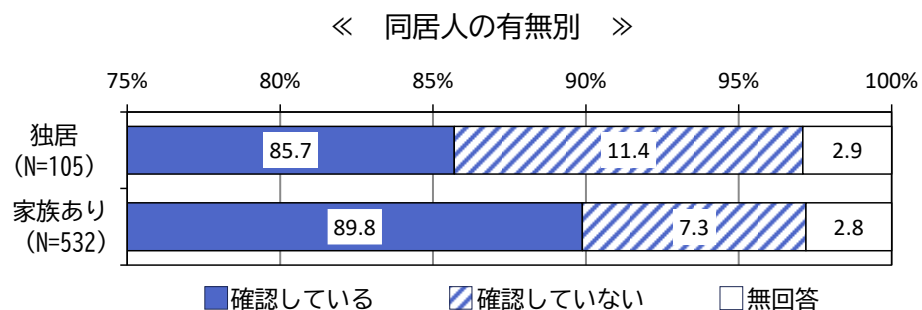
商工サービス業自営及び学生、その他は、「確認していない」が10%を超えており他の職業と比べて高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



【同居人の有無別】

「確認している」は家族あり世帯で89.8%と、独居世帯の85.7%より4.1ポイント高く、「確認していない」では独居世帯の方が11.4%と家族あり世帯の7.3%より4.1ポイント高くなっている。



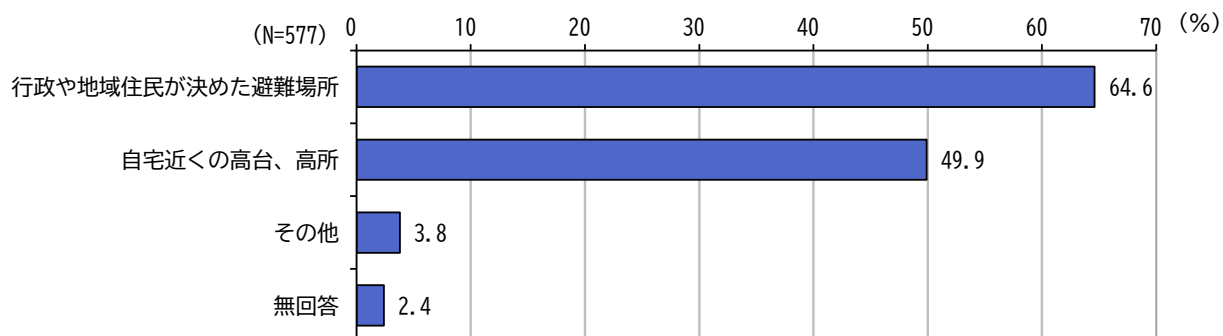
問 14 どこに避難するか

問14 問13で「1 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

避難する場所は、「行政や地域住民が決めた避難場所」が64.6%、「自宅近くの高台、高所」が49.9%となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度と大きな差は見られない。

【性別】

「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんど無い。

【年代別】

「行政や地域住民が決めた避難場所」は、すべての年代で50%以上を占めている。

【職業別】

「行政や地域住民が決めた避難場所」は、すべての職業で60%以上を占めている。

◀ 前回調査・性別・年代別・職業別 ▶

		調査 数	(1) 行政 や地 域住 民が 決め た避 難場 所	(2) 自 宅 近 く の 高 台、 高 所	(3) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝						
1 位 2 位						
今回調査(R6)		577	64.6	49.9	3.8	2.4
前回調査(R3)		693	68.1	50.1	30.5	1.0
性別	男性	242	67.4	46.3	5.4	3.3
	女性	328	62.8	52.7	2.7	1.2
	回答しない	6	50.0	50.0	-	33.3
年代別	10歳代・20歳代	38	73.7	36.8	2.6	2.6
	30歳代	49	73.5	42.9	-	2.0
	40歳代	88	68.2	52.3	2.3	1.1
	50歳代	115	61.7	57.4	3.5	2.6
	60歳代	124	58.9	58.9	3.2	2.4
	70歳以上	161	64.0	41.6	6.8	3.1
職業別	農林業	24	70.8	37.5	-	4.2
	漁業	2	100.0	100.0	-	-
	商工サービス業自営	25	68.0	48.0	4.0	-
	会社員(役員を含む)、公務員	202	64.4	50.5	2.5	3.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	13	76.9	38.5	7.7	-
	主婦・主夫	59	62.7	54.2	-	1.7
	パート、アルバイト	77	66.2	57.1	3.9	-
	学生	8	87.5	12.5	-	-
	無職(すでに退職を含む)	124	61.3	46.8	7.3	3.2
	その他	35	60.0	51.4	8.6	5.7

問 15 避難場所や避難経路に対してどのような不安があるか

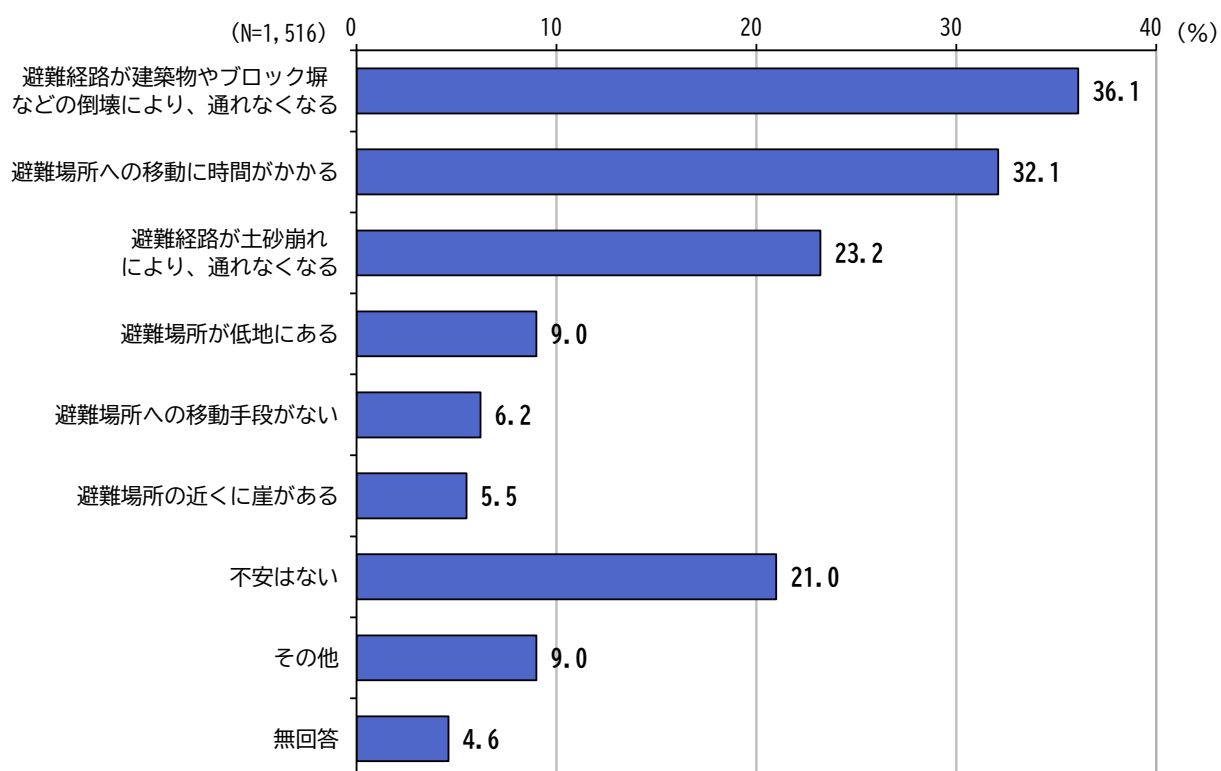
問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

避難経路に対する不安は、「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が36.1%で最も高く、次いで「避難場所への移動に時間がかかる」32.1%、「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」23.2%と続いている。

避難場所に対する不安は、「避難場所が低地にある」が9.0%、「避難場所の近くに崖がある」5.5%となっている。

「不安はない」は21.0%となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和3年度と大きな差は見られない。

【性別】

「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」は男性33.8%、女性37.7%と女性の方が3.9ポイント高く、「不安はない」は男性27.1%、女性17.0%と男性の方が10.1ポイント高くなっている。

【年代別】

10歳代～60歳代では「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」が最も高く、70歳以上では「避難場所への移動に時間がかかる」37.3%が最も高くなっている。

【職業別】

商工サービス業自営、会社員、公務員、自由業、主婦・主夫、パート・アルバイト、学生、その他では「避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる」、農林業では「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」、漁業では「不安はない」、無職では「避難場所への移動に時間がかかる」が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

		調査数	(1) れク避 な塀難 くなど 路の が倒 壊建 築に 物 より ブ 、口 通ッ	(2) か避 が難 る場 所へ の移 動に 時間 が	(3) り避 、難 通経 路路 がな く土 砂 崩れ によ	(4) 避難 場所 が低 地に ある	(5) い避 難場 所へ の移 動手 段が な	(6) 避難 場所 の近 くに 崖が ある	(7) 不安 はない	(8) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1 位	2 位							
今回調査(R6)		1,516	36.1	32.1	23.2	9.0	6.2	5.5	21.0	9.0	4.6
前回調査(R3)		773	35.3	34.8	18.4	9.3	4.1	3.9	21.6	10.7	3.4
性別	男性	627	33.8	31.3	23.0	6.4	4.5	5.4	27.1	6.7	4.0
	女性	860	37.7	32.7	23.0	10.6	7.4	5.2	17.0	11.0	4.8
	回答しない	18	44.4	44.4	27.8	27.8	5.6	5.6	5.6	-	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	44.2	33.7	26.0	10.6	4.8	4.8	21.2	5.8	1.9
	30歳代	151	42.4	30.5	32.5	11.3	5.3	6.0	17.9	9.3	2.0
	40歳代	216	42.1	25.5	24.1	9.7	4.2	2.8	18.5	8.3	5.6
	50歳代	278	39.6	32.4	28.1	7.9	2.9	6.1	18.0	12.9	3.6
	60歳代	331	36.9	30.5	19.9	8.8	6.3	5.1	25.4	5.4	3.6
	70歳以上	426	26.1	37.3	17.8	8.7	9.9	6.3	22.1	10.6	6.6
職業別	農林業	63	20.6	17.5	33.3	4.8	6.3	4.8	30.2	14.3	-
	漁業	3	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-
	商工サービス業自営	66	43.9	25.8	21.2	13.6	3.0	3.0	22.7	4.5	7.6
	会社員(役員を含む)、公務員	537	41.0	28.5	25.9	7.4	3.9	5.0	21.0	7.8	4.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	26.7	23.3	13.3	10.0	10.0	3.3	20.0	20.0	6.7
	主婦・主夫	162	35.8	35.2	24.1	7.4	7.4	6.8	18.5	8.6	5.6
	パート、アルバイト	189	39.7	38.1	22.2	11.1	9.0	5.8	17.5	11.6	3.2
	学生	21	38.1	23.8	14.3	28.6	-	-	28.6	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	28.9	38.0	16.3	9.6	8.1	6.0	22.0	8.7	6.0
	その他	94	36.2	33.0	30.9	10.6	7.4	6.4	20.2	11.7	3.2

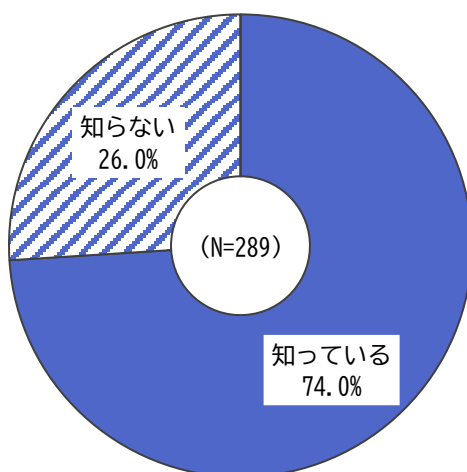
問 16 子どもが通っている学校の避難場所を知っているか

問16 お子さんが学校に通っている方のみお答えください。

東日本大震災では、お子さんを学校に迎えに行き、犠牲になるケースが多くありましたが、お子さんが通っている学校の避難場所を知っていますか。(ひとつだけ○)

お子さんが通っている学校の避難場所を知っているかについて、「知っている」が74.0%、「知らない」が26.0%となっている。

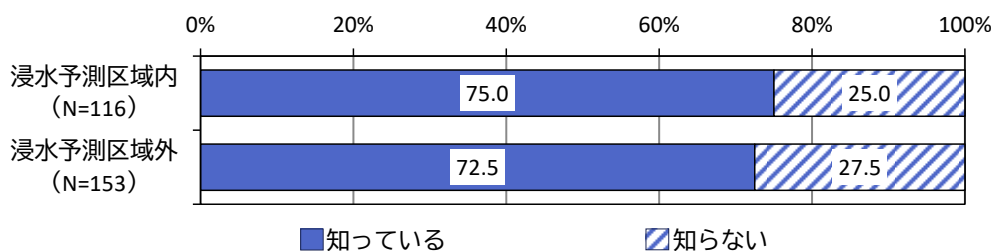
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「知っている」と回答した割合は、浸水予測区域内では75.0%、浸水予測区域外では72.5%となっている。

《 浸水予測区域別 》



※浸水予測区域不明 20 名を除く

【性別】

「知っている」と回答した割合は、男性で75.2%、女性で73.8%となっている。

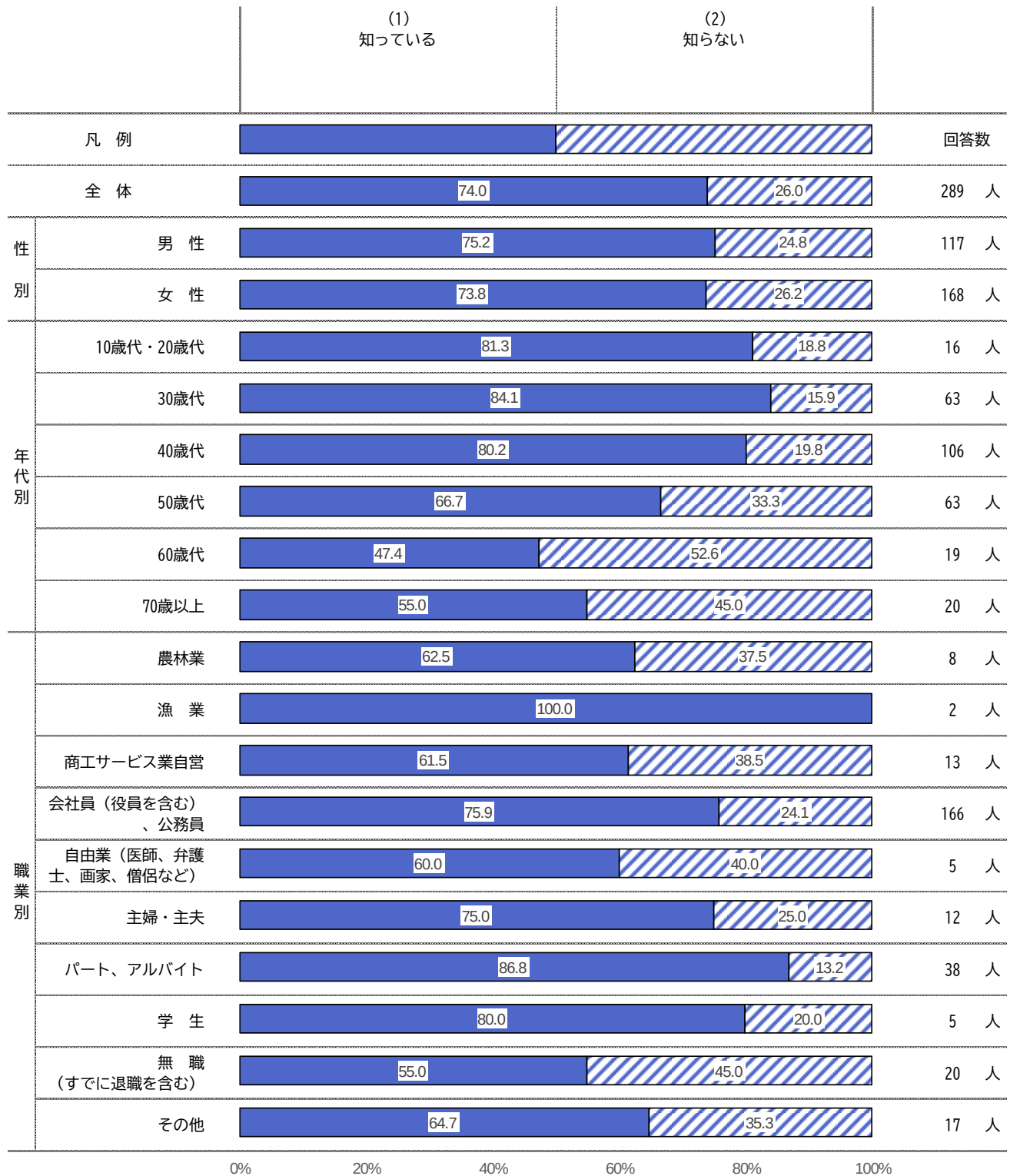
【年代別】

60歳代を除くすべての年代で「知っている」の割合が高く、60歳代では「知らない」52.6%が高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「知っている」の割合が高く、50%を超えている。

◀ 性別・年代別・職業別 ▶



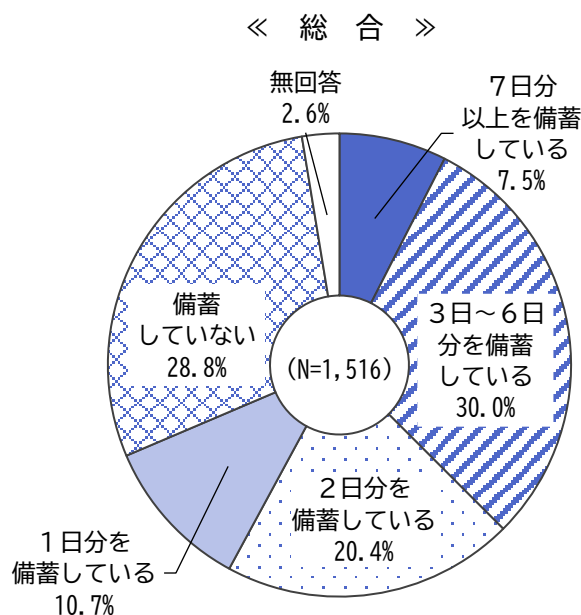
(3) 家庭での備えについて

問 17 災害時用の飲料水・食料の備蓄状況

問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

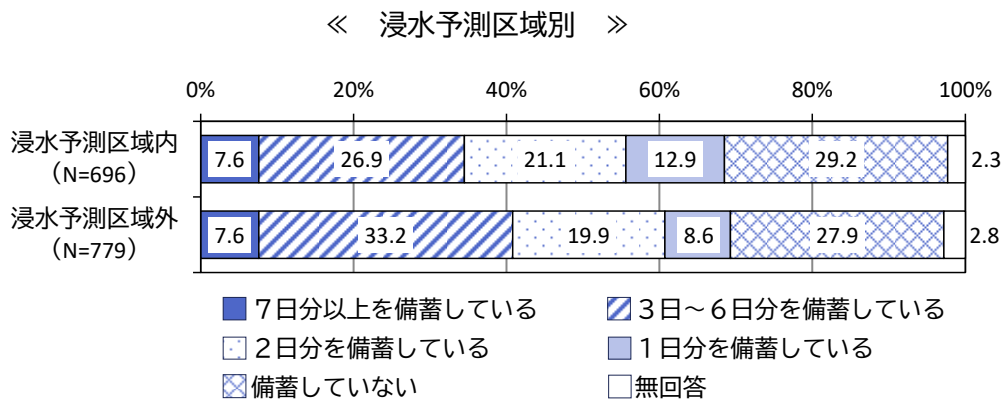
長期保存の飲料水の備蓄状況では、「3日～6日分を備蓄している」30.0%が最も高く、次いで「備蓄していない」28.8%、「2日分を備蓄している」20.4%、「1日分を備蓄している」10.7%と続いている。



【浸水予測区域別】

浸水予測区域外の方が、浸水予測区域内よりも備蓄している割合が0.8ポイント高い。

備蓄している割合としては、「3日～6日分を備蓄している」の割合が浸水予測区域内では26.9%、浸水予測区域外では33.2%と最も高くなっている。



【前回比較】

令和3年度と比較すると、「備蓄していない」の割合が2.5ポイント減少している。

【性別】

「備蓄している」割合は、男性67.5%、女性69.7%となっており、女性の方が2.2ポイント高くなっている。

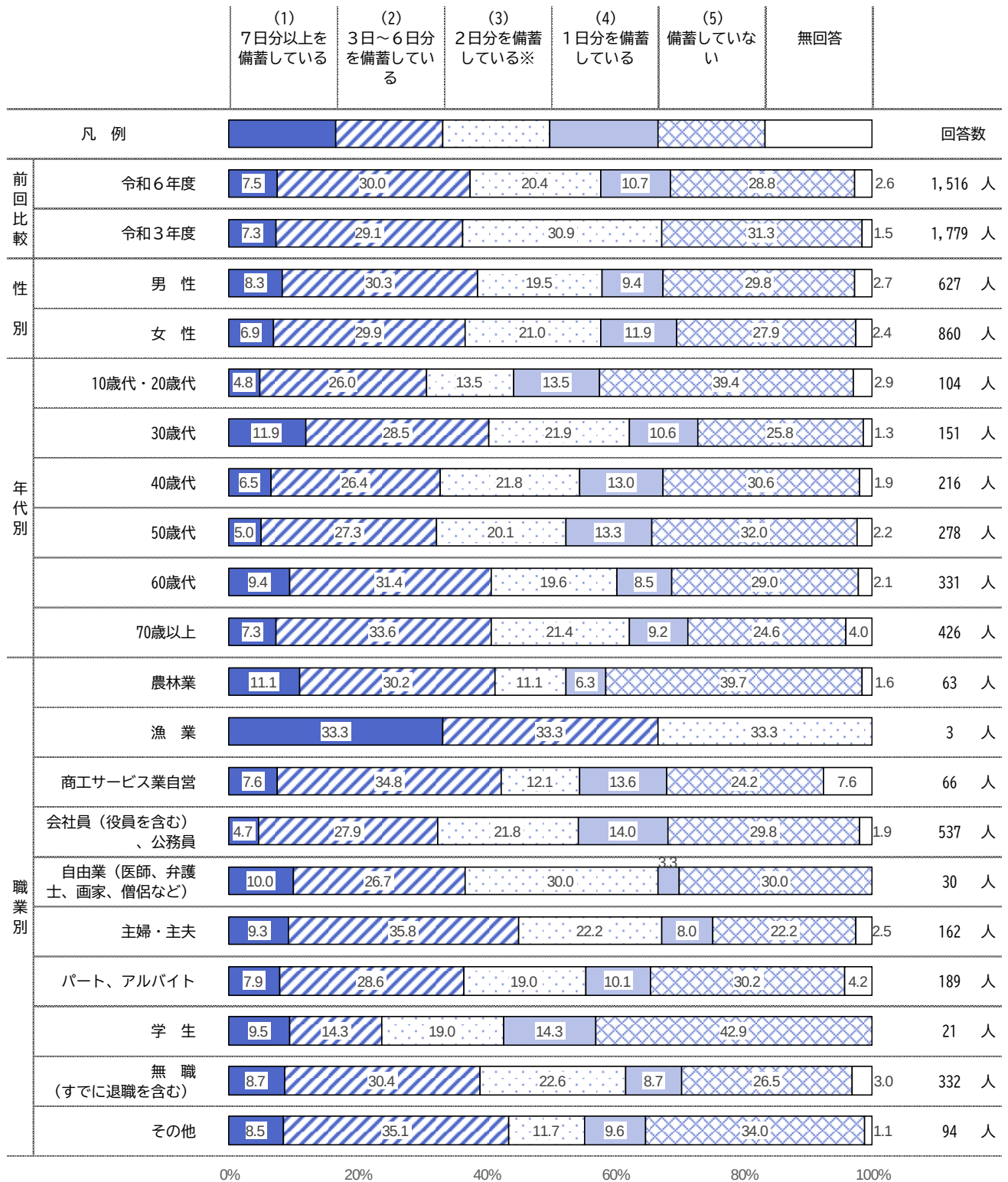
【年代別】

10歳代・20歳代、40歳代、50歳代は「備蓄していない」の割合が30%を超えている。

【職業別】

学生では「備蓄していない」の割合が42.9%と最も高く、他の職業に比べて高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



※令和3年度では「1日～2日分を備蓄している」となっており、「2日分を備蓄している」にまとめた

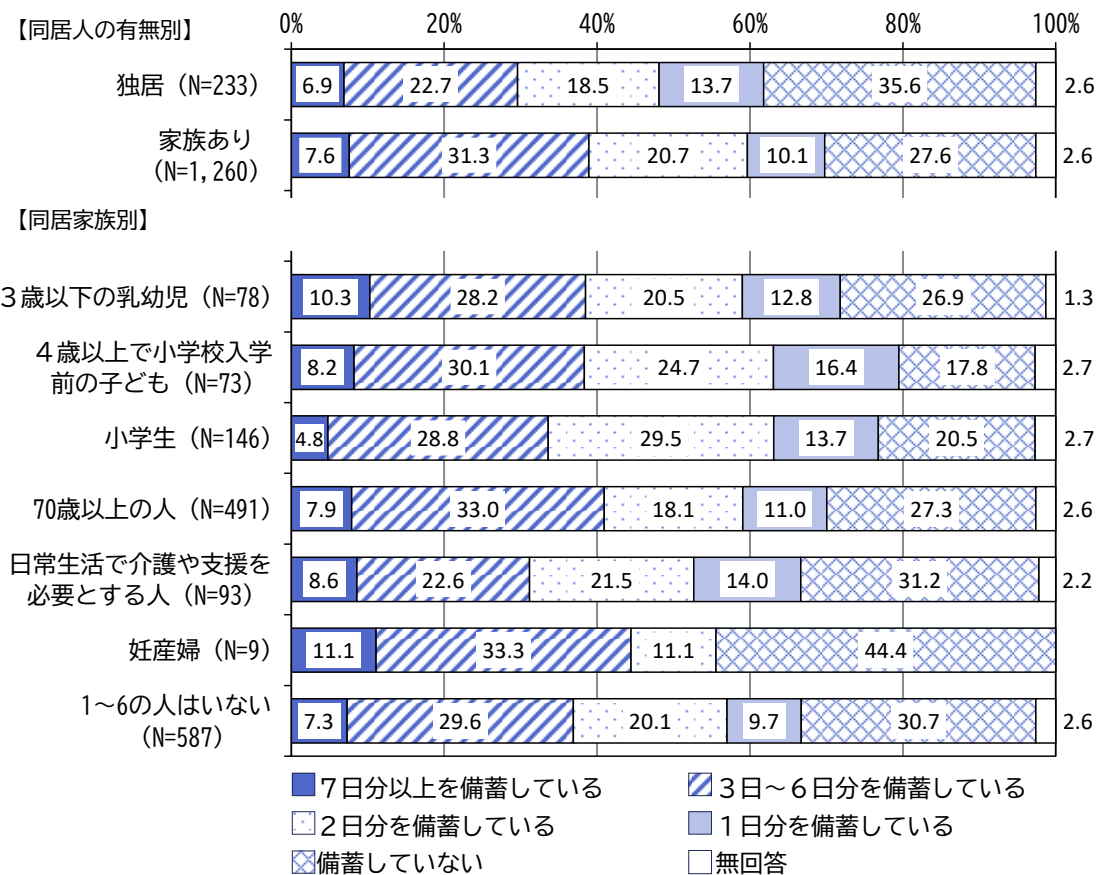
【同居人の有無別】

「備蓄していない」は独居世帯で35.6%と、家族あり世帯の27.6%より8.0ポイント高くなっている。

【同居家族別】

妊産婦では「備蓄していない」の割合が44.4%と他の同居家族より高くなっている。

≪ 同居人の有無別・同居家族別 ≫



問17×問5

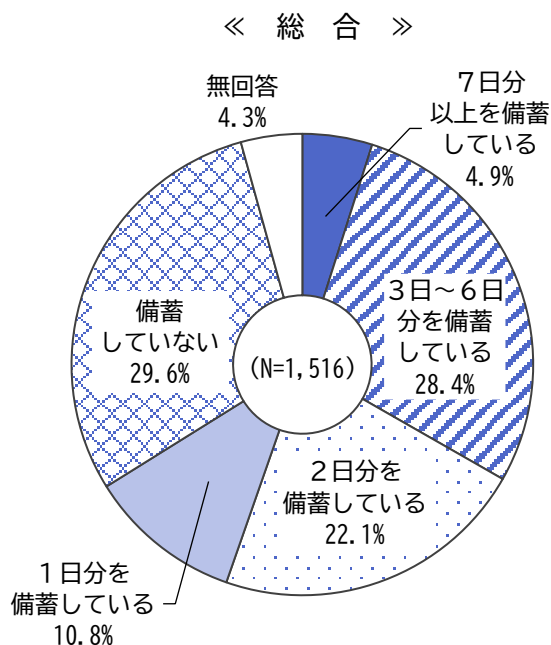
「飲料水の備蓄状況」と普段、「情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「テレビ」、「ラジオ」、「その他」と回答した方は「3日～6日分を備蓄している」が、「インターネット（SNSを含む）」、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」と回答した方は「備蓄していない」の割合が最も高くなっている。

		問17【飲料水】						
		調査数	(1) 7日分以上を 備蓄してい る	(2) 3日～6日分 を備蓄して いる	(3) 2日分を備 蓄している	(4) 1日分を備 蓄している	(5) 備蓄してい ない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝								
				1位				
				2位				
問5	新聞	429	7.5	35.0	19.8	8.9	25.2	3.7
	テレビ	1,299	7.7	30.1	20.7	9.9	28.9	2.6
	ラジオ	127	5.5	37.0	18.1	15.0	22.0	2.4
	インターネット(SNS含む)	754	8.1	28.6	21.4	11.0	28.9	2.0
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	12.5	18.8	18.8	18.8	31.3	-
	その他	11	-	36.4	27.3	9.1	27.3	-
	無回答	7	-	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3

【食 料】

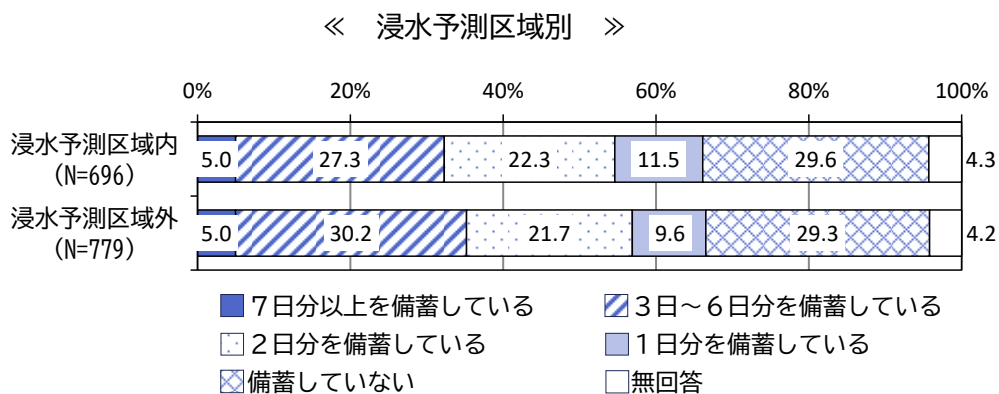
長期保存の食料の備蓄状況では、「備蓄していない」29.6%が最も高く、次いで「3日～6日分を備蓄している」28.4%、「2日分を備蓄している」22.1%と続いている。



【浸水予測区域別】

浸水予測区域外の方が、浸水予測区域内よりも備蓄している割合が0.4ポイント高い。

備蓄している割合としては、「3日～6日分を備蓄している」の割合が、浸水予測区域内で27.3%、浸水予測区域外で30.2%となっている。



【前回比較】

令和3年度と比較すると、「備蓄している」の割合が3.1ポイント減少している。

【性別】

男女とも「備蓄している」割合は60%を超えており、男性で64.7%、女性で67.4%となっている。

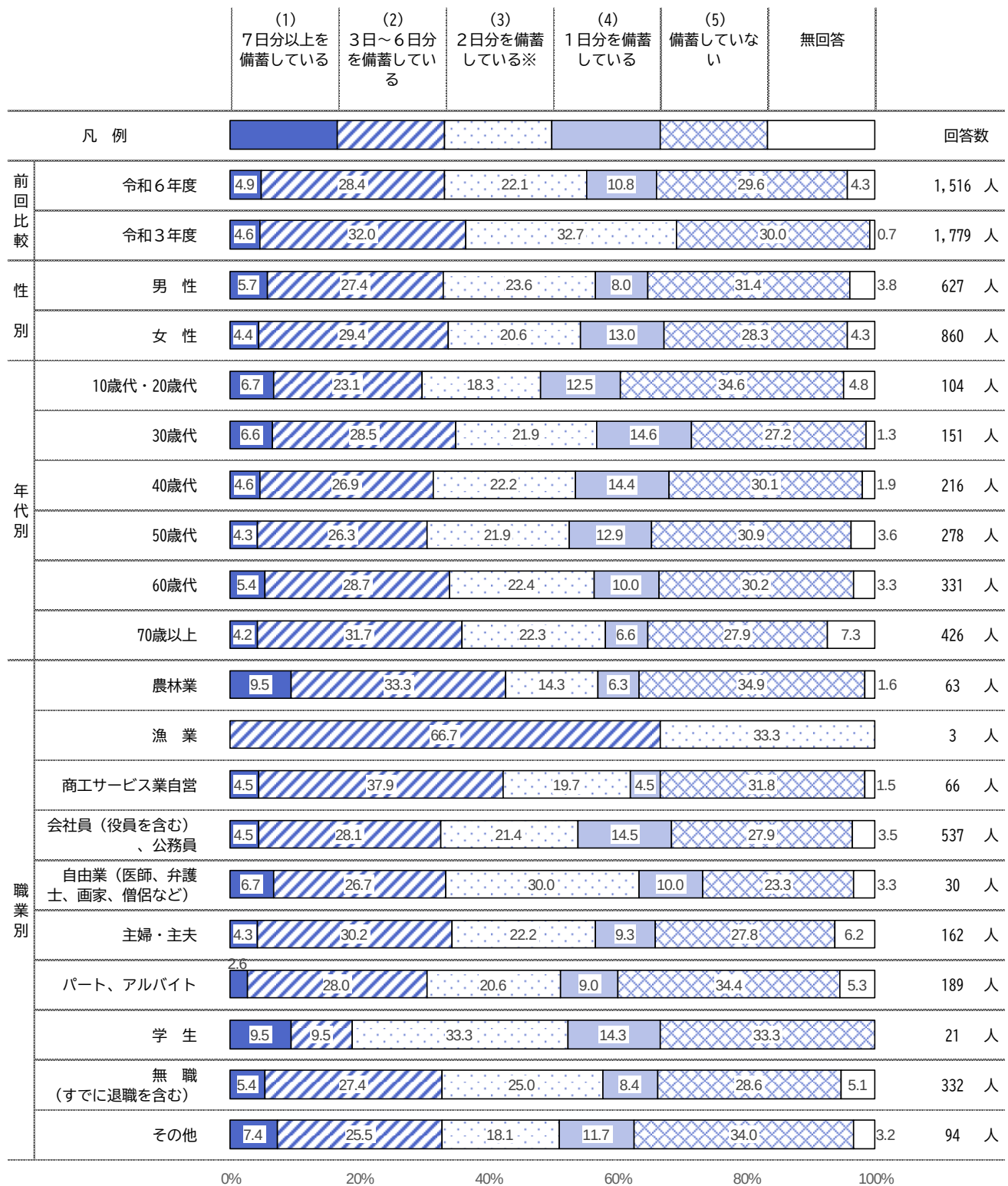
【年代別】

10歳代・20歳代、40歳代、50歳代、60歳代は「備蓄していない」の割合が30%を超えている。

【職業別】

農林業は「備蓄していない」割合が他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



※令和3年度では「1日～2日分を備蓄している」となっており、「2日分を備蓄している」にまとめた

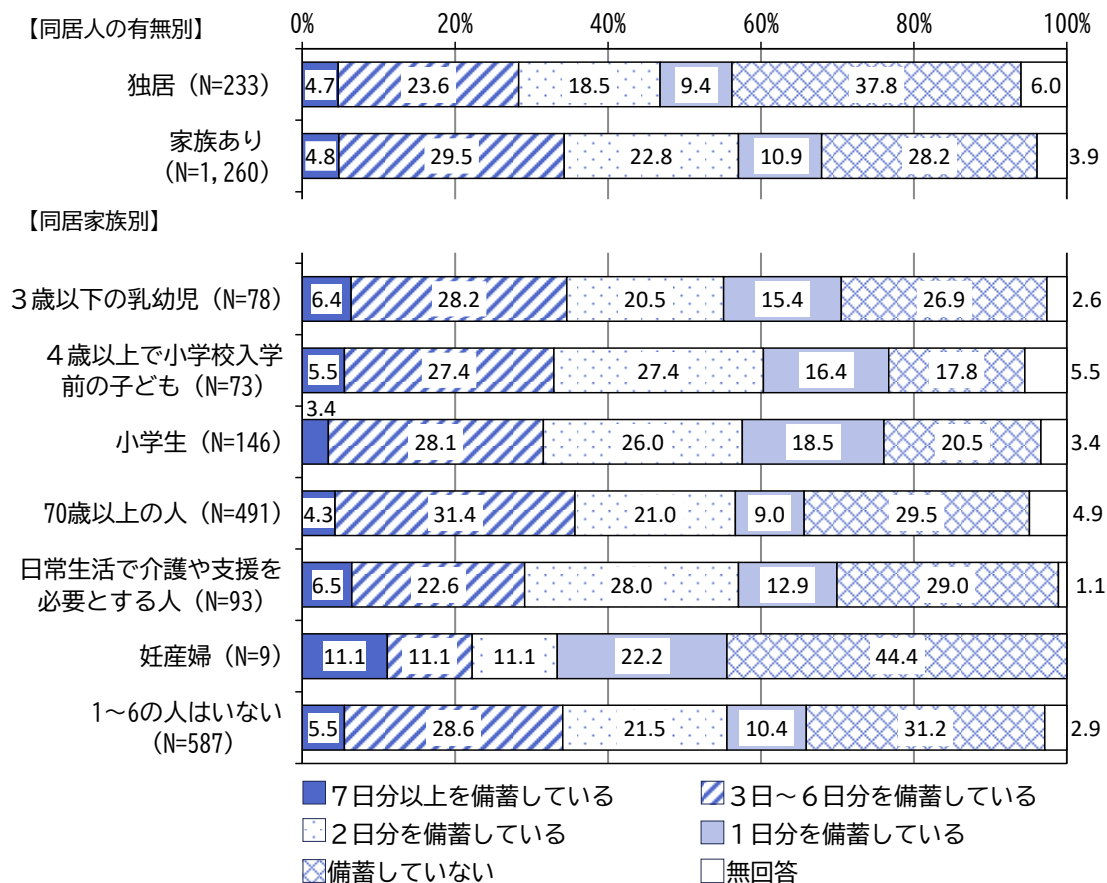
【同居人の有無別】

「備蓄していない」は独居世帯で37.8%と、家族あり世帯の28.2%より9.6ポイント高くなっている。

【同居家族別】

同居家族別では「備蓄していない」が妊産婦を除くほとんどの層で30%を下回っており、特に「4歳以上で小学校入学前の子ども」では17.8%となっている。

◀ 同居人の有無別・同居家族別 ▶



問17×問5

「食料の備蓄状況」と「普段、情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「ラジオ」、「その他」と回答した方は「3日～6日分を備蓄している」が、「テレビ」、「インターネット（SNSを含む）」、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」と回答した方は「備蓄していない」の割合が最も高くなっている。

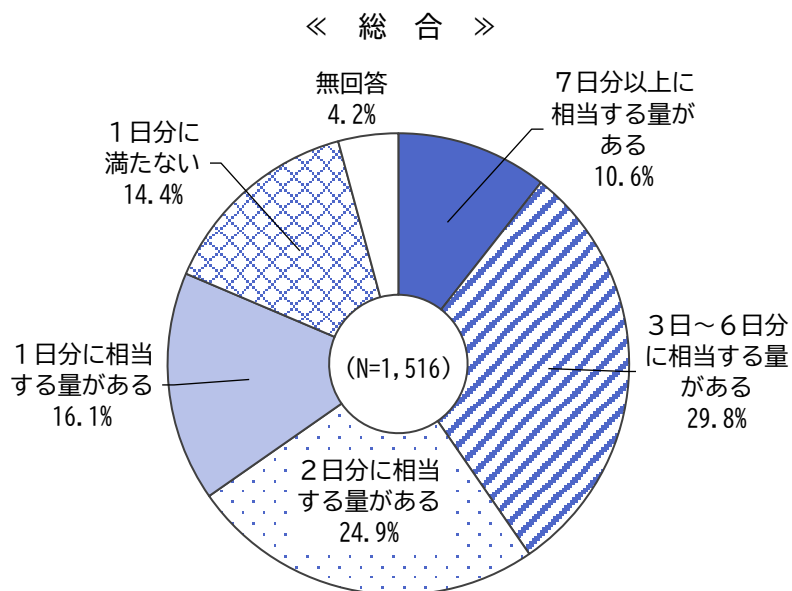
		問17【食料】						
		調査数	(1) 7日分以上を備蓄している	(2) 3日～6日分を備蓄している	(3) 2日分を備蓄している	(4) 1日分を備蓄している	(5) 備蓄していない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝								
				1位				
				2位				
問5	新聞	429	4.0	32.6	23.1	8.6	26.6	5.1
	テレビ	1,299	4.7	28.6	22.6	10.0	29.6	4.4
	ラジオ	127	3.9	33.9	24.4	10.2	22.0	5.5
	インターネット(SNS含む)	754	5.7	27.3	22.5	12.1	29.2	3.2
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	6.3	25.0	12.5	6.3	37.5	12.5
	その他	11	-	54.5	9.1	9.1	27.3	-
	無回答	7	-	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6

問 18 日常的に消費する飲料水・食料のストック状況

問18 問17でお聞きした長期保存の飲料水や食料とは別に、あなたのご自宅には日常的に消費する飲料水、食料のストックが、おおよそ何日分ありますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

日常的に消費する飲料水のストック状況では、「3日～6日分に相当する量がある」29.8%が最も高く、次いで「2日分に相当する量がある」24.9%、「1日分に相当する量がある」16.1%と続いている。



【性別】

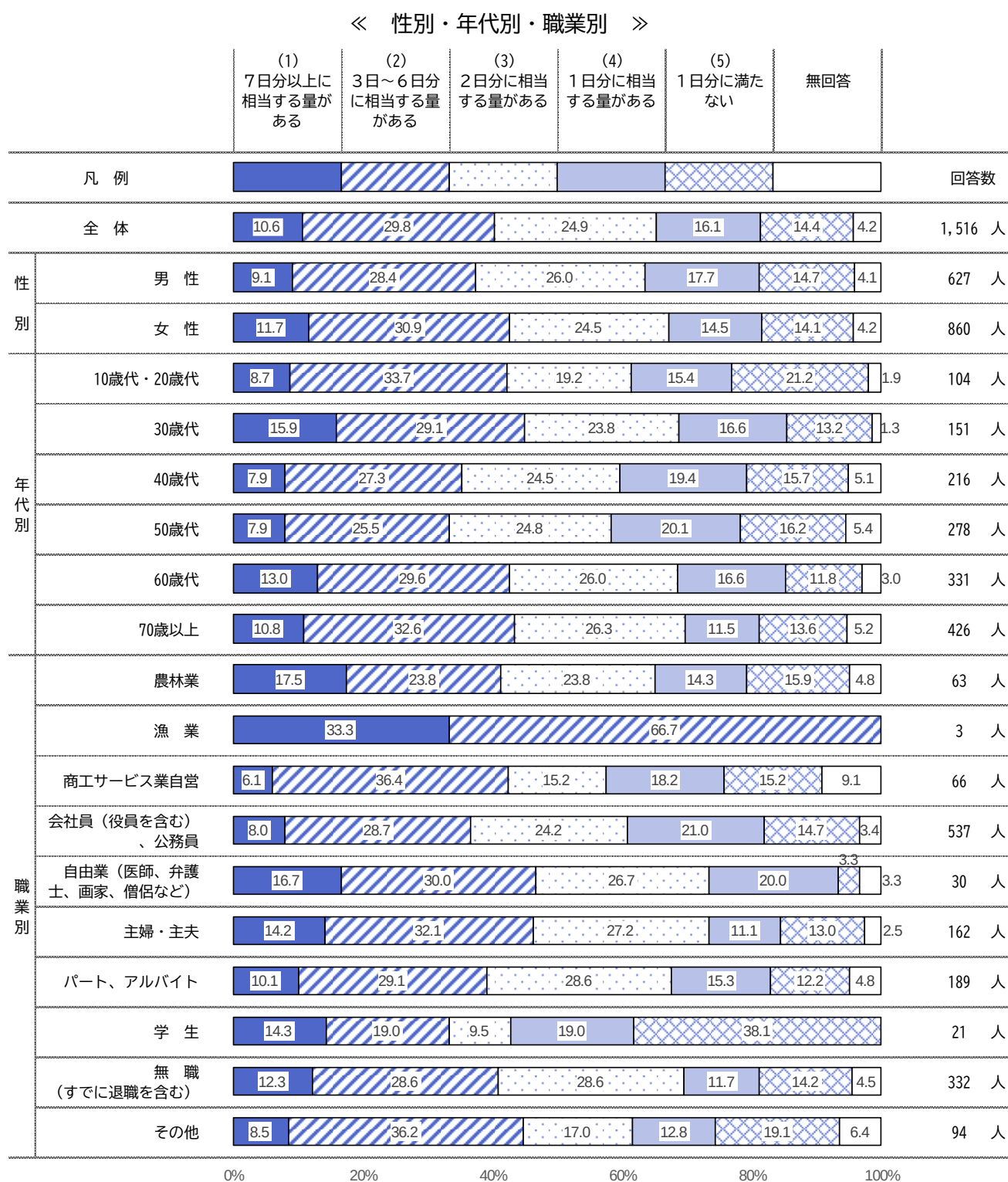
男女とも「3日～6日分に相当する量がある」の割合が最も高く、男性28.4%、女性30.9%となっている。

【年代別】

3日分以上のストックがあると回答した割合は、30歳代で45.0%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

学生では「1日分に満たない」の割合が、38.1%と他の職業より高くなっている。



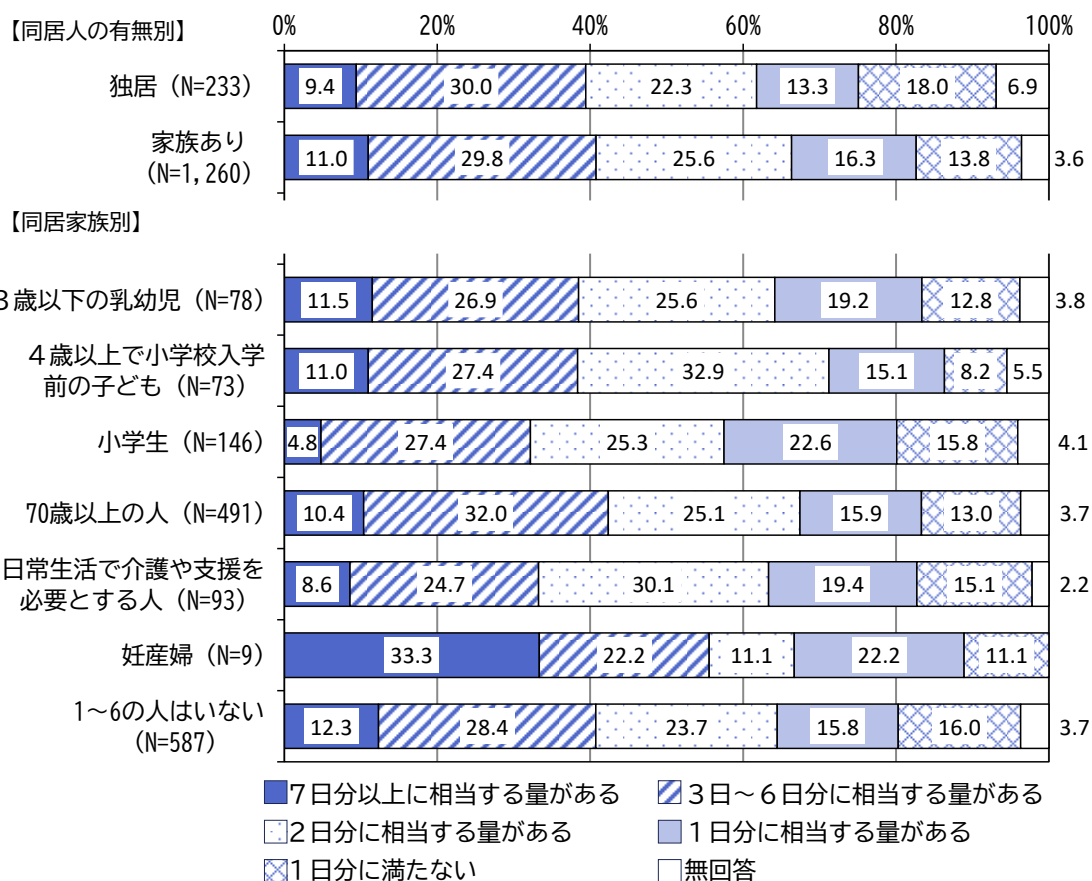
【同居人の有無別】

「1日分に満たない」は独居世帯で18.0%と、家族あり世帯の13.8%より4.2ポイント高くなっている。

【同居家族別】

妊産婦では「7日分以上に相当する量がある」の割合が33.3%と他の同居家族に比べて高くなっている。

≪ 同居人の有無別・同居家族別 ≫



問18×問5

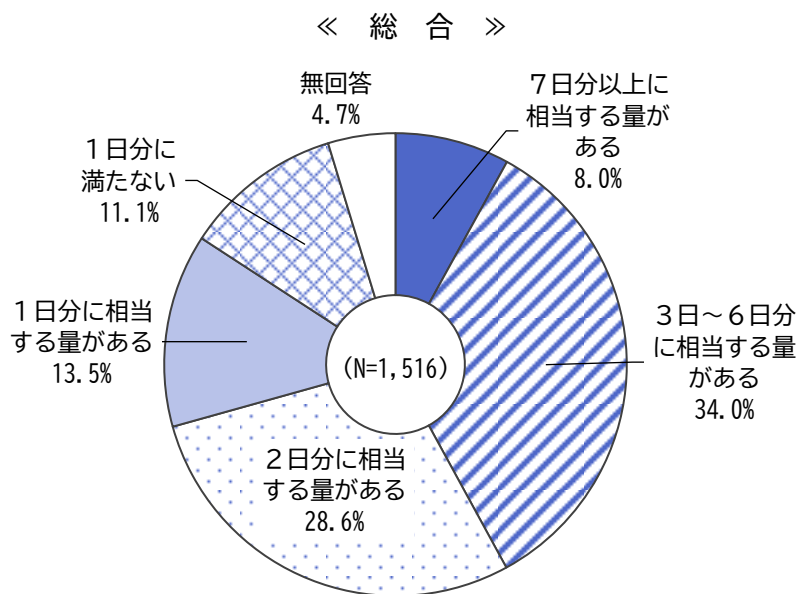
「日常的に消費する飲料水のストック状況」と「普段、情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「テレビ」、「インターネット(SNSを含む)」、「その他」と回答した方は「3日～6日分に相当する量がある」が、「ラジオ」と回答した方は「2日分に相当する量がある」が、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」と回答した方は「1日分に満たない」の割合が最も高くなっている。

問18【飲料水】								
		調査数	(1) が7日 ある以上 に相当する 量	(2) 量3日 がある6日 分に相当する	(3) る2日 分に相当する 量がある	(4) る1日 分に相当する 量がある	(5) 1日分に 満たない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝								
				1位				
				2位				
問5	新聞	429	11.7	32.4	25.6	15.4	10.7	4.2
	テレビ	1,299	10.8	30.0	25.3	15.6	13.8	4.5
	ラジオ	127	8.7	26.0	29.1	15.7	17.3	3.1
	インターネット(SNS含む)	754	11.0	30.4	24.0	17.0	13.9	3.7
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	-
	その他	11	-	72.7	9.1	-	18.2	-
	無回答	7	-	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3

【食 料】

日常的に消費する食料のストック状況では、「3日～6日分の相当する量がある」34.0%が最も高く、次いで「2日分に相当する量がある」28.6%、「1日分に相当する量がある」13.5%と続いている。



【性別】

男女とも「3日～6日分に相当する量がある」の割合が最も高く、男性29.5%、女性37.3%となっている。

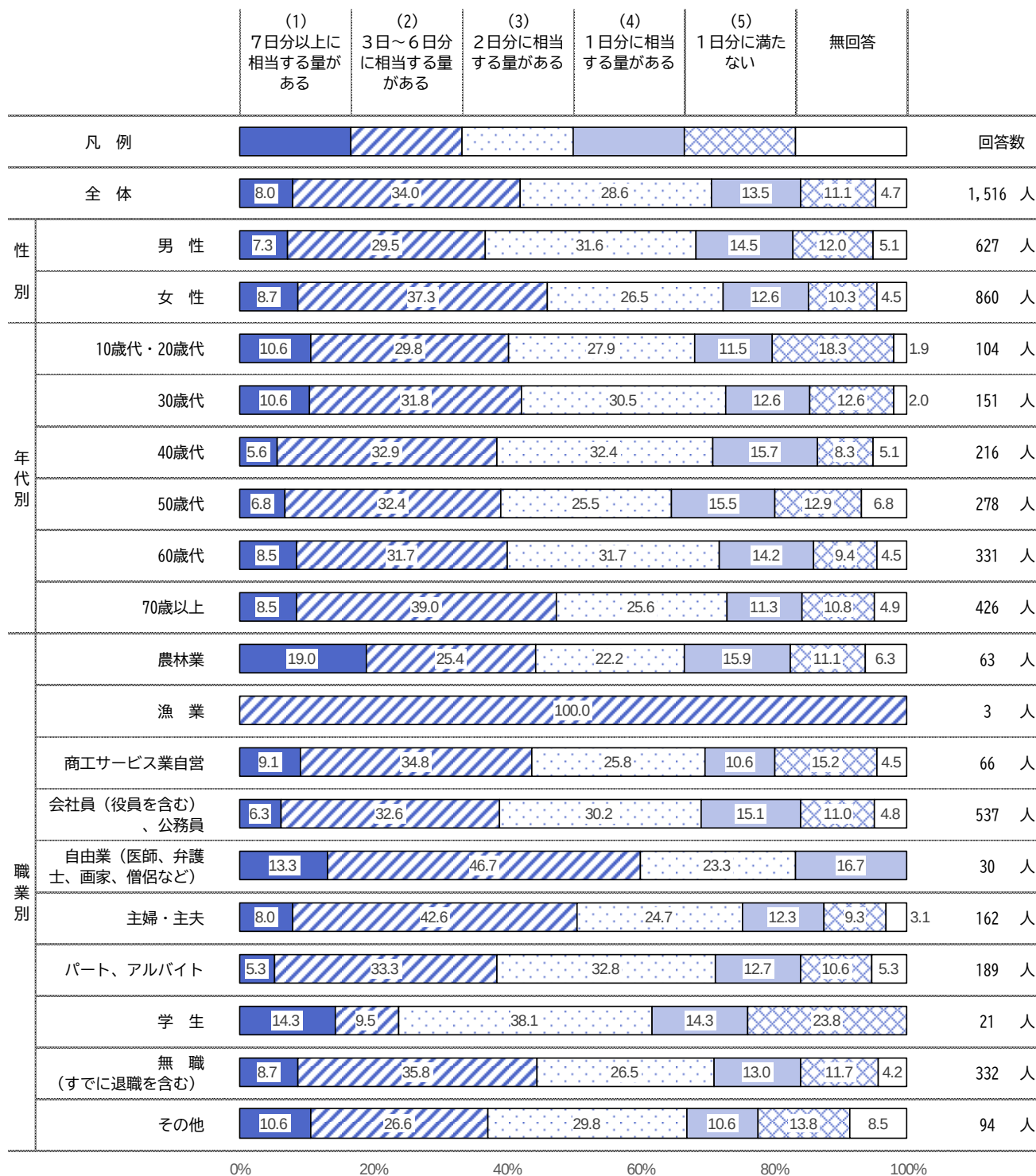
【年代別】

3日分以上のストックがあると回答した割合は、70歳以上で47.5%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

学生では「1日分に満たない」の割合が、23.8%と他の職業より高くなっている。

≪ 性別・年代別・職業別 ≫



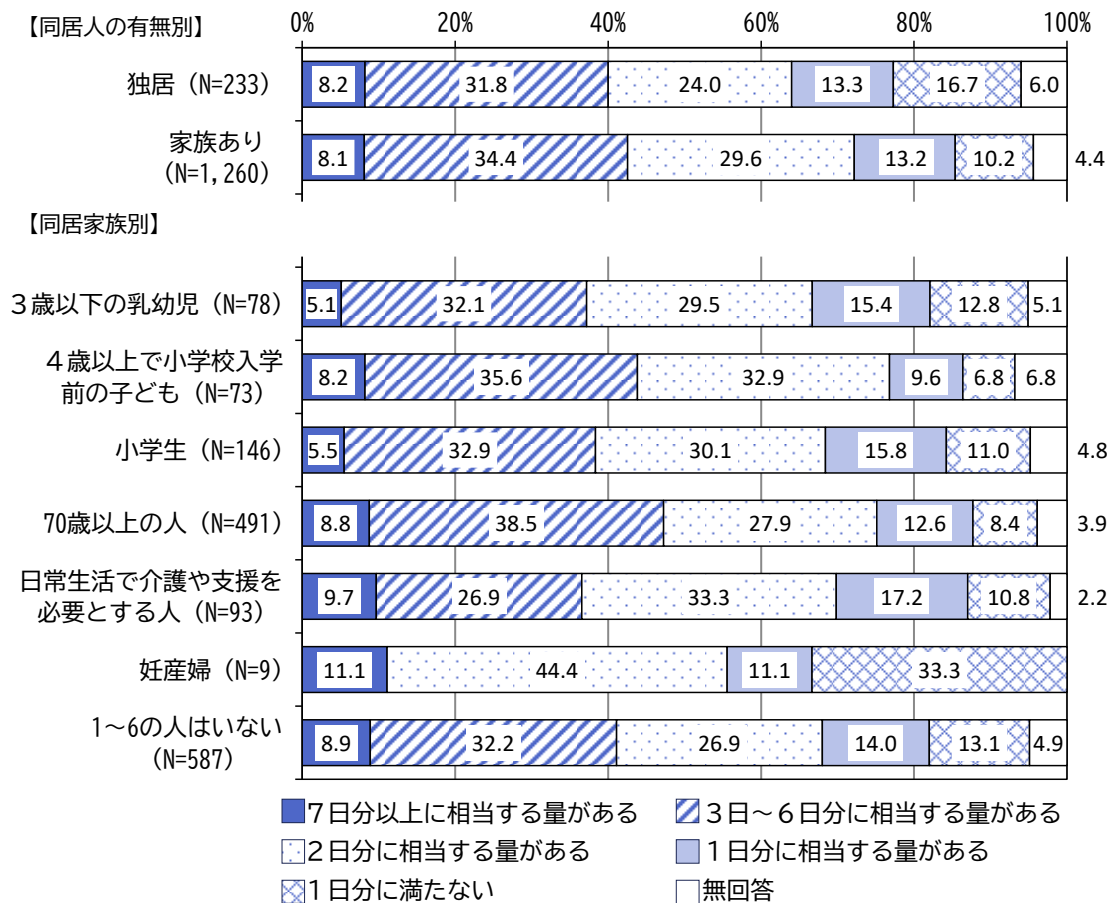
【同居人の有無別】

「1日分に満たない」は独居世帯で16.7%と、家族あり世帯の10.2%より6.5ポイント高くなっている。

【同居家族別】

妊産婦では「2日分に相当する量がある」の割合が44.4%と他の同居家族に比べて高くなっている。

≪ 同居人の有無別・同居家族別 ≫



問18×問5

「日常的に消費する食料のストック状況」と「普段、情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

普段、情報をよく収集するメディアで「新聞」、「テレビ」、「インターネット(SNSを含む)」、「その他」と回答した方は「3日～6日分に相当する量がある」が、「ラジオ」と回答した方は「2日分に相当する量がある」が、「街頭のチラシ、ポスター、掲示板」と回答した方は「1日分に満たない」の割合が最も高くなっている。

		問18【食料】						
		調査数	(1) が7日 分以上 に相当 する量	(2) 量3日 がある 6日分 に相当 する	(3) る2日 分に相 当する 量があ	(4) る1日 分に相 当する 量があ	(5) 1日分 に満た ない	無回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝								
				1位				
				2位				
問5	新聞	429	9.3	36.6	29.6	11.7	8.2	4.7
	テレビ	1,299	7.9	34.3	28.9	12.8	11.1	4.9
	ラジオ	127	8.7	28.3	31.5	14.2	12.6	4.7
	インターネット(SNS含む)	754	7.2	34.9	29.6	13.9	10.1	4.4
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	12.5	18.8	18.8	12.5	37.5	-
	その他	11	9.1	63.6	9.1	9.1	9.1	-
	無回答	7	-	14.3	14.3	57.1	-	14.3

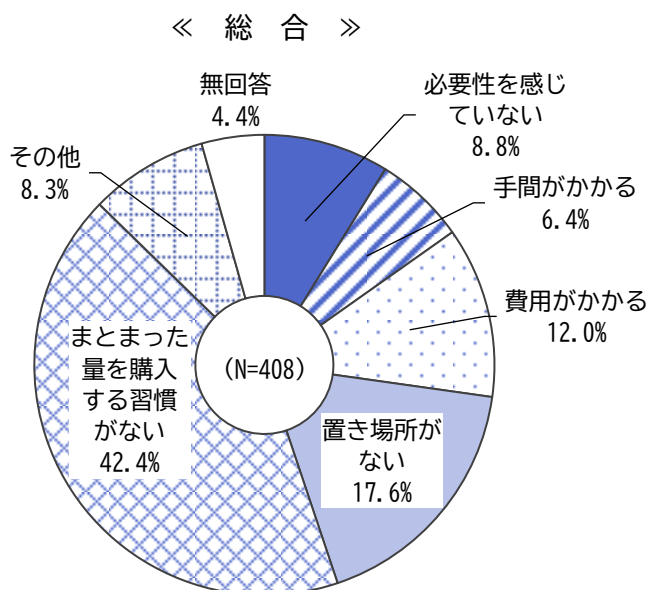
問 19 3日以上備蓄していない理由

問19 問17と問18で回答した量が、合計しても3日分に満たない方のみお答えください。

飲料水、食料を3日以上確保していない（できていない）のはどのような理由からですか。（それぞれ、最も大きな理由にひとつだけ○）

【飲料水】

飲料水を3日以上確保していない理由として、「まとまった量を購入する習慣がない」42.4%が最も高く、次いで「置き場所がない」17.6%、「費用がかかる」12.0%が続いている。



【前回比較】

「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が、令和3年度より15.6ポイント増加している。

【性別】

「まとまった量を購入する習慣がない」の割合は、男性38.7%、女性45.9%と女性の方が7.2ポイント高くなっている。

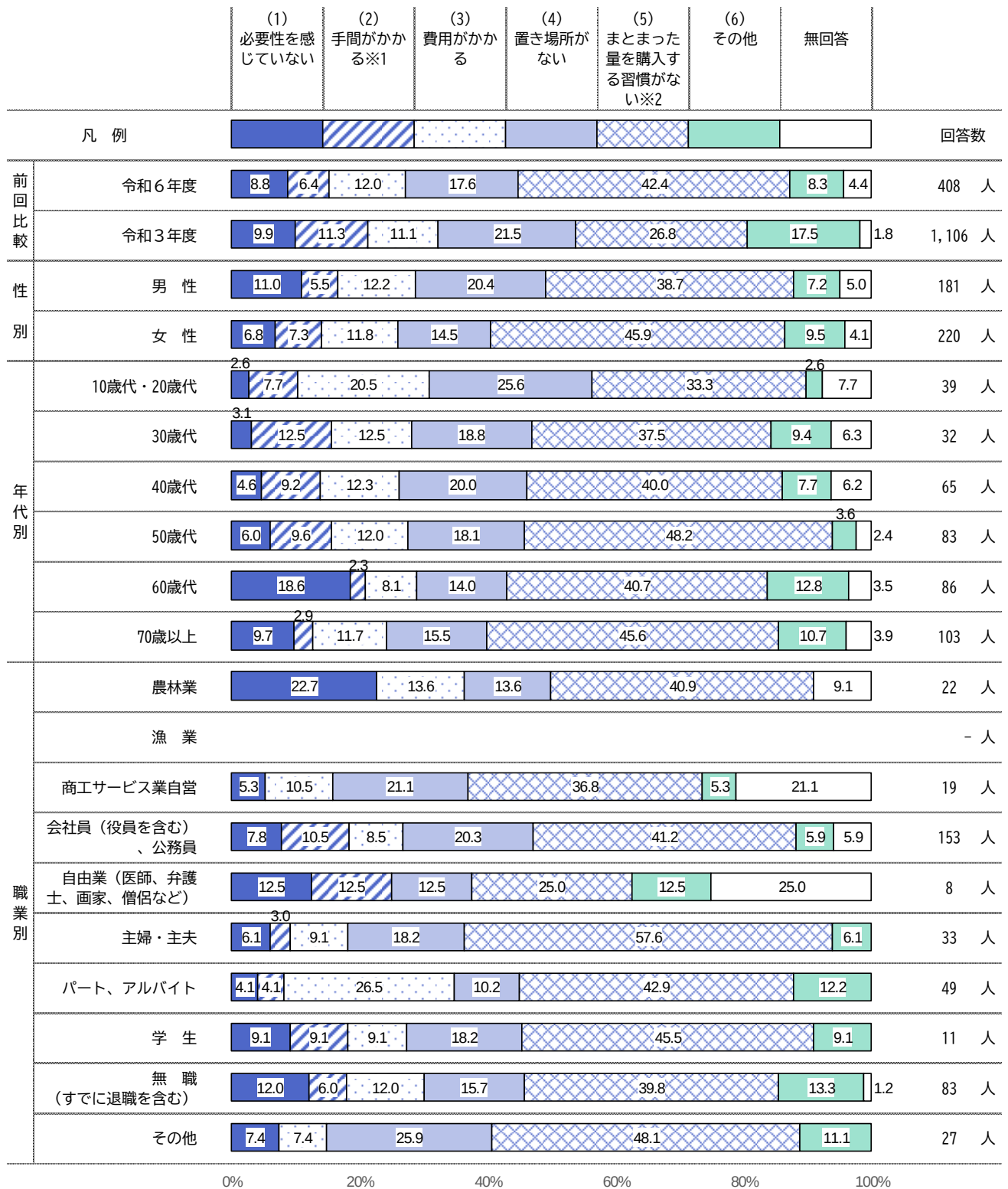
【年代別】

すべての年代で「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

主婦・主夫では「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が57.6%を他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

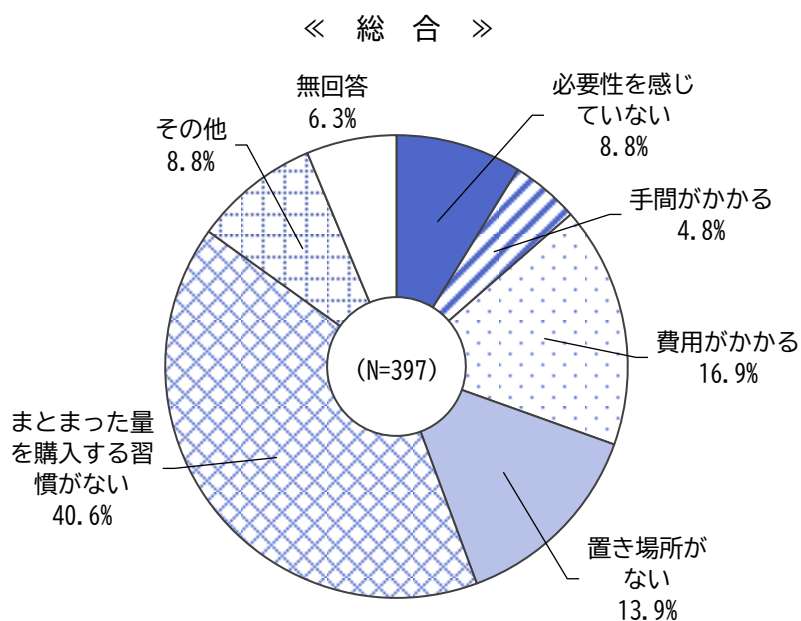


※1 平成30年度は「保存用の飲料水を準備するのが面倒である」と答えた人数

※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数

【食 料】

3日分以上の食料を確保していない理由として、「まとまった量を購入する習慣がない」40.6%が最も高く、次いで「費用がかかる」16.9%、「置き場所がない」13.9%と続いている。



【前回比較】

「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が、令和3年度より7.6ポイント増加している。

【性別】

「置き場所がない」の割合は、男性16.9%、女性11.3%と男性の方が5.6ポイント高くなっている。

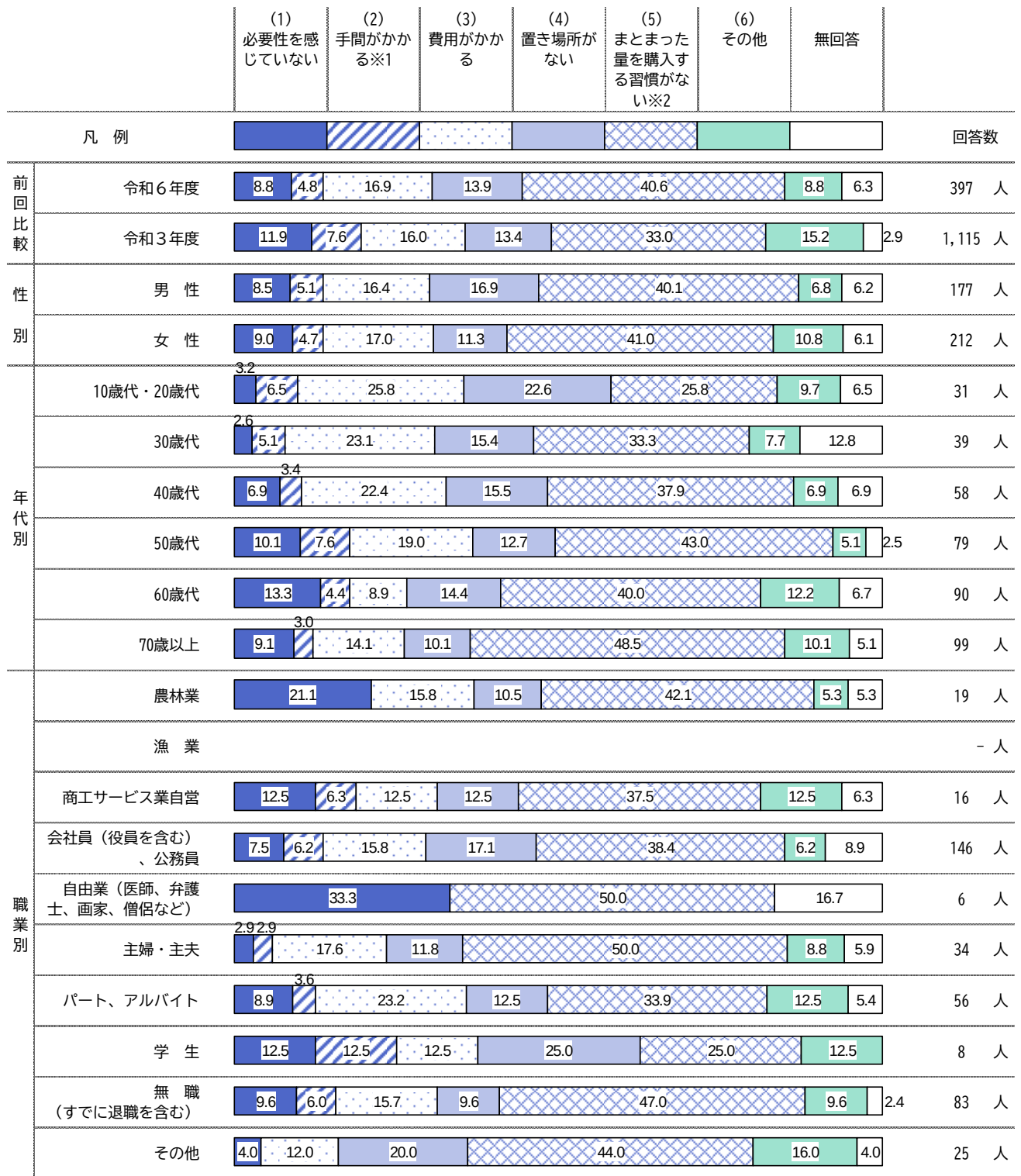
【年代別】

10歳代・20歳代を除くすべての年代で「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

学生を除くすべての職業で「まとまった量を購入する習慣がない」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



※1 平成30年度は「アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である」と答えた人数

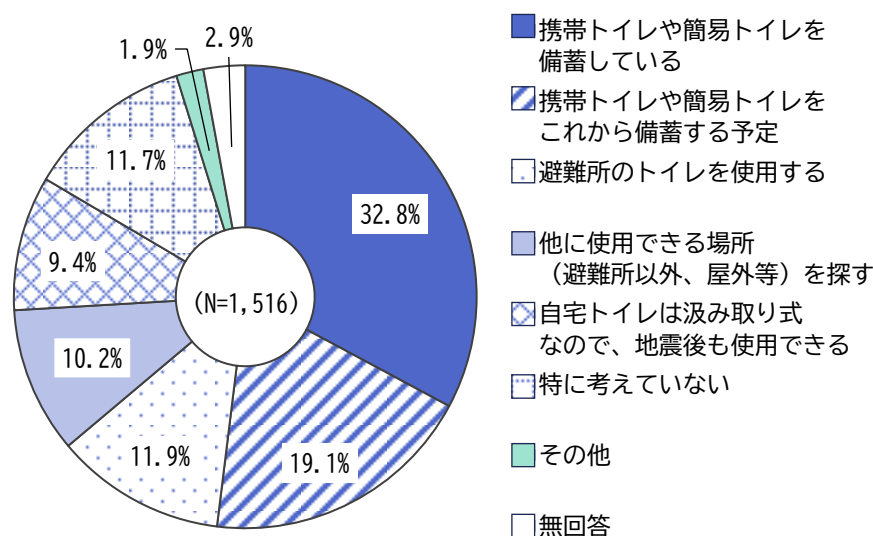
※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数

問 20 地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応について

問20 南海トラフ地震の発生時には、下水道や排水管などが被災し、トイレが使えなくなる場合があります。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら(なるとしたら)、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

地震で自宅のトイレが使用できなくなった時の対応としては、「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」32.8%が最も高く、次いで「携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定」19.1%、「避難所のトイレを使用する」11.9%と続いている。

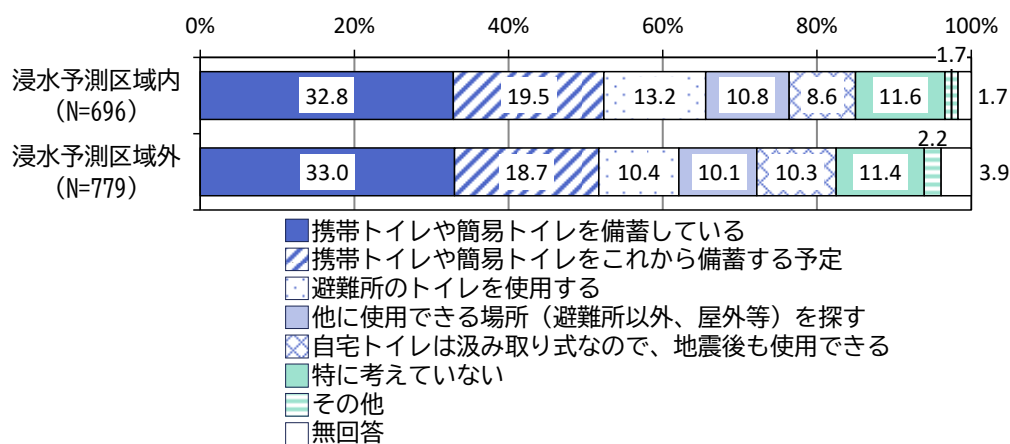
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」は、浸水予想区域内では32.8%、浸水予想区域外では33.0%と大きな差は見られなかった。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」は、令和6年度では32.8%と、令和3年度の19.0%より13.8ポイント増加し、「これから備蓄する予定」は令和6年度では19.1%と、令和3年度の13.5%より5.6ポイント増加している。

【性別】

「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」は、男性が26.3%、女性が37.6%と女性の方が11.3ポイント高くなっている。

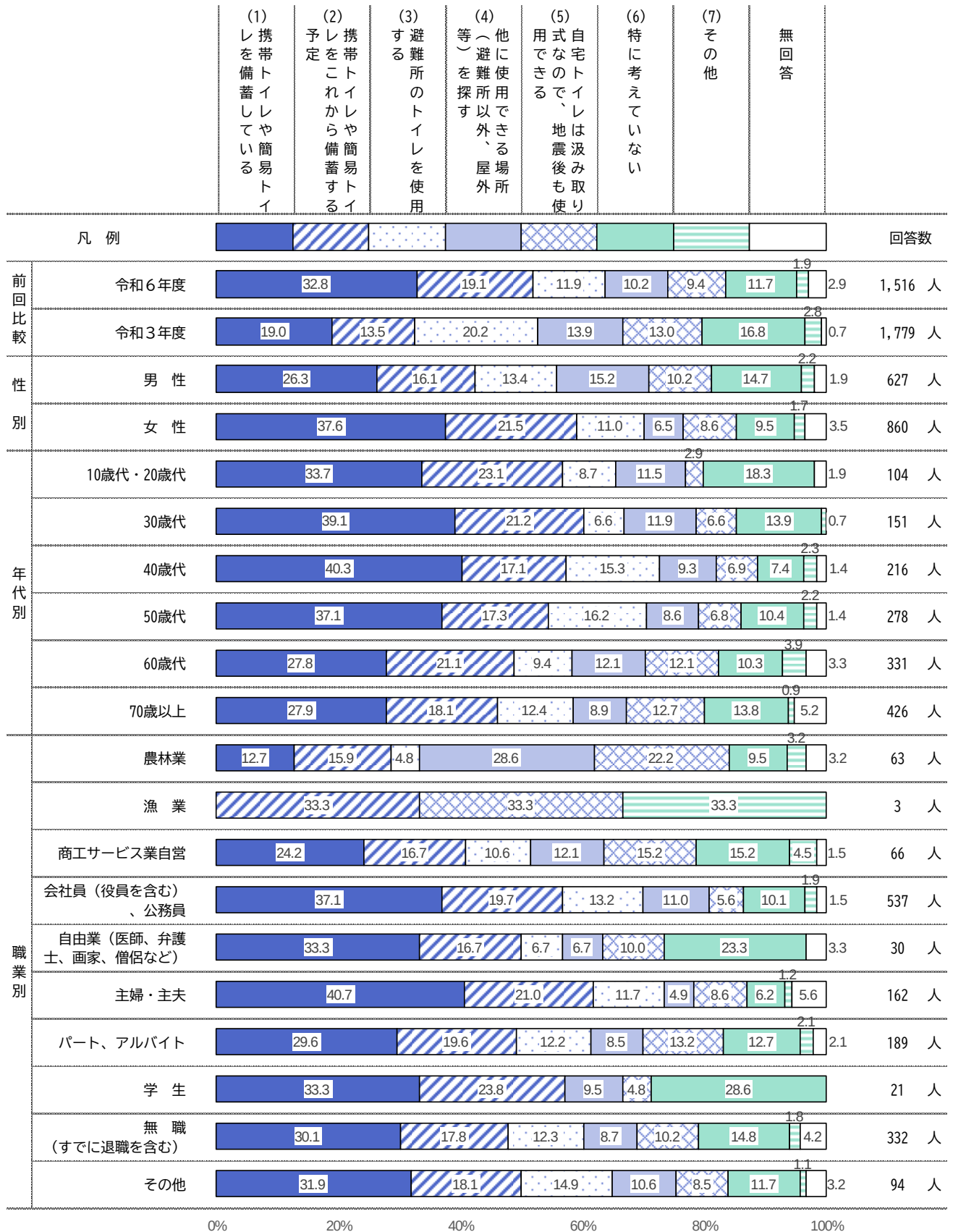
【年代別】

すべての年代で「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」の割合が最も高く、中でも40歳代の40.3%が高くなっている。

【職業別】

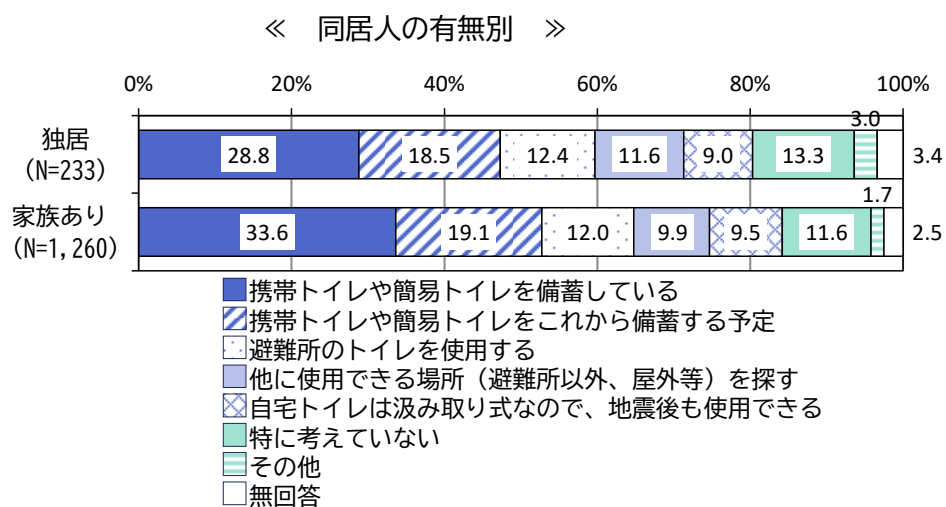
農林業、漁業を除くすべての職業で「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



【同居人の有無別】

「携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」は、家族あり世帯の33.6%と、独居世帯の28.8%より4.8ポイント高くなっている。



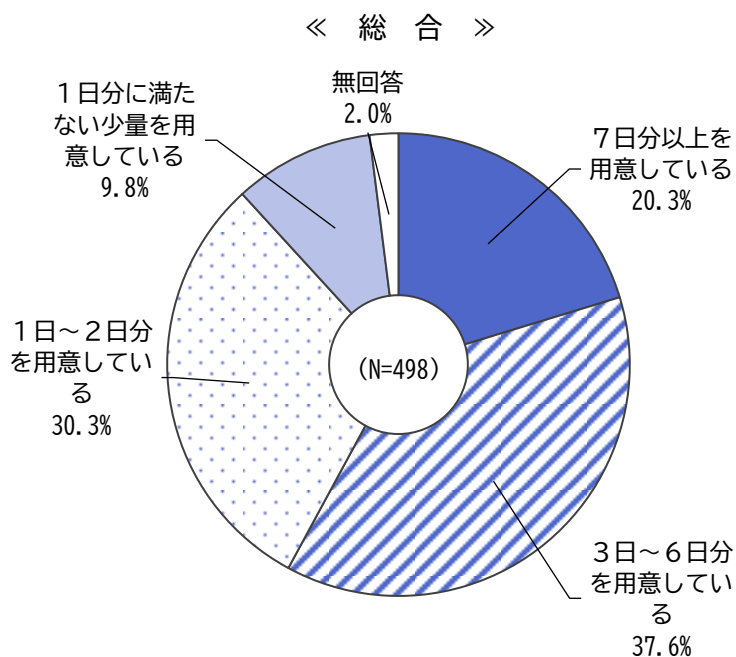
問 21 携帯トイレや簡易トイレの備蓄状況

問21 問20で「1. 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

あなたのご自宅では、トイレが使えなくなったときに備えて、家族分の簡易トイレや携帯トイレをどのくらい備蓄していますか。(1つだけ○)

※1人1日の平均排泄回数は5回とされています。

トイレの備蓄状況については、「3日～6日分を用意している」が37.6%と最も高く、次いで「1日～2日分用意している」30.3%、「7日分以上を用意している」は20.3%となっている。



【前回比較】

「3日～6日分を用意している」の割合は、令和3年度より6.8ポイント増加している。

【性別】

「3日～6日分を用意している」の割合は、女性の35.3%より、男性の42.4%方が7.1ポイント高くなっている。

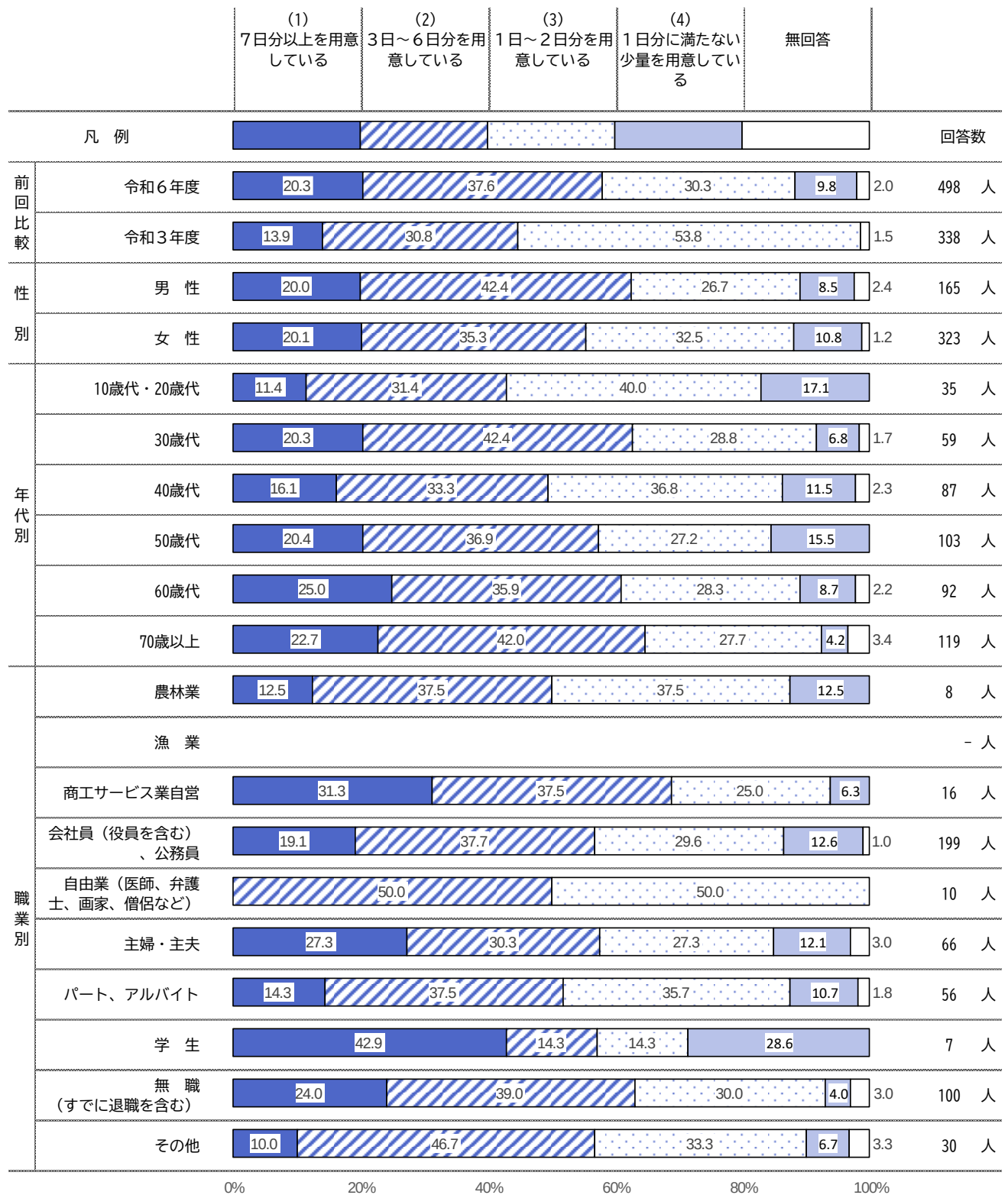
【年代別】

30歳代では「3日～6日分を用意している」の割合が他の年代より高くなっている。

【職業別】

学生では「7日分以上を用意している」の割合が42.9%と他の職業より高く、一番低いその他の10.0%より32.9ポイント高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問 22 南海トラフ地震への備えとして何を行っているか

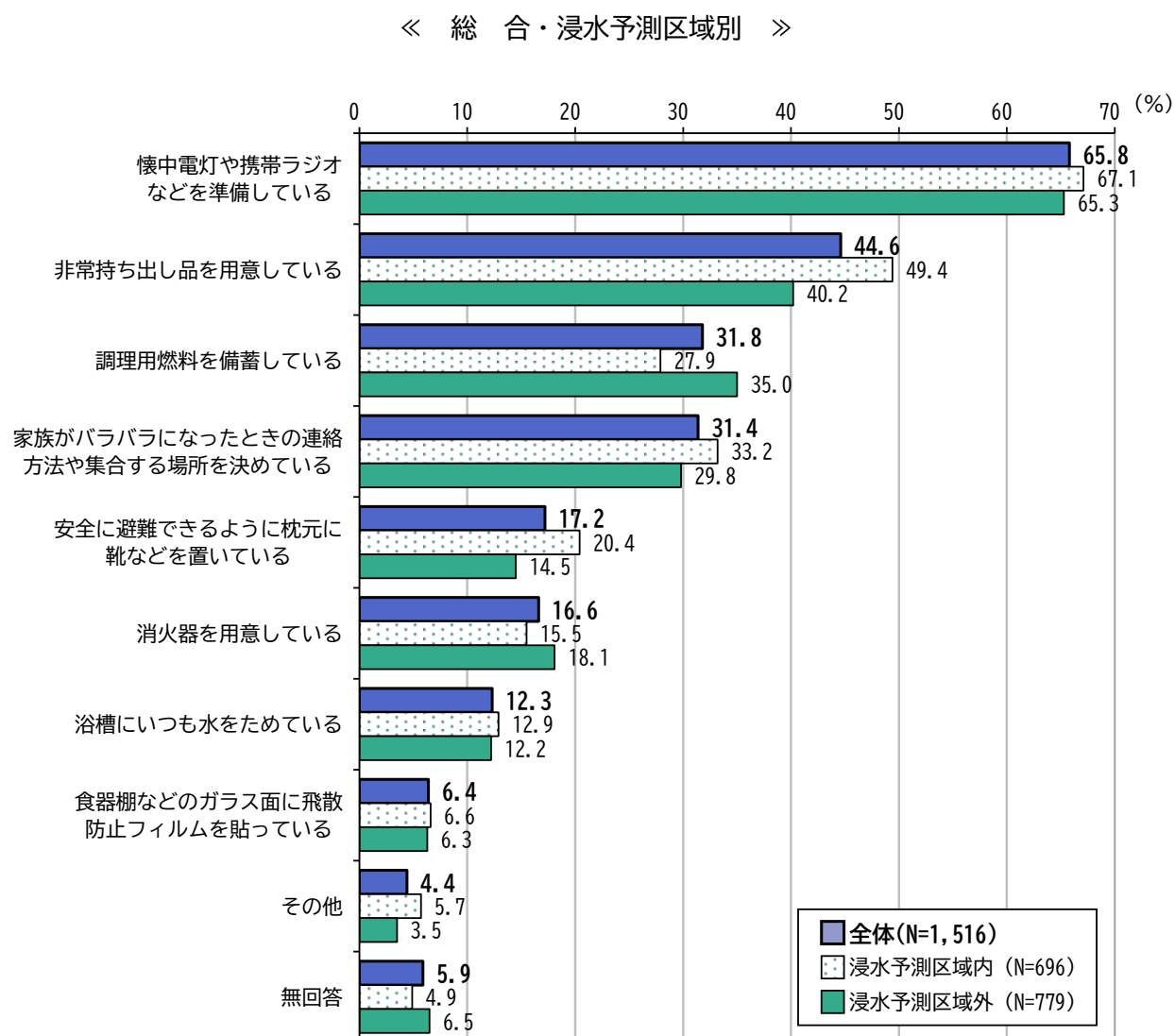
問22 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(当てはまるものすべてに○)

南海トラフ地震への備えとしては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が65.8%と最も高く、次いで「非常持ち出し品を用意している」44.6%、「調理用燃料を備蓄している」31.8%と続いている。

【浸水予測区域別】

「非常持ち出し品を用意している」の割合は、浸水予測区域内の方が9.2ポイント高く、「調理用燃料を備蓄している」割合は、浸水想定区域外の方が7.1ポイント高くなっている。



【前回比較】

「安全に避難できるように枕元に靴などおいている」は令和3年度から6.2ポイント、「非常持ち出し品を用意している」は4.9ポイント高くなっている。

【年代別】

30歳代を除くすべての年代で「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」の割合が最も高く、30歳代では「非常持ち出し品を用意している」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

漁業を除くすべての職業で「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」の割合が最も高く、漁業では「非常持ち出し品を用意している」、「家族がバラバラになった時の連絡方法や集合する場所を決めている」が同率で最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

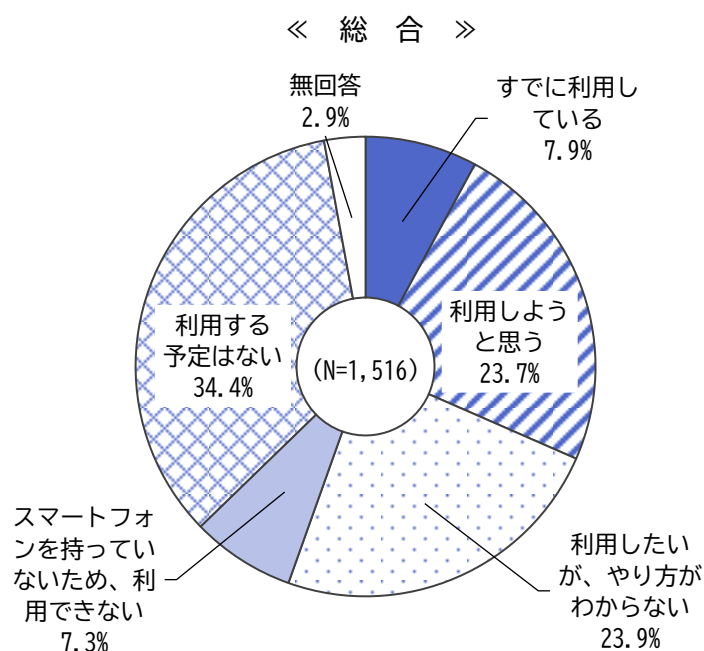
		調査数	(1) 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	(2) 非常持ち出し品を用意している	(3) 調理用燃料を備蓄している	(4) 家族がバラバラになった時の連絡方法や集合する場所を決めている	(5) 安全に避難できるように枕元に靴などおいている	(6) 消火器を用意している	(7) 浴槽にいつも水をためている	(8) 食器棚などのゴミを貼面に飛散防止フィルムを貼っている	(9) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位								
今回調査(R6)		1,516	65.8	44.6	31.8	31.4	17.2	16.6	12.3	6.4	4.4	5.9
前回調査(R3)		1,779	69.9	39.7	27.3	34.7	11.0	20.2	11.4	6.2	6.0	3.4
性別	男性	627	66.3	39.6	30.9	29.8	15.8	20.1	12.3	6.2	4.8	6.9
	女性	860	66.0	48.4	32.4	32.3	17.8	14.3	12.3	6.3	4.2	5.0
	回答しない	18	27.8	33.3	22.2	33.3	27.8	5.6	11.1	16.7	5.6	16.7
年代別	10歳代・20歳代	104	46.2	42.3	19.2	31.7	8.7	10.6	5.8	4.8	3.8	8.7
	30歳代	151	50.3	55.0	26.5	41.7	19.9	8.6	3.3	4.6	6.0	5.3
	40歳代	216	55.6	48.1	26.4	40.3	16.7	12.0	6.0	7.9	5.1	6.5
	50歳代	278	65.8	45.0	34.9	35.3	18.0	13.3	14.0	5.0	6.1	5.4
	60歳代	331	73.7	43.5	37.5	27.8	16.9	22.1	15.1	8.2	4.2	6.3
	70歳以上	426	74.9	40.4	32.9	23.2	18.1	21.1	16.9	6.3	2.8	5.2
職業別	農林業	63	81.0	30.2	39.7	20.6	19.0	22.2	14.3	4.8	3.2	6.3
	漁業	3	66.7	100.0	66.7	100.0	-	33.3	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	69.7	36.4	42.4	31.8	9.1	28.8	9.1	6.1	3.0	9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	57.0	48.0	28.7	34.5	17.5	12.7	8.4	6.0	5.8	6.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	63.3	43.3	26.7	40.0	10.0	23.3	20.0	-	3.3	3.3
	主婦・主夫	162	75.3	44.4	40.1	32.1	20.4	21.0	17.9	9.3	1.9	4.3
	パート、アルバイト	189	58.2	44.4	26.5	32.3	15.3	12.2	11.6	6.9	5.3	9.0
	学生	21	42.9	33.3	28.6	33.3	19.0	14.3	-	4.8	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	75.0	43.7	32.2	24.1	18.1	18.7	15.7	6.3	2.7	4.5
	その他	94	75.5	45.7	29.8	36.2	16.0	19.1	16.0	7.4	9.6	3.2

問 23 スマートフォンでのお薬手帳(電子版)を利用しているか

問23 お薬手帳(電子版)は、スマートフォン内で情報管理ができるため、自身だけでなく家族の服薬情報の保管や携帯性が高いため持ち運びが容易といったメリットがあり、災害時には大変有用なツールとなりますが利用していますか。(ひとつだけ○)

※お薬手帳(電子版)はスマートフォンでのみ利用可能

お薬手帳のスマートフォンでの利用意向は、「利用する予定はない」が34.4%で最も高く、次いで「利用したいが、やり方がわからない」23.9%、「利用しようと思う」23.7%と続いている。



【前回比較】

「すでに利用している」の割合が令和3年度より2.7ポイント微増している。

【性別】

男性は、「利用しようと思う」が27.4%と女性の21.0%より6.4ポイント高くなっており、女性は、「利用したいが、やり方がわからない」が26.5%と男性の20.9%より5.6ポイント高くなっている。

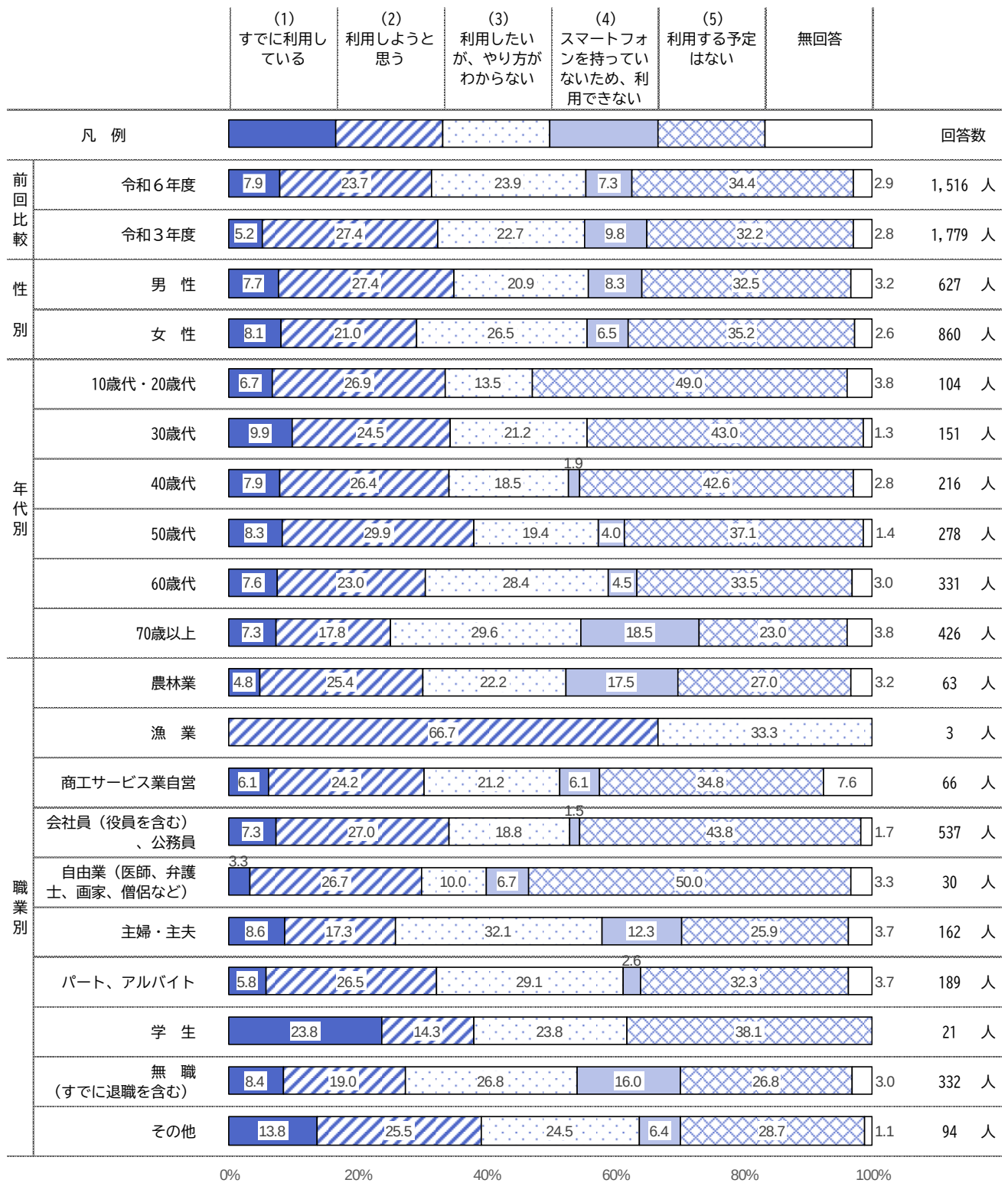
【年代別】

10歳代～50歳代では「利用する予定はない」の割合が約40%と総合より高くなっている。

【職業別】

自由業は「利用する予定はない」50.0%、学生は「すでに利用している」23.8%が他の職業より高くなっている。

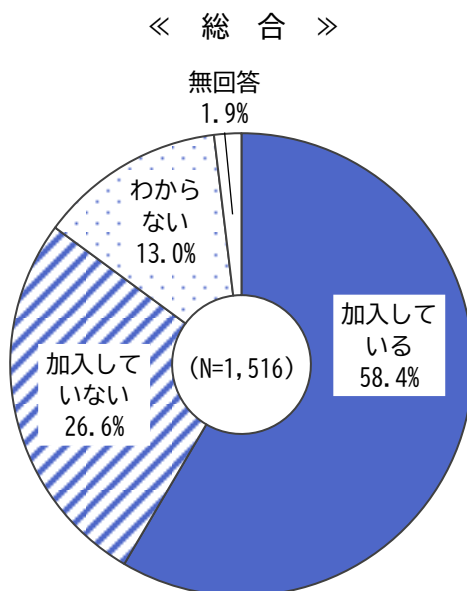
≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問 24 地震に備えるための保険や共済に加入しているか

問24 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

地震に備えるための保険や共済などの加入状況は、「加入している」58.4%、「加入していない」26.6%、「わからない」13.0%となっている。



【前回比較】

「加入している」の割合は、令和3年度より6.6ポイント減少している。

【性別】

「加入している」の割合は、男性60.9%、女性57.0%となっている。

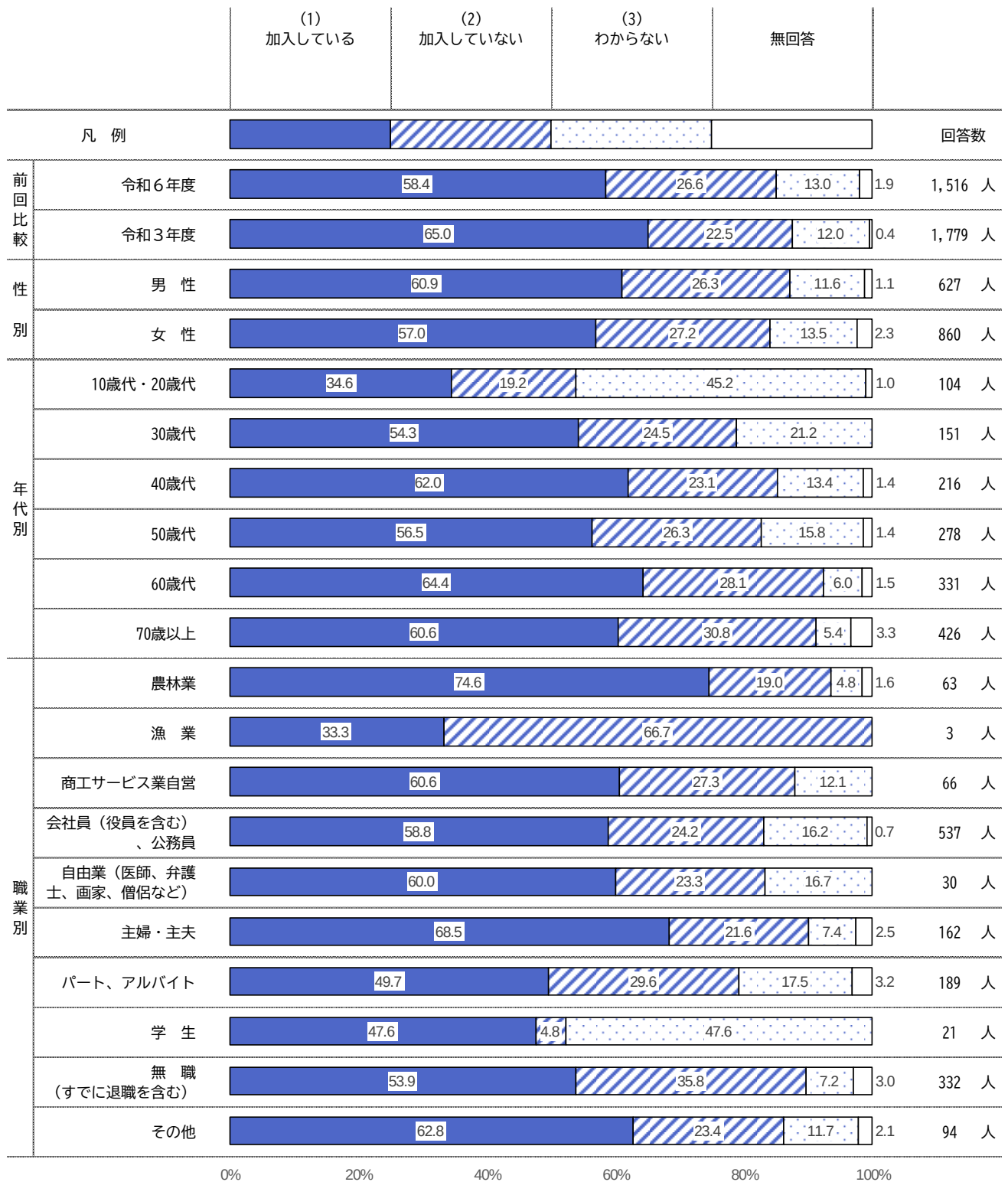
【年代別】

60歳代では「加入している」の割合が64.4%と他の年代より高くなっており、一方、10歳代・20歳代では「わからない」の割合が45.2%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

農林業では「加入している」の割合が74.6%と他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



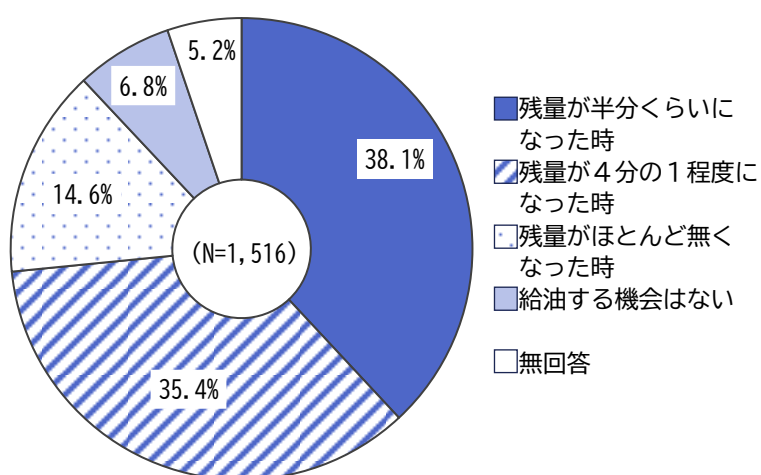
問 25 車に給油するタイミング・ガソリンの給油量

問25 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つ必要があります。
あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(ひとつだけ○)

【いつ】

車に給油するタイミングは、「残量が半分くらいになった時」38.1%が最も高く、次いで「残量が4分の1程度になった時」35.4%、「残量がほとんど無くなった時」14.6%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度は令和3年度と比較して、「残量が半分くらいになった時」が8.9ポイント高くなり、「残量がほとんど無くなった時」は7.2ポイント低くなっている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんど見られない。

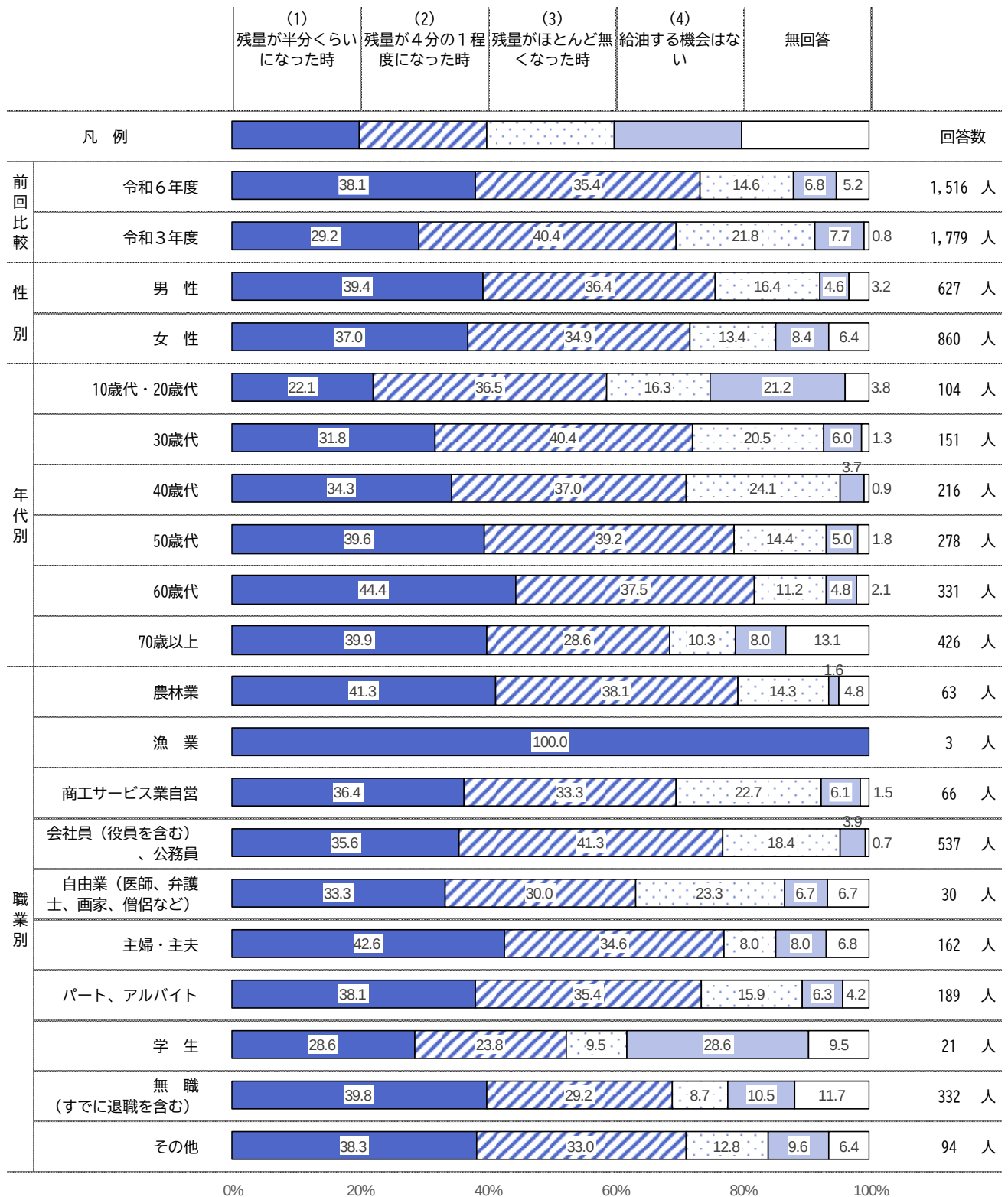
【年代別】

10歳代～40歳代では「残量が4分の1程度になった時」の割合が最も高く、50歳代～70歳以上では「残量が半分くらいになった時」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

主婦・主夫では「残量が半分くらいになった時」の割合が他の職業より高くなっており、学生では「給油する機会はない」の割合が他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

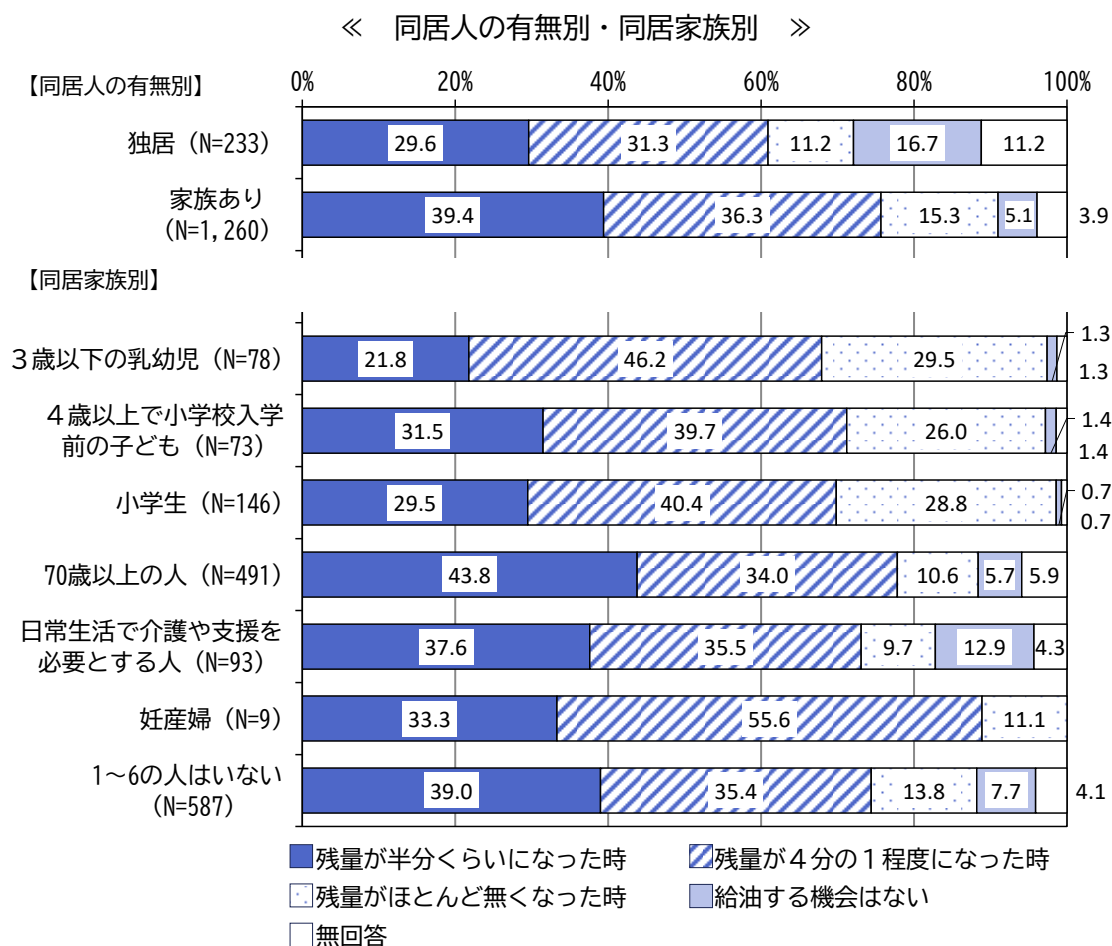


【同居人の有無別】

「残量が半分くらいになった時」は家族あり世帯で39.4%と、独居世帯の29.6%より9.8ポイント高くなっている。

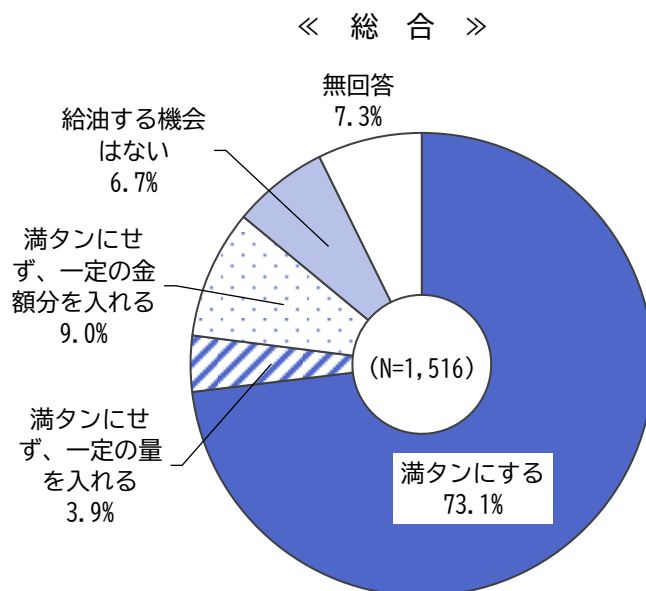
【同居家族別】

70歳以上の人では「残量が半分くらいになった時」の割合が他の同居家族より高く、妊産婦では「残量が4分の1程度になった時」の割合が他の同居家族より高くなっている。



【どのくらい】

車に給油する量は、「満タンにする」73.1%が最も高く、次いで「満タンにせず、一定の金額分を入れる」9.0%、「給油する機会はない」6.7%と続いている。



【前回比較】

令和6年度は令和3年度と比較して、「満タンにする」が8.8ポイント低くなっている。

【性別】

男女とも「満タンにする」の割合が最も高く、男性76.4%、女性71.2%となっている。

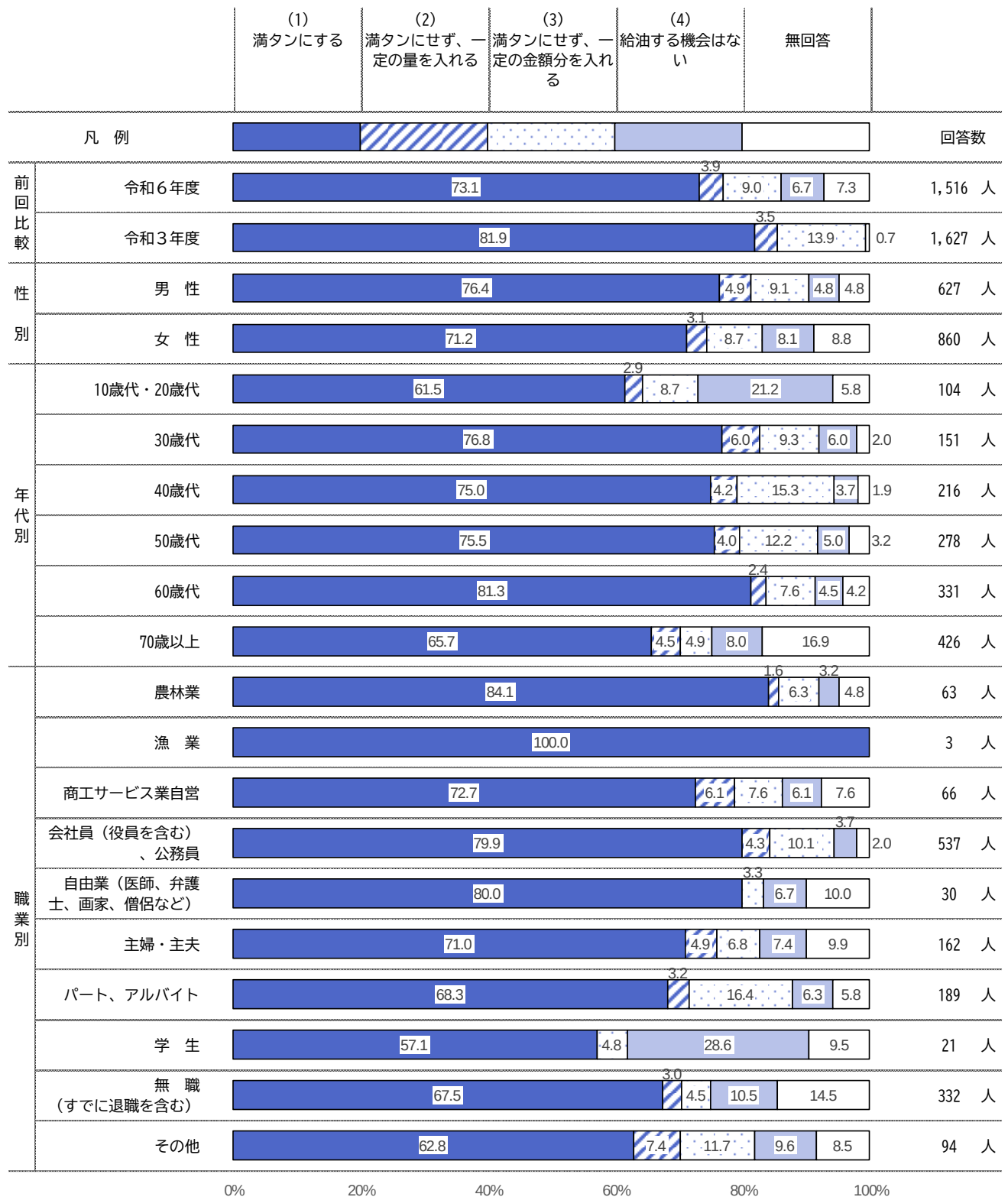
【年代別】

60歳代では「満タンにする」の割合が他の年代より高く、10歳代・20歳代では「給油する機会はない」の割合が他の年代より高くなっている。

【職業別】

漁業は「満タンにする」の割合が他の職業より高く、学生は「給油する機会はない」の割合が他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



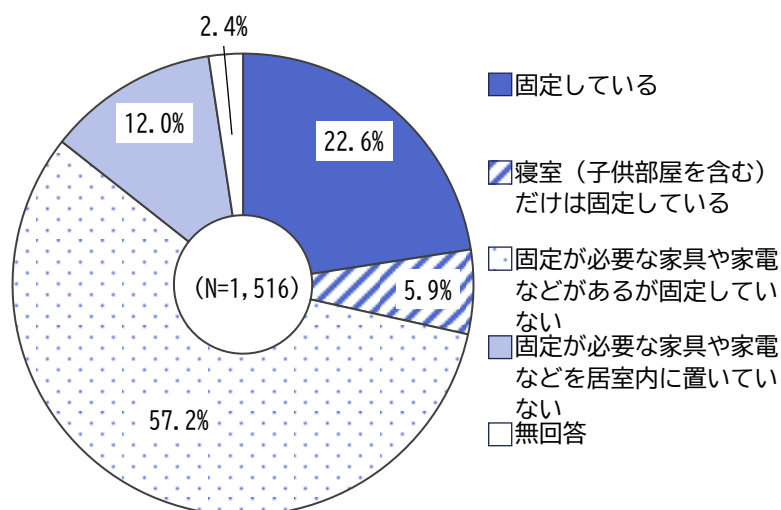
(4) 地震の揺れ対策について

問 26 家具や家電などを固定しているか

問26 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

家具や家電の固定については、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が57.2%と最も高く、次いで「固定している」22.6%、「固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない」12.0%と続いている。

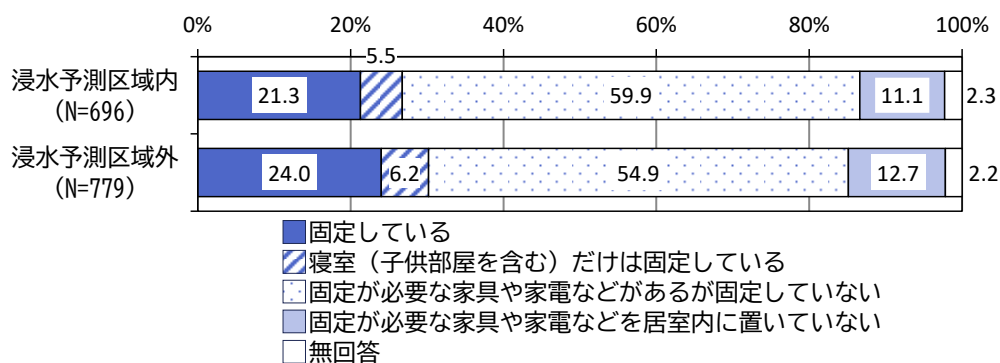
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」は、浸水予想区域内では59.9%と、浸水予想区域外の54.9%より5.0ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和3年度と比較して、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差はほとんど見られない。

【年代別】

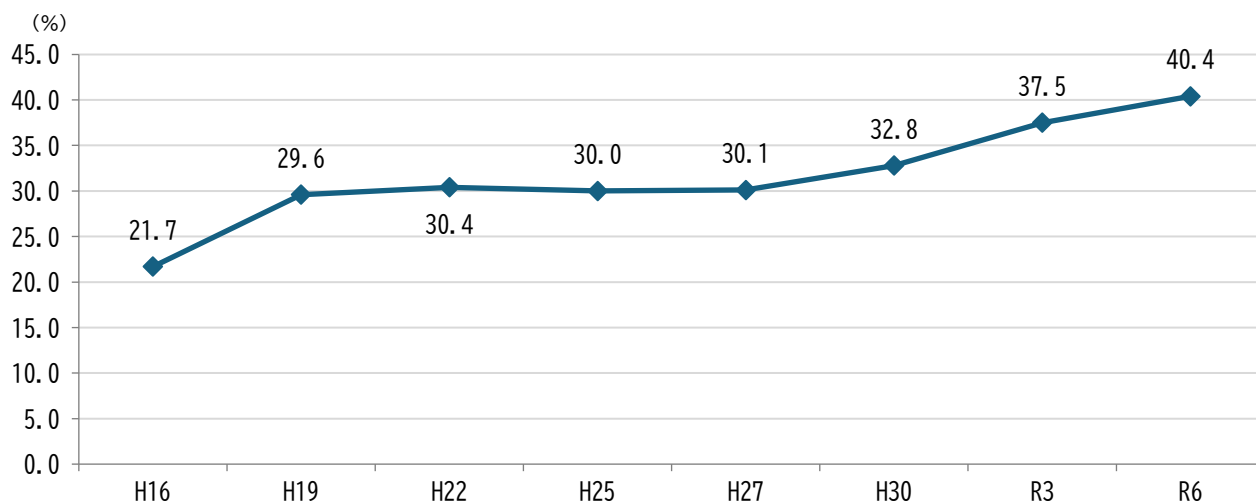
すべての年代で「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高く、中でも50歳代の64.4%が高くなっている。

【職業別】

漁業を除くすべての職業で、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。

【室内の安全対策実施率（家具・家電の固定対策等）】

室内の安全対策実施率についてみると、R6では40.4%となっており、H16からみると緩やかではあるが、安全対策に対する意識も上昇している。

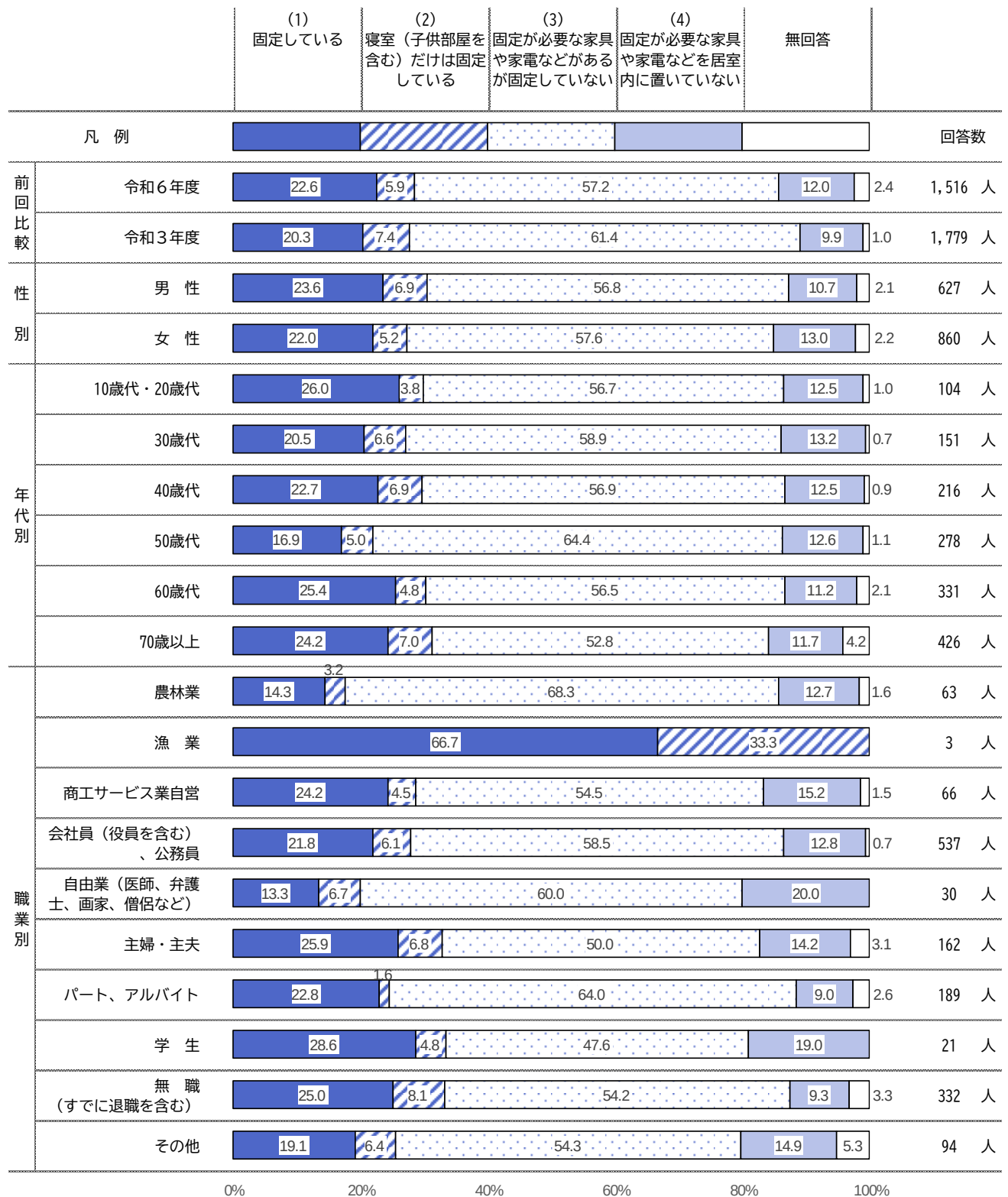


■室内の安全対策実施率（家具・家電の固定対策等）の計算方法

<「1. 固定している」、「2. 寝室（子ども部屋を含む）だけは固定している」、「4. 固定が必要な家具や家電などを居室に置いていない」の合計人数>を<回答者数>で除した値

【参考・R6】(342人+89人+182人) / 1,516人 = 40.4%

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



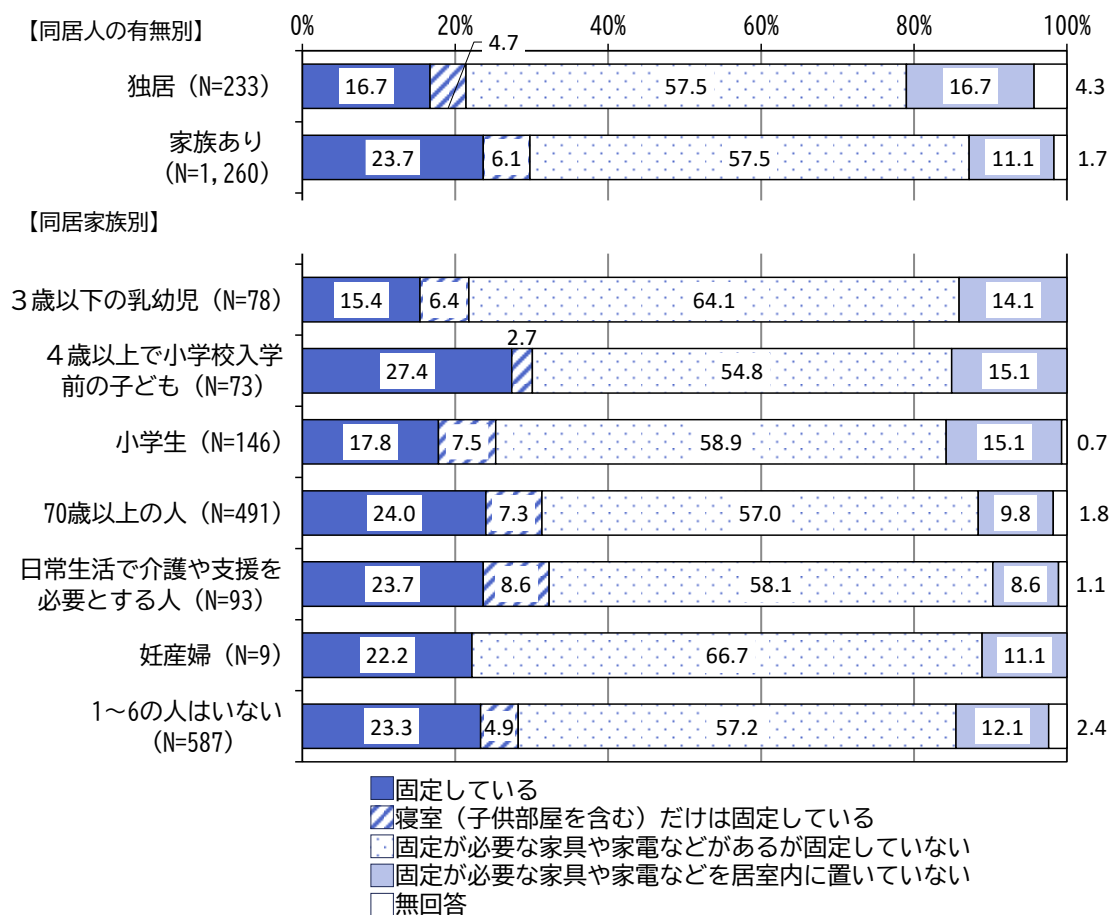
【同居人の有無別】

同居人の有無にかかわらず、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高いが、家族あり世帯では「固定している」が23.7%と、独居世帯の16.7%より7.0ポイント高くなっている。

【同居家族別】

妊産婦は、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が66.7%と、他の同居家族と比較して高い割合となっている。

《同居人の有無別・同居家族別》



問26×問3

「家具等の固定」と「危機意識」とのクロス分析

自宅や地域にどのような危険があるかという問いに対して「揺れで、家具が転倒する」と回答した方のうち「固定している」と回答した方は20.5%となっており、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」の約33%にとどまっている。

		問26					
		調査数	(1) 固定している	(2) だ寝け室は（固定し部屋を含む）	(3) なな固定が必要がな家具や家電	(4) なな固定を必要に家具置いて家電	無回答
問5	揺れで、建物に被害が出る	1,257	21.7	6.0	59.1	10.9	2.2
	揺れで、家具が転倒する	1,178	20.5	6.5	61.1	9.9	1.9
	火災	649	21.6	6.9	60.7	9.9	0.9
	津波	730	22.2	4.9	60.1	11.0	1.8
	山崩れ、がけ崩れ	518	24.1	5.6	59.1	9.7	1.5
	危険はない	15	60.0	-	13.3	20.0	6.7
	その他	67	16.4	11.9	58.2	10.4	3.0
	無回答	5	-	-	40.0	20.0	40.0
	【表の見方】 比率(%) 網掛け＝						

問26×問5

「家具等の固定」と「普段、情報をよく収集するメディア」とのクロス分析

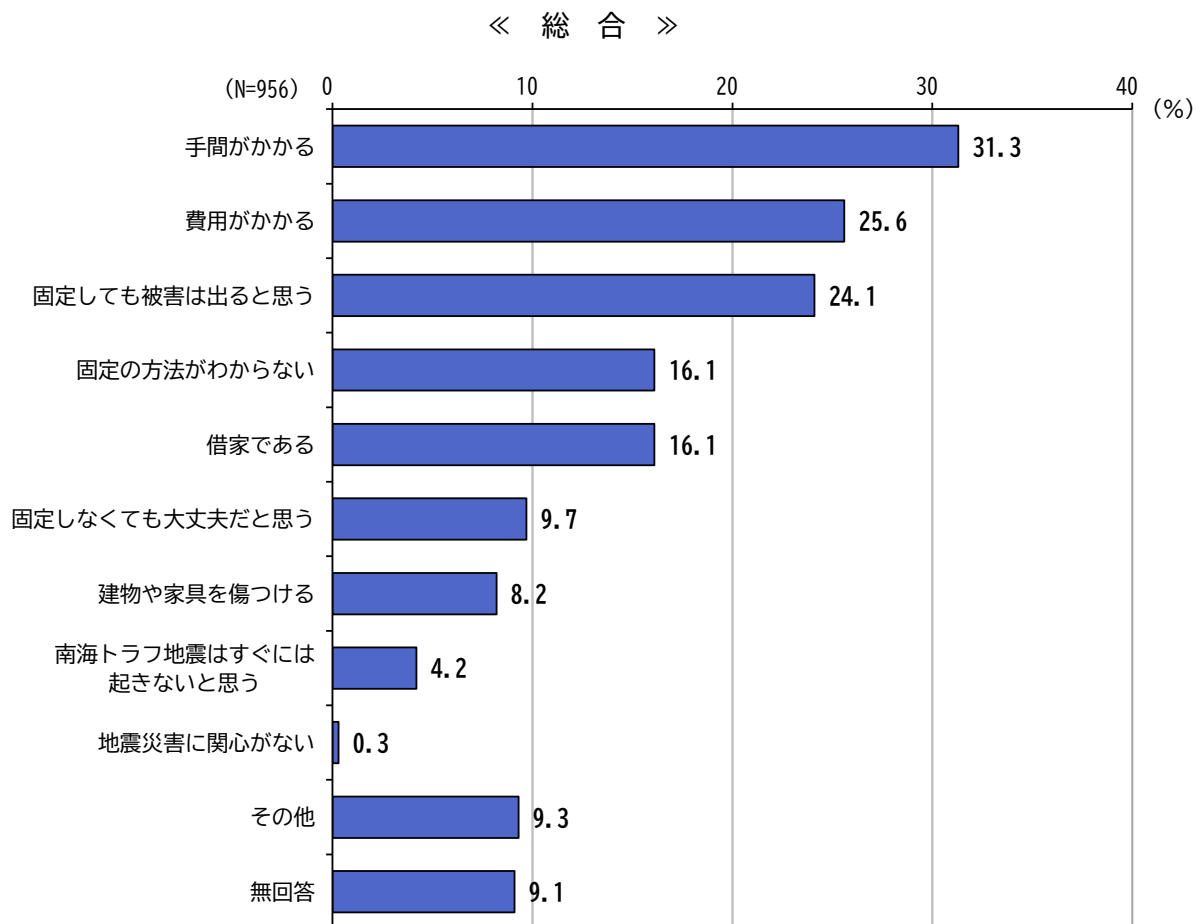
普段、情報をよく収集するメディアすべてで「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高い割合となっている。

		問26					
		調査数	(1) 固定している	(2) だ寝け室は（固定し部屋を含む）	(3) なな固定が必要がな家具や家電	(4) なな固定を必要に家具置いて家電	無回答
問5	新聞	429	27.0	7.0	53.8	10.5	1.6
	テレビ	1,299	22.8	5.5	57.6	11.7	2.5
	ラジオ	127	22.8	7.9	51.2	10.2	7.9
	インターネット(SNS含む)	754	21.2	5.8	59.3	12.6	1.1
	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	16	-	6.3	87.5	6.3	-
	その他	11	9.1	-	81.8	-	9.1
	無回答	7	28.6	-	42.9	-	28.6
	【表の見方】 比率(%) 網掛け＝						

問 27 固定していない理由

問27 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

家具を固定していない理由は、「手間がかかる」が31.3%と最も高く、次いで「費用がかかる」25.6%、「固定しても被害は出ると思う」24.1%と続いている。



【前回比較】

「手間がかかる」の割合が令和3年度より7.8ポイント減少している。一方、「固定しても被害は出ると思う」の割合は2.4ポイント微増している。

【性別】

男女とも「手間がかかる」の割合が最も高く、男性では「固定しても被害は出ると思う」25.1%、女性では「費用がかかる」26.5%と続いている。

【年代別】

10歳代～50歳代では「手間がかかる」が最も高く、60歳代、70歳以上では「固定しても被害は出ると思う」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、主婦・主夫、パート・アルバイトでは「固定しても被害は出ると思う」が最も高く、漁業、その他では「費用がかかる」、商工サービス業自営、会社員、公務員、自由業、学生、無職では「手間がかかる」が最も多くなっている。

【同居人の有無別】

独居世帯では「借家である」が最も高く、家族あり世帯では「手間がかかる」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別・同居人の有無別 ▶

		調査数	(1) 手間がかかる	(2) 費用がかかる	(3) と固定しても被害は出る	(4) い固定の方法がわからない	(5) 借家である	(6) だ固定しなくても大丈夫と思う	(7) 建物や家具を傷つける	(8) に南海トラフ地震はすぐ	(9) 地震災害に関心がない	(10) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位									
今回調査(R6)		956	31.3	25.6	24.1	16.1	16.1	9.7	8.2	4.2	0.3	9.3	9.1
前回調査(R3)		1,224	39.1	25.5	21.7	21.2	9.7	14.8	12.8	6.1	1.4	10.1	2.1
性別	男性	399	35.3	24.6	25.1	12.0	12.8	13.0	8.8	5.0	0.5	6.5	9.0
	女性	540	28.3	26.5	23.1	19.1	18.5	7.6	7.2	3.5	0.2	11.5	9.4
	回答しない	12	33.3	33.3	16.7	16.7	25.0	-	25.0	8.3	-	8.3	-
年代別	10歳代・20歳代	63	44.4	39.7	25.4	20.6	19.0	4.8	6.3	1.6	-	3.2	11.1
	30歳代	99	36.4	28.3	15.2	17.2	31.3	8.1	14.1	2.0	1.0	6.1	5.1
	40歳代	138	34.8	21.0	17.4	16.7	22.5	15.2	10.9	2.2	-	7.2	8.0
	50歳代	193	30.1	28.0	22.3	13.0	19.7	6.2	7.8	3.6	-	10.9	8.8
	60歳代	203	29.6	27.6	30.0	15.8	8.4	10.8	6.4	6.4	1.0	10.8	6.9
	70歳以上	255	26.3	20.4	27.1	16.9	9.8	10.6	6.3	5.5	-	11.0	12.9
職業別	農林業	45	22.2	13.3	28.9	15.6	2.2	17.8	-	13.3	-	15.6	8.9
	漁業	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	39	30.8	25.6	28.2	12.8	10.3	10.3	7.7	5.1	-	5.1	7.7
	会社員(役員を含む)、公務員	347	36.6	25.1	19.6	14.4	23.6	10.4	11.0	2.0	-	8.1	8.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	20	60.0	45.0	25.0	25.0	15.0	5.0	10.0	5.0	-	10.0	10.0
	主婦・主夫	92	23.9	22.8	31.5	28.3	5.4	9.8	6.5	5.4	-	5.4	8.7
	パート、アルバイト	124	26.6	27.4	29.8	16.1	19.4	6.5	8.1	4.0	0.8	10.5	8.1
	学生	11	36.4	27.3	18.2	-	18.2	18.2	-	9.1	-	-	18.2
	無職(すでに退職を含む)	207	28.0	25.6	24.2	15.5	13.0	9.7	5.8	5.3	0.5	10.6	10.1
	その他	57	29.8	31.6	19.3	12.3	8.8	8.8	8.8	3.5	1.8	17.5	8.8
同居人の有無別	独居	145	29.0	22.1	13.8	22.1	33.1	3.4	8.3	4.1	-	9.0	9.7
	家族あり	801	31.7	26.5	25.8	15.1	13.0	11.0	8.1	4.2	0.4	9.5	8.9

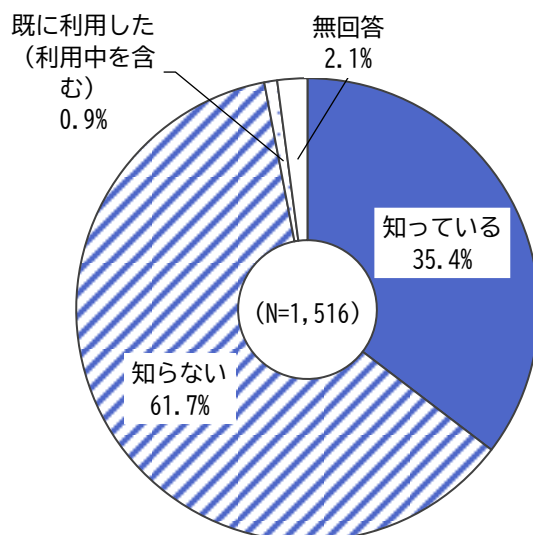
問 28 家具や家電などの固定に関する補助制度を知っているか

問28 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

家具固定の補助制度は「知らない」が61.7%、「知っている」35.4%、「既に利用した(利用中を含む)」0.9%となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度では「知っている」が35.4%と、令和3年度の26.3%より9.1ポイント高くなっている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

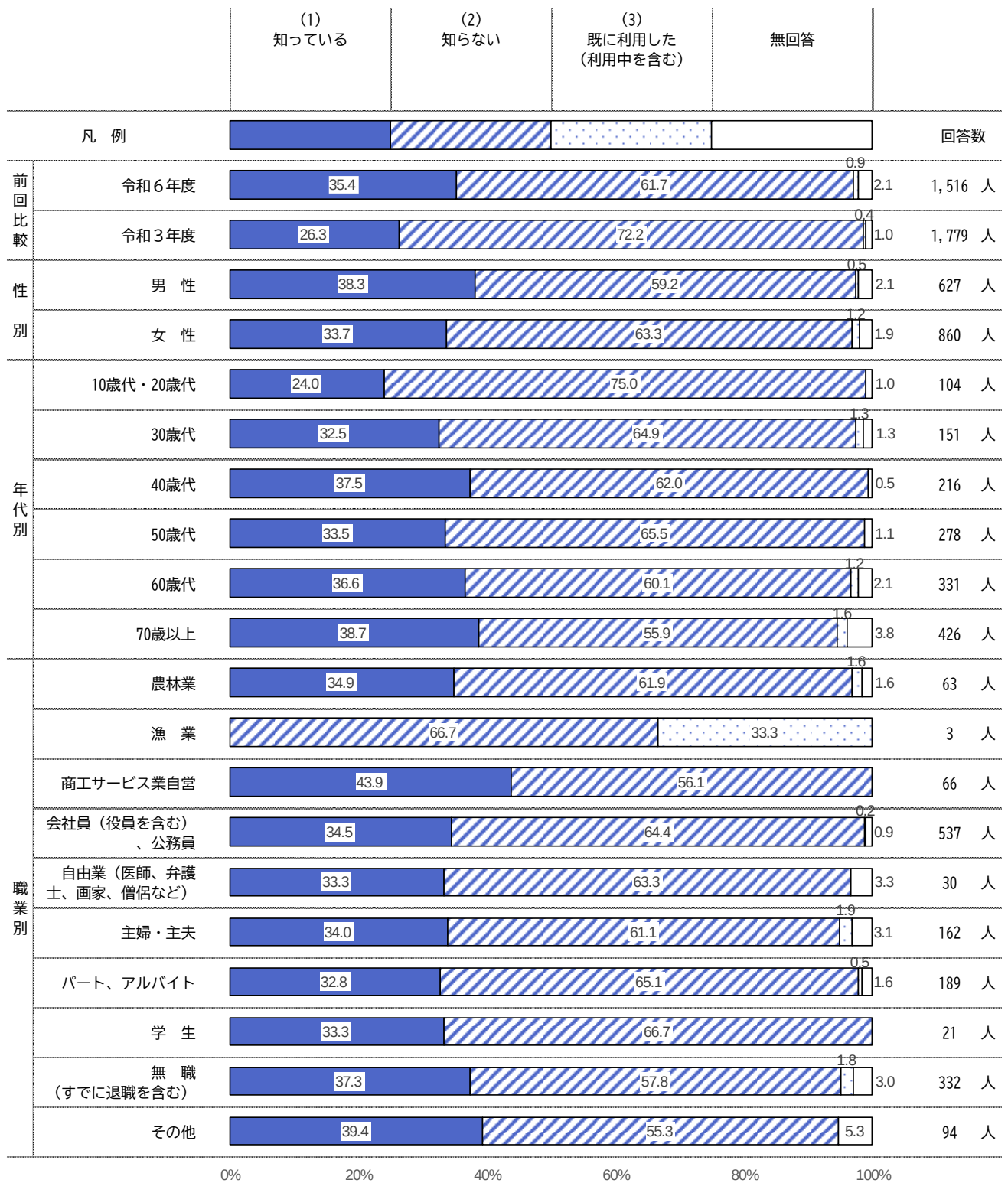
【年代別】

70歳以上は「知っている」が38.7%と、他の年代と比べて最も高い割合となっている。

【職業別】

商工サービス業自営は「知っている」が43.9%と、他の職業と比べて最も高い割合となっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問28×問27

「補助制度の認知度」と「家具等を固定していない理由」とのクロス分析

「家具を固定していない理由」という問いに対して、「費用がかかる」と回答したうち、補助制度を「知らない」と回答した方は72.7%となっている。

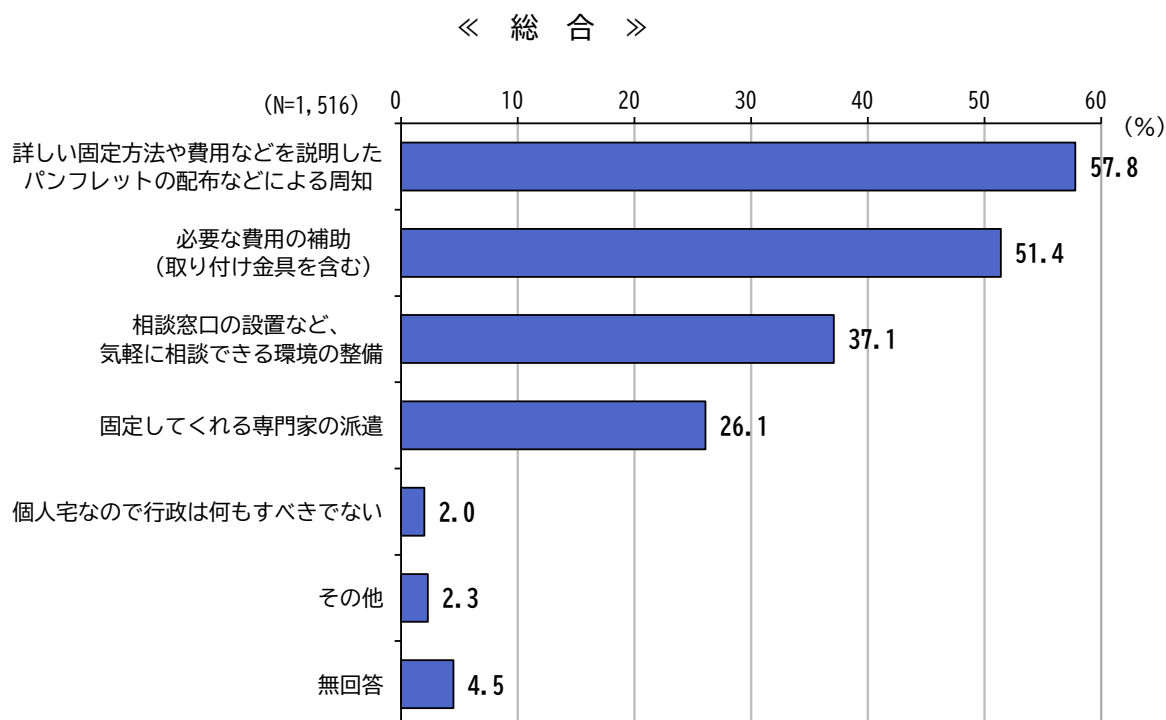
		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	(3) を既に利用した (利用中)	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=						
問 2 7	建物や家具を傷つける	78	34.6	64.1	-	1.3
	固定の方法がわからない	154	26.0	73.4	-	0.6
	借家である	154	27.3	70.1	0.6	1.9
	費用がかかる	245	26.9	72.7	-	0.4
	手間がかかる	299	25.4	73.9	-	0.7
	固定しなくても大丈夫だと思う	93	37.6	62.4	-	-
	固定しても被害は出ると思う	230	35.7	63.0	-	1.3
	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	40	30.0	67.5	-	2.5
	地震災害に関心がない	3	33.3	66.7	-	-
	その他	89	39.3	58.4	1.1	1.1
	無回答	87	32.2	63.2	-	4.6

問 29 固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

固定を促進するために県や市町村で行うことは、「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が57.8%と最も高く、次いで「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」51.4%、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」37.1%と続いている。



【前回比較】

令和6年度は令和3年度と比較して、大きな違いは見られないが、「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」では、令和6年度が57.8%、令和3年度が62.1%と4.3ポイント低くなっている。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、ほとんど違いは見られない。

【年代別】

50歳代を除くすべての年代で「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」の割合が最も高く、50歳代では「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」が最も高くなっている。

【職業別】

商工サービス業自営、学生を除くすべての職業で、「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっている。

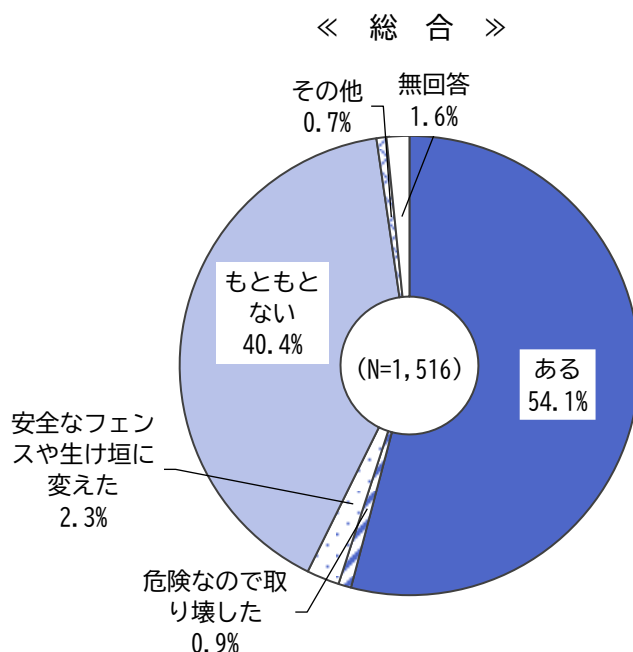
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 配を詳し 布ない固 などに定 よる方法 周フや費 知レッ用 トなど	(2) け必要 金具な費 を含むの 補助（取 り付	(3) に相 相談窓 口の設 置など 環境の 整備、 気軽	(4) 遣固 定して くれる 専門家 の派	(5) ベ個人 宅な いので 行政は 何も す	(6) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1 位						
			2 位						
今回調査(R6)		1,516	57.8	51.4	37.1	26.1	2.0	2.3	4.5
前回調査(R3)		1,779	62.1	51.5	35.1	26.4	3.4	2.8	3.0
性別	男性	627	55.8	51.2	37.0	23.8	2.9	2.2	3.5
	女性	860	59.8	51.9	37.1	28.0	1.3	2.4	4.8
	回答しない	18	44.4	44.4	44.4	22.2	11.1	-	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	59.6	55.8	35.6	29.8	3.8	1.0	2.9
	30歳代	151	61.6	59.6	36.4	31.1	0.7	5.3	0.7
	40歳代	216	58.3	57.9	39.4	25.5	1.9	2.8	0.9
	50歳代	278	57.9	58.3	38.1	22.3	2.9	3.6	1.4
	60歳代	331	61.9	51.4	41.1	26.3	1.8	0.6	3.6
	70歳以上	426	52.6	40.1	32.6	26.3	1.9	1.9	10.1
職業別	農林業	63	57.1	50.8	34.9	12.7	4.8	1.6	3.2
	漁業	3	100.0	100.0	33.3	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	50.0	54.5	47.0	28.8	1.5	3.0	4.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537	60.5	56.1	37.1	24.4	2.0	3.0	1.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	60.0	53.3	33.3	36.7	3.3	3.3	3.3
	主婦・主夫	162	60.5	43.2	35.8	25.9	1.9	0.6	6.2
	パート、アルバイト	189	59.3	54.0	37.0	22.8	-	2.6	3.7
	学生	21	47.6	57.1	28.6	38.1	4.8	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	54.2	45.5	34.0	28.3	1.8	1.5	7.5
	その他	94	51.1	50.0	46.8	38.3	5.3	4.3	7.4

問 30 自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか

問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

ブロック塀や石瓶、門柱の有無では「ある」が54.1%と最も高く、次いで「もともとない」40.4%、「安全なフェンスや生け垣に変えた」2.3%と続いている。



【前回比較】

令和6年度では、「ある」が54.1%と令和3年度の56.6%より2.5ポイント低く、「もともとない」が40.4%と令和3年度の38.4%より2.0ポイント高くなっている。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、ほとんど違いは見られない。

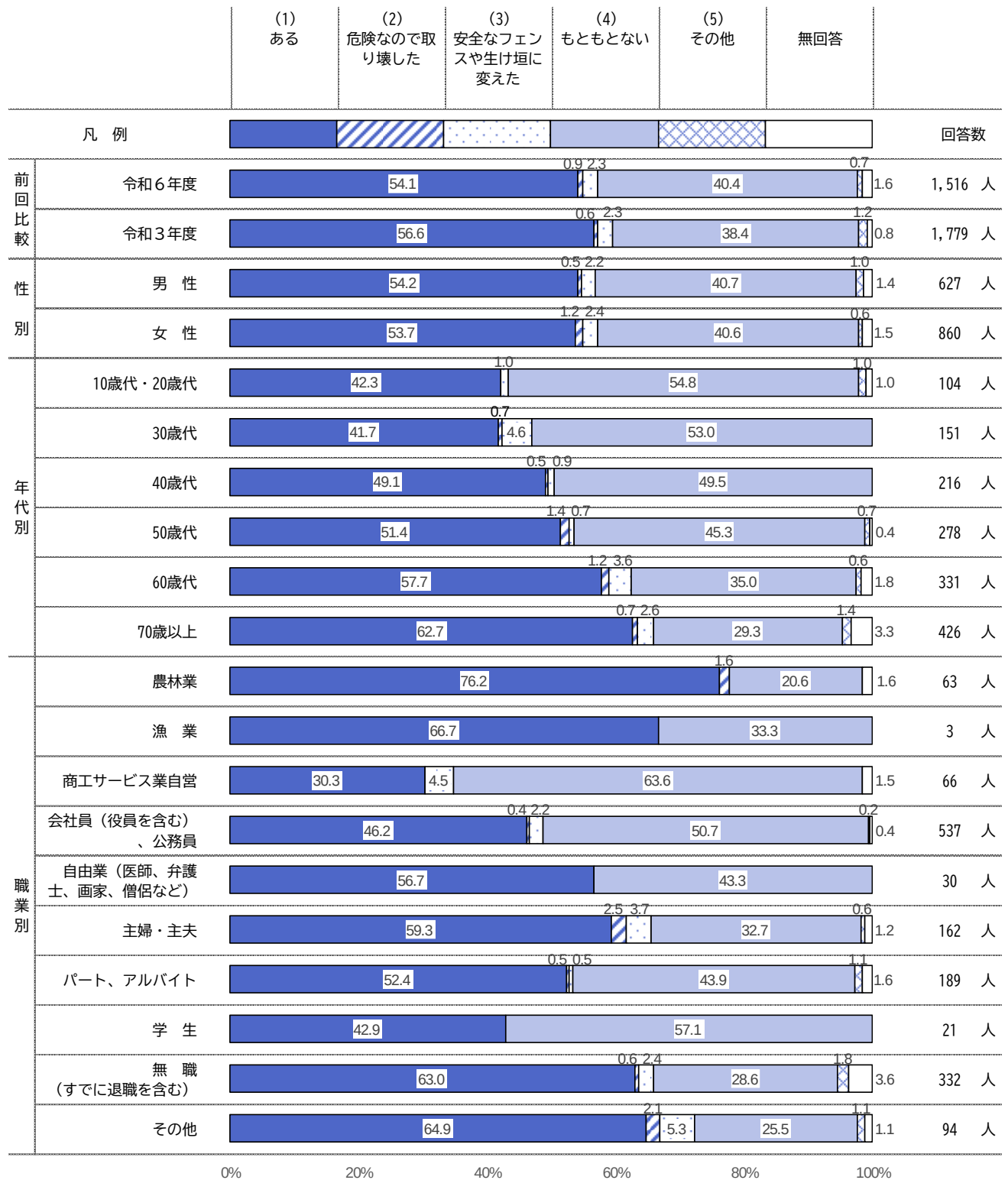
【年代別】

「ある」は30歳代以降、年代が上がるほど割合も高い傾向にある。

【職業別】

農林業は、「ある」の割合が70%を超えており、他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

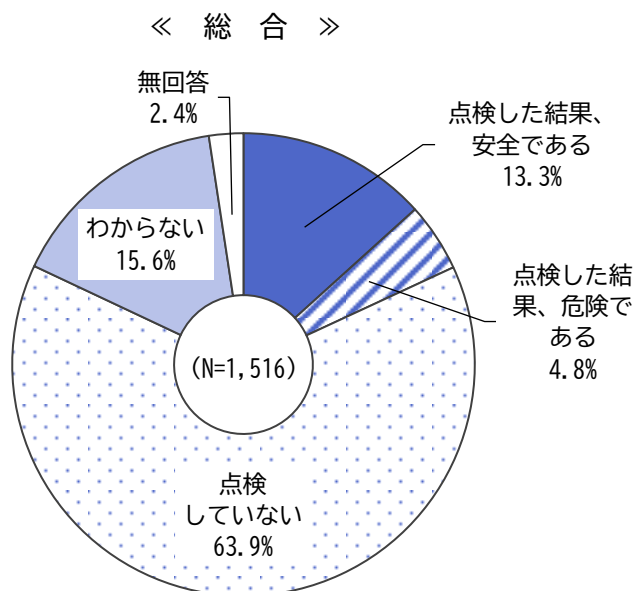


問 31 安全性の点検の実施状況

問31 問30で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などは、地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

安全性の点検の実施状況は、「点検していない」が63.9%と最も高く、次いで「わからない」15.6%、「点検した結果、安全である」13.3%と続いている。



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は、同じ傾向にあり、大きな差も見られない。

【性別】

男女とも「点検していない」が最も高く、60%を超えている。「点検した結果、安全である」は男性15.6%、女性11.7%と、男性の方が3.9ポイント高くなっている。

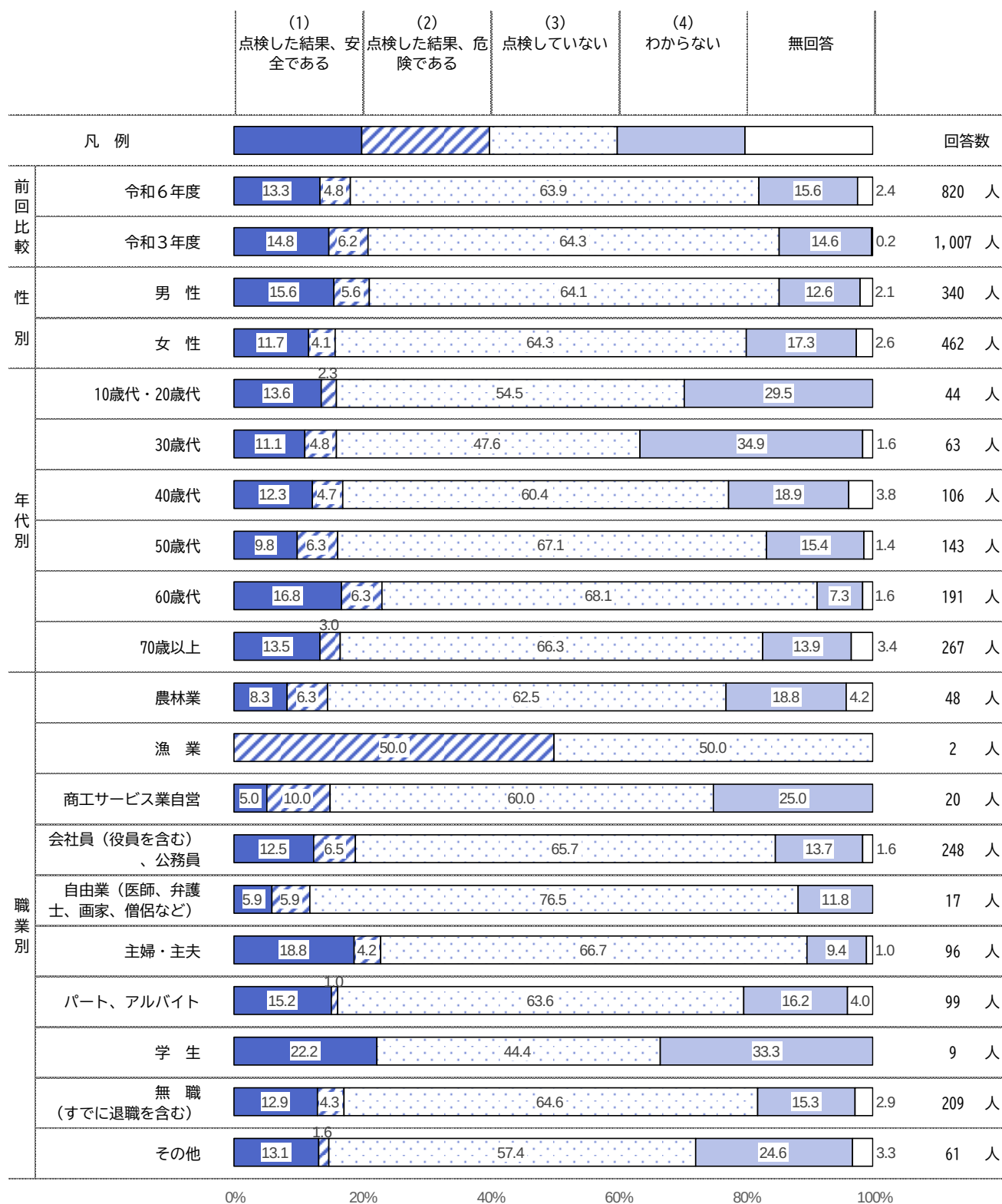
【年代別】

60歳代は、「点検した結果、安全である」が16.8%と、他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

学生は、「わからない」が33.3%と、他の職業より高い割合となっている。

＜前回比較・性別・年代別・職業別＞

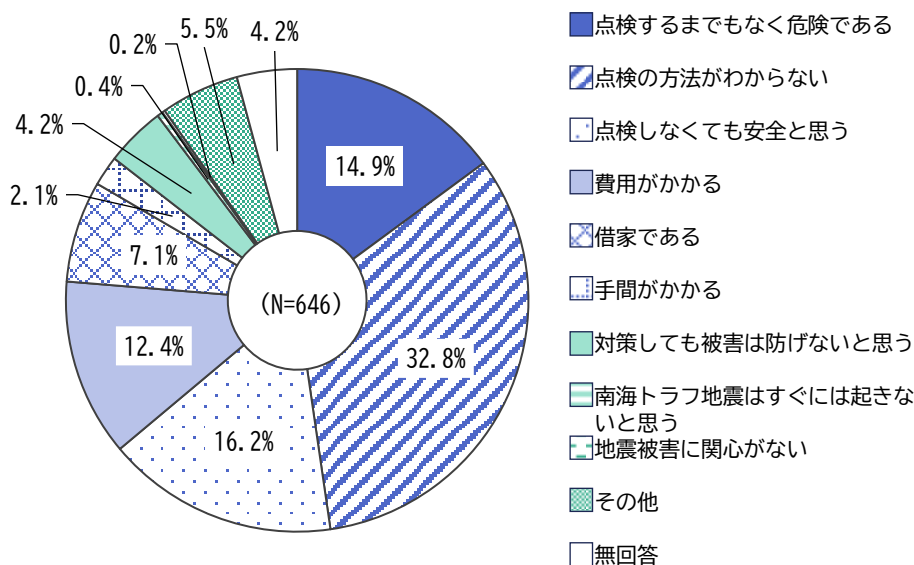


問 32 点検していない理由

問32 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

ブロック塀や石瓶、門柱などを点検していない理由は、「点検の方法がわからない」が32.8%と最も高く、次いで「点検しなくても安全と思う」16.2%、「点検するまでもなく危険である」14.9%と続いている。

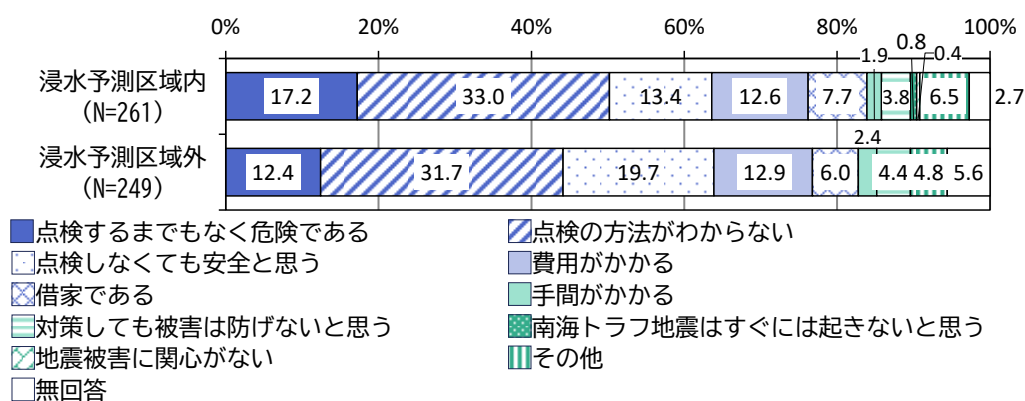
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「点検の方法がわからない」は、浸水予想区域内では33.0%と、浸水予想区域外の31.7%より1.3ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

「点検するまでもなく危険である」は、令和6年度では14.9%、令和3年度は9.6%と5.3ポイント高くなっている。

【性別】

「点検の方法がわからない」は、男性28.0%、女性36.7%と、女性の方が8.7ポイント高い。

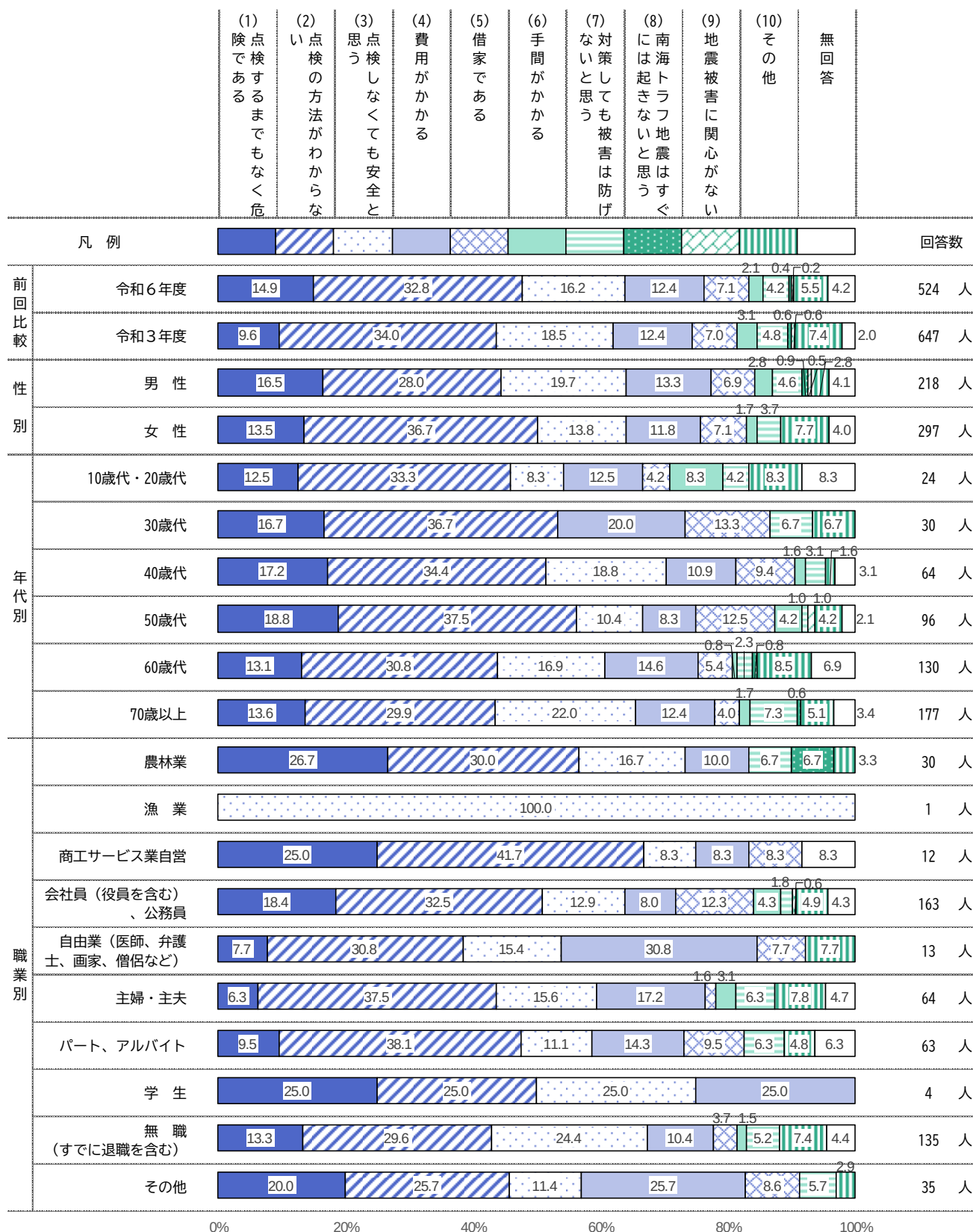
【年代別】

「点検の方法がわからない」は、50歳代で37.5%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

「点検の方法がわからない」は、商工サービス業自営で41.7%と他の職業より高くなっている。

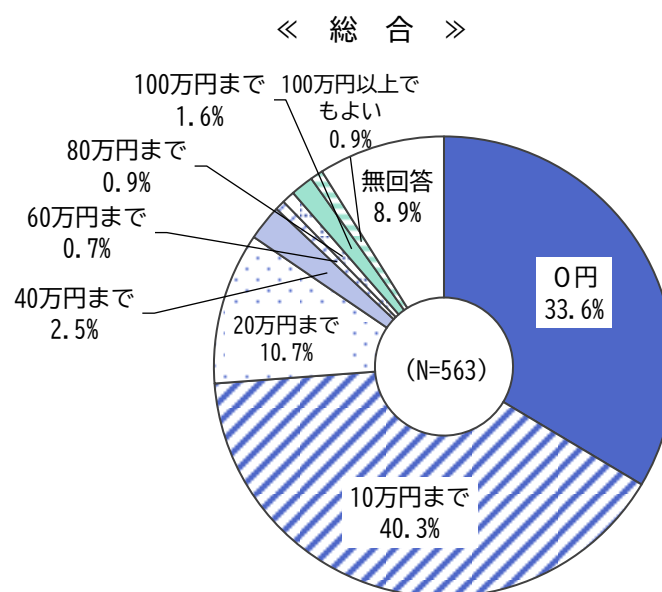
＜前回比較・性別・年代別・職業別＞



問 33 自宅の塀に対し安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額

問33 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

安全対策をしてもよいと思う自己負担許容額は、「10万円まで」が40.3%と最も高く、次いで「0円」33.6%、「20万円まで」10.7%と続いている。



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は、同じ傾向にあり、大きな差は見られない。

【性別】

男性では「0円」が39.2%と最も高く、女性では「10万円まで」が43.7%と最も高くなっている。

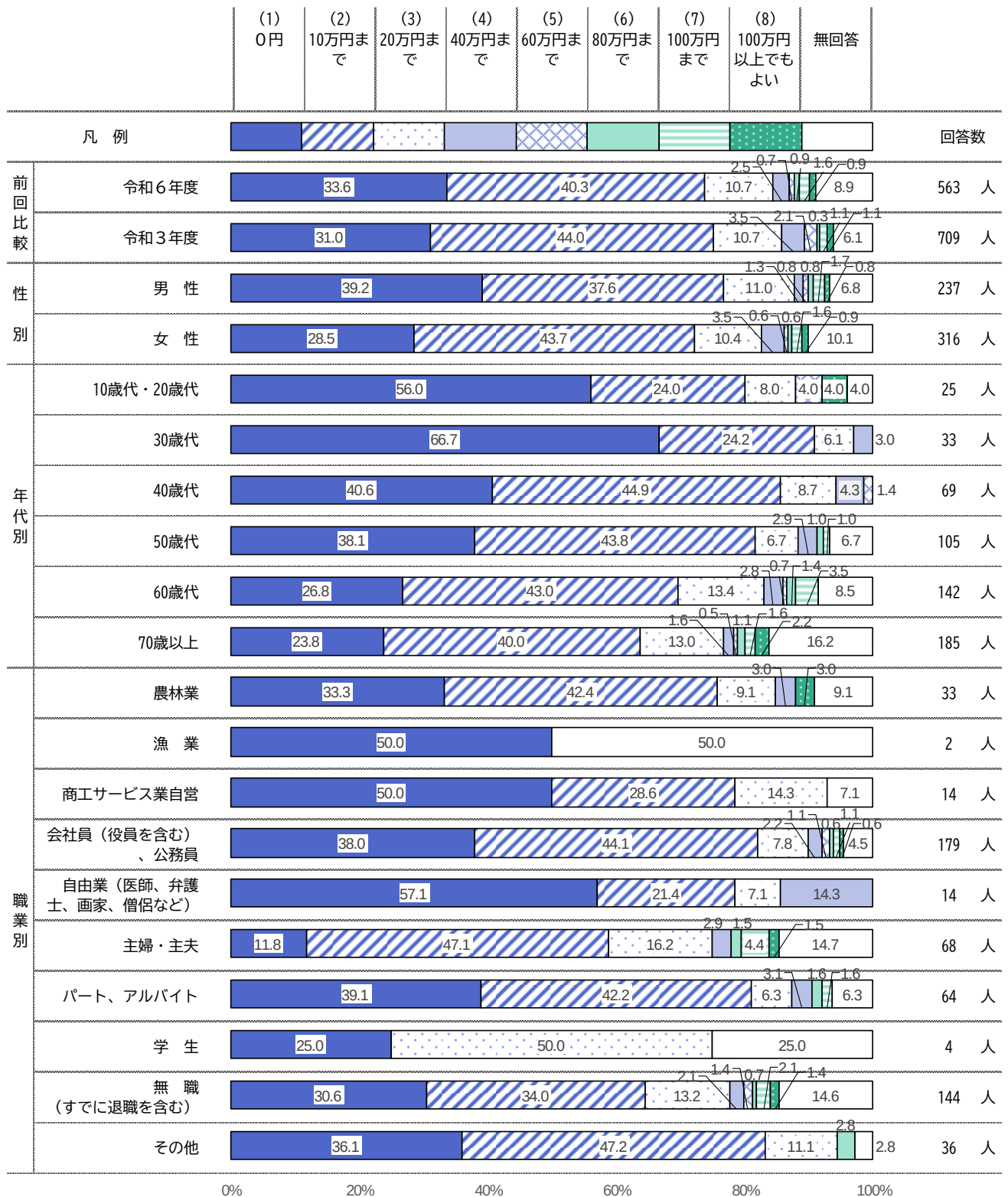
【年代別】

「0円」は、年代が低いほど割合が高くなる傾向にある。

【職業別】

農林業、会社員、公務員、主婦・主夫、パート・アルバイト、無職、その他では「10万円まで」の割合が30%を超えており、中でもその他は47.2%と高くなっている。

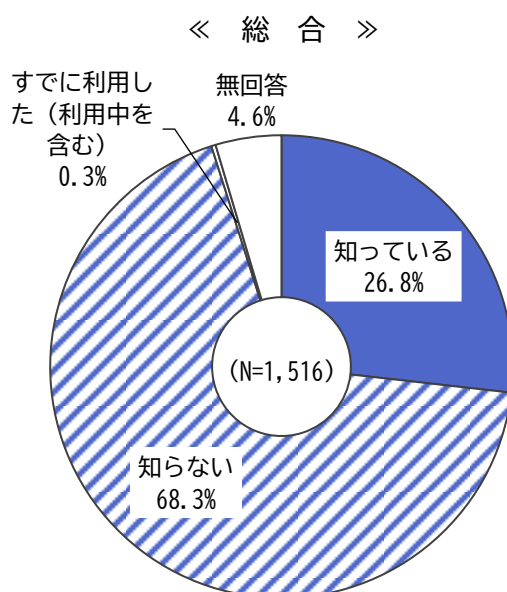
≪ 性別・年代別・職業別 ≫



問 34 ブロック塀などの安全対策に関する補助制度を知っているか

問34 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしていますか。〈ひとつだけ〇〉※市町村によっては補助制度がない場合があります。

緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などへの安全対策のための補助制度は、「知らない」が68.3%と最も高く、次いで「知っている」26.8%、「既に利用した（利用中を含む）」0.3%と続いている。



【前回比較】

「知っている」の割合は、令和3年度の17.6%より9.2ポイント増加している。

【性別】

「知っている」は、男性は31.1%、女性は23.7%と男性の方が7.4ポイント高くなっている。

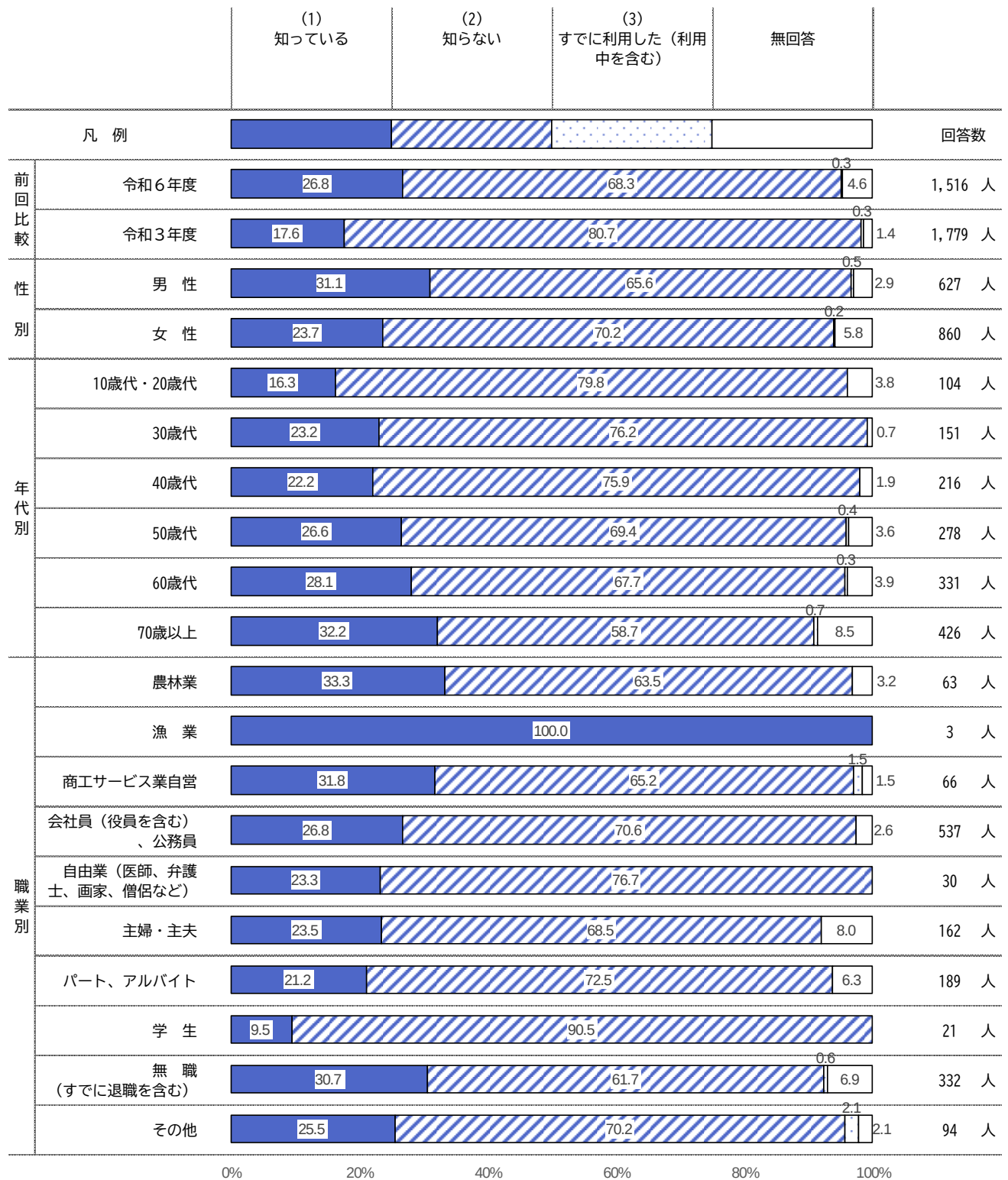
【年代別】

「知っている」は、年代が高いほど割合が高くなる傾向にある。

【職業別】

「知っている」は、学生が9.5%と他の職業より低くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

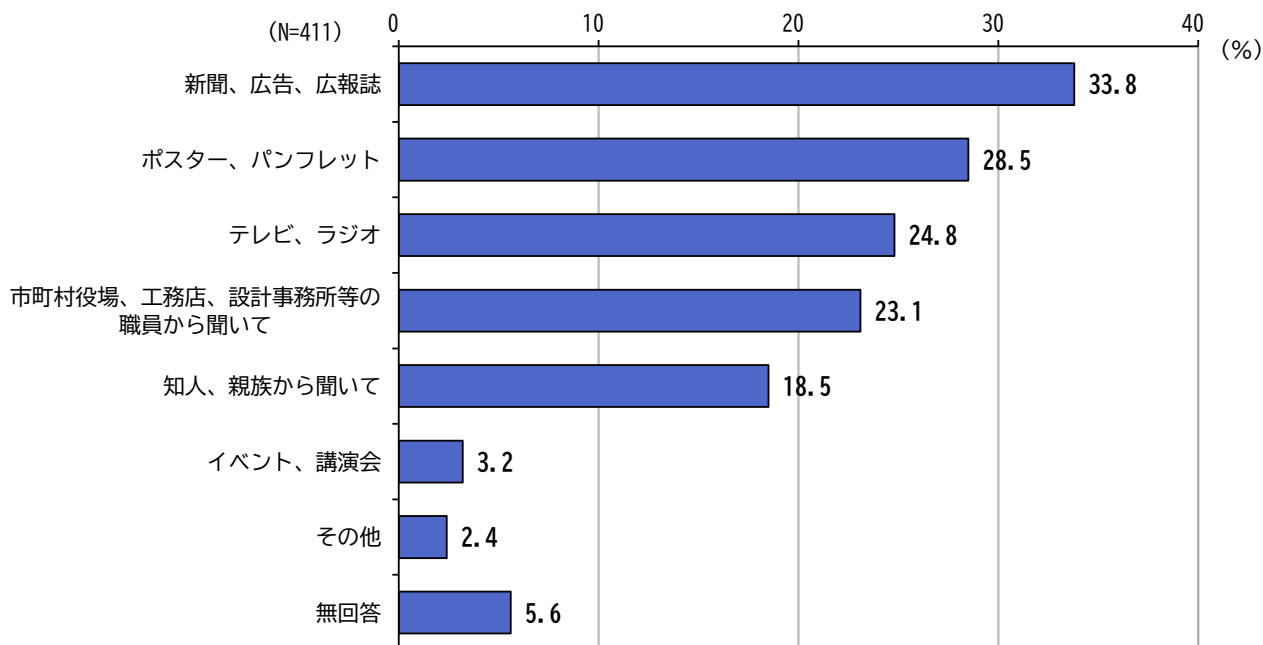


問 35 どのようにして知ったか

問35 問34で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。
どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

どのように補助制度を知ったかは、「新聞、広告、広報紙」33.8%が最も高く、次いで「ポスター、パンフレット」28.5%、「テレビ、ラジオ」24.8%、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」23.1%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」の割合は、令和3年度の31.7%より8.6ポイント減少し、「テレビ、ラジオ」の割合は、8.8ポイント増加している。

【性別】

男女とも「新聞、広告、広報誌」が最も高く、男性では「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いた」、女性では「ポスター、パンフレット」と続いている。

【年代別】

10歳代・20歳代は、「テレビ・ラジオ」が最も高く、30歳代は「ポスター、パンフレット」、40歳代は「新聞、広告、広報誌」、「ポスター、パンフレット」が同率で、50歳代以上では「新聞、広告、広報誌」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、会社員、公務員、主婦・主夫、無職では「新聞、広告、広報誌」が最も高くなっている。

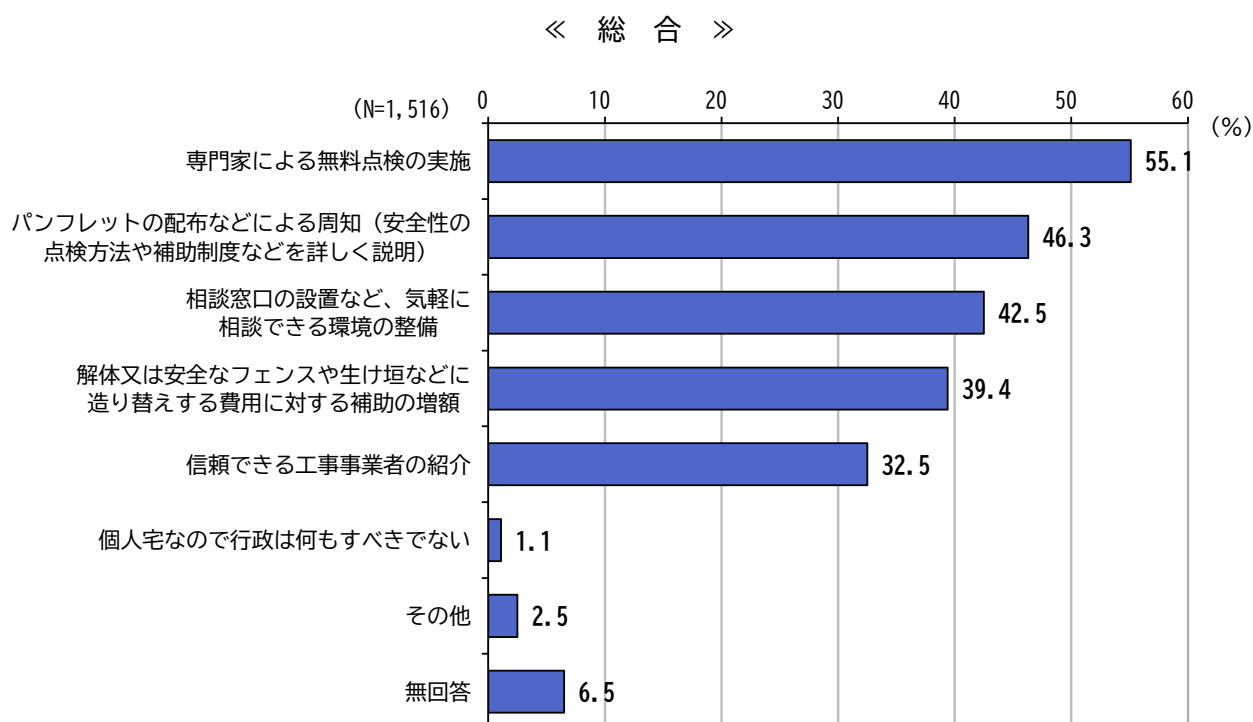
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 新聞、 広告、 広報誌	(2) ポ ス タ ー、 パ ン フ レ ッ ツ	(3) テ レ ビ、 ラ ジ オ	(4) 市 村 役 場、 工 務 店、 設 計 事 務 所 等 の 職 員 か ら 聞 い て	(5) 知 人、 親 族 か ら 聞 い て	(6) イ ベ ン ト、 講 演 会	(7) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝										
			1 位							
			2 位							
今回調査(R6)		411	33.8	28.5	24.8	23.1	18.5	3.2	2.4	5.6
前回調査(R3)		319	30.4	30.1	16.0	31.7	21.3	4.7	3.8	0.9
性 別	男性	198	34.3	27.8	28.3	29.3	13.1	2.5	2.5	6.6
	女性	206	33.0	28.6	21.8	17.5	23.8	3.9	2.4	4.4
	回答しない	4	50.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
年 代 別	10歳代・20歳代	17	23.5	23.5	29.4	23.5	5.9	-	5.9	-
	30歳代	35	14.3	40.0	17.1	14.3	22.9	2.9	2.9	8.6
	40歳代	48	29.2	29.2	27.1	20.8	18.8	2.1	2.1	4.2
	50歳代	75	36.0	33.3	28.0	20.0	18.7	6.7	2.7	1.3
	60歳代	94	36.2	28.7	18.1	25.5	19.1	-	2.1	6.4
	70歳以上	140	38.6	22.9	27.9	26.4	18.6	4.3	2.1	7.9
	農林業	21	42.9	33.3	38.1	14.3	4.8	-	-	4.8
職 業 別	漁業	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	商工サービス業自営	22	27.3	13.6	22.7	40.9	22.7	9.1	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	144	32.6	31.3	23.6	22.9	18.1	2.8	4.9	4.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3
	主婦・主夫	38	42.1	28.9	31.6	10.5	21.1	5.3	-	7.9
	パート、アルバイト	40	32.5	35.0	22.5	20.0	22.5	-	2.5	2.5
	学生	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	104	36.5	26.0	20.2	24.0	23.1	2.9	1.9	7.7
	その他	26	26.9	26.9	26.9	34.6	3.8	7.7	-	3.8

問 36 倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために県や市町村が行うべきことは、「専門家による無料点検の実施」が55.1%と最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」46.3%、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」42.5%と続いている。



【前回比較】

「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」は、令和6年度46.3%、令和3年度54.0%と7.7ポイント減少している。

【性別】

「専門家による無料点検の実施」は、男性50.4%、女性59.1%と女性の方が8.7ポイント高く、「信頼できる工事事業者の紹介」は男性29.5%、女性35.1%と女性の方が5.6ポイント高い。

【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代、40歳代では「パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）」が最も高く、50歳代、60歳代、70歳以上では「専門家による無料点検の実施」が最も高くなっている。

【職業別】

商工サービス業自営、自由業、主婦・主夫、パート・アルバイト、学生、無職、その他では「専門家による無料点検の実施」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 専門家による無料点検の実施	(2) 説明や補助制度などに関する点検方法の周知	(3) 相談窓口の設置など整備	(4) 費用対効果に対する補助額の増減	(5) 信頼できる工事業者の紹介	(6) 個人宅などでの行政は何か	(7) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位						
今回調査(R6)		1,516	55.1	46.3	42.5	39.4	32.5	1.1	2.5	6.5
前回調査(R3)		1,779	57.8	54.0	40.2	39.0	31.6	1.9	2.6	3.5
性別	男性	627	50.4	45.8	44.7	38.9	29.5	1.9	1.6	5.6
	女性	860	59.1	47.3	40.9	40.1	35.1	0.5	3.1	6.9
	回答しない	18	27.8	33.3	50.0	33.3	33.3	5.6	5.6	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	50.0	51.9	40.4	44.2	44.2	2.9	1.9	1.9
	30歳代	151	52.3	53.6	47.0	45.0	36.4	-	4.6	0.7
	40歳代	216	51.9	54.6	42.6	44.0	38.9	1.9	2.8	5.1
	50歳代	278	57.2	47.1	45.0	44.2	36.3	2.5	1.4	4.0
	60歳代	331	58.9	49.5	45.3	40.8	35.3	0.3	2.4	5.4
	70歳以上	426	54.5	35.4	37.8	30.0	20.9	0.5	2.6	12.4
職業別	農林業	63	39.7	42.9	33.3	34.9	20.6	1.6	-	9.5
	漁業	3	33.3	100.0	100.0	33.3	33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66	54.5	42.4	48.5	39.4	33.3	3.0	-	6.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	52.1	54.2	41.0	43.9	37.1	0.9	2.4	2.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	56.7	53.3	53.3	33.3	36.7	3.3	3.3	6.7
	主婦・主夫	162	63.0	38.9	40.1	35.2	29.6	0.6	1.9	7.4
	パート、アルバイト	189	57.7	46.0	46.0	42.9	37.6	-	3.7	7.4
	学生	21	47.6	47.6	33.3	42.9	38.1	14.3	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332	55.7	39.2	40.4	31.9	26.2	0.3	2.4	11.1
	その他	94	62.8	42.6	53.2	44.7	31.9	2.1	5.3	7.4

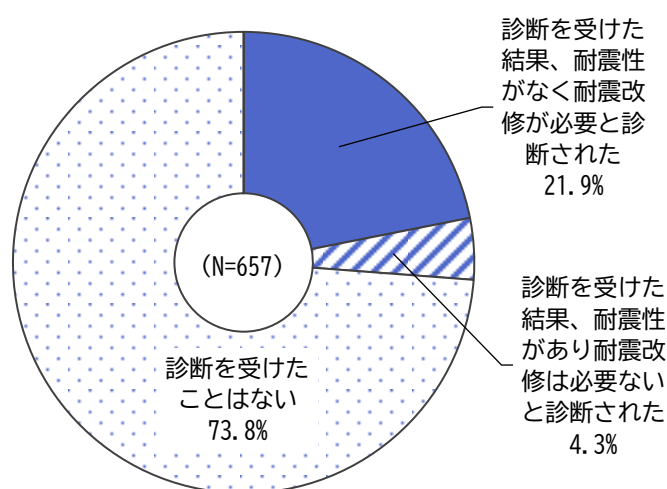
問 37 専門家による耐震診断を受けたことがあるか

問37 「昭和56年5月以前の木造住宅」にお住まいの方におたずねします。(増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。)

専門家による耐震診断(地震の揺れに対する建物の強さの診断)を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。(ひとつだけ○)

専門家による耐震診断を受けたことがあるかどうかは、「診断を受けたことはない」が73.8%と最も高く、次いで「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」21.9%、「診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された」4.3%となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は、同じ傾向で、大きな差も見られなかった。

【性別】

「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」は、男性20.9%、女性22.6%と、女性の方が1.7ポイント高く、「診断を受けたことはない」は男性75.2%、女性72.8%と男性の方が2.4ポイント高くなっている。

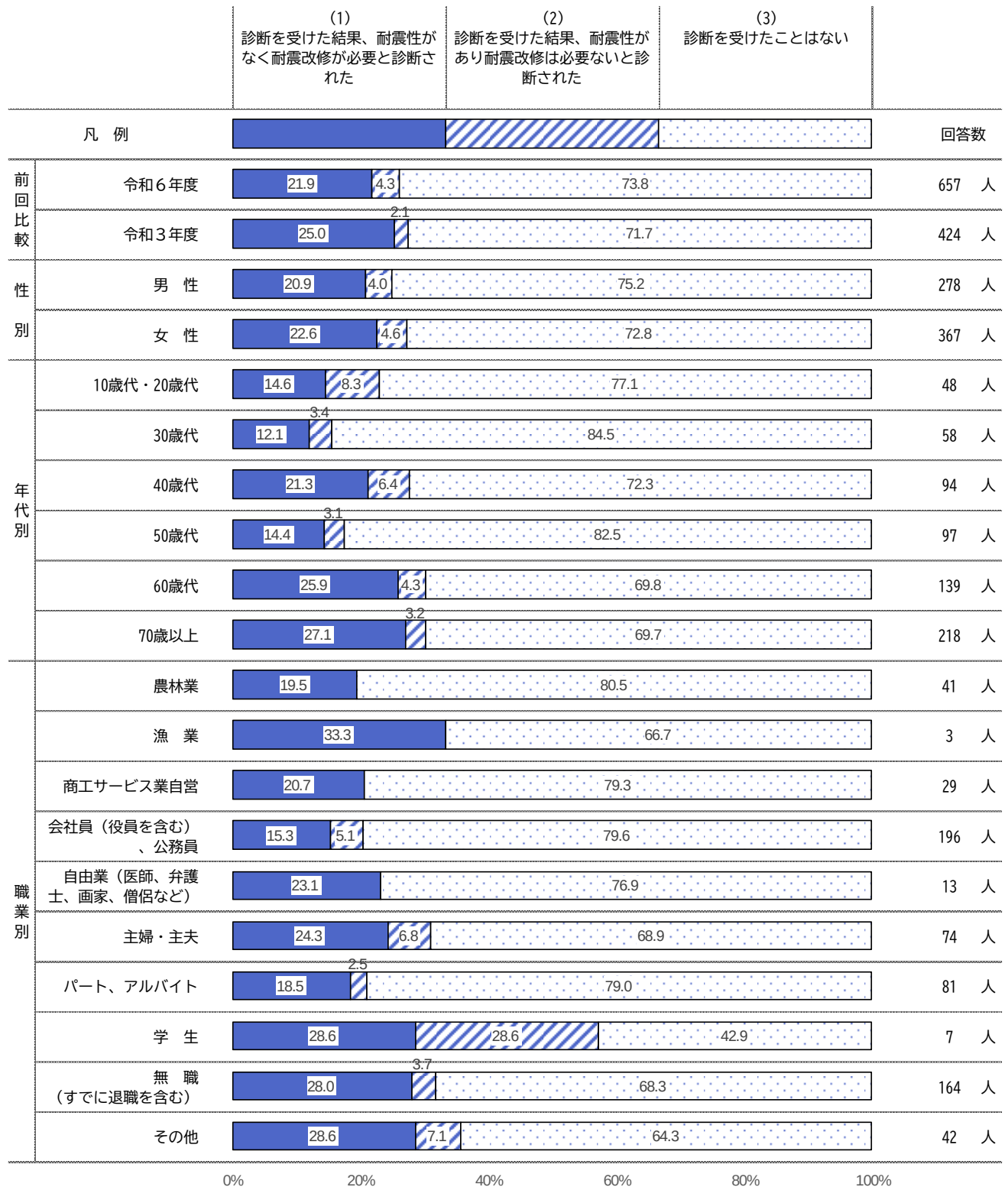
【年代別】

すべての年代で「診断を受けたことはない」が最も高く、30歳代、50歳代では80%を超えている。

【職業別】

すべての職業で「診断を受けたことはない」が最も高く、農林業では80%を超えている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問 38 耐震診断を受けていない理由

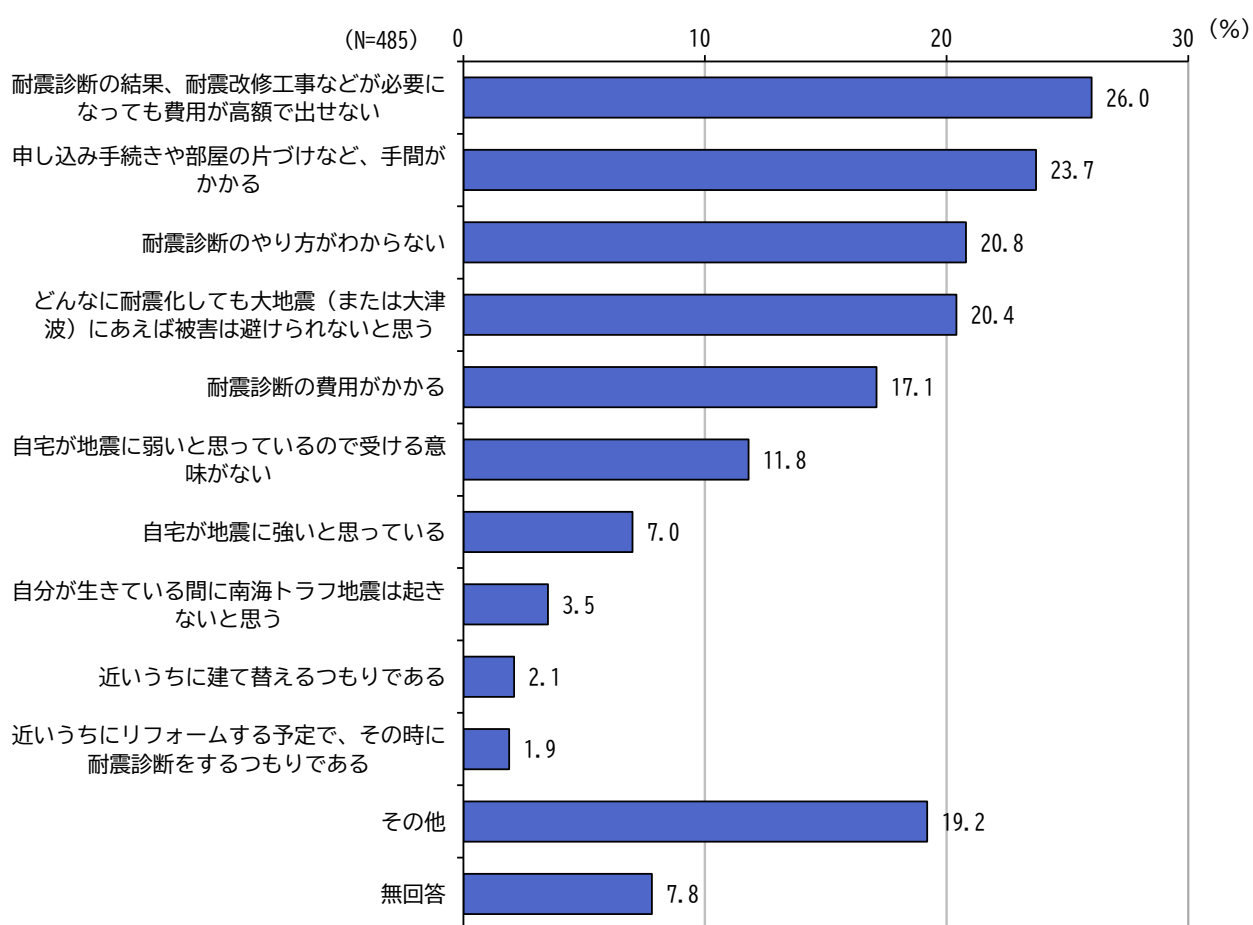
問38 問37で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断は補助制度を利用すると、3千円以下で行えますが、住宅の耐震診断を受けていない理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

※多くの市町村では、耐震診断は無料で行えます。

耐震診断を受けていない理由は、「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が26.0%と最も高く、次いで「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」23.7%、「耐震診断のやり方がわからない」20.8%、「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）に合えば被害は避けられないと思う」20.4%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度、令和3年度ともに「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が最も高いが、令和6年度は令和3年度より5.9ポイント減少している。令和3年度では、2番目が「耐震診断の費用がかかる」となっているが、令和6年度では、「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」となっている。

【性別】

男女とも「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」の割合が最も高く、男性では「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」、女性では「耐震診断のやり方がわからない」が続いている。

【年代別】

10歳代・20歳代では「耐震診断のやり方がわからない」が最も高く、30歳代、40歳代では「申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる」、50歳代～70歳以上では「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、自由業、無職は「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

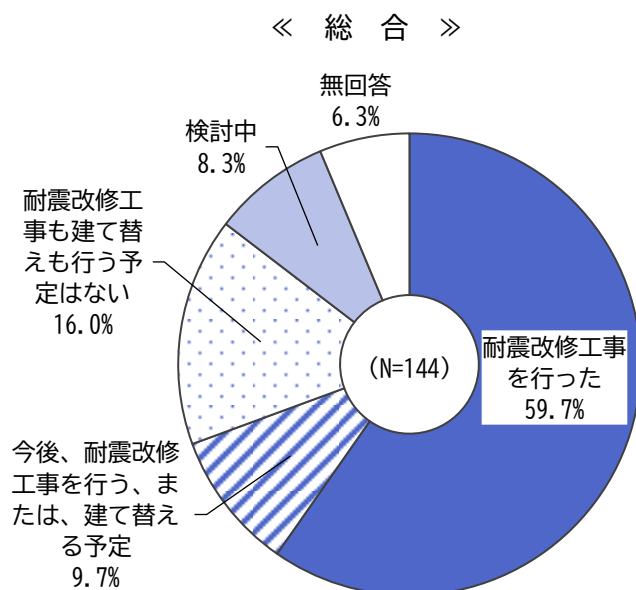
		調査数	(1) 出せな い必要 診断に な結果 でも耐 費用改 修工事 でな	(2) ど申 し込 み手 間か 手続 きや 部屋 の片 づけ な	(3) 耐震 診断 のや り方 がわ から ない	(4) らた ど れは ん な に 波耐 震に 化し てあ るば ば大 害地 震避 けま	(5) 耐震 診断 の費 用が かか る	(6) で自 宅が 地震 に弱 いと思 っている	(7) 自宅 が地震 に強 いと思 っている	(8) 地震 が起き ている 間に南 海トラ フ	(9) る近 いう ちに建 て替 えるつ もりで あ	(10) りて 近いう ちの 時に耐 震診断 をする 予定も	(11) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位										
今回調査(R6)		485	26.0	23.7	20.8	20.4	17.1	11.8	7.0	3.5	2.1	1.9	19.2	7.8
前回調査(R3)		304	31.9	20.7	22.4	22.4	28.6	18.8	3.3	7.9	4.6	3.0	16.4	3.0
性別	男性	209	27.8	24.4	17.7	23.4	19.1	12.0	7.2	5.3	3.3	2.9	16.7	6.2
	女性	267	25.5	22.8	23.2	17.6	15.4	12.0	6.7	2.2	1.1	1.1	20.6	9.4
回答しない		6	-	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	33.3	-
年代別	10歳代・20歳代	37	8.1	27.0	35.1	24.3	18.9	10.8	8.1	-	2.7	2.7	10.8	8.1
	30歳代	49	12.2	26.5	20.4	16.3	18.4	6.1	6.1	2.0	2.0	-	16.3	16.3
	40歳代	68	16.2	23.5	22.1	10.3	16.2	7.4	7.4	1.5	5.9	2.9	19.1	7.4
	50歳代	80	28.8	27.5	25.0	17.5	15.0	11.3	3.8	-	2.5	2.5	26.3	6.3
	60歳代	97	37.1	19.6	13.4	23.7	12.4	12.4	7.2	5.2	-	4.1	21.6	7.2
	70歳以上	152	30.9	23.0	19.7	25.0	20.4	15.8	7.9	6.6	1.3	-	16.4	6.6
職業別	農林業	33	42.4	18.2	12.1	21.2	12.1	12.1	6.1	3.0	3.0	3.0	15.2	3.0
	漁業	2	50.0	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	23	17.4	17.4	4.3	34.8	8.7	17.4	8.7	17.4	-	8.7	17.4	8.7
	会社員(役員を含む)、公務員	156	19.9	26.3	22.4	13.5	15.4	10.3	4.5	1.9	5.1	2.6	20.5	10.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	10	30.0	20.0	-	20.0	20.0	10.0	-	-	10.0	-	20.0	20.0
	主婦・主夫	51	23.5	27.5	33.3	17.6	11.8	11.8	3.9	3.9	-	2.0	15.7	7.8
	パート、アルバイト	64	25.0	20.3	17.2	28.1	15.6	15.6	4.7	1.6	-	-	21.9	3.1
	学生	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無職(すでに退職を含む)	112	34.8	21.4	17.0	20.5	20.5	13.4	11.6	4.5	-	-	17.9	9.8
	その他	27	18.5	33.3	44.4	37.0	33.3	-	14.8	3.7	-	3.7	22.2	-

問 39 耐震改修工事を実施したか、または建て替えを予定しているか

問39 問37で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

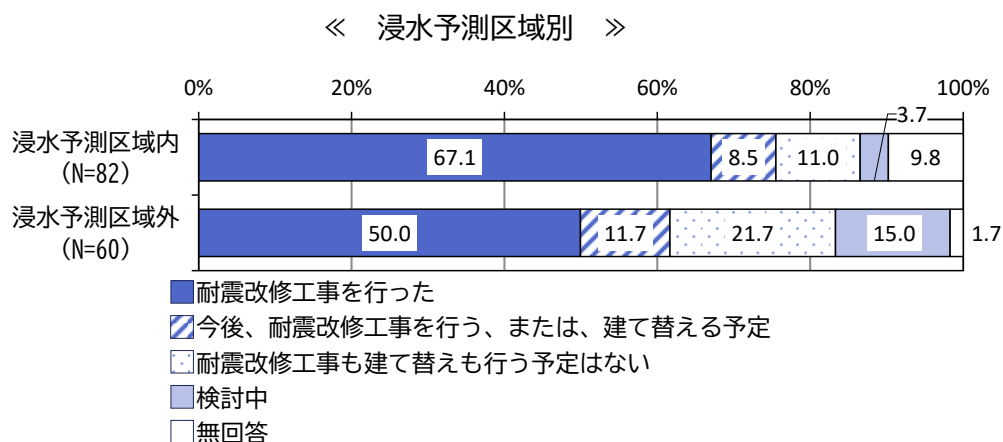
耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。(ひとつだけ○)

耐震改修が必要と診断された人の対応は、「耐震改修工事を行った」が59.7%と最も高く、次いで「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」16.0%、「今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定」9.7%と続いている。



【浸水予測区域別】

「耐震改修工事を行った」は、浸水予想区域内では67.1%と、浸水予想区域外の50.0%より17.1ポイント高くなっている。



【前回比較】

「耐震改修工事を行った」は、令和6年度は59.7%と令和3年度の65.1%より5.4ポイント低くなっている。

【性別】

「耐震改修工事を行った」は、男性は58.6%、女性は61.4%と女性の方が2.8ポイント高い。

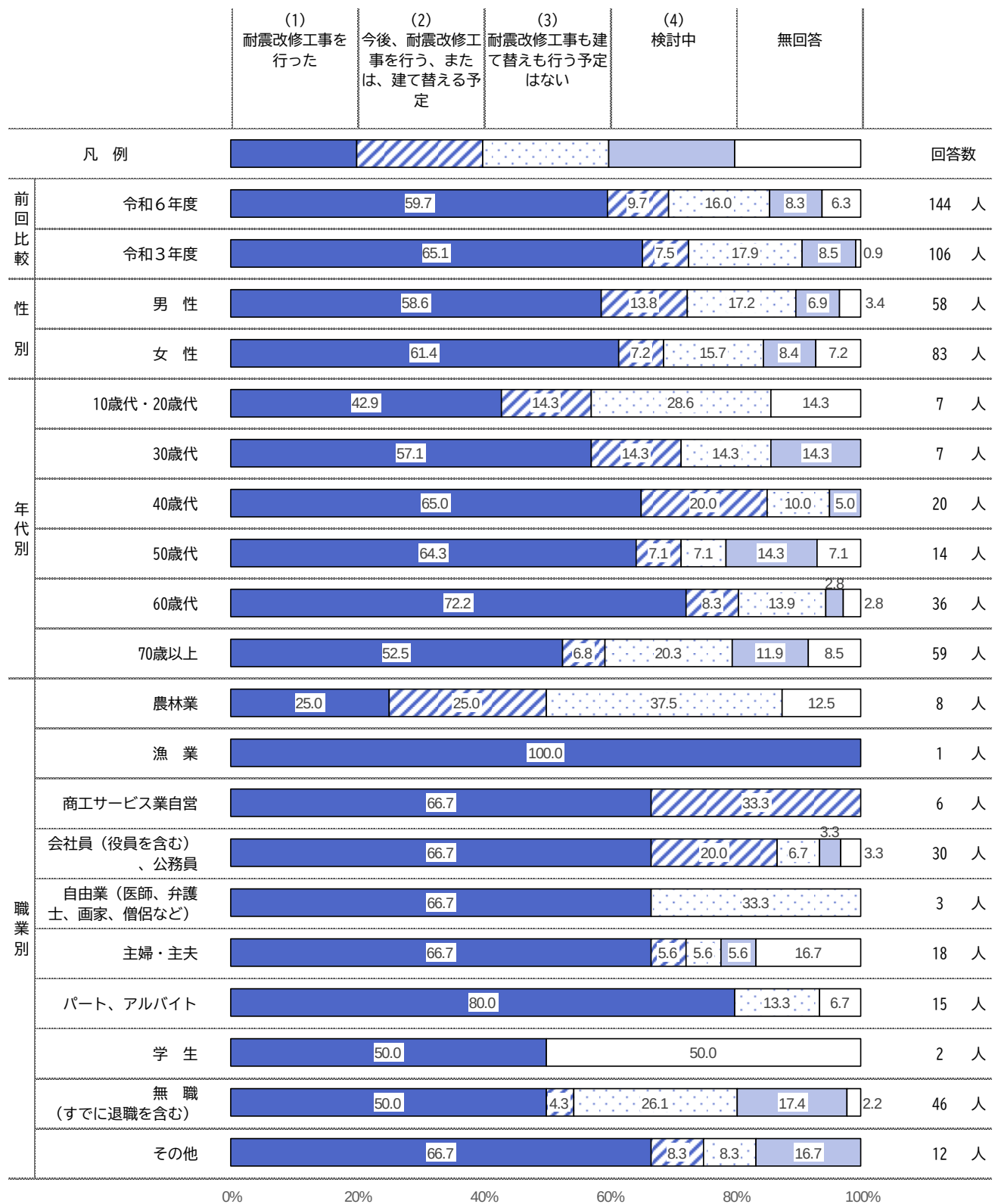
【年代別】

すべての年代で「耐震改修工事を行った」が最も高く、中でも60歳代が72.2%と高くなっている。

【職業別】

農林業を除くすべての職業で「耐震改修工事を行った」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問 40 耐震改修工事をしない理由

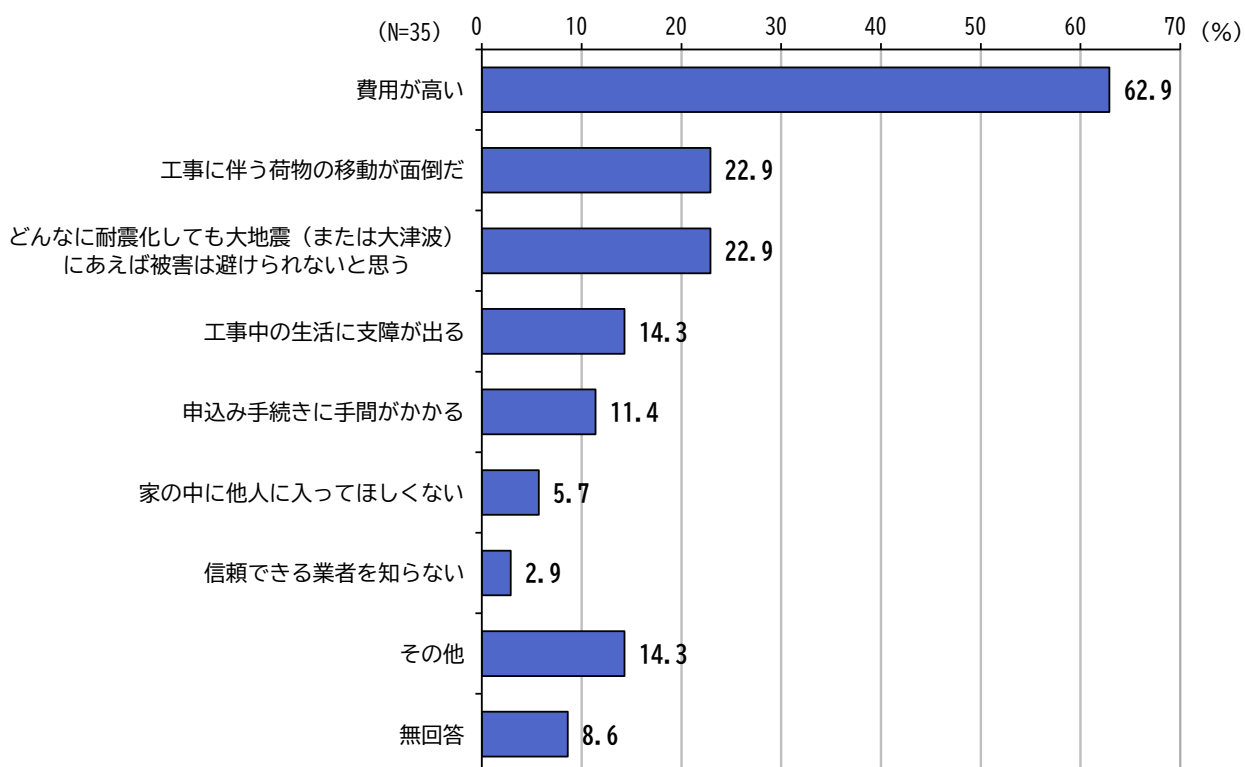
問40 問39で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

耐震改修工事をしない理由は、「費用が高い」が62.9%と最も高く、次いで「工事に伴う荷物の移動が面倒だ」、「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が同率22.9%と続いている。

「費用が高い」は、2番目に高い「工事に伴う荷物の移動が面倒だ」、「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」と比べて40.0ポイント高い。

《 総 合 》



【前回比較】

「費用が高い」の割合は、令和3年度の75.0%より12.1ポイント減少している。

【性別】

男女とも「費用が高い」の割合が最も高く、男性では「工事に伴う荷物の移動が面倒だ」、女性では「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が続いている。

【年代別】

ほとんどの年代で「費用が高い」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

ほとんどの職業で「費用が高い」の割合が最も高くなっている。

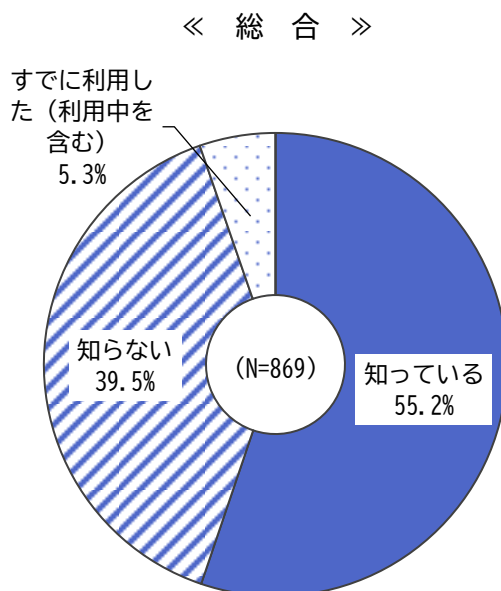
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 費用が高い	(2) 工事に伴う荷物の移動が面倒だ	(3) どんなに耐震化しても大地震は避けられないと思う	(4) 工事中の生活に支障が出る	(5) 申込み手続きに手間がかかる	(6) 家の中に他人に入ってほしくない	(7) 信頼できる業者を知らない	(8) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝											
			1位								
			2位								
今回調査(R6)		35	62.9	22.9	22.9	14.3	11.4	5.7	2.9	14.3	8.6
前回調査(R3)		28	75.0	28.6	25.0	35.7	21.4	17.9	17.9	21.4	3.6
性別	男性	14	57.1	21.4	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	-	21.4
	女性	20	65.0	25.0	30.0	15.0	10.0	5.0	-	25.0	-
	回答しない	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代・20歳代	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	40歳代	3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	50歳代	3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	60歳代	6	66.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7
	70歳以上	19	57.9	36.8	36.8	21.1	10.5	5.3	5.3	15.8	5.3
職業別	農林業	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	パート、アルバイト	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	20	55.0	40.0	30.0	25.0	20.0	10.0	5.0	15.0	5.0
	その他	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-

問 41 耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事に関する補助制度を知っているか

問41 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

補助制度の認知状況は、「知っている」が55.2%と最も高く、次いで「知らない」39.5%、「すでに利用した（利用中を含む）」5.3%となっている。



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は、同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも、同じ傾向で、性別でも大きな差は見られない。

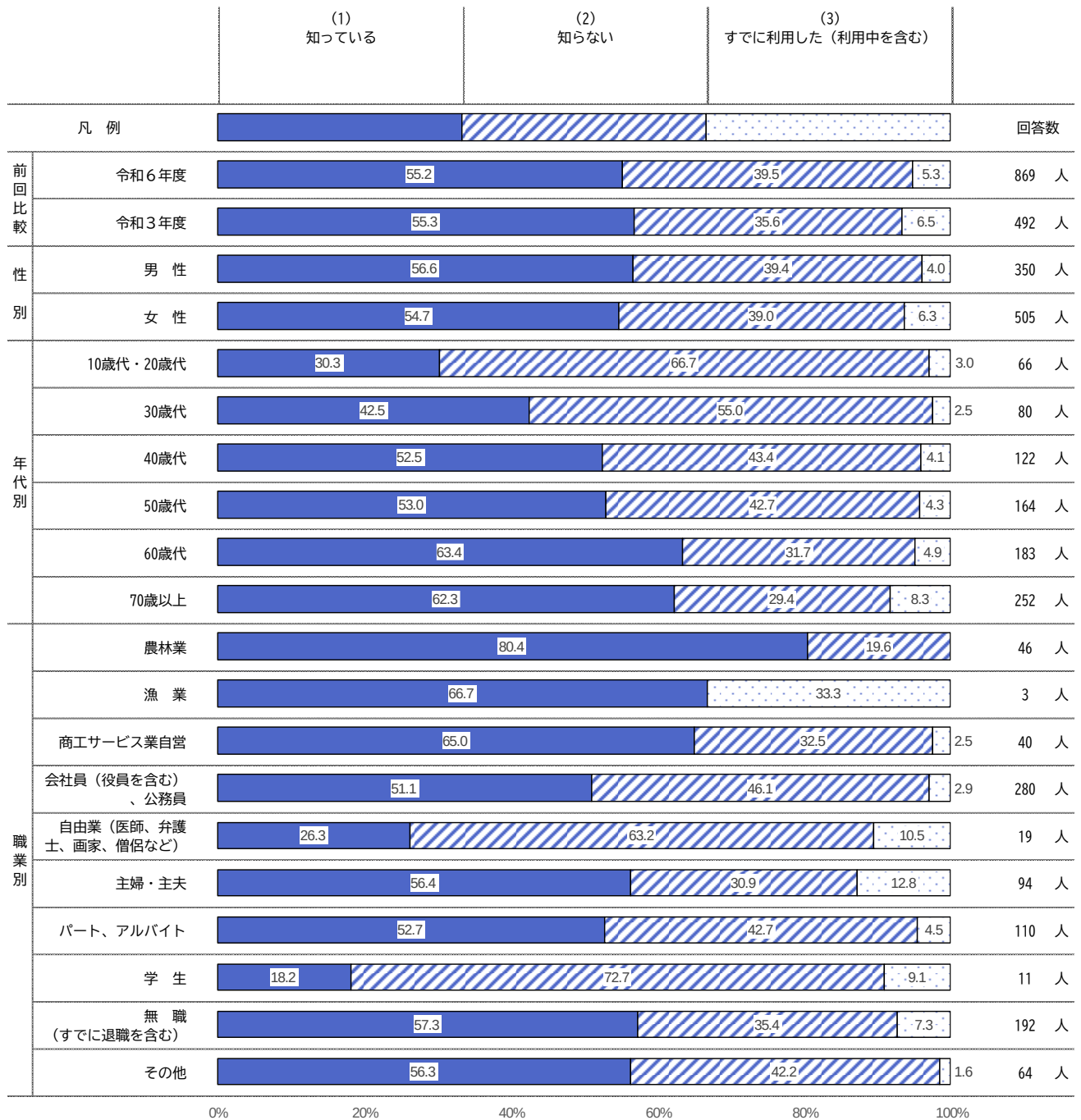
【年代別】

「知っている」の割合は、年齢が高いほど、割合も高くなっている。

【職業別】

自由業、学生を除くすべての職業で「知っている」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問41×問38

「補助制度の認知度」と「耐震診断を受けていない理由」とのクロス分析

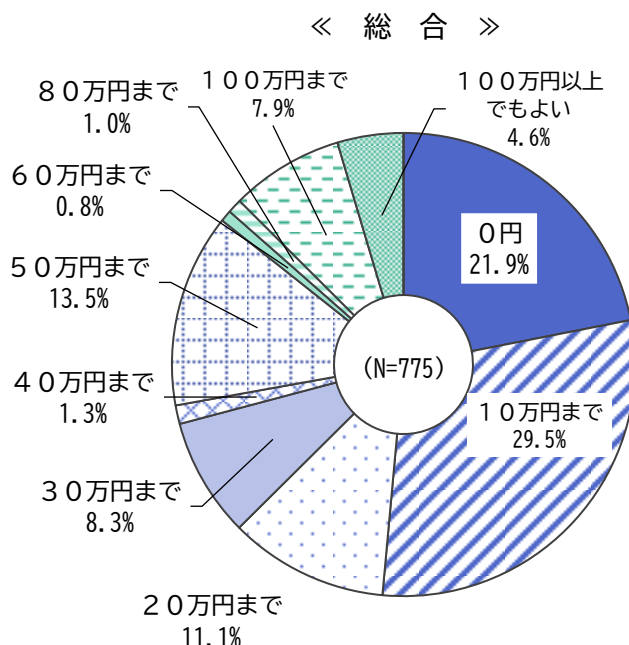
「耐震診断を受けていない理由」として、「耐震診断の費用がかかる」と回答した人のうち、補助制度を「知らない」と回答した方は54.2%となっている。

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	(3) すでに利用した (利用中を含む)	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝						
問 3 8	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	17	58.8	35.3	-	5.9
	自宅が地震に強いと思っている	34	52.9	35.3	-	11.8
	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味がない	57	50.9	38.6	1.8	8.8
	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	115	39.1	52.2	-	8.7
	耐震診断の費用がかかる	83	38.6	54.2	-	7.2
	耐震診断のやり方がわからない	101	23.8	71.3	-	5.0
	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	9	44.4	33.3	11.1	11.1
	近いうちに建て替えるつもりである	10	20.0	80.0	-	-
	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	126	50.8	43.7	-	5.6
	どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う	99	53.5	40.4	1.0	5.1
	その他	93	45.2	40.9	-	14.0
	無回答	38	23.7	21.1	-	55.3

問 42 耐震改修工事や設計の自己負担許容額

問42 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

耐震改修工事や設計の自己負担許容額は、「10万円まで」が29.5%と最も高く、次いで「0円」21.9%、「50万円まで」13.5%と続いている。



【前回比較】

令和6年度は令和3年度と比べ、「10万円まで」の割合が8.0ポイント増加している。

【性別】

男性は、女性に比べて「0円」が8.5ポイント、女性は、男性に比べて「10万円まで」が5.3ポイント高くなっている。

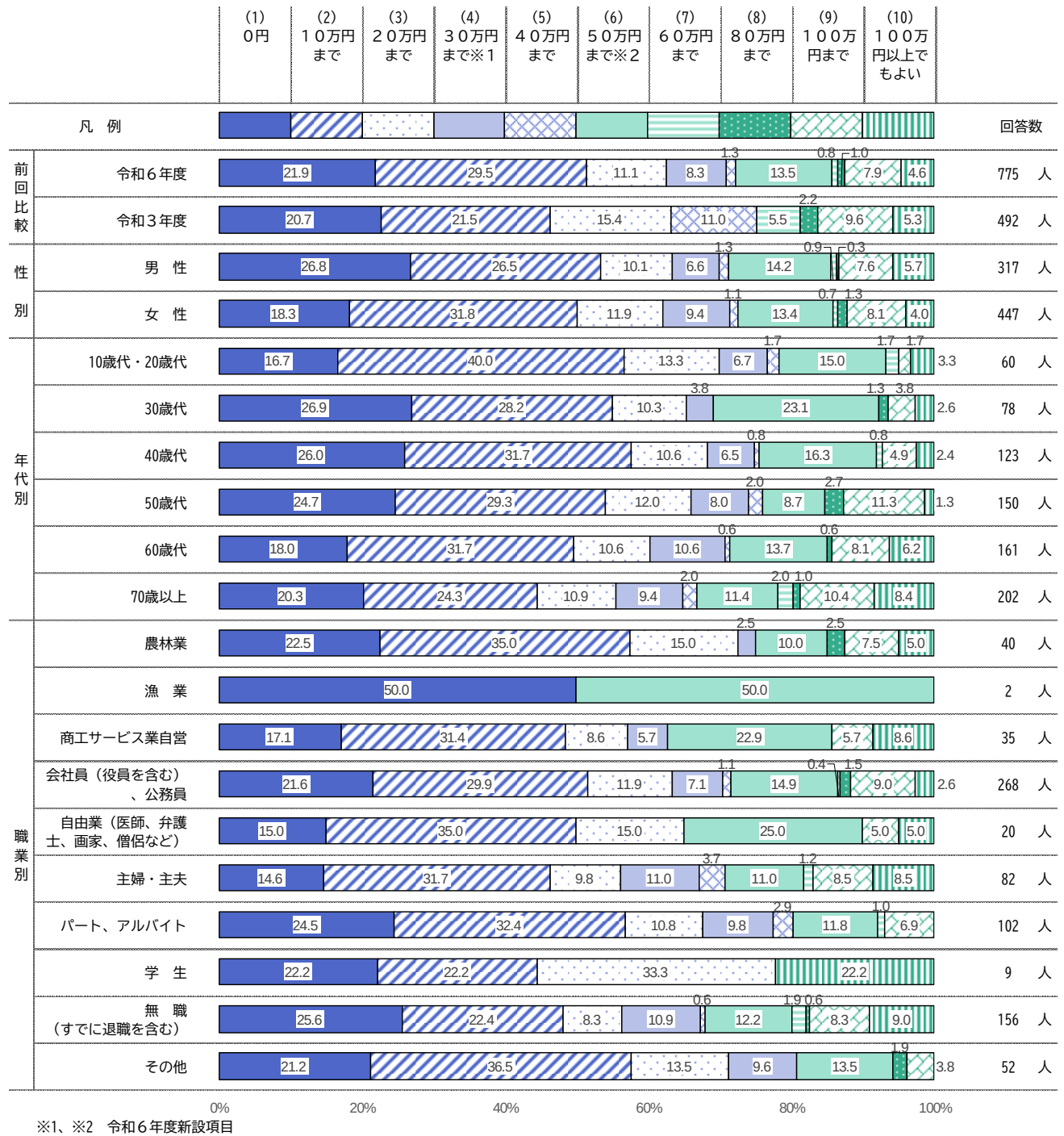
【年代別】

すべての年代で「10万円まで」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

漁業、学生、無職を除くすべての職業で「10万円まで」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問 43 耐震化を促進するために県が市町村と協力して行う施策で特に力を入れるべきものは何か

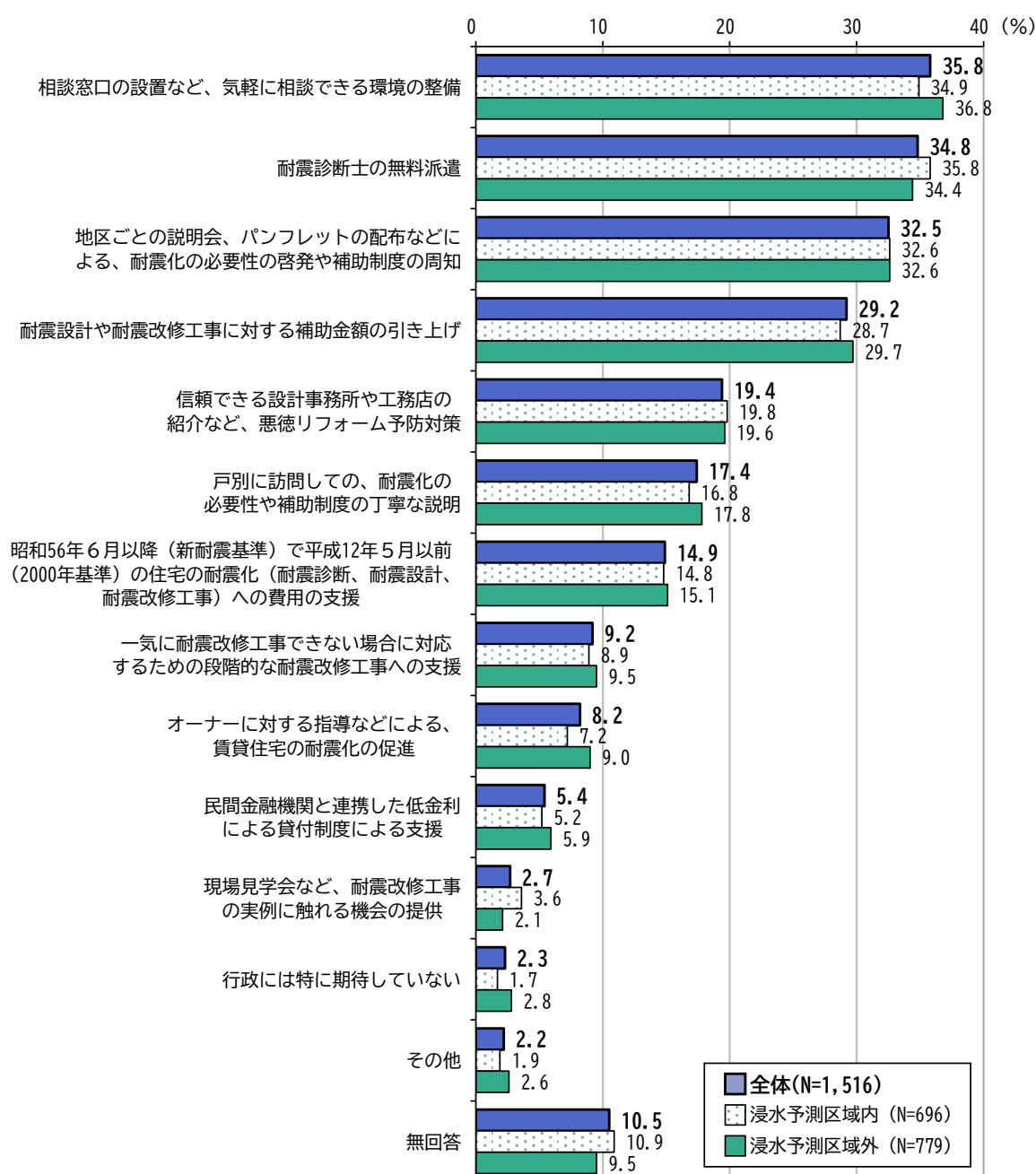
問43 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○）

耐震化を促進するために県が市町村等と協力して行う施策は、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が35.8%と最も高く、次いで「耐震診断士の無料派遣」34.8%、「地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知」32.5%と続いている。

【浸水予測区域別】

「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」は浸水予測区域内で34.9%、浸水予測区域外で36.8%と浸水予測区域外の方が1.9ポイント高くなっている。

＜ 総 合 ・ 浸水予測区域別 ＞



【前回比較】

「耐震診断士の無料派遣」は6.2ポイント、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」は1.9ポイント減少している。

【性別】

男性では「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が39.6%と最も高く、女性では「耐震診断士の無料派遣」が37.2%と最も高くなっている。

【年代別】

10歳代・20歳代、40歳代は「地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知」が最も高く、30歳代、70歳以上は「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が、50歳代、60歳代は「耐震診断士の無料派遣」が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、漁業、商工サービス業自営、主婦・主夫、無職では「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)		
		調査数	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	耐震診断士の無料派遣	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	昭和56年6月以降（新耐震基準）で平成12年5月以前計、耐震改修工事への費用の支援	一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	進オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	行政には特に期待していない	その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位												
今回調査(R6)		1,516	35.8	34.8	32.5	29.2	19.4	17.4	14.9	9.2	8.2	5.4	2.7	2.3	2.2	10.5
前回調査(R3)		1,779	37.7	41.0	36.1	32.3	19.9	21.9	22.5	13.7	5.5	8.4	3.4	3.9	1.6	2.3
性別	男性	627	39.6	32.1	31.7	30.5	15.2	19.8	14.8	8.5	7.3	5.3	1.4	3.2	2.6	9.9
	女性	860	32.8	37.2	33.4	28.4	22.4	16.0	15.1	9.8	9.2	5.6	3.7	1.4	1.9	10.8
回答しない		18	44.4	27.8	27.8	27.8	22.2	5.6	5.6	5.6	-	5.6	-	16.7	5.6	-
年代別	10歳代・20歳代	104	34.6	35.6	46.2	35.6	17.3	14.4	16.3	8.7	6.7	6.7	1.0	1.9	1.0	7.7
	30歳代	151	39.7	38.4	37.7	34.4	13.9	18.5	13.9	11.9	9.9	5.3	3.3	2.0	2.6	4.6
	40歳代	216	36.1	30.6	36.6	31.9	18.5	17.6	15.3	10.2	10.2	6.9	5.1	2.3	0.5	7.9
	50歳代	278	37.4	42.4	31.7	27.7	25.2	18.3	15.5	9.4	14.4	5.8	2.9	2.2	0.4	5.8
	60歳代	331	33.8	38.7	30.8	29.9	20.5	17.8	14.5	9.7	7.9	4.2	2.1	2.7	1.8	12.1
	70歳以上	426	35.0	28.2	27.5	25.1	17.8	16.9	14.8	7.3	3.5	5.2	2.1	2.3	4.7	15.5
職業別	農林業	63	34.9	33.3	25.4	34.9	17.5	15.9	12.7	7.9	4.8	9.5	1.6	1.6	7.9	7.9
	漁業	3	100.0	-	100.0	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	36.4	27.3	27.3	25.8	15.2	6.1	10.6	7.6	10.6	7.6	-	6.1	1.5	12.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	36.3	35.8	37.6	31.8	18.1	18.2	15.3	8.9	12.1	6.7	3.7	1.5	0.6	7.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	26.7	40.0	36.7	20.0	20.0	16.7	23.3	10.0	6.7	-	-	6.7	-	10.0
	主婦・主夫	162	42.6	37.0	30.9	23.5	24.7	16.7	14.8	10.5	3.7	5.6	2.5	-	3.1	9.9
	パート、アルバイト	189	34.4	38.1	29.1	36.0	19.0	14.3	15.9	10.6	10.1	3.7	3.2	1.6	1.1	13.8
	学生	21	23.8	42.9	42.9	28.6	19.0	23.8	19.0	-	-	14.3	-	9.5	-	9.5
	無職(すでに退職を含む)	332	34.6	32.2	28.3	25.0	21.4	17.5	13.9	8.1	4.8	3.3	2.1	3.6	3.3	14.2
	その他	94	30.9	38.3	30.9	27.7	17.0	27.7	16.0	13.8	6.4	4.3	3.2	3.2	5.3	9.6

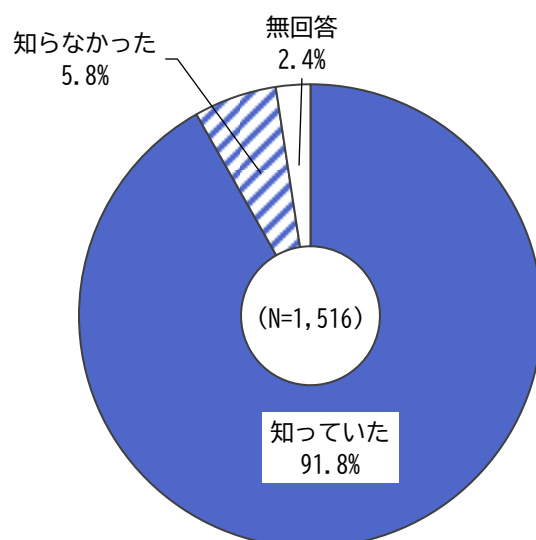
（５）地震火災対策について

問 44 地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか

問44 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。（ひとつだけ○）

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることについては、91.8%が「知っていた」と回答し、「知らなかった」の回答は5.8%だった。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度、令和3年度とも同じ傾向で、大きな差は見られなかった。

【性別】

「知らなかった」は女性が6.9%と、男性の4.3%より2.6ポイント高くなっている。

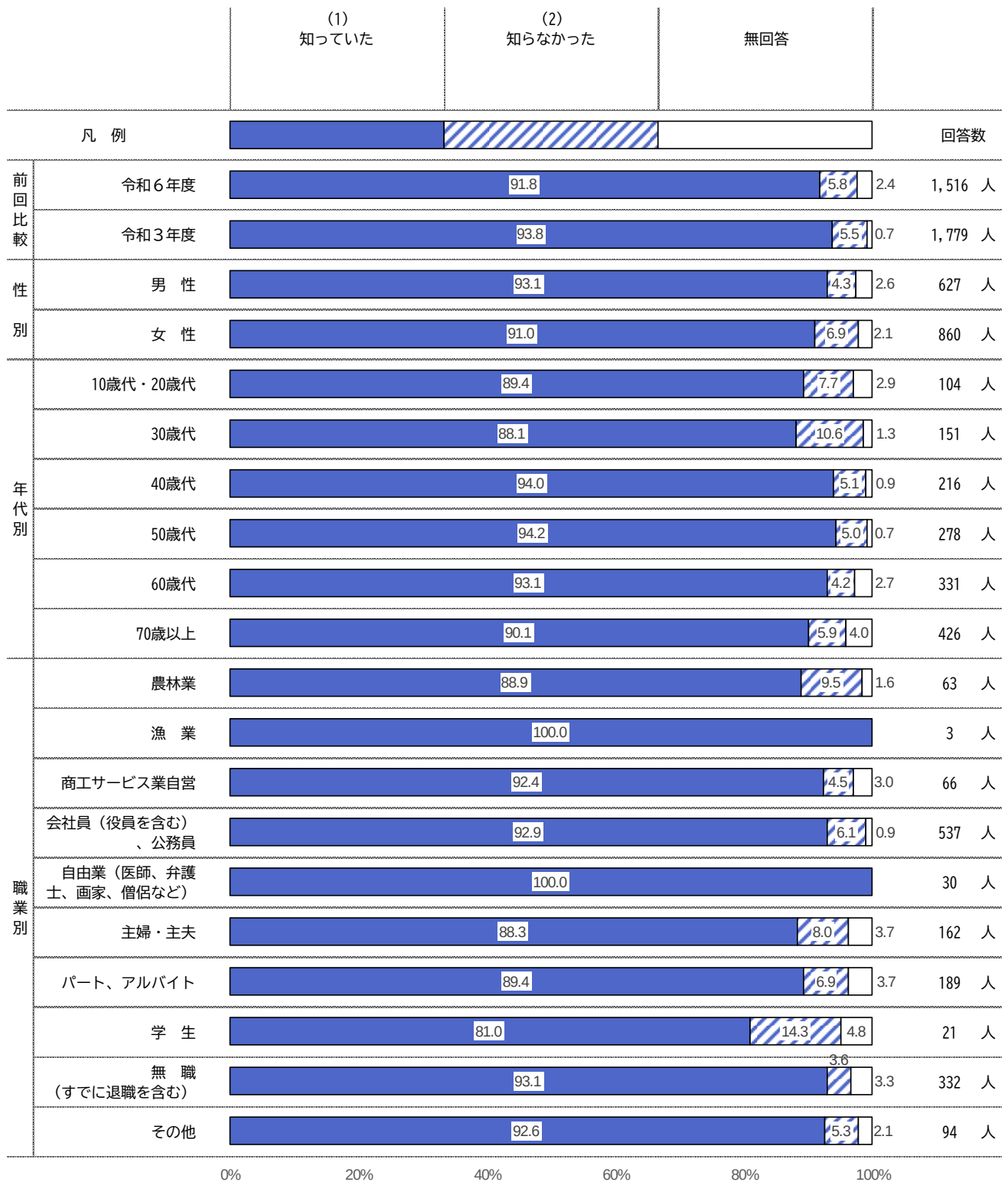
【年代別】

30歳代の「知らなかった」は10.6%と他の年代よりも高い割合となっている。

【職業別】

農林業、学生は、「知らなかった」の割合が9%を超えており、他の職業よりも高い割合となっている。

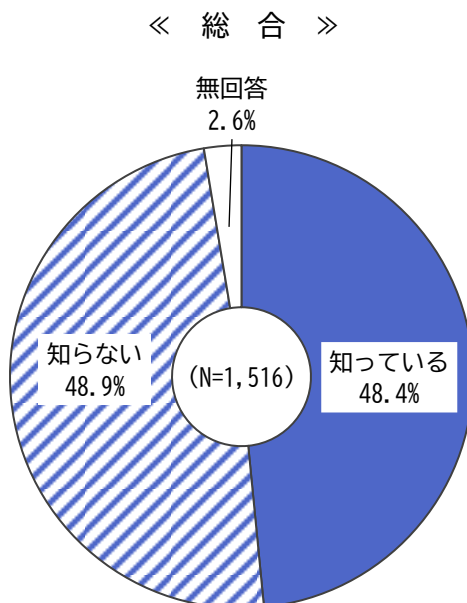
◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶



問 45 感震ブレーカーを知っているか

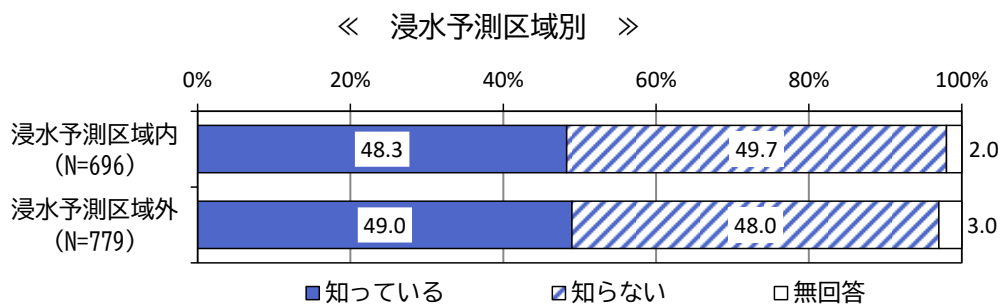
問45 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー」を知っていますか。
(ひとつだけ○)

感震ブレーカーについては、「知っている」が48.4%、「知らない」が48.9%となっている。



【浸水予測区域別】

「知っている」は、浸水予想区域内では48.3%、浸水予想区域外49.0%となっており、浸水予測区域別は大きな差は見られない。



【前回比較】

令和6年度、令和3年度ともに同じ傾向で、大きな違いは見られない。

【性別】

「知っている」は、男性は56.6%、女性は42.6%と男性の方が14.0ポイント高くなっている。

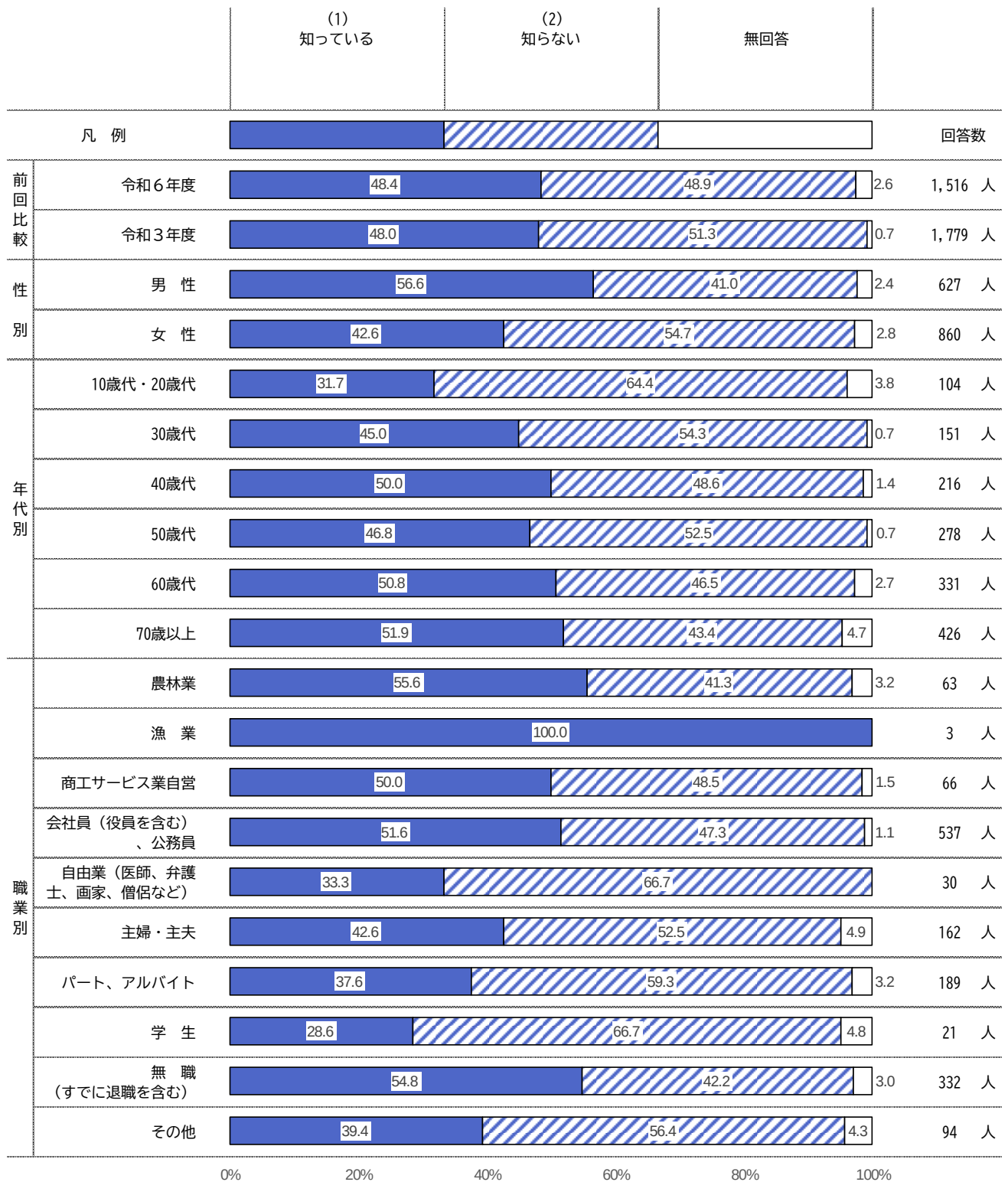
【年代別】

40歳代、60歳代、70歳以上では「知っている」の割合が50%以上であるが、10歳代・20歳代では31.7%と他の年代より低くなっている。

【職業別】

農林業、漁業、商工サービス業自営、会社員、公務員、無職では「知っている」の割合が50%以上である。

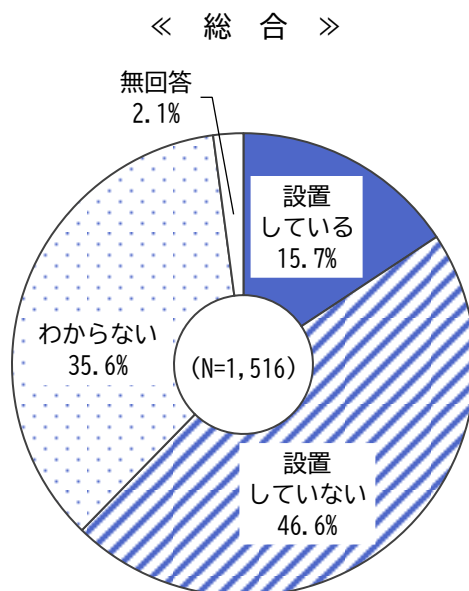
≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



問 46 感震ブレーカーを設置しているか

問46 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

感震ブレーカーの設置については、「設置していない」が46.6%と最も高く、次いで「わからない」35.6%、「設置している」は15.7%となっている。



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は、同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも「設置していない」の割合が最も高く、男性では49.8%、女性では44.7%となっている。

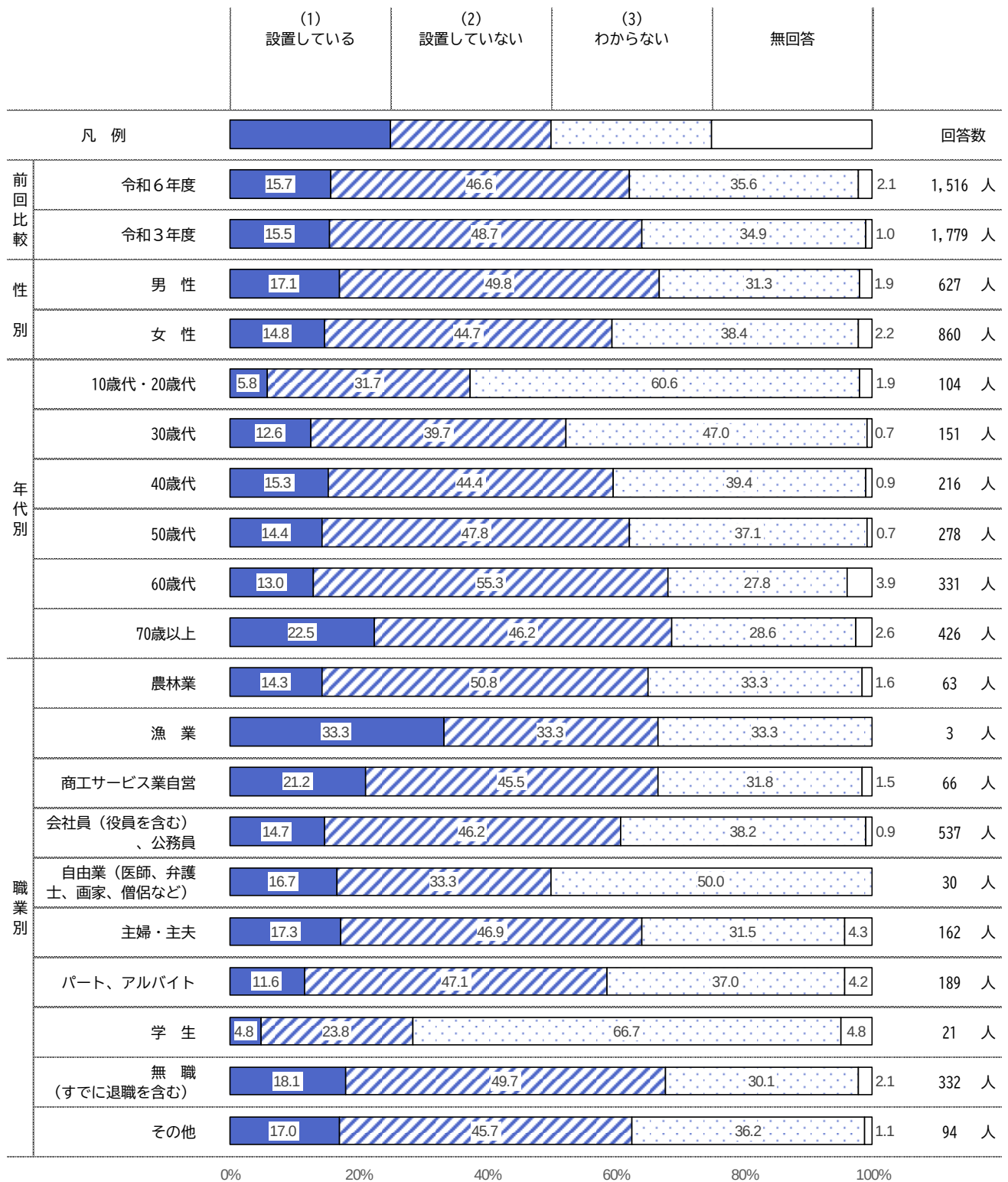
【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代は「わからない」が、40歳代～70歳以上では「設置していない」が高くなっている。

【職業別】

自由業、学生は、「わからない」が、50%以上と最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

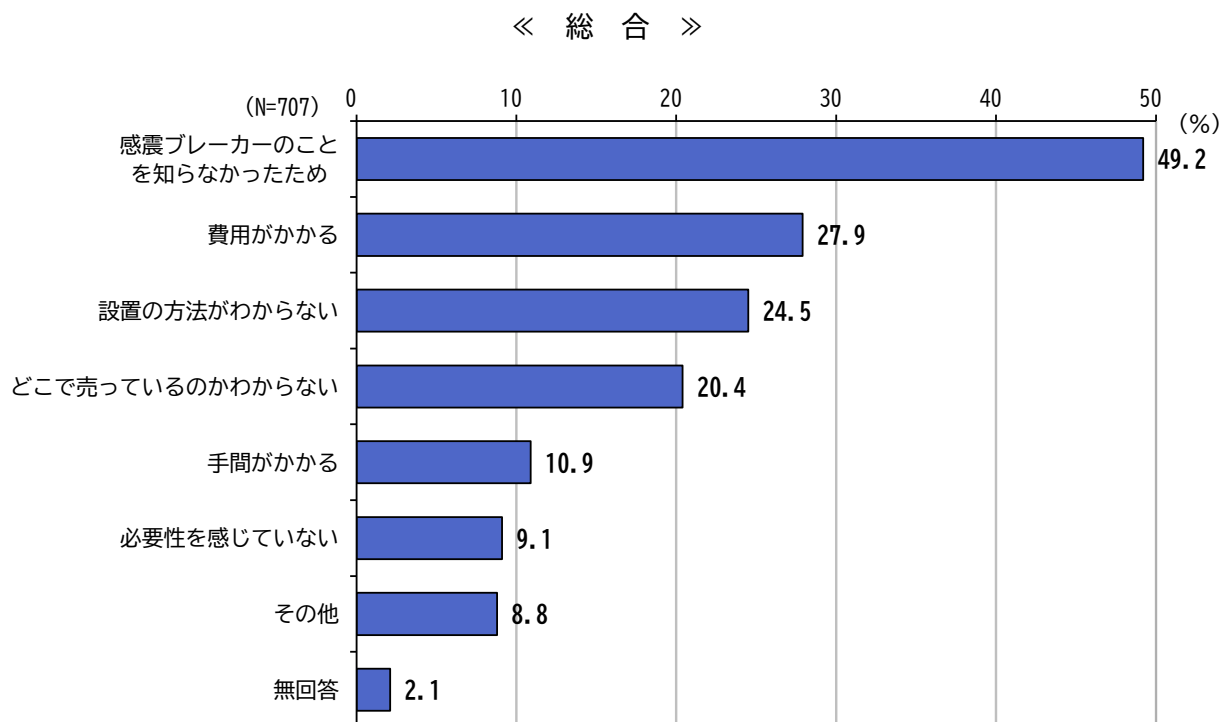


問 47 感震ブレーカーを設置していない理由

問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

感震ブレーカーを設置していない理由は、「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が49.2%と最も高く、次いで「費用がかかる」27.9%、「設置の方法がわからない」24.5%と続いている。



【前回比較】

令和6年度と令和3年度はほとんど同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも「感震ブレーカーのことを知らなかったため」の割合が最も高く、男性では「費用がかかる」、女性では「設置の方法がわからない」が続いている。

【年代別】

すべての年代で「感震ブレーカーのことを知らなかったため」の割合が最も高く、中でも60歳代は53.0%と高くなっている。

【職業別】

農林業、漁業を除くすべての職業で「感震ブレーカーのことを知らなかったため」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

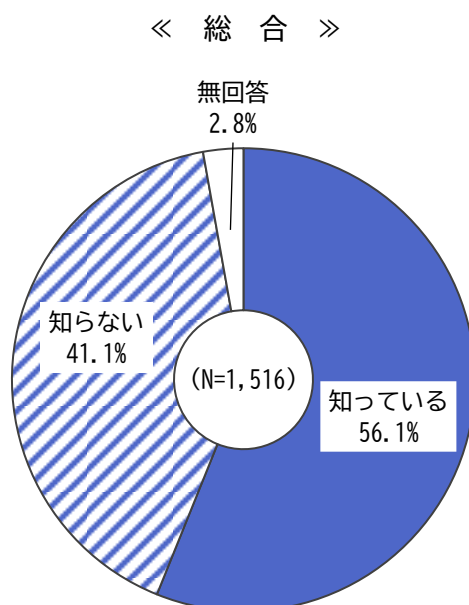
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		調 査 数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無 回 答
			を感 震ブ レ－ カー のこ と た め	費 用 が か か る	い設 置の 方法 がわ から な	わど こで ない て い る の か	手 間 が か か る	必 要 性 を 感 じ て い ない	そ の 他	
今回調査(R6)		707	49.2	27.9	24.5	20.4	10.9	9.1	8.8	2.1
前回調査(R3)		866	48.5	25.5	24.1	20.3	9.5	11.0	6.0	1.2
性 別	男性	312	41.3	34.0	24.0	18.6	15.4	15.1	8.7	0.6
	女性	384	55.2	22.7	25.0	21.6	7.6	4.4	8.9	3.4
	回答しない	7	71.4	-	14.3	28.6	-	-	14.3	-
年 代 別	10歳代・20歳代	33	39.4	33.3	33.3	24.2	18.2	6.1	12.1	3.0
	30歳代	60	51.7	20.0	10.0	10.0	11.7	16.7	5.0	-
	40歳代	96	43.8	31.3	25.0	22.9	10.4	9.4	11.5	-
	50歳代	133	45.9	30.1	21.1	18.0	11.3	6.0	11.3	2.3
	60歳代	183	53.0	30.6	25.1	21.3	12.0	7.7	9.8	1.6
	70歳以上	197	51.3	22.3	28.9	22.3	8.6	10.7	5.6	4.1
職 業 別	農林業	32	34.4	40.6	25.0	15.6	6.3	15.6	3.1	3.1
	漁業	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	30	53.3	23.3	10.0	20.0	6.7	6.7	10.0	-
	会社員(役員を含む)、公務員	248	43.1	30.2	23.0	18.5	14.1	12.1	8.5	1.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	10	70.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-
	主婦・主夫	76	57.9	22.4	26.3	22.4	3.9	3.9	5.3	3.9
	パート、アルバイト	89	57.3	27.0	24.7	16.9	10.1	2.2	14.6	2.2
	学生	5	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	165	47.3	24.2	28.5	23.6	12.1	9.7	8.5	3.0
	その他	43	62.8	23.3	27.9	27.9	9.3	14.0	11.6	-

（６）避難生活について

問 48 避難場所と避難所の役割の違いを知っているか

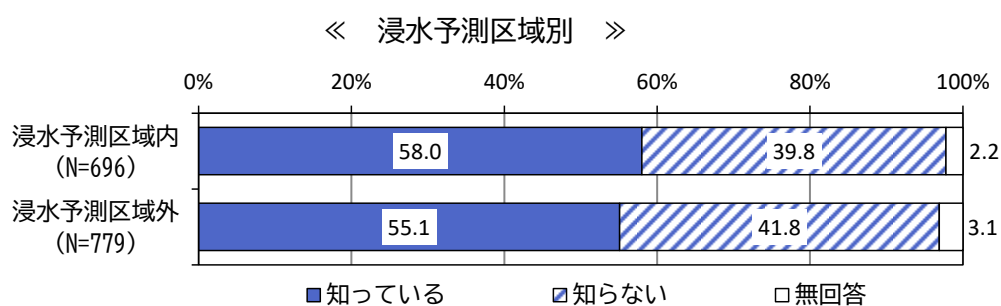
問48 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。（ひとつだけ○）

避難場所と避難所の役割の違いについては、「知っている」が56.1%で、「知らない」が41.1%となっている。



【浸水予測区域別】

「知っている」は、浸水予想区域内では58.0%と、浸水予想区域外の55.1%より2.9ポイント高くなっている。



【前回比較】

令和6年度は令和3年度と同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

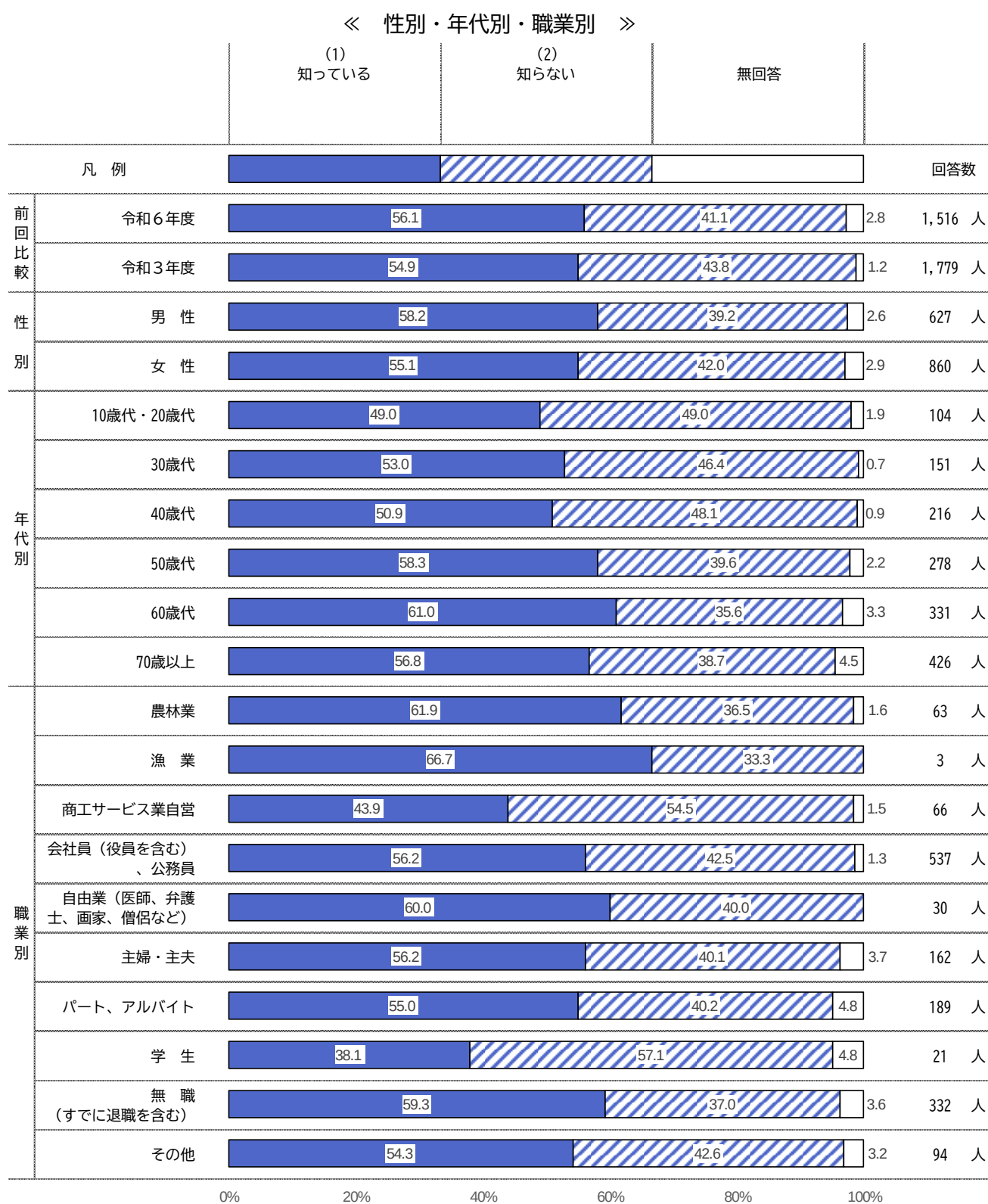
「知っている」は、男性は58.2%、女性は55.1%と、男性の方が3.1ポイント高くなっている。

【年代別】

10歳代・20歳代を除くすべての年代で「知っている」の割合が、「知らない」の割合より高くなっている。

【職業別】

商工サービス業自営、学生を除くすべての職業で「知っている」の割合が、「知らない」の割合より高くなっている。

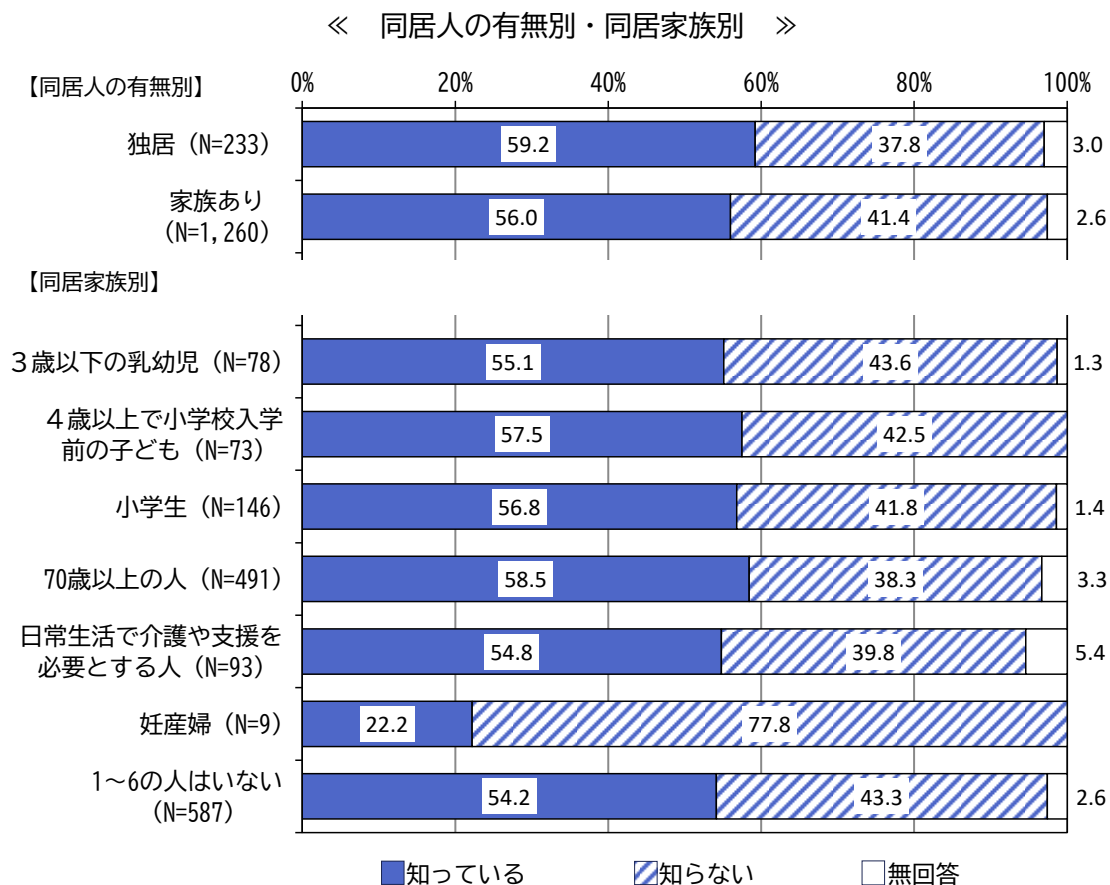


【同居人の有無別】

「知っている」は独居世帯では59.2%、家族あり世帯は56.0%と独居世帯の方が3.2ポイント高くなっている。

【同居家族別】

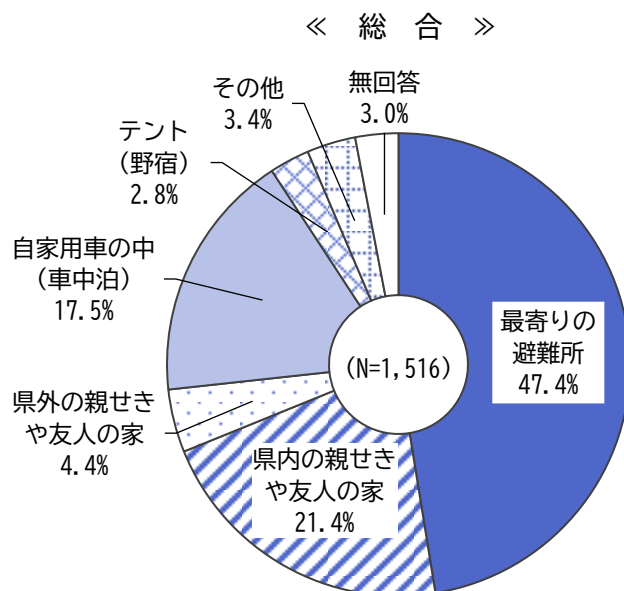
妊産婦を除くすべての同居家族で「知っている」の割合が「知らない」の割合より高くなっている。



問 49 自宅損壊で長期間帰宅できない場合どこで避難生活を送るか

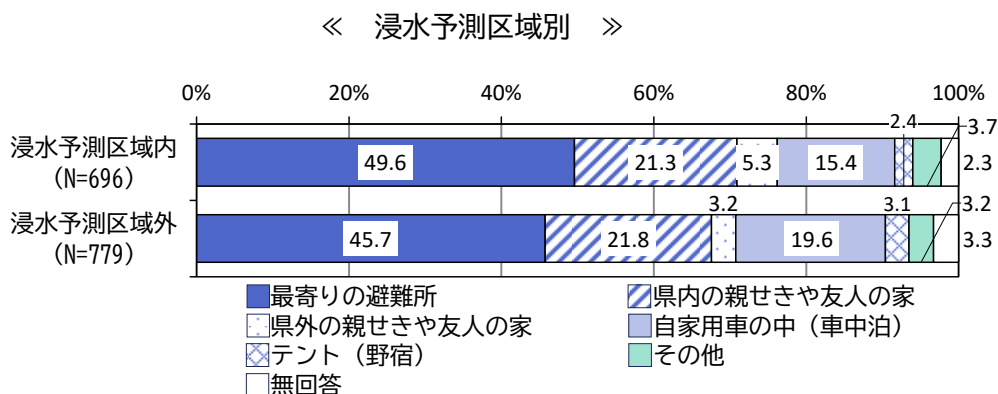
問49 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。
(ひとつだけ○)

避難生活を送る場所は、「最寄りの避難所」が47.4%と最も高く、次いで「県内の親せきや友人の家」21.4%、「自家用車の中（車中泊）」17.5%と続いている。



【浸水予測区域別】

「最寄りの避難所」は、浸水予測区域内49.6%、浸水予測区域外45.7%と浸水予測区域内の方が3.9ポイント高くなっている。「自家用車の中（車中泊）」は、浸水予測区域内15.4%、浸水予測区域外19.6%と浸水予測区域外の方が4.2ポイント高くなっている。



【前回比較】

「県内の親せきや友人の家」の割合が、令和3年度の25.6%より4.2ポイント減少している。

【性別】

男女とも同じ傾向で、性別の差はほとんど見られない。

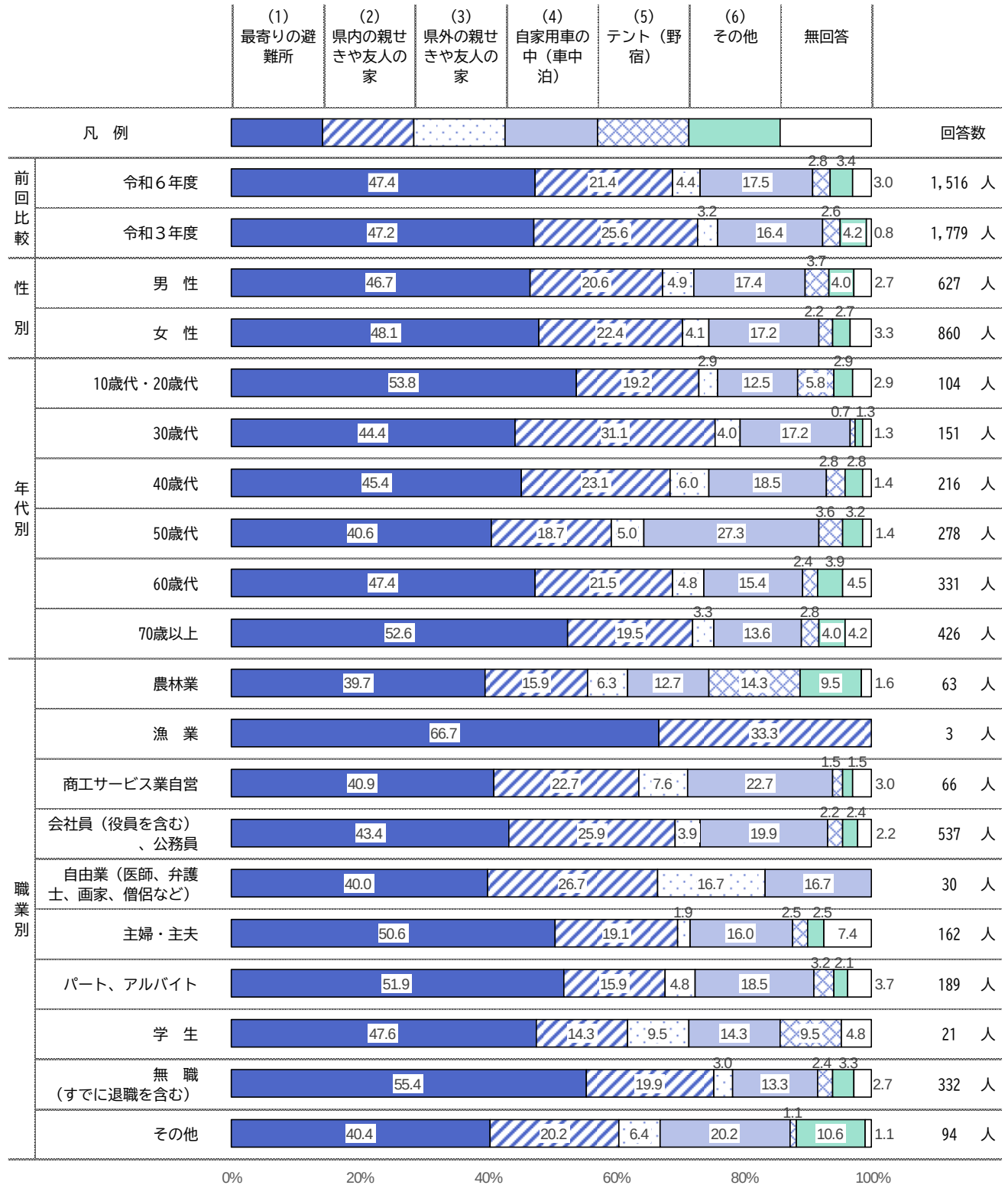
【年代別】

すべての年代で、「最寄りの避難所」が最も高くなっている。「自家用車の中（車中泊）」の割合は、50歳代で27.3%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

すべての職業で、「最寄りの避難所」が最も高く、中でも漁業は66.7%と他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

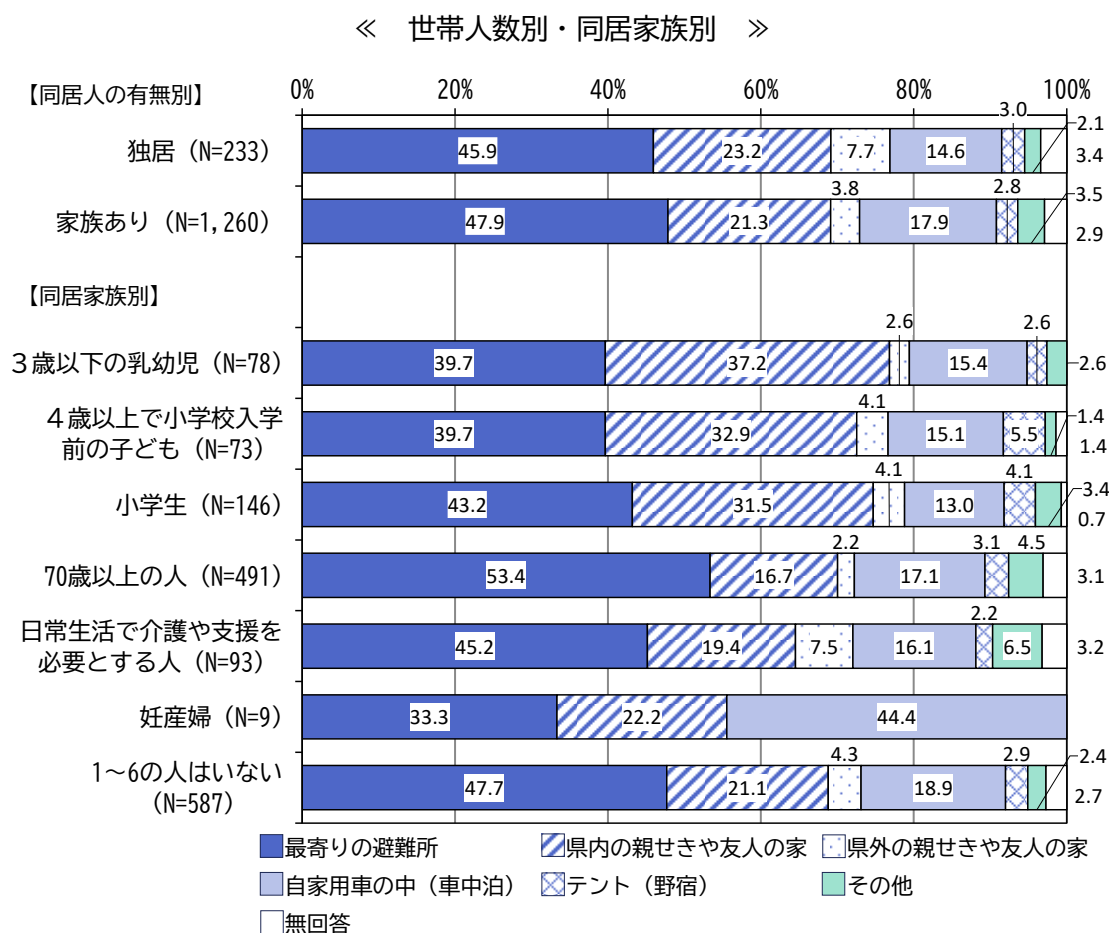


【同居人の有無別】

「自家用車の中（車中泊）」は独居世帯で14.6%、家族あり世帯で17.9%と、家族あり世帯の方が3.3ポイント高くなっている。

【同居家族別】

妊産婦を除くすべての同居家族で「最寄りの避難所」の割合が最も高く、妊産婦では「自家用車の中（車中泊）」44.4%が最も高くなっている。

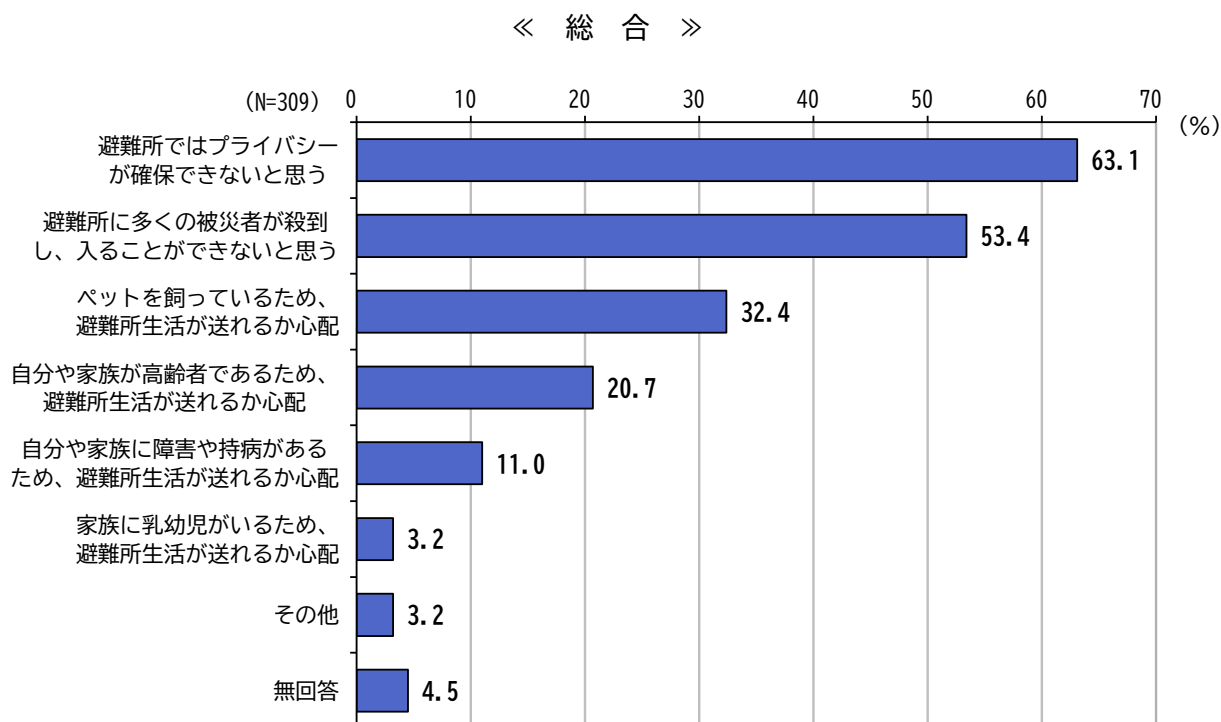


問 50 自家用車内やテントで避難生活を送る理由

問50 問49で「4. 自家用車の中（車中泊）」、「5. テント（野宿）」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか（3つまで○）

自家用車内やテントで避難生活を送る理由としては、「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が63.1%と最も高くなっている。次いで「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」53.4%、「ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配」32.4%と続いている。



【前回比較】

「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」63.1%は、令和3年度の69.0%より5.9ポイント減少している。

【性別】

男女とも「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」の割合が最も高くなっている。「ペットを飼っているため、避難所の生活が送れるか心配」の割合は、男性が24.2%、女性が37.7%と女性の方が13.5ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「避難所ではプライバシーの確保ができないと思う」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、商工サービス業自営、会社員、公務員、自由業、パート・アルバイト、学生、無職、その他では「避難所ではプライバシーの確保ができないと思う」の割合が最も高くなっている。

【同居人の有無別】

独居世帯では「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」、「避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う」が同率58.5%で最も高く、家族あり世帯では「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」が最も高くなっている。

【同居家族別】

日常生活で介護や支援を必要とする人を除くすべての同居家族で「避難所ではプライバシーが確保できないと思う」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別・同居人の有無別・同居家族別 ≫

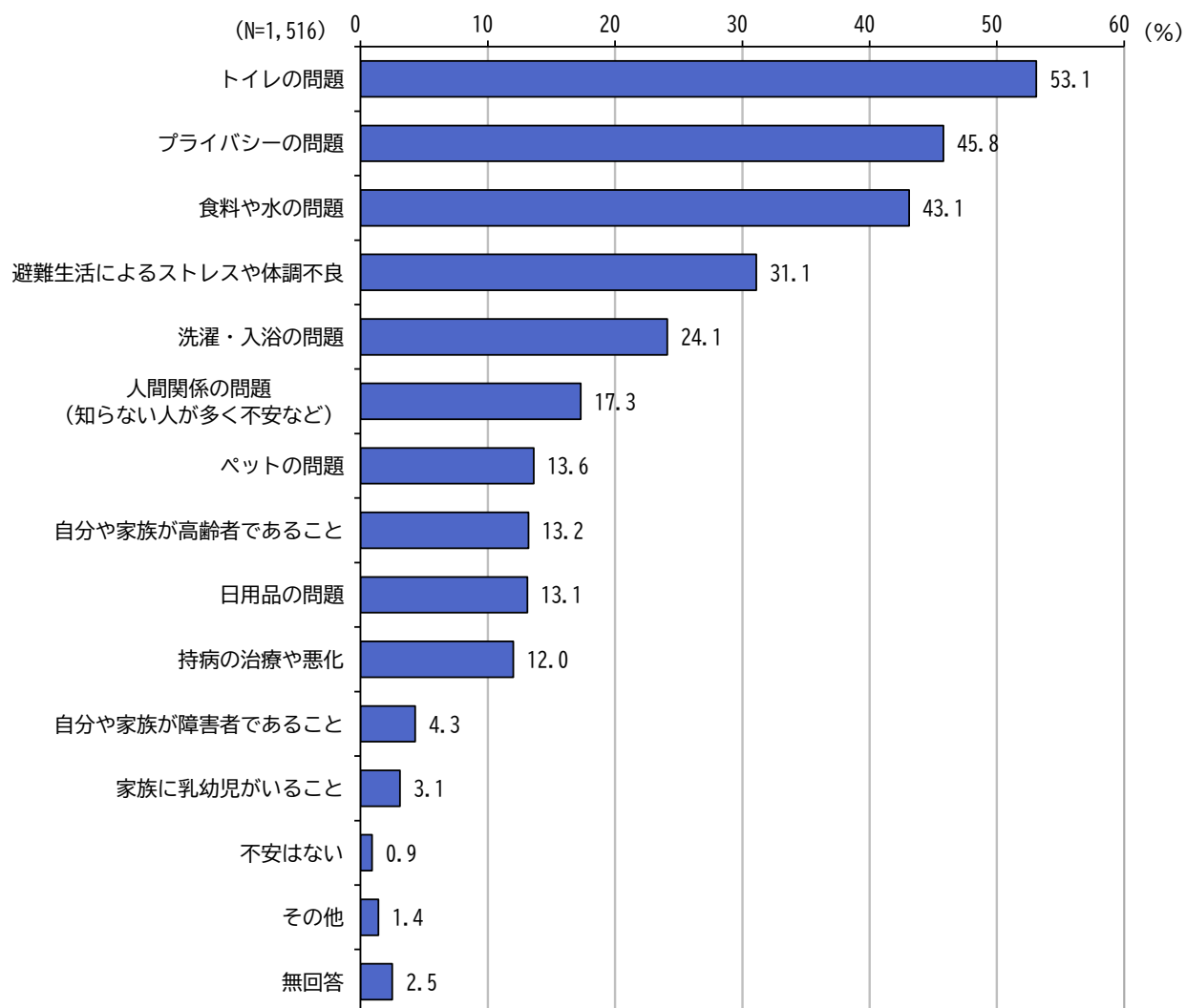
		調査数	(1) 避難所 確保で ないプ ラシー が	(2) 避難所 に入ら ないこ とが多 く、被 災者が ない殺	(3) 避難所 生活が 送られ るため 心配、	(4) 自分や 家族が 高齢者 である ため、	(5) 自分や 家族に 障害や 病気が あるた め、	(6) 避難所 生活が 送られ るため 心配、	(7) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位						
今回調査(R6)		309	63.1	53.4	32.4	20.7	11.0	3.2	3.2	4.5
前回調査(R3)		339	69.0	56.9	32.4	15.9	9.4	2.9	8.6	0.6
性別	男性	132	65.9	59.1	24.2	23.5	12.9	1.5	4.5	4.5
	女性	167	61.1	46.7	37.7	18.0	10.2	4.8	2.4	4.8
	回答しない	7	57.1	85.7	57.1	28.6	-	-	-	-
年代別	10歳代・20歳代	19	63.2	52.6	42.1	5.3	10.5	5.3	-	5.3
	30歳代	27	77.8	59.3	18.5	3.7	11.1	14.8	3.7	-
	40歳代	46	67.4	37.0	41.3	8.7	8.7	4.3	4.3	2.2
	50歳代	86	64.0	57.0	44.2	9.3	12.8	1.2	2.3	5.8
	60歳代	59	61.0	55.9	28.8	23.7	5.1	1.7	3.4	10.2
	70歳以上	70	55.7	54.3	17.1	51.4	15.7	1.4	4.3	1.4
職業別	農林業	17	58.8	52.9	17.6	29.4	5.9	-	11.8	5.9
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	16	68.8	62.5	18.8	12.5	18.8	-	6.3	12.5
	会社員(役員を含む)、公務員	119	72.3	52.9	42.0	15.1	6.7	2.5	2.5	4.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5	60.0	40.0	60.0	-	20.0	20.0	-	-
	主婦・主夫	30	40.0	46.7	33.3	16.7	20.0	6.7	3.3	6.7
	パート、アルバイト	41	65.9	51.2	24.4	22.0	9.8	4.9	2.4	7.3
	学生	5	60.0	60.0	60.0	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	52	59.6	57.7	19.2	48.1	13.5	-	-	-
	その他	20	55.0	55.0	30.0	-	20.0	5.0	10.0	5.0
同居人の有無別										
0人(独居)		41	58.5	58.5	19.5	26.8	9.8	-	4.9	7.3
家族あり		261	64.4	52.5	34.5	19.5	11.1	3.8	3.1	3.8
同居家族別	3歳以下の乳幼児	14	57.1	21.4	-	7.1	14.3	42.9	7.1	7.1
	4歳以上で小学校入学前の子ども	15	73.3	40.0	20.0	20.0	6.7	40.0	6.7	-
	小学生	25	84.0	52.0	32.0	8.0	8.0	16.0	-	-
	70歳以上の人	99	54.5	49.5	31.3	37.4	16.2	4.0	5.1	2.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	17	41.2	47.1	11.8	47.1	41.2	-	5.9	5.9
	妊産婦	4	50.0	25.0	-	-	-	25.0	50.0	50.0
	1～6の人はいない	128	68.8	56.3	43.0	9.4	8.6	-	1.6	3.1

問 51 避難所生活での不安

問51 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。(3つまで○)

避難所生活での不安は、「トイレの問題」が53.1%、次いで「プライバシーの問題」45.8%、「食料や水の問題」43.1%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

「トイレの問題」53.1%が、令和3年度の49.0%より4.1ポイント増加し、最も高くなっている。

【性別】

男女とも「トイレの問題」の割合が最も高く、男性では「食料や水の問題」、女性では「プライバシーの問題」が続いている。

【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代では「食料や水の問題」が最も高く、40歳代では「プライバシーの問題」、50歳代～70歳以上では「トイレの問題」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、商工サービス業自営、会社員、公務員、主婦・主夫、無職、その他では「トイレの問題」が最も高く、漁業、パート・アルバイトでは「プライバシーの問題」、自由業、学生では「食料や水の問題」の割合が最も高くなっている。

【同居人の有無別】

家族あり世帯は、独居世帯に比べて「プライバシーの問題」で8.8ポイント高く、独居世帯は、家族あり世帯に比べて「食料や水の問題」は6.1ポイント高くなっている。

【同居家族別】

3歳以下の乳幼児は「プライバシーの問題」と「食料や水の問題」、「家族に乳幼児がいること」で50%以上と、他よりも高い割合となっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別・同居人の有無別・同居家族別 ≫

		調査数	(1) トイレの問題	(2) プライバシーの問題	(3) 食料や水の問題	(4) 避難生活によるストレスや体調不良	(5) 洗濯・入浴の問題	(6) 人間関係の問題（知らない人が多く不安など）	(7) ペットの問題	(8) 自分や家族が高齢者であること	(9) 日用品の問題	(10) 持病の治療や悪化	(11) 自分や家族が障害者であること	(12) 家族に乳幼児がいること	(13) 不安はない	(14) その他	無回答	
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝																		
				1位	2位													
今回調査(R6)			1,516	53.1	45.8	43.1	31.1	24.1	17.3	13.6	13.2	13.1	12.0	4.3	3.1	0.9	1.4	2.5
前回調査(R3)			1,779	49.0	49.6	43.7	38.6	28.4	22.0	17.3	9.1	15.5	7.1	2.9	3.7	1.0	1.9	1.2
性別	男性	627	51.0	42.6	47.5	29.0	24.9	17.2	10.7	12.9	13.6	14.4	4.3	1.9	1.3	1.0	2.7	
	女性	860	54.7	48.3	39.8	32.8	24.0	17.2	15.5	13.7	12.7	10.2	4.4	4.0	0.6	1.7	2.2	
	回答しない	18	38.9	44.4	38.9	27.8	11.1	27.8	22.2	5.6	11.1	16.7	-	5.6	-	-	5.6	
年代別	10歳代・20歳代	104	46.2	52.9	53.8	28.8	17.3	21.2	13.5	1.0	25.0	4.8	5.8	6.7	1.9	1.9	1.9	
	30歳代	151	49.0	51.7	54.3	25.2	17.9	19.9	10.6	2.0	25.8	3.3	2.6	15.9	0.7	4.6	-	
	40歳代	216	50.9	55.1	44.4	29.6	25.5	18.5	13.9	7.4	16.2	8.3	4.6	4.2	0.5	1.4	2.8	
	50歳代	278	55.0	47.8	44.6	31.7	26.6	19.4	22.7	9.4	10.1	8.6	3.2	-	0.4	2.2	0.7	
	60歳代	331	55.0	44.1	38.7	34.7	28.7	16.9	14.8	9.7	10.0	12.4	2.4	1.5	1.2	0.6	3.6	
	70歳以上	426	54.5	37.3	37.8	31.5	22.3	14.1	7.5	28.6	8.2	20.7	6.6	0.5	0.9	0.2	3.5	
職業別	農林業	63	41.3	38.1	33.3	36.5	28.6	17.5	12.7	22.2	7.9	20.6	6.3	1.6	-	1.6	1.6	
	漁業	3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	商工サービス業自営	66	62.1	56.1	42.4	22.7	27.3	18.2	13.6	13.6	10.6	9.1	1.5	-	-	-	1.5	
	会社員(役員を含む)、公務員	537	53.4	52.3	46.9	30.0	24.0	19.4	15.8	5.4	17.7	5.6	1.9	5.0	0.7	1.9	1.9	
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	40.0	46.7	53.3	26.7	20.0	10.0	13.3	13.3	20.0	10.0	3.3	10.0	-	-	3.3	
	主婦・主夫	162	50.6	42.6	34.0	40.7	19.8	16.7	14.2	22.2	5.6	16.7	6.8	2.5	1.2	-	3.1	
	パート、アルバイト	189	48.7	50.3	48.1	28.0	27.5	18.5	15.3	7.4	12.2	9.5	2.6	3.7	1.1	2.1	3.2	
	学生	21	52.4	47.6	57.1	19.0	4.8	19.0	14.3	-	23.8	-	-	4.8	9.5	4.8	4.8	
	無職(すでに退職を含む)	332	58.4	35.2	38.0	30.1	23.8	13.6	8.7	24.1	10.5	21.4	7.2	0.6	0.6	1.2	3.0	
	その他	94	52.1	41.5	44.7	37.2	26.6	20.2	10.6	12.8	10.6	12.8	9.6	-	1.1	1.1	2.1	
同居人の有無別	0人(独居)	233	56.2	38.6	48.1	28.3	23.2	20.6	8.6	10.3	14.6	12.4	3.0	-	0.9	1.3	3.0	
	家族あり	1,260	52.5	47.4	42.0	31.6	24.4	16.7	14.4	13.7	12.8	12.0	4.6	3.7	0.9	1.3	2.4	
同居家族別	3歳以下の乳幼児	78	41.0	52.6	52.6	26.9	14.1	12.8	5.1	3.8	20.5	1.3	1.3	50.0	1.3	2.6	-	
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73	45.2	65.8	42.5	30.1	21.9	13.7	5.5	2.7	19.2	5.5	2.7	27.4	1.4	1.4	-	
	小学生	146	47.3	57.5	55.5	32.2	22.6	15.8	8.9	5.5	22.6	5.5	2.1	10.3	0.7	3.4	0.7	
	70歳以上の人	491	54.8	41.8	36.9	32.0	23.2	15.1	13.0	27.9	6.5	17.5	5.3	1.4	0.8	0.8	3.3	
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93	44.1	31.2	31.2	31.2	17.2	12.9	10.8	35.5	10.8	20.4	28.0	-	1.1	1.1	3.2	
	妊産婦	9	55.6	22.2	44.4	11.1	11.1	33.3	11.1	-	22.2	-	-	33.3	-	-	-	
	1～6の人はいない	587	55.7	48.9	46.2	31.7	25.4	18.1	19.3	4.4	14.1	8.9	2.9	-	0.7	1.9	1.9	

問51×問49

「避難所生活の不安点」と「避難生活を送る場所」とのクロス分析

避難生活を送る場所を『テント（野宿）』と回答した方は「プライバシーの問題」が、それ以外は「トイレの問題」が最も高い割合となっている。

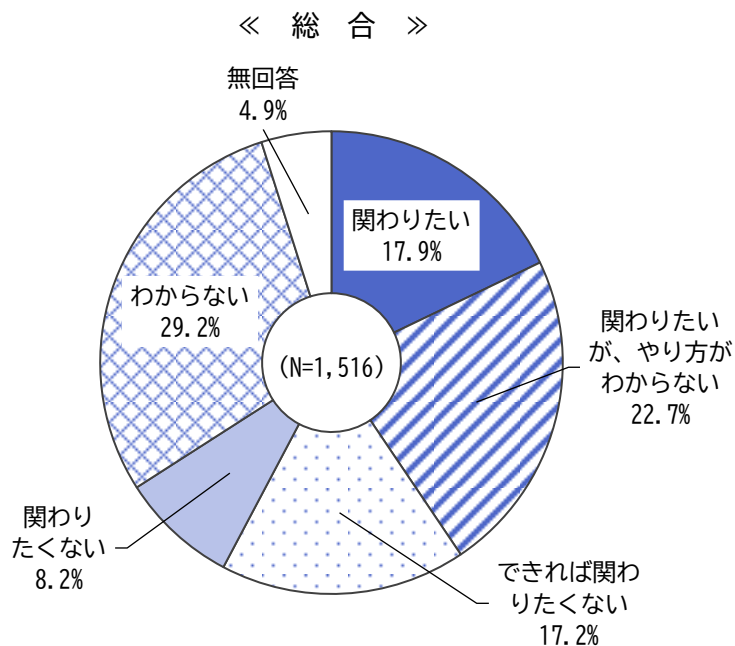
		問51															
		調査数	(1) 食料や水の問題	(2) 日用品の問題	(3) プライバシーの問題	(4) 人間関係の問題（知らない人が多いなど）	(5) トイレの問題	(6) 洗濯・入浴の問題	(7) 避難生活によるストレスや体調不良	(8) 持病の治療や悪化	(9) 自分や家族が高齢者であること	(10) 自分や家族が障害者であること	(11) 家族に乳幼児がいること	(12) ペットの問題	(13) 不安はない	(14) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝																	
問 4 9	最寄りの避難所	719	45.6	12.9	47.6	19.2	55.8	25.6	33.1	14.2	13.8	3.9	2.4	9.9	0.4	1.4	0.3
	県内の親せきや友人の家	325	49.2	17.8	41.8	14.5	50.8	27.1	28.6	8.9	12.9	3.4	5.8	12.3	1.5	1.5	0.9
	県外の親せきや友人の家	66	48.5	13.6	45.5	10.6	54.5	19.7	25.8	10.6	13.6	7.6	1.5	16.7	3.0	-	-
	自家用車の中（車中泊）	266	35.0	10.2	54.1	18.4	55.6	17.3	32.3	8.6	10.9	5.3	2.3	25.9	0.4	1.1	3.0
	テント（野宿）	43	32.6	7.0	44.2	20.9	37.2	16.3	27.9	14.0	16.3	2.3	4.7	25.6	2.3	4.7	-
	その他	51	33.3	13.7	33.3	13.7	54.9	43.1	35.3	17.6	19.6	11.8	2.0	3.9	-	2.0	-
	不明	46	19.6	2.2	15.2	10.9	23.9	10.9	17.4	13.0	8.7	-	2.2	4.3	2.2	-	54.3

問 52 避難所の開設や運営にかかわりたいか

問52 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

避難所の開設や運営については、「わからない」が29.2%と最も高く、次いで「関わりたいが、やり方がわからない」22.7%、「関わりたい」17.9%と続いている。

また、「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」を合わせた、{関わりたい}と考えている人が40.6%、「できれば関わりたくない」と「関わりたくない」を合わせた、{関わりたくない}と考えている人の25.4%より、15.2ポイント高くなっている。



【前回比較】

「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」を合わせた {関わりたい} と回答した人の割合は、令和6年度で40.6%と令和3年度の43.0%よりも2.4ポイント減少している。

【性別】

{関わりたい} の割合は、男性41.9%、女性40.4%となっており、男性の方が1.5ポイント高くなっている。

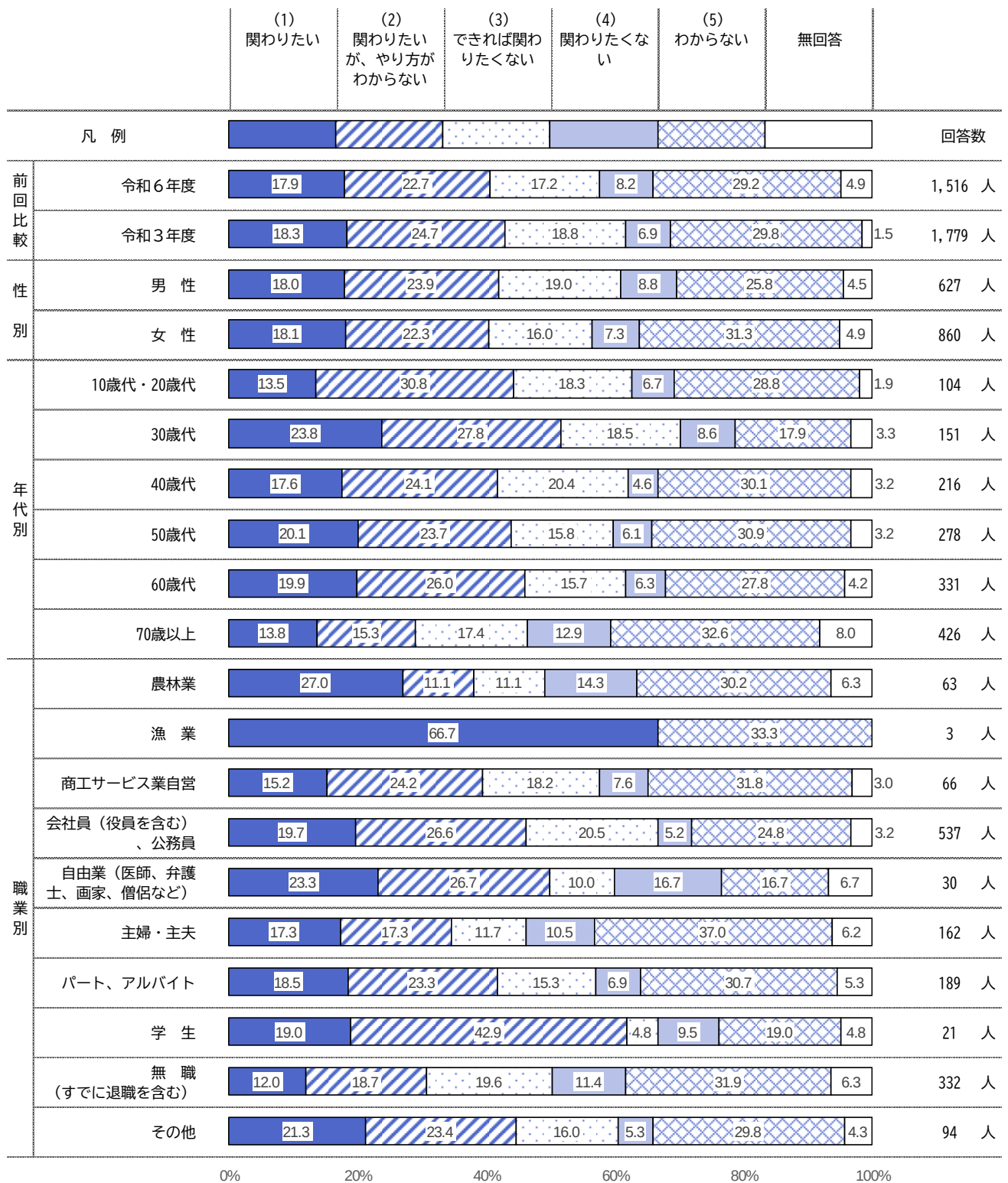
【年代別】

{関わりたい} の割合は、30歳代で51.6%となっており、半数を占めている。

【職業別】

「関わりたい」の割合は、漁業で66.7%と他の職業より高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



(7) 自主防災組織について

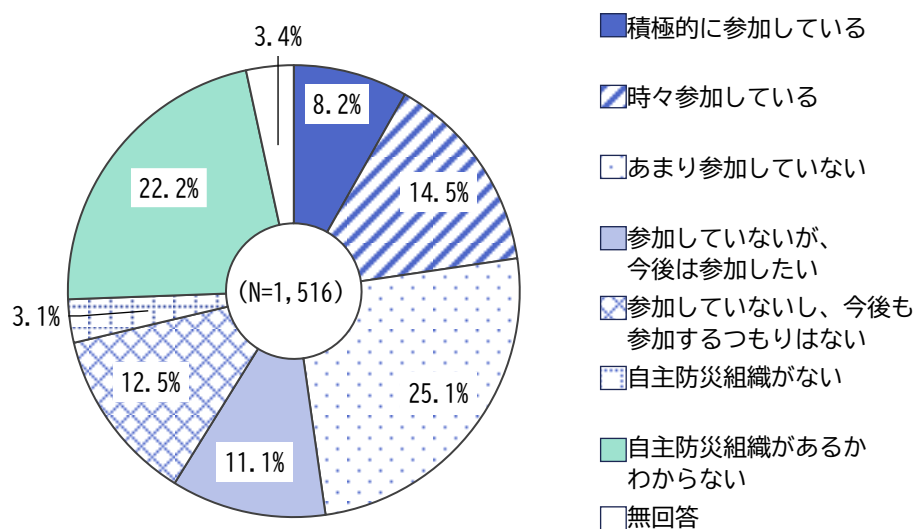
問 53 自主防災組織の活動への参加状況

問53 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練や学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

自主防災組織の活動への参加状況については、「あまり参加していない」が25.1%と最も高く、次いで「自主防災組織があるかわからない」22.2%、「時々参加している」14.5%と続いている。

また、「積極的に参加している」と「時々参加している」を合わせた{参加している}の割合は22.7%となっている。

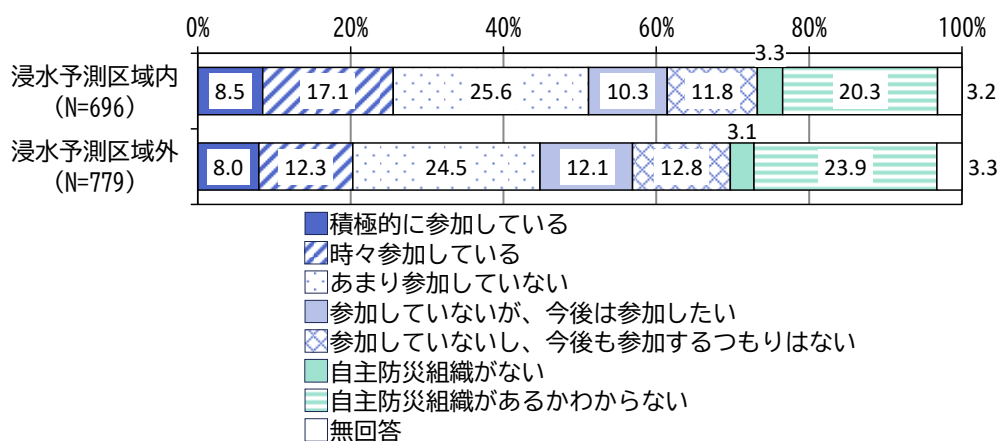
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

{参加している} は、浸水予測区域内で25.6%、浸水予測区域外で20.3%と浸水予測区域内の方が5.3ポイント高くなっている。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

「積極的に参加している」と「時々参加している」を合わせた {参加している} の割合は、令和6年で22.7%、令和3年で23.2%となっている。「あまり参加していない」の割合は、令和6年で25.1%、令和3年で21.0%と4.1ポイント増加している。

【性別】

{参加している} は、男性27.1%、女性20.1%と、男性の方が7.0ポイント高い。

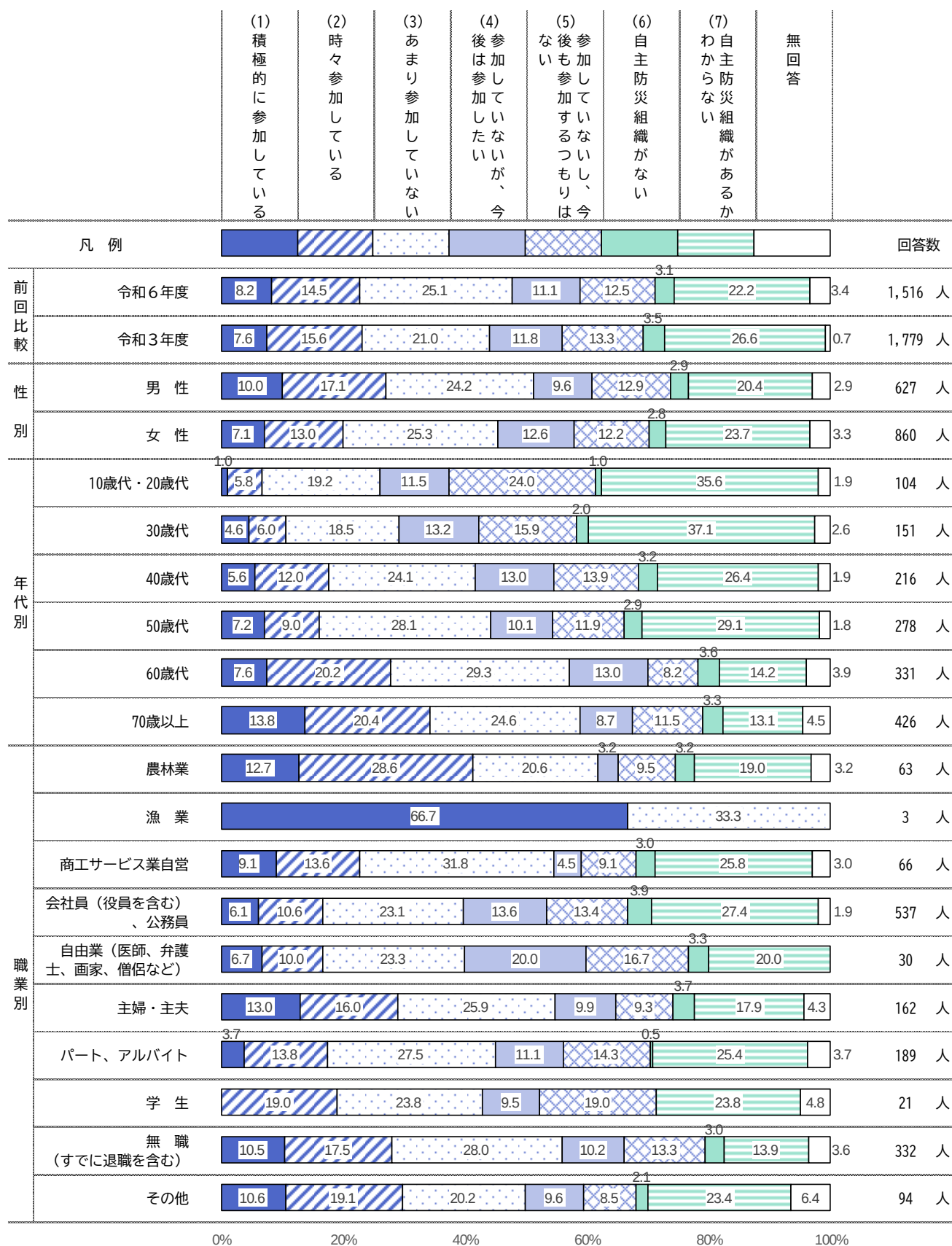
【年代別】

{参加している} は、70歳以上で34.2%と他の年代より高くなっている。一方、10歳代・20歳代では6.8%と他の年代より低くなっており、70歳以上の34.2%と比べて27.4ポイント差がある。

【職業別】

漁業では「積極的に参加している」の割合が66.7%と他の職業より高くなっている。

＜前回比較・性別・年代別・職業別＞



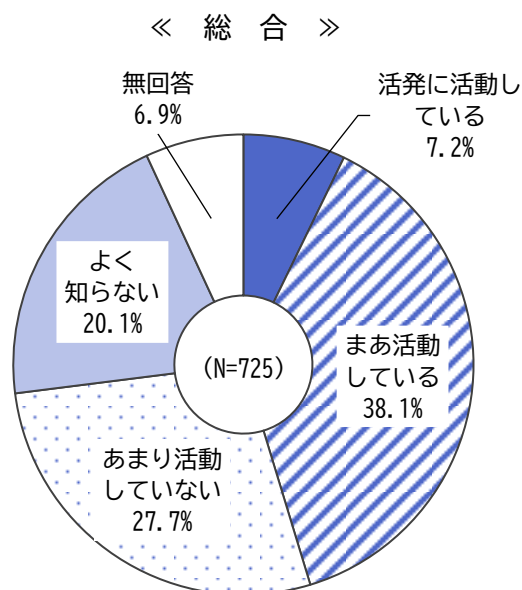
問 54 地域の自主防災組織の活動状況

問54 問53で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

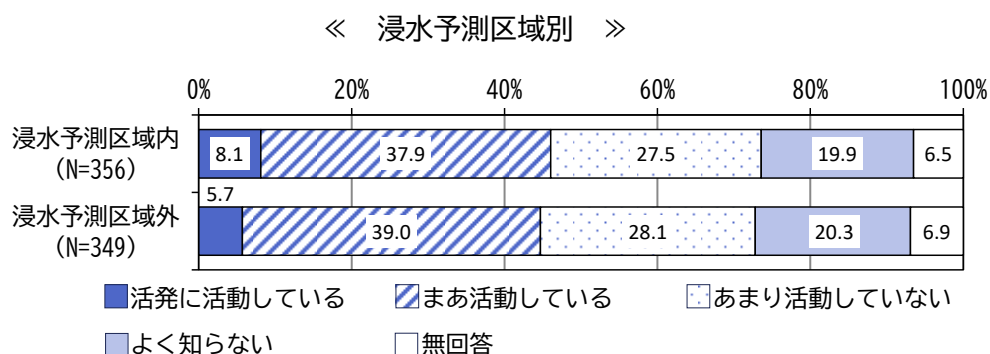
地域の自主防災組織の活動状況については、「まあ活動している」が38.1%と最も高く、次いで「あまり活動していない」27.7%、「よく知らない」20.1%と続いている。

「活発に活動している」と「まあ活動している」を合わせた{活動している}の割合は45.3%となっている。



【浸水予測区域別】

浸水予測区域内の方は、浸水予測区域外に比べて {活動している} で1.3ポイント高くなっている。



【前回比較】

「活発に活動している」と「まあ活動している」を合わせた {活動している} の割合は、令和6年度が45.3%、令和3年度が51.4%となっており、6.1ポイント減少している。

【性別】

{活動している} の割合は、男性46.0%、女性44.8%となっている。「よく知らない」の割合は、男性17.1%、女性21.7%と女性の方が4.6ポイント高くなっている。

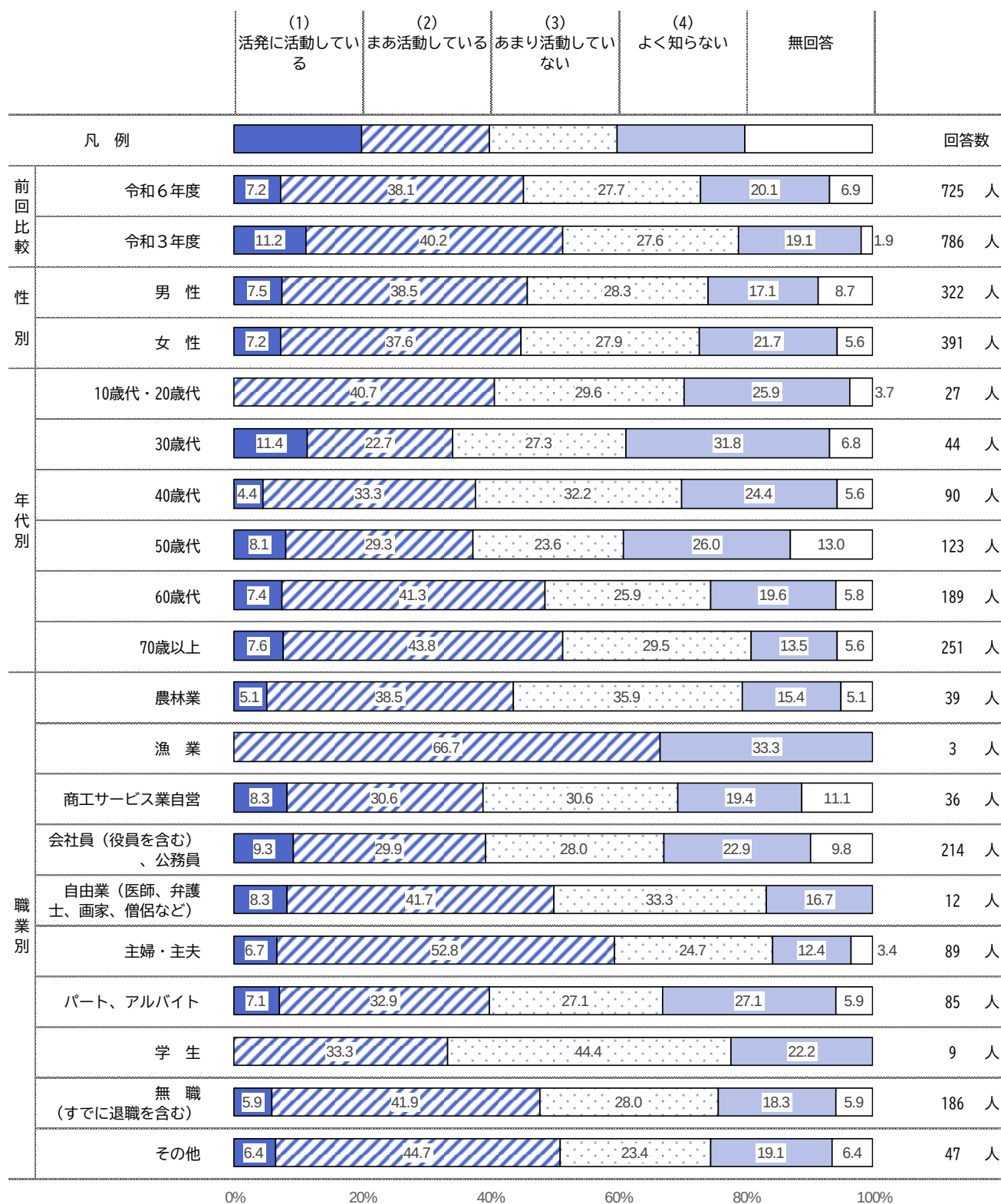
【年代別】

{活動している} の割合は、70歳以上で51.4%と他の年代より高くなっている。

【職業別】

漁業では「まあ活動している」の割合が66.7%と他の職業より高くなっている。

＜前回比較・性別・年齢別・職業別＞



問 55 これからどういった活動に取り組んでいけばよいか

問55 自主防災組織は、これからどういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。

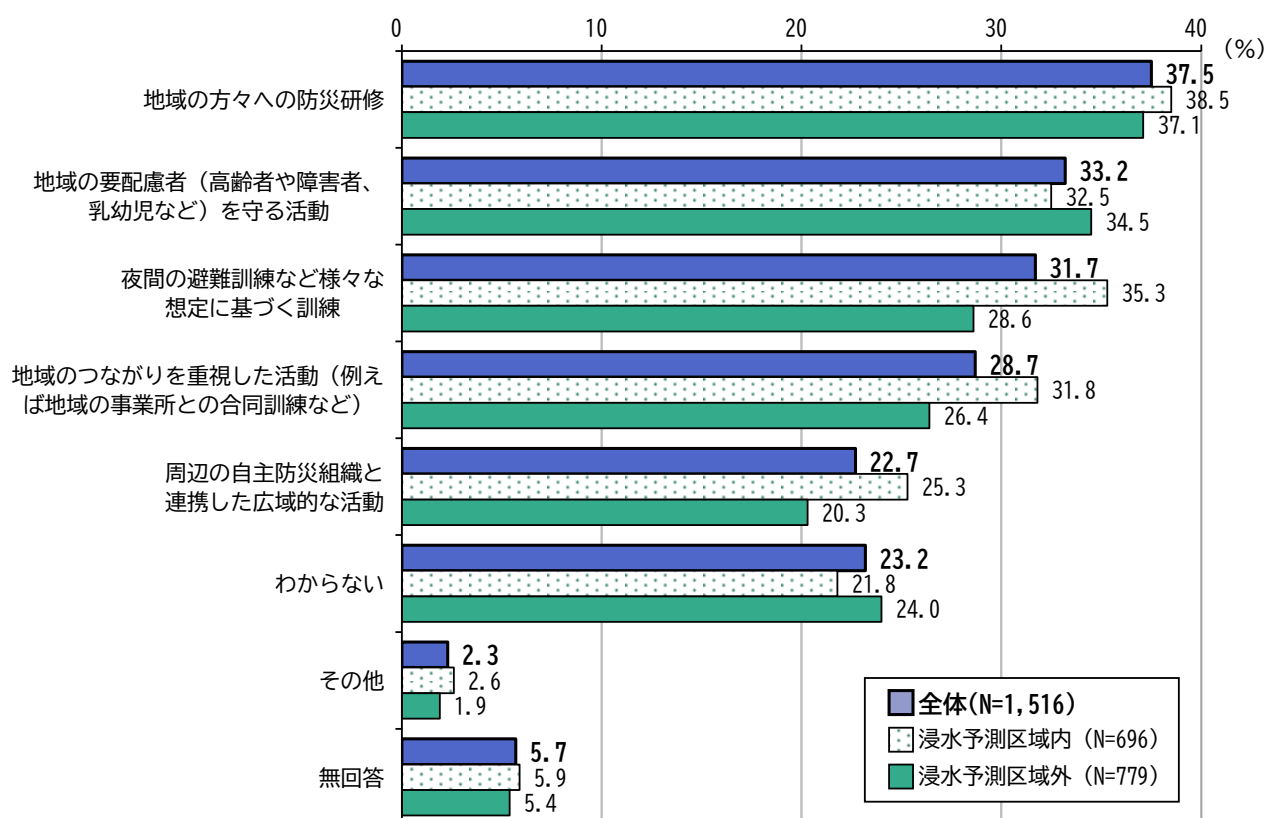
(当てはまるものすべてに○)

自主防災組織は、これからどういった活動に取り組んでいけばいいかについては、「地域の方々への防災研修」が37.5%と最も高く、次いで「地域の要配慮者(高齢者や障害者、乳幼児など)を守る活動」33.2%、「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」が31.7%と続いている。

【浸水予測区域別】

浸水予測区域内・外ともに、「地域の方々への防災研修」が最も高く、浸水予測区域内は38.5%、浸水予測区域外は37.1%と、浸水予測区域内の方が1.4ポイント高くなっている。

＜ 総合・浸水予測区域別 ＞



【前回比較】

令和6年では「地域の方々への防災研修」が37.5%と最も高く、令和3年度の36.4%から1.1ポイント増加している。

【性別】

男女とも「地域の方々への防災研修」が最も高く、次いで「地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動」となっており、3番目は、男性では「地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）」、女性では同率で「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」が続いている。

【年代別】

すべての年代で「地域の方々への防災研修」の割合が最も高く、40歳代では同率で「夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練」35.2%と最も高くなっている。

【職業別】

漁業、商工サービス業自営、会社員、公務員、自由業、パート・アルバイト、学生、無職、その他では「地域の方々への防災研修」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

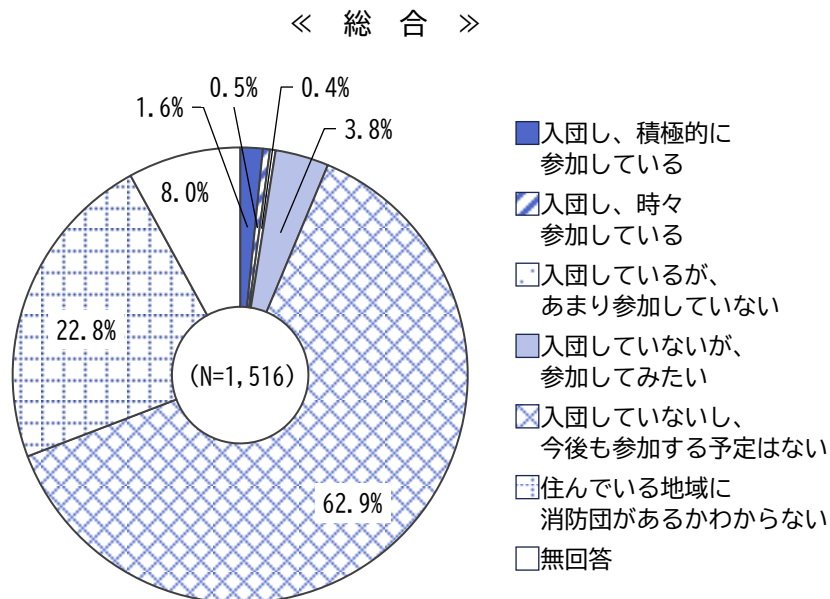
		調査数	(1) 地域の方々への防災研修	(2) 障害者の活動、要配慮者（高齢者や障害者）を守る活動	(3) 夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	(4) 地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	(5) 地域の自主的な防災活動組織と連携	(6) わからない	(7) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位						
今回調査(R6)		1,516	37.5	33.2	31.7	28.7	22.7	23.2	2.3	5.7
前回調査(R3)		1,779	36.4	38.7	30.1	30.1	22.0	24.8	1.3	2.1
性別	男性	627	40.0	33.2	29.2	32.1	23.9	22.5	2.2	4.9
	女性	860	36.0	34.2	34.2	26.7	22.6	23.3	2.3	5.8
	回答しない	18	22.2	11.1	16.7	16.7	-	44.4	5.6	11.1
年代別	10歳代・20歳代	104	40.4	26.9	30.8	27.9	25.0	22.1	3.8	4.8
	30歳代	151	36.4	35.1	25.8	34.4	19.2	25.2	2.6	4.0
	40歳代	216	35.2	32.4	35.2	33.3	22.2	24.1	1.4	4.6
	50歳代	278	34.5	29.5	28.8	29.9	22.3	27.0	2.2	5.0
	60歳代	331	41.7	37.8	36.9	31.7	26.0	20.5	0.9	4.2
	70歳以上	426	37.1	34.3	30.8	21.6	21.8	22.1	3.5	8.0
職業別	農林業	63	31.7	36.5	22.2	12.7	11.1	23.8	3.2	9.5
	漁業	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-
	商工サービス業自営	66	34.8	25.8	13.6	28.8	27.3	28.8	1.5	9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	37.6	31.5	32.4	33.5	22.2	24.4	1.9	4.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	43.3	40.0	33.3	33.3	33.3	16.7	-	6.7
	主婦・主夫	162	36.4	34.6	42.0	21.6	20.4	16.0	1.9	6.8
	パート、アルバイト	189	38.1	35.4	31.7	31.2	25.4	23.3	2.6	4.2
	学生	21	42.9	23.8	28.6	38.1	28.6	19.0	-	4.8
	無職(すでに退職を含む)	332	38.0	35.5	29.2	23.2	22.9	25.6	3.0	5.7
	その他	94	39.4	36.2	39.4	35.1	26.6	18.1	3.2	5.3

(8) 消防団について

問 56 消防団に入団しているか

問56 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

消防団への入団については、「入団していないし、今後も参加する予定はない」が62.9%と最も高く、次いで「住んでいる地域に消防団があるかわからない」22.8%、「入団していないが、参加してみたい」3.8%と続いている。また、消防団に入団している人は、「入団し、積極的に参加している」1.6%、「入団し、時々参加している」0.5%、「入団しているが、あまり参加していない」0.4%と低い割合にとどまっている。



【前回比較】

令和6年度、令和3年度は同じ傾向で、大きな差は見られないが、「入団していないし、今後も参加する予定はない」が2.8ポイント、「住んでいる地域に消防団があるかわからない」が1.7ポイント減少している。

【性別】

男女とも「入団していないし、今後も参加する予定はない」の割合が最も高くなっている。

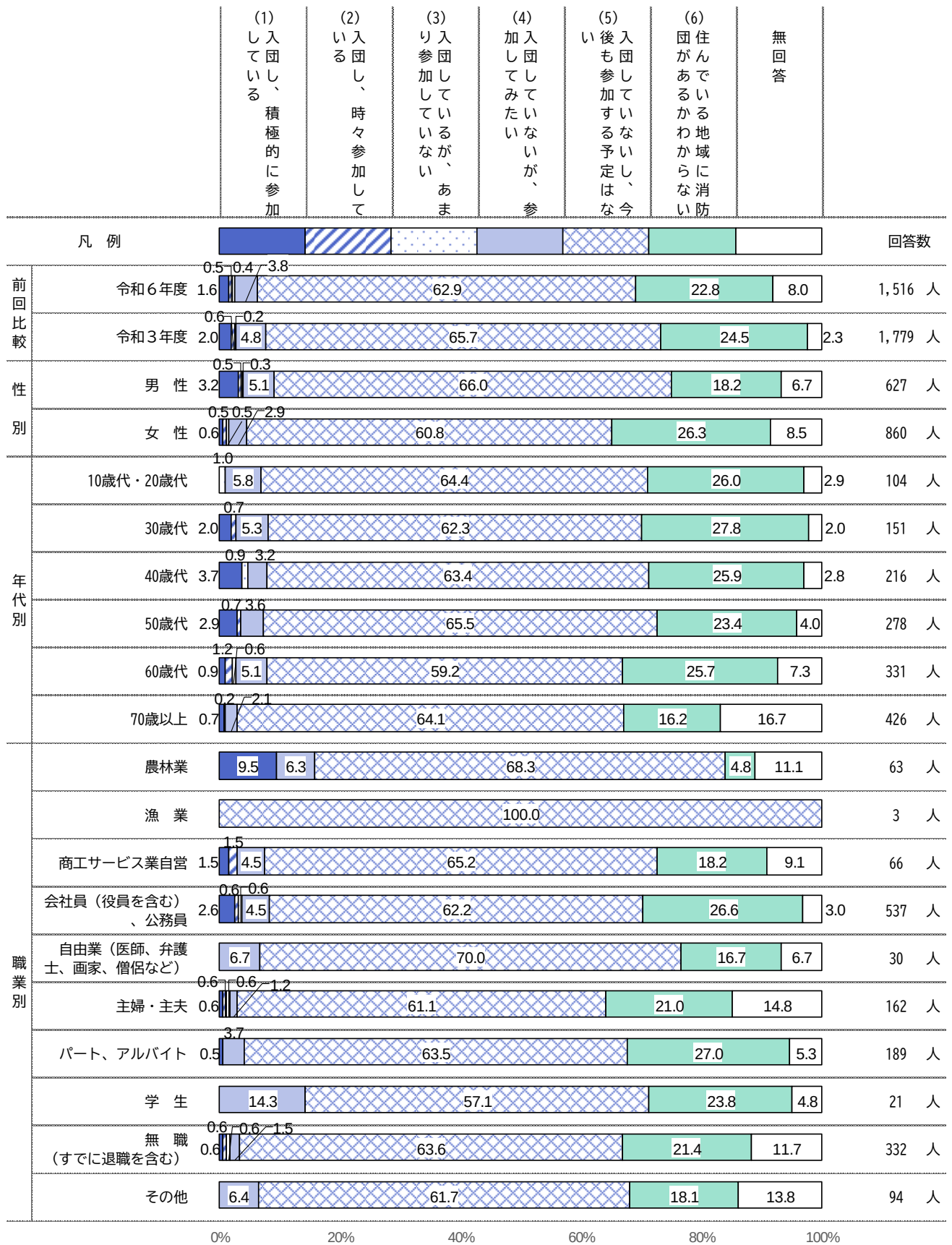
【年代別】

すべての年代で「入団していないし、今後も参加する予定はない」が最も高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「入団していないし、今後も参加する予定はない」が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫



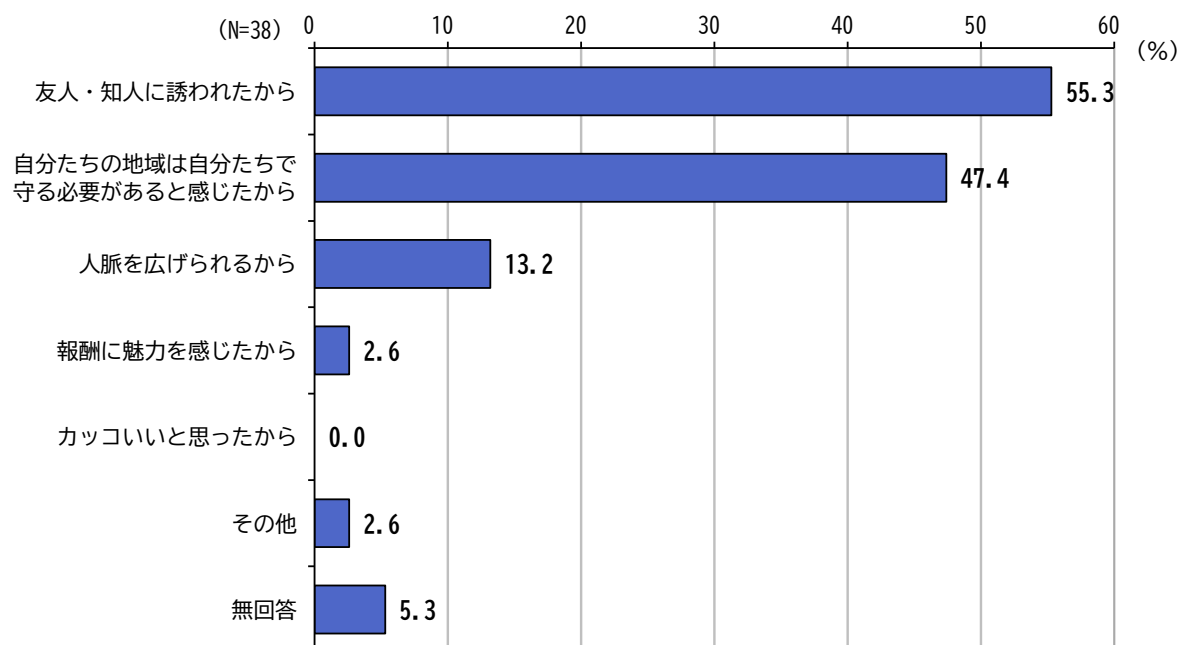
問 57 消防団に入団した理由

問57 問56で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。消防団に入団している方にお聞きします。

どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○)

消防団に入団した理由については、「友人、知人に誘われたから」が55.3%と最も高く、次いで「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」47.4%、「人脈を広げられるから」13.2%と続いている。また、「カッコいいと思ったから」と答えた方は0人となっている。

《 総 合 》



【前回比較】

「友人・知人に誘われたから」55.3%は、令和3年度の65.3%より10.0ポイント減少している。

【性別】

男性では「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」、「友人・知人に誘われたから」が同率52.0%で最も高く、女性では「友人・知人に誘われたから」の割合が61.5%と最も高くなっている。

【年代別】

10歳代～50歳代では「友人・知人に誘われたから」の割合が最も高く、60歳代、70歳以上では「自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

会社員、公務員、主婦・主夫、パート・アルバイト、無職では「友人・知人に誘われたから」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

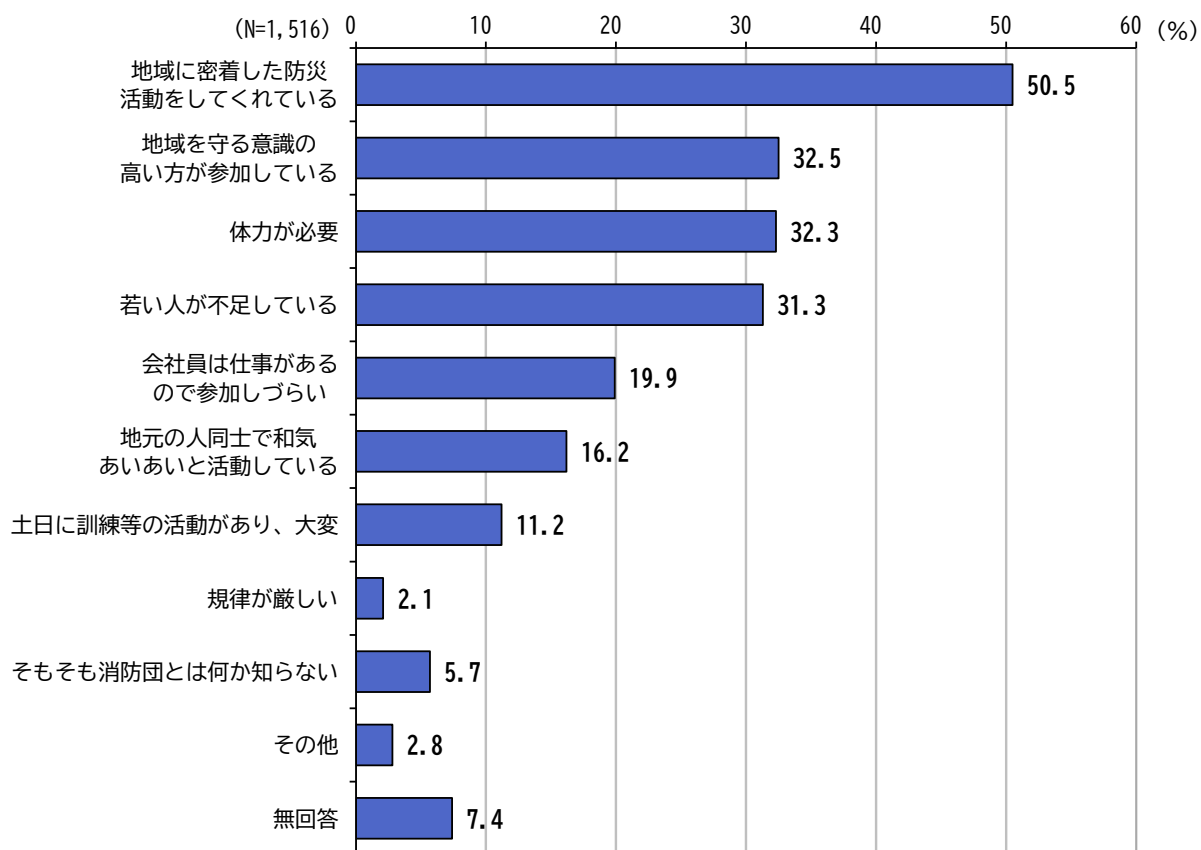
		調査数	(1) か友人・知人に誘われた	(2) と自分たちで守る必要はある	(3) 人脈を広げられるから	(4) 報酬に魅力を感じたか	(5) カッコいいと思ったか	(6) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝									
			1位	2位					
今回調査(R6)		38	55.3	47.4	13.2	2.6	-	2.6	5.3
前回調査(R3)		49	65.3	51.0	6.1	-	2.0	2.0	4.1
性別	男性	25	52.0	52.0	20.0	4.0	-	-	4.0
	女性	13	61.5	38.5	-	-	-	7.7	7.7
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代・20歳代	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0
	40歳代	10	80.0	30.0	-	10.0	-	-	-
	50歳代	10	70.0	50.0	30.0	-	-	-	-
	60歳代	9	22.2	66.7	11.1	-	-	11.1	11.1
	70歳以上	4	25.0	75.0	-	-	-	-	-
	農林業	6	16.7	66.7	-	-	-	16.7	-
職業別	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	20	70.0	45.0	20.0	-	-	-	5.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	-	-	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-
	パート、アルバイト	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	6	50.0	33.3	16.7	-	-	-	16.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

問 58 どのようなイメージを持っているか

問58 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

消防団に対するイメージは、「地域に密着した防災活動をしている」が50.5%と最も高く、次いで「地域を守る意識の高い方が参加している」32.5%、「体力が必要」32.3%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

「体力が必要」では、令和6年度が32.3%、令和3年度が29.3%と3.0ポイント増加している。

【性別】

男女とも「地域に密着した防災活動をしてきている」の割合が最も高く、男性では「地域を守る意識の高い方が参加している」、女性では「体力が必要」と続いている。

【年代別】

すべての年代で「地域に密着した防災活動をしてきている」の割合が最も高く、中でも60歳代の57.4%が高くなっている。

【職業別】

学生を除くすべての職業で「地域に密着した防災活動をしてきている」の割合が最も高く、学生では「体力が必要」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

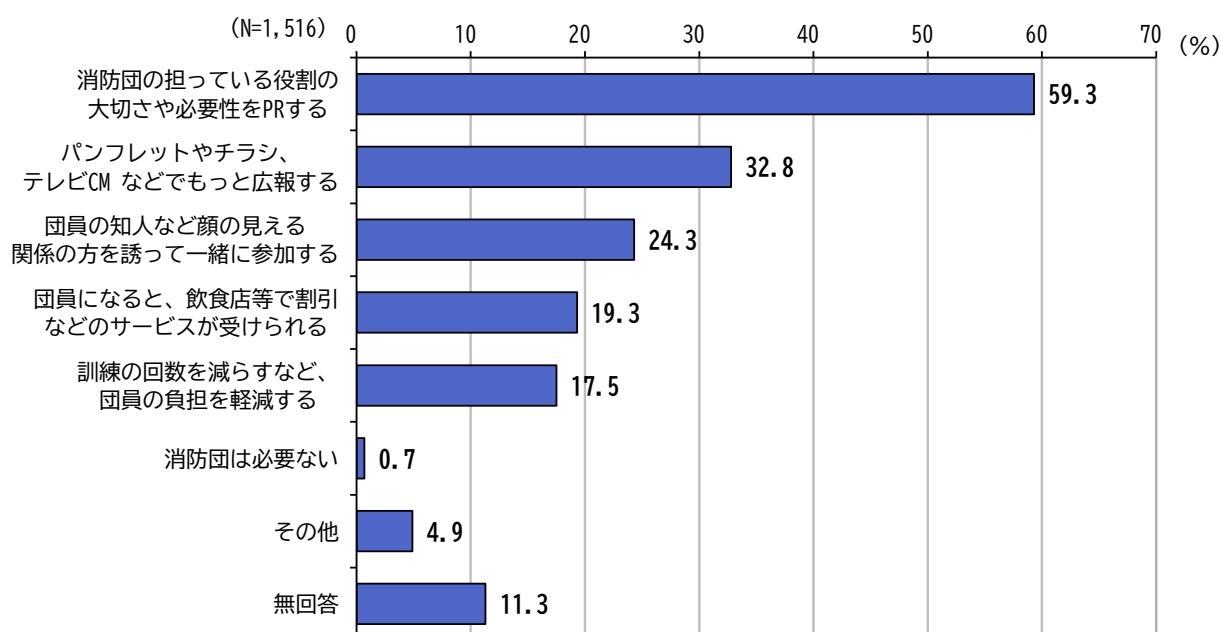
		調査数	(1) 地域に密着して 活動している	(2) 地域を守る意識 が高い	(3) 体力が必要	(4) 若い人が不足 している	(5) 会社員は仕事 がある	(6) 地元の人と活 動して和気あ る	(7) 土日に訓練等 の活動が	(8) かそ知らそな い消防団とは 何	(9) 規律が厳しい	(10) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1 位	2 位									
今回調査(R6)		1,516	50.5	32.5	32.3	31.3	19.9	16.2	11.2	5.7	2.1	2.8	7.4
前回調査(R3)		1,779	51.7	34.6	29.3	31.5	25.5	21.2	13.3	8.9	1.9	2.9	3.4
性 別	男性	627	50.1	34.3	29.7	32.4	23.1	18.5	13.1	5.3	2.1	1.8	7.0
	女性	860	51.0	31.7	34.1	30.5	17.7	14.7	10.1	5.9	2.2	3.5	7.4
	回答しない	18	44.4	11.1	38.9	33.3	16.7	11.1	-	11.1	-	11.1	5.6
年 代 別	10歳代・20歳代	104	42.3	27.9	30.8	22.1	19.2	18.3	13.5	12.5	6.7	1.9	3.8
	30歳代	151	41.1	22.5	33.8	30.5	27.2	18.5	21.9	6.6	4.6	4.6	3.3
	40歳代	216	44.0	33.3	25.9	27.8	30.1	21.3	20.4	9.7	2.8	3.2	2.3
	50歳代	278	54.7	34.2	30.2	32.0	27.7	16.9	12.9	4.0	1.4	2.9	4.3
	60歳代	331	57.4	34.4	35.0	34.4	18.7	17.5	7.6	4.5	0.9	2.1	5.4
	70歳以上	426	51.4	34.5	34.7	32.6	8.0	10.8	4.0	3.8	1.2	2.8	15.3
職 業 別	農林業	63	50.8	28.6	41.3	46.0	15.9	19.0	11.1	-	1.6	3.2	3.2
	漁業	3	100.0	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	53.0	30.3	27.3	24.2	18.2	30.3	9.1	4.5	1.5	1.5	9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	50.8	31.3	27.6	30.4	30.9	18.4	18.1	6.1	2.2	2.8	3.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	53.3	50.0	40.0	36.7	16.7	23.3	3.3	-	3.3	-	3.3
	主婦・主夫	162	50.0	35.8	34.6	32.1	8.0	9.9	6.2	4.3	3.1	3.7	13.0
	パート、アルバイト	189	48.7	28.0	33.9	29.6	21.7	20.6	10.1	7.4	3.2	3.7	5.3
	学生	21	42.9	33.3	47.6	28.6	19.0	4.8	14.3	9.5	4.8	-	4.8
	無職(すでに退職を含む)	332	51.8	34.0	36.1	32.5	7.8	9.0	4.5	5.7	0.9	2.1	12.7
	その他	94	48.9	34.0	30.9	24.5	19.1	18.1	10.6	8.5	2.1	4.3	7.4

問 59 どうすれば興味を持ってもらえると思うか

問59 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

消防団に興味を持ってもらうための方法については、「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPR する」が59.3%と最も高く、次いで「パンフレットやチラシ、テレビ CM などでもっと広報する」32.8%、「団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する」24.3%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

令和6年度と令和3年度と同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

男女とも同じ傾向で、性別に大きな差は見られない。

【年代別】

すべての年代で「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

漁業を除くすべての職業で「消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする」の割合が最も高く、漁業では「団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる」が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 大消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする割合	(2) 消防団の役割の大切さや必要性をPRする割合	(3) 消防団の役割の大切さや必要性をPRする割合	(4) 消防団の役割の大切さや必要性をPRする割合	(5) 消防団の役割の大切さや必要性をPRする割合	(6) 消防団は必要ない	(7) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位	2位						
今回調査(R6)		1,516	59.3	32.8	24.3	19.3	17.5	0.7	4.9	11.3
前回調査(R3)		1,779	63.2	35.0	26.0	22.0	17.8	1.5	5.6	5.5
性別	男性	627	59.5	31.7	23.6	21.4	18.5	1.3	4.9	10.5
	女性	860	59.8	34.2	25.0	17.7	16.7	0.1	5.0	11.5
	回答しない	18	50.0	27.8	22.2	22.2	16.7	11.1	5.6	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	54.8	39.4	19.2	33.7	27.9	1.9	3.8	4.8
	30歳代	151	45.7	29.8	21.9	32.5	27.2	2.0	8.6	4.0
	40歳代	216	60.6	28.2	25.9	29.6	19.4	0.9	5.1	6.9
	50歳代	278	61.5	31.7	22.3	15.5	22.7	0.4	5.8	7.6
	60歳代	331	66.2	34.4	29.0	15.4	13.9	0.9	4.2	9.1
	70歳以上	426	58.5	35.0	23.5	11.3	9.9	-	4.0	21.1
職業別	農林業	63	66.7	31.7	25.4	14.3	20.6	-	1.6	12.7
	漁業	3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66	43.9	19.7	24.2	18.2	12.1	4.5	7.6	16.7
	会社員(役員を含む)、公務員	537	59.8	32.8	23.1	27.6	23.1	0.4	5.6	6.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	53.3	36.7	33.3	26.7	16.7	-	3.3	13.3
	主婦・主夫	162	63.0	32.7	29.0	10.5	14.2	-	2.5	14.2
	パート、アルバイト	189	58.7	36.0	25.4	17.5	19.6	0.5	5.8	10.6
	学生	21	52.4	28.6	14.3	28.6	28.6	9.5	-	4.8
	無職(すでに退職を含む)	332	59.9	35.2	22.9	12.0	10.2	0.6	4.2	16.3
	その他	94	61.7	33.0	25.5	12.8	13.8	-	8.5	13.8

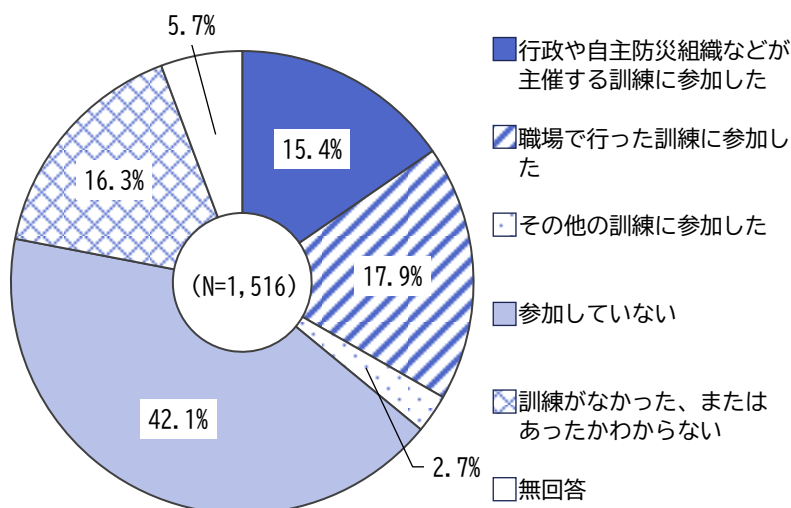
(9) 地域の防災力について

問 60 地域や職場の地震防災訓練への参加状況

問60 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

地域や職場の地震防災訓練への参加状況は、「参加していない」が42.1%と最も高く、次いで「職場で行った訓練に参加した」17.9%、「訓練がなかった、またはあったかわからない」16.3%と続いており、何らかの訓練に参加したと回答した人の割合は40%に満たない。

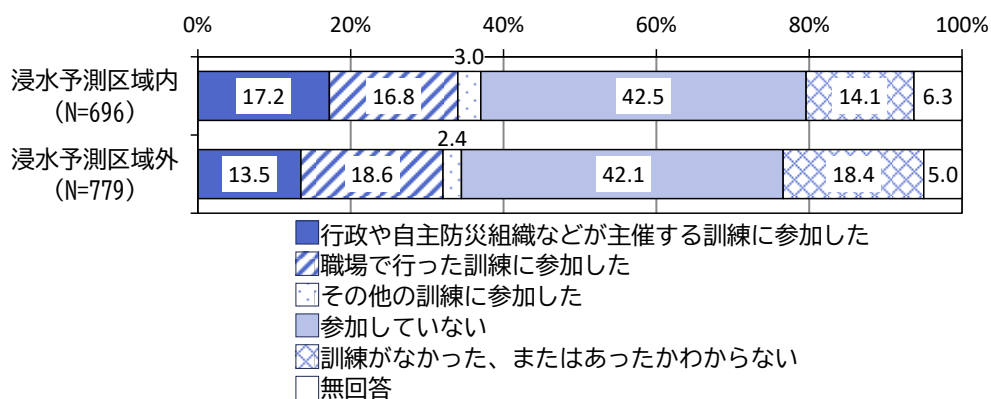
《 総 合 》



【浸水予測区域別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は浸水予測区域内が17.2%、浸水予測区域外が13.5%と浸水予測区域内が3.7ポイント高く、「職場で行った訓練に参加した」は、浸水予測区域内が16.8%、浸水予測区域外が18.6%と浸水予測区域外が1.8ポイント高い。

《 浸水予測区域別 》



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

何らかの訓練に参加したと回答した人の割合は、男性38.3%、女性34.4%と男性の方が3.9ポイント高くなっている。

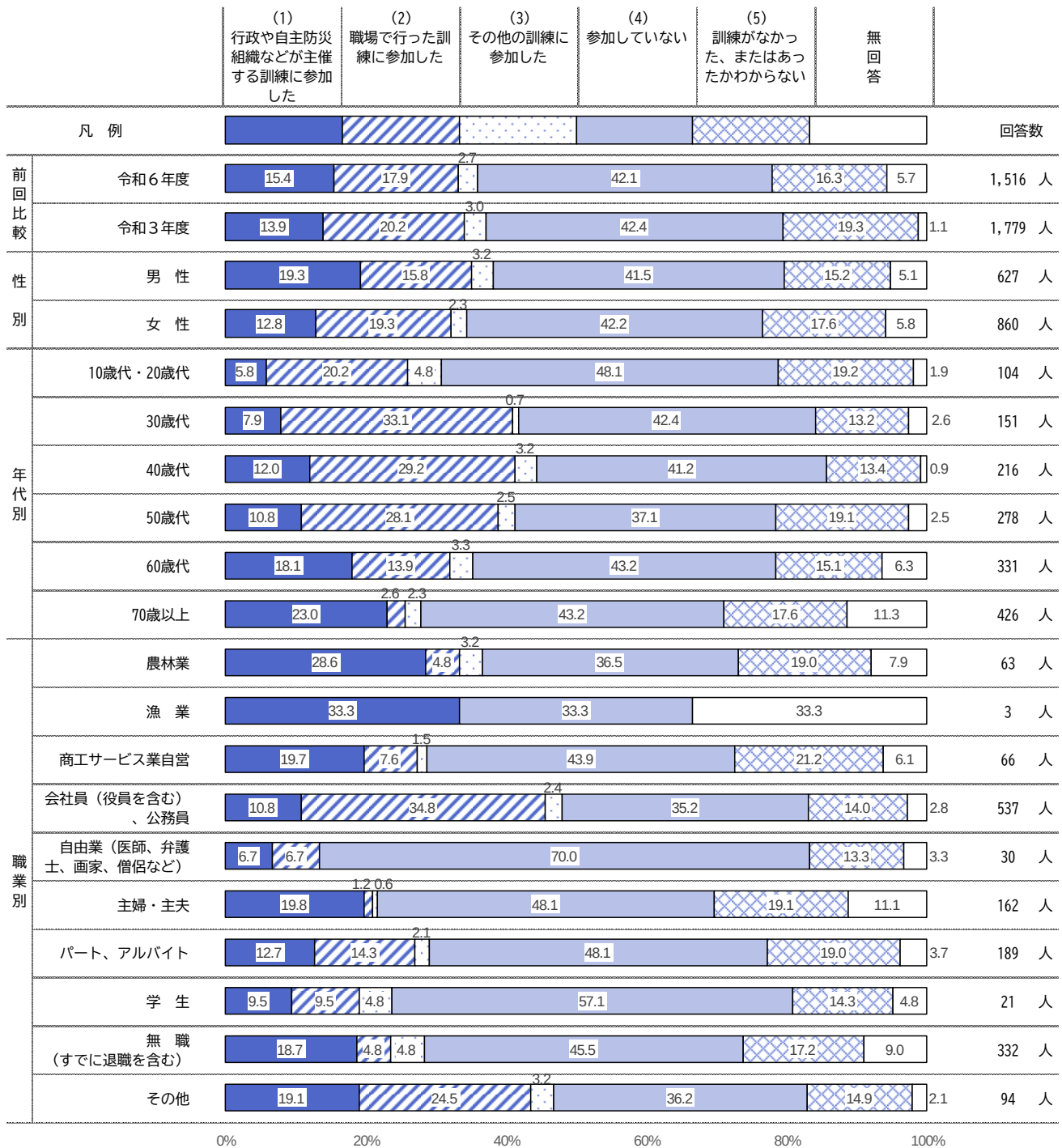
【年代別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は年代が上がるほど割合も高くなっている。30歳代、40歳代、50歳代は、何らかの訓練に参加したと回答した人の割合が他の年代に比べて高い。

【職業別】

「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は漁業が、「職場で行った訓練に参加した」は会社員、公務員、が、「参加していない」は自由業が、他の職業より高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年齢別・職業別 ▶

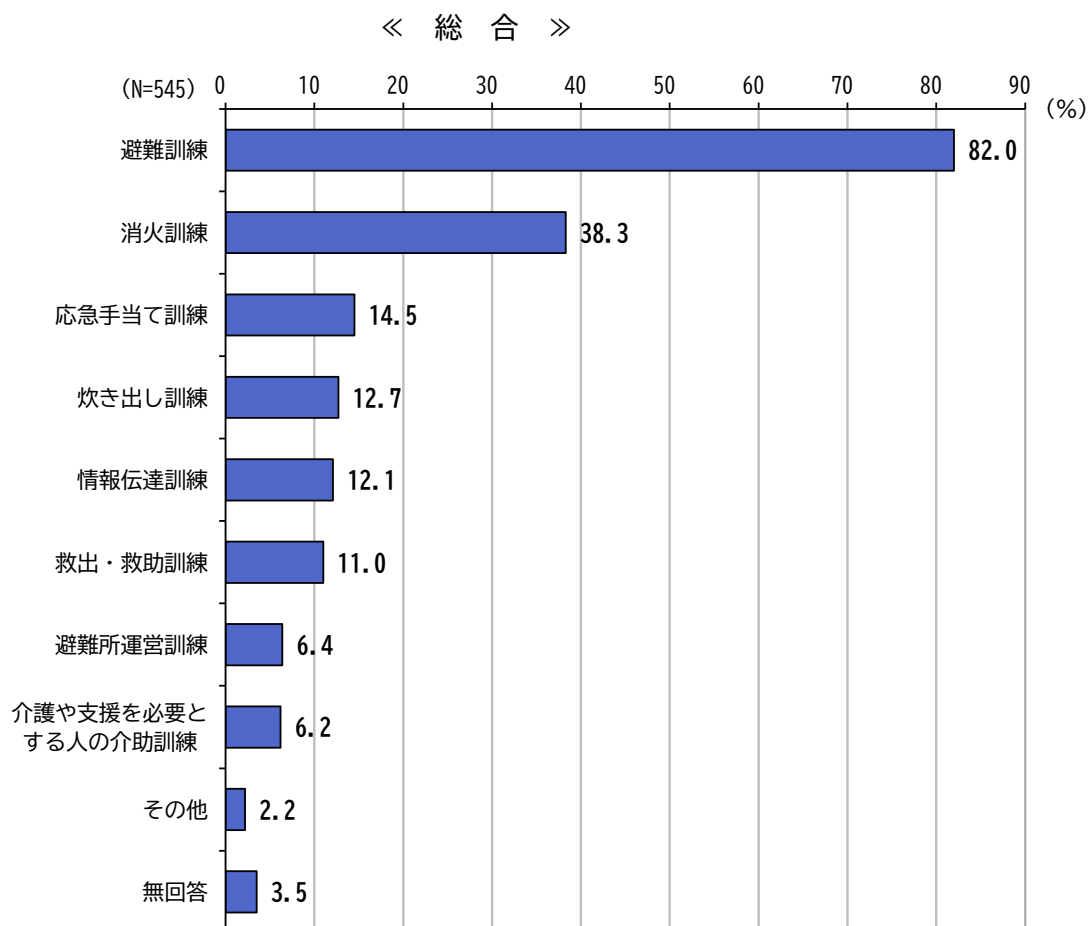


問 61 どのような訓練に参加したか

問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

参加した訓練の内容は、「避難訓練」が82.0%と最も高く、次いで「消火訓練」38.3%、「応急手当て訓練」14.5%と続いている。



【前回比較】

令和6年度は、令和3年度と比べて、「消火訓練」の割合が7.7ポイント減少している。

【性別】

男女とも「避難訓練」の割合が最も高く、男性86.3%、女性78.7となっており、男性の方が7.6ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「避難訓練」の割合が最も高く、中でも40歳代で84.4%と高くなっている。

【職業別】

すべての職業で「避難訓練」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 避難訓練	(2) 消火訓練	(3) 応急手当 訓練	(4) 炊き出し 訓練	(5) 情報伝達 訓練	(6) 救出・救 助訓練	(7) 避難所運 営訓練	(8) 介護や支 援を必要 とする	(9) その他	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝												
			1位									
			2位									
今回調査(R6)		545	82.0	38.3	14.5	12.7	12.1	11.0	6.4	6.2	2.2	3.5
前回調査(R3)		661	84.9	46.0	18.2	14.4	11.6	12.7	7.0	5.3	1.8	1.1
性別	男性	240	86.3	38.8	16.7	12.5	15.4	16.3	9.2	6.3	1.7	2.9
	女性	296	78.7	37.8	12.5	12.8	9.8	6.8	4.4	6.4	2.7	4.1
	回答しない	5	100.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代・20歳代	32	78.1	34.4	15.6	3.1	12.5	6.3	6.3	6.3	-	6.3
	30歳代	63	84.1	41.3	17.5	9.5	9.5	11.1	6.3	7.9	4.8	4.8
	40歳代	96	84.4	37.5	12.5	8.3	11.5	8.3	6.3	4.2	4.2	1.0
	50歳代	115	80.0	41.7	13.0	13.9	20.0	13.0	7.0	7.0	1.7	7.0
	60歳代	117	83.8	35.9	15.4	12.8	15.4	9.4	7.7	9.4	0.9	0.9
	70歳以上	119	81.5	37.0	14.3	18.5	3.4	14.3	5.0	3.4	1.7	3.4
職業別	農林業	23	69.6	21.7	-	13.0	-	4.3	8.7	-	-	8.7
	漁業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	19	89.5	26.3	10.5	15.8	10.5	10.5	5.3	21.1	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	258	84.9	40.7	14.7	8.9	16.3	11.6	6.6	6.6	2.7	2.7
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	4	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	35	74.3	37.1	14.3	25.7	5.7	5.7	8.6	-	2.9	-
	パート、アルバイト	55	81.8	36.4	10.9	14.5	9.1	9.1	1.8	1.8	-	5.5
	学生	5	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	94	79.8	36.2	10.6	16.0	6.4	13.8	5.3	4.3	1.1	3.2
	その他	44	84.1	45.5	31.8	13.6	18.2	13.6	11.4	15.9	6.8	6.8

問 62 どうすれば参加人数が増えると思うか

問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

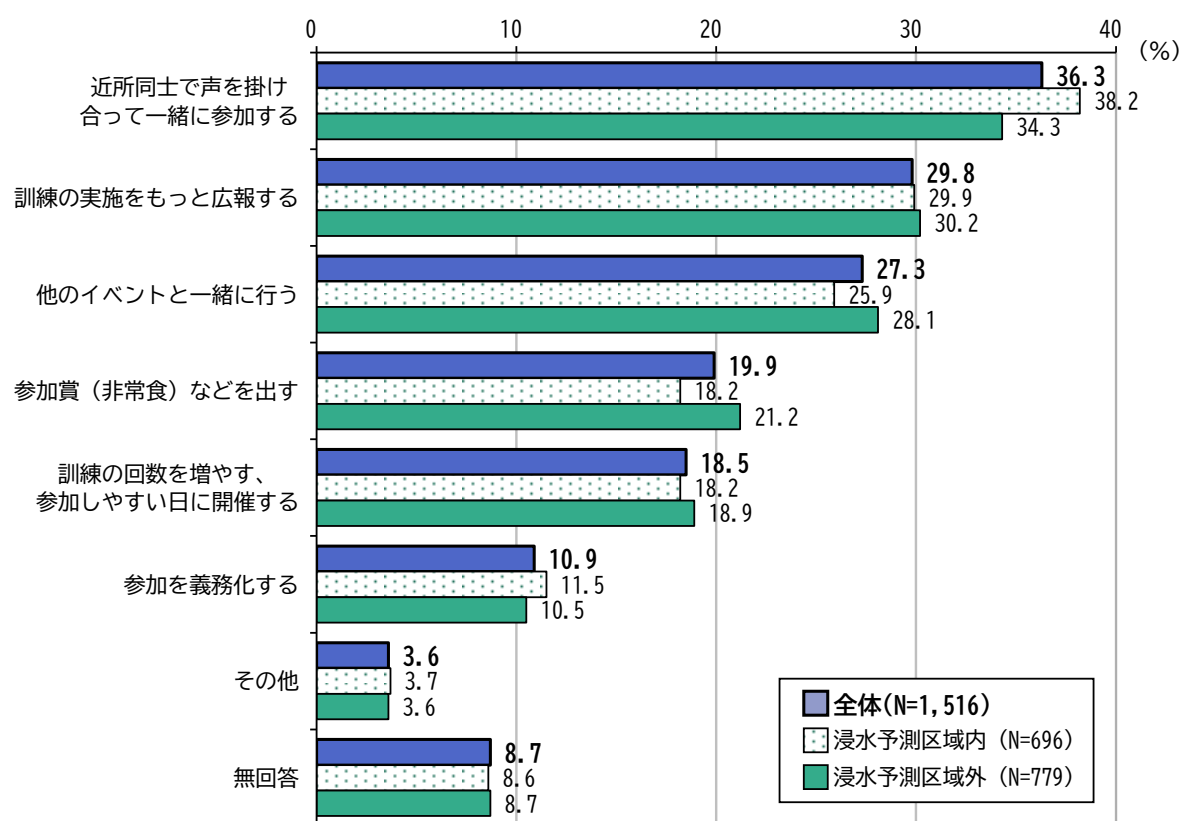
(2つまで○)

防災訓練に参加する人を増やす方法は、「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」が36.3%と最も高く、次いで「訓練の実施をもっと広報する」29.8%、「他のイベントと一緒にやる」27.3%と続いている。

【浸水予測区域別】

「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」は、浸水予測区域内が38.2%、浸水予測区域外が34.3%と、浸水予測区域内の方が3.9ポイント高くなっている。

＜ 総合・浸水予測区域別 ＞



【前回比較】

令和6年度と令和3年度は同じ傾向で、大きな差は見られない。

【性別】

男女ともに「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代では「参加賞（非常食）などを出す」、40歳代、50歳代では「他のイベントと一緒にいる」、60歳代、70歳以上では「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」の割合が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、漁業、商工サービス業自営、主婦・主夫、無職、その他では「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 合近 つ所 て同 士 緒で 声に 参を 加掛 ける	(2) 報訓 す練 るの 実 施を も つと 広	(3) 行他 うの イ ベ ン トと 一 緒に	(4) を参 加賞 （非 常食 ）な ど	(5) す参 加練 しの 回 数 い を 日 増 に や 開 す 催、	(6) 参加 を義 務化 する	(7) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=										
			1 位							
			2 位							
今回調査(R6)		1,516	36.3	29.8	27.3	19.9	18.5	10.9	3.6	8.7
前回調査(R3)		1,779	37.3	30.1	29.4	23.4	20.5	15.5	2.9	4.0
性別	男性	627	38.9	32.7	26.5	18.7	18.0	9.9	2.6	8.6
	女性	860	35.0	28.1	27.9	20.6	19.1	11.5	4.1	8.7
	回答しない	18	5.6	22.2	38.9	22.2	5.6	11.1	16.7	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	15.4	26.9	32.7	39.4	26.9	20.2	2.9	3.8
	30歳代	151	23.2	19.9	33.8	40.4	23.8	12.6	2.6	4.6
	40歳代	216	25.0	30.1	37.5	26.4	21.8	13.0	3.7	4.2
	50歳代	278	32.4	29.5	36.0	21.2	22.7	7.6	4.7	5.8
	60歳代	331	40.8	36.3	22.1	12.4	18.4	10.9	2.1	9.1
	70歳以上	426	50.9	29.3	17.1	9.2	10.3	8.9	4.5	15.3
職業別	農林業	63	52.4	22.2	22.2	6.3	11.1	6.3	1.6	14.3
	漁業	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3
	商工サービス業自営	66	39.4	31.8	18.2	18.2	18.2	7.6	1.5	6.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	25.5	30.7	35.0	26.4	23.8	11.9	3.2	5.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	33.3	26.7	36.7	30.0	13.3	23.3	3.3	6.7
	主婦・主夫	162	48.1	32.7	19.8	11.1	10.5	12.3	2.5	11.1
	パート、アルバイト	189	29.1	30.7	27.0	24.9	23.8	11.6	3.2	7.9
	学生	21	9.5	9.5	23.8	57.1	33.3	19.0	-	4.8
	無職(すでに退職を含む)	332	48.2	28.9	21.7	11.1	11.7	7.5	4.5	14.2
	その他	94	44.7	33.0	24.5	14.9	18.1	9.6	9.6	4.3

問 63 地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

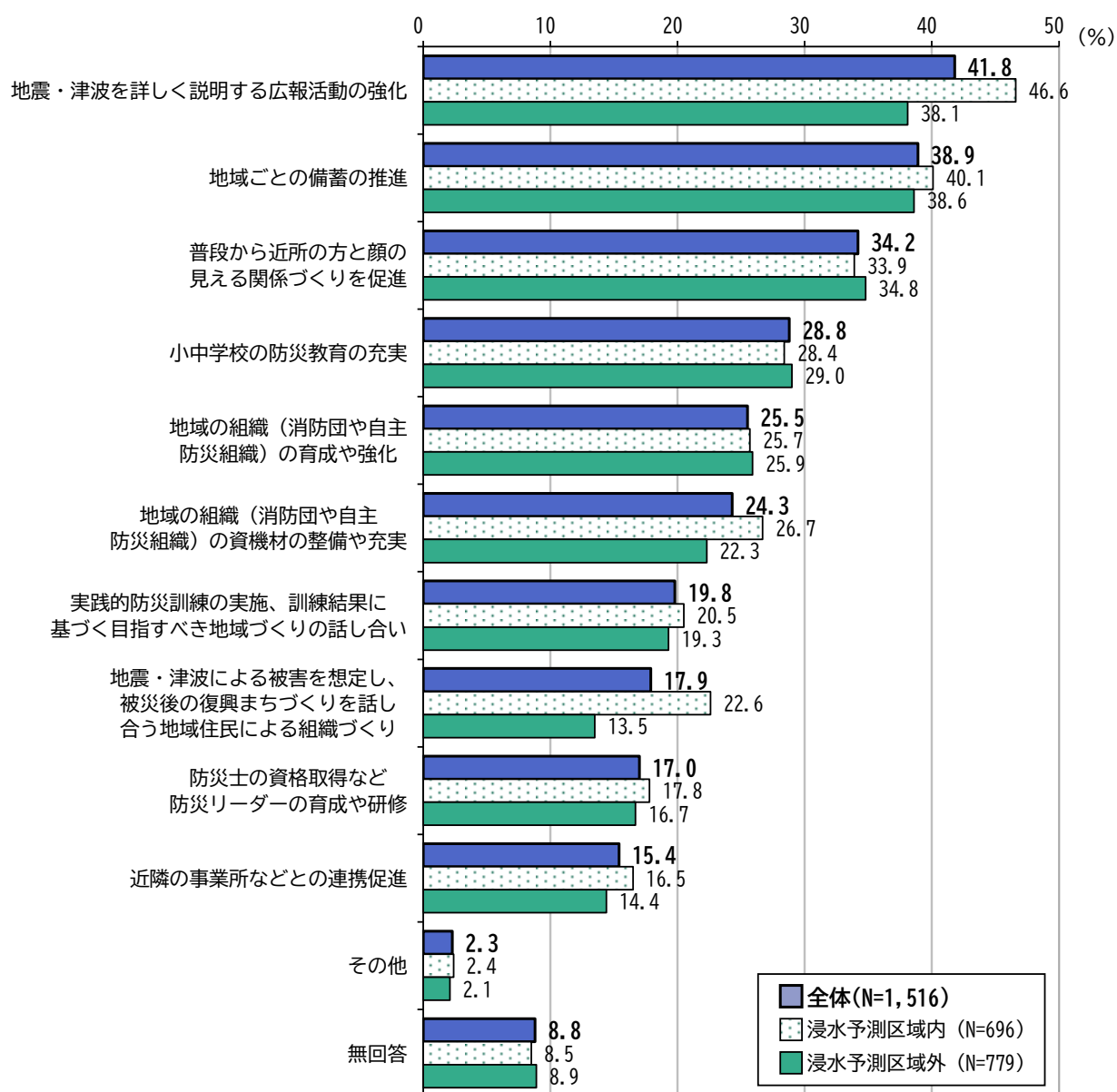
(当てはまるものすべてに○)

地域の防災力を高めるために必要なこと、「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が41.8%と最も高く、次いで「地域ごとの備蓄の推進」38.9%、「普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進」34.2%と続いている。

【浸水予測区域別】

「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」の割合が、浸水予測区域内46.6%、浸水予測区域外38.1%と8.5ポイント、「地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり」は浸水予測区域内22.6%、浸水予測区域外13.5%と9.1ポイント差がある。

≪ 総合・浸水予測区域別 ≫



【前回比較】

令和6年度は、「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」が5.0ポイント減少し、「地域ごとの備蓄と推進」が2.5ポイント増加している。

【性別】

男性では「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」45.0%が最も高く、女性では「地域ごとの備蓄と推進」42.3%が最も高くなっている。

【年代別】

40歳代、70歳以上を除くすべての年代で「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」の割合が最も高く、40歳代では「地域ごとの備蓄と推進」46.3%、70歳以上では「普段から近所の方と顔の見える関係づくりの促進」39.9%が最も高くなっている。

【職業別】

農林業、漁業、会社員、公務員、パート・アルバイト、学生、その他では「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」の割合が最も高く、商工サービス業自営、自由業では「地域ごとの備蓄と推進」、主婦・主夫、無職では「普段から近所の方と顔の見える関係づくりの促進」の割合が最も高くなっている。

≪ 前回比較・性別・年代別・職業別 ≫

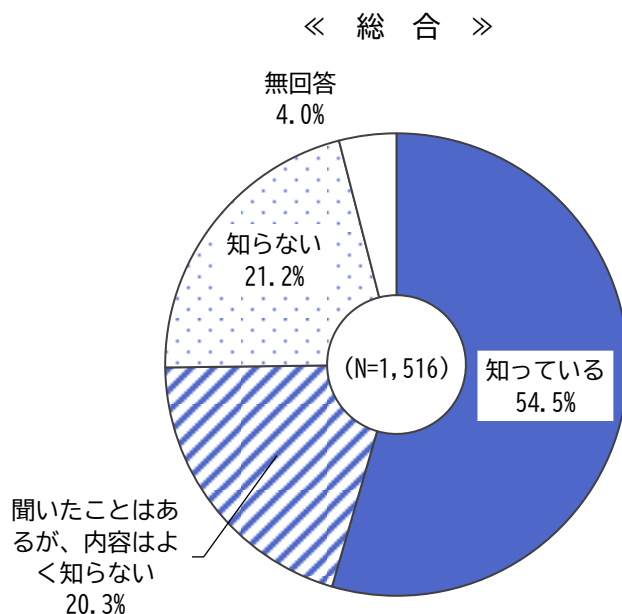
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)		
		調査 数	地震・津波を詳しく説明する広報活 動の強化	地域ごとの備蓄の推進	普段から近所の方と顔の見える関係 づくりを促進	小中学校の防災教育の充実	地域の組織（消防団や自主防災組 織）の育成や強化	地域の組織（消防団や自主防災組 織）の資機材の整備や充実	実践的防災訓練の実施、訓練の結果に 基づく目指すべき地域づくりの話し 合い	被災後の復興まちづくりを話し合う、地 域住民による組織づくり	防災士の資格取得など防災リーダー の育成や研修	近隣の事業所などとの連携促進	その他	無回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位											
			2位											
今回調査(R6)		1,516	41.8	38.9	34.2	28.8	25.5	24.3	19.8	17.9	17.0	15.4	2.3	8.8
前回調査(R3)		1,779	46.8	36.4	36.8	35.5	28.8	24.3	17.4	20.0	18.1	15.9	2.2	3.8
性別	男性	627	45.0	34.8	31.6	26.8	29.0	26.0	20.9	16.6	16.3	14.7	1.6	8.9
	女性	860	39.4	42.3	37.0	30.2	23.3	23.1	19.1	19.3	17.6	16.3	2.8	8.5
	回答しない	18	50.0	27.8	5.6	33.3	22.2	27.8	16.7	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	50.0	47.1	24.0	33.7	24.0	24.0	15.4	23.1	25.0	19.2	1.9	2.9
	30歳代	151	43.0	41.7	24.5	38.4	17.9	23.8	15.9	17.2	15.2	15.9	2.6	4.6
	40歳代	216	44.0	46.3	33.3	38.0	21.3	25.0	16.7	19.9	20.4	19.9	1.9	3.2
	50歳代	278	43.5	38.1	31.3	30.2	25.9	24.1	21.9	17.3	15.8	18.7	2.5	5.8
	60歳代	331	44.4	38.1	38.1	26.0	31.4	28.7	21.1	17.8	16.9	16.9	2.4	8.5
	70歳以上	426	35.2	33.6	39.9	20.9	26.3	21.1	21.4	16.7	14.6	8.9	2.3	16.4
職業別	農林業	63	36.5	28.6	36.5	19.0	31.7	31.7	15.9	7.9	6.3	4.8	3.2	11.1
	漁業	3	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3
	商工サービス業自営	66	40.9	42.4	28.8	21.2	22.7	19.7	19.7	16.7	13.6	16.7	3.0	15.2
	会社員(役員を含む)、公務員	537	44.7	40.0	27.7	35.0	23.5	24.8	19.9	18.1	17.3	17.5	1.7	5.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	40.0	46.7	40.0	23.3	30.0	16.7	23.3	20.0	13.3	16.7	3.3	10.0
	主婦・主夫	162	39.5	34.0	43.2	24.7	22.2	19.8	18.5	21.6	13.6	11.1	1.2	11.7
	パート、アルバイト	189	48.1	42.9	38.6	33.9	25.9	26.5	18.5	22.2	18.0	20.6	2.6	5.3
	学生	21	42.9	33.3	33.3	33.3	23.8	19.0	33.3	19.0	19.0	9.5	4.8	4.8
	無職(すでに退職を含む)	332	34.0	37.7	38.0	21.4	29.5	25.0	21.4	15.4	17.8	11.7	2.7	14.8
	その他	94	47.9	43.6	31.9	29.8	25.5	26.6	17.0	18.1	26.6	20.2	4.3	3.2

(10) 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）について

問 64 南海トラフ地震臨時情報が発表されることを知っているか

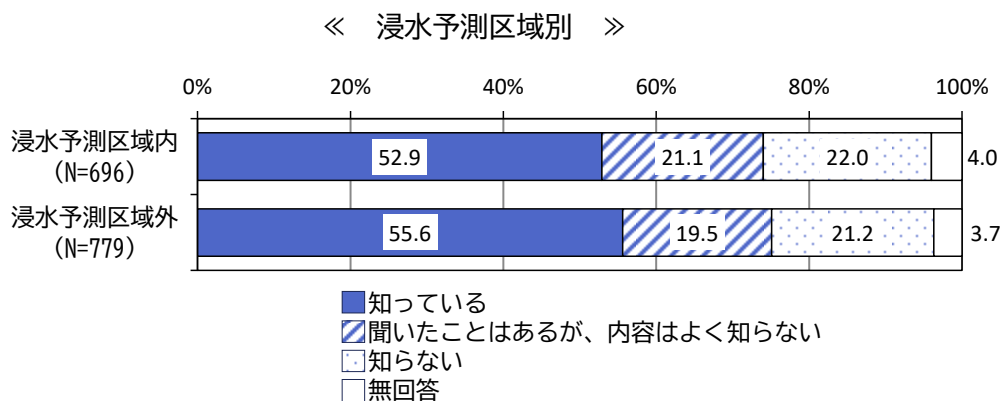
問64 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。（ひとつだけ○）

南海トラフ地震臨時情報が発表されることについては、「知っている」が54.5%と最も高く、次いで「知らない」21.2%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」20.3%となっている。



【浸水予測区域別】

「知っている」は浸水予測区域内で52.9%、浸水予測区域外で55.6%と、浸水予測区域内の方が低い割合となっている。



【前回比較】

令和6年度は、「知っている」が、令和3年度の20.3%より34.2ポイント増加しており、認知度が高くなっている。

【性別】

男女とも同じ傾向で、性別に差は見られない。

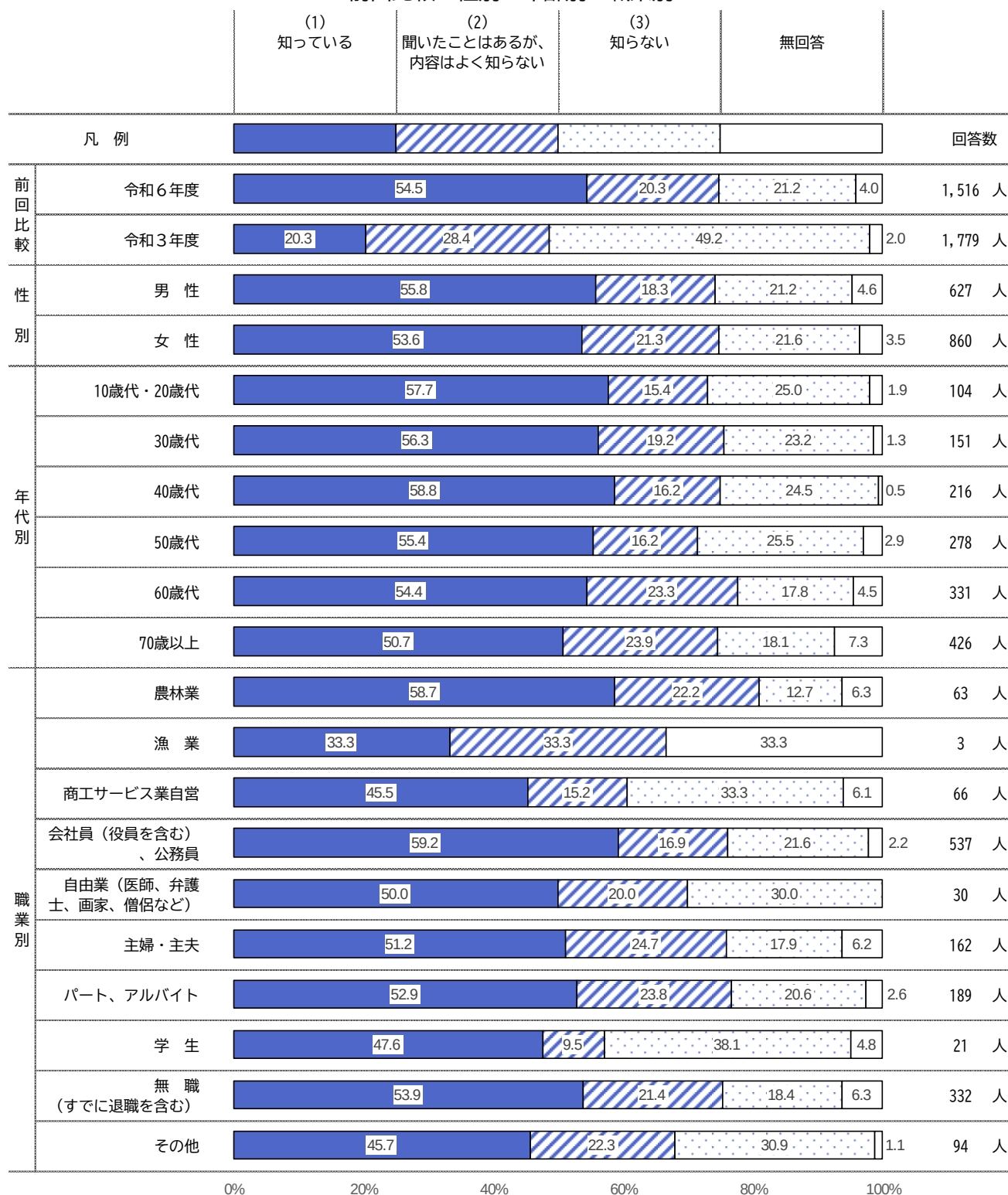
【年代別】

すべての年代で「知っている」の割合が50%を超えて、最も高くなっている。

【職業別】

会社員、公務員では「知っている」の割合が59.2%と他の職業より高くなっている。

＜前回比較・性別・年齢別・職業別＞

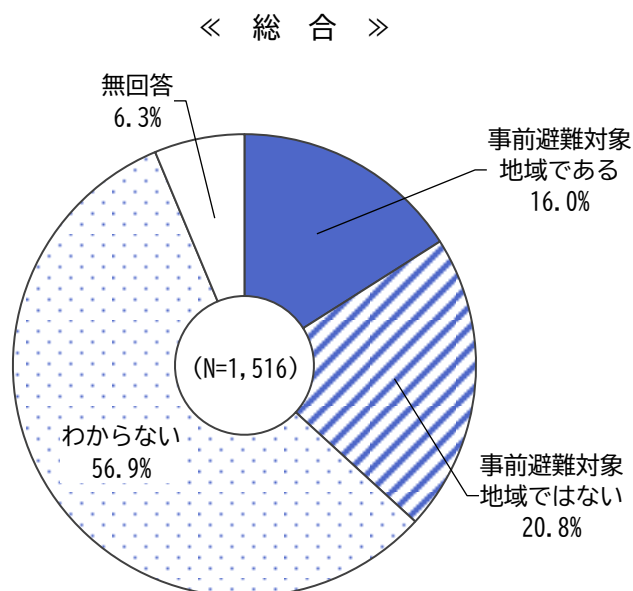


問 65 事前避難対象地域かどうか

問65 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。

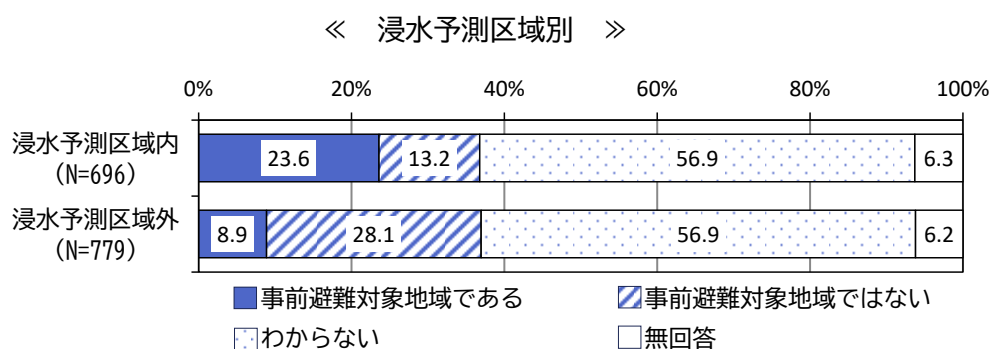
お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

事前避難対象地域かどうかについては、「わからない」が56.9%と最も高く、次いで「事前避難対象地域ではない」20.8%、「事前避難対象地域である」16.0%となっている。



【浸水予測区域別】

両方の区域で、「わからない」が50%を超えている。



【前回比較】

「事前避難対象地域である」16.0%は、令和3年度より4.5ポイント増加している。

【性別】

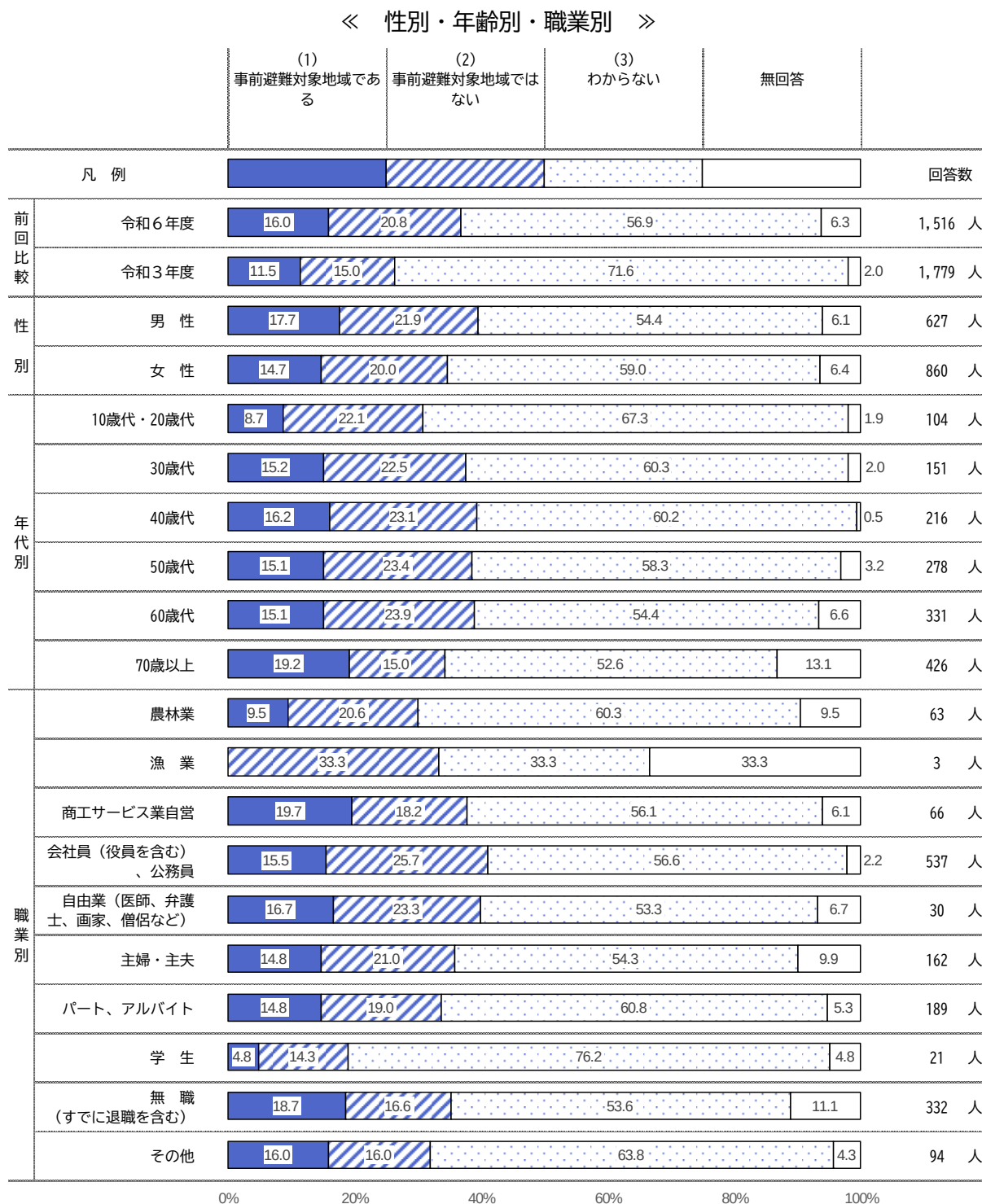
「わからない」は、男性54.4%、女性59.0%と女性の方が4.6ポイント高い。

【年代別】

年代が低いほど「わからない」と回答した人の割合が高い傾向にある。

【職業別】

すべての職業で、「わからない」が最も高く、中でも学生は76.2%と、他の職業より高い割合となっている。



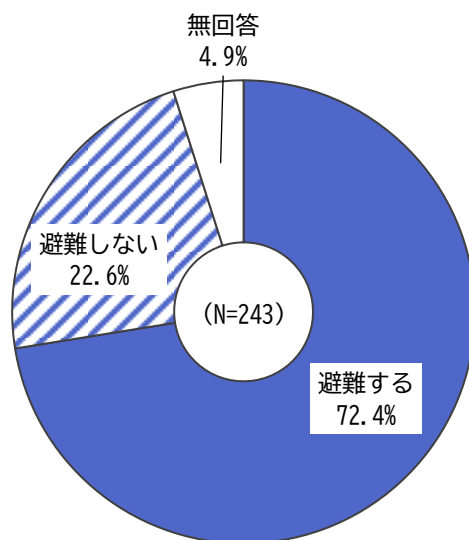
問 66 市町村から事前避難の呼びかけがあった場合、事前避難を行うか

問66 問65で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。(ひとつだけ○)

南海トラフ地震臨時情報の発表により事前の避難の呼びかけがあった場合の事前避難の実施については、「避難する」が72.4%で「避難しない」は22.6%だった。

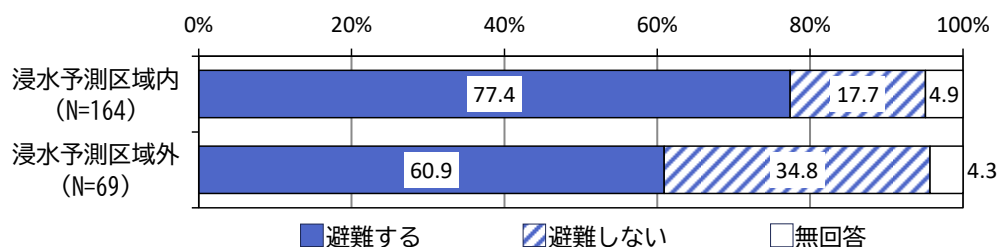
＜ 総 合 ＞



【浸水予測区域別】

「避難する」と回答した人は、浸水予測区域内が77.4%、浸水予測区域外が60.9%と浸水予測区域内の方が16.5ポイント高い。

＜ 浸水予測区域別 ＞



※浸水予測区域不明 10 名を除く

【性別】

「避難する」72.4%は、令和3年度の90.2%より17.8ポイント減少している。

【性別】

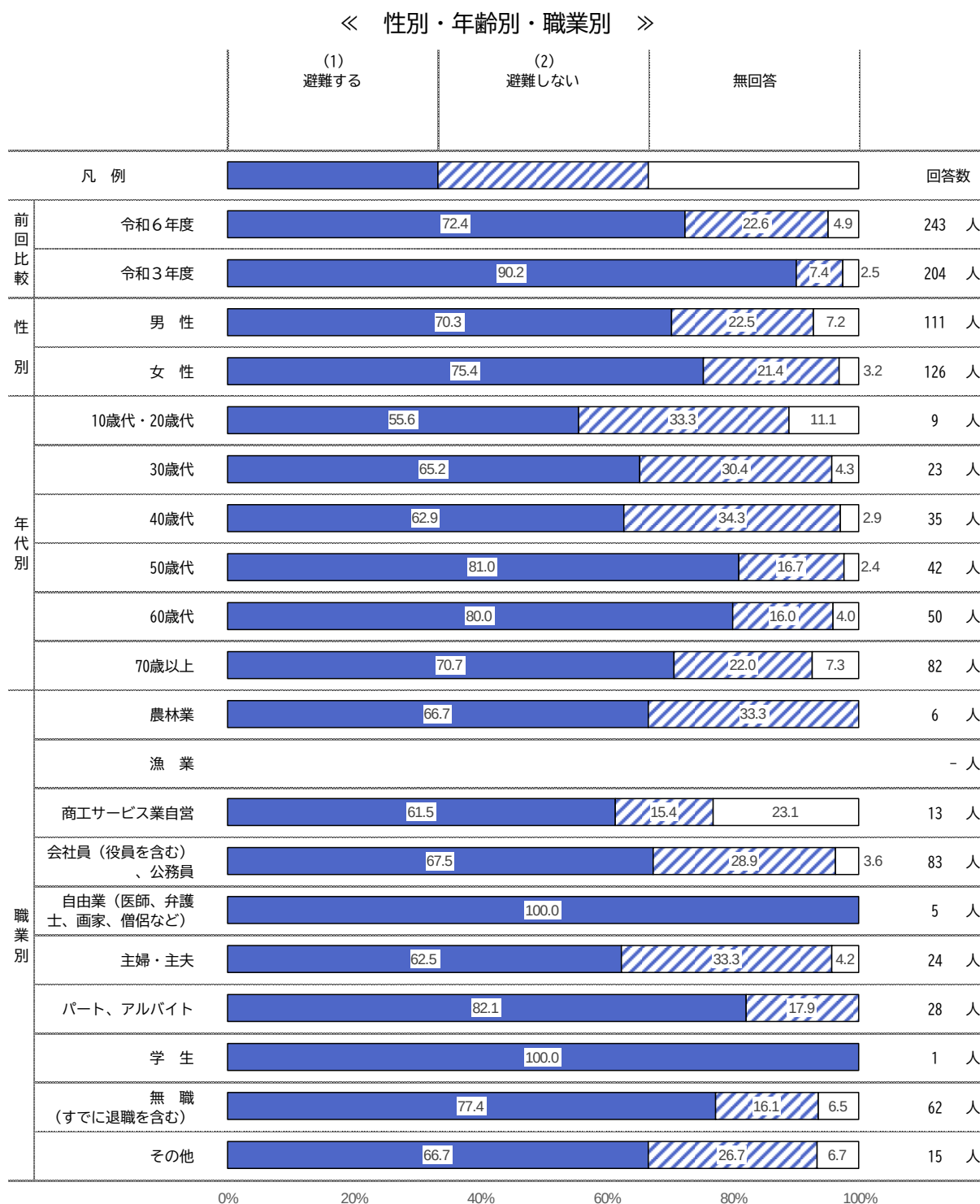
男女ともに「総合」と同じ傾向で、性別による差もほとんどない。

【年代別】

10歳代・20歳代、30歳代、40歳代では「避難しない」の割合が30%を超えている。

【職業別】

農林業、主婦・主夫では「避難しない」の割合が30%を超えている。



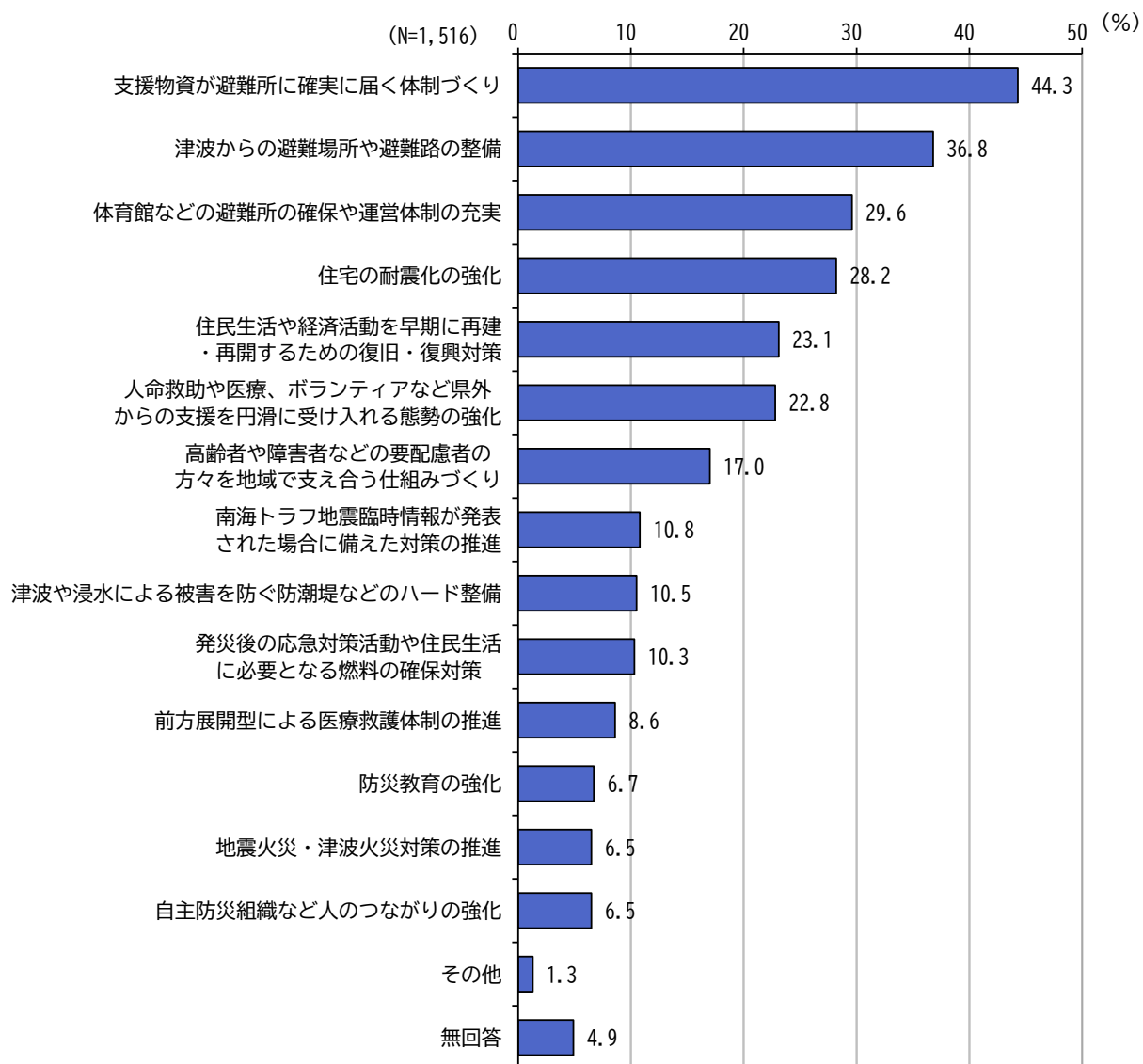
(11)県の施策について

問 67 県が行っている施策で特に力を入れるべきもの

問67 県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

県が力を入れるべき施策は、「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が44.3%と最も高く、次いで「津波からの避難場所や避難路の整備」36.8%、「体育館などの避難所の確保や運営体制の充実」29.6%と続いている。

《 総 合 》



【前回比較】

「津波からの避難場所や避難路の整備」の割合が6.5ポイント減少し、「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」の割合が3.5ポイント増加している。

【性別】

男女とも「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」の割合が最も高く、男性43.7%、女性45.1%となっている。

【年代別】

40歳代を除く年代で「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」の割合が最も高く、次いで30歳代では「津波からの避難場所や避難路の整備」が同率で最も高く、40歳代は「津波からの避難場所や避難路の整備」が最も高くなっている。

【職業別】

漁業、学生を除くすべての職業で「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」の割合が最も高くなっている。

◀ 前回比較・性別・年代別・職業別 ▶

		調査数	(1) 支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	(2) 津波からの避難場所や避難路の整備	(3) 体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	(4) 住宅の耐震化の強化	(5) 住民生活や経済の復活・復興を早期に実現する対策	(6) 人命救助や医療、ボランティアなどへの支援	(7) 高齢者や障害者などの仕組みづくり	(8) 南海トラフ地震の発生時の情報発表
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			1位							
			2位							
今回調査(R6)		1,516	44.3	36.8	29.6	28.2	23.1	22.8	17.0	10.8
前回調査(R3)		1,779	40.8	43.3	30.4	24.2	20.2	24.4	19.4	7.7
性別	男性	627	43.7	38.3	31.9	30.5	23.0	20.9	15.6	8.9
	女性	860	45.1	35.9	28.4	26.5	23.6	24.0	18.3	12.0
	回答しない	18	38.9	44.4	11.1	27.8	16.7	22.2	11.1	22.2
年代別	10歳代・20歳代	104	42.3	37.5	33.7	31.7	19.2	21.2	8.7	9.6
	30歳代	151	45.7	45.7	26.5	29.1	24.5	15.9	13.2	9.9
	40歳代	216	44.4	46.8	29.2	27.8	25.5	19.9	10.6	8.3
	50歳代	278	49.3	38.5	30.2	22.3	23.7	22.3	15.1	14.0
	60歳代	331	43.5	36.0	33.5	31.1	24.8	25.7	19.9	10.3
	70歳以上	426	42.3	28.4	26.5	28.4	21.1	24.9	22.5	11.3
職業別	農林業	63	46.0	28.6	27.0	30.2	25.4	28.6	7.9	7.9
	漁業	3	33.3	66.7	-	66.7	33.3	33.3	-	-
	商工サービス業自営	66	42.4	28.8	33.3	27.3	25.8	27.3	16.7	6.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	44.5	41.2	30.2	28.3	22.9	18.4	12.7	11.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	40.0	20.0	33.3	10.0	20.0	33.3	16.7	10.0
	主婦・主夫	162	43.8	31.5	22.2	27.2	24.1	25.3	23.5	10.5
	パート、アルバイト	189	48.1	44.4	36.5	29.1	19.6	24.9	13.2	15.3
	学生	21	19.0	33.3	28.6	19.0	23.8	28.6	9.5	14.3
	無職(すでに退職を含む)	332	44.3	35.2	29.2	28.6	23.8	25.3	24.1	9.3
	その他	94	47.9	29.8	27.7	29.8	25.5	18.1	21.3	10.6

		調査数	(9) 津波や などの ハード 整備	(10) 発災後 の応急 対策 燃料の 確保 対策	(11) 進 前 方展 開型 による 医療 救護 体制 の推	(12) 防災 教育 の強 化	(13) 地震 火災・ 津波 火災 対策 の推 進	(14) 自主 防災 組織 など 人の つな がりの 強 化	(15) その他	無 回 答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝										
		1 位								
		2 位								
今回調査(R6)		1,516	10.5	10.3	8.6	6.7	6.5	6.5	1.3	4.9
前回調査(R3)		1,779	15.3	10.6	13.7	11.0	5.6	8.0	2.3	2.1
性別	男性	627	11.2	9.1	7.8	6.5	7.2	6.7	1.0	5.1
	女性	860	10.1	11.5	9.0	6.7	5.8	6.5	1.5	4.3
	回答しない	18	5.6	-	16.7	11.1	16.7	-	5.6	5.6
年代別	10歳代・20歳代	104	18.3	10.6	5.8	7.7	7.7	5.8	1.0	4.8
	30歳代	151	18.5	13.9	4.0	7.3	9.3	6.6	2.6	1.3
	40歳代	216	12.5	13.9	6.5	12.0	5.1	6.0	1.4	1.9
	50歳代	278	9.4	11.9	11.2	7.6	8.6	3.6	0.7	2.9
	60歳代	331	7.3	8.2	8.8	6.9	5.4	7.6	0.9	4.2
	70歳以上	426	8.0	8.0	10.1	2.8	5.4	8.0	1.6	8.9
職業別	農林業	63	14.3	17.5	9.5	9.5	4.8	6.3	-	1.6
	漁業	3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	商工サービス業自営	66	1.5	12.1	12.1	4.5	3.0	7.6	1.5	9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537	13.6	10.6	9.3	9.3	7.8	5.0	1.1	2.8
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30	20.0	16.7	3.3	3.3	16.7	-	-	10.0
	主婦・主夫	162	8.6	6.8	11.1	4.9	8.0	9.9	1.2	8.0
	パート、アルバイト	189	7.4	7.9	2.1	7.4	6.3	5.8	1.6	3.2
	学生	21	4.8	14.3	4.8	14.3	9.5	14.3	-	9.5
	無職(すでに退職を含む)	332	8.7	9.6	9.3	3.3	4.5	6.9	1.8	6.0
	その他	94	11.7	13.8	7.4	5.3	4.3	6.4	2.1	3.2

VI 調査結果

〔数 表〕

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っていた	(2) 知らない この調査票などを見るまで知	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,748 98.3	23 1.3	8 0.4
全体		1,516 100.0	1,491 98.4	16 1.1	9 0.6
性別	男性	627 100.0	622 99.2	5 0.8	-
	女性	860 100.0	848 98.6	10 1.2	2 0.2
	回答しない	18 100.0	16 88.9	1 5.6	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	7 100.0	-	-
	20歳代	97 100.0	95 97.9	2 2.1	-
	30歳代	151 100.0	150 99.3	1 0.7	-
	40歳代	216 100.0	213 98.6	3 1.4	-
	50歳代	278 100.0	275 98.9	3 1.1	-
	60歳代	331 100.0	327 98.8	3 0.9	1 0.3
	70歳以上	426 100.0	420 98.6	4 0.9	2 0.5
職業別	農林業	63 100.0	62 98.4	1 1.6	-
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	66 100.0	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	533 99.3	4 0.7	-
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	29 96.7	-	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	160 98.8	2 1.2	-
	パート、アルバイト	189 100.0	186 98.4	3 1.6	-
	学生	21 100.0	20 95.2	1 4.8	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	326 98.2	5 1.5	1 0.3
	その他	94 100.0	93 98.9	-	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	232 99.6	1 0.4	-
	1人	441 100.0	436 98.9	5 1.1	-
	2人	324 100.0	319 98.5	4 1.2	1 0.3
	3人	253 100.0	249 98.4	3 1.2	1 0.4
	4人	152 100.0	150 98.7	1 0.7	1 0.7
	5人	55 100.0	54 98.2	1 1.8	-
	6人以上	35 100.0	34 97.1	1 2.9	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	76 97.4	2 2.6	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	73 100.0	-	-
	小学生	146 100.0	144 98.6	2 1.4	-
	70歳以上の人	491 100.0	482 98.2	6 1.2	3 0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	91 97.8	2 2.2	-
	妊娠婦	9 100.0	9 100.0	-	-
	該当者はいない	587 100.0	582 99.1	5 0.9	-
浸水予測区域別	浸水予測区域内	696 100.0	686 98.6	7 1.0	3 0.4
	浸水予測区域外	779 100.0	765 98.2	8 1.0	6 0.8

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 揺れで、 建物に被害が出る	(2) 揺れで、 家具が転倒する	(3) 火災	(4) 津波	(5) 山崩れ、 がけ崩れ	(6) 危険はない	(7) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,437 80.8	1,347 75.7	704 39.6	871 49.0	596 33.5	20 1.1	57 3.2	6 0.3
全体		1,516 100.0	1,257 82.9	1,178 77.7	649 42.8	730 48.2	518 34.2	15 1.0	67 4.4	5 0.3
性別	男性	627 100.0	529 84.4	491 78.3	288 45.9	308 49.1	192 30.6	7 1.1	24 3.8	-
	女性	860 100.0	706 82.1	667 77.6	350 40.7	410 47.7	312 36.3	7 0.8	42 4.9	2 0.2
	回答しない	18 100.0	16 88.9	14 77.8	10 55.6	12 66.7	9 50.0	-	1 5.6	-
年代別	10歳代	7 100.0	4 57.1	6 85.7	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	-	-
	20歳代	97 100.0	75 77.3	77 79.4	38 39.2	56 57.7	40 41.2	1 1.0	1 1.0	-
	30歳代	151 100.0	123 81.5	128 84.8	77 51.0	72 47.7	71 47.0	2 1.3	10 6.6	-
	40歳代	216 100.0	175 81.0	176 81.5	93 43.1	115 53.2	71 32.9	2 0.9	13 6.0	-
	50歳代	278 100.0	230 82.7	210 75.5	123 44.2	150 54.0	106 38.1	2 0.7	20 7.2	-
	60歳代	331 100.0	287 86.7	263 79.5	151 45.6	160 48.3	111 33.5	3 0.9	9 2.7	-
	70歳以上	426 100.0	357 83.8	312 73.2	164 38.5	174 40.8	114 26.8	3 0.7	14 3.3	2 0.5
職業別	農林業	63 100.0	56 88.9	52 82.5	20 31.7	27 42.9	29 46.0	1 1.6	1 1.6	-
	漁業	3 100.0	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	59 89.4	51 77.3	33 50.0	30 45.5	19 28.8	-	4 6.1	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	434 80.8	430 80.1	237 44.1	281 52.3	199 37.1	5 0.9	24 4.5	-
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	23 76.7	25 83.3	19 63.3	17 56.7	7 23.3	-	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	132 81.5	119 73.5	66 40.7	60 37.0	54 33.3	3 1.9	5 3.1	1 0.6
	パート、アルバイト	189 100.0	156 82.5	156 82.5	75 39.7	94 49.7	72 38.1	-	7 3.7	-
	学生	21 100.0	15 71.4	13 61.9	7 33.3	11 52.4	4 19.0	2 9.5	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	283 85.2	251 75.6	144 43.4	152 45.8	95 28.6	2 0.6	12 3.6	1 0.3
	その他	94 100.0	82 87.2	64 68.1	41 43.6	48 51.1	32 34.0	1 1.1	12 12.8	-
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	199 85.4	175 75.1	99 42.5	124 53.2	59 25.3	3 1.3	8 3.4	-
	1人	441 100.0	369 83.7	341 77.3	179 40.6	195 44.2	150 34.0	3 0.7	17 3.9	-
	2人	324 100.0	270 83.3	251 77.5	138 42.6	167 51.5	117 36.1	2 0.6	21 6.5	1 0.3
	3人	253 100.0	216 85.4	198 78.3	120 47.4	126 49.8	90 35.6	2 0.8	10 4.0	1 0.4
	4人	152 100.0	115 75.7	123 80.9	64 42.1	64 42.1	54 35.5	2 1.3	7 4.6	-
	5人	55 100.0	46 83.6	48 87.3	25 45.5	29 52.7	21 38.2	1 1.8	1 1.8	-
	6人以上	35 100.0	26 74.3	28 80.0	18 51.4	16 45.7	16 45.7	1 2.9	2 5.7	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	58 74.4	65 83.3	32 41.0	29 37.2	30 38.5	2 2.6	2 2.6	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	56 76.7	60 82.2	38 52.1	31 42.5	27 37.0	1 1.4	3 4.1	-
	小学生	146 100.0	117 80.1	127 87.0	73 50.0	71 48.6	63 43.2	2 1.4	9 6.2	-
	70歳以上の人	491 100.0	422 85.9	384 78.2	206 42.0	218 44.4	160 32.6	2 0.4	17 3.5	-
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	77 82.8	78 83.9	46 49.5	45 48.4	34 36.6	-	4 4.3	1 1.1
	妊娠婦	9 100.0	7 77.8	7 77.8	4 44.4	4 44.4	3 33.3	-	-	-
	該当者はいない	587 100.0	474 80.7	441 75.1	249 42.4	303 51.6	207 35.3	7 1.2	29 4.9	1 0.2
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	580 83.3	530 76.1	297 42.7	536 77.0	206 29.6	1 0.1	29 4.2	3 0.4
	浸水予測区域外	779 100.0	646 82.9	619 79.5	338 43.4	173 22.2	302 38.8	12 1.5	36 4.6	2 0.3

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) この机の下に もぐり身を守る など安全なと	(2) 急いで外に出る	(3) 家族に危険を 知らせる	(4) 何もしない	(5) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=								
			1位					
			2位					
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,303 73.2	484 27.2	954 53.6	46 2.6	52 2.9	6 0.3
全体		1,516 100.0	1,090 71.9	422 27.8	690 45.5	62 4.1	78 5.1	11 0.7
性別	男性	627 100.0	428 68.3	196 31.3	289 46.1	32 5.1	32 5.1	5 0.8
	女性	860 100.0	647 75.2	216 25.1	389 45.2	28 3.3	45 5.2	3 0.3
	回答しない	18 100.0	9 50.0	6 33.3	11 61.1	1 5.6	1 5.6	-
年代別	10歳代	7 100.0	5 71.4	2 28.6	3 42.9	-	-	-
	20歳代	97 100.0	78 80.4	21 21.6	41 42.3	1 1.0	-	-
	30歳代	151 100.0	123 81.5	39 25.8	91 60.3	2 1.3	4 2.6	1 0.7
	40歳代	216 100.0	140 64.8	62 28.7	115 53.2	9 4.2	18 8.3	-
	50歳代	278 100.0	197 70.9	78 28.1	137 49.3	8 2.9	16 5.8	2 0.7
	60歳代	331 100.0	234 70.7	94 28.4	141 42.6	22 6.6	20 6.0	1 0.3
	70歳以上	426 100.0	309 72.5	122 28.6	161 37.8	19 4.5	20 4.7	4 0.9
職業別	農林業	63 100.0	36 57.1	26 41.3	30 47.6	2 3.2	2 3.2	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	51 77.3	20 30.3	26 39.4	2 3.0	2 3.0	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	393 73.2	153 28.5	266 49.5	16 3.0	25 4.7	-
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	24 80.0	6 20.0	14 46.7	1 3.3	1 3.3	-
	主婦・主夫	162 100.0	126 77.8	33 20.4	76 46.9	5 3.1	6 3.7	-
	パート、アルバイト	189 100.0	133 70.4	54 28.6	93 49.2	6 3.2	13 6.9	1 0.5
	学生	21 100.0	15 71.4	5 23.8	8 38.1	1 4.8	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	234 70.5	90 27.1	129 38.9	22 6.6	19 5.7	5 1.5
	その他	94 100.0	65 69.1	28 29.8	40 42.6	5 5.3	10 10.6	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	170 73.0	64 27.5	25 10.7	20 8.6	12 5.2	1 0.4
	1人	441 100.0	310 70.3	132 29.9	204 46.3	21 4.8	22 5.0	3 0.7
	2人	324 100.0	242 74.7	95 29.3	162 50.0	3 0.9	22 6.8	2 0.6
	3人	253 100.0	178 70.4	61 24.1	153 60.5	9 3.6	10 4.0	1 0.4
	4人	152 100.0	111 73.0	40 26.3	87 57.2	4 2.6	8 5.3	-
	5人	55 100.0	39 70.9	15 27.3	31 56.4	3 5.5	3 5.5	-
	6人以上	35 100.0	25 71.4	10 28.6	22 62.9	-	1 2.9	1 2.9
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	62 79.5	25 32.1	48 61.5	1 1.3	1 1.3	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	58 79.5	23 31.5	46 63.0	-	5 6.8	1 1.4
	小学生	146 100.0	120 82.2	34 23.3	103 70.5	1 0.7	12 8.2	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	331 67.4	142 28.9	264 53.8	20 4.1	21 4.3	6 1.2
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	63 67.7	28 30.1	48 51.6	3 3.2	5 5.4	1 1.1
	妊産婦	9 100.0	5 55.6	3 33.3	4 44.4	-	-	-
	該当者はいない	587 100.0	427 72.7	159 27.1	251 42.8	26 4.4	33 5.6	1 0.2
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	508 73.0	195 28.0	325 46.7	20 2.9	38 5.5	5 0.7
	浸水予測区域外	779 100.0	559 71.8	215 27.6	345 44.3	37 4.7	39 5.0	6 0.8

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

		調査数	(1) 新聞	(2) テレビ	(3) ラジオ	(4) インターネット (SNS含)	(5) 街頭のチラシ、ポスター、掲	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位	2位					
前回調査(R3)		1,779 100.0	542 30.5	1,487 83.6	142 8.0	1,070 60.1	24 1.3	6 0.3	3 0.2
全体		1,516 100.0	429 28.3	1,299 85.7	127 8.4	754 49.7	16 1.1	11 0.7	7 0.5
性別	男性	627 100.0	194 30.9	527 84.1	54 8.6	300 47.8	7 1.1	3 0.5	1 0.2
	女性	860 100.0	231 26.9	750 87.2	71 8.3	439 51.0	9 1.0	8 0.9	3 0.3
	回答しない	18 100.0	2 11.1	14 77.8	-	13 72.2	-	-	-
年代別	10歳代	7 100.0	-	3 42.9	-	6 85.7	1 14.3	-	-
	20歳代	97 100.0	5 5.2	63 64.9	3 3.1	83 85.6	2 2.1	-	-
	30歳代	151 100.0	14 9.3	101 66.9	7 4.6	128 84.8	-	1 0.7	1 0.7
	40歳代	216 100.0	44 20.4	173 80.1	16 7.4	145 67.1	1 0.5	1 0.5	1 0.5
	50歳代	278 100.0	44 15.8	243 87.4	16 5.8	188 67.6	2 0.7	2 0.7	1 0.4
	60歳代	331 100.0	115 34.7	301 90.9	27 8.2	146 44.1	1 0.3	3 0.9	-
	70歳以上	426 100.0	206 48.4	409 96.0	57 13.4	55 12.9	9 2.1	4 0.9	1 0.2
職業別	農林業	63 100.0	29 46.0	57 90.5	16 25.4	11 17.5	1 1.6	-	-
	漁業	3 100.0	-	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	24 36.4	57 86.4	6 9.1	28 42.4	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	92 17.1	420 78.2	26 4.8	392 73.0	2 0.4	3 0.6	2 0.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	6 20.0	25 83.3	1 3.3	19 63.3	1 3.3	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	68 42.0	156 96.3	15 9.3	50 30.9	3 1.9	-	-
	パート、アルバイト	189 100.0	49 25.9	164 86.8	17 9.0	94 49.7	3 1.6	2 1.1	1 0.5
	学生	21 100.0	-	9 42.9	1 4.8	19 90.5	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	136 41.0	313 94.3	36 10.8	83 25.0	5 1.5	4 1.2	1 0.3
	その他	94 100.0	23 24.5	81 86.2	6 6.4	48 51.1	1 1.1	2 2.1	-
	同居人数別	233 100.0	51 21.9	198 85.0	25 10.7	103 44.2	3 1.3	4 1.7	-
同居家族の該当者別	0人(独居)	441 100.0	138 31.3	395 89.6	36 8.2	199 45.1	6 1.4	5 1.1	-
	1人	324 100.0	101 31.2	278 85.8	21 6.5	160 49.4	2 0.6	1 0.3	1 0.3
	2人	253 100.0	70 27.7	216 85.4	18 7.1	144 56.9	3 1.2	-	-
	3人	152 100.0	37 24.3	121 79.6	14 9.2	91 59.9	1 0.7	-	1 0.7
	4人	55 100.0	16 29.1	46 83.6	6 10.9	32 58.2	-	-	-
	5人	35 100.0	9 25.7	28 80.0	4 11.4	17 48.6	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	6人以上	78 100.0	10 12.8	63 80.8	7 9.0	57 73.1	-	-	1 1.3
	3歳以下の乳幼児	73 100.0	18 24.7	57 78.1	5 6.8	49 67.1	-	-	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	30 20.5	115 78.8	15 10.3	96 65.8	1 0.7	1 0.7	3 2.1
	小学生	491 100.0	207 42.2	446 90.8	47 9.6	157 32.0	6 1.2	4 0.8	-
同居家族の該当者別	70歳以上の人	93 100.0	34 36.6	86 92.5	10 10.8	35 37.6	2 2.2	-	-
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	-	6 66.7	-	7 77.8	-	-	-
	妊産婦	587 100.0	134 22.8	484 82.5	35 6.0	358 61.0	8 1.4	5 0.9	-
	該当者はいない	696 100.0	212 30.5	599 86.1	66 9.5	327 47.0	7 1.0	6 0.9	4 0.6
浸水予測別	浸水予測区域内	779 100.0	212 27.2	667 85.6	58 7.4	401 51.5	9 1.2	5 0.6	3 0.4
	浸水予測区域外								

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

	調査数	(1) 啓発テレビ番組、 テレビCM	(2) 啓発ラジオ番組、 ラジオCM	(3) SNS (YouTube、 など)	(4) 新聞 広告	(5) 告路面電車、 路線バスの 吊り広	(6) 県のホームページ	(7) 戸備啓 配え冊 子「南 海トラ フ度地 に震全 に」	(8) 知イ 県 ブ ン ト ス 等 に 出 展 し て い る 高	(9) 起 震 車 体 験	(10) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=												
		1位	2位									
前回調査(R3)	1,779 100.0	1,544 86.8	260 14.6	- -	565 31.8	43 2.4	169 9.5	933 52.4	53 3.0	223 12.5	52 2.9	12 0.7
全体	1,516 100.0	1,282 84.6	221 14.6	366 24.1	357 23.5	40 2.6	122 8.0	581 38.3	40 2.6	170 11.2	25 1.6	17 1.1
性別	男性	627 100.0	530 84.5	124 19.8	146 23.3	160 25.5	66 10.5	205 32.7	15 2.4	43 6.9	10 1.6	8 1.3
	女性	860 100.0	731 85.0	93 10.8	214 24.9	195 22.7	56 6.5	365 42.4	24 2.8	121 14.1	15 1.7	6 0.7
	回答しない	18 100.0	14 77.8	2 11.1	6 33.3	2 11.1	- -	6 33.3	1 5.6	4 22.2	- -	- -
年代別	10歳代	7 100.0	5 71.4	- -	3 42.9	- -	1 14.3	3 42.9	- -	4 57.1	- -	- -
	20歳代	97 100.0	66 68.0	6 6.2	44 45.4	10 10.3	7 7.2	11 27.8	5 5.2	17 17.5	3 3.1	2 2.1
	30歳代	151 100.0	114 75.5	13 8.6	59 39.1	19 12.6	5 3.3	14 29.1	11 7.3	25 16.6	2 1.3	3 2.0
	40歳代	216 100.0	180 83.3	25 11.6	68 31.5	39 18.1	8 3.7	13 6.0	84 38.9	6 13.9	6 2.8	2 0.9
	50歳代	278 100.0	239 86.0	42 15.1	79 28.4	51 18.3	7 2.5	26 37.8	105 2.5	33 11.9	7 2.5	- -
	60歳代	331 100.0	294 88.8	51 15.4	80 24.2	87 26.3	7 2.1	31 39.3	6 1.8	31 9.4	2 0.6	2 0.6
	70歳以上	426 100.0	379 89.0	83 19.5	33 7.7	151 35.4	5 1.2	26 43.4	5 1.2	29 6.8	5 1.2	5 1.2
職業別	農林業	63 100.0	57 90.5	24 38.1	4 6.3	16 25.4	- -	3 4.8	22 34.9	3 4.8	1 1.6	- -
	漁業	3 100.0	3 100.0	- -	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -
	商工サービス業自営	66 100.0	54 81.8	12 18.2	17 25.8	21 31.8	- -	4 6.1	23 34.8	1 1.5	4 6.1	1 1.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	435 81.0	69 12.8	169 31.5	94 17.5	17 3.2	58 10.8	188 35.0	25 4.7	78 14.5	10 1.9
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	27 90.0	2 6.7	12 40.0	8 26.7	- -	2 6.7	7 23.3	2 6.7	- -	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	144 88.9	18 11.1	24 14.8	46 28.4	4 2.5	5 3.1	73 45.1	3 1.9	19 11.7	2 1.2
	パート、アルバイト	189 100.0	160 84.7	31 16.4	56 29.6	38 20.1	4 2.1	15 7.9	73 38.6	4 2.1	18 9.5	2 1.1
	学生	21 100.0	13 61.9	1 4.8	11 52.4	2 9.5	2 9.5	2 23.8	5 28.6	- -	6 -	- -
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	295 88.9	49 14.8	47 14.2	110 33.1	9 2.7	26 7.8	139 41.9	4 1.2	30 9.0	4 1.2
	その他	94 100.0	81 86.2	12 12.8	23 24.5	20 21.3	3 3.2	7 7.4	40 42.6	1 1.1	13 13.8	3 3.2
	0人(独居)	233 100.0	196 84.1	34 14.6	53 22.7	38 16.3	9 3.9	18 7.7	85 36.5	6 2.6	22 9.4	4 1.7
	1人	441 100.0	378 85.7	62 14.1	99 22.4	120 27.2	9 2.0	29 6.6	183 41.5	9 2.0	44 10.0	4 0.9
	2人	324 100.0	283 87.3	56 17.3	87 26.9	84 25.9	10 3.1	35 10.8	121 37.3	5 1.5	28 8.6	9 2.8
	3人	253 100.0	211 83.4	34 13.4	57 22.5	60 23.7	5 2.0	13 5.1	99 39.1	9 3.6	34 13.4	5 2.0
同居家族の該当者別	4人	152 100.0	121 79.6	16 10.5	47 30.9	33 21.7	5 3.3	16 10.5	50 32.9	5 3.3	26 17.1	2 1.3
	5人	55 100.0	47 85.5	10 18.2	13 23.6	12 21.8	1 1.8	4 7.3	21 38.2	3 5.5	9 16.4	1 1.8
	6人以上	35 100.0	28 80.0	3 8.6	9 25.7	8 22.9	- -	2 5.7	15 42.9	2 5.7	6 17.1	- -
	3歳以下の乳幼児	78 100.0	62 79.5	8 10.3	26 33.3	11 14.1	2 2.6	7 9.0	25 32.1	1 1.3	15 19.2	1 1.3
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	62 84.9	9 12.3	24 32.9	16 21.9	4 5.5	2 2.7	23 31.5	2 2.7	15 20.5	- -
	小学生	146 100.0	117 80.1	15 10.3	38 26.0	31 21.2	4 2.7	10 6.8	73 50.0	10 6.8	30 20.5	3 2.1
	70歳以上の人	491 100.0	446 90.8	82 16.7	78 15.9	159 32.4	8 1.6	31 6.3	209 42.6	9 1.8	51 10.4	4 0.8
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	86 92.5	18 19.4	15 16.1	33 35.5	2 2.2	- -	33 35.5	2 2.2	13 14.0	- -
区域予測	妊産婦	9 100.0	7 77.8	1 11.1	2 22.2	1 11.1	- -	- -	1 11.1	1 11.1	- -	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	472 80.4	76 12.9	185 31.5	113 19.3	17 2.9	69 11.8	211 35.9	15 2.6	63 10.7	15 2.6
	浸水予測区域内	696 100.0	586 84.2	112 16.1	160 23.0	179 25.7	20 2.9	68 9.8	252 36.2	20 2.9	67 9.6	16 2.3
区域予測	浸水予測区域外	779 100.0	664 85.2	107 13.7	193 24.8	173 22.2	20 2.6	51 6.5	317 40.7	18 2.3	98 12.6	9 1.2

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

問7 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

		調査数	(1) し県 くの 紹政 策・ する 取 組 み を よ り 詳	(2) う県 ン全 スよ く政 策・ 紹政 策・ する 取 組 み を バ	(3) るど 最の 新情 し報 いを 政優 策先 ・的 取に 紹組 介み すな	(4) 節県 目の 取と り組 みに 紹組 介の 動さ や成 果を	(5) 先災 的書 に紹 生介 時に する 役立 つ情 報を 優	(6) 講県 座民 等が の参 加で きる 多く のイ 掲ベン する	(7) 特に ない	(8) わ か ら な い	(9) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位								
前回調査(R3)		1,779 100.0	622 35.0	443 24.9	568 31.9	427 24.0	1,247 70.1	369 20.7	38 2.1	101 5.7	45 2.5	6 0.3
全体		1,516 100.0	574 37.9	355 23.4	574 37.9	276 18.2	1,073 70.8	289 19.1	34 2.2	76 5.0	49 3.2	11 0.7
性別	男性	627 100.0	263 41.9	154 24.6	246 39.2	108 17.2	421 67.1	118 18.8	17 2.7	23 3.7	18 2.9	1 0.2
	女性	860 100.0	303 35.2	192 22.3	321 37.3	165 19.2	636 74.0	170 19.8	16 1.9	48 5.6	31 3.6	7 0.8
	回答しない	18 100.0	3 16.7	6 33.3	3 16.7	2 11.1	11 61.1	-	1 5.6	5 27.8	-	-
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	-	2 28.6	-	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	41 42.3	18 18.6	27 27.8	16 16.5	74 76.3	21 21.6	1 1.0	4 4.1	3 3.1	-
	30歳代	151 100.0	56 37.1	43 28.5	42 27.8	28 18.5	105 69.5	36 23.8	2 1.3	7 4.6	2 1.3	2 1.3
	40歳代	216 100.0	85 39.4	64 29.6	69 31.9	42 19.4	144 66.7	56 25.9	3 1.4	10 4.6	7 3.2	1 0.5
	50歳代	278 100.0	87 31.3	56 20.1	86 30.9	64 23.0	197 70.9	62 22.3	6 2.2	15 5.4	15 5.4	-
	60歳代	331 100.0	127 38.4	76 23.0	146 44.1	60 18.1	249 75.2	56 16.9	10 3.0	13 3.9	7 2.1	1 0.3
	70歳以上	426 100.0	173 40.6	94 22.1	199 46.7	65 15.3	298 70.0	58 13.6	11 2.6	25 5.9	14 3.3	4 0.9
職業別	農林業	63 100.0	26 41.3	11 17.5	28 44.4	7 11.1	43 68.3	9 14.3	4 6.3	4 6.3	2 3.2	1 1.6
	漁業	3 100.0	1 33.3	-	-	-	2 66.7	1 33.3	-	1 33.3	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	30 45.5	15 22.7	25 37.9	7 10.6	45 68.2	9 13.6	3 4.5	2 3.0	1 1.5	-
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	197 36.7	131 24.4	178 33.1	114 21.2	383 71.3	135 25.1	8 1.5	23 4.3	14 2.6	1 0.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	14 46.7	9 30.0	7 23.3	8 26.7	19 63.3	3 10.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	-
	主婦・主夫	162 100.0	62 38.3	34 21.0	72 44.4	34 21.0	120 74.1	31 19.1	3 1.9	8 4.9	7 4.3	1 0.6
	パート、アルバイト	189 100.0	85 45.0	49 25.9	61 32.3	37 19.6	133 70.4	32 16.9	4 2.1	11 5.8	8 4.2	3 1.6
	学生	21 100.0	6 28.6	2 9.5	4 19.0	-	13 61.9	2 9.5	2 9.5	4 19.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	119 35.8	71 21.4	159 47.9	48 14.5	237 71.4	46 13.9	8 2.4	18 5.4	12 3.6	1 0.3
	その他	94 100.0	30 31.9	27 28.7	33 35.1	18 19.1	66 70.2	20 21.3	1 1.1	4 4.3	3 3.2	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	92 39.5	45 19.3	84 36.1	37 15.9	158 67.8	46 19.7	6 2.6	16 6.9	4 1.7	2 0.9
	1人	441 100.0	165 37.4	103 23.4	186 42.2	88 20.0	329 74.6	80 18.1	12 2.7	16 3.6	12 2.7	1 0.2
	2人	324 100.0	125 38.6	76 23.5	118 36.4	60 18.5	240 74.1	66 20.4	4 1.2	17 5.2	15 4.6	1 0.3
	3人	253 100.0	93 36.8	59 23.3	92 36.4	45 17.8	175 69.2	51 20.2	4 1.6	15 5.9	11 4.3	-
	4人	152 100.0	52 34.2	42 27.6	54 35.5	24 15.8	97 63.8	27 17.8	7 4.6	8 5.3	3 2.0	-
	5人	55 100.0	21 38.2	13 23.6	18 32.7	11 20.0	38 69.1	10 18.2	1 1.8	4 7.3	4 7.3	-
	6人以上	35 100.0	13 37.1	10 28.6	15 42.9	8 22.9	25 71.4	5 14.3	-	-	-	2 5.7
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	33 42.3	23 29.5	29 37.2	16 20.5	51 65.4	14 17.9	3 3.8	3 3.8	3 3.8	1 1.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	31 42.5	23 31.5	29 39.7	13 17.8	46 63.0	15 20.5	2 2.7	3 4.1	3 4.1	1 1.4
	小学生	146 100.0	50 34.2	39 26.7	52 35.6	37 25.3	101 69.2	35 24.0	3 2.1	7 4.8	6 4.1	2 1.4
	70歳以上の人	491 100.0	190 38.7	122 24.8	212 43.2	82 16.7	356 72.5	78 15.9	13 2.6	24 4.9	14 2.9	3 0.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	37 39.8	24 25.8	39 41.9	19 20.4	63 67.7	19 20.4	3 3.2	3 3.2	5 5.4	1 1.1
	妊娠婦	9 100.0	3 33.3	1 11.1	3 33.3	2 22.2	5 55.6	2 22.2	-	-	3 33.3	-
	該当者はいない	587 100.0	217 37.0	139 23.7	209 35.6	108 18.4	420 71.6	123 21.0	11 1.9	26 4.4	17 2.9	2 0.3
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	278 39.9	162 23.3	274 39.4	134 19.3	496 71.3	118 17.0	16 2.3	27 3.9	20 2.9	4 0.6
	浸水予測区域外	779 100.0	283 36.3	181 23.2	289 37.1	137 17.6	550 70.6	165 21.2	16 2.1	47 6.0	27 3.5	6 0.8

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問8 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) で津波で 浸水が予 測される 地域	(2) で津波で 浸水が予 測される 地域	(3) わから ない	無回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位			
前回調査(R3)		1,779 100.0	799 44.9	831 46.7	140 7.9	9 0.5
全体		1,516 100.0	646 42.6	742 48.9	105 6.9	23 1.5
性別	男性	627 100.0	273 43.5	303 48.3	42 6.7	9 1.4
	女性	860 100.0	365 42.4	422 49.1	61 7.1	12 1.4
	回答しない	18 100.0	7 38.9	9 50.0	2 11.1	-
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	43 44.3	44 45.4	10 10.3	-
	30歳代	151 100.0	56 37.1	81 53.6	11 7.3	3 2.0
	40歳代	216 100.0	99 45.8	98 45.4	16 7.4	3 1.4
	50歳代	278 100.0	131 47.1	130 46.8	16 5.8	1 0.4
	60歳代	331 100.0	137 41.4	166 50.2	24 7.3	4 1.2
	70歳以上	426 100.0	176 41.3	213 50.0	27 6.3	10 2.3
職業別	農林業	63 100.0	24 38.1	34 54.0	4 6.3	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	29 43.9	33 50.0	4 6.1	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	232 43.2	270 50.3	28 5.2	7 1.3
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	13 43.3	16 53.3	1 3.3	-
	主婦・主夫	162 100.0	61 37.7	93 57.4	6 3.7	2 1.2
	パート、アルバイト	189 100.0	86 45.5	85 45.0	15 7.9	3 1.6
	学生	21 100.0	9 42.9	7 33.3	5 23.8	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	140 42.2	150 45.2	35 10.5	7 2.1
	その他	94 100.0	42 44.7	44 46.8	7 7.4	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	105 45.1	108 46.4	15 6.4	5 2.1
	1人	441 100.0	179 40.6	225 51.0	30 6.8	7 1.6
	2人	324 100.0	152 46.9	150 46.3	21 6.5	1 0.3
	3人	253 100.0	103 40.7	129 51.0	18 7.1	3 1.2
	4人	152 100.0	59 38.8	77 50.7	12 7.9	4 2.6
	5人	55 100.0	23 41.8	25 45.5	6 10.9	1 1.8
	6人以上	35 100.0	16 45.7	17 48.6	2 5.7	-
	同居家族の該 当者別	78 100.0	27 34.6	48 61.5	2 2.6	1 1.3
同居家族の該 当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	28 38.4	43 58.9	1 1.4	1 1.4
	4歳以上で小学校入 学前の子ども	146 100.0	62 42.5	74 50.7	9 6.2	1 0.7
	小学生	491 100.0	208 42.4	244 49.7	34 6.9	5 1.0
	70歳以上の人	93 100.0	46 49.5	38 40.9	9 9.7	-
	日常生活で介護や支 援を必要とする人	9 100.0	5 55.6	4 44.4	-	-
	妊産婦	9 100.0	5 55.6	4 44.4	-	-
	該当者はいない	587 100.0	248 42.2	285 48.6	44 7.5	10 1.7
	浸水予測区域 別	696 100.0	525 75.4	121 17.4	41 5.9	9 1.3
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	779 100.0	102 13.1	602 77.3	62 8.0	13 1.7
	浸水予測区域外					

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

問9 あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 地域の津波避難計画で知った	(2) 知市町村のハザードマップで	(3) 県のホームページで知った	(4) 新聞で知った	(5) 知らない	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位	2位					
前回調査(R3)		799 100.0	137 17.1	400 50.1	23 2.9	14 1.8	200 25.0	22 2.8	3 0.4
全体		646 100.0	140 21.7	321 49.7	24 3.7	16 2.5	119 18.4	20 3.1	6 0.9
性別	男性	273 100.0	71 26.0	127 46.5	9 3.3	7 2.6	52 19.0	7 2.6	-
	女性	365 100.0	66 18.1	190 52.1	15 4.1	8 2.2	67 18.4	13 3.6	6 1.6
	回答しない	7 100.0	2 28.6	4 57.1	-	1 14.3	-	-	-
年代別	10歳代	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
	20歳代	43 100.0	4 9.3	24 55.8	1 2.3	2 4.7	12 27.9	-	-
	30歳代	56 100.0	13 23.2	26 46.4	2 3.6	1 1.8	12 21.4	1 1.8	1
	40歳代	99 100.0	14 14.1	51 51.5	8 8.1	-	22 22.2	3 3.0	1 1.0
	50歳代	131 100.0	28 21.4	66 50.4	2 1.5	5 3.8	24 18.3	6 4.6	-
	60歳代	137 100.0	35 25.5	67 48.9	6 4.4	1 0.7	23 16.8	5 3.6	-
	70歳以上	176 100.0	45 25.6	85 48.3	5 2.8	7 4.0	25 14.2	5 2.8	4 2.3
職業別	農林業	24 100.0	5 20.8	9 37.5	-	2 8.3	7 29.2	1 4.2	-
	漁業	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-
	商工サービス業自営	29 100.0	10 34.5	7 24.1	1 3.4	-	9 31.0	2 6.9	-
	会社員(役員を含む)、公務員	232 100.0	41 17.7	129 55.6	9 3.9	6 2.6	38 16.4	7 3.0	2 0.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	13 100.0	2 15.4	8 61.5	-	-	3 23.1	-	-
	主婦・主夫	61 100.0	18 29.5	30 49.2	4 6.6	1 1.6	6 9.8	1 1.6	1
	パート、アルバイト	86 100.0	14 16.3	45 52.3	3 3.5	1 1.2	22 25.6	1 1.2	-
	学生	9 100.0	1 11.1	6 66.7	1 11.1	-	1 11.1	-	-
	無職(すでに退職を含む)	140 100.0	34 24.3	64 45.7	3 2.1	6 4.3	25 17.9	5 3.6	3 2.1
	その他	42 100.0	12 28.6	20 47.6	3 7.1	-	6 14.3	1 2.4	-
同居人数別	0人(独居)	105 100.0	14 13.3	56 53.3	3 2.9	2 1.9	24 22.9	3 2.9	3 2.9
	1人	179 100.0	39 21.8	83 46.4	10 5.6	3 1.7	38 21.2	5 2.8	1 0.6
	2人	152 100.0	37 24.3	77 50.7	3 2.0	6 3.9	24 15.8	5 3.3	-
	3人	103 100.0	22 21.4	50 48.5	4 3.9	2 1.9	19 18.4	6 5.8	-
	4人	59 100.0	12 20.3	30 50.8	2 3.4	3 5.1	12 20.3	-	-
	5人	23 100.0	6 26.1	16 69.6	-	-	1 4.3	-	-
	6人以上	16 100.0	6 37.5	5 31.3	2 12.5	-	1 6.3	-	2 12.5
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	27 100.0	3 11.1	17 63.0	1 3.7	-	4 14.8	1 3.7	1 3.7
	4歳以上で小学校入学前の子ども	28 100.0	6 21.4	13 46.4	2 7.1	-	6 21.4	-	1 3.6
	小学生	62 100.0	13 21.0	34 54.8	1 1.6	1 1.6	11 17.7	-	2 3.2
	70歳以上の人	208 100.0	56 26.9	95 45.7	5 2.4	5 2.4	35 16.8	10 4.8	2 1.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	46 100.0	13 28.3	20 43.5	1 2.2	-	9 19.6	3 6.5	-
	妊産婦	5 100.0	-	2 40.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-
	該当者はいない	248 100.0	52 21.0	115 46.4	13 5.2	8 3.2	51 20.6	7 2.8	2 0.8
浸水予測区域別	浸水予測区域内	525 100.0	120 22.9	256 48.8	20 3.8	14 2.7	95 18.1	16 3.0	4 0.8
	浸水予測区域外	102 100.0	15 14.7	55 53.9	3 2.9	2 2.0	21 20.6	4 3.9	2 2.0

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問9で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

問10 あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 1 0 分 未 満	(2) 3 0 分 未 満	(3) 6 0 分 未 満	(4) 6 0 分 以 上	(5) 具 体 的 な 時 間 は 知 ら な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位				
前回調査(R3)		574 100.0	104 18.1	219 38.2	55 9.6	33 5.7	160 27.9	3 0.5
全体		501 100.0	93 18.6	164 32.7	49 9.8	24 4.8	155 30.9	16 3.2
性別	男性	214 100.0	38 17.8	76 35.5	21 9.8	13 6.1	57 26.6	9 4.2
	女性	279 100.0	53 19.0	84 30.1	28 10.0	11 3.9	97 34.8	6 2.2
	回答しない	7 100.0	2 28.6	3 42.9	-	-	1 14.3	1 14.3
年代別	10歳代	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	20歳代	31 100.0	3 9.7	7 22.6	5 16.1	2 6.5	13 41.9	1 3.2
	30歳代	42 100.0	6 14.3	11 26.2	4 9.5	5 11.9	14 33.3	2 4.8
	40歳代	73 100.0	9 12.3	22 30.1	9 12.3	7 9.6	23 31.5	3 4.1
	50歳代	101 100.0	16 15.8	36 35.6	13 12.9	3 3.0	31 30.7	2 2.0
	60歳代	109 100.0	24 22.0	37 33.9	7 6.4	2 1.8	35 32.1	4 3.7
	70歳以上	142 100.0	34 23.9	50 35.2	10 7.0	5 3.5	39 27.5	4 2.8
職業別	農林業	16 100.0	2 12.5	2 12.5	4 25.0	-	5 31.3	3 18.8
	漁業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	18 100.0	1 5.6	7 38.9	3 16.7	-	6 33.3	1 5.6
	会社員(役員を含む)、 公務員	185 100.0	33 17.8	56 30.3	18 9.7	18 9.7	53 28.6	7 3.8
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	10 100.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	-	2 20.0	-
	主婦・主夫	53 100.0	14 26.4	15 28.3	8 15.1	-	15 28.3	1 1.9
	パート、アルバイト	63 100.0	11 17.5	19 30.2	5 7.9	1 1.6	26 41.3	1 1.6
	学生	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	2 25.0	-
	無職(すでに退職を含 む)	107 100.0	22 20.6	44 41.1	3 2.8	4 3.7	31 29.0	3 2.8
	その他	35 100.0	5 14.3	14 40.0	2 5.7	1 2.9	13 37.1	-
同居人数別	0人(独居)	75 100.0	14 18.7	24 32.0	7 9.3	2 2.7	26 34.7	2 2.7
	1人	135 100.0	28 20.7	42 31.1	13 9.6	5 3.7	42 31.1	5 3.7
	2人	123 100.0	23 18.7	44 35.8	11 8.9	6 4.9	35 28.5	4 3.3
	3人	78 100.0	11 14.1	21 26.9	10 12.8	4 5.1	29 37.2	3 3.8
	4人	47 100.0	7 14.9	15 31.9	3 6.4	5 10.6	15 31.9	2 4.3
	5人	22 100.0	5 22.7	10 45.5	3 13.6	1 4.5	3 13.6	-
	6人以上	13 100.0	3 23.1	5 38.5	1 7.7	-	4 30.8	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	21 100.0	-	6 28.6	3 14.3	4 19.0	7 33.3	1 4.8
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	21 100.0	1 4.8	6 28.6	2 9.5	2 9.5	9 42.9	1 4.8
	小学生	49 100.0	4 8.2	16 32.7	9 18.4	3 6.1	16 32.7	1 2.0
	70歳以上の人	161 100.0	35 21.7	58 36.0	14 8.7	5 3.1	45 28.0	4 2.5
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	34 100.0	8 23.5	12 35.3	3 8.8	-	10 29.4	1 2.9
	妊産婦	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-
	該当者はいない	188 100.0	36 19.1	57 30.3	15 8.0	10 5.3	64 34.0	6 3.2
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	410 100.0	86 21.0	143 34.9	37 9.0	17 4.1	113 27.6	14 3.4
	浸水予測区域外	75 100.0	6 8.0	14 18.7	12 16.0	6 8.0	36 48.0	1 1.3

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問11 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。
あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 揺れがおさまった後、すぐに	(2) 津波警報が出たら	(3) あつ町村から避難の呼びかけが	(4) 周りの人が避難したら	(5) 家族が避難したら	(6) 自宅の浸水のため、状況が判断し	(7) でまいるシヨンの高層階に住	(8) 避難しない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位											
前回調査(R3)		799 100.0	566 70.8	85 10.6	52 6.5	14 1.8	22 2.8	18 2.3	23 2.9	16 2.0	3 0.4
全体		646 100.0	439 68.0	93 14.4	43 6.7	6 0.9	10 1.5	15 2.3	16 2.5	21 3.3	3 0.5
性別	男性	273 100.0	193 70.7	35 12.8	17 6.2	4 1.5	2 0.7	6 2.2	5 1.8	11 4.0	-
	女性	365 100.0	241 66.0	56 15.3	26 7.1	2 0.5	8 2.2	9 2.5	11 3.0	9 2.5	3 0.8
	回答しない	7 100.0	4 57.1	2 28.6	-	-	-	-	-	1 14.3	-
年代別	10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	43 100.0	33 76.7	3 7.0	2 4.7	-	-	1 2.3	3 7.0	1 2.3	-
	30歳代	56 100.0	43 76.8	9 16.1	1 1.8	-	-	1 1.8	-	1 1.8	1
	40歳代	99 100.0	69 69.7	12 12.1	9 9.1	1 1.0	-	3 3.0	2 2.0	3 3.0	-
	50歳代	131 100.0	89 67.9	21 16.0	7 5.3	-	4 3.1	2 1.5	5 3.8	3 2.3	-
	60歳代	137 100.0	93 67.9	20 14.6	9 6.6	2 1.5	4 2.9	2 1.5	3 2.2	3 2.2	1 0.7
	70歳以上	176 100.0	109 61.9	27 15.3	15 8.5	3 1.7	2 1.1	6 3.4	3 1.7	10 5.7	1 0.6
職業別	農林業	24 100.0	16 66.7	3 12.5	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	-	-	-
	漁業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	29 100.0	21 72.4	5 17.2	1 3.4	-	-	-	-	2 6.9	-
	会社員(役員を含む)、公務員	232 100.0	161 69.4	30 12.9	19 8.2	2 0.9	2 0.9	3 1.3	7 3.0	7 3.0	1 0.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	13 100.0	8 61.5	4 30.8	-	-	-	1 7.7	-	-	-
	主婦・主夫	61 100.0	41 67.2	7 11.5	3 4.9	1 1.6	4 6.6	2 3.3	2 3.3	1 1.6	-
	パート、アルバイト	86 100.0	64 74.4	10 11.6	5 5.8	1 1.2	-	3 3.5	1 1.2	2 2.3	-
	学生	9 100.0	7 77.8	1 11.1	-	-	-	1 11.1	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	140 100.0	81 57.9	25 17.9	12 8.6	1 0.7	3 2.1	4 2.9	5 3.6	7 5.0	2 1.4
	その他	42 100.0	32 76.2	7 16.7	-	-	-	-	1 2.4	2 4.8	-
同居人数別	0人(独居)	105 100.0	58 55.2	20 19.0	11 10.5	2 1.9	-	4 3.8	4 3.8	5 4.8	1 1.0
	1人	179 100.0	123 68.7	21 11.7	11 6.1	2 1.1	2 1.1	6 3.4	4 2.2	9 5.0	1 0.6
	2人	152 100.0	103 67.8	28 18.4	11 7.2	-	1 0.7	2 1.3	3 2.0	4 2.6	-
	3人	103 100.0	75 72.8	10 9.7	4 3.9	2 1.9	6 5.8	1 1.0	3 2.9	2 1.9	-
	4人	59 100.0	44 74.6	8 13.6	3 5.1	-	-	2 3.4	1 1.7	1 1.7	-
	5人	23 100.0	20 87.0	1 4.3	-	-	1 4.3	-	1 4.3	-	-
	6人以上	16 100.0	11 68.8	3 18.8	1 6.3	-	-	-	-	-	1 6.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	27 100.0	21 77.8	2 7.4	1 3.7	-	-	-	2 7.4	-	1 3.7
	4歳以上で小学校入学前の子ども	28 100.0	19 67.9	4 14.3	1 3.6	-	-	1 3.6	2 7.1	-	1 3.6
	小学生	62 100.0	48 77.4	6 9.7	3 4.8	-	-	1 1.6	3 4.8	-	1 1.6
	70歳以上の人	208 100.0	140 67.3	33 15.9	14 6.7	3 1.4	3 1.4	4 1.9	4 1.9	7 3.4	-
	日常生活で介護や支援を必要とする人	46 100.0	31 67.4	5 10.9	4 8.7	-	-	-	2 4.3	4 8.7	-
	妊娠婦	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	248 100.0	167 67.3	32 12.9	20 8.1	2 0.8	7 2.8	7 2.8	5 2.0	7 2.8	1 0.4
浸水予測区域別	浸水予測区域内	525 100.0	361 68.8	81 15.4	31 5.9	5 1.0	9 1.7	10 1.9	10 1.9	17 3.2	1 0.2
	浸水予測区域外	102 100.0	68 66.7	9 8.8	11 10.8	1 1.0	-	5 4.9	4 3.9	2 2.0	2 2.0

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問11で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

問12 すぐに避難しない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 津波が到達するまで時間がある	(2) すか本る、当ため況逃をける断必要がてがある避の難	(3) めに避難経路方が危険なだと思、うた宅	(4) め理自由身によ家族の避体難力がや困健康な上たの	(5) と家や抵抗財をを残るため避難するこ	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位					
前回調査(R3)		207 100.0	21 10.1	135 65.2	21 10.1	21 10.1	14 6.8	9 4.3	33 15.9
全体		188 100.0	19 10.1	106 56.4	23 12.2	20 10.6	13 6.9	9 4.8	47 25.0
性別	男性	75 100.0	10 13.3	34 45.3	9 12.0	11 14.7	8 10.7	6 8.0	18 24.0
	女性	110 100.0	8 7.3	70 63.6	13 11.8	8 7.3	5 4.5	3 2.7	29 26.4
	回答しない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-
年代別	10歳代	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	20歳代	7 100.0	-	4 57.1	-	-	2 28.6	1 14.3	1 14.3
	30歳代	12 100.0	3 25.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	-	1 8.3
	40歳代	28 100.0	2 7.1	17 60.7	4 14.3	-	3 10.7	3 10.7	5 17.9
	50歳代	37 100.0	3 8.1	27 73.0	6 16.2	2 5.4	3 8.1	-	6 16.2
	60歳代	40 100.0	3 7.5	24 60.0	3 7.5	5 12.5	3 7.5	-	11 27.5
	70歳以上	63 100.0	8 12.7	27 42.9	8 12.7	12 19.0	-	5 7.9	23 36.5
職業別	農林業	8 100.0	-	2 25.0	-	-	-	-	6 75.0
	漁業	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	8 100.0	2 25.0	6 75.0	2 25.0	2 25.0	-	1 12.5	-
	会社員(役員を含む)、公務員	63 100.0	7 11.1	39 61.9	9 14.3	2 3.2	7 11.1	1 1.6	13 20.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5 100.0	-	4 80.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-
	主婦・主夫	18 100.0	-	10 55.6	1 5.6	3 16.7	1 5.6	-	7 38.9
	パート、アルバイト	21 100.0	2 9.5	10 47.6	3 14.3	2 9.5	1 4.8	1 4.8	6 28.6
	学生	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	52 100.0	6 11.5	27 51.9	7 13.5	10 19.2	2 3.8	3 5.8	15 28.8
	その他	9 100.0	2 22.2	5 55.6	-	-	-	2 22.2	-
同居人数別	0人(独居)	42 100.0	3 7.1	21 50.0	4 9.5	1 2.4	4 9.5	2 4.8	12 28.6
	1人	51 100.0	4 7.8	28 54.9	6 11.8	10 19.6	2 3.9	2 3.9	14 27.5
	2人	46 100.0	9 19.6	29 63.0	6 13.0	6 13.0	4 8.7	3 6.5	6 13.0
	3人	25 100.0	1 4.0	13 52.0	4 16.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0	10 40.0
	4人	14 100.0	1 7.1	8 57.1	2 14.3	-	1 7.1	-	3 21.4
	5人	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-
	6人以上	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	2 50.0
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	6 100.0	1 16.7	3 50.0	-	-	-	-	2 33.3
	小学生	10 100.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	-	1 10.0	-	4 40.0
	70歳以上の人	64 100.0	8 12.5	30 46.9	7 10.9	11 17.2	4 6.3	4 6.3	18 28.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	13 100.0	2 15.4	6 46.2	4 30.8	6 46.2	2 15.4	1 7.7	2 15.4
	妊娠婦	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-
	該当者はいない	75 100.0	6 8.0	50 66.7	11 14.7	6 8.0	5 6.7	4 5.3	17 22.7
浸水予測区域別	浸水予測区域内	153 100.0	15 9.8	86 56.2	23 15.0	20 13.1	11 7.2	8 5.2	36 23.5
	浸水予測区域外	28 100.0	4 14.3	14 50.0	-	-	2 7.1	1 3.6	10 35.7

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問13 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 確認している	(2) 確認していない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		773 100.0	693 89.7	74 9.6	6 0.8
全体		646 100.0	577 89.3	51 7.9	18 2.8
性別	男性	273 100.0	242 88.6	23 8.4	8 2.9
	女性	365 100.0	328 89.9	27 7.4	10 2.7
	回答しない	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-
年代別	10歳代	2 100.0	2 100.0	-	-
	20歳代	43 100.0	36 83.7	5 11.6	2 4.7
	30歳代	56 100.0	49 87.5	5 8.9	2 3.6
	40歳代	99 100.0	88 88.9	10 10.1	1 1.0
	50歳代	131 100.0	115 87.8	12 9.2	4 3.1
	60歳代	137 100.0	124 90.5	8 5.8	5 3.6
	70歳以上	176 100.0	161 91.5	11 6.3	4 2.3
職業別	農林業	24 100.0	24 100.0	-	-
	漁業	2 100.0	2 100.0	-	-
	商工サービス業自営	29 100.0	25 86.2	4 13.8	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	232 100.0	202 87.1	21 9.1	9 3.9
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	13 100.0	13 100.0	-	-
	主婦・主夫	61 100.0	59 96.7	1 1.6	1 1.6
	パート、アルバイト	86 100.0	77 89.5	8 9.3	1 1.2
	学生	9 100.0	8 88.9	1 11.1	-
	無職(すでに退職を含む)	140 100.0	124 88.6	10 7.1	6 4.3
	その他	42 100.0	35 83.3	6 14.3	1 2.4
同居人数別	0人(独居)	105 100.0	90 85.7	12 11.4	3 2.9
	1人	179 100.0	165 92.2	9 5.0	5 2.8
	2人	152 100.0	135 88.8	12 7.9	5 3.3
	3人	103 100.0	90 87.4	12 11.7	1 1.0
	4人	59 100.0	53 89.8	4 6.8	2 3.4
	5人	23 100.0	21 91.3	1 4.3	1 4.3
	6人以上	16 100.0	14 87.5	1 6.3	1 6.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	27 100.0	23 85.2	2 7.4	2 7.4
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	28 100.0	23 82.1	1 3.6	4 14.3
	小学生	62 100.0	53 85.5	6 9.7	3 4.8
	70歳以上の人	208 100.0	189 90.9	13 6.3	6 2.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	46 100.0	41 89.1	4 8.7	1 2.2
	妊産婦	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-
	該当者はいない	248 100.0	225 90.7	18 7.3	5 2.0
浸水 区域 別	浸水予測区域内	525 100.0	479 91.2	36 6.9	10 1.9
	浸水予測区域外	102 100.0	85 83.3	12 11.8	5 4.9

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問13で「1. 確認している」と回答した人におたずねします。

問14 あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 場行政 所政や 地域住 民が決 めた避 難	(2) 自宅 近く の高 台、 高所	(3) そ 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位	2位		
前回調査(R3)		693 100.0	472 68.1	347 50.1	24 3.5	7 1.0
全体		577 100.0	373 64.6	288 49.9	22 3.8	14 2.4
性別	男性	242 100.0	163 67.4	112 46.3	13 5.4	8 3.3
	女性	328 100.0	206 62.8	173 52.7	9 2.7	4 1.2
	回答しない	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-	2 33.3
年代別	10歳代	2 100.0	2 100.0	-	-	-
	20歳代	36 100.0	26 72.2	14 38.9	1 2.8	1 2.8
	30歳代	49 100.0	36 73.5	21 42.9	-	1 2.0
	40歳代	88 100.0	60 68.2	46 52.3	2 2.3	1 1.1
	50歳代	115 100.0	71 61.7	66 57.4	4 3.5	3 2.6
	60歳代	124 100.0	73 58.9	73 58.9	4 3.2	3 2.4
	70歳以上	161 100.0	103 64.0	67 41.6	11 6.8	5 3.1
職業別	農林業	24 100.0	17 70.8	9 37.5	-	1 4.2
	漁業	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-
	商工サービス業自営	25 100.0	17 68.0	12 48.0	1 4.0	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	202 100.0	130 64.4	102 50.5	5 2.5	6 3.0
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	13 100.0	10 76.9	5 38.5	1 7.7	-
	主婦・主夫	59 100.0	37 62.7	32 54.2	-	1 1.7
	パート、アルバイト	77 100.0	51 66.2	44 57.1	3 3.9	-
	学生	8 100.0	7 87.5	1 12.5	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	124 100.0	76 61.3	58 46.8	9 7.3	4 3.2
	その他	35 100.0	21 60.0	18 51.4	3 8.6	2 5.7
同居人数別	0人(独居)	90 100.0	59 65.6	41 45.6	7 7.8	4 4.4
	1人	165 100.0	105 63.6	86 52.1	6 3.6	5 3.0
	2人	135 100.0	91 67.4	67 49.6	4 3.0	2 1.5
	3人	90 100.0	46 51.1	54 60.0	2 2.2	2 2.2
	4人	53 100.0	41 77.4	22 41.5	2 3.8	1 1.9
	5人	21 100.0	17 81.0	9 42.9	-	-
	6人以上	14 100.0	7 50.0	6 42.9	1 7.1	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	23 100.0	19 82.6	5 21.7	-	1 4.3
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	23 100.0	16 69.6	8 34.8	1 4.3	-
	小学生	53 100.0	36 67.9	28 52.8	1 1.9	-
	70歳以上の人	189 100.0	123 65.1	89 47.1	5 2.6	5 2.6
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	41 100.0	25 61.0	25 61.0	4 9.8	-
	妊産婦	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-
	該当者はいない	225 100.0	141 62.7	122 54.2	8 3.6	5 2.2
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	479 100.0	307 64.1	247 51.6	19 4.0	11 2.3
	浸水予測区域外	85 100.0	58 68.2	35 41.2	3 3.5	3 3.5

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 避難場所への移動に時間がかかる	(2) 避難場所への移動手段がない	(3) 避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	(4) 避難経路の倒壊により、通行不能になる	(5) 避難場所が低地にある	(6) 避難場所の近くに崖がある	(7) 不安はない	(8) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位											
前回調査(R3)		773 100.0	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4
全体		1,516 100.0	487 32.1	94 6.2	351 23.2	547 36.1	137 9.0	83 5.5	319 21.0	137 9.0	69 4.6
性別	男性	627 100.0	196 31.3	28 4.5	144 23.0	212 33.8	40 6.4	34 5.4	170 27.1	42 6.7	25 4.0
	女性	860 100.0	281 32.7	64 7.4	198 23.0	324 37.7	91 10.6	45 5.2	146 17.0	95 11.0	41 4.8
	回答しない	18 100.0	8 44.4	1 5.6	5 27.8	8 44.4	5 27.8	1 5.6	1 5.6	-	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	-	-	1 14.3	3 42.9	-	-	2 28.6	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	35 36.1	5 5.2	26 26.8	43 44.3	11 11.3	5 5.2	20 20.6	5 5.2	2 2.1
	30歳代	151 100.0	46 30.5	8 5.3	49 32.5	64 42.4	17 11.3	9 6.0	27 17.9	14 9.3	3 2.0
	40歳代	216 100.0	55 25.5	9 4.2	52 24.1	91 42.1	21 9.7	6 2.8	40 18.5	18 8.3	12 5.6
	50歳代	278 100.0	90 32.4	8 2.9	78 28.1	110 39.6	22 7.9	17 6.1	50 18.0	36 12.9	10 3.6
	60歳代	331 100.0	101 30.5	21 6.3	66 19.9	122 36.9	29 8.8	17 5.1	84 25.4	18 5.4	12 3.6
	70歳以上	426 100.0	159 37.3	42 9.9	76 17.8	111 26.1	37 8.7	27 6.3	94 22.1	45 10.6	28 6.6
職業別	農林業	63 100.0	11 17.5	4 6.3	21 33.3	13 20.6	3 4.8	3 4.8	19 30.2	9 14.3	-
	漁業	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	17 25.8	2 3.0	14 21.2	29 43.9	9 13.6	2 3.0	15 22.7	3 4.5	5 7.6
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	153 28.5	21 3.9	139 25.9	220 41.0	40 7.4	27 5.0	113 21.0	42 7.8	22 4.1
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	7 23.3	3 10.0	4 13.3	8 26.7	3 10.0	1 3.3	6 20.0	6 20.0	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	57 35.2	12 7.4	39 24.1	58 35.8	12 7.4	11 6.8	30 18.5	14 8.6	9 5.6
	パート、アルバイト	189 100.0	72 38.1	17 9.0	42 22.2	75 39.7	21 11.1	11 5.8	33 17.5	22 11.6	6 3.2
	学生	21 100.0	5 23.8	-	3 14.3	8 38.1	6 28.6	-	6 28.6	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	126 38.0	27 8.1	54 16.3	96 28.9	32 9.6	20 6.0	73 22.0	29 8.7	20 6.0
	その他	94 100.0	31 33.0	7 7.4	29 30.9	34 36.2	10 10.6	6 6.4	19 20.2	11 11.7	3 3.2
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	74 31.8	18 7.7	43 18.5	78 33.5	16 6.9	13 5.6	47 20.2	25 10.7	14 6.0
	1人	441 100.0	154 34.9	29 6.6	86 19.5	151 34.2	46 10.4	22 5.0	92 20.9	35 7.9	16 3.6
	2人	324 100.0	100 30.9	20 6.2	86 26.5	121 37.3	23 7.1	20 6.2	69 21.3	37 11.4	14 4.3
	3人	253 100.0	76 30.0	16 6.3	61 24.1	105 41.5	24 9.5	14 5.5	56 22.1	22 8.7	9 3.6
	4人	152 100.0	40 26.3	5 3.3	46 30.3	55 36.2	18 11.8	7 4.6	35 23.0	12 7.9	8 5.3
	5人	55 100.0	23 41.8	3 5.5	10 18.2	17 30.9	3 5.5	2 3.6	6 10.9	5 9.1	5 9.1
	6人以上	35 100.0	15 42.9	2 5.7	11 31.4	13 37.1	5 14.3	1 2.9	8 22.9	1 2.9	-
	同居家族の該当者別	78 100.0	25 32.1	4 5.1	18 23.1	27 34.6	8 10.3	4 5.1	18 23.1	4 5.1	1 1.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	22 30.1	2 2.7	22 30.1	30 41.1	8 11.0	5 6.8	13 17.8	6 8.2	2 2.7
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	41 28.1	9 6.2	43 29.5	70 47.9	15 10.3	6 4.1	25 17.1	15 10.3	5 3.4
	70歳以上の人	491 100.0	182 37.1	40 8.1	105 21.4	155 31.6	48 9.8	28 5.7	103 21.0	48 9.8	22 4.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	39 41.9	13 14.0	23 24.7	29 31.2	3 3.2	10 10.8	15 16.1	11 11.8	4 4.3
	妊産婦	9 100.0	6 66.7	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	-	2 22.2	2 22.2	-
	該当者はいない	587 100.0	172 29.3	25 4.3	149 25.4	229 39.0	55 9.4	34 5.8	123 21.0	51 8.7	23 3.9
	浸水予測区域内	696 100.0	244 35.1	41 5.9	179 25.7	265 38.1	63 9.1	50 7.2	112 16.1	73 10.5	32 4.6
	浸水予測区域外	779 100.0	230 29.5	49 6.3	159 20.4	266 34.1	74 9.5	29 3.7	201 25.8	62 8.0	33 4.2

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

お子さんが学校に通っている方のみお答えください。

問16 東日本大震災では、お子さんを学校に迎えに行き、犠牲になるケースが多くなりましたが、お子さんが通っている学校の避難場所を知っていますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		-	-	-	-
全体		289	214	75	-
		100.0	74.0	26.0	-
性別	男性	117	88	29	-
		100.0	75.2	24.8	-
	女性	168	124	44	-
		100.0	73.8	26.2	-
回答しない		2	1	1	-
		100.0	50.0	50.0	-
年代別	10歳代	1	1	-	-
		100.0	100.0	-	-
	20歳代	15	12	3	-
		100.0	80.0	20.0	-
	30歳代	63	53	10	-
		100.0	84.1	15.9	-
	40歳代	106	85	21	-
		100.0	80.2	19.8	-
職業別	50歳代	63	42	21	-
		100.0	66.7	33.3	-
	60歳代	19	9	10	-
		100.0	47.4	52.6	-
	70歳以上	20	11	9	-
		100.0	55.0	45.0	-
	農林業	8	5	3	-
		100.0	62.5	37.5	-
職業別	漁業	2	2	-	-
		100.0	100.0	-	-
	商工サービス業自営	13	8	5	-
		100.0	61.5	38.5	-
	会社員(役員を含む)、公務員	166	126	40	-
		100.0	75.9	24.1	-
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5	3	2	-
		100.0	60.0	40.0	-
	主婦・主夫	12	9	3	-
		100.0	75.0	25.0	-
	パート、アルバイト	38	33	5	-
		100.0	86.8	13.2	-
同居人数別	学生	5	4	1	-
		100.0	80.0	20.0	-
	無職(すでに退職を含む)	20	11	9	-
		100.0	55.0	45.0	-
	その他	17	11	6	-
		100.0	64.7	35.3	-
	0人(独居)	9	3	6	-
		100.0	33.3	66.7	-
同居人数別	1人	16	9	7	-
		100.0	56.3	43.8	-
	2人	56	43	13	-
		100.0	76.8	23.2	-
	3人	89	69	20	-
		100.0	77.5	22.5	-
	4人	68	52	16	-
		100.0	76.5	23.5	-
同居家族の該当者別	5人	24	18	6	-
		100.0	75.0	25.0	-
	6人以上	23	17	6	-
		100.0	73.9	26.1	-
	3歳以下の乳幼児	35	27	8	-
		100.0	77.1	22.9	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	48	38	10	-
		100.0	79.2	20.8	-
	小学生	133	114	19	-
		100.0	85.7	14.3	-
同居家族の該当者別	70歳以上の人	55	33	22	-
		100.0	60.0	40.0	-
	日常生活で介護や支援を必要とする人	13	7	6	-
		100.0	53.8	46.2	-
	妊娠婦	1	1	-	-
		100.0	100.0	-	-
	該当者はいない	91	62	29	-
		100.0	68.1	31.9	-
浸水予測別	浸水予測区域内	116	87	29	-
		100.0	75.0	25.0	-
浸水予測別	浸水予測区域外	153	111	42	-
		100.0	72.5	27.5	-

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。
あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

		調査数	(1) 7日分以上を備蓄している	(2) 3日～6日分を備蓄している	(3) 2日分を備蓄している	(4) 1日分を備蓄している	(5) 備蓄していない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位						
		2位						
前回調査(R3)		-	-	-	-	-	-	-
全体		1,516 100.0	113 7.5	455 30.0	309 20.4	162 10.7	437 28.8	40 2.6
性別	男性	627 100.0	52 8.3	190 30.3	122 19.5	59 9.4	187 29.8	17 2.7
	女性	860 100.0	59 6.9	257 29.9	181 21.0	102 11.9	240 27.9	21 2.4
	回答しない	18 100.0	2 11.1	3 16.7	3 16.7	1 5.6	8 44.4	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	3 42.9	-
	20歳代	97 100.0	4 4.1	27 27.8	13 13.4	12 12.4	38 39.2	3 3.1
	30歳代	151 100.0	18 11.9	43 28.5	33 21.9	16 10.6	39 25.8	2 1.3
	40歳代	216 100.0	14 6.5	57 26.4	47 21.8	28 13.0	66 30.6	4 1.9
	50歳代	278 100.0	14 5.0	76 27.3	56 20.1	37 13.3	89 32.0	6 2.2
	60歳代	331 100.0	31 9.4	104 31.4	65 19.6	28 8.5	96 29.0	7 2.1
	70歳以上	426 100.0	31 7.3	143 33.6	91 21.4	39 9.2	105 24.6	17 4.0
職業別	農林業	63 100.0	7 11.1	19 30.2	7 11.1	4 6.3	25 39.7	1 1.6
	漁業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	5 7.6	23 34.8	8 12.1	9 13.6	16 24.2	5 7.6
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	25 4.7	150 27.9	117 21.8	75 14.0	160 29.8	10 1.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	3 10.0	8 26.7	9 30.0	1 3.3	9 30.0	-
	主婦・主夫	162 100.0	15 9.3	58 35.8	36 22.2	13 8.0	36 22.2	4 2.5
	パート、アルバイト	189 100.0	15 7.9	54 28.6	36 19.0	19 10.1	57 30.2	8 4.2
	学生	21 100.0	2 9.5	3 14.3	4 19.0	3 14.3	9 42.9	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	29 8.7	101 30.4	75 22.6	29 8.7	88 26.5	10 3.0
	その他	94 100.0	8 8.5	33 35.1	11 11.7	9 9.6	32 34.0	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	16 6.9	53 22.7	43 18.5	32 13.7	83 35.6	6 2.6
	1人	441 100.0	39 8.8	149 33.8	72 16.3	38 8.6	127 28.8	16 3.6
	2人	324 100.0	25 7.7	110 34.0	77 23.8	34 10.5	73 22.5	5 1.5
	3人	253 100.0	16 6.3	72 28.5	60 23.7	23 9.1	76 30.0	6 2.4
	4人	152 100.0	7 4.6	44 28.9	31 20.4	18 11.8	49 32.2	3 2.0
	5人	55 100.0	4 7.3	12 21.8	14 25.5	9 16.4	15 27.3	1 1.8
	6人以上	35 100.0	5 14.3	8 22.9	7 20.0	5 14.3	8 22.9	2 5.7
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	8 10.3	22 28.2	16 20.5	10 12.8	21 26.9	1 1.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	6 8.2	22 30.1	18 24.7	12 16.4	13 17.8	2 2.7
	小学生	146 100.0	7 4.8	42 28.8	43 29.5	20 13.7	30 20.5	4 2.7
	70歳以上の人	491 100.0	39 7.9	162 33.0	89 18.1	54 11.0	134 27.3	13 2.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	8 8.6	21 22.6	20 21.5	13 14.0	29 31.2	2 2.2
	妊産婦	9 100.0	1 11.1	3 33.3	1 11.1	-	4 44.4	-
	該当者はいない	587 100.0	43 7.3	174 29.6	118 20.1	57 9.7	180 30.7	15 2.6
浸水予測別	浸水予測区域内	696 100.0	53 7.6	187 26.9	147 21.1	90 12.9	203 29.2	16 2.3
	浸水予測区域外	779 100.0	59 7.6	259 33.2	155 19.9	67 8.6	217 27.9	22 2.8

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。
あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

【食料】

		調査数	(1) 7日分以上を備蓄している	(2) 3日～6日分を備蓄している	(3) 2日分を備蓄している	(4) 1日分を備蓄している	(5) 備蓄していない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位					
前回調査(R3)		-	-	-	-	-	-	-
全体		1,516 100.0	75 4.9	430 28.4	335 22.1	163 10.8	448 29.6	65 4.3
性別	男性	627 100.0	36 5.7	172 27.4	148 23.6	50 8.0	197 31.4	24 3.8
	女性	860 100.0	38 4.4	253 29.4	177 20.6	112 13.0	243 28.3	37 4.3
	回答しない	18 100.0	-	3 16.7	6 33.3	1 5.6	6 33.3	2 11.1
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	-	3 42.9	-	3 42.9	-
	20歳代	97 100.0	6 6.2	24 24.7	16 16.5	13 13.4	33 34.0	5 5.2
	30歳代	151 100.0	10 6.6	43 28.5	33 21.9	22 14.6	41 27.2	2 1.3
	40歳代	216 100.0	10 4.6	58 26.9	48 22.2	31 14.4	65 30.1	4 1.9
	50歳代	278 100.0	12 4.3	73 26.3	61 21.9	36 12.9	86 30.9	10 3.6
	60歳代	331 100.0	18 5.4	95 28.7	74 22.4	33 10.0	100 30.2	11 3.3
	70歳以上	426 100.0	18 4.2	135 31.7	95 22.3	28 6.6	119 27.9	31 7.3
職業別	農林業	63 100.0	6 9.5	21 33.3	9 14.3	4 6.3	22 34.9	1 1.6
	漁業	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	3 4.5	25 37.9	13 19.7	3 4.5	21 31.8	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	24 4.5	151 28.1	115 21.4	78 14.5	150 27.9	19 3.5
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	2 6.7	8 26.7	9 30.0	3 10.0	7 23.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	7 4.3	49 30.2	36 22.2	15 9.3	45 27.8	10 6.2
	パート、アルバイト	189 100.0	5 2.6	53 28.0	39 20.6	17 9.0	65 34.4	10 5.3
	学生	21 100.0	2 9.5	2 9.5	7 33.3	3 14.3	7 33.3	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	18 5.4	91 27.4	83 25.0	28 8.4	95 28.6	17 5.1
	その他	94 100.0	7 7.4	24 25.5	17 18.1	11 11.7	32 34.0	3 3.2
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	11 4.7	55 23.6	43 18.5	22 9.4	88 37.8	14 6.0
	1人	441 100.0	17 3.9	135 30.6	98 22.2	42 9.5	132 29.9	17 3.9
	2人	324 100.0	16 4.9	108 33.3	77 23.8	32 9.9	79 24.4	12 3.7
	3人	253 100.0	13 5.1	64 25.3	58 22.9	30 11.9	80 31.6	8 3.2
	4人	152 100.0	9 5.9	45 29.6	36 23.7	16 10.5	42 27.6	4 2.6
	5人	55 100.0	3 5.5	11 20.0	13 23.6	13 23.6	13 23.6	2 3.6
	6人以上	35 100.0	2 5.7	9 25.7	5 14.3	4 11.4	9 25.7	6 17.1
	同居家族の該当者別	78 100.0	5 6.4	22 28.2	16 20.5	12 15.4	21 26.9	2 2.6
区域予測	3歳以下の乳幼児	73 100.0	4 5.5	20 27.4	20 27.4	12 16.4	13 17.8	4 5.5
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	5 3.4	41 28.1	38 26.0	27 18.5	30 20.5	5 3.4
	小学生	491 100.0	21 4.3	154 31.4	103 21.0	44 9.0	145 29.5	24 4.9
	70歳以上の人	93 100.0	6 6.5	21 22.6	26 28.0	12 12.9	27 29.0	1 1.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	4 44.4	-
	妊産婦	587 100.0	32 5.5	168 28.6	126 21.5	61 10.4	183 31.2	17 2.9
	該当者はいない	696 100.0	35 5.0	190 27.3	155 22.3	80 11.5	206 29.6	30 4.3
	浸水予測区域外	779 100.0	39 5.0	235 30.2	169 21.7	75 9.6	228 29.3	33 4.2

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問18 問17でお聞きした長期保存の飲料水や食料とは別に、あなたのご自宅には日常的に消費する飲料水、食料のストックが、およそ何日分ありますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

		調査数	(1) 7日分以上に相当する量がある	(2) 3日～6日分に相当する量がある	(3) 2日分に相当する量がある	(4) 1日分に相当する量がある	(5) 1日分に満たない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位								
前回調査(R3)		-	-	-	-	-	-	-
全体		1,516 100.0	161 10.6	452 29.8	378 24.9	244 16.1	218 14.4	63 4.2
性別	男性	627 100.0	57 9.1	178 28.4	163 26.0	111 17.7	92 14.7	26 4.1
	女性	860 100.0	101 11.7	266 30.9	211 24.5	125 14.5	121 14.1	36 4.2
	回答しない	18 100.0	3 16.7	3 16.7	1 5.6	6 33.3	5 27.8	-
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	-	2 28.6	3 42.9	-
	20歳代	97 100.0	7 7.2	35 36.1	20 20.6	14 14.4	19 19.6	2 2.1
	30歳代	151 100.0	24 15.9	44 29.1	36 23.8	25 16.6	20 13.2	2 1.3
	40歳代	216 100.0	17 7.9	59 27.3	53 24.5	42 19.4	34 15.7	11 5.1
	50歳代	278 100.0	22 7.9	71 25.5	69 24.8	56 20.1	45 16.2	15 5.4
	60歳代	331 100.0	43 13.0	98 29.6	86 26.0	55 16.6	39 11.8	10 3.0
	70歳以上	426 100.0	46 10.8	139 32.6	112 26.3	49 11.5	58 13.6	22 5.2
職業別	農林業	63 100.0	11 17.5	15 23.8	15 23.8	9 14.3	10 15.9	3 4.8
	漁業	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	4 6.1	24 36.4	10 15.2	12 18.2	10 15.2	6 9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	43 8.0	154 28.7	130 24.2	113 21.0	79 14.7	18 3.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	5 16.7	9 30.0	8 26.7	6 20.0	1 3.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	23 14.2	52 32.1	44 27.2	18 11.1	21 13.0	4 2.5
	パート、アルバイト	189 100.0	19 10.1	55 29.1	54 28.6	29 15.3	23 12.2	9 4.8
	学生	21 100.0	3 14.3	4 19.0	2 9.5	4 19.0	8 38.1	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	41 12.3	95 28.6	95 28.6	39 11.7	47 14.2	15 4.5
	その他	94 100.0	8 8.5	34 36.2	16 17.0	12 12.8	18 19.1	6 6.4
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	22 9.4	70 30.0	52 22.3	31 13.3	42 18.0	16 6.9
	1人	441 100.0	47 10.7	133 30.2	101 22.9	72 16.3	68 15.4	20 4.5
	2人	324 100.0	45 13.9	103 31.8	80 24.7	50 15.4	39 12.0	7 2.2
	3人	253 100.0	22 8.7	75 29.6	76 30.0	36 14.2	34 13.4	10 4.0
	4人	152 100.0	14 9.2	41 27.0	42 27.6	30 19.7	20 13.2	5 3.3
	5人	55 100.0	4 7.3	15 27.3	15 27.3	14 25.5	7 12.7	-
	6人以上	35 100.0	6 17.1	8 22.9	8 22.9	4 11.4	6 17.1	3 8.6
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	9 11.5	21 26.9	20 25.6	15 19.2	10 12.8	3 3.8
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	8 11.0	20 27.4	24 32.9	11 15.1	6 8.2	4 5.5
	小学生	146 100.0	7 4.8	40 27.4	37 25.3	33 22.6	23 15.8	6 4.1
	70歳以上の人	491 100.0	51 10.4	157 32.0	123 25.1	78 15.9	64 13.0	18 3.7
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	8 8.6	23 24.7	28 30.1	18 19.4	14 15.1	2 2.2
	妊娠婦	9 100.0	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-
	該当者はいない	587 100.0	72 12.3	167 28.4	139 23.7	93 15.8	94 16.0	22 3.7
浸水予測区域別	浸水予測区域内	696 100.0	74 10.6	210 30.2	167 24.0	120 17.2	97 13.9	28 4.0
	浸水予測区域外	779 100.0	84 10.8	231 29.7	200 25.7	119 15.3	113 14.5	32 4.1

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問18 問17でお聞きした長期保存の飲料水や食料とは別に、あなたのご自宅には日常的に消費する飲料水、食料のストックが、
おおよそ何日分ありますか。(それぞれ1つだけ○)

【食料】

		調査 数	(1) 7 日 分 以 上 に 相 当 す る 量 が あ る	(2) あ る 日 く 6 日 分 に 相 当 す る 量 が あ る	(3) 2 日 分 に 相 当 す る 量 が あ る	(4) 1 日 分 に 相 当 す る 量 が あ る	(5) 1 日 分 に 満 た な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=								
			1位	2位				
前回調査(R3)		-	-	-	-	-	-	-
全体		1,516 100.0	122 8.0	515 34.0	434 28.6	204 13.5	169 11.1	72 4.7
性 別	男性	627 100.0	46 7.3	185 29.5	198 31.6	91 14.5	75 12.0	32 5.1
	女性	860 100.0	75 8.7	321 37.3	228 26.5	108 12.6	89 10.3	39 4.5
	回答しない	18 100.0	1 5.6	5 27.8	4 22.2	3 16.7	5 27.8	-
年 代 別	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	-	3 42.9	-
	20歳代	97 100.0	9 9.3	31 32.0	27 27.8	12 12.4	16 16.5	2 2.1
	30歳代	151 100.0	16 10.6	48 31.8	46 30.5	19 12.6	19 12.6	3 2.0
	40歳代	216 100.0	12 5.6	71 32.9	70 32.4	34 15.7	18 8.3	11 5.1
	50歳代	278 100.0	19 6.8	90 32.4	71 25.5	43 15.5	36 12.9	19 6.8
	60歳代	331 100.0	28 8.5	105 31.7	105 31.7	47 14.2	31 9.4	15 4.5
	70歳以上	426 100.0	36 8.5	166 39.0	109 25.6	48 11.3	46 10.8	21 4.9
職 業 別	農林業	63 100.0	12 19.0	16 25.4	14 22.2	10 15.9	7 11.1	4 6.3
	漁業	3 100.0	-	3 100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	6 9.1	23 34.8	17 25.8	7 10.6	10 15.2	3 4.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	34 6.3	175 32.6	162 30.2	81 15.1	59 11.0	26 4.8
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	4 13.3	14 46.7	7 23.3	5 16.7	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	13 8.0	69 42.6	40 24.7	20 12.3	15 9.3	5 3.1
	パート、アルバイト	189 100.0	10 5.3	63 33.3	62 32.8	24 12.7	20 10.6	10 5.3
	学生	21 100.0	3 14.3	2 9.5	8 38.1	3 14.3	5 23.8	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	29 8.7	119 35.8	88 26.5	43 13.0	39 11.7	14 4.2
	その他	94 100.0	10 10.6	25 26.6	28 29.8	10 10.6	13 13.8	8 8.5
同 居 人 数 別	0人(独居)	233 100.0	19 8.2	74 31.8	56 24.0	31 13.3	39 16.7	14 6.0
	1人	441 100.0	34 7.7	163 37.0	122 27.7	51 11.6	51 11.6	20 4.5
	2人	324 100.0	30 9.3	114 35.2	97 29.9	45 13.9	27 8.3	11 3.4
	3人	253 100.0	17 6.7	79 31.2	82 32.4	36 14.2	26 10.3	13 5.1
	4人	152 100.0	15 9.9	52 34.2	45 29.6	19 12.5	14 9.2	7 4.6
	5人	55 100.0	3 5.5	13 23.6	22 40.0	11 20.0	5 9.1	1 1.8
	6人以上	35 100.0	3 8.6	13 37.1	5 14.3	4 11.4	6 17.1	4 11.4
同 居 家 族 の 該 当 者 別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	4 5.1	25 32.1	23 29.5	12 15.4	10 12.8	4 5.1
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	6 8.2	26 35.6	24 32.9	7 9.6	5 6.8	5 6.8
	小学生	146 100.0	8 5.5	48 32.9	44 30.1	23 15.8	16 11.0	7 4.8
	70歳以上の人	491 100.0	43 8.8	189 38.5	137 27.9	62 12.6	41 8.4	19 3.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	9 9.7	25 26.9	31 33.3	16 17.2	10 10.8	2 2.2
	妊産婦	9 100.0	1 11.1	-	4 44.4	1 11.1	3 33.3	-
	該当者はいない	587 100.0	52 8.9	189 32.2	158 26.9	82 14.0	77 13.1	29 4.9
区 域 別	浸水予測区域内	696 100.0	58 8.3	239 34.3	182 26.1	104 14.9	83 11.9	30 4.3
	浸水予測区域外	779 100.0	63 8.1	267 34.3	235 30.2	95 12.2	80 10.3	39 5.0

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問17と問18で回答した量が、合計しても3日分に満たない方のみお答えください。

問19 飲料水、食料を3日以上確保していない(できていない)のはどのような理由からですか。(それぞれ、最も大きな理由にひとつだけ○)

【飲料水】

	調査数	(1) 必要性を感じていない	(2) 手間がかかる	(3) 費用がかかる	(4) 置き場所がない	(5) がま ない ま った 量 を 購 入 す る 習 慣	(6) その他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位					
前回調査(R3)	1,106 100.0	110 9.9	125 11.3	123 11.1	238 21.5	296 26.8	194 17.5	20 1.8
全体	408 100.0	36 8.8	26 6.4	49 12.0	72 17.6	173 42.4	34 8.3	18 4.4
性別								
男性	181 100.0	20 11.0	10 5.5	22 12.2	37 20.4	70 38.7	13 7.2	9 5.0
女性	220 100.0	15 6.8	16 7.3	26 11.8	32 14.5	101 45.9	21 9.5	9 4.1
回答しない	6 100.0	1 16.7	-	1 16.7	3 50.0	1 16.7	-	-
年代別								
10歳代	5 100.0	-	-	-	3 60.0	2 40.0	-	-
20歳代	34 100.0	1 2.9	3 8.8	8 23.5	7 20.6	11 32.4	1 2.9	3 8.8
30歳代	32 100.0	1 3.1	4 12.5	4 12.5	6 18.8	12 37.5	3 9.4	2 6.3
40歳代	65 100.0	3 4.6	6 9.2	8 12.3	13 20.0	26 40.0	5 7.7	4 6.2
50歳代	83 100.0	5 6.0	8 9.6	10 12.0	15 18.1	40 48.2	3 3.6	2 2.4
60歳代	86 100.0	16 18.6	2 2.3	7 8.1	12 14.0	35 40.7	11 12.8	3 3.5
70歳以上	103 100.0	10 9.7	3 2.9	12 11.7	16 15.5	47 45.6	11 10.7	4 3.9
職業別								
農林業	22 100.0	5 22.7	-	3 13.6	3 13.6	9 40.9	-	2 9.1
漁業	-	-	-	-	-	-	-	-
商工サービス業自営	19 100.0	1 5.3	-	2 10.5	4 21.1	7 36.8	1 5.3	4 21.1
会社員(役員を含む)、公務員	153 100.0	12 7.8	16 10.5	13 8.5	31 20.3	63 41.2	9 5.9	9 5.9
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0
主婦・主夫	33 100.0	2 6.1	1 3.0	3 9.1	6 18.2	19 57.6	2 6.1	-
パート、アルバイト	49 100.0	2 4.1	2 4.1	13 26.5	5 10.2	21 42.9	6 12.2	-
学生	11 100.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	5 45.5	1 9.1	-
無職(すでに退職を含む)	83 100.0	10 12.0	5 6.0	10 12.0	13 15.7	33 39.8	11 13.3	1 1.2
その他	27 100.0	2 7.4	-	2 7.4	7 25.9	13 48.1	3 11.1	-
同居人数別								
0人(独居)	68 100.0	4 5.9	3 4.4	8 11.8	11 16.2	30 44.1	7 10.3	5 7.4
1人	126 100.0	11 8.7	3 2.4	13 10.3	21 16.7	58 46.0	14 11.1	6 4.8
2人	69 100.0	7 10.1	3 4.3	9 13.0	12 17.4	30 43.5	7 10.1	1 1.4
3人	63 100.0	4 6.3	2 3.2	10 15.9	15 23.8	26 41.3	1 1.6	5 7.9
4人	47 100.0	6 12.8	10 21.3	5 10.6	8 17.0	15 31.9	3 6.4	-
5人	19 100.0	1 5.3	4 21.1	1 5.3	2 10.5	10 52.6	1 5.3	-
6人以上	9 100.0	1 11.1	-	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1
同居家族の該当者別								
3歳以下の乳幼児	20 100.0	2 10.0	2 10.0	4 20.0	4 20.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0
4歳以上で小学校入学前の子ども	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	-	2 18.2	1 9.1
小学生	35 100.0	3 8.6	5 14.3	5 14.3	9 25.7	8 22.9	3 8.6	2 5.7
70歳以上の人	136 100.0	12 8.8	6 4.4	13 9.6	16 11.8	71 52.2	10 7.4	8 5.9
日常生活で介護や支援を必要とする人	28 100.0	3 10.7	1 3.6	4 14.3	4 14.3	12 42.9	3 10.7	1 3.6
妊産婦	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
該当者はいない	168 100.0	17 10.1	13 7.7	20 11.9	34 20.2	67 39.9	15 8.9	2 1.2
浸水予測別								
浸水予測区域内	207 100.0	17 8.2	16 7.7	30 14.5	38 18.4	77 37.2	19 9.2	10 4.8
浸水予測区域外	187 100.0	17 9.1	10 5.3	17 9.1	33 17.6	89 47.6	13 7.0	8 4.3

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問17と問18で回答した量が、合計しても3日分に満たない方のみお答えください。

問19 飲料水、食料を3日以上確保していない(できていない)のはどのような理由からですか。(それぞれ、最も大きな理由にひとつだけ○)

【食料】

		調査数	(1) 必要性を感じていない	(2) 手間がかかる	(3) 費用がかかる	(4) 置き場所がない	(5) がまなどといった量を購入する習慣	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位						
			2位						
前回調査(R3)		1,115 100.0	133 11.9	85 7.6	178 16.0	149 13.4	368 33.0	170 15.2	32 2.9
全体		397 100.0	35 8.8	19 4.8	67 16.9	55 13.9	161 40.6	35 8.8	25 6.3
性別	男性	177 100.0	15 8.5	9 5.1	29 16.4	30 16.9	71 40.1	12 6.8	11 6.2
	女性	212 100.0	19 9.0	10 4.7	36 17.0	24 11.3	87 41.0	23 10.8	13 6.1
	回答しない	6 100.0	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	2 33.3	-	-
年代別	10歳代	3 100.0	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	-
	20歳代	28 100.0	1 3.6	2 7.1	8 28.6	6 21.4	6 21.4	3 10.7	2 7.1
	30歳代	39 100.0	1 2.6	2 5.1	9 23.1	6 15.4	13 33.3	3 7.7	5 12.8
	40歳代	58 100.0	4 6.9	2 3.4	13 22.4	9 15.5	22 37.9	4 6.9	4 6.9
	50歳代	79 100.0	8 10.1	6 7.6	15 19.0	10 12.7	34 43.0	4 5.1	2 2.5
	60歳代	90 100.0	12 13.3	4 4.4	8 8.9	13 14.4	36 40.0	11 12.2	6 6.7
	70歳以上	99 100.0	9 9.1	3 3.0	14 14.1	10 10.1	48 48.5	10 10.1	5 5.1
職業別	農林業	19 100.0	4 21.1	-	3 15.8	2 10.5	8 42.1	1 5.3	1 5.3
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	16 100.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	2 12.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3
	会社員(役員を含む)、公務員	146 100.0	11 7.5	9 6.2	23 15.8	25 17.1	56 38.4	9 6.2	13 8.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	6 100.0	2 33.3	-	-	-	3 50.0	-	1 16.7
	主婦・主夫	34 100.0	1 2.9	1 2.9	6 17.6	4 11.8	17 50.0	3 8.8	2 5.9
	パート、アルバイト	56 100.0	5 8.9	2 3.6	13 23.2	7 12.5	19 33.9	7 12.5	3 5.4
	学生	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-
	無職(すでに退職を含む)	83 100.0	8 9.6	5 6.0	13 15.7	8 9.6	39 47.0	8 9.6	2 2.4
	その他	25 100.0	1 4.0	-	3 12.0	5 20.0	11 44.0	4 16.0	1 4.0
同居人数別	0人(独居)	73 100.0	3 4.1	3 4.1	13 17.8	10 13.7	29 39.7	8 11.0	7 9.6
	1人	118 100.0	12 10.2	4 3.4	13 11.0	15 12.7	57 48.3	12 10.2	5 4.2
	2人	70 100.0	9 12.9	1 1.4	13 18.6	10 14.3	29 41.4	6 8.6	2 2.9
	3人	67 100.0	5 7.5	2 3.0	15 22.4	10 14.9	25 37.3	2 3.0	8 11.9
	4人	37 100.0	4 10.8	6 16.2	8 21.6	5 13.5	10 27.0	3 8.1	1 2.7
	5人	17 100.0	-	1 5.9	2 11.8	3 17.6	8 47.1	2 11.8	1 5.9
	6人以上	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	20 100.0	1 5.0	1 5.0	6 30.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0
	4歳以上で小学校入学前の子ども	14 100.0	-	1 7.1	3 21.4	3 21.4	4 28.6	2 14.3	1 7.1
	小学生	37 100.0	2 5.4	2 5.4	17 45.9	5 13.5	8 21.6	3 8.1	-
	70歳以上の人	121 100.0	11 9.1	5 4.1	9 7.4	14 11.6	60 49.6	14 11.6	8 6.6
	日常生活で介護や支援を必要とする人	24 100.0	2 8.3	-	4 16.7	2 8.3	12 50.0	3 12.5	1 4.2
	妊産婦	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-
	該当者はいない	163 100.0	17 10.4	13 8.0	25 15.3	25 15.3	63 38.7	12 7.4	8 4.9
浸水予測別	浸水予測区域内	193 100.0	13 6.7	11 5.7	38 19.7	32 16.6	68 35.2	18 9.3	13 6.7
	浸水予測区域外	188 100.0	18 9.6	6 3.2	24 12.8	23 12.2	88 46.8	17 9.0	12 6.4

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問20 南海トラフ地震の発生時には、下水道や排水管などが被災し、トイレが使えなくなる場合があります。

あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら(なるとしたら)、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 持ち寄り トイレを 簡易 トイレを 備	(2) 携 れか から トイレ を 簡易 トイレを こ	(3) 避難 所の トイレ を 使用 する	(4) 以 他 に 使 用 可 能 な 場 所 (避 難 所)	(5) 自 宅 の ト イ レ を 使 用 す る	(6) 特 に 考 え て い な い	(7) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		1,779 100.0	338 19.0	240 13.5	360 20.2	248 13.9	232 13.0	298 16.8	50 2.8	13 0.7
全体		1,516 100.0	498 32.8	290 19.1	181 11.9	154 10.2	142 9.4	178 11.7	29 1.9	44 2.9
性別	男性	627 100.0	165 26.3	101 16.1	84 13.4	95 15.2	64 10.2	92 14.7	14 2.2	12 1.9
	女性	860 100.0	323 37.6	185 21.5	95 11.0	56 6.5	74 8.6	82 9.5	15 1.7	30 3.5
	回答しない	18 100.0	7 38.9	2 11.1	2 11.1	1 5.6	2 11.1	4 22.2	-	-
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	-	4 57.1	-	-
	20歳代	97 100.0	34 35.1	23 23.7	8 8.2	12 12.4	3 3.1	15 15.5	-	2 2.1
	30歳代	151 100.0	59 39.1	32 21.2	10 6.6	18 11.9	10 6.6	21 13.9	1 0.7	-
	40歳代	216 100.0	87 40.3	37 17.1	33 15.3	20 9.3	15 6.9	16 7.4	5 2.3	3 1.4
	50歳代	278 100.0	103 37.1	48 17.3	45 16.2	24 8.6	19 6.8	29 10.4	6 2.2	4 1.4
	60歳代	331 100.0	92 27.8	70 21.1	31 9.4	40 12.1	40 12.1	34 10.3	13 3.9	11 3.3
	70歳以上	426 100.0	119 27.9	77 18.1	53 12.4	38 8.9	54 12.7	59 13.8	4 0.9	22 5.2
職業別	農林業	63 100.0	8 12.7	10 15.9	3 4.8	18 28.6	14 22.2	6 9.5	2 3.2	2 3.2
	漁業	3 100.0	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-
	商工サービス業自営	66 100.0	16 24.2	11 16.7	7 10.6	8 12.1	10 15.2	10 15.2	3 4.5	1 1.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	199 37.1	106 19.7	71 13.2	59 11.0	30 5.6	54 10.1	10 1.9	8 1.5
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	5 16.7	2 6.7	2 6.7	3 10.0	7 23.3	-	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	66 40.7	34 21.0	19 11.7	8 4.9	14 8.6	10 6.2	2 1.2	9 5.6
	パート、アルバイト	189 100.0	56 29.6	37 19.6	23 12.2	16 8.5	25 13.2	24 12.7	4 2.1	4 2.1
	学生	21 100.0	7 33.3	5 23.8	-	2 9.5	1 4.8	6 28.6	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	100 30.1	59 17.8	41 12.3	29 8.7	34 10.2	49 14.8	6 1.8	14 4.2
	その他	94 100.0	30 31.9	17 18.1	14 14.9	10 10.6	8 8.5	11 11.7	1 1.1	3 3.2
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	67 28.8	43 18.5	29 12.4	27 11.6	21 9.0	31 13.3	7 3.0	8 3.4
	1人	441 100.0	138 31.3	87 19.7	53 12.0	30 6.8	48 10.9	61 13.8	8 1.8	16 3.6
	2人	324 100.0	122 37.7	54 16.7	41 12.7	36 11.1	32 9.9	29 9.0	3 0.9	7 2.2
	3人	253 100.0	81 32.0	53 20.9	29 11.5	27 10.7	22 8.7	31 12.3	5 2.0	5 2.0
	4人	152 100.0	55 36.2	30 19.7	20 13.2	16 10.5	12 7.9	14 9.2	3 2.0	2 1.3
	5人	55 100.0	19 34.5	14 25.5	4 7.3	5 9.1	4 7.3	6 10.9	3 5.5	-
	6人以上	35 100.0	8 22.9	3 8.6	4 11.4	11 31.4	2 5.7	5 14.3	-	2 5.7
	同居家族の該 当者別	78 100.0	29 37.2	16 20.5	8 10.3	11 14.1	4 5.1	10 12.8	-	-
同居家族の該 当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	26 35.6	19 26.0	7 9.6	7 9.6	4 5.5	7 9.6	2 2.7	1 1.4
	4歳以上で小学校入 学前の子ども	146 100.0	57 39.0	29 19.9	15 10.3	22 15.1	6 4.1	11 7.5	4 2.7	2 1.4
	小学生	491 100.0	143 29.1	96 19.6	62 12.6	50 10.2	51 10.4	64 13.0	8 1.6	17 3.5
	70歳以上の人	93 100.0	23 24.7	14 15.1	15 16.1	13 14.0	11 11.8	11 11.8	1 1.1	5 5.4
	日常生活で介護や支 援を必要とする人	9 100.0	4 44.4	1 11.1	-	-	1 11.1	3 33.3	-	-
	妊娠婦	587 100.0	212 36.1	110 18.7	68 11.6	51 8.7	52 8.9	67 11.4	15 2.6	12 2.0
	該当者はいない	696 100.0	228 32.8	136 19.5	92 13.2	75 10.8	60 8.6	81 11.6	12 1.7	12 1.7
	浸水予測区域外	779 100.0	257 33.0	146 18.7	81 10.4	79 10.1	80 10.3	89 11.4	17 2.2	30 3.9

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問20で「1. 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

問21 あなたのご自宅では、トイレが使えなくなったときに備えて、家族分の簡易トイレや携帯トイレをどのくらい備蓄していますか。(1つだけ○)

		調査数	(1) 7日分以上 を用意している	(2) 3日～6日分 を用意している	(3) 1日～2日分 を用意している	(4) 1日分未満 の少量を用意	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=							
			1位	2位			
前回調査(R3)		338 100.0	47 13.9	104 30.8	182 53.8	- -	5 1.5
全体		498 100.0	101 20.3	187 37.6	151 30.3	49 9.8	10 2.0
性別	男性	165 100.0	33 20.0	70 42.4	44 26.7	14 8.5	4 2.4
	女性	323 100.0	65 20.1	114 35.3	105 32.5	35 10.8	4 1.2
	回答しない	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	- -	1 14.3
年代別	10歳代	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	20歳代	34 100.0	4 11.8	11 32.4	13 38.2	6 17.6	- -
	30歳代	59 100.0	12 20.3	25 42.4	17 28.8	4 6.8	1 1.7
	40歳代	87 100.0	14 16.1	29 33.3	32 36.8	10 11.5	2 2.3
	50歳代	103 100.0	21 20.4	38 36.9	28 27.2	16 15.5	- -
	60歳代	92 100.0	23 25.0	33 35.9	26 28.3	8 8.7	2 2.2
	70歳以上	119 100.0	27 22.7	50 42.0	33 27.7	5 4.2	4 3.4
職業別	農林業	8 100.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5	- -
	漁業	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	商工サービス業自営	16 100.0	5 31.3	6 37.5	4 25.0	1 6.3	- -
	会社員(役員を含む)、 公務員	199 100.0	38 19.1	75 37.7	59 29.6	25 12.6	2 1.0
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	10 100.0	- -	5 50.0	5 50.0	- -	- -
	主婦・主夫	66 100.0	18 27.3	20 30.3	18 27.3	8 12.1	2 3.0
	パート、アルバイト	56 100.0	8 14.3	21 37.5	20 35.7	6 10.7	1 1.8
	学生	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	- -
	無職(すでに退職を含む)	100 100.0	24 24.0	39 39.0	30 30.0	4 4.0	3 3.0
	その他	30 100.0	3 10.0	14 46.7	10 33.3	2 6.7	1 3.3
同居人数別	0人(独居)	67 100.0	13 19.4	26 38.8	21 31.3	7 10.4	- -
	1人	138 100.0	30 21.7	58 42.0	35 25.4	13 9.4	2 1.4
	2人	122 100.0	28 23.0	46 37.7	38 31.1	9 7.4	1 0.8
	3人	81 100.0	13 16.0	27 33.3	27 33.3	11 13.6	3 3.7
	4人	55 100.0	7 12.7	19 34.5	22 40.0	5 9.1	2 3.6
	5人	19 100.0	4 21.1	7 36.8	5 26.3	2 10.5	1 5.3
	6人以上	8 100.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	- -	- -
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	29 100.0	8 27.6	10 34.5	8 27.6	3 10.3	- -
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	26 100.0	5 19.2	13 50.0	8 30.8	- -	- -
	小学生	57 100.0	8 14.0	21 36.8	20 35.1	6 10.5	2 3.5
	70歳以上の人	143 100.0	29 20.3	58 40.6	43 30.1	6 4.2	7 4.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	23 100.0	3 13.0	7 30.4	7 30.4	3 13.0	3 13.0
	妊産婦	4 100.0	- -	3 75.0	- -	1 25.0	- -
	該当者はいない	212 100.0	47 22.2	76 35.8	63 29.7	25 11.8	1 0.5
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	228 100.0	42 18.4	82 36.0	77 33.8	25 11.0	2 0.9
	浸水予測区域外	257 100.0	57 22.2	101 39.3	70 27.2	22 8.6	7 2.7

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問22 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 決の家 め家族 で絡が い方バ る法ラ やバラ 集ラ 合にな るつ 場た 所と をき	(2) 防食 止器 棚 イル ド ム の をガ 貼ラ ッ ス 面 に る 飛 散	(3) に安 靴全 に 避 を難 で き る よ う に 枕 元	(4) る非 常持 ち出 し品 を 用 意 し て い	(5) 浴槽 に い つ も 水 を た め て い る	(6) 消火 器を 用 意 し て い る	(7) 準懐 備中 電灯 や携 帯ラ ジオ など を	(8) 調理 用燃 料を 備 蓄 し て い る	(9) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=												
			1位	2位								
前回調査(R3)		1,779 100.0	618 34.7	111 6.2	196 11.0	706 39.7	202 11.4	359 20.2	1,243 69.9	486 27.3	107 6.0	60 3.4
全体		1,516 100.0	476 31.4	97 6.4	261 17.2	676 44.6	187 12.3	252 16.6	997 65.8	482 31.8	67 4.4	90 5.9
性別	男性	627 100.0	187 29.8	39 6.2	99 15.8	248 39.6	77 12.3	126 20.1	416 66.3	194 30.9	30 4.8	43 6.9
	女性	860 100.0	278 32.3	54 6.3	153 17.8	416 48.4	106 12.3	123 14.3	568 66.0	279 32.4	36 4.2	43 5.0
	回答しない	18 100.0	6 33.3	3 16.7	5 27.8	6 33.3	2 11.1	1 5.6	5 27.8	4 22.2	1 5.6	3 16.7
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	-	-	1 14.3	-	-	3 42.9	1 14.3	-	2 28.6
	20歳代	97 100.0	32 33.0	5 5.2	9 9.3	43 44.3	6 6.2	11 11.3	45 46.4	19 19.6	4 4.1	7 7.2
	30歳代	151 100.0	63 41.7	7 4.6	30 19.9	83 55.0	5 3.3	13 8.6	76 50.3	40 26.5	9 6.0	8 5.3
	40歳代	216 100.0	87 40.3	17 7.9	36 16.7	104 48.1	13 6.0	26 12.0	120 55.6	57 26.4	11 5.1	14 6.5
	50歳代	278 100.0	98 35.3	14 5.0	50 18.0	125 45.0	39 14.0	37 13.3	183 65.8	97 34.9	17 6.1	15 5.4
	60歳代	331 100.0	92 27.8	27 8.2	56 16.9	144 43.5	50 15.1	73 22.1	244 73.7	124 37.5	14 4.2	21 6.3
	70歳以上	426 100.0	99 23.2	27 6.3	77 18.1	172 40.4	72 16.9	90 21.1	319 74.9	140 32.9	12 2.8	22 5.2
職業別	農林業	63 100.0	13 20.6	3 4.8	12 19.0	19 30.2	9 14.3	14 22.2	51 81.0	25 39.7	2 3.2	4 6.3
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	2 66.7	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	21 31.8	4 6.1	6 9.1	24 36.4	6 9.1	19 28.8	46 69.7	28 42.4	2 3.0	6 9.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	185 34.5	32 6.0	94 17.5	258 48.0	45 8.4	68 12.7	306 57.0	154 28.7	31 5.8	35 6.5
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	12 40.0	-	3 10.0	13 43.3	6 20.0	7 23.3	19 63.3	8 26.7	1 3.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	52 32.1	15 9.3	33 20.4	72 44.4	29 17.9	34 21.0	122 75.3	65 40.1	3 1.9	7 4.3
	パート、アルバイト	189 100.0	61 32.3	13 6.9	29 15.3	84 44.4	22 11.6	23 12.2	110 58.2	50 26.5	10 5.3	17 9.0
	学生	21 100.0	7 33.3	1 4.8	4 19.0	7 33.3	-	3 14.3	9 42.9	6 28.6	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	80 24.1	21 6.3	60 18.1	145 43.7	52 15.7	62 18.7	249 75.0	107 32.2	9 2.7	15 4.5
	その他	94 100.0	34 36.2	7 7.4	15 16.0	43 45.7	15 16.0	18 19.1	71 75.5	28 29.8	9 9.6	3 3.2
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	26 11.2	11 4.7	40 17.2	96 41.2	23 9.9	30 12.9	144 61.8	53 22.7	19 8.2	22 9.4
	1人	441 100.0	128 29.0	27 6.1	81 18.4	191 43.3	69 15.6	89 20.2	304 68.9	149 33.8	15 3.4	32 7.3
	2人	324 100.0	111 34.3	22 6.8	62 19.1	168 51.9	42 13.0	57 17.6	225 69.4	105 32.4	13 4.0	13 4.0
	3人	253 100.0	97 38.3	21 8.3	40 15.8	114 45.1	29 11.5	37 14.6	155 61.3	85 33.6	9 3.6	14 5.5
	4人	152 100.0	68 44.7	8 5.3	25 16.4	62 40.8	9 5.9	16 10.5	94 61.8	44 28.9	3 2.0	7 4.6
	5人	55 100.0	25 45.5	4 7.3	2 3.6	23 41.8	7 12.7	9 16.4	36 65.5	25 45.5	6 10.9	-
	6人以上	35 100.0	12 34.3	2 5.7	7 20.0	13 37.1	3 8.6	9 25.7	23 65.7	13 37.1	2 5.7	1 2.9
	同居家族の該当者別	78 100.0	31 39.7	3 3.8	9 11.5	42 53.8	5 6.4	5 6.4	42 53.8	23 29.5	2 2.6	3 3.8
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	35 47.9	7 9.6	6 8.2	43 58.9	5 6.8	6 8.2	42 57.5	29 39.7	2 2.7	1 1.4
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	146 100.0	80 54.8	9 6.2	20 13.7	69 47.3	15 10.3	15 10.3	83 56.8	43 29.5	6 4.1	2 1.4
	小学生	491 100.0	143 29.1	33 6.7	95 19.3	187 38.1	83 16.9	102 20.8	350 71.3	164 33.4	16 3.3	26 5.3
	70歳以上の人	93 100.0	23 24.7	4 4.3	11 11.8	31 33.3	14 15.1	16 17.2	73 78.5	32 34.4	3 3.2	4 4.3
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	9 100.0	3 33.3	-	2 22.2	4 44.4	-	-	2 22.2	3 33.3	1 11.1	2 22.2
	妊産婦	587 100.0	195 33.2	39 6.6	108 18.4	280 47.7	71 12.1	101 17.2	374 63.7	199 33.9	27 4.6	34 5.8
	該当者はいない	696 100.0	231 33.2	46 6.6	142 20.4	344 49.4	90 12.9	108 15.5	467 67.1	194 27.9	40 5.7	34 4.9
	浸水予測区域内	779 100.0	232 29.8	49 6.3	113 14.5	313 40.2	95 12.2	141 18.1	509 65.3	273 35.0	27 3.5	51 6.5
区域予測	浸水予測区域外											

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問23 お薬手帳(電子版)は、スマートフォン内で情報管理ができるため、自身だけでなく家族の服薬情報の保管や携帯性が高いため持ち運びが容易といったメリットがあり、災害時には大変有用なツールとなりますが利用していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) すでに 利用して いる	(2) 利用し ようと思 う	(3) 利用 したい が、や り方が わか	(4) いま スマート フォン でな 持てな い	(5) 利用 する予 定はな い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=								
			1位	2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	93 5.2	487 27.4	404 22.7	174 9.8	572 32.2	49 2.8
全体		1,516 100.0	120 7.9	359 23.7	362 23.9	110 7.3	521 34.4	44 2.9
性別	男性	627 100.0	48 7.7	172 27.4	131 20.9	52 8.3	204 32.5	20 3.2
	女性	860 100.0	70 8.1	181 21.0	228 26.5	56 6.5	303 35.2	22 2.6
	回答しない	18 100.0	-	5 27.8	1 5.6	1 5.6	11 61.1	-
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	-	-	5 71.4	-
	20歳代	97 100.0	5 5.2	28 28.9	14 14.4	-	46 47.4	4 4.1
	30歳代	151 100.0	15 9.9	37 24.5	32 21.2	-	65 43.0	2 1.3
	40歳代	216 100.0	17 7.9	57 26.4	40 18.5	4 1.9	92 42.6	6 2.8
	50歳代	278 100.0	23 8.3	83 29.9	54 19.4	11 4.0	103 37.1	4 1.4
	60歳代	331 100.0	25 7.6	76 23.0	94 28.4	15 4.5	111 33.5	10 3.0
	70歳以上	426 100.0	31 7.3	76 17.8	126 29.6	79 18.5	98 23.0	16 3.8
職業別	農林業	63 100.0	3 4.8	16 25.4	14 22.2	11 17.5	17 27.0	2 3.2
	漁業	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	4 6.1	16 24.2	14 21.2	4 6.1	23 34.8	5 7.6
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	39 7.3	145 27.0	101 18.8	8 1.5	235 43.8	9 1.7
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	1 3.3	8 26.7	3 10.0	2 6.7	15 50.0	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	14 8.6	28 17.3	52 32.1	20 12.3	42 25.9	6 3.7
	パート、アルバイト	189 100.0	11 5.8	50 26.5	55 29.1	5 2.6	61 32.3	7 3.7
	学生	21 100.0	5 23.8	3 14.3	5 23.8	-	8 38.1	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	28 8.4	63 19.0	89 26.8	53 16.0	89 26.8	10 3.0
	その他	94 100.0	13 13.8	24 25.5	23 24.5	6 6.4	27 28.7	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	13 5.6	49 21.0	67 28.8	21 9.0	73 31.3	10 4.3
	1人	441 100.0	25 5.7	100 22.7	118 26.8	37 8.4	147 33.3	14 3.2
	2人	324 100.0	39 12.0	77 23.8	70 21.6	19 5.9	110 34.0	9 2.8
	3人	253 100.0	15 5.9	56 22.1	61 24.1	19 7.5	96 37.9	6 2.4
	4人	152 100.0	10 6.6	50 32.9	28 18.4	7 4.6	56 36.8	1 0.7
	5人	55 100.0	7 12.7	13 23.6	8 14.5	1 1.8	25 45.5	1 1.8
	6人以上	35 100.0	7 20.0	8 22.9	5 14.3	4 11.4	10 28.6	1 2.9
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	10 12.8	23 29.5	17 21.8	1 1.3	25 32.1	2 2.6
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	6 8.2	21 28.8	14 19.2	2 2.7	28 38.4	2 2.7
	小学生	146 100.0	12 8.2	41 28.1	31 21.2	3 2.1	57 39.0	2 1.4
	70歳以上の人	491 100.0	36 7.3	110 22.4	125 25.5	59 12.0	149 30.3	12 2.4
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	13 14.0	24 25.8	20 21.5	10 10.8	25 26.9	1 1.1
	妊産婦	9 100.0	1 11.1	1 11.1	3 33.3	-	4 44.4	-
	該当者はいない	587 100.0	51 8.7	140 23.9	127 21.6	23 3.9	230 39.2	16 2.7
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	57 8.2	155 22.3	171 24.6	63 9.1	228 32.8	22 3.2
	浸水予測区域外	779 100.0	60 7.7	192 24.6	185 23.7	47 6.0	275 35.3	20 2.6

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問24 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 加入している	(2) 加入していない	(3) わからない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位	2位		
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,156 65.0	401 22.5	214 12.0	8 0.4
全体		1,516 100.0	886 58.4	404 26.6	197 13.0	29 1.9
性別	男性	627 100.0	382 60.9	165 26.3	73 11.6	7 1.1
	女性	860 100.0	490 57.0	234 27.2	116 13.5	20 2.3
	回答しない	18 100.0	7 38.9	5 27.8	6 33.3	-
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	-	4 57.1	-
	20歳代	97 100.0	33 34.0	20 20.6	43 44.3	1 1.0
	30歳代	151 100.0	82 54.3	37 24.5	32 21.2	-
	40歳代	216 100.0	134 62.0	50 23.1	29 13.4	3 1.4
	50歳代	278 100.0	157 56.5	73 26.3	44 15.8	4 1.4
	60歳代	331 100.0	213 64.4	93 28.1	20 6.0	5 1.5
	70歳以上	426 100.0	258 60.6	131 30.8	23 5.4	14 3.3
職業別	農林業	63 100.0	47 74.6	12 19.0	3 4.8	1 1.6
	漁業	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	40 60.6	18 27.3	8 12.1	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	316 58.8	130 24.2	87 16.2	4 0.7
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	18 60.0	7 23.3	5 16.7	-
	主婦・主夫	162 100.0	111 68.5	35 21.6	12 7.4	4 2.5
	パート、アルバイト	189 100.0	94 49.7	56 29.6	33 17.5	6 3.2
	学生	21 100.0	10 47.6	1 4.8	10 47.6	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	179 53.9	119 35.8	24 7.2	10 3.0
	その他	94 100.0	59 62.8	22 23.4	11 11.7	2 2.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	100 42.9	92 39.5	33 14.2	8 3.4
	1人	441 100.0	272 61.7	121 27.4	39 8.8	9 2.0
	2人	324 100.0	197 60.8	87 26.9	36 11.1	4 1.2
	3人	253 100.0	155 61.3	64 25.3	33 13.0	1 0.4
	4人	152 100.0	96 63.2	24 15.8	29 19.1	3 2.0
	5人	55 100.0	32 58.2	6 10.9	15 27.3	2 3.6
	6人以上	35 100.0	21 60.0	6 17.1	8 22.9	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	46 59.0	15 19.2	16 20.5	1 1.3
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	52 71.2	14 19.2	7 9.6	-
	小学生	146 100.0	93 63.7	33 22.6	19 13.0	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	316 64.4	108 22.0	55 11.2	12 2.4
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	59 63.4	22 23.7	10 10.8	2 2.2
	妊産婦	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	-
	該当者はいない	587 100.0	326 55.5	165 28.1	87 14.8	9 1.5
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	404 58.0	180 25.9	98 14.1	14 2.0
	浸水予測区域外	779 100.0	460 59.1	216 27.7	91 11.7	12 1.5

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問25 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つことが必要です。あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(それぞれひとつだけ○)

【いつ】

		調査数	(1) 残量が半分くらいになった時	(2) 残量が4分の1程度になった時	(3) 残量がほとんど無くなった時	(4) 給油する機会はない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	520 29.2	719 40.4	388 21.8	137 7.7	15 0.8
全体		1,516 100.0	577 38.1	536 35.4	221 14.6	103 6.8	79 5.2
性別	男性	627 100.0	247 39.4	228 36.4	103 16.4	29 4.6	20 3.2
	女性	860 100.0	318 37.0	300 34.9	115 13.4	72 8.4	55 6.4
	回答しない	18 100.0	6 33.3	6 33.3	3 16.7	2 11.1	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	-	-	2 28.6	2 28.6
	20歳代	97 100.0	20 20.6	38 39.2	17 17.5	20 20.6	2 2.1
	30歳代	151 100.0	48 31.8	61 40.4	31 20.5	9 6.0	2 1.3
	40歳代	216 100.0	74 34.3	80 37.0	52 24.1	8 3.7	2 0.9
	50歳代	278 100.0	110 39.6	109 39.2	40 14.4	14 5.0	5 1.8
	60歳代	331 100.0	147 44.4	124 37.5	37 11.2	16 4.8	7 2.1
	70歳以上	426 100.0	170 39.9	122 28.6	44 10.3	34 8.0	56 13.1
職業別	農林業	63 100.0	26 41.3	24 38.1	9 14.3	1 1.6	3 4.8
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	24 36.4	22 33.3	15 22.7	4 6.1	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	191 35.6	222 41.3	99 18.4	21 3.9	4 0.7
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	9 30.0	7 23.3	2 6.7	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	69 42.6	56 34.6	13 8.0	13 8.0	11 6.8
	パート、アルバイト	189 100.0	72 38.1	67 35.4	30 15.9	12 6.3	8 4.2
	学生	21 100.0	6 28.6	5 23.8	2 9.5	6 28.6	2 9.5
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	132 39.8	97 29.2	29 8.7	35 10.5	39 11.7
	その他	94 100.0	36 38.3	31 33.0	12 12.8	9 9.6	6 6.4
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	69 29.6	73 31.3	26 11.2	39 16.7	26 11.2
	1人	441 100.0	180 40.8	151 34.2	58 13.2	29 6.6	23 5.2
	2人	324 100.0	145 44.8	115 35.5	43 13.3	11 3.4	10 3.1
	3人	253 100.0	89 35.2	102 40.3	41 16.2	13 5.1	8 3.2
	4人	152 100.0	54 35.5	56 36.8	32 21.1	6 3.9	4 2.6
	5人	55 100.0	18 32.7	14 25.5	15 27.3	5 9.1	3 5.5
	6人以上	35 100.0	10 28.6	20 57.1	4 11.4	-	1 2.9
	同居家族の該当者別	78 100.0	17 21.8	36 46.2	23 29.5	1 1.3	1 1.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	23 31.5	29 39.7	19 26.0	1 1.4	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	43 29.5	59 40.4	42 28.8	1 0.7	1 0.7
	小学生	491 100.0	215 43.8	167 34.0	52 10.6	28 5.7	29 5.9
	70歳以上の人	93 100.0	35 37.6	33 35.5	9 9.7	12 12.9	4 4.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	3 33.3	5 55.6	1 11.1	-	-
	妊産婦	587 100.0	229 39.0	208 35.4	81 13.8	45 7.7	24 4.1
	該当者はいない	696 100.0	271 38.9	239 34.3	97 13.9	47 6.8	42 6.0
	浸水予測区域外	779 100.0	297 38.1	277 35.6	118 15.1	54 6.9	33 4.2

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

問25 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つことが必要です。あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(それぞれひとつだけ○)

【どのくらい】

		調査数	(1) 満タンにする	(2) れ満 るタンにせず、一定の量を入	(3) を満 入タ れン るに せず、一定の金額分	(4) 給油する機会はない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
前回調査(R3)		1,627 100.0	1,333 81.9	57 3.5	226 13.9	- -	11 0.7
全体		1,516 100.0	1,108 73.1	59 3.9	136 9.0	102 6.7	111 7.3
性別	男性	627 100.0	479 76.4	31 4.9	57 9.1	30 4.8	30 4.8
	女性	860 100.0	612 71.2	27 3.1	75 8.7	70 8.1	76 8.8
	回答しない	18 100.0	9 50.0	1 5.6	4 22.2	2 11.1	2 11.1
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	3 42.9
	20歳代	97 100.0	63 64.9	3 3.1	8 8.2	20 20.6	3 3.1
	30歳代	151 100.0	116 76.8	9 6.0	14 9.3	9 6.0	3 2.0
	40歳代	216 100.0	162 75.0	9 4.2	33 15.3	8 3.7	4 1.9
	50歳代	278 100.0	210 75.5	11 4.0	34 12.2	14 5.0	9 3.2
	60歳代	331 100.0	269 81.3	8 2.4	25 7.6	15 4.5	14 4.2
	70歳以上	426 100.0	280 65.7	19 4.5	21 4.9	34 8.0	72 16.9
職業別	農林業	63 100.0	53 84.1	1 1.6	4 6.3	2 3.2	3 4.8
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	48 72.7	4 6.1	5 7.6	4 6.1	5 7.6
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	429 79.9	23 4.3	54 10.1	20 3.7	11 2.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	24 80.0	-	1 3.3	2 6.7	3 10.0
	主婦・主夫	162 100.0	115 71.0	8 4.9	11 6.8	12 7.4	16 9.9
	パート、アルバイト	189 100.0	129 68.3	6 3.2	31 16.4	12 6.3	11 5.8
	学生	21 100.0	12 57.1	-	1 4.8	6 28.6	2 9.5
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	224 67.5	10 3.0	15 4.5	35 10.5	48 14.5
	その他	94 100.0	59 62.8	7 7.4	11 11.7	9 9.6	8 8.5
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	139 59.7	5 2.1	19 8.2	38 16.3	32 13.7
	1人	441 100.0	330 74.8	15 3.4	34 7.7	28 6.3	34 7.7
	2人	324 100.0	247 76.2	15 4.6	34 10.5	12 3.7	16 4.9
	3人	253 100.0	188 74.3	14 5.5	26 10.3	12 4.7	13 5.1
	4人	152 100.0	121 79.6	3 2.0	17 11.2	6 3.9	5 3.3
	5人	55 100.0	38 69.1	4 7.3	3 5.5	5 9.1	5 9.1
	6人以上	35 100.0	27 77.1	3 8.6	2 5.7	1 2.9	2 5.7
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	60 76.9	4 5.1	10 12.8	2 2.6	2 2.6
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	56 76.7	4 5.5	10 13.7	1 1.4	2 2.7
	小学生	146 100.0	116 79.5	8 5.5	16 11.0	1 0.7	5 3.4
	70歳以上の人	491 100.0	357 72.7	27 5.5	30 6.1	27 5.5	50 10.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	61 65.6	6 6.5	5 5.4	12 12.9	9 9.7
	妊産婦	9 100.0	6 66.7	-	3 33.3	-	-
	該当者はいない	587 100.0	434 73.9	18 3.1	63 10.7	44 7.5	28 4.8
区域予測	浸水予測区域内	696 100.0	502 72.1	25 3.6	63 9.1	48 6.9	58 8.3
	浸水予測区域外	779 100.0	584 75.0	31 4.0	62 8.0	53 6.8	49 6.3

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問26 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 固定している	(2) は寝固室(子供部屋を含む)だけ	(3) が固定が必要ない家具や家電など	(4) を固居室が内に要ない家具や家電など	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	361 20.3	131 7.4	1,093 61.4	176 9.9	18 1.0
全体		1,516 100.0	342 22.6	89 5.9	867 57.2	182 12.0	36 2.4
性別	男性	627 100.0	148 23.6	43 6.9	356 56.8	67 10.7	13 2.1
	女性	860 100.0	189 22.0	45 5.2	495 57.6	112 13.0	19 2.2
	回答しない	18 100.0	4 22.2	1 5.6	11 61.1	2 11.1	-
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	-	5 71.4	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	26 26.8	4 4.1	54 55.7	12 12.4	1 1.0
	30歳代	151 100.0	31 20.5	10 6.6	89 58.9	20 13.2	1 0.7
	40歳代	216 100.0	49 22.7	15 6.9	123 56.9	27 12.5	2 0.9
	50歳代	278 100.0	47 16.9	14 5.0	179 64.4	35 12.6	3 1.1
	60歳代	331 100.0	84 25.4	16 4.8	187 56.5	37 11.2	7 2.1
	70歳以上	426 100.0	103 24.2	30 7.0	225 52.8	50 11.7	18 4.2
職業別	農林業	63 100.0	9 14.3	2 3.2	43 68.3	8 12.7	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	16 24.2	3 4.5	36 54.5	10 15.2	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	117 21.8	33 6.1	314 58.5	69 12.8	4 0.7
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	4 13.3	2 6.7	18 60.0	6 20.0	-
	主婦・主夫	162 100.0	42 25.9	11 6.8	81 50.0	23 14.2	5 3.1
	パート、アルバイト	189 100.0	43 22.8	3 1.6	121 64.0	17 9.0	5 2.6
	学生	21 100.0	6 28.6	1 4.8	10 47.6	4 19.0	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	83 25.0	27 8.1	180 54.2	31 9.3	11 3.3
	その他	94 100.0	18 19.1	6 6.4	51 54.3	14 14.9	5 5.3
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	39 16.7	11 4.7	134 57.5	39 16.7	10 4.3
	1人	441 100.0	108 24.5	24 5.4	250 56.7	46 10.4	13 2.9
	2人	324 100.0	81 25.0	22 6.8	178 54.9	38 11.7	5 1.5
	3人	253 100.0	52 20.6	16 6.3	152 60.1	31 12.3	2 0.8
	4人	152 100.0	34 22.4	7 4.6	92 60.5	18 11.8	1 0.7
	5人	55 100.0	15 27.3	6 10.9	32 58.2	2 3.6	-
	6人以上	35 100.0	8 22.9	2 5.7	20 57.1	5 14.3	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	12 15.4	5 6.4	50 64.1	11 14.1	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	20 27.4	2 2.7	40 54.8	11 15.1	-
	小学生	146 100.0	26 17.8	11 7.5	86 58.9	22 15.1	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	118 24.0	36 7.3	280 57.0	48 9.8	9 1.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	22 23.7	8 8.6	54 58.1	8 8.6	1 1.1
	妊産婦	9 100.0	2 22.2	-	6 66.7	1 11.1	-
	該当者はいない	587 100.0	137 23.3	29 4.9	336 57.2	71 12.1	14 2.4
浸水予測別	浸水予測区域内	696 100.0	148 21.3	38 5.5	417 59.9	77 11.1	16 2.3
	浸水予測区域外	779 100.0	187 24.0	48 6.2	428 54.9	99 12.7	17 2.2

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問26で「2. 寝室(子供部屋を含む)だけは固定している」～「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

問27 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものをすべてに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		調査数	建物や家具を傷つける	固定の方法がわからない	借家である	費用がかかる	手間がかかる	固定しなくても大丈夫だと思う	固定しても被害は出ると思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答
		1位	2位										
前回調査(R3)		1,224 100.0	157 12.8	259 21.2	119 9.7	312 25.5	479 39.1	181 14.8	265 21.7	75 6.1	17 1.4	124 10.1	26 2.1
全体		956 100.0	78 8.2	154 16.1	154 16.1	245 25.6	299 31.3	93 9.7	230 24.1	40 4.2	3 0.3	89 9.3	87 9.1
性別	男性	399 100.0	35 8.8	48 12.0	51 12.8	98 24.6	141 35.3	52 13.0	100 25.1	20 5.0	2 0.5	26 6.5	36 9.0
	女性	540 100.0	39 7.2	103 19.1	100 18.5	143 26.5	153 28.3	41 7.6	125 23.1	19 3.5	1 0.2	62 11.5	51 9.4
	回答しない	12 100.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	4 33.3	-	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	-
年代別	10歳代	5 100.0	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-	-	-	3 60.0
	20歳代	58 100.0	4 6.9	13 22.4	12 20.7	25 43.1	28 48.3	3 5.2	14 24.1	1 1.7	-	2 3.4	4 6.9
	30歳代	99 100.0	14 14.1	17 17.2	31 31.3	28 28.3	36 36.4	8 8.1	15 15.2	2 2.0	1 1.0	6 6.1	5 5.1
	40歳代	138 100.0	15 10.9	23 16.7	31 22.5	29 21.0	48 34.8	21 15.2	24 17.4	3 2.2	-	10 7.2	11 8.0
	50歳代	193 100.0	15 7.8	25 13.0	38 19.7	54 28.0	58 30.1	12 6.2	43 22.3	7 3.6	-	21 10.9	17 8.8
	60歳代	203 100.0	13 6.4	32 15.8	17 8.4	56 27.6	60 29.6	22 10.8	61 30.0	13 6.4	2 1.0	22 10.8	14 6.9
	70歳以上	255 100.0	16 6.3	43 16.9	25 9.8	52 20.4	67 26.3	27 10.6	69 27.1	14 5.5	-	28 11.0	33 12.9
職業別	農林業	45 100.0	-	7 15.6	1 2.2	6 13.3	10 22.2	8 17.8	13 28.9	6 13.3	-	7 15.6	4 8.9
	漁業	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	39 100.0	3 7.7	5 12.8	4 10.3	10 25.6	12 30.8	4 10.3	11 28.2	2 5.1	-	2 5.1	3 7.7
	会社員(役員を含む)、公務員	347 100.0	38 11.0	50 14.4	82 23.6	87 25.1	127 36.6	36 10.4	68 19.6	7 2.0	-	28 8.1	31 8.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	20 100.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0	9 45.0	12 60.0	1 5.0	5 25.0	1 5.0	-	2 10.0	2 10.0
	主婦・主夫	92 100.0	6 6.5	26 28.3	5 5.4	21 22.8	22 23.9	9 9.8	29 31.5	5 5.4	-	5 5.4	8 8.7
	パート、アルバイト	124 100.0	10 8.1	20 16.1	24 19.4	34 27.4	33 26.6	8 6.5	37 29.8	5 4.0	1 0.8	13 10.5	10 8.1
	学生	11 100.0	-	-	2 18.2	3 27.3	4 36.4	2 18.2	2 18.2	1 9.1	-	-	2 18.2
	無職(すでに退職を含む)	207 100.0	12 5.8	32 15.5	27 13.0	53 25.6	58 28.0	20 9.7	50 24.2	11 5.3	1 0.5	22 10.6	21 10.1
	その他	57 100.0	5 8.8	7 12.3	5 8.8	18 31.6	17 29.8	5 8.8	11 19.3	2 3.5	1 1.8	10 17.5	5 8.8
	同居人数別	0人(独居)	145 100.0	12 8.3	32 22.1	48 33.1	32 22.1	42 29.0	5 3.4	20 13.8	6 4.1	-	13 9.0
1人		274 100.0	25 9.1	42 15.3	46 16.8	68 24.8	74 27.0	35 12.8	74 27.0	15 5.5	1 0.4	28 10.2	22 8.0
2人		200 100.0	9 4.5	31 15.5	21 10.5	49 24.5	69 34.5	22 11.0	52 26.0	9 4.5	-	16 8.0	22 11.0
3人		168 100.0	16 9.5	31 18.5	19 11.3	47 28.0	56 33.3	20 11.9	39 23.2	6 3.6	1 0.6	15 8.9	12 7.1
4人		99 100.0	11 11.1	10 10.1	12 12.1	24 24.2	36 36.4	7 7.1	24 24.2	3 3.0	-	12 12.1	10 10.1
5人		38 100.0	3 7.9	6 15.8	6 15.8	12 31.6	11 28.9	2 5.3	11 28.9	1 2.6	1 2.6	4 10.5	4 10.5
6人以上		22 100.0	1 4.5	1 4.5	-	12 54.5	8 36.4	2 9.1	7 31.8	-	-	1 4.5	1 4.5
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	55 100.0	6 10.9	15 27.3	13 23.6	14 25.5	20 36.4	6 10.9	8 14.5	1 1.8	-	2 3.6	3 5.5
	4歳以上で小学校入学前の子ども	42 100.0	10 23.8	4 9.5	10 23.8	10 23.8	12 28.6	7 16.7	6 14.3	-	-	3 7.1	3 7.1
	小学生	97 100.0	13 13.4	13 13.4	20 20.6	31 32.0	34 35.1	13 13.4	18 18.6	1 1.0	-	7 7.2	5 5.2
	70歳以上の人	316 100.0	16 5.1	48 15.2	13 4.1	78 24.7	101 32.0	31 9.8	103 32.6	18 5.7	2 0.6	28 8.9	40 12.7
	日常生活で介護や支援を必要とする人	62 100.0	3 4.8	12 19.4	7 11.3	21 33.9	22 35.5	4 6.5	13 21.0	3 4.8	1 1.6	8 12.9	7 11.3
	妊娠婦	6 100.0	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-	2 33.3	-	-	1 16.7	-
	該当者はいない	365 100.0	34 9.3	54 14.8	76 20.8	104 28.5	114 31.2	39 10.7	80 21.9	15 4.1	1 0.3	35 9.6	23 6.3
区域予測別	浸水予測区域内	455 100.0	29 6.4	76 16.7	72 15.8	122 26.8	136 29.9	51 11.2	120 26.4	27 5.9	1 0.2	43 9.5	37 8.1
	浸水予測区域外	476 100.0	48 10.1	74 15.5	74 15.5	117 24.6	156 32.8	39 8.2	105 22.1	12 2.5	2 0.4	44 9.2	49 10.3

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問28 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。(ひとつだけ○)
※市町村によっては補助制度がない場合があります。

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	(3) む既に利用した (利用中含)	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位	2位		
前回調査(R3)		1,779 100.0	468 26.3	1,285 72.2	8 0.4	18 1.0
全体		1,516 100.0	536 35.4	935 61.7	13 0.9	32 2.1
性別	男性	627 100.0	240 38.3	371 59.2	3 0.5	13 2.1
	女性	860 100.0	290 33.7	544 63.3	10 1.2	16 1.9
	回答しない	18 100.0	3 16.7	14 77.8	-	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	4 57.1	-	-
	20歳代	97 100.0	22 22.7	74 76.3	-	1 1.0
	30歳代	151 100.0	49 32.5	98 64.9	2 1.3	2 1.3
	40歳代	216 100.0	81 37.5	134 62.0	-	1 0.5
	50歳代	278 100.0	93 33.5	182 65.5	-	3 1.1
	60歳代	331 100.0	121 36.6	199 60.1	4 1.2	7 2.1
	70歳以上	426 100.0	165 38.7	238 55.9	7 1.6	16 3.8
職業別	農林業	63 100.0	22 34.9	39 61.9	1 1.6	1 1.6
	漁業	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-
	商工サービス業自営	66 100.0	29 43.9	37 56.1	-	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	185 34.5	346 64.4	1 0.2	5 0.9
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	19 63.3	-	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	55 34.0	99 61.1	3 1.9	5 3.1
	パート、アルバイト	189 100.0	62 32.8	123 65.1	1 0.5	3 1.6
	学生	21 100.0	7 33.3	14 66.7	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	124 37.3	192 57.8	6 1.8	10 3.0
	その他	94 100.0	37 39.4	52 55.3	-	5 5.3
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	83 35.6	141 60.5	2 0.9	7 3.0
	1人	441 100.0	137 31.1	292 66.2	5 1.1	7 1.6
	2人	324 100.0	115 35.5	203 62.7	3 0.9	3 0.9
	3人	253 100.0	100 39.5	147 58.1	1 0.4	5 2.0
	4人	152 100.0	54 35.5	92 60.5	1 0.7	5 3.3
	5人	55 100.0	28 50.9	26 47.3	-	1 1.8
	6人以上	35 100.0	11 31.4	23 65.7	1 2.9	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	28 35.9	49 62.8	-	1 1.3
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	28 38.4	44 60.3	-	1 1.4
	小学生	146 100.0	57 39.0	86 58.9	2 1.4	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	189 38.5	285 58.0	7 1.4	10 2.0
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	29 31.2	61 65.6	1 1.1	2 2.2
	妊産婦	9 100.0	1 11.1	8 88.9	-	-
	該当者はいない	587 100.0	193 32.9	380 64.7	4 0.7	10 1.7
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	266 38.2	411 59.1	6 0.9	13 1.9
	浸水予測区域外	779 100.0	256 32.9	499 64.1	7 0.9	17 2.2

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 相談できる窓の設置の環境の整備、気軽に	(2) 説明と明しにいたる固定方法や費用の配布を	(3) 固定してくれる専門家の派遣	(4) 金具をな費用の補助（取り付け	(5) き個人宅なので行政は何かすべ	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位	2位					
前回調査(R3)		1,779 100.0	625 35.1	1,104 62.1	469 26.4	917 51.5	61 3.4	49 2.8	53 3.0
全体		1,516 100.0	562 37.1	876 57.8	396 26.1	779 51.4	31 2.0	35 2.3	68 4.5
性別	男性	627 100.0	232 37.0	350 55.8	149 23.8	321 51.2	18 2.9	14 2.2	22 3.5
	女性	860 100.0	319 37.1	514 59.8	241 28.0	446 51.9	11 1.3	21 2.4	41 4.8
	回答しない	18 100.0	8 44.4	8 44.4	4 22.2	8 44.4	2 11.1	-	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	3 42.9	3 42.9	4 57.1	-	-	-
	20歳代	97 100.0	35 36.1	59 60.8	28 28.9	54 55.7	4 4.1	1 1.0	3 3.1
	30歳代	151 100.0	55 36.4	93 61.6	47 31.1	90 59.6	1 0.7	8 5.3	1 0.7
	40歳代	216 100.0	85 39.4	126 58.3	55 25.5	125 57.9	4 1.9	6 2.8	2 0.9
	50歳代	278 100.0	106 38.1	161 57.9	62 22.3	162 58.3	8 2.9	10 3.6	4 1.4
	60歳代	331 100.0	136 41.1	205 61.9	87 26.3	170 51.4	6 1.8	2 0.6	12 3.6
	70歳以上	426 100.0	139 32.6	224 52.6	112 26.3	171 40.1	8 1.9	8 1.9	43 10.1
職業別	農林業	63 100.0	22 34.9	36 57.1	8 12.7	32 50.8	3 4.8	1 1.6	2 3.2
	漁業	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	3 100.0	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	31 47.0	33 50.0	19 28.8	36 54.5	1 1.5	2 3.0	3 4.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	199 37.1	325 60.5	131 24.4	301 56.1	11 2.0	16 3.0	10 1.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	18 60.0	11 36.7	16 53.3	1 3.3	1 3.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	58 35.8	98 60.5	42 25.9	70 43.2	3 1.9	1 0.6	10 6.2
	パート、アルバイト	189 100.0	70 37.0	112 59.3	43 22.8	102 54.0	-	5 2.6	7 3.7
	学生	21 100.0	6 28.6	10 47.6	8 38.1	12 57.1	1 4.8	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	113 34.0	180 54.2	94 28.3	151 45.5	6 1.8	5 1.5	25 7.5
	その他	94 100.0	44 46.8	48 51.1	36 38.3	47 50.0	5 5.3	4 4.3	7 7.4
	同居人数別	233 100.0	92 39.5	116 49.8	65 27.9	104 44.6	2 0.9	6 2.6	18 7.7
同居家族の該当者別	0人(独居)	441 100.0	157 35.6	269 61.0	104 23.6	209 47.4	6 1.4	9 2.0	18 4.1
	1人	324 100.0	133 41.0	195 60.2	83 25.6	172 53.1	4 1.2	11 3.4	12 3.7
	2人	253 100.0	95 37.5	145 57.3	73 28.9	152 60.1	10 4.0	4 1.6	6 2.4
	3人	152 100.0	47 30.9	82 53.9	39 25.7	77 50.7	7 4.6	4 2.6	6 3.9
	4人	55 100.0	16 29.1	40 72.7	17 30.9	33 60.0	1 1.8	1 1.8	-
	5人	35 100.0	14 40.0	20 57.1	10 28.6	20 57.1	-	-	3 8.6
	6人以上	78 100.0	25 32.1	50 64.1	21 26.9	44 56.4	4 5.1	-	-
	3歳以下の乳幼児	73 100.0	24 32.9	48 65.8	22 30.1	43 58.9	4 5.5	-	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	53 36.3	82 56.2	51 34.9	88 60.3	3 2.1	9 6.2	2 1.4
	小学生	491 100.0	180 36.7	285 58.0	140 28.5	230 46.8	11 2.2	5 1.0	28 5.7
区域予測	70歳以上の人	93 100.0	40 43.0	58 62.4	36 38.7	44 47.3	2 2.2	2 2.2	3 3.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	1 11.1	6 66.7	-	7 77.8	1 11.1	-	-
	妊産婦	587 100.0	213 36.3	358 61.0	136 23.2	326 55.5	9 1.5	12 2.0	18 3.1
	該当者はいない	696 100.0	261 37.5	404 58.0	189 27.2	350 50.3	15 2.2	15 2.2	31 4.5
浸水予測	浸水予測区域内	779 100.0	287 36.8	452 58.0	201 25.8	403 51.7	15 1.9	19 2.4	35 4.5
	浸水予測区域外								

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) ある	(2) 危険なので取り壊した	(3) え安全なフェンスや生け垣に変	(4) もともとな	(5) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,007 56.6	11 0.6	41 2.3	684 38.4	22 1.2	14 0.8
全体		1,516 100.0	820 54.1	13 0.9	35 2.3	613 40.4	11 0.7	24 1.6
性別	男性	627 100.0	340 54.2	3 0.5	14 2.2	255 40.7	6 1.0	9 1.4
	女性	860 100.0	462 53.7	10 1.2	21 2.4	349 40.6	5 0.6	13 1.5
	回答しない	18 100.0	11 61.1	-	-	7 38.9	-	-
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	-	-	4 57.1	-	-
	20歳代	97 100.0	41 42.3	-	1 1.0	53 54.6	1 1.0	1 1.0
	30歳代	151 100.0	63 41.7	1 0.7	7 4.6	80 53.0	-	-
	40歳代	216 100.0	106 49.1	1 0.5	2 0.9	107 49.5	-	-
	50歳代	278 100.0	143 51.4	4 1.4	2 0.7	126 45.3	2 0.7	1 0.4
	60歳代	331 100.0	191 57.7	4 1.2	12 3.6	116 35.0	2 0.6	6 1.8
	70歳以上	426 100.0	267 62.7	3 0.7	11 2.6	125 29.3	6 1.4	14 3.3
職業別	農林業	63 100.0	48 76.2	1 1.6	-	13 20.6	-	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	20 30.3	-	3 4.5	42 63.6	-	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	248 46.2	2 0.4	12 2.2	272 50.7	1 0.2	2 0.4
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	17 56.7	-	-	13 43.3	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	96 59.3	4 2.5	6 3.7	53 32.7	1 0.6	2 1.2
	パート、アルバイト	189 100.0	99 52.4	1 0.5	1 0.5	83 43.9	2 1.1	3 1.6
	学生	21 100.0	9 42.9	-	-	12 57.1	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	209 63.0	2 0.6	8 2.4	95 28.6	6 1.8	12 3.6
	その他	94 100.0	61 64.9	2 2.1	5 5.3	24 25.5	1 1.1	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	113 48.5	-	2 0.9	111 47.6	1 0.4	6 2.6
	1人	441 100.0	249 56.5	5 1.1	10 2.3	165 37.4	5 1.1	7 1.6
	2人	324 100.0	175 54.0	3 0.9	11 3.4	133 41.0	-	2 0.6
	3人	253 100.0	138 54.5	2 0.8	7 2.8	103 40.7	1 0.4	2 0.8
	4人	152 100.0	80 52.6	2 1.3	4 2.6	60 39.5	3 2.0	3 2.0
	5人	55 100.0	32 58.2	-	-	22 40.0	1 1.8	-
	6人以上	35 100.0	21 60.0	-	1 2.9	12 34.3	-	1 2.9
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	30 38.5	-	2 2.6	45 57.7	1 1.3	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	36 49.3	1 1.4	4 5.5	31 42.5	1 1.4	-
	小学生	146 100.0	67 45.9	1 0.7	10 6.8	67 45.9	-	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	325 66.2	6 1.2	10 2.0	134 27.3	6 1.2	10 2.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	58 62.4	1 1.1	1 1.1	31 33.3	2 2.2	-
	妊産婦	9 100.0	5 55.6	-	-	4 44.4	-	-
	該当者はいない	587 100.0	293 49.9	3 0.5	11 1.9	269 45.8	4 0.7	7 1.2
浸水予測別	浸水予測区域内	696 100.0	403 57.9	5 0.7	18 2.6	253 36.4	4 0.6	13 1.9
	浸水予測区域外	779 100.0	396 50.8	8 1.0	17 2.2	343 44.0	6 0.8	9 1.2

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問30で「1. ある」と回答した人におたずねします。

問31 ブロック塀や石塀、門柱などは、地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 点検した結果、安全である	(2) 点検した結果、危険である	(3) 点検していない	(4) わからない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位					
		2位					
前回調査(R3)		1,007 100.0	149 14.8	62 6.2	647 64.3	147 14.6	2 0.2
全体		820 100.0	109 13.3	39 4.8	524 63.9	128 15.6	20 2.4
性別	男性	340 100.0	53 15.6	19 5.6	218 64.1	43 12.6	7 2.1
	女性	462 100.0	54 11.7	19 4.1	297 64.3	80 17.3	12 2.6
	回答しない	11 100.0	1 9.1	-	5 45.5	5 45.5	-
年代別	10歳代	3 100.0	-	-	2 66.7	1 33.3	-
	20歳代	41 100.0	6 14.6	1 2.4	22 53.7	12 29.3	-
	30歳代	63 100.0	7 11.1	3 4.8	30 47.6	22 34.9	1 1.6
	40歳代	106 100.0	13 12.3	5 4.7	64 60.4	20 18.9	4 3.8
	50歳代	143 100.0	14 9.8	9 6.3	96 67.1	22 15.4	2 1.4
	60歳代	191 100.0	32 16.8	12 6.3	130 68.1	14 7.3	3 1.6
	70歳以上	267 100.0	36 13.5	8 3.0	177 66.3	37 13.9	9 3.4
職業別	農林業	48 100.0	4 8.3	3 6.3	30 62.5	9 18.8	2 4.2
	漁業	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	商工サービス業自営	20 100.0	1 5.0	2 10.0	12 60.0	5 25.0	-
	会社員(役員を含む)、公務員	248 100.0	31 12.5	16 6.5	163 65.7	34 13.7	4 1.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	17 100.0	1 5.9	1 5.9	13 76.5	2 11.8	-
	主婦・主夫	96 100.0	18 18.8	4 4.2	64 66.7	9 9.4	1 1.0
	パート、アルバイト	99 100.0	15 15.2	1 1.0	63 63.6	16 16.2	4 4.0
	学生	9 100.0	2 22.2	-	4 44.4	3 33.3	-
	無職(すでに退職を含む)	209 100.0	27 12.9	9 4.3	135 64.6	32 15.3	6 2.9
	その他	61 100.0	8 13.1	1 1.6	35 57.4	15 24.6	2 3.3
同居人数別	0人(独居)	113 100.0	8 7.1	7 6.2	71 62.8	22 19.5	5 4.4
	1人	249 100.0	39 15.7	9 3.6	158 63.5	39 15.7	4 1.6
	2人	175 100.0	19 10.9	6 3.4	125 71.4	20 11.4	5 2.9
	3人	138 100.0	18 13.0	8 5.8	85 61.6	26 18.8	1 0.7
	4人	80 100.0	15 18.8	3 3.8	46 57.5	13 16.3	3 3.8
	5人	32 100.0	3 9.4	2 6.3	22 68.8	5 15.6	-
	6人以上	21 100.0	4 19.0	3 14.3	10 47.6	3 14.3	1 4.8
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	30 100.0	6 20.0	1 3.3	16 53.3	7 23.3	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	36 100.0	6 16.7	5 13.9	13 36.1	11 30.6	1 2.8
	小学生	67 100.0	9 13.4	4 6.0	35 52.2	17 25.4	2 3.0
	70歳以上の人	325 100.0	48 14.8	18 5.5	219 67.4	35 10.8	5 1.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	58 100.0	7 12.1	3 5.2	37 63.8	7 12.1	4 6.9
	妊産婦	5 100.0	-	-	3 60.0	2 40.0	-
	該当者はいない	293 100.0	34 11.6	13 4.4	187 63.8	52 17.7	7 2.4
浸水予測別	浸水予測区域内	403 100.0	48 11.9	22 5.5	261 64.8	61 15.1	11 2.7
	浸水予測区域外	396 100.0	56 14.1	16 4.0	249 62.9	66 16.7	9 2.3

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

問32 安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 点検するまでもなく危険である	(2) 点検の方法がわからない	(3) 点検しなくても安全と思う	(4) 費用がかかる	(5) 借家である	(6) 手間がかかる	(7) 思いつく対策しても被害は防げない	(8) 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	(9) 地震被害に関心がない	(10) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位									
前回調査(R3)		647 100.0	62 9.6	220 34.0	120 18.5	80 12.4	45 7.0	20 3.1	31 4.8	4 0.6	4 0.6	48 7.4	13 2.0
全体		524 100.0	78 14.9	172 32.8	85 16.2	65 12.4	37 7.1	11 2.1	22 4.2	2 0.4	1 0.2	29 5.5	22 4.2
性別	男性	218 100.0	36 16.5	61 28.0	43 19.7	29 13.3	15 6.9	6 2.8	10 4.6	2 0.9	1 0.5	6 2.8	9 4.1
	女性	297 100.0	40 13.5	109 36.7	41 13.8	35 11.8	21 7.1	5 1.7	11 3.7	-	-	23 7.7	12 4.0
	回答しない	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	22 100.0	2 9.1	7 31.8	2 9.1	3 13.6	1 4.5	2 9.1	1 4.5	-	-	2 9.1	2 9.1
	30歳代	30 100.0	5 16.7	11 36.7	-	6 20.0	4 13.3	-	2 6.7	-	-	2 6.7	-
	40歳代	64 100.0	11 17.2	22 34.4	12 18.8	7 10.9	6 9.4	1 1.6	2 3.1	-	-	1 1.6	2 3.1
	50歳代	96 100.0	18 18.8	36 37.5	10 10.4	8 8.3	12 12.5	4 4.2	1 1.0	-	1 1.0	4 4.2	2 2.1
	60歳代	130 100.0	17 13.1	40 30.8	22 16.9	19 14.6	7 5.4	1 0.8	3 2.3	1 0.8	-	11 8.5	9 6.9
	70歳以上	177 100.0	24 13.6	53 29.9	39 22.0	22 12.4	7 4.0	3 1.7	13 7.3	1 0.6	-	9 5.1	6 3.4
	その他	30 100.0	8 26.7	9 30.0	5 16.7	3 10.0	-	-	2 6.7	2 6.7	-	1 3.3	-
職業別	農林業	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	漁業	12 100.0	3 25.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	-	1 8.3
	商工サービス業自営	163 100.0	30 18.4	53 32.5	21 12.9	13 8.0	20 12.3	7 4.3	3 1.8	-	1 0.6	8 4.9	7 4.3
	会社員(役員を含む)、公務員	13 100.0	1 7.7	4 30.8	2 15.4	4 30.8	1 7.7	-	-	-	-	1 7.7	-
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	64 100.0	4 6.3	24 37.5	10 15.6	11 17.2	1 1.6	2 3.1	4 6.3	-	-	5 7.8	3 4.7
	主婦・主夫	63 100.0	6 9.5	24 38.1	7 11.1	9 14.3	6 9.5	-	4 6.3	-	-	3 4.8	4 6.3
	パート、アルバイト	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-
	学生	135 100.0	18 13.3	40 29.6	33 24.4	14 10.4	5 3.7	2 1.5	7 5.2	-	-	10 7.4	6 4.4
	無職(すでに退職を含む)	35 100.0	7 20.0	9 25.7	4 11.4	9 25.7	3 8.6	-	2 5.7	-	-	1 2.9	-
	その他	71 100.0	11 15.5	19 26.8	8 11.3	6 8.5	13 18.3	-	4 5.6	-	-	7 9.9	3 4.2
	0人(独居)	158 100.0	20 12.7	52 32.9	32 20.3	15 9.5	11 7.0	4 2.5	7 4.4	1 0.6	-	10 6.3	6 3.8
	2人	125 100.0	19 15.2	43 34.4	15 12.0	22 17.6	8 6.4	2 1.6	6 4.8	-	-	4 3.2	6 4.8
	3人	85 100.0	15 17.6	25 29.4	17 20.0	15 17.6	1 1.2	2 2.4	3 3.5	1 1.2	1 1.2	4 4.7	1 1.2
	4人	46 100.0	8 17.4	14 30.4	6 13.0	4 8.7	3 6.5	2 4.3	1 2.2	-	-	3 6.5	5 10.9
同居家族の該当者別	5人	22 100.0	3 13.6	10 45.5	5 22.7	1 4.5	1 4.5	-	1 4.5	-	-	1 4.5	-
	6人以上	10 100.0	2 20.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	-	-	-	-	-	-	-
	3歳以下の乳幼児	16 100.0	3 18.8	8 50.0	1 6.3	2 12.5	1 6.3	-	1 6.3	-	-	-	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	13 100.0	1 7.7	8 61.5	2 15.4	1 7.7	-	-	1 7.7	-	-	-	-
	小学生	35 100.0	3 8.6	20 57.1	7 20.0	1 2.9	1 2.9	-	-	-	-	1 2.9	2 5.7
	70歳以上の人	219 100.0	35 16.0	72 32.9	42 19.2	29 13.2	3 1.4	5 2.3	13 5.9	2 0.9	1 0.5	10 4.6	7 3.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	37 100.0	4 10.8	16 43.2	5 13.5	3 8.1	2 5.4	-	3 8.1	1 2.7	-	3 8.1	-
	妊産婦	3 100.0	-	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-
区域予測	該当者はいない	187 100.0	29 15.5	57 30.5	29 15.5	26 13.9	20 10.7	5 2.7	5 2.7	-	-	9 4.8	7 3.7
	浸水予測区域内	261 100.0	45 17.2	86 33.0	35 13.4	33 12.6	20 7.7	5 1.9	10 3.8	2 0.8	1 0.4	17 6.5	7 2.7
	浸水予測区域外	249 100.0	31 12.4	79 31.7	49 19.7	32 12.9	15 6.0	6 2.4	11 4.4	-	-	12 4.8	14 5.6

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問33 自宅の塀について、自己負担がどのくらいの費用なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

		調査 数	(1) 0 円	(2) 1 0 万円 まで	(3) 2 0 万円 まで	(4) 4 0 万円 まで	(5) 6 0 万円 まで	(6) 8 0 万円 まで	(7) 1 0 0 万円 まで	(8) 1 0 0 万円 以上 でも よい	無 回 答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%) 網掛け＝ 1位 2位											
前回調査(R3)		709 100.0	220 31.0	312 44.0	76 10.7	25 3.5	15 2.1	2 0.3	8 1.1	8 1.1	43 6.1
全体		563 100.0	189 33.6	227 40.3	60 10.7	14 2.5	4 0.7	5 0.9	9 1.6	5 0.9	50 8.9
性別	男性	237 100.0	93 39.2	89 37.6	26 11.0	3 1.3	2 0.8	2 0.8	4 1.7	2 0.8	16 6.8
	女性	316 100.0	90 28.5	138 43.7	33 10.4	11 3.5	2 0.6	2 0.6	5 1.6	3 0.9	32 10.1
	回答しない	5 100.0	3 60.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-
年代別	10歳代	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0
	20歳代	23 100.0	14 60.9	6 26.1	2 8.7	-	1 4.3	-	-	-	-
	30歳代	33 100.0	22 66.7	8 24.2	2 6.1	1 3.0	-	-	-	-	-
	40歳代	69 100.0	28 40.6	31 44.9	6 8.7	3 4.3	1 1.4	-	-	-	-
	50歳代	105 100.0	40 38.1	46 43.8	7 6.7	3 2.9	-	1 1.0	1 1.0	-	7 6.7
	60歳代	142 100.0	38 26.8	61 43.0	19 13.4	4 2.8	1 0.7	2 1.4	5 3.5	-	12 8.5
	70歳以上	185 100.0	44 23.8	74 40.0	24 13.0	3 1.6	1 0.5	2 1.1	3 1.6	4 2.2	30 16.2
職業別	農林業	33 100.0	11 33.3	14 42.4	3 9.1	1 3.0	-	-	-	1 3.0	3 9.1
	漁業	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
	商工サービス業自営	14 100.0	7 50.0	4 28.6	2 14.3	-	-	-	-	-	1 7.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	179 100.0	68 38.0	79 44.1	14 7.8	4 2.2	2 1.1	1 0.6	2 1.1	1 0.6	8 4.5
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	14 100.0	8 57.1	3 21.4	1 7.1	2 14.3	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	68 100.0	8 11.8	32 47.1	11 16.2	2 2.9	-	1 1.5	3 4.4	1 1.5	10 14.7
	パート、アルバイト	64 100.0	25 39.1	27 42.2	4 6.3	2 3.1	-	1 1.6	1 1.6	-	4 6.3
	学生	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	-	-	-	-	-	1 25.0
	無職(すでに退職を含 む)	144 100.0	44 30.6	49 34.0	19 13.2	3 2.1	2 1.4	1 0.7	3 2.1	2 1.4	21 14.6
	その他	36 100.0	13 36.1	17 47.2	4 11.1	-	-	1 2.8	-	-	1 2.8
同居人数別	0人(独居)	78 100.0	31 39.7	26 33.3	4 5.1	2 2.6	-	1 1.3	1 1.3	1 1.3	12 15.4
	1人	167 100.0	44 26.3	70 41.9	20 12.0	6 3.6	1 0.6	1 0.6	4 2.4	2 1.2	19 11.4
	2人	131 100.0	45 34.4	55 42.0	18 13.7	2 1.5	1 0.8	-	2 1.5	1 0.8	7 5.3
	3人	93 100.0	37 39.8	38 40.9	10 10.8	2 2.2	1 1.1	1 1.1	1 1.1	-	3 3.2
	4人	49 100.0	17 34.7	18 36.7	6 12.2	-	1 2.0	2 4.1	1 2.0	-	4 8.2
	5人	24 100.0	8 33.3	10 41.7	-	2 8.3	-	-	-	1 4.2	3 12.5
	6人以上	13 100.0	2 15.4	9 69.2	2 15.4	-	-	-	-	-	-
同居家族の 該当者別	3歳以下の乳幼児	17 100.0	5 29.4	9 52.9	1 5.9	1 5.9	-	-	-	-	1 5.9
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	18 100.0	5 27.8	10 55.6	1 5.6	1 5.6	-	-	-	-	1 5.6
	小学生	39 100.0	14 35.9	18 46.2	4 10.3	1 2.6	-	-	1 2.6	-	1 2.6
	70歳以上の人	237 100.0	61 25.7	101 42.6	32 13.5	8 3.4	3 1.3	3 1.3	4 1.7	2 0.7	22 9.3
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	40 100.0	12 30.0	14 35.0	10 25.0	-	-	-	-	-	4 10.0
	妊娠婦	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3
	該当者はいない	200 100.0	72 36.0	83 41.5	19 9.5	5 2.5	1 0.5	1 0.5	5 2.5	-	14 7.0
区域予測 区域別	浸水予測区域内	283 100.0	104 36.7	109 38.5	29 10.2	5 1.8	4 1.4	2 0.7	5 1.8	2 0.7	23 8.1
	浸水予測区域外	265 100.0	78 29.4	111 41.9	31 11.7	9 3.4	-	3 1.1	4 1.5	3 1.1	26 9.8

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問34 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助をしていますがご存知ですか。(ひとっだけ○)

		調査数	(1) 知 つ て い る	(2) 知 ら な い	(3) む す で に 利 用 し た (利 用 中 を 含 む)	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位	2位		
前回調査(R3)		1,779 100.0	313 17.6	1,435 80.7	6 0.3	25 1.4
全体		1,516 100.0	406 26.8	1,036 68.3	5 0.3	69 4.6
性別	男性	627 100.0	195 31.1	411 65.6	3 0.5	18 2.9
	女性	860 100.0	204 23.7	604 70.2	2 0.2	50 5.8
	回答しない	18 100.0	4 22.2	14 77.8	-	-
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	6 85.7	-	-
	20歳代	97 100.0	16 16.5	77 79.4	-	4 4.1
	30歳代	151 100.0	35 23.2	115 76.2	-	1 0.7
	40歳代	216 100.0	48 22.2	164 75.9	-	4 1.9
	50歳代	278 100.0	74 26.6	193 69.4	1 0.4	10 3.6
	60歳代	331 100.0	93 28.1	224 67.7	1 0.3	13 3.9
	70歳以上	426 100.0	137 32.2	250 58.7	3 0.7	36 8.5
職業別	農林業	63 100.0	21 33.3	40 63.5	-	2 3.2
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	21 31.8	43 65.2	1 1.5	1 1.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	144 26.8	379 70.6	-	14 2.6
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	7 23.3	23 76.7	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	38 23.5	111 68.5	-	13 8.0
	パート、アルバイト	189 100.0	40 21.2	137 72.5	-	12 6.3
	学生	21 100.0	2 9.5	19 90.5	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	102 30.7	205 61.7	2 0.6	23 6.9
	その他	94 100.0	24 25.5	66 70.2	2 2.1	2 2.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	65 27.9	154 66.1	-	14 6.0
	1人	441 100.0	125 28.3	293 66.4	-	23 5.2
	2人	324 100.0	94 29.0	211 65.1	2 0.6	17 5.2
	3人	253 100.0	61 24.1	186 73.5	1 0.4	5 2.0
	4人	152 100.0	34 22.4	111 73.0	1 0.7	6 3.9
	5人	55 100.0	14 25.5	39 70.9	-	2 3.6
	6人以上	35 100.0	7 20.0	28 80.0	-	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	19 24.4	56 71.8	-	3 3.8
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	18 24.7	54 74.0	-	1 1.4
	小学生	146 100.0	29 19.9	110 75.3	-	7 4.8
	70歳以上の人	491 100.0	145 29.5	317 64.6	3 0.6	26 5.3
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	17 18.3	71 76.3	1 1.1	4 4.3
	妊娠婦	9 100.0	1 11.1	8 88.9	-	-
	該当者はいない	587 100.0	153 26.1	408 69.5	1 0.2	25 4.3
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	207 29.7	454 65.2	2 0.3	33 4.7
	浸水予測区域外	779 100.0	195 25.0	550 70.6	3 0.4	31 4.0

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問34で「1. 知っている」、「3. すでに利用した(利用中を含む)」と回答した人におたずねします。

問35 どのようにして、この補助金制度を知りましたか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) ポスター、パンフレット	(2) 知人、親族から聞いて	(3) 務市所町等村の役職員、か工務店、設計事務所	(4) イベント、講演会	(5) 新聞、広告、広報誌	(6) テレビ、ラジオ	(7) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		319 100.0	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9
全体		411 100.0	117 28.5	76 18.5	95 23.1	13 3.2	139 33.8	102 24.8	10 2.4	23 5.6
性別	男性	198 100.0	55 27.8	26 13.1	58 29.3	5 2.5	68 34.3	56 28.3	5 2.5	13 6.6
	女性	206 100.0	59 28.6	49 23.8	36 17.5	8 3.9	68 33.0	45 21.8	5 2.4	9 4.4
	回答しない	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	-	-	-
年代別	10歳代	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	16 100.0	3 18.8	1 6.3	4 25.0	-	4 25.0	5 31.3	1 6.3	-
	30歳代	35 100.0	14 40.0	8 22.9	5 14.3	1 2.9	5 14.3	6 17.1	1 2.9	3 8.6
	40歳代	48 100.0	14 29.2	9 18.8	10 20.8	1 2.1	14 29.2	13 27.1	1 2.1	2 4.2
	50歳代	75 100.0	25 33.3	14 18.7	15 20.0	5 6.7	27 36.0	21 28.0	2 2.7	1 1.3
	60歳代	94 100.0	27 28.7	18 19.1	24 25.5	-	34 36.2	17 18.1	2 2.1	6 6.4
	70歳以上	140 100.0	32 22.9	26 18.6	37 26.4	6 4.3	54 38.6	39 27.9	3 2.1	11 7.9
職業別	農林業	21 100.0	7 33.3	1 4.8	3 14.3	-	9 42.9	8 38.1	-	1 4.8
	漁業	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3
	商工サービス業自営	22 100.0	3 13.6	5 22.7	9 40.9	2 9.1	6 27.3	5 22.7	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	144 100.0	45 31.3	26 18.1	33 22.9	4 2.8	47 32.6	34 23.6	7 4.9	7 4.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3
	主婦・主夫	38 100.0	11 28.9	8 21.1	4 10.5	2 5.3	16 42.1	12 31.6	-	3 7.9
	パート、アルバイト	40 100.0	14 35.0	9 22.5	8 20.0	-	13 32.5	9 22.5	1 2.5	1 2.5
	学生	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	104 100.0	27 26.0	24 23.1	25 24.0	3 2.9	38 36.5	21 20.2	2 1.9	8 7.7
	その他	26 100.0	7 26.9	1 3.8	9 34.6	2 7.7	7 26.9	7 26.9	-	1 3.8
同居人数別	0人(独居)	65 100.0	17 26.2	15 23.1	11 16.9	1 1.5	21 32.3	16 24.6	-	3 4.6
	1人	125 100.0	30 24.0	23 18.4	25 20.0	2 1.6	49 39.2	40 32.0	2 1.6	7 5.6
	2人	96 100.0	31 32.3	14 14.6	26 27.1	7 7.3	29 30.2	25 26.0	3 3.1	5 5.2
	3人	62 100.0	23 37.1	9 14.5	17 27.4	-	21 33.9	6 9.7	3 4.8	2 3.2
	4人	35 100.0	7 20.0	7 20.0	8 22.9	1 2.9	11 31.4	9 25.7	-	2 5.7
	5人	14 100.0	5 35.7	4 28.6	3 21.4	2 14.3	5 35.7	3 21.4	2 14.3	1 7.1
	6人以上	7 100.0	2 28.6	3 42.9	4 57.1	-	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	19 100.0	7 36.8	1 5.3	3 15.8	-	6 31.6	8 42.1	-	1 5.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	18 100.0	9 50.0	5 27.8	3 16.7	1 5.6	5 27.8	4 22.2	1 5.6	-
	小学生	29 100.0	11 37.9	5 17.2	5 17.2	3 10.3	7 24.1	7 24.1	1 3.4	2 6.9
	70歳以上の人	148 100.0	41 27.7	27 18.2	40 27.0	5 3.4	49 33.1	38 25.7	3 2.0	9 6.1
	日常生活で介護や支援を必要とする人	18 100.0	7 38.9	3 16.7	5 27.8	1 5.6	6 33.3	6 33.3	1 5.6	-
	妊娠婦	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	154 100.0	42 27.3	33 21.4	37 24.0	4 2.6	55 35.7	38 24.7	4 2.6	5 3.2
区域予測	浸水予測区域内	209 100.0	63 30.1	39 18.7	51 24.4	9 4.3	67 32.1	55 26.3	5 2.4	12 5.7
	浸水予測区域外	198 100.0	54 27.3	36 18.2	43 21.7	4 2.0	71 35.9	46 23.2	5 2.5	11 5.6

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 相談できる 環境の整備 など、気軽に	(2) 補助窓の 設置など、 全体的な 配布など、 明法に よる	(3) 専門家による 無料点検の 実施	(4) 信頼できる 工事業者の 紹介	(5) 解体する 場合は、 補助金など の活用、 工事費の 軽減	(6) 個人で 行うので、 行政は 何も すべ	(7) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		1,779 100.0	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	33 1.9	46 2.6	62 3.5
全体		1,516 100.0	645 42.5	702 46.3	835 55.1	493 32.5	597 39.4	17 1.1	38 2.5	98 6.5
性別	男性	627 100.0	280 44.7	287 45.8	316 50.4	185 29.5	244 38.9	12 1.9	10 1.6	35 5.6
	女性	860 100.0	352 40.9	407 47.3	508 59.1	302 35.1	345 40.1	4 0.5	27 3.1	59 6.9
	回答しない	18 100.0	9 50.0	6 33.3	5 27.8	6 33.3	6 33.3	1 5.6	1 5.6	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	3 42.9	3 42.9	2 28.6	3 42.9	1 14.3	-	-
	20歳代	97 100.0	40 41.2	51 52.6	49 50.5	44 45.4	43 44.3	2 2.1	2 2.1	2 2.1
	30歳代	151 100.0	71 47.0	81 53.6	79 52.3	55 36.4	68 45.0	-	7 4.6	1 0.7
	40歳代	216 100.0	92 42.6	118 54.6	112 51.9	84 38.9	95 44.0	4 1.9	6 2.8	11 5.1
	50歳代	278 100.0	125 45.0	131 47.1	159 57.2	101 36.3	123 44.2	7 2.5	4 1.4	11 4.0
	60歳代	331 100.0	150 45.3	164 49.5	195 58.9	117 35.3	135 40.8	1 0.3	8 2.4	18 5.4
	70歳以上	426 100.0	161 37.8	151 35.4	232 54.5	89 20.9	128 30.0	2 0.5	11 2.6	53 12.4
職業別	農林業	63 100.0	21 33.3	27 42.9	25 39.7	13 20.6	22 34.9	1 1.6	-	6 9.5
	漁業	3 100.0	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	32 48.5	28 42.4	36 54.5	22 33.3	26 39.4	2 3.0	-	4 6.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	220 41.0	291 54.2	280 52.1	199 37.1	236 43.9	5 0.9	13 2.4	14 2.6
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	16 53.3	16 53.3	17 56.7	11 36.7	10 33.3	1 3.3	1 3.3	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	65 40.1	63 38.9	102 63.0	48 29.6	57 35.2	1 0.6	3 1.9	12 7.4
	パート、アルバイト	189 100.0	87 46.0	87 46.0	109 57.7	71 37.6	81 42.9	-	7 3.7	14 7.4
	学生	21 100.0	7 33.3	10 47.6	10 47.6	8 38.1	9 42.9	3 14.3	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	134 40.4	130 39.2	185 55.7	87 26.2	106 31.9	1 0.3	8 2.4	37 11.1
	その他	94 100.0	50 53.2	40 42.6	59 62.8	30 31.9	42 44.7	2 2.1	5 5.3	7 7.4
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	99 42.5	103 44.2	111 47.6	74 31.8	75 32.2	3 1.3	7 3.0	21 9.0
	1人	441 100.0	173 39.2	206 46.7	248 56.2	131 29.7	169 38.3	2 0.5	9 2.0	29 6.6
	2人	324 100.0	145 44.8	147 45.4	188 58.0	109 33.6	134 41.4	3 0.9	9 2.8	19 5.9
	3人	253 100.0	112 44.3	118 46.6	143 56.5	98 38.7	107 42.3	7 2.8	6 2.4	9 3.6
	4人	152 100.0	67 44.1	72 47.4	75 49.3	48 31.6	67 44.1	2 1.3	4 2.6	10 6.6
	5人	55 100.0	25 45.5	32 58.2	37 67.3	19 34.5	27 49.1	-	2 3.6	2 3.6
	6人以上	35 100.0	17 48.6	17 48.6	20 57.1	12 34.3	15 42.9	-	-	3 8.6
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	36 46.2	41 52.6	41 52.6	31 39.7	32 41.0	1 1.3	2 2.6	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	31 42.5	47 64.4	43 58.9	22 30.1	29 39.7	-	1 1.4	-
	小学生	146 100.0	68 46.6	76 52.1	88 60.3	59 40.4	69 47.3	2 1.4	7 4.8	6 4.1
	70歳以上の人	491 100.0	204 41.5	207 42.2	285 58.0	148 30.1	188 38.3	5 1.0	10 2.0	36 7.3
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	42 45.2	47 50.5	48 51.6	38 40.9	33 35.5	-	2 2.2	7 7.5
	妊娠婦	9 100.0	1 11.1	7 77.8	8 88.9	3 33.3	4 44.4	-	-	-
	該当者はいない	587 100.0	245 41.7	275 46.8	331 56.4	192 32.7	250 42.6	8 1.4	10 1.7	34 5.8
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	294 42.2	327 47.0	387 55.6	214 30.7	281 40.4	9 1.3	18 2.6	44 6.3
	浸水予測区域外	779 100.0	335 43.0	361 46.3	431 55.3	270 34.7	300 38.5	7 0.9	20 2.6	49 6.3

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問37 「昭和56年5月以前の木造住宅」にお住まいの方におたずねします。(増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。)

問37 専門家による耐震診断(地震の揺れに対する建物の強さの診断)を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) れな診 たく断 耐を 震受 改け 修た が結 果必 要、 と耐 診震 断性 さが	(2) 断あ診 さり断 れ耐を た震受 改け 修た は結 果必 要、 な耐 い震 と性 診が	(3) 診 断を 受 け た こ と は な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
		1位				
		2位				
前回調査(R3)		424 100.0	106 25.0	9 2.1	304 71.7	5 1.2
全体		657 100.0	144 21.9	28 4.3	485 73.8	-
性別	男性	278 100.0	58 20.9	11 4.0	209 75.2	-
	女性	367 100.0	83 22.6	17 4.6	267 72.8	-
	回答しない	8 100.0	2 25.0	-	6 75.0	-
年代別	10歳代	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-
	20歳代	45 100.0	7 15.6	3 6.7	35 77.8	-
	30歳代	58 100.0	7 12.1	2 3.4	49 84.5	-
	40歳代	94 100.0	20 21.3	6 6.4	68 72.3	-
	50歳代	97 100.0	14 14.4	3 3.1	80 82.5	-
	60歳代	139 100.0	36 25.9	6 4.3	97 69.8	-
	70歳以上	218 100.0	59 27.1	7 3.2	152 69.7	-
職業別	農林業	41 100.0	8 19.5	-	33 80.5	-
	漁業	3 100.0	1 33.3	-	2 66.7	-
	商工サービス業自営	29 100.0	6 20.7	-	23 79.3	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	196 100.0	30 15.3	10 5.1	156 79.6	-
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	13 100.0	3 23.1	-	10 76.9	-
	主婦・主夫	74 100.0	18 24.3	5 6.8	51 68.9	-
	パート、アルバイト	81 100.0	15 18.5	2 2.5	64 79.0	-
	学生	7 100.0	2 28.6	2 28.6	3 42.9	-
	無職(すでに退職を含 む)	164 100.0	46 28.0	6 3.7	112 68.3	-
	その他	42 100.0	12 28.6	3 7.1	27 64.3	-
同居人数別	0人(独居)	109 100.0	18 16.5	3 2.8	88 80.7	-
	1人	167 100.0	40 24.0	3 1.8	124 74.3	-
	2人	143 100.0	36 25.2	5 3.5	102 71.3	-
	3人	111 100.0	24 21.6	6 5.4	81 73.0	-
	4人	71 100.0	19 26.8	5 7.0	47 66.2	-
	5人	31 100.0	3 9.7	2 6.5	26 83.9	-
	6人以上	15 100.0	2 13.3	-	13 86.7	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	22 100.0	2 9.1	2 9.1	18 81.8	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	21 100.0	3 14.3	2 9.5	16 76.2	-
	小学生	58 100.0	7 12.1	2 3.4	49 84.5	-
	70歳以上の人	254 100.0	69 27.2	10 3.9	175 68.9	-
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	45 100.0	13 28.9	1 2.2	31 68.9	-
	妊産婦	4 100.0	-	-	4 100.0	-
	該当者はいない	219 100.0	42 19.2	9 4.1	168 76.7	-
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	337 100.0	82 24.3	11 3.3	244 72.4	-
	浸水予測区域外	299 100.0	60 20.1	15 5.0	224 74.9	-

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問37で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

問38 耐震診断は補助制度を利用すると、3千円以下で行えますが、住宅の耐震診断を受けていない理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) ラ自分 フ地が 震は生 きてい る間に 南海ト	(2) る自宅 が地震 に強い と思っ てい	(3) る自宅 が地震 に弱い と思っ てい	(4) け申し など込 み手続 きやか がる部 屋の片 づ	(5) 耐震診 断の費 用がか かる	(6) い耐震 診断の やり方 がわか らな	(7) る定近 つても 、うち の時に はフオ ーム耐 震診断 する予	(8) で近 いうち に建て 替える つもり	(9) が耐震 額な診 断で断 る必要 がない な、耐 震も改 修工事	(10) 害へど は避け るため に大耐 震波化 し、に ても大 地被害
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位 2位										
前回調査(R3)		304 100.0	24 7.9	10 3.3	57 18.8	63 20.7	87 28.6	68 22.4	9 3.0	14 4.6	97 31.9	68 22.4
全体		485 100.0	17 3.5	34 7.0	57 11.8	115 23.7	83 17.1	101 20.8	9 1.9	10 2.1	126 26.0	99 20.4
性別	男性	209 100.0	11 5.3	15 7.2	25 12.0	51 24.4	40 19.1	37 17.7	6 2.9	7 3.3	58 27.8	49 23.4
	女性	267 100.0	6 2.2	18 6.7	32 12.0	61 22.8	41 15.4	62 23.2	3 1.1	3 1.1	68 25.5	47 17.6
	回答しない	6 100.0	-	-	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	-	2 33.3
年代別	10歳代	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
	20歳代	35 100.0	-	3 8.6	4 11.4	10 28.6	7 20.0	13 37.1	1 2.9	1 2.9	3 8.6	8 22.9
	30歳代	49 100.0	1 2.0	3 6.1	3 6.1	13 26.5	9 18.4	10 20.4	-	1 2.0	6 12.2	8 16.3
	40歳代	68 100.0	1 1.5	5 7.4	5 7.4	16 23.5	11 16.2	15 22.1	2 2.9	4 5.9	11 16.2	7 10.3
	50歳代	80 100.0	-	3 3.8	9 11.3	22 27.5	12 15.0	20 25.0	2 2.5	2 2.5	23 28.8	14 17.5
	60歳代	97 100.0	5 5.2	7 7.2	12 12.4	19 19.6	12 12.4	13 13.4	4 4.1	-	36 37.1	23 23.7
	70歳以上	152 100.0	10 6.6	12 7.9	24 15.8	35 23.0	31 20.4	30 19.7	-	2 1.3	47 30.9	38 25.0
職業別	農林業	33 100.0	1 3.0	2 6.1	4 12.1	6 18.2	4 12.1	4 12.1	1 3.0	1 3.0	14 42.4	7 21.2
	漁業	2 100.0	-	-	-	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-
	商工サービス業自営	23 100.0	4 17.4	2 8.7	4 17.4	4 17.4	2 8.7	1 4.3	2 8.7	-	4 17.4	8 34.8
	会社員(役員を含む)、 公務員	156 100.0	3 1.9	7 4.5	16 10.3	41 26.3	24 15.4	35 22.4	4 2.6	8 5.1	31 19.9	21 13.5
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	10 100.0	-	-	1 10.0	2 20.0	2 20.0	-	-	1 10.0	3 30.0	2 20.0
	主婦・主夫	51 100.0	2 3.9	2 3.9	6 11.8	14 27.5	6 11.8	17 33.3	1 2.0	-	12 23.5	9 17.6
	パート、アルバイト	64 100.0	1 1.6	3 4.7	10 15.6	13 20.3	10 15.6	11 17.2	-	-	16 25.0	18 28.1
	学生	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	112 100.0	5 4.5	13 11.6	15 13.4	24 21.4	23 20.5	19 17.0	-	-	39 34.8	23 20.5
	その他	27 100.0	1 3.7	4 14.8	-	9 33.3	9 33.3	12 44.4	1 3.7	-	5 18.5	10 37.0
同居人数別	0人(独居)	88 100.0	7 8.0	3 3.4	11 12.5	19 21.6	15 17.0	13 14.8	2 2.3	1 1.1	24 27.3	19 21.6
	1人	124 100.0	8 6.5	12 9.7	16 12.9	27 21.8	16 12.9	26 21.0	-	2 1.6	37 29.8	26 21.0
	2人	102 100.0	-	4 3.9	13 12.7	29 28.4	16 15.7	23 22.5	3 2.9	1 1.0	25 24.5	20 19.6
	3人	81 100.0	2 2.5	4 4.9	10 12.3	24 29.6	16 19.8	18 22.2	3 3.7	3 3.7	23 28.4	17 21.0
	4人	47 100.0	-	5 10.6	2 4.3	8 17.0	6 12.8	10 21.3	-	2 4.3	2 4.3	8 17.0
	5人	26 100.0	-	4 15.4	5 19.2	4 15.4	7 26.9	5 19.2	-	-	10 38.5	6 23.1
	6人以上	13 100.0	-	1 7.7	-	4 30.8	6 46.2	6 46.2	-	1 7.7	5 38.5	3 23.1
同居家族の 該当者別	3歳以下の乳幼児	18 100.0	-	1 5.6	2 11.1	3 16.7	3 16.7	5 27.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	16 100.0	-	-	1 6.3	-	2 12.5	4 25.0	1 6.3	-	3 18.8	1 6.3
	小学生	49 100.0	-	2 4.1	3 6.1	6 12.2	8 16.3	9 18.4	1 2.0	4 8.2	9 18.4	6 12.2
	70歳以上の人	175 100.0	6 3.4	16 9.1	19 10.9	49 28.0	36 20.6	47 26.9	1 0.6	2 1.1	55 31.4	42 24.0
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	31 100.0	-	4 12.9	2 6.5	10 32.3	9 29.0	8 25.8	1 3.2	-	14 45.2	5 16.1
	妊娠婦	4 100.0	-	-	2 50.0	2 50.0	-	2 50.0	-	-	-	2 50.0
	該当者はいない	168 100.0	2 1.2	11 6.5	24 14.3	40 23.8	29 17.3	33 19.6	1 0.6	3 1.8	41 24.4	30 17.9
区域予測 別	浸水予測区域内	244 100.0	9 3.7	15 6.1	25 10.2	55 22.5	48 19.7	55 22.5	5 2.0	5 2.0	68 27.9	51 20.9
	浸水予測区域外	224 100.0	8 3.6	18 8.0	30 13.4	54 24.1	32 14.3	41 18.3	3 1.3	5 2.2	57 25.4	45 20.1

(11)

その他	無回答
50	9
16.4	3.0
93	38
19.2	7.8
35	13
16.7	6.2
55	25
20.6	9.4
2	-
33.3	-
1	-
50.0	-
3	3
8.6	8.6
8	8
16.3	16.3
13	5
19.1	7.4
21	5
26.3	6.3
21	7
21.6	7.2
25	10
16.4	6.6
5	1
15.2	3.0
-	-
-	-
4	2
17.4	8.7
32	16
20.5	10.3
2	2
20.0	20.0
8	4
15.7	7.8
14	2
21.9	3.1
1	-
33.3	-
20	11
17.9	9.8
6	-
22.2	-
25	6
28.4	6.8
24	6
19.4	4.8
16	8
15.7	7.8
14	5
17.3	6.2
8	9
17.0	19.1
4	1
15.4	3.8
1	2
7.7	15.4
3	4
16.7	22.2
3	4
18.8	25.0
10	11
20.4	22.4
19	9
10.9	5.1
5	2
16.1	6.5
1	1
25.0	25.0
42	10
25.0	6.0
42	17
17.2	7.0
49	17
21.9	7.6

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問37で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

問39 耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 耐震改修工事を行った	(2) また後は、耐震で改修工事を行う予定	(3) 耐震改修工事も建て替えも行	(4) 検討中	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
前回調査(R3)		106 100.0	69 65.1	8 7.5	19 17.9	9 8.5	1 0.9
全体		144 100.0	86 59.7	14 9.7	23 16.0	12 8.3	9 6.3
性別	男性	58 100.0	34 58.6	8 13.8	10 17.2	4 6.9	2 3.4
	女性	83 100.0	51 61.4	6 7.2	13 15.7	7 8.4	6 7.2
	回答しない	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-
年代別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3
	30歳代	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-
	40歳代	20 100.0	13 65.0	4 20.0	2 10.0	1 5.0	-
	50歳代	14 100.0	9 64.3	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1
	60歳代	36 100.0	26 72.2	3 8.3	5 13.9	1 2.8	1 2.8
	70歳以上	59 100.0	31 52.5	4 6.8	12 20.3	7 11.9	5 8.5
職業別	農林業	8 100.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5	-	1 12.5
	漁業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	商工サービス業自営	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	30 100.0	20 66.7	6 20.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-
	主婦・主夫	18 100.0	12 66.7	1 5.6	1 5.6	1 5.6	3 16.7
	パート、アルバイト	15 100.0	12 80.0	-	2 13.3	-	1 6.7
	学生	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
	無職(すでに退職を含む)	46 100.0	23 50.0	2 4.3	12 26.1	8 17.4	1 2.2
	その他	12 100.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-
同居人数別	0人(独居)	18 100.0	7 38.9	1 5.6	5 27.8	2 11.1	3 16.7
	1人	40 100.0	25 62.5	5 12.5	7 17.5	1 2.5	2 5.0
	2人	36 100.0	24 66.7	3 8.3	3 8.3	4 11.1	2 5.6
	3人	24 100.0	15 62.5	2 8.3	4 16.7	3 12.5	-
	4人	19 100.0	10 52.6	2 10.5	4 21.1	2 10.5	1 5.3
	5人	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	6人以上	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	小学生	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-	-
	70歳以上の人	69 100.0	39 56.5	7 10.1	10 14.5	9 13.0	4 5.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	13 100.0	6 46.2	4 30.8	3 23.1	-	-
	妊娠婦	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	42 100.0	29 69.0	4 9.5	7 16.7	1 2.4	1 2.4
浸水予測別	浸水予測区域内	82 100.0	55 67.1	7 8.5	9 11.0	3 3.7	8 9.8
	浸水予測区域外	60 100.0	30 50.0	7 11.7	13 21.7	9 15.0	1 1.7

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問39で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

問40 耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 費用が高い	(2) 申込み手続きに手間がかかる	(3) 家の中に他人に入ってほしく	(4) 工事中の生活に支障が出る	(5) だ工事に伴う荷物の移動が面倒	(6) 信頼できる業者を知らない	(7) 害(どはまなはにら大耐震な波しい)にてもう大ば地震	(8) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位											
前回調査(R3)		28 100.0	21 75.0	6 21.4	5 17.9	10 35.7	8 28.6	5 17.9	7 25.0	6 21.4	1 3.6
全体		35 100.0	22 62.9	4 11.4	2 5.7	5 14.3	8 22.9	1 2.9	8 22.9	5 14.3	3 8.6
性別	男性	14 100.0	8 57.1	2 14.3	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	2 14.3	-	3 21.4
	女性	20 100.0	13 65.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	5 25.0	-	6 30.0	5 25.0	-
	回答しない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3
	50歳代	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	-
	60歳代	6 100.0	4 66.7	-	-	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7
	70歳以上	19 100.0	11 57.9	2 10.5	1 5.3	4 21.1	7 36.8	1 5.3	7 36.8	3 15.8	1 5.3
職業別	農林業	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	主婦・主夫	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-
	パート、アルバイト	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	20 100.0	11 55.0	4 20.0	2 10.0	5 25.0	8 40.0	1 5.0	6 30.0	3 15.0	1 5.0
	その他	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-
同居人数別	0人(独居)	7 100.0	5 71.4	2 28.6	2 28.6	3 42.9	3 42.9	-	4 57.1	1 14.3	-
	1人	8 100.0	6 75.0	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-
	2人	7 100.0	3 42.9	1 14.3	-	-	2 28.6	-	-	3 42.9	-
	3人	7 100.0	3 42.9	1 14.3	-	-	1 14.3	-	1 14.3	-	2 28.6
	4人	6 100.0	5 83.3	-	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-	1 16.7
	5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上の人	19 100.0	11 57.9	2 10.5	-	2 10.5	5 26.3	1 5.3	4 21.1	3 15.8	1 5.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	3 100.0	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-
	妊産婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	8 100.0	4 50.0	-	-	-	-	-	-	2 25.0	2 25.0
浸水予測区域別	浸水予測区域内	12 100.0	9 75.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	2 16.7	-	3 25.0	1 8.3	2 16.7
	浸水予測区域外	22 100.0	13 59.1	2 9.1	-	3 13.6	6 27.3	1 4.5	4 18.2	4 18.2	1 4.5

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問41 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事に係る費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	(3) すでに利用した (利用中含)	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位	2位		
前回調査(R3)		492 100.0	272 55.3	175 35.6	32 6.5	13 2.6
全体		869 100.0	480 55.2	343 39.5	46 5.3	-
性別	男性	350 100.0	198 56.6	138 39.4	14 4.0	-
	女性	505 100.0	276 54.7	197 39.0	32 6.3	-
	回答しない	11 100.0	4 36.4	7 63.6	-	-
年代別	10歳代	6 100.0	2 33.3	4 66.7	-	-
	20歳代	60 100.0	18 30.0	40 66.7	2 3.3	-
	30歳代	80 100.0	34 42.5	44 55.0	2 2.5	-
	40歳代	122 100.0	64 52.5	53 43.4	5 4.1	-
	50歳代	164 100.0	87 53.0	70 42.7	7 4.3	-
	60歳代	183 100.0	116 63.4	58 31.7	9 4.9	-
	70歳以上	252 100.0	157 62.3	74 29.4	21 8.3	-
職業別	農林業	46 100.0	37 80.4	9 19.6	-	-
	漁業	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-
	商工サービス業自営	40 100.0	26 65.0	13 32.5	1 2.5	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	280 100.0	143 51.1	129 46.1	8 2.9	-
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	19 100.0	5 26.3	12 63.2	2 10.5	-
	主婦・主夫	94 100.0	53 56.4	29 30.9	12 12.8	-
	パート、アルバイト	110 100.0	58 52.7	47 42.7	5 4.5	-
	学生	11 100.0	2 18.2	8 72.7	1 9.1	-
	無職(すでに退職を含む)	192 100.0	110 57.3	68 35.4	14 7.3	-
	その他	64 100.0	36 56.3	27 42.2	1 1.6	-
同居人数別	0人(独居)	146 100.0	83 56.8	58 39.7	5 3.4	-
	1人	236 100.0	139 58.9	79 33.5	18 7.6	-
	2人	179 100.0	109 60.9	61 34.1	9 5.0	-
	3人	151 100.0	73 48.3	70 46.4	8 5.3	-
	4人	90 100.0	46 51.1	40 44.4	4 4.4	-
	5人	36 100.0	17 47.2	17 47.2	2 5.6	-
	6人以上	22 100.0	8 36.4	14 63.6	-	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	39 100.0	17 43.6	21 53.8	1 2.6	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	37 100.0	21 56.8	14 37.8	2 5.4	-
	小学生	76 100.0	37 48.7	35 46.1	4 5.3	-
	70歳以上の人	304 100.0	175 57.6	110 36.2	19 6.3	-
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	59 100.0	32 54.2	21 35.6	6 10.2	-
	妊娠婦	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	-
	該当者はいない	311 100.0	172 55.3	126 40.5	13 4.2	-
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	410 100.0	237 57.8	144 35.1	29 7.1	-
	浸水予測区域外	437 100.0	236 54.0	184 42.1	17 3.9	-

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

問42 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの費用なら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
		調査数	0円	10万円まで	20万円まで	30万円まで	40万円まで	50万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=														
		1位												
		2位												
前回調査(R3)		492 100.0	102 20.7	106 21.5	76 15.4	-	54 11.0	-	27 5.5	11 2.2	47 9.6	26 5.3	43 8.7	
全体		775 100.0	170 21.9	229 29.5	86 11.1	64 8.3	10 1.3	105 13.5	6 0.8	8 1.0	61 7.9	36 4.6	-	
性別	男性	317 100.0	85 26.8	84 26.5	32 10.1	21 6.6	4 1.3	45 14.2	3 0.9	1 0.3	24 7.6	18 5.7	-	
	女性	447 100.0	82 18.3	142 31.8	53 11.9	42 9.4	5 1.1	60 13.4	3 0.7	6 1.3	36 8.1	18 4.0	-	
	回答しない	10 100.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-	1 10.0	1 10.0	-	-	
年代別	10歳代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-	
	20歳代	55 100.0	9 16.4	23 41.8	7 12.7	4 7.3	1 1.8	9 16.4	1 1.8	-	1 1.8	-	-	
	30歳代	78 100.0	21 26.9	22 28.2	8 10.3	3 3.8	-	18 23.1	-	1 1.3	3 3.8	2 2.6	-	
	40歳代	123 100.0	32 26.0	39 31.7	13 10.6	8 6.5	1 0.8	20 16.3	1 0.8	-	6 4.9	3 2.4	-	
	50歳代	150 100.0	37 24.7	44 29.3	18 12.0	12 8.0	3 2.0	13 8.7	-	4 2.7	17 11.3	2 1.3	-	
	60歳代	161 100.0	29 18.0	51 31.7	17 10.6	17 10.6	1 0.6	22 13.7	-	1 0.6	13 8.1	10 6.2	-	
	70歳以上	202 100.0	41 20.3	49 24.3	22 10.9	19 9.4	4 2.0	23 11.4	4 2.0	2 1.0	21 10.4	17 8.4	-	
	職業別	農林業	40 100.0	9 22.5	14 35.0	6 15.0	1 2.5	-	4 10.0	-	1 2.5	3 7.5	2 5.0	-
漁業		2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	
商工サービス業自営		35 100.0	6 17.1	11 31.4	3 8.6	2 5.7	-	8 22.9	-	-	2 5.7	3 8.6	-	
会社員(役員を含む)、公務員		268 100.0	58 21.6	80 29.9	32 11.9	19 7.1	3 1.1	40 14.9	1 0.4	4 1.5	24 9.0	7 2.6	-	
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		20 100.0	3 15.0	7 35.0	3 15.0	-	-	5 25.0	-	-	1 5.0	1 5.0	-	
主婦・主夫		82 100.0	12 14.6	26 31.7	8 9.8	9 11.0	3 3.7	9 11.0	1 1.2	-	7 8.5	7 8.5	-	
パート、アルバイト		102 100.0	25 24.5	33 32.4	11 10.8	10 9.8	3 2.9	12 11.8	1 1.0	-	7 6.9	-	-	
学生		9 100.0	2 22.2	2 22.2	3 33.3	-	-	-	-	-	-	2 22.2	-	
無職(すでに退職を含む)		156 100.0	40 25.6	35 22.4	13 8.3	17 10.9	1 0.6	19 12.2	3 1.9	1 0.6	13 8.3	14 9.0	-	
その他		52 100.0	11 21.2	19 36.5	7 13.5	5 9.6	-	7 13.5	-	1 1.9	2 3.8	-	-	
同居人数別		0人(独居)	123 100.0	37 30.1	33 26.8	17 13.8	8 6.5	-	14 11.4	-	1 0.8	8 6.5	5 4.1	-
		1人	208 100.0	41 19.7	63 30.3	16 7.7	22 10.6	3 1.4	24 11.5	3 1.4	3 1.4	21 10.1	12 5.8	-
	2人	167 100.0	30 18.0	49 29.3	22 13.2	10 6.0	2 1.2	29 17.4	2 1.2	1 0.6	14 8.4	8 4.8	-	
	3人	136 100.0	31 22.8	38 27.9	13 9.6	15 11.0	1 0.7	17 12.5	-	3 2.2	11 8.1	7 5.1	-	
	4人	83 100.0	16 19.3	28 33.7	10 12.0	4 4.8	3 3.6	12 14.5	1 1.2	-	5 6.0	4 4.8	-	
	5人	33 100.0	10 30.3	8 24.2	4 12.1	2 6.1	1 3.0	6 18.2	-	-	2 6.1	-	-	
	6人以上	19 100.0	5 26.3	8 42.1	3 15.8	2 10.5	-	1 5.3	-	-	-	-	-	
	同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	37 100.0	7 18.9	11 29.7	4 10.8	2 5.4	-	8 21.6	-	1 2.7	3 8.1	1 2.7	-
4歳以上で小学校入学前の子ども		34 100.0	3 8.8	14 41.2	3 8.8	2 5.9	-	4 11.8	-	-	6 17.6	2 5.9	-	
小学生		69 100.0	14 20.3	26 37.7	12 17.4	4 5.8	-	9 13.0	-	-	3 4.3	1 1.4	-	
70歳以上の人		270 100.0	51 18.9	71 26.3	36 13.3	29 10.7	5 1.9	38 14.1	1 0.4	1 0.4	20 7.4	18 6.7	-	
日常生活で介護や支援を必要とする人		49 100.0	12 24.5	13 26.5	9 18.4	4 8.2	2 4.1	5 10.2	-	1 2.0	2 4.1	1 2.0	-	
妊産婦		5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	
該当者はいない		287 100.0	69 24.0	92 32.1	25 8.7	20 7.0	5 1.7	35 12.2	5 1.7	3 1.0	23 8.0	10 3.5	-	
浸水予測別		浸水予測区域内	371 100.0	82 22.1	112 30.2	43 11.6	26 7.0	4 1.1	48 12.9	4 1.1	4 1.1	30 8.1	18 4.9	-
		浸水予測区域外	382 100.0	82 21.5	107 28.0	42 11.0	36 9.4	6 1.6	55 14.4	2 0.5	4 1.0	30 7.9	18 4.7	-

問43 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

239

(11) 進よ る、 ナ 賃 に 住 す の 耐 震 化 な ど 促 に	(12) 行 政 に は 特 に 期 待 し て い な い	(13) そ の 他	無 回 答
98	69	28	41
5.5	3.9	1.6	2.3
125	35	33	159
8.2	2.3	2.2	10.5
46	20	16	62
7.3	3.2	2.6	9.9
79	12	16	93
9.2	1.4	1.9	10.8
-	3	1	-
-	16.7	5.6	-
-	1	1	-
-	14.3	14.3	-
7	1	-	8
7.2	1.0	-	8.2
15	3	4	7
9.9	2.0	2.6	4.6
22	5	1	17
10.2	2.3	0.5	7.9
40	6	1	16
14.4	2.2	0.4	5.8
26	9	6	40
7.9	2.7	1.8	12.1
15	10	20	66
3.5	2.3	4.7	15.5
3	1	5	5
4.8	1.6	7.9	7.9
-	-	-	-
-	-	-	-
7	4	1	8
10.6	6.1	1.5	12.1
65	8	3	38
12.1	1.5	0.6	7.1
2	2	-	3
6.7	6.7	-	10.0
6	-	5	16
3.7	-	3.1	9.9
19	3	2	26
10.1	1.6	1.1	13.8
-	2	-	2
-	9.5	-	9.5
16	12	11	47
4.8	3.6	3.3	14.2
6	3	5	9
6.4	3.2	5.3	9.6
39	6	5	25
16.7	2.6	2.1	10.7
30	10	16	50
6.8	2.3	3.6	11.3
21	4	5	36
6.5	1.2	1.5	11.1
19	5	4	24
7.5	2.0	1.6	9.5
10	5	1	14
6.6	3.3	0.7	9.2
5	2	2	3
9.1	3.6	3.6	5.5
1	3	-	2
2.9	8.6	-	5.7
4	3	1	1
5.1	3.8	1.3	1.3
5	3	1	6
6.8	4.1	1.4	8.2
15	5	1	13
10.3	3.4	0.7	8.9
12	12	18	55
2.4	2.4	3.7	11.2
7	4	5	10
7.5	4.3	5.4	10.8
-	1	-	-
-	11.1	-	-
64	13	10	62
10.9	2.2	1.7	10.6
50	12	13	76
7.2	1.7	1.9	10.9
70	22	20	74
9.0	2.8	2.6	9.5

6. 地震火災対策について、おうかがいします。

問44 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っていた	(2) 知らなかった	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		1,779 100.0	1,669 93.8	97 5.5	13 0.7
全体		1,516 100.0	1,392 91.8	88 5.8	36 2.4
性別	男性	627 100.0	584 93.1	27 4.3	16 2.6
	女性	860 100.0	783 91.0	59 6.9	18 2.1
	回答しない	18 100.0	16 88.9	2 11.1	-
年代別	10歳代	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	87 89.7	7 7.2	3 3.1
	30歳代	151 100.0	133 88.1	16 10.6	2 1.3
	40歳代	216 100.0	203 94.0	11 5.1	2 0.9
	50歳代	278 100.0	262 94.2	14 5.0	2 0.7
	60歳代	331 100.0	308 93.1	14 4.2	9 2.7
	70歳以上	426 100.0	384 90.1	25 5.9	17 4.0
職業別	農林業	63 100.0	56 88.9	6 9.5	1 1.6
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	61 92.4	3 4.5	2 3.0
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	499 92.9	33 6.1	5 0.9
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	30 100.0	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	143 88.3	13 8.0	6 3.7
	パート、アルバイト	189 100.0	169 89.4	13 6.9	7 3.7
	学生	21 100.0	17 81.0	3 14.3	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	309 93.1	12 3.6	11 3.3
	その他	94 100.0	87 92.6	5 5.3	2 2.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	215 92.3	14 6.0	4 1.7
	1人	441 100.0	404 91.6	27 6.1	10 2.3
	2人	324 100.0	305 94.1	13 4.0	6 1.9
	3人	253 100.0	226 89.3	16 6.3	11 4.3
	4人	152 100.0	141 92.8	8 5.3	3 2.0
	5人	55 100.0	49 89.1	6 10.9	-
	6人以上	35 100.0	32 91.4	3 8.6	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	69 88.5	9 11.5	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	68 93.2	5 6.8	-
	小学生	146 100.0	131 89.7	14 9.6	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	449 91.4	26 5.3	16 3.3
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	87 93.5	3 3.2	3 3.2
	妊産婦	9 100.0	8 88.9	1 11.1	-
	該当者はいない	587 100.0	542 92.3	32 5.5	13 2.2
浸水 区域 別	浸水予測区域内	696 100.0	635 91.2	44 6.3	17 2.4
	浸水予測区域外	779 100.0	721 92.6	42 5.4	16 2.1

6. 地震火災対策について、おうかがいします。

問45 電気機器類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー」を知っていますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		1,779 100.0	854 48.0	913 51.3	12 0.7
全体		1,516 100.0	734 48.4	742 48.9	40 2.6
性別	男性	627 100.0	355 56.6	257 41.0	15 2.4
	女性	860 100.0	366 42.6	470 54.7	24 2.8
	回答しない	18 100.0	6 33.3	12 66.7	-
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	6 85.7	-
	20歳代	97 100.0	32 33.0	61 62.9	4 4.1
	30歳代	151 100.0	68 45.0	82 54.3	1 0.7
	40歳代	216 100.0	108 50.0	105 48.6	3 1.4
	50歳代	278 100.0	130 46.8	146 52.5	2 0.7
	60歳代	331 100.0	168 50.8	154 46.5	9 2.7
	70歳以上	426 100.0	221 51.9	185 43.4	20 4.7
職業別	農林業	63 100.0	35 55.6	26 41.3	2 3.2
	漁業	3 100.0	3 100.0	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	33 50.0	32 48.5	1 1.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	277 51.6	254 47.3	6 1.1
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	20 66.7	-
	主婦・主夫	162 100.0	69 42.6	85 52.5	8 4.9
	パート、アルバイト	189 100.0	71 37.6	112 59.3	6 3.2
	学生	21 100.0	6 28.6	14 66.7	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	182 54.8	140 42.2	10 3.0
	その他	94 100.0	37 39.4	53 56.4	4 4.3
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	108 46.4	119 51.1	6 2.6
	1人	441 100.0	201 45.6	229 51.9	11 2.5
	2人	324 100.0	170 52.5	145 44.8	9 2.8
	3人	253 100.0	121 47.8	121 47.8	11 4.3
	4人	152 100.0	78 51.3	72 47.4	2 1.3
	5人	55 100.0	27 49.1	28 50.9	-
	6人以上	35 100.0	15 42.9	20 57.1	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	38 48.7	40 51.3	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	42 57.5	31 42.5	-
	小学生	146 100.0	74 50.7	71 48.6	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	254 51.7	220 44.8	17 3.5
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	42 45.2	47 50.5	4 4.3
	妊産婦	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-
	該当者はいない	587 100.0	263 44.8	307 52.3	17 2.9
浸水 区域 別	浸水予測区域内	696 100.0	336 48.3	346 49.7	14 2.0
	浸水予測区域外	779 100.0	382 49.0	374 48.0	23 3.0

6. 地震火災対策について、おうかがいします。

問46 ご自宅に感震ブレーカー(簡易タイプを含む)を設置していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 設置 している	(2) 設置 していない	(3) わ か ら な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
前回調査(R3)		1,779 100.0	276 15.5	866 48.7	620 34.9	17 1.0
全体		1,516 100.0	238 15.7	707 46.6	539 35.6	32 2.1
性別	男性	627 100.0	107 17.1	312 49.8	196 31.3	12 1.9
	女性	860 100.0	127 14.8	384 44.7	330 38.4	19 2.2
	回答しない	18 100.0	2 11.1	7 38.9	9 50.0	- -
年代別	10歳代	7 100.0	- -	1 14.3	6 85.7	- -
	20歳代	97 100.0	6 6.2	32 33.0	57 58.8	2 2.1
	30歳代	151 100.0	19 12.6	60 39.7	71 47.0	1 0.7
	40歳代	216 100.0	33 15.3	96 44.4	85 39.4	2 0.9
	50歳代	278 100.0	40 14.4	133 47.8	103 37.1	2 0.7
	60歳代	331 100.0	43 13.0	183 55.3	92 27.8	13 3.9
	70歳以上	426 100.0	96 22.5	197 46.2	122 28.6	11 2.6
職業別	農林業	63 100.0	9 14.3	32 50.8	21 33.3	1 1.6
	漁業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -
	商工サービス業自営	66 100.0	14 21.2	30 45.5	21 31.8	1 1.5
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	79 14.7	248 46.2	205 38.2	5 0.9
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	5 16.7	10 33.3	15 50.0	- -
	主婦・主夫	162 100.0	28 17.3	76 46.9	51 31.5	7 4.3
	パート、アルバイト	189 100.0	22 11.6	89 47.1	70 37.0	8 4.2
	学生	21 100.0	1 4.8	5 23.8	14 66.7	1 4.8
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	60 18.1	165 49.7	100 30.1	7 2.1
	その他	94 100.0	16 17.0	43 45.7	34 36.2	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	22 9.4	113 48.5	93 39.9	5 2.1
	1人	441 100.0	73 16.6	215 48.8	144 32.7	9 2.0
	2人	324 100.0	55 17.0	159 49.1	103 31.8	7 2.2
	3人	253 100.0	40 15.8	113 44.7	92 36.4	8 3.2
	4人	152 100.0	23 15.1	64 42.1	63 41.4	2 1.3
	5人	55 100.0	10 18.2	21 38.2	24 43.6	- -
	6人以上	35 100.0	8 22.9	11 31.4	16 45.7	- -
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	13 16.7	30 38.5	35 44.9	- -
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	10 13.7	32 43.8	31 42.5	- -
	小学生	146 100.0	20 13.7	57 39.0	68 46.6	1 0.7
	70歳以上の人	491 100.0	95 19.3	236 48.1	146 29.7	14 2.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	18 19.4	39 41.9	32 34.4	4 4.3
	妊産婦	9 100.0	1 11.1	4 44.4	4 44.4	- -
	該当者はいない	587 100.0	82 14.0	280 47.7	215 36.6	10 1.7
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	109 15.7	336 48.3	236 33.9	15 2.2
	浸水予測区域外	779 100.0	125 16.0	355 45.6	285 36.6	14 1.8

6. 地震火災対策について、おうかがいします。

問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

問47 感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) な感 か震 つた ため ブレー カー のこ とを 知ら	(2) 必 要 性 を 感 じ て い な い	(3) 手 間 が か か る	(4) 費 用 が か か る	(5) 設 置 の 方 法 が わ か ら な い	(6) な い こ で 売 っ て い る の か わ か ら	(7) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		866 100.0	420 48.5	95 11.0	82 9.5	221 25.5	209 24.1	176 20.3	52 6.0	10 1.2
全体		707 100.0	348 49.2	64 9.1	77 10.9	197 27.9	173 24.5	144 20.4	62 8.8	15 2.1
性別	男性	312 100.0	129 41.3	47 15.1	48 15.4	106 34.0	75 24.0	58 18.6	27 8.7	2 0.6
	女性	384 100.0	212 55.2	17 4.4	29 7.6	87 22.7	96 25.0	83 21.6	34 8.9	13 3.4
	回答しない	7 100.0	5 71.4	-	-	-	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-
年代別	10歳代	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-
	20歳代	32 100.0	12 37.5	2 6.3	5 15.6	10 31.3	10 31.3	7 21.9	4 12.5	1 3.1
	30歳代	60 100.0	31 51.7	10 16.7	7 11.7	12 20.0	6 10.0	6 10.0	3 5.0	-
	40歳代	96 100.0	42 43.8	9 9.4	10 10.4	30 31.3	24 25.0	22 22.9	11 11.5	-
	50歳代	133 100.0	61 45.9	8 6.0	15 11.3	40 30.1	28 21.1	24 18.0	15 11.3	3 2.3
	60歳代	183 100.0	97 53.0	14 7.7	22 12.0	56 30.6	46 25.1	39 21.3	18 9.8	3 1.6
	70歳以上	197 100.0	101 51.3	21 10.7	17 8.6	44 22.3	57 28.9	44 22.3	11 5.6	8 4.1
職業別	農林業	32 100.0	11 34.4	5 15.6	2 6.3	13 40.6	8 25.0	5 15.6	1 3.1	1 3.1
	漁業	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	商工サービス業自営	30 100.0	16 53.3	2 6.7	2 6.7	7 23.3	3 10.0	6 20.0	3 10.0	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	248 100.0	107 43.1	30 12.1	35 14.1	75 30.2	57 23.0	46 18.5	21 8.5	4 1.6
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	10 100.0	7 70.0	-	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	-	-
	主婦・主夫	76 100.0	44 57.9	3 3.9	3 3.9	17 22.4	20 26.3	17 22.4	4 5.3	3 3.9
	パート、アルバイト	89 100.0	51 57.3	2 2.2	9 10.1	24 27.0	22 24.7	15 16.9	13 14.6	2 2.2
	学生	5 100.0	3 60.0	-	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-
	無職(すでに退職を含 む)	165 100.0	78 47.3	16 9.7	20 12.1	40 24.2	47 28.5	39 23.6	14 8.5	5 3.0
	その他	43 100.0	27 62.8	6 14.0	4 9.3	10 23.3	12 27.9	12 27.9	5 11.6	-
同居人数別	0人(独居)	113 100.0	51 45.1	10 8.8	9 8.0	27 23.9	21 18.6	20 17.7	14 12.4	7 6.2
	1人	215 100.0	120 55.8	16 7.4	20 9.3	59 27.4	54 25.1	43 20.0	14 6.5	4 1.9
	2人	159 100.0	72 45.3	14 8.8	15 9.4	46 28.9	40 25.2	30 18.9	15 9.4	1 0.6
	3人	113 100.0	56 49.6	11 9.7	15 13.3	30 26.5	31 27.4	32 28.3	12 10.6	1 0.9
	4人	64 100.0	28 43.8	9 14.1	11 17.2	17 26.6	22 34.4	11 17.2	5 7.8	1 1.6
	5人	21 100.0	11 52.4	1 4.8	6 28.6	9 42.9	3 14.3	5 23.8	1 4.8	1 4.8
	6人以上	11 100.0	5 45.5	3 27.3	-	4 36.4	1 9.1	-	-	-
	同居家族の該 当者別	30 100.0	12 40.0	5 16.7	6 20.0	6 20.0	4 13.3	4 13.3	4 13.3	-
同居家族の該 当者別	3歳以下の乳幼児	32 100.0	11 34.4	6 18.8	4 12.5	5 15.6	6 18.8	4 12.5	4 12.5	-
	4歳以上で小学校入 学前の子ども	57 100.0	24 42.1	7 12.3	6 10.5	19 33.3	11 19.3	11 19.3	7 12.3	-
	小学生	236 100.0	115 48.7	22 9.3	29 12.3	64 27.1	74 31.4	58 24.6	16 6.8	5 2.1
	70歳以上の人	39 100.0	20 51.3	1 2.6	4 10.3	15 38.5	17 43.6	12 30.8	3 7.7	2 5.1
	日常生活で介護や支 援を必要とする人	4 100.0	2 50.0	-	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-
	妊娠婦	280 100.0	146 52.1	22 7.9	30 10.7	74 26.4	64 22.9	54 19.3	26 9.3	4 1.4
	該当者はいない	336 100.0	167 49.7	33 9.8	33 9.8	92 27.4	79 23.5	62 18.5	33 9.8	10 3.0
	浸水予測区域外	355 100.0	173 48.7	30 8.5	43 12.1	99 27.9	92 25.9	77 21.7	29 8.2	5 1.4

7. 避難生活について、おうかがいします。

問48 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っている	(2) 知らない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		1,779 100.0	977 54.9	780 43.8	22 1.2
全体		1,516 100.0	851 56.1	623 41.1	42 2.8
性別	男性	627 100.0	365 58.2	246 39.2	16 2.6
	女性	860 100.0	474 55.1	361 42.0	25 2.9
	回答しない	18 100.0	9 50.0	9 50.0	-
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	4 57.1	-
	20歳代	97 100.0	48 49.5	47 48.5	2 2.1
	30歳代	151 100.0	80 53.0	70 46.4	1 0.7
	40歳代	216 100.0	110 50.9	104 48.1	2 0.9
	50歳代	278 100.0	162 58.3	110 39.6	6 2.2
	60歳代	331 100.0	202 61.0	118 35.6	11 3.3
	70歳以上	426 100.0	242 56.8	165 38.7	19 4.5
職業別	農林業	63 100.0	39 61.9	23 36.5	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-
	商工サービス業自営	66 100.0	29 43.9	36 54.5	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	302 56.2	228 42.5	7 1.3
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	18 60.0	12 40.0	-
	主婦・主夫	162 100.0	91 56.2	65 40.1	6 3.7
	パート、アルバイト	189 100.0	104 55.0	76 40.2	9 4.8
	学生	21 100.0	8 38.1	12 57.1	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	197 59.3	123 37.0	12 3.6
	その他	94 100.0	51 54.3	40 42.6	3 3.2
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	138 59.2	88 37.8	7 3.0
	1人	441 100.0	249 56.5	179 40.6	13 2.9
	2人	324 100.0	189 58.3	128 39.5	7 2.2
	3人	253 100.0	130 51.4	116 45.8	7 2.8
	4人	152 100.0	84 55.3	64 42.1	4 2.6
	5人	55 100.0	33 60.0	20 36.4	2 3.6
	6人以上	35 100.0	20 57.1	15 42.9	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	43 55.1	34 43.6	1 1.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	42 57.5	31 42.5	-
	小学生	146 100.0	83 56.8	61 41.8	2 1.4
	70歳以上の人	491 100.0	287 58.5	188 38.3	16 3.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	51 54.8	37 39.8	5 5.4
	妊産婦	9 100.0	2 22.2	7 77.8	-
	該当者はいない	587 100.0	318 54.2	254 43.3	15 2.6
浸水予測別	浸水予測区域内	696 100.0	404 58.0	277 39.8	15 2.2
	浸水予測区域外	779 100.0	429 55.1	326 41.8	24 3.1

7. 避難生活について、おうかがいします。

問49 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 最寄りの避難所	(2) 県内の親せきや友人の家	(3) 県外の親せきや友人の家	(4) 自家用車の中(車中泊)	(5) テント(野宿)	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位					
前回調査(R3)		1,779 100.0	839 47.2	455 25.6	57 3.2	292 16.4	47 2.6	75 4.2	14 0.8
全体		1,516 100.0	719 47.4	325 21.4	66 4.4	266 17.5	43 2.8	51 3.4	46 3.0
性別	男性	627 100.0	293 46.7	129 20.6	31 4.9	109 17.4	23 3.7	25 4.0	17 2.7
	女性	860 100.0	414 48.1	193 22.4	35 4.1	148 17.2	19 2.2	23 2.7	28 3.3
	回答しない	18 100.0	7 38.9	2 11.1	-	6 33.3	1 5.6	2 11.1	-
年代別	10歳代	7 100.0	4 57.1	-	1 14.3	2 28.6	-	-	-
	20歳代	97 100.0	52 53.6	20 20.6	2 2.1	11 11.3	6 6.2	3 3.1	3 3.1
	30歳代	151 100.0	67 44.4	47 31.1	6 4.0	26 17.2	1 0.7	2 1.3	2 1.3
	40歳代	216 100.0	98 45.4	50 23.1	13 6.0	40 18.5	6 2.8	6 2.8	3 1.4
	50歳代	278 100.0	113 40.6	52 18.7	14 5.0	76 27.3	10 3.6	9 3.2	4 1.4
	60歳代	331 100.0	157 47.4	71 21.5	16 4.8	51 15.4	8 2.4	13 3.9	15 4.5
	70歳以上	426 100.0	224 52.6	83 19.5	14 3.3	58 13.6	12 2.8	17 4.0	18 4.2
職業別	農林業	63 100.0	25 39.7	10 15.9	4 6.3	8 12.7	9 14.3	6 9.5	1 1.6
	漁業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	27 40.9	15 22.7	5 7.6	15 22.7	1 1.5	1 1.5	2 3.0
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	233 43.4	139 25.9	21 3.9	107 19.9	12 2.2	13 2.4	12 2.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	12 40.0	8 26.7	5 16.7	5 16.7	-	-	-
	主婦・主夫	162 100.0	82 50.6	31 19.1	3 1.9	26 16.0	4 2.5	4 2.5	12 7.4
	パート、アルバイト	189 100.0	98 51.9	30 15.9	9 4.8	35 18.5	6 3.2	4 2.1	7 3.7
	学生	21 100.0	10 47.6	3 14.3	2 9.5	3 14.3	2 9.5	-	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	184 55.4	66 19.9	10 3.0	44 13.3	8 2.4	11 3.3	9 2.7
	その他	94 100.0	38 40.4	19 20.2	6 6.4	19 20.2	1 1.1	10 10.6	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	107 45.9	54 23.2	18 7.7	34 14.6	7 3.0	5 2.1	8 3.4
	1人	441 100.0	220 49.9	93 21.1	22 5.0	72 16.3	5 1.1	13 2.9	16 3.6
	2人	324 100.0	145 44.8	73 22.5	11 3.4	65 20.1	6 1.9	15 4.6	9 2.8
	3人	253 100.0	113 44.7	49 19.4	10 4.0	50 19.8	12 4.7	11 4.3	8 3.2
	4人	152 100.0	82 53.9	35 23.0	4 2.6	19 12.5	7 4.6	3 2.0	2 1.3
	5人	55 100.0	30 54.5	9 16.4	-	13 23.6	1 1.8	1 1.8	1 1.8
	6人以上	35 100.0	13 37.1	9 25.7	1 2.9	7 20.0	4 11.4	1 2.9	-
	同居家族の該当者別	78 100.0	31 39.7	29 37.2	2 2.6	12 15.4	2 2.6	2 2.6	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	29 39.7	24 32.9	3 4.1	11 15.1	4 5.5	1 1.4	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	63 43.2	46 31.5	6 4.1	19 13.0	6 4.1	5 3.4	1 0.7
	小学生	491 100.0	262 53.4	82 16.7	11 2.2	84 17.1	15 3.1	22 4.5	15 3.1
	70歳以上の人	93 100.0	42 45.2	18 19.4	7 7.5	15 16.1	2 2.2	6 6.5	3 3.2
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	3 33.3	2 22.2	-	4 44.4	-	-	-
	妊産婦	587 100.0	280 47.7	124 21.1	25 4.3	111 18.9	17 2.9	14 2.4	16 2.7
	該当者はいない	696 100.0	345 49.6	148 21.3	37 5.3	107 15.4	17 2.4	26 3.7	16 2.3
	浸水予測区域外	779 100.0	356 45.7	170 21.8	25 3.2	153 19.6	24 3.1	25 3.2	26 3.3

7. 避難生活について、おうかがいします。

問49で「4. 自家用車の中(車中泊)」、「5. テント(野宿)」と回答した人におたずねします。

問50 自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか。(3つまで○)

		調査数	(1) うし避、難入所にこ多くがの被で被災者がと殺思到	(2) 保避で難き所なはいとプ思ラうバシーが確	(3) 配め自、分避や難家所族が活高が齡送者れであるかる心た	(4) かる自心た分配めや、家避族に所障生害活が持送病れがるあ	(5) 難家所族に活乳が幼送児れがるかる心た配め、避	(6) 難ベ所ツ生活を飼つてゐるかる心た配め、避	(7) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		339 100.0	193 56.9	234 69.0	54 15.9	32 9.4	10 2.9	110 32.4	29 8.6	2 0.6
全体		309 100.0	165 53.4	195 63.1	64 20.7	34 11.0	10 3.2	100 32.4	10 3.2	14 4.5
性別	男性	132 100.0	78 59.1	87 65.9	31 23.5	17 12.9	2 1.5	32 24.2	6 4.5	6 4.5
	女性	167 100.0	78 46.7	102 61.1	30 18.0	17 10.2	8 4.8	63 37.7	4 2.4	8 4.8
	回答しない	7 100.0	6 85.7	4 57.1	2 28.6	-	-	4 57.1	-	-
年代別	10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	2 100.0	-	-
	20歳代	17 100.0	9 52.9	11 64.7	1 5.9	2 11.8	1 5.9	6 35.3	-	1 5.9
	30歳代	27 100.0	16 59.3	21 77.8	1 3.7	3 11.1	4 14.8	5 18.5	1 3.7	-
	40歳代	46 100.0	17 37.0	31 67.4	4 8.7	4 8.7	2 4.3	19 41.3	2 4.3	1 2.2
	50歳代	86 100.0	49 57.0	55 64.0	8 9.3	11 12.8	1 1.2	38 44.2	2 2.3	5 5.8
	60歳代	59 100.0	33 55.9	36 61.0	14 23.7	3 5.1	1 1.7	17 28.8	2 3.4	6 10.2
	70歳以上	70 100.0	38 54.3	39 55.7	36 51.4	11 15.7	1 1.4	12 17.1	3 4.3	1 1.4
職業別	農林業	17 100.0	9 52.9	10 58.8	5 29.4	1 5.9	-	3 17.6	2 11.8	1 5.9
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	16 100.0	10 62.5	11 68.8	2 12.5	3 18.8	-	3 18.8	1 6.3	2 12.5
	会社員(役員を含む)、公務員	119 100.0	63 52.9	86 72.3	18 15.1	8 6.7	3 2.5	50 42.0	3 2.5	5 4.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	1 20.0	1 20.0	3 60.0	-	-
	主婦・主夫	30 100.0	14 46.7	12 40.0	5 16.7	6 20.0	2 6.7	10 33.3	1 3.3	2 6.7
	パート、アルバイト	41 100.0	21 51.2	27 65.9	9 22.0	4 9.8	2 4.9	10 24.4	1 2.4	3 7.3
	学生	5 100.0	3 60.0	3 60.0	-	-	-	3 60.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	52 100.0	30 57.7	31 59.6	25 48.1	7 13.5	-	10 19.2	-	-
	その他	20 100.0	11 55.0	11 55.0	-	4 20.0	1 5.0	6 30.0	2 10.0	1 5.0
同居人数別	0人(独居)	41 100.0	24 58.5	24 58.5	11 26.8	4 9.8	-	8 19.5	2 4.9	3 7.3
	1人	77 100.0	44 57.1	47 61.0	16 20.8	6 7.8	-	26 33.8	3 3.9	3 3.9
	2人	71 100.0	37 52.1	43 60.6	14 19.7	10 14.1	-	29 40.8	2 2.8	4 5.6
	3人	62 100.0	27 43.5	42 67.7	11 17.7	7 11.3	3 4.8	21 33.9	1 1.6	3 4.8
	4人	26 100.0	13 50.0	18 69.2	5 19.2	2 7.7	3 11.5	8 30.8	-	-
	5人	14 100.0	9 64.3	10 71.4	2 14.3	3 21.4	3 21.4	3 21.4	1 7.1	-
	6人以上	11 100.0	7 63.6	8 72.7	3 27.3	1 9.1	1 9.1	3 27.3	1 9.1	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	14 100.0	3 21.4	8 57.1	1 7.1	2 14.3	6 42.9	-	1 7.1	1 7.1
	4歳以上で小学校入学前の子ども	15 100.0	6 40.0	11 73.3	3 20.0	1 6.7	6 40.0	3 20.0	1 6.7	-
	小学生	25 100.0	13 52.0	21 84.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	8 32.0	-	-
	70歳以上の人	99 100.0	49 49.5	54 54.5	37 37.4	16 16.2	4 4.0	31 31.3	5 5.1	2 2.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	17 100.0	8 47.1	7 41.2	8 47.1	7 41.2	-	2 11.8	1 5.9	1 5.9
	妊娠婦	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	2 50.0	2 50.0
	該当者はいない	128 100.0	72 56.3	88 68.8	12 9.4	11 8.6	-	55 43.0	2 1.6	4 3.1
浸水予測別	浸水予測区域内	124 100.0	71 57.3	74 59.7	27 21.8	15 12.1	3 2.4	38 30.6	6 4.8	4 3.2
	浸水予測区域外	177 100.0	91 51.4	116 65.5	36 20.3	19 10.7	7 4.0	61 34.5	4 2.3	8 4.5

7. 避難生活について、おうかがいします。

問51 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。(3つまで○)

		調査数	(1) 食料や水の問題	(2) 日用品の問題	(3) プライバシーの問題	(4) が人間関係の問題など(知らない人)	(5) トイレの問題	(6) 洗濯・入浴の問題	(7) 避難生活によるストレスや体調不良	(8) 持病の治療や悪化	(9) と自分や家族が高齢者であること	(10) と自分や家族が障害者であること
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=1位 2位												
前回調査(R3)		1,779 100.0	777 43.7	276 15.5	882 49.6	391 22.0	871 49.0	506 28.4	687 38.6	126 7.1	161 9.1	51 2.9
全体		1,516 100.0	653 43.1	198 13.1	695 45.8	262 17.3	805 53.1	365 24.1	472 31.1	182 12.0	200 13.2	65 4.3
性別	男性	627 100.0	298 47.5	85 13.6	267 42.6	108 17.2	320 51.0	156 24.9	182 29.0	90 14.4	81 12.9	27 4.3
	女性	860 100.0	342 39.8	109 12.7	415 48.3	148 17.2	470 54.7	206 24.0	282 32.8	88 10.2	118 13.7	38 4.4
	回答しない	18 100.0	7 38.9	2 11.1	8 44.4	5 27.8	7 38.9	2 11.1	5 27.8	3 16.7	1 5.6	-
年代別	10歳代	7 100.0	4 57.1	1 14.3	3 42.9	1 14.3	5 71.4	-	-	-	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	52 53.6	25 25.8	52 53.6	21 21.6	43 44.3	18 18.6	30 30.9	5 5.2	-	6 6.2
	30歳代	151 100.0	82 54.3	39 25.8	78 51.7	30 19.9	74 49.0	27 17.9	38 25.2	5 3.3	3 2.0	4 2.6
	40歳代	216 100.0	96 44.4	35 16.2	119 55.1	40 18.5	110 50.9	55 25.5	64 29.6	18 8.3	16 7.4	10 4.6
	50歳代	278 100.0	124 44.6	28 10.1	133 47.8	54 19.4	153 55.0	74 26.6	88 31.7	24 8.6	26 9.4	9 3.2
	60歳代	331 100.0	128 38.7	33 10.0	146 44.1	56 16.9	182 55.0	95 28.7	115 34.7	41 12.4	32 9.7	8 2.4
	70歳以上	426 100.0	161 37.8	35 8.2	159 37.3	60 14.1	232 54.5	95 22.3	134 31.5	88 20.7	122 28.6	28 6.6
職業別	農林業	63 100.0	21 33.3	5 7.9	24 38.1	11 17.5	26 41.3	18 28.6	23 36.5	13 20.6	14 22.2	4 6.3
	漁業	3 100.0	1 33.3	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	28 42.4	7 10.6	37 56.1	12 18.2	41 62.1	18 27.3	15 22.7	6 9.1	9 13.6	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	252 46.9	95 17.7	281 52.3	104 19.4	287 53.4	129 24.0	161 30.0	30 5.6	29 5.4	10 1.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	16 53.3	6 20.0	14 46.7	3 10.0	12 40.0	6 20.0	8 26.7	3 10.0	4 13.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	55 34.0	9 5.6	69 42.6	27 16.7	82 50.6	32 19.8	66 40.7	27 16.7	36 22.2	11 6.8
	パート、アルバイト	189 100.0	91 48.1	23 12.2	95 50.3	35 18.5	92 48.7	52 27.5	53 28.0	18 9.5	14 7.4	5 2.6
	学生	21 100.0	12 57.1	5 23.8	10 47.6	4 19.0	11 52.4	1 4.8	4 19.0	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	126 38.0	35 10.5	117 35.2	45 13.6	194 58.4	79 23.8	100 30.1	71 21.4	80 24.1	24 7.2
	その他	94 100.0	42 44.7	10 10.6	39 41.5	19 20.2	49 52.1	25 26.6	35 37.2	12 12.8	12 12.8	9 9.6
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	112 48.1	34 14.6	90 38.6	48 20.6	131 56.2	54 23.2	66 28.3	29 12.4	24 10.3	7 3.0
	1人	441 100.0	174 39.5	41 9.3	201 45.6	61 13.8	247 56.0	115 26.1	139 31.5	61 13.8	79 17.9	21 4.8
	2人	324 100.0	127 39.2	40 12.3	153 47.2	56 17.3	181 55.9	83 25.6	109 33.6	42 13.0	37 11.4	13 4.0
	3人	253 100.0	112 44.3	44 17.4	132 52.2	48 19.0	119 47.0	54 21.3	75 29.6	31 12.3	28 11.1	10 4.0
	4人	152 100.0	71 46.7	28 18.4	66 43.4	32 21.1	70 46.1	32 21.1	47 30.9	11 7.2	18 11.8	7 4.6
	5人	55 100.0	25 45.5	3 5.5	31 56.4	12 21.8	25 45.5	14 25.5	18 32.7	3 5.5	3 5.5	5 9.1
	6人以上	35 100.0	20 57.1	5 14.3	14 40.0	2 5.7	20 57.1	9 25.7	10 28.6	3 8.6	8 22.9	2 5.7
	同居家族の該当者別	78 100.0	41 52.6	16 20.5	41 52.6	10 12.8	32 41.0	11 14.1	21 26.9	1 1.3	3 3.8	1 1.3
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	31 42.5	14 19.2	48 65.8	10 13.7	33 45.2	16 21.9	22 30.1	4 5.5	2 2.7	2 2.7
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	81 55.5	33 22.6	84 57.5	23 15.8	69 47.3	33 22.6	47 32.2	8 5.5	8 5.5	3 2.1
	小学生	491 100.0	181 36.9	32 6.5	205 41.8	74 15.1	269 54.8	114 23.2	157 32.0	86 17.5	137 27.9	26 5.3
	70歳以上の人	93 100.0	29 31.2	10 10.8	29 31.2	12 12.9	41 44.1	16 17.2	29 31.2	19 20.4	33 35.5	26 28.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	4 44.4	2 22.2	2 22.2	3 33.3	5 55.6	1 11.1	1 11.1	-	-	-
	妊産婦	587 100.0	271 46.2	83 14.1	287 48.9	106 18.1	327 55.7	149 25.4	186 31.7	52 8.9	26 4.4	17 2.9
	該当者はいない	696 100.0	330 47.4	89 12.8	306 44.0	111 15.9	384 55.2	171 24.6	205 29.5	96 13.8	99 14.2	32 4.6
区域別	浸水予測区域内	779 100.0	299 38.4	98 12.6	371 47.6	141 18.1	400 51.3	187 24.0	262 33.6	86 11.0	101 13.0	33 4.2
	浸水予測区域外	696 100.0	330 47.4	89 12.8	306 44.0	111 15.9	384 55.2	171 24.6	205 29.5	96 13.8	99 14.2	32 4.6

(11) 家族に乳幼児がいること	(12) ペットの問題	(13) 不安はない	(14) その他	無回答
66	308	18	33	22
3.7	17.3	1.0	1.9	1.2
47	206	13	21	38
3.1	13.6	0.9	1.4	2.5
12	67	8	6	17
1.9	10.7	1.3	1.0	2.7
34	133	5	15	19
4.0	15.5	0.6	1.7	2.2
1	4	-	-	1
5.6	22.2	-	-	5.6
-	2	1	-	-
-	28.6	14.3	-	-
7	12	1	2	2
7.2	12.4	1.0	2.1	2.1
24	16	1	7	-
15.9	10.6	0.7	4.6	-
9	30	1	3	6
4.2	13.9	0.5	1.4	2.8
-	63	1	6	2
-	22.7	0.4	2.2	0.7
5	49	4	2	12
1.5	14.8	1.2	0.6	3.6
2	32	4	1	15
0.5	7.5	0.9	0.2	3.5
1	8	-	1	1
1.6	12.7	-	1.6	1.6
-	1	-	-	-
-	33.3	-	-	-
-	9	-	-	1
-	13.6	-	-	1.5
27	85	4	10	10
5.0	15.8	0.7	1.9	1.9
3	4	-	-	1
10.0	13.3	-	-	3.3
4	23	2	-	5
2.5	14.2	1.2	-	3.1
7	29	2	4	6
3.7	15.3	1.1	2.1	3.2
1	3	2	1	1
4.8	14.3	9.5	4.8	4.8
2	29	2	4	10
0.6	8.7	0.6	1.2	3.0
-	10	1	1	2
-	10.6	1.1	1.1	2.1
-	20	2	3	7
-	8.6	0.9	1.3	3.0
2	63	4	8	10
0.5	14.3	0.9	1.8	2.3
8	51	3	2	8
2.5	15.7	0.9	0.6	2.5
10	38	1	3	8
4.0	15.0	0.4	1.2	3.2
18	15	3	-	4
11.8	9.9	2.0	-	2.6
3	10	-	4	-
5.5	18.2	-	7.3	-
6	4	-	-	-
17.1	11.4	-	-	-
39	4	1	2	-
50.0	5.1	1.3	2.6	-
20	4	1	1	-
27.4	5.5	1.4	1.4	-
15	13	1	5	1
10.3	8.9	0.7	3.4	0.7
7	64	4	4	16
1.4	13.0	0.8	0.8	3.3
-	10	1	1	3
-	10.8	1.1	1.1	3.2
3	1	-	-	-
33.3	11.1	-	-	-
-	113	4	11	11
-	19.3	0.7	1.9	1.9
12	93	4	10	14
1.7	13.4	0.6	1.4	2.0
34	109	8	9	20
4.4	14.0	1.0	1.2	2.6

7. 避難生活について、おうかがいします。

問52 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

	調査数	(1) 関 わり たい	(2) 関 わり たい が、 やり 方 が わ か	(3) で き れ ば 関 わり た く な い	(4) 関 わり た く な い	(5) わ か ら な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位				
前回調査(R3)	1,779 100.0	326 18.3	439 24.7	335 18.8	122 6.9	530 29.8	27 1.5
全体	1,516 100.0	271 17.9	344 22.7	261 17.2	124 8.2	442 29.2	74 4.9
性別							
男性	627 100.0	113 18.0	150 23.9	119 19.0	55 8.8	162 25.8	28 4.5
女性	860 100.0	156 18.1	192 22.3	138 16.0	63 7.3	269 31.3	42 4.9
回答しない	18 100.0	-	2 11.1	4 22.2	4 22.2	7 38.9	1 5.6
年代別							
10歳代	7 100.0	-	3 42.9	-	-	4 57.1	-
20歳代	97 100.0	14 14.4	29 29.9	19 19.6	7 7.2	26 26.8	2 2.1
30歳代	151 100.0	36 23.8	42 27.8	28 18.5	13 8.6	27 17.9	5 3.3
40歳代	216 100.0	38 17.6	52 24.1	44 20.4	10 4.6	65 30.1	7 3.2
50歳代	278 100.0	56 20.1	66 23.7	44 15.8	17 6.1	86 30.9	9 3.2
60歳代	331 100.0	66 19.9	86 26.0	52 15.7	21 6.3	92 27.8	14 4.2
70歳以上	426 100.0	59 13.8	65 15.3	74 17.4	55 12.9	139 32.6	34 8.0
職業別							
農林業	63 100.0	17 27.0	7 11.1	7 11.1	9 14.3	19 30.2	4 6.3
漁業	3 100.0	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-
商工サービス業自営	66 100.0	10 15.2	16 24.2	12 18.2	5 7.6	21 31.8	2 3.0
会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	106 19.7	143 26.6	110 20.5	28 5.2	133 24.8	17 3.2
自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	7 23.3	8 26.7	3 10.0	5 16.7	5 16.7	2 6.7
主婦・主夫	162 100.0	28 17.3	28 17.3	19 11.7	17 10.5	60 37.0	10 6.2
パート、アルバイト	189 100.0	35 18.5	44 23.3	29 15.3	13 6.9	58 30.7	10 5.3
学生	21 100.0	4 19.0	9 42.9	1 4.8	2 9.5	4 19.0	1 4.8
無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	40 12.0	62 18.7	65 19.6	38 11.4	106 31.9	21 6.3
その他	94 100.0	20 21.3	22 23.4	15 16.0	5 5.3	28 29.8	4 4.3
同居人数別							
0人(独居)	233 100.0	37 15.9	54 23.2	46 19.7	22 9.4	63 27.0	11 4.7
1人	441 100.0	72 16.3	92 20.9	75 17.0	39 8.8	137 31.1	26 5.9
2人	324 100.0	66 20.4	76 23.5	59 18.2	29 9.0	81 25.0	13 4.0
3人	253 100.0	48 19.0	60 23.7	44 17.4	17 6.7	76 30.0	8 3.2
4人	152 100.0	27 17.8	33 21.7	21 13.8	10 6.6	54 35.5	7 4.6
5人	55 100.0	10 18.2	13 23.6	8 14.5	4 7.3	18 32.7	2 3.6
6人以上	35 100.0	9 25.7	12 34.3	4 11.4	1 2.9	7 20.0	2 5.7
同居家族の該 当者別							
3歳以下の乳幼児	78 100.0	15 19.2	23 29.5	20 25.6	7 9.0	12 15.4	1 1.3
4歳以上で小学校入 学前の子ども	73 100.0	15 20.5	22 30.1	16 21.9	3 4.1	16 21.9	1 1.4
小学生	146 100.0	34 23.3	40 27.4	24 16.4	4 2.7	40 27.4	4 2.7
70歳以上の人	491 100.0	79 16.1	100 20.4	72 14.7	51 10.4	154 31.4	35 7.1
日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	20 21.5	13 14.0	18 19.4	7 7.5	28 30.1	7 7.5
妊産婦	9 100.0	-	4 44.4	3 33.3	-	1 11.1	1 11.1
該当者はいない	587 100.0	108 18.4	139 23.7	107 18.2	40 6.8	173 29.5	20 3.4
浸水予測 区域別							
浸水予測区域内	696 100.0	136 19.5	144 20.7	115 16.5	57 8.2	213 30.6	31 4.5
浸水予測区域外	779 100.0	129 16.6	189 24.3	138 17.7	66 8.5	220 28.2	37 4.7

8. 自主防災組織について、おうかがいします。

問53 お住まいの地域の自主防災組織の活動(訓練や学習会、避難路の点検など)へ参加していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 積極的に参加している	(2) 時々参加している	(3) あまり参加していない	(4) 加参加したいが、今後は参加	(5) 加参加するつもりはない、今後も参加	(6) 自主防災組織がない	(7) ない自主防災組織があるかわから	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=										
前回調査(R3)		1,779 100.0	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7
全体		1,516 100.0	125 8.2	220 14.5	380 25.1	168 11.1	189 12.5	47 3.1	336 22.2	51 3.4
性別	男性	627 100.0	63 10.0	107 17.1	152 24.2	60 9.6	81 12.9	18 2.9	128 20.4	18 2.9
	女性	860 100.0	61 7.1	112 13.0	218 25.3	108 12.6	105 12.2	24 2.8	204 23.7	28 3.3
	回答しない	18 100.0	-	-	10 55.6	-	2 11.1	2 11.1	3 16.7	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	-	-	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	1 1.0	6 6.2	17 17.5	11 11.3	23 23.7	1 1.0	36 37.1	2 2.1
	30歳代	151 100.0	7 4.6	9 6.0	28 18.5	20 13.2	24 15.9	3 2.0	56 37.1	4 2.6
	40歳代	216 100.0	12 5.6	26 12.0	52 24.1	28 13.0	30 13.9	7 3.2	57 26.4	4 1.9
	50歳代	278 100.0	20 7.2	25 9.0	78 28.1	28 10.1	33 11.9	8 2.9	81 29.1	5 1.8
	60歳代	331 100.0	25 7.6	67 20.2	97 29.3	43 13.0	27 8.2	12 3.6	47 14.2	13 3.9
	70歳以上	426 100.0	59 13.8	87 20.4	105 24.6	37 8.7	49 11.5	14 3.3	56 13.1	19 4.5
職業別	農林業	63 100.0	8 12.7	18 28.6	13 20.6	2 3.2	6 9.5	2 3.2	12 19.0	2 3.2
	漁業	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	6 9.1	9 13.6	21 31.8	3 4.5	6 9.1	2 3.0	17 25.8	2 3.0
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	33 6.1	57 10.6	124 23.1	73 13.6	72 13.4	21 3.9	147 27.4	10 1.9
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	2 6.7	3 10.0	7 23.3	6 20.0	5 16.7	1 3.3	6 20.0	-
	主婦・主夫	162 100.0	21 13.0	26 16.0	42 25.9	16 9.9	15 9.3	6 3.7	29 17.9	7 4.3
	パート、アルバイト	189 100.0	7 3.7	26 13.8	52 27.5	21 11.1	27 14.3	1 0.5	48 25.4	7 3.7
	学生	21 100.0	-	4 19.0	5 23.8	2 9.5	4 19.0	-	5 23.8	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	35 10.5	58 17.5	93 28.0	34 10.2	44 13.3	10 3.0	46 13.9	12 3.6
	その他	94 100.0	10 10.6	18 19.1	19 20.2	9 9.6	8 8.5	2 2.1	22 23.4	6 6.4
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	12 5.2	28 12.0	45 19.3	26 11.2	37 15.9	4 1.7	73 31.3	8 3.4
	1人	441 100.0	44 10.0	66 15.0	119 27.0	43 9.8	50 11.3	15 3.4	89 20.2	15 3.4
	2人	324 100.0	30 9.3	54 16.7	83 25.6	38 11.7	32 9.9	11 3.4	65 20.1	11 3.4
	3人	253 100.0	16 6.3	36 14.2	70 27.7	24 9.5	36 14.2	7 2.8	58 22.9	6 2.4
	4人	152 100.0	11 7.2	19 12.5	40 26.3	21 13.8	18 11.8	5 3.3	36 23.7	2 1.3
	5人	55 100.0	7 12.7	8 14.5	14 25.5	6 10.9	9 16.4	1 1.8	9 16.4	1 1.8
	6人以上	35 100.0	3 8.6	6 17.1	6 17.1	8 22.9	4 11.4	1 2.9	5 14.3	2 5.7
	同居家族の該当者別	78 100.0	2 2.6	8 10.3	11 14.1	18 23.1	15 19.2	1 1.3	22 28.2	1 1.3
浸水予測区域別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	4 5.5	14 19.2	8 11.0	13 17.8	9 12.3	4 5.5	20 27.4	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	10 6.8	13 8.9	34 23.3	25 17.1	14 9.6	5 3.4	43 29.5	2 1.4
	小学生	491 100.0	54 11.0	85 17.3	124 25.3	52 10.6	58 11.8	13 2.6	84 17.1	21 4.3
	70歳以上の人	93 100.0	7 7.5	15 16.1	28 30.1	9 9.7	11 11.8	2 2.2	17 18.3	4 4.3
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	-	-	1 11.1	1 11.1	2 22.2	-	4 44.4	1 11.1
	妊産婦	587 100.0	41 7.0	80 13.6	159 27.1	64 10.9	73 12.4	22 3.7	131 22.3	17 2.9
	該当者はいない	696 100.0	59 8.5	119 17.1	178 25.6	72 10.3	82 11.8	23 3.3	141 20.3	22 3.2
	浸水予測区域外	779 100.0	62 8.0	96 12.3	191 24.5	94 12.1	100 12.8	24 3.1	186 23.9	26 3.3

8. 自主防災組織について、おうかがいします。

問53で「1.積極的に参加している」、「2.時々参加している」、「3.あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

問54 お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 活発に活動している	(2) まあ活動している	(3) あまり活動していない	(4) よく知らない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位				
前回調査(R3)		786 100.0	88 11.2	316 40.2	217 27.6	150 19.1	15 1.9
全体		725 100.0	52 7.2	276 38.1	201 27.7	146 20.1	50 6.9
性別	男性	322 100.0	24 7.5	124 38.5	91 28.3	55 17.1	28 8.7
	女性	391 100.0	28 7.2	147 37.6	109 27.9	85 21.7	22 5.6
	回答しない	10 100.0	-	3 30.0	1 10.0	6 60.0	-
年代別	10歳代	3 100.0	-	1 33.3	-	2 66.7	-
	20歳代	24 100.0	-	10 41.7	8 33.3	5 20.8	1 4.2
	30歳代	44 100.0	5 11.4	10 22.7	12 27.3	14 31.8	3 6.8
	40歳代	90 100.0	4 4.4	30 33.3	29 32.2	22 24.4	5 5.6
	50歳代	123 100.0	10 8.1	36 29.3	29 23.6	32 26.0	16 13.0
	60歳代	189 100.0	14 7.4	78 41.3	49 25.9	37 19.6	11 5.8
	70歳以上	251 100.0	19 7.6	110 43.8	74 29.5	34 13.5	14 5.6
職業別	農林業	39 100.0	2 5.1	15 38.5	14 35.9	6 15.4	2 5.1
	漁業	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3	-
	商工サービス業自営	36 100.0	3 8.3	11 30.6	11 30.6	7 19.4	4 11.1
	会社員(役員を含む)、公務員	214 100.0	20 9.3	64 29.9	60 28.0	49 22.9	21 9.8
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	12 100.0	1 8.3	5 41.7	4 33.3	2 16.7	-
	主婦・主夫	89 100.0	6 6.7	47 52.8	22 24.7	11 12.4	3 3.4
	パート、アルバイト	85 100.0	6 7.1	28 32.9	23 27.1	23 27.1	5 5.9
	学生	9 100.0	-	3 33.3	4 44.4	2 22.2	-
	無職(すでに退職を含む)	186 100.0	11 5.9	78 41.9	52 28.0	34 18.3	11 5.9
	その他	47 100.0	3 6.4	21 44.7	11 23.4	9 19.1	3 6.4
同居人数別	0人(独居)	85 100.0	8 9.4	29 34.1	18 21.2	24 28.2	6 7.1
	1人	229 100.0	19 8.3	90 39.3	60 26.2	45 19.7	15 6.6
	2人	167 100.0	8 4.8	71 42.5	50 29.9	24 14.4	14 8.4
	3人	122 100.0	10 8.2	34 27.9	41 33.6	31 25.4	6 4.9
	4人	70 100.0	3 4.3	32 45.7	19 27.1	12 17.1	4 5.7
	5人	29 100.0	3 10.3	12 41.4	4 13.8	6 20.7	4 13.8
	6人以上	15 100.0	-	5 33.3	7 46.7	3 20.0	-
	同居家族の該当者別	21 100.0	-	10 47.6	5 23.8	5 23.8	1 4.8
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	26 100.0	4 15.4	11 42.3	7 26.9	4 15.4	-
	4歳以上で小学校入学前の子ども	57 100.0	6 10.5	16 28.1	15 26.3	18 31.6	2 3.5
	小学生	263 100.0	12 4.6	106 40.3	76 28.9	52 19.8	17 6.5
	70歳以上の人	50 100.0	3 6.0	15 30.0	21 42.0	7 14.0	4 8.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	妊産婦	280 100.0	17 6.1	108 38.6	84 30.0	52 18.6	19 6.8
	該当者はいない	356 100.0	29 8.1	135 37.9	98 27.5	71 19.9	23 6.5
	浸水予測区域外	349 100.0	20 5.7	136 39.0	98 28.1	71 20.3	24 6.9

8. 自主防災組織について、おうかがいします。

問55 自主防災組織は、これからどういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 地域の方々への 防災研修	(2) 定夜に間の つづき難く 訓練など 様々な想	(3) 動害地 者域の 乳要 幼配 慮者 など(高 齢者や 活障	(4) 合動地 同へ域 訓例の 練えつ なばな ど地が 域り のを 重業 視所 しと たの 活	(5) た周 広辺 域の 的自 主防 災組 織と 連携 し	(6) わ か ら な い	(7) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=										
			1位	2位						
前回調査(R3)		1,779 100.0	648 36.4	535 30.1	689 38.7	535 30.1	391 22.0	442 24.8	24 1.3	38 2.1
全体		1,516 100.0	568 37.5	480 31.7	504 33.2	435 28.7	344 22.7	352 23.2	35 2.3	87 5.7
性別	男性	627 100.0	251 40.0	183 29.2	208 33.2	201 32.1	150 23.9	141 22.5	14 2.2	31 4.9
	女性	860 100.0	310 36.0	294 34.2	294 34.2	230 26.7	194 22.6	200 23.3	20 2.3	50 5.8
	回答しない	18 100.0	4 22.2	3 16.7	2 11.1	3 16.7	-	8 44.4	1 5.6	2 11.1
年代別	10歳代	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	-
	20歳代	97 100.0	38 39.2	30 30.9	27 27.8	24 27.8	21 24.7	3 21.6	3 3.1	5 5.2
	30歳代	151 100.0	55 36.4	39 25.8	53 35.1	52 34.4	29 19.2	38 25.2	4 2.6	6 4.0
	40歳代	216 100.0	76 35.2	76 35.2	70 32.4	72 33.3	48 22.2	52 24.1	3 1.4	10 4.6
	50歳代	278 100.0	96 34.5	80 28.8	82 29.5	83 29.9	62 22.3	75 27.0	6 2.2	14 5.0
	60歳代	331 100.0	138 41.7	122 36.9	125 37.8	105 31.7	86 26.0	68 20.5	3 0.9	14 4.2
	70歳以上	426 100.0	158 37.1	131 30.8	146 34.3	92 21.6	93 21.8	94 22.1	15 3.5	34 8.0
職業別	農林業	63 100.0	20 31.7	14 22.2	23 36.5	8 12.7	7 11.1	15 23.8	2 3.2	6 9.5
	漁業	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	23 34.8	9 13.6	17 25.8	19 28.8	18 27.3	19 28.8	1 1.5	6 9.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	202 37.6	174 32.4	169 31.5	180 33.5	119 22.2	131 24.4	10 1.9	24 4.5
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	13 43.3	10 33.3	12 40.0	10 33.3	10 33.3	5 16.7	-	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	59 36.4	68 42.0	56 34.6	35 21.6	33 20.4	26 16.0	3 1.9	11 6.8
	パート、アルバイト	189 100.0	72 38.1	60 31.7	67 35.4	59 31.2	48 25.4	44 23.3	5 2.6	8 4.2
	学生	21 100.0	9 42.9	6 28.6	5 23.8	8 38.1	6 28.6	4 19.0	-	1 4.8
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	126 38.0	97 29.2	118 35.5	77 23.2	76 22.9	85 25.6	10 3.0	19 5.7
	その他	94 100.0	37 39.4	37 39.4	34 36.2	33 35.1	25 26.6	17 18.1	3 3.2	5 5.3
	同居人数別									
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	90 38.6	62 26.6	64 27.5	65 27.9	45 19.3	63 27.0	6 2.6	15 6.4
	1人	441 100.0	156 35.4	154 34.9	151 34.2	116 26.3	90 20.4	99 22.4	10 2.3	24 5.4
	2人	324 100.0	145 44.8	113 34.9	102 31.5	111 34.3	85 26.2	59 18.2	9 2.8	19 5.9
	3人	253 100.0	88 34.8	68 26.9	83 32.8	64 25.3	53 20.9	71 28.1	4 1.6	13 5.1
	4人	152 100.0	48 31.6	46 30.3	59 38.8	44 28.9	39 25.7	39 25.7	4 2.6	4 2.6
	5人	55 100.0	23 41.8	19 34.5	27 49.1	19 34.5	18 32.7	11 20.0	1 1.8	2 3.6
	6人以上	35 100.0	12 34.3	15 42.9	13 37.1	13 37.1	9 25.7	6 17.1	1 2.9	4 11.4
同居家族の 該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	25 32.1	27 34.6	34 43.6	21 26.9	19 24.4	18 23.1	1 1.3	3 3.8
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	22 30.1	27 37.0	32 43.8	37 50.7	23 31.5	13 17.8	1 1.4	1 1.4
	小学生	146 100.0	50 34.2	47 32.2	53 36.3	54 37.0	48 32.9	31 21.2	6 4.1	4 2.7
	70歳以上の人	491 100.0	179 36.5	162 33.0	173 35.2	115 23.4	106 21.6	109 22.2	17 3.5	34 6.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	30 32.3	27 29.0	47 50.5	23 24.7	16 17.2	26 28.0	4 4.3	4 4.3
	妊娠婦	9 100.0	2 22.2	3 33.3	2 22.2	-	-	3 33.3	1 11.1	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	224 38.2	180 30.7	174 29.6	182 31.0	132 22.5	143 24.4	7 1.2	30 5.1
区域予 測別	浸水予測区域内	696 100.0	268 38.5	246 35.3	226 32.5	221 31.8	176 25.3	152 21.8	18 2.6	41 5.9
	浸水予測区域外	779 100.0	289 37.1	223 28.6	269 34.5	206 26.4	158 20.3	187 24.0	15 1.9	42 5.4

9. 消防団について、おうかがいします。

問56 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 入団し、積極的に参加している	(2) 入団し、時々参加している	(3) 入団しているが、あまり参加していない	(4) 入団していないが、参加している	(5) 加入する予定はないし、今後も参加しない	(6) 住んでいない地域に消防団がある	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位	2位					
前回調査(R3)		1,779 100.0	36 2.0	10 0.6	3 0.2	86 4.8	1,168 65.7	435 24.5	41 2.3
全体		1,516 100.0	25 1.6	7 0.5	6 0.4	57 3.8	954 62.9	346 22.8	121 8.0
性別	男性	627 100.0	20 3.2	3 0.5	2 0.3	32 5.1	414 66.0	114 18.2	42 6.7
	女性	860 100.0	5 0.6	4 0.5	4 0.5	25 2.9	523 60.8	226 26.3	73 8.5
	回答しない	18 100.0	-	-	-	-	11 61.1	5 27.8	2 11.1
年代別	10歳代	7 100.0	-	-	-	1 14.3	4 57.1	2 28.6	-
	20歳代	97 100.0	-	-	1 1.0	5 5.2	63 64.9	25 25.8	3 3.1
	30歳代	151 100.0	3 2.0	1 0.7	-	8 5.3	94 62.3	42 27.8	3 2.0
	40歳代	216 100.0	8 3.7	-	2 0.9	7 3.2	137 63.4	56 25.9	6 2.8
	50歳代	278 100.0	8 2.9	2 0.7	-	10 3.6	182 65.5	65 23.4	11 4.0
	60歳代	331 100.0	3 0.9	4 1.2	2 0.6	17 5.1	196 59.2	85 25.7	24 7.3
	70歳以上	426 100.0	3 0.7	-	1 0.2	9 2.1	273 64.1	69 16.2	71 16.7
職業別	農林業	63 100.0	6 9.5	-	-	4 6.3	43 68.3	3 4.8	7 11.1
	漁業	3 100.0	-	-	-	-	3 100.0	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	1 1.5	1 1.5	-	3 4.5	43 65.2	12 18.2	6 9.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	14 2.6	3 0.6	3 0.6	24 4.5	334 62.2	143 26.6	16 3.0
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	-	-	-	2 6.7	21 70.0	5 16.7	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	1 0.6	1 0.6	1 0.6	2 1.2	99 61.1	34 21.0	24 14.8
	パート、アルバイト	189 100.0	1 0.5	-	-	7 3.7	120 63.5	51 27.0	10 5.3
	学生	21 100.0	-	-	-	3 14.3	12 57.1	5 23.8	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	2 0.6	2 0.6	2 0.6	5 1.5	211 63.6	71 21.4	39 11.7
	その他	94 100.0	-	-	-	6 6.4	58 61.7	17 18.1	13 13.8
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	2 0.9	1 0.4	-	8 3.4	124 53.2	76 32.6	22 9.4
	1人	441 100.0	7 1.6	3 0.7	2 0.5	8 1.8	277 62.8	106 24.0	38 8.6
	2人	324 100.0	5 1.5	2 0.6	1 0.3	13 4.0	209 64.5	64 19.8	30 9.3
	3人	253 100.0	4 1.6	-	2 0.8	10 4.0	170 67.2	54 21.3	13 5.1
	4人	152 100.0	2 1.3	-	1 0.7	12 7.9	100 65.8	28 18.4	9 5.9
	5人	55 100.0	2 3.6	-	-	4 7.3	38 69.1	9 16.4	2 3.6
	6人以上	35 100.0	3 8.6	-	-	1 2.9	21 60.0	7 20.0	3 8.6
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	-	-	1 1.3	5 6.4	53 67.9	18 23.1	1 1.3
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	2 2.7	-	-	5 6.8	50 68.5	15 20.5	1 1.4
	小学生	146 100.0	4 2.7	-	1 0.7	5 3.4	101 69.2	33 22.6	2 1.4
	70歳以上の人	491 100.0	7 1.4	2 0.4	2 0.4	16 3.3	326 66.4	80 16.3	58 11.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	2 2.2	-	-	3 3.2	60 64.5	16 17.2	12 12.9
	妊娠婦	9 100.0	-	-	-	-	2 22.2	6 66.7	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	11 1.9	4 0.7	2 0.3	22 3.7	367 62.5	148 25.2	33 5.6
浸水予測区域別	浸水予測区域内	696 100.0	9 1.3	3 0.4	3 0.4	32 4.6	432 62.1	165 23.7	52 7.5
	浸水予測区域外	779 100.0	14 1.8	3 0.4	3 0.4	25 3.2	494 63.4	174 22.3	66 8.5

9. 消防団について、おうかがいします。

問56で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

問57 どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○)

		調査数	(1) 守る分 必要た ちがの 地ある 域とは 感じ分 たから で	(2) 友人・ 知人に 誘われ たから	(3) 報酬に 魅力を感じ たから	(4) 人脈を 広げられ るから	(5) カッコ いいと思 ったから	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=									
			1位						
			2位						
前回調査(R3)		49 100.0	25 51.0	32 65.3	0 0.0	3 6.1	1 2.0	1 2.0	2 4.1
全体		38 100.0	18 47.4	21 55.3	1 2.6	5 13.2	- -	1 2.6	2 5.3
性別	男性	25 100.0	13 52.0	13 52.0	1 4.0	5 20.0	- -	- -	1 4.0
	女性	13 100.0	5 38.5	8 61.5	- -	- -	- -	1 7.7	1 7.7
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	30歳代	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0
	40歳代	10 100.0	3 30.0	8 80.0	1 10.0	-	-	-	-
	50歳代	10 100.0	5 50.0	7 70.0	-	3 30.0	-	-	-
	60歳代	9 100.0	6 66.7	2 22.2	-	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1
	70歳以上	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-
職業別	農林業	6 100.0	4 66.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-
	会社員(役員を含む)、 公務員	20 100.0	9 45.0	14 70.0	-	4 20.0	-	-	1 5.0
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	-	-	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	-	-	-	-
	パート、アルバイト	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職(すでに退職を含む)	6 100.0	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7	-	-	1 16.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
同居人数別	0人(独居)	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-
	1人	12 100.0	5 41.7	7 58.3	-	2 16.7	-	-	1 8.3
	2人	8 100.0	4 50.0	3 37.5	-	1 12.5	-	-	1 12.5
	3人	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	-	-	-	-
	4人	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	-	-	-	-
	5人	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
	6人以上	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-
	小学生	5 100.0	2 40.0	4 80.0	-	-	-	1 20.0	-
	70歳以上の人	11 100.0	3 27.3	5 45.5	-	1 9.1	-	1 9.1	2 18.2
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-
	妊娠婦	-	-	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	17 100.0	9 52.9	11 64.7	-	4 23.5	-	-	-
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	15 100.0	7 46.7	10 66.7	-	2 13.3	-	-	1 6.7
	浸水予測区域外	20 100.0	9 45.0	10 50.0	1 5.0	2 10.0	-	1 5.0	1 5.0

9. 消防団について、おうかがいします。

問58 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
		調査数	て地域に密着した防災活動をし	加地域を守る意識の高い方が参	と地元の人同士で和気あいあい	体力が必要	し会社員は仕事があるので参加	大土日に訓練等の活動があり、	若い人が不足している	規律が厳しい	なそもそも消防団とは何か知ら	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位									
前回調査(R3)		1,779 100.0	920 51.7	616 34.6	377 21.2	521 29.3	454 25.5	237 13.3	561 31.5	33 1.9	159 8.9	51 2.9	60 3.4
全体		1,516 100.0	766 50.5	492 32.5	245 16.2	489 32.3	301 19.9	170 11.2	475 31.3	32 2.1	86 5.7	43 2.8	112 7.4
性別	男性	627 100.0	314 50.1	215 34.3	116 18.5	186 29.7	145 23.1	82 13.1	203 32.4	13 2.1	33 5.3	11 1.8	44 7.0
	女性	860 100.0	439 51.0	273 31.7	126 14.7	293 34.1	152 17.7	87 10.1	262 30.5	19 2.2	51 5.9	30 3.5	64 7.4
	回答しない	18 100.0	8 44.4	2 11.1	2 11.1	7 38.9	3 16.7	- -	6 33.3	- -	2 11.1	2 11.1	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	2 28.6	- -	2 28.6	1 14.3	- -	2 28.6	- -	1 14.3	1 14.3	- -
	20歳代	97 100.0	43 44.3	27 27.8	19 19.6	30 30.9	19 19.6	14 14.4	21 21.6	7 7.2	12 12.4	1 1.0	4 4.1
	30歳代	151 100.0	62 41.1	34 22.5	28 18.5	51 33.8	41 27.2	33 21.9	46 30.5	7 4.6	10 6.6	7 4.6	5 3.3
	40歳代	216 100.0	95 44.0	72 33.3	46 21.3	56 25.9	65 30.1	44 20.4	60 27.8	6 2.8	21 9.7	7 3.2	5 2.3
	50歳代	278 100.0	152 54.7	95 34.2	47 16.9	84 30.2	77 27.7	36 12.9	89 32.0	4 1.4	11 4.0	8 2.9	12 4.3
	60歳代	331 100.0	190 57.4	114 34.4	58 17.5	116 35.0	62 18.7	25 7.6	114 34.4	3 0.9	15 4.5	7 2.1	18 5.4
	70歳以上	426 100.0	219 51.4	147 34.5	46 10.8	148 34.7	34 8.0	17 4.0	139 32.6	5 1.2	16 3.8	12 2.8	65 15.3
	職業別	農林業	63 100.0	32 50.8	18 28.6	12 19.0	26 41.3	10 15.9	7 11.1	29 46.0	1 1.6	- -	2 3.2
漁業		3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -
商工サービス業自営		66 100.0	35 53.0	20 30.3	20 30.3	18 27.3	12 18.2	6 9.1	16 24.2	1 1.5	3 4.5	1 1.5	6 9.1
会社員(役員を含む)、公務員		537 100.0	273 50.8	168 31.3	99 18.4	148 27.6	166 30.9	97 18.1	163 30.4	12 2.2	33 6.1	15 2.8	19 3.5
自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)		30 100.0	16 53.3	15 50.0	7 23.3	12 40.0	5 16.7	1 3.3	11 36.7	1 3.3	- -	- -	1 3.3
主婦・主夫		162 100.0	81 50.0	58 35.8	16 9.9	56 34.6	13 8.0	10 6.2	52 32.1	5 3.1	7 4.3	6 3.7	21 13.0
パート、アルバイト		189 100.0	92 48.7	53 28.0	39 20.6	64 33.9	41 21.7	19 10.1	56 29.6	6 3.2	14 7.4	7 3.7	10 5.3
学生		21 100.0	9 42.9	7 33.3	1 4.8	10 47.6	4 19.0	3 14.3	6 28.6	1 4.8	2 9.5	- -	1 4.8
無職(すでに退職を含む)		332 100.0	172 51.8	113 34.0	30 9.0	120 36.1	26 7.8	15 4.5	108 32.5	3 0.9	19 5.7	7 2.1	42 12.7
その他		94 100.0	46 48.9	32 34.0	17 18.1	29 30.9	18 19.1	10 10.6	23 24.5	2 2.1	8 8.5	4 4.3	7 7.4
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	118 50.6	86 36.9	31 13.3	72 30.9	35 15.0	20 8.6	66 28.3	3 1.3	19 8.2	4 1.7	20 8.6
	1人	441 100.0	224 50.8	149 33.8	72 16.3	155 35.1	82 18.6	39 8.8	138 31.3	5 1.1	23 5.2	10 2.3	38 8.6
	2人	324 100.0	173 53.4	107 33.0	44 13.6	97 29.9	74 22.8	39 12.0	125 38.6	5 1.5	9 2.8	8 2.5	26 8.0
	3人	253 100.0	119 47.0	75 29.6	47 18.6	83 32.8	55 21.7	35 13.8	66 26.1	10 4.0	17 6.7	13 5.1	12 4.7
	4人	152 100.0	71 46.7	40 26.3	31 20.4	44 28.9	33 21.7	29 19.1	42 27.6	6 3.9	16 10.5	4 2.6	5 3.3
	5人	55 100.0	30 54.5	18 32.7	10 18.2	18 32.7	10 18.2	3 5.5	18 32.7	1 1.8	2 3.6	3 5.5	3 5.5
	6人以上	35 100.0	19 54.3	13 37.1	5 14.3	14 40.0	9 25.7	4 11.4	11 31.4	1 2.9	- -	- -	4 11.4
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	42 53.8	17 21.8	16 20.5	22 28.2	23 29.5	13 16.7	27 34.6	6 7.7	5 6.4	3 3.8	2 2.6
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	37 50.7	25 34.2	16 21.9	19 26.0	24 32.9	14 19.2	23 31.5	3 4.1	4 5.5	3 4.1	1 1.4
	小学生	146 100.0	67 45.9	48 32.9	31 21.2	42 28.8	44 30.1	30 20.5	45 30.8	4 2.7	9 6.2	5 3.4	3 2.1
	70歳以上の人	491 100.0	252 51.3	167 34.0	63 12.8	181 36.9	71 14.5	47 9.6	171 34.8	11 2.2	17 3.5	18 3.7	53 10.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	46 49.5	24 25.8	18 19.4	36 38.7	13 14.0	9 9.7	33 35.5	2 2.2	3 3.2	4 4.3	7 7.5
	妊娠婦	9 100.0	1 11.1	1 11.1	- -	2 22.2	1 11.1	- -	1 11.1	- -	5 55.6	- -	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	299 50.9	184 31.3	102 17.4	187 31.9	139 23.7	65 11.1	169 28.8	10 1.7	36 6.1	13 2.2	36 6.1
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	351 50.4	222 31.9	95 13.6	222 31.9	136 19.5	72 10.3	238 34.2	15 2.2	36 5.2	19 2.7	53 7.6
	浸水予測区域外	779 100.0	394 50.6	261 33.5	139 17.8	259 33.2	157 20.2	94 12.1	230 29.5	17 2.2	45 5.8	21 2.7	55 7.1

9. 消防団について、おうかがいします。

問59 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

		調査数	(1) る引団 な員 どの にな ると ビ、 ス飲 が食 受店 け等 らで れ割	(2) る係団 の員 の方 を知 誘人 つな て一 顔 緒の に見 参え 加る す関	(3) るビバ Cン Mフレ など でも ちつ つと ン広 、報 テす	(4) 員訓 の練 の負 の担 を数 を減 らす など 、団	(5) 切消 さ防 団の 必の 要担 つて P R する 役 割 の 大	(6) 消 防 団 は 必 要 な い	(7) そ の 他	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位						
前回調査(R3)		1,779 100.0	391 22.0	462 26.0	623 35.0	317 17.8	1,125 63.2	27 1.5	99 5.6	97 5.5
全体		1,516 100.0	292 19.3	368 24.3	498 32.8	266 17.5	899 59.3	11 0.7	75 4.9	172 11.3
性別	男性	627 100.0	134 21.4	148 23.6	199 31.7	116 18.5	373 59.5	8 1.3	31 4.9	66 10.5
	女性	860 100.0	152 17.7	215 25.0	294 34.2	144 16.7	514 59.8	1 0.1	43 5.0	99 11.5
	回答しない	18 100.0	4 22.2	4 22.2	5 27.8	3 16.7	9 50.0	2 11.1	1 5.6	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-
	20歳代	97 100.0	34 35.1	19 19.6	39 40.2	28 28.9	54 55.7	1 1.0	2 2.1	5 5.2
	30歳代	151 100.0	49 32.5	33 21.9	45 29.8	41 27.2	69 45.7	3 2.0	13 8.6	6 4.0
	40歳代	216 100.0	64 29.6	56 25.9	61 28.2	42 19.4	131 60.6	2 0.9	11 5.1	15 6.9
	50歳代	278 100.0	43 15.5	62 22.3	88 31.7	63 22.7	171 61.5	1 0.4	16 5.8	21 7.6
	60歳代	331 100.0	51 15.4	96 29.0	114 34.4	46 13.9	219 66.2	3 0.9	14 4.2	30 9.1
	70歳以上	426 100.0	48 11.3	100 23.5	149 35.0	42 9.9	249 58.5	-	17 4.0	90 21.1
職業別	農林業	63 100.0	9 14.3	16 25.4	20 31.7	13 20.6	42 66.7	-	1 1.6	8 12.7
	漁業	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	12 18.2	16 24.2	13 19.7	8 12.1	29 43.9	3 4.5	5 7.6	11 16.7
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	148 27.6	124 23.1	176 32.8	124 23.1	321 59.8	2 0.4	30 5.6	33 6.1
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	8 26.7	10 33.3	11 36.7	5 16.7	16 53.3	-	1 3.3	4 13.3
	主婦・主夫	162 100.0	17 10.5	47 29.0	53 32.7	23 14.2	102 63.0	-	4 2.5	23 14.2
	パート、アルバイト	189 100.0	33 17.5	48 25.4	68 36.0	37 19.6	111 58.7	1 0.5	11 5.8	20 10.6
	学生	21 100.0	6 28.6	3 14.3	6 28.6	6 28.6	11 52.4	2 9.5	-	1 4.8
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	40 12.0	76 22.9	117 35.2	34 10.2	199 59.9	2 0.6	14 4.2	54 16.3
	その他	94 100.0	12 12.8	24 25.5	31 33.0	13 13.8	58 61.7	-	8 8.5	13 13.8
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	40 17.2	48 20.6	78 33.5	38 16.3	140 60.1	2 0.9	10 4.3	25 10.7
	1人	441 100.0	82 18.6	104 23.6	148 33.6	56 12.7	292 66.2	2 0.5	13 2.9	58 13.2
	2人	324 100.0	58 17.9	82 25.3	107 33.0	62 19.1	192 59.3	-	21 6.5	35 10.8
	3人	253 100.0	55 21.7	62 24.5	79 31.2	45 17.8	148 58.5	3 1.2	15 5.9	24 9.5
	4人	152 100.0	35 23.0	36 23.7	50 32.9	43 28.3	78 51.3	2 1.3	11 7.2	8 5.3
	5人	55 100.0	9 16.4	13 23.6	15 27.3	11 20.0	25 45.5	2 3.6	4 7.3	9 16.4
	6人以上	35 100.0	7 20.0	14 40.0	16 45.7	6 17.1	17 48.6	-	1 2.9	6 17.1
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	33 42.3	23 29.5	25 32.1	19 24.4	37 47.4	2 2.6	1 1.3	1 1.3
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	21 28.8	15 20.5	20 27.4	23 31.5	34 46.6	-	3 4.1	4 5.5
	小学生	146 100.0	39 26.7	42 28.8	49 33.6	37 25.3	83 56.8	3 2.1	9 6.2	9 6.2
	70歳以上の人	491 100.0	72 14.7	125 25.5	160 32.6	68 13.8	304 61.9	1 0.2	21 4.3	83 16.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	12 12.9	25 26.9	25 26.9	21 22.6	50 53.8	-	11 11.8	12 12.9
	妊娠婦	9 100.0	1 11.1	2 22.2	6 66.7	2 22.2	7 77.8	-	-	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	112 19.1	138 23.5	198 33.7	109 18.6	348 59.3	5 0.9	31 5.3	50 8.5
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	129 18.5	163 23.4	233 33.5	104 14.9	433 62.2	3 0.4	35 5.0	73 10.5
	浸水予測区域外	779 100.0	156 20.0	198 25.4	249 32.0	155 19.9	449 57.6	7 0.9	39 5.0	92 11.8

10. 地域の防災力について、おうかがいします。

問60 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 催行する政 府や自主に 防災組織な どが主	(2) 職場で行 った訓練に 参加した	(3) その他の 訓練に参 加した	(4) 参加して いない	(5) た訓練が なかった、 またはあ った	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	248 13.9	359 20.2	54 3.0	754 42.4	344 19.3	20 1.1
全体		1,516 100.0	233 15.4	271 17.9	41 2.7	638 42.1	247 16.3	86 5.7
性別	男性	627 100.0	121 19.3	99 15.8	20 3.2	260 41.5	95 15.2	32 5.1
	女性	860 100.0	110 12.8	166 19.3	20 2.3	363 42.2	151 17.6	50 5.8
	回答しない	18 100.0	-	4 22.2	1 5.6	11 61.1	1 5.6	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	1 14.3	2 28.6	-	4 57.1	-	-
	20歳代	97 100.0	5 5.2	19 19.6	5 5.2	46 47.4	20 20.6	2 2.1
	30歳代	151 100.0	12 7.9	50 33.1	1 0.7	64 42.4	20 13.2	4 2.6
	40歳代	216 100.0	26 12.0	63 29.2	7 3.2	89 41.2	29 13.4	2 0.9
	50歳代	278 100.0	30 10.8	78 28.1	7 2.5	103 37.1	53 19.1	7 2.5
	60歳代	331 100.0	60 18.1	46 13.9	11 3.3	143 43.2	50 15.1	21 6.3
	70歳以上	426 100.0	98 23.0	11 2.6	10 2.3	184 43.2	75 17.6	48 11.3
職業別	農林業	63 100.0	18 28.6	3 4.8	2 3.2	23 36.5	12 19.0	5 7.9
	漁業	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3
	商工サービス業自営	66 100.0	13 19.7	5 7.6	1 1.5	29 43.9	14 21.2	4 6.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	58 10.8	187 34.8	13 2.4	189 35.2	75 14.0	15 2.8
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	2 6.7	2 6.7	-	21 70.0	4 13.3	1 3.3
	主婦・主夫	162 100.0	32 19.8	2 1.2	1 0.6	78 48.1	31 19.1	18 11.1
	パート、アルバイト	189 100.0	24 12.7	27 14.3	4 2.1	91 48.1	36 19.0	7 3.7
	学生	21 100.0	2 9.5	2 9.5	1 4.8	12 57.1	3 14.3	1 4.8
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	62 18.7	16 4.8	16 4.8	151 45.5	57 17.2	30 9.0
	その他	94 100.0	18 19.1	23 24.5	3 3.2	34 36.2	14 14.9	2 2.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	26 11.2	41 17.6	3 1.3	103 44.2	47 20.2	13 5.6
	1人	441 100.0	82 18.6	54 12.2	15 3.4	179 40.6	87 19.7	24 5.4
	2人	324 100.0	59 18.2	62 19.1	13 4.0	119 36.7	47 14.5	24 7.4
	3人	253 100.0	24 9.5	55 21.7	2 0.8	126 49.8	36 14.2	10 4.0
	4人	152 100.0	22 14.5	37 24.3	6 3.9	59 38.8	20 13.2	8 5.3
	5人	55 100.0	7 12.7	10 18.2	-	31 56.4	5 9.1	2 3.6
	6人以上	35 100.0	8 22.9	7 20.0	2 5.7	13 37.1	4 11.4	1 2.9
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	4 5.1	22 28.2	-	38 48.7	12 15.4	2 2.6
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	9 12.3	21 28.8	1 1.4	30 41.1	11 15.1	1 1.4
	小学生	146 100.0	16 11.0	45 30.8	4 2.7	65 44.5	16 11.0	-
	70歳以上の人	491 100.0	101 20.6	51 10.4	12 2.4	214 43.6	76 15.5	37 7.5
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	17 18.3	12 12.9	1 1.1	39 41.9	17 18.3	7 7.5
	妊娠婦	9 100.0	-	-	-	5 55.6	4 44.4	-
	該当者はいない	587 100.0	78 13.3	125 21.3	21 3.6	241 41.1	96 16.4	26 4.4
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	696 100.0	120 17.2	117 16.8	21 3.0	296 42.5	98 14.1	44 6.3
	浸水予測区域外	779 100.0	105 13.5	145 18.6	19 2.4	328 42.1	143 18.4	39 5.0

10. 地域の防災力について、おうかがいします。

問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

問61 具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものをすべてに○)

		調査数	(1) 避難訓練	(2) 消火訓練	(3) 救出・救助訓練	(4) 応急手当訓練	(5) 炊き出し訓練	(6) 情報伝達訓練	(7) 介護訓練や支援を必要とする人の	(8) 避難所運営訓練	(9) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=												
			1位	2位								
前回調査(R3)		661 100.0	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1
全体		545 100.0	447 82.0	209 38.3	60 11.0	79 14.5	69 12.7	66 12.1	34 6.2	35 6.4	12 2.2	19 3.5
性別	男性	240 100.0	207 86.3	93 38.8	39 16.3	40 16.7	30 12.5	37 15.4	15 6.3	22 9.2	4 1.7	7 2.9
	女性	296 100.0	233 78.7	112 37.8	20 6.8	37 12.5	38 12.8	29 9.8	19 6.4	13 4.4	8 2.7	12 4.1
	回答しない	5 100.0	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	10歳代	3 100.0	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-
	20歳代	29 100.0	22 75.9	10 34.5	2 6.9	4 13.8	-	4 13.8	1 3.4	1 3.4	-	2 6.9
	30歳代	63 100.0	53 84.1	26 41.3	7 11.1	11 17.5	6 9.5	6 9.5	5 7.9	4 6.3	3 4.8	3 4.8
	40歳代	96 100.0	81 84.4	36 37.5	8 8.3	12 12.5	8 8.3	11 11.5	4 4.2	6 6.3	4 4.2	1 1.0
	50歳代	115 100.0	92 80.0	48 41.7	15 13.0	15 13.0	16 13.9	23 20.0	8 7.0	8 7.0	2 1.7	8 7.0
	60歳代	117 100.0	98 83.8	42 35.9	11 9.4	18 15.4	15 12.8	18 15.4	11 9.4	9 7.7	1 0.9	1 0.9
	70歳以上	119 100.0	97 81.5	44 37.0	17 14.3	17 14.3	22 18.5	4 3.4	4 3.4	6 5.0	2 1.7	4 3.4
職業別	農林業	23 100.0	16 69.6	5 21.7	1 4.3	-	3 13.0	-	-	2 8.7	-	2 8.7
	漁業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業自営	19 100.0	17 89.5	5 26.3	2 10.5	2 10.5	3 15.8	2 10.5	4 21.1	1 5.3	-	-
	会社員(役員を含む)、公務員	258 100.0	219 84.9	105 40.7	30 11.6	38 14.7	23 8.9	42 16.3	17 6.6	17 6.6	7 2.7	7 2.7
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫	35 100.0	26 74.3	13 37.1	2 5.7	5 14.3	9 25.7	2 5.7	-	3 8.6	1 2.9	-
	パート、アルバイト	55 100.0	45 81.8	20 36.4	5 9.1	6 10.9	8 14.5	5 9.1	1 1.8	1 1.8	-	3 5.5
	学生	5 100.0	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	94 100.0	75 79.8	34 36.2	13 13.8	10 10.6	15 16.0	6 6.4	4 4.3	5 5.3	1 1.1	3 3.2
	その他	44 100.0	37 84.1	20 45.5	6 13.6	14 31.8	6 13.6	8 18.2	7 15.9	5 11.4	3 6.8	3 6.8
同居人数別	0人(独居)	70 100.0	57 81.4	22 31.4	8 11.4	10 14.3	6 8.6	9 12.9	3 4.3	1 1.4	3 4.3	4 5.7
	1人	151 100.0	126 83.4	54 35.8	11 7.3	17 11.3	20 13.2	15 9.9	10 6.6	9 6.0	2 1.3	4 2.6
	2人	134 100.0	110 82.1	53 39.6	14 10.4	14 10.4	17 12.7	15 11.2	7 5.2	11 8.2	4 3.0	4 3.0
	3人	81 100.0	63 77.8	37 45.7	13 16.0	19 23.5	8 9.9	14 17.3	6 7.4	4 4.9	2 2.5	5 6.2
	4人	65 100.0	54 83.1	24 36.9	7 10.8	11 16.9	10 15.4	9 13.8	3 4.6	9 13.8	1 1.5	1 1.5
	5人	17 100.0	15 88.2	9 52.9	4 23.5	6 35.3	5 29.4	4 23.5	4 23.5	1 5.9	-	1 5.9
	6人以上	17 100.0	14 82.4	5 29.4	3 17.6	1 5.9	2 11.8	-	1 5.9	-	-	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	26 100.0	19 73.1	17 65.4	2 7.7	2 7.7	3 11.5	3 11.5	2 7.7	3 11.5	-	1 3.8
	4歳以上で小学校入学前の子ども	31 100.0	27 87.1	13 41.9	3 9.7	8 25.8	7 22.6	4 12.9	3 9.7	3 9.7	1 3.2	-
	小学生	65 100.0	55 84.6	31 47.7	8 12.3	15 23.1	10 15.4	6 9.2	6 9.2	8 12.3	3 4.6	2 3.1
	70歳以上の人	164 100.0	132 80.5	62 37.8	20 12.2	25 15.2	23 14.0	7 4.3	8 4.9	11 6.7	2 1.2	5 3.0
	日常生活で介護や支援を必要とする人	30 100.0	24 80.0	8 26.7	3 10.0	4 13.3	3 10.0	3 10.0	1 3.3	3 10.0	1 3.3	1 3.3
	妊娠婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	該当者はいない	224 100.0	186 83.0	81 36.2	23 10.3	26 11.6	24 10.7	36 16.1	16 7.1	10 4.5	2 0.9	10 4.5
区域予測	浸水予測区域内	258 100.0	220 85.3	83 32.2	26 10.1	32 12.4	27 10.5	28 10.9	15 5.8	18 7.0	8 3.1	11 4.3
	浸水予測区域外	269 100.0	214 79.6	118 43.9	33 12.3	47 17.5	40 14.9	37 13.8	19 7.1	17 6.3	4 1.5	7 2.6

10. 地域の防災力について、おうかがいします。

問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○)

	調査数	(1) 緒近に所 参加士で するを 掛け合っ て一	(2) 訓練の 実施をも っと広報 する	(3) や訓 す練の 日の回 数を増 やす、 参加し	(4) 他のイ ベント と一緒 に行う	(5) 参加を 義務化 する	(6) 参加賞 (非常食)などを 出す	(7) その他	無回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位	2位						
前回調査(R3)	1,779 100.0	664 37.3	535 30.1	365 20.5	523 29.4	275 15.5	417 23.4	51 2.9	72 4.0
全体	1,516 100.0	550 36.3	452 29.8	280 18.5	414 27.3	165 10.9	301 19.9	54 3.6	132 8.7
性別									
男性	627 100.0	244 38.9	205 32.7	113 18.0	166 26.5	62 9.9	117 18.7	16 2.6	54 8.6
女性	860 100.0	301 35.0	242 28.1	164 19.1	240 27.9	99 11.5	177 20.6	35 4.1	75 8.7
回答しない	18 100.0	1 5.6	4 22.2	1 5.6	7 38.9	2 11.1	4 22.2	3 16.7	1 5.6
年代別									
10歳代	7 100.0	- -	- -	3 42.9	1 14.3	3 42.9	3 42.9	- -	- -
20歳代	97 100.0	16 16.5	28 28.9	25 25.8	33 34.0	18 18.6	38 39.2	3 3.1	4 4.1
30歳代	151 100.0	35 23.2	30 19.9	36 23.8	51 33.8	19 12.6	61 40.4	4 2.6	7 4.6
40歳代	216 100.0	54 25.0	65 30.1	47 21.8	81 37.5	28 13.0	57 26.4	8 3.7	9 4.2
50歳代	278 100.0	90 32.4	82 29.5	63 22.7	100 36.0	21 7.6	59 21.2	13 4.7	16 5.8
60歳代	331 100.0	135 40.8	120 36.3	61 18.4	73 22.1	36 10.9	41 12.4	7 2.1	30 9.1
70歳以上	426 100.0	217 50.9	125 29.3	44 10.3	73 17.1	38 8.9	39 9.2	19 4.5	65 15.3
職業別									
農林業	63 100.0	33 52.4	14 22.2	7 11.1	14 22.2	4 6.3	4 6.3	1 1.6	9 14.3
漁業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3
商工サービス業自営	66 100.0	26 39.4	21 31.8	12 18.2	12 18.2	5 7.6	12 18.2	1 1.5	4 6.1
会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	137 25.5	165 30.7	128 23.8	188 35.0	64 11.9	142 26.4	17 3.2	29 5.4
自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	10 33.3	8 26.7	4 13.3	11 36.7	7 23.3	9 30.0	1 3.3	2 6.7
主婦・主夫	162 100.0	78 48.1	53 32.7	17 10.5	32 19.8	20 12.3	18 11.1	4 2.5	18 11.1
パート、アルバイト	189 100.0	55 29.1	58 30.7	45 23.8	51 27.0	22 11.6	47 24.9	6 3.2	15 7.9
学生	21 100.0	2 9.5	2 9.5	7 33.3	5 23.8	4 19.0	12 57.1	- -	1 4.8
無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	160 48.2	96 28.9	39 11.7	72 21.7	25 7.5	37 11.1	15 4.5	47 14.2
その他	94 100.0	42 44.7	31 33.0	17 18.1	23 24.5	9 9.6	14 14.9	9 9.6	4 4.3
同居人数別									
0人(独居)	233 100.0	82 35.2	76 32.6	39 16.7	58 24.9	20 8.6	41 17.6	11 4.7	20 8.6
1人	441 100.0	181 41.0	131 29.7	87 19.7	109 24.7	52 11.8	61 13.8	13 2.9	40 9.1
2人	324 100.0	122 37.7	96 29.6	67 20.7	85 26.2	27 8.3	70 21.6	8 2.5	33 10.2
3人	253 100.0	80 31.6	73 28.9	41 16.2	77 30.4	35 13.8	59 23.3	10 4.0	16 6.3
4人	152 100.0	40 26.3	41 27.0	29 19.1	55 36.2	16 10.5	45 29.6	5 3.3	11 7.2
5人	55 100.0	15 27.3	19 34.5	9 16.4	13 23.6	10 18.2	12 21.8	4 7.3	8 14.5
6人以上	35 100.0	18 51.4	13 37.1	2 5.7	12 34.3	3 8.6	8 22.9	3 8.6	1 2.9
同居家族の該 当者別									
3歳以下の乳幼児	78 100.0	18 23.1	17 21.8	15 19.2	30 38.5	12 15.4	24 30.8	3 3.8	4 5.1
4歳以上で小学校入 学前の子ども	73 100.0	23 31.5	20 27.4	16 21.9	29 39.7	8 11.0	23 31.5	1 1.4	2 2.7
小学生	146 100.0	37 25.3	47 32.2	32 21.9	55 37.7	23 15.8	47 32.2	8 5.5	2 1.4
70歳以上の人	491 100.0	208 42.4	150 30.5	76 15.5	110 22.4	55 11.2	65 13.2	21 4.3	62 12.6
日常生活で介護や支 援を必要とする人	93 100.0	36 38.7	25 26.9	17 18.3	25 26.9	6 6.5	17 18.3	4 4.3	8 8.6
妊娠婦	9 100.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	4 44.4	2 22.2	4 44.4	1 11.1	1 11.1
該当者はいない	587 100.0	188 32.0	176 30.0	119 20.3	168 28.6	65 11.1	131 22.3	19 3.2	41 7.0
区域別									
浸水予測区域内	696 100.0	266 38.2	208 29.9	127 18.2	180 25.9	80 11.5	127 18.2	26 3.7	60 8.6
浸水予測区域外	779 100.0	267 34.3	235 30.2	147 18.9	219 28.1	82 10.5	165 21.2	28 3.6	68 8.7

10. 地域の防災力について、おうかがいします。

問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(当てはまるものをすべてに○)

		調査数	(1) 広地 報震 活・動 津の 波の 強を 化詳 しく 説明 する	(2) 災地 組域 の組 織の 成育 （消 防団 強化 や自 主防	(3) 実災 地組 域の 組の 織の 資機 材の 団整 や自 備充 防	(4) づ結 果実 践に 基防 づく 災訓 話指 す実 合目 練施 さ、 地訓 域練	(5) り防 災士 の資 格取 得な ど防 災	(6) 小中 学校 の防 災教 育の 充実	(7) 進近 隣の 事業 所な どの 連携 促	(8) 地域 ごと の備 蓄の 推進	(9) 織をし 地づ 話、震 くし被 り合災 津波 の復 元よ 住興 る被 民に づを るく 組り 定	(10) る普 関段 係か づら く近 所を の促 方進 と顔 の見 え
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=			1位	2位								
前回調査(R3)		1,779 100.0	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	283 15.9	648 36.4	356 20.0	655 36.8
全体		1,516 100.0	634 41.8	387 25.5	369 24.3	300 19.8	257 17.0	436 28.8	233 15.4	589 38.9	271 17.9	519 34.2
性別	男性	627 100.0	282 45.0	182 29.0	163 26.0	131 20.9	102 16.3	168 26.8	92 14.7	218 34.8	104 16.6	198 31.6
	女性	860 100.0	339 39.4	200 23.3	199 23.1	164 19.1	151 17.6	260 30.2	140 16.3	364 42.3	166 19.3	318 37.0
	回答しない	18 100.0	9 50.0	4 22.2	5 27.8	3 16.7	2 11.1	6 33.3	1 5.6	5 27.8	1 5.6	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9
	20歳代	97 100.0	49 50.5	24 24.7	23 23.7	14 14.4	25 25.8	33 34.0	20 20.6	47 48.5	24 24.7	22 22.7
	30歳代	151 100.0	65 43.0	27 17.9	36 23.8	24 15.9	23 15.2	58 38.4	24 15.9	63 41.7	26 17.2	37 24.5
	40歳代	216 100.0	95 44.0	46 21.3	54 25.0	36 16.7	44 20.4	82 38.0	43 19.9	100 46.3	43 19.9	72 33.3
	50歳代	278 100.0	121 43.5	72 25.9	67 24.1	61 21.9	44 15.8	84 30.2	52 18.7	106 38.1	48 17.3	87 31.3
	60歳代	331 100.0	147 44.4	104 31.4	95 28.7	70 21.1	56 16.9	86 26.0	56 16.9	126 38.1	59 17.8	126 38.1
	70歳以上	426 100.0	150 35.2	112 26.3	90 21.1	91 21.4	62 14.6	89 20.9	38 8.9	143 33.6	71 16.7	170 39.9
職業別	農林業	63 100.0	23 36.5	20 31.7	20 31.7	10 15.9	4 6.3	12 19.0	3 4.8	18 28.6	5 7.9	23 36.5
	漁業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3
	商工サービス業自営	66 100.0	27 40.9	15 22.7	13 19.7	13 19.7	9 13.6	14 21.2	11 16.7	28 42.4	11 16.7	19 28.8
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	240 44.7	126 23.5	133 24.8	107 19.9	93 17.3	188 35.0	94 17.5	215 40.0	97 18.1	149 27.7
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	12 40.0	9 30.0	5 16.7	7 23.3	4 13.3	7 23.3	5 16.7	14 46.7	6 20.0	12 40.0
	主婦・主夫	162 100.0	64 39.5	36 22.2	32 19.8	30 18.5	22 13.6	40 24.7	18 11.1	55 34.0	35 21.6	70 43.2
	パート、アルバイト	189 100.0	91 48.1	49 25.9	50 26.5	35 18.5	34 18.0	64 33.9	39 20.6	81 42.9	42 22.2	73 38.6
	学生	21 100.0	9 42.9	5 23.8	4 19.0	7 33.3	4 19.0	7 33.3	2 9.5	7 33.3	4 19.0	7 33.3
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	113 34.0	98 29.5	83 25.0	71 21.4	59 17.8	71 21.4	39 11.7	125 37.7	51 15.4	126 38.0
	その他	94 100.0	45 47.9	24 25.5	25 26.6	16 17.0	25 26.6	28 29.8	19 20.2	41 43.6	17 18.1	30 31.9
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	97 41.6	58 24.9	49 21.0	53 22.7	44 18.9	61 26.2	46 19.7	88 37.8	37 15.9	78 33.5
	1人	441 100.0	172 39.0	125 28.3	101 22.9	88 20.0	65 14.7	93 21.1	61 13.8	154 34.9	64 14.5	165 37.4
	2人	324 100.0	135 41.7	82 25.3	95 29.3	66 20.4	62 19.1	89 27.5	45 13.9	119 36.7	71 21.9	114 35.2
	3人	253 100.0	114 45.1	54 21.3	50 19.8	36 14.2	43 17.0	72 28.5	33 13.0	115 45.5	47 18.6	80 31.6
	4人	152 100.0	61 40.1	36 23.7	36 23.7	29 19.1	25 16.4	74 48.7	28 18.4	62 40.8	29 19.1	50 32.9
	5人	55 100.0	29 52.7	16 29.1	17 30.9	12 21.8	8 14.5	22 40.0	13 23.6	28 50.9	12 21.8	18 32.7
	6人以上	35 100.0	15 42.9	10 28.6	13 37.1	11 31.4	5 14.3	18 51.4	5 14.3	17 48.6	6 17.1	9 25.7
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	34 43.6	12 15.4	16 20.5	10 12.8	12 15.4	34 43.6	12 15.4	33 42.3	18 23.1	21 26.9
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	73 100.0	30 41.1	14 19.2	19 26.0	12 16.4	12 16.4	39 53.4	12 16.4	34 46.6	15 20.5	26 35.6
	小学生	146 100.0	67 45.9	30 20.5	37 25.3	31 21.2	27 18.5	81 55.5	27 18.5	78 53.4	32 21.9	45 30.8
	70歳以上の人	491 100.0	206 42.0	132 26.9	118 24.0	103 21.0	73 14.9	132 26.9	53 10.8	179 36.5	85 17.3	181 36.9
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	93 100.0	33 35.5	31 33.3	27 29.0	23 24.7	23 24.7	26 28.0	21 22.6	33 35.5	18 19.4	29 31.2
	妊娠婦	9 100.0	3 33.3	2 22.2	5 55.6	- -	- -	3 33.3	1 11.1	3 33.3	4 44.4	2 22.2
	該当者はいない	587 100.0	245 41.7	148 25.2	141 24.0	115 19.6	98 16.7	141 24.0	91 15.5	228 38.8	94 16.0	191 32.5
区域予測	浸水予測区域内	696 100.0	324 46.6	179 25.7	186 26.7	143 20.5	124 17.8	198 28.4	115 16.5	279 40.1	157 22.6	236 33.9
	浸水予測区域外	779 100.0	297 38.1	202 25.9	174 22.3	150 19.3	130 16.7	226 29.0	112 14.4	301 38.6	105 13.5	271 34.8

(11)

その他	無回答
39	67
2.2	3.8
35	133
2.3	8.8
10	56
1.6	8.9
24	73
2.8	8.5
1	1
5.6	5.6
1	-
14.3	-
1	3
1.0	3.1
4	7
2.6	4.6
4	7
1.9	3.2
7	16
2.5	5.8
8	28
2.4	8.5
10	70
2.3	16.4
2	7
3.2	11.1
-	1
-	33.3
2	10
3.0	15.2
9	28
1.7	5.2
1	3
3.3	10.0
2	19
1.2	11.7
5	10
2.6	5.3
1	1
4.8	4.8
9	49
2.7	14.8
4	3
4.3	3.2
5	15
2.1	6.4
10	51
2.3	11.6
5	30
1.5	9.3
6	16
2.4	6.3
2	9
1.3	5.9
5	5
9.1	9.1
2	4
5.7	11.4
-	3
-	3.8
-	3
-	4.1
6	5
4.1	3.4
13	59
2.6	12.0
6	12
6.5	12.9
-	-
-	-
14	42
2.4	7.2
17	59
2.4	8.5
16	69
2.1	8.9

11. 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)について、おうかがいします。

問64 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 知っている	(2) よく聞 くいた ことな いはあ るが、 内容 は	(3) 知らない	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=						
			1位			
			2位			
前回調査(R3)		1,779 100.0	362 20.3	506 28.4	876 49.2	35 2.0
全体		1,516 100.0	826 54.5	308 20.3	322 21.2	60 4.0
性別	男性	627 100.0	350 55.8	115 18.3	133 21.2	29 4.6
	女性	860 100.0	461 53.6	183 21.3	186 21.6	30 3.5
	回答しない	18 100.0	10 55.6	6 33.3	2 11.1	- -
年代別	10歳代	7 100.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6	- -
	20歳代	97 100.0	57 58.8	14 14.4	24 24.7	2 2.1
	30歳代	151 100.0	85 56.3	29 19.2	35 23.2	2 1.3
	40歳代	216 100.0	127 58.8	35 16.2	53 24.5	1 0.5
	50歳代	278 100.0	154 55.4	45 16.2	71 25.5	8 2.9
	60歳代	331 100.0	180 54.4	77 23.3	59 17.8	15 4.5
	70歳以上	426 100.0	216 50.7	102 23.9	77 18.1	31 7.3
職業別	農林業	63 100.0	37 58.7	14 22.2	8 12.7	4 6.3
	漁業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3
	商工サービス業自営	66 100.0	30 45.5	10 15.2	22 33.3	4 6.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	537 100.0	318 59.2	91 16.9	116 21.6	12 2.2
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	30 100.0	15 50.0	6 20.0	9 30.0	- -
	主婦・主夫	162 100.0	83 51.2	40 24.7	29 17.9	10 6.2
	パート、アルバイト	189 100.0	100 52.9	45 23.8	39 20.6	5 2.6
	学生	21 100.0	10 47.6	2 9.5	8 38.1	1 4.8
	無職(すでに退職を含 む)	332 100.0	179 53.9	71 21.4	61 18.4	21 6.3
	その他	94 100.0	43 45.7	21 22.3	29 30.9	1 1.1
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	131 56.2	48 20.6	48 20.6	6 2.6
	1人	441 100.0	222 50.3	96 21.8	100 22.7	23 5.2
	2人	324 100.0	187 57.7	59 18.2	64 19.8	14 4.3
	3人	253 100.0	138 54.5	54 21.3	56 22.1	5 2.0
	4人	152 100.0	87 57.2	24 15.8	34 22.4	7 4.6
	5人	55 100.0	33 60.0	9 16.4	11 20.0	2 3.6
	6人以上	35 100.0	18 51.4	13 37.1	3 8.6	1 2.9
	同居家族の該 当者別	78 100.0	53 67.9	13 16.7	10 12.8	2 2.6
同居家族の該 当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	46 63.0	13 17.8	13 17.8	1 1.4
	4歳以上で小学校入 学前の子ども	146 100.0	88 60.3	28 19.2	30 20.5	- -
	小学生	491 100.0	266 54.2	101 20.6	96 19.6	28 5.7
	70歳以上の人	93 100.0	47 50.5	18 19.4	24 25.8	4 4.3
	日常生活で介護や支 援を必要とする人	9 100.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	- -
	妊産婦	587 100.0	302 51.4	124 21.1	141 24.0	20 3.4
	該当者はいない	696 100.0	368 52.9	147 21.1	153 22.0	28 4.0
	浸水予測区域外	779 100.0	433 55.6	152 19.5	165 21.2	29 3.7

11. 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)について、おうかがいします。

問65 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域(事前避難対象地域)を設定しています。お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。(ひとつだけ○)

		(1) 調査 数	(2) 事前 避難 対象 地域 である	(3) 事前 避難 対象 地域 ではない	わ か ら な い	無 回 答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=		1位				
		2位				
前回調査(R3)		1,779 100.0	204 11.5	266 15.0	1,273 71.6	36 2.0
全体		1,516 100.0	243 16.0	316 20.8	862 56.9	95 6.3
性別	男性	627 100.0	111 17.7	137 21.9	341 54.4	38 6.1
	女性	860 100.0	126 14.7	172 20.0	507 59.0	55 6.4
	回答しない	18 100.0	3 16.7	5 27.8	10 55.6	-
年代別	10歳代	7 100.0	-	-	7 100.0	-
	20歳代	97 100.0	9 9.3	23 23.7	63 64.9	2 2.1
	30歳代	151 100.0	23 15.2	34 22.5	91 60.3	3 2.0
	40歳代	216 100.0	35 16.2	50 23.1	130 60.2	1 0.5
	50歳代	278 100.0	42 15.1	65 23.4	162 58.3	9 3.2
	60歳代	331 100.0	50 15.1	79 23.9	180 54.4	22 6.6
	70歳以上	426 100.0	82 19.2	64 15.0	224 52.6	56 13.1
職業別	農林業	63 100.0	6 9.5	13 20.6	38 60.3	6 9.5
	漁業	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	商工サービス業自営	66 100.0	13 19.7	12 18.2	37 56.1	4 6.1
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	83 15.5	138 25.7	304 56.6	12 2.2
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	5 16.7	7 23.3	16 53.3	2 6.7
	主婦・主夫	162 100.0	24 14.8	34 21.0	88 54.3	16 9.9
	パート、アルバイト	189 100.0	28 14.8	36 19.0	115 60.8	10 5.3
	学生	21 100.0	1 4.8	3 14.3	16 76.2	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	62 18.7	55 16.6	178 53.6	37 11.1
	その他	94 100.0	15 16.0	15 16.0	60 63.8	4 4.3
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	39 16.7	41 17.6	145 62.2	8 3.4
	1人	441 100.0	61 13.8	90 20.4	253 57.4	37 8.4
	2人	324 100.0	56 17.3	73 22.5	170 52.5	25 7.7
	3人	253 100.0	39 15.4	52 20.6	154 60.9	8 3.2
	4人	152 100.0	25 16.4	35 23.0	83 54.6	9 5.9
	5人	55 100.0	10 18.2	13 23.6	29 52.7	3 5.5
	6人以上	35 100.0	6 17.1	8 22.9	20 57.1	1 2.9
	同居家族の該当者別	78 100.0	10 12.8	21 26.9	45 57.7	2 2.6
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	73 100.0	8 11.0	16 21.9	48 65.8	1 1.4
	4歳以上で小学校入学前の子ども	146 100.0	23 15.8	33 22.6	90 61.6	-
	小学生	491 100.0	85 17.3	84 17.1	274 55.8	48 9.8
	70歳以上の人	93 100.0	19 20.4	16 17.2	51 54.8	7 7.5
	日常生活で介護や支援を必要とする人	9 100.0	1 11.1	1 11.1	7 77.8	-
	妊産婦	587 100.0	73 12.4	144 24.5	341 58.1	29 4.9
	該当者はいない	696 100.0	164 23.6	92 13.2	396 56.9	44 6.3
	浸水予測区域外	779 100.0	69 8.9	219 28.1	443 56.9	48 6.2

11. 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)について、おうかがいします。

問65で「1. 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

問66 南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。(ひとつだけ○)

		調査数	(1) 避難する	(2) 避難しない	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=					
			1位	2位	
前回調査(R3)		204 100.0	184 90.2	15 7.4	5 2.5
全体		243 100.0	176 72.4	55 22.6	12 4.9
性別	男性	111 100.0	78 70.3	25 22.5	8 7.2
	女性	126 100.0	95 75.4	27 21.4	4 3.2
	回答しない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
年代別	10歳代	-	-	-	-
	20歳代	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1
	30歳代	23 100.0	15 65.2	7 30.4	1 4.3
	40歳代	35 100.0	22 62.9	12 34.3	1 2.9
	50歳代	42 100.0	34 81.0	7 16.7	1 2.4
	60歳代	50 100.0	40 80.0	8 16.0	2 4.0
	70歳以上	82 100.0	58 70.7	18 22.0	6 7.3
職業別	農林業	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-
	漁業	-	-	-	-
	商工サービス業自営	13 100.0	8 61.5	2 15.4	3 23.1
	会社員(役員を含む)、 公務員	83 100.0	56 67.5	24 28.9	3 3.6
	自由業(医師、弁護士、 画家、僧侶など)	5 100.0	5 100.0	-	-
	主婦・主夫	24 100.0	15 62.5	8 33.3	1 4.2
	パート、アルバイト	28 100.0	23 82.1	5 17.9	-
	学生	1 100.0	1 100.0	-	-
	無職(すでに退職を含む)	62 100.0	48 77.4	10 16.1	4 6.5
	その他	15 100.0	10 66.7	4 26.7	1 6.7
同居人数別	0人(独居)	39 100.0	31 79.5	6 15.4	2 5.1
	1人	61 100.0	45 73.8	14 23.0	2 3.3
	2人	56 100.0	43 76.8	10 17.9	3 5.4
	3人	39 100.0	24 61.5	10 25.6	5 12.8
	4人	25 100.0	17 68.0	8 32.0	-
	5人	10 100.0	8 80.0	2 20.0	-
	6人以上	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	10 100.0	7 70.0	2 20.0	1 10.0
	4歳以上で小学校入学 前の子ども	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0
	小学生	23 100.0	16 69.6	6 26.1	1 4.3
	70歳以上の人	85 100.0	59 69.4	20 23.5	6 7.1
	日常生活で介護や支援 を必要とする人	19 100.0	15 78.9	2 10.5	2 10.5
	妊娠婦	1 100.0	1 100.0	-	-
	該当者はいない	73 100.0	51 69.9	21 28.8	1 1.4
浸水予測 区域別	浸水予測区域内	164 100.0	127 77.4	29 17.7	8 4.9
	浸水予測区域外	69 100.0	42 60.9	24 34.8	3 4.3

12. 県の施策について、おうかがいします。

問67 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

		調査数	(1) 住宅の耐震化の強化	(2) 津波からの避難場所や避難路の整備	(3) 運体育館などの避難所の確保	(4) ＜支援物資＞が避難所に確実に届く	(5) にア人受な命け入県助れ外や医療の支援を円滑に	(6) 制前の方展進型による医療救護体制	(7) 防災教育の強化	(8) 組者高みの方やを障害で支えの要配慮	(9) 進地震火災・津波火災対策の推進	(10) 防津波や浸などの水による被害を防ぐ
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=												
前回調査(R3)		1,779 100.0	431 24.2	771 43.3	540 30.4	725 40.8	434 24.4	244 13.7	196 11.0	345 19.4	99 5.6	272 15.3
全体		1,516 100.0	427 28.2	558 36.8	449 29.6	672 44.3	345 22.8	130 8.6	101 6.7	258 17.0	98 6.5	159 10.5
性別	男性	627 100.0	191 30.5	240 38.3	200 31.9	274 43.7	131 20.9	49 7.8	41 6.5	98 15.6	45 7.2	70 11.2
	女性	860 100.0	228 26.5	309 35.9	244 28.4	388 45.1	206 24.0	77 9.0	58 6.7	157 18.3	50 5.8	87 10.1
	回答しない	18 100.0	5 27.8	8 44.4	2 11.1	7 38.9	4 22.2	3 16.7	2 11.1	2 11.1	3 16.7	1 5.6
年代別	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
	20歳代	97 100.0	31 32.0	39 40.2	33 34.0	41 42.3	22 22.7	5 5.2	7 7.2	8 8.2	6 6.2	18 18.6
	30歳代	151 100.0	44 29.1	69 45.7	40 26.5	69 45.7	24 15.9	6 4.0	11 7.3	20 13.2	14 9.3	28 18.5
	40歳代	216 100.0	60 27.8	101 46.8	63 29.2	96 44.4	43 19.9	14 6.5	26 12.0	23 10.6	11 5.1	27 12.5
	50歳代	278 100.0	62 22.3	107 38.5	84 30.2	137 49.3	62 22.3	31 11.2	21 7.6	42 15.1	24 8.6	26 9.4
	60歳代	331 100.0	103 31.1	119 36.0	111 33.5	144 43.5	85 25.7	29 8.8	23 6.9	66 19.9	18 5.4	24 7.3
	70歳以上	426 100.0	121 28.4	121 28.4	113 26.5	180 42.3	106 24.9	43 10.1	12 2.8	96 22.5	23 5.4	34 8.0
職業別	農林業	63 100.0	19 30.2	18 28.6	17 27.0	29 46.0	18 28.6	6 9.5	6 9.5	5 7.9	3 4.8	9 14.3
	漁業	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-
	商工サービス業自営	66 100.0	18 27.3	19 28.8	22 33.3	28 42.4	18 27.3	8 12.1	3 4.5	11 16.7	2 3.0	1 1.5
	会社員(役員を含む)、公務員	537 100.0	152 28.3	221 41.2	162 30.2	239 44.5	99 18.4	50 9.3	50 9.3	68 12.7	42 7.8	73 13.6
	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	30 100.0	3 10.0	6 20.0	10 33.3	12 40.0	10 33.3	1 3.3	1 3.3	5 16.7	5 16.7	6 20.0
	主婦・主夫	162 100.0	44 27.2	51 31.5	36 22.2	71 43.8	41 25.3	18 11.1	8 4.9	38 23.5	13 8.0	14 8.6
	パート、アルバイト	189 100.0	55 29.1	84 44.4	69 36.5	91 48.1	47 24.9	4 2.1	14 7.4	25 13.2	12 6.3	14 7.4
	学生	21 100.0	4 19.0	7 33.3	6 28.6	4 19.0	6 28.6	1 4.8	3 14.3	2 9.5	2 9.5	1 4.8
	無職(すでに退職を含む)	332 100.0	95 28.6	117 35.2	97 29.2	147 44.3	84 25.3	31 9.3	11 3.3	80 24.1	15 4.5	29 8.7
	その他	94 100.0	28 29.8	28 29.8	26 27.7	45 47.9	17 18.1	7 7.4	5 5.3	20 21.3	4 4.3	11 11.7
	同居人数別											
同居人数別	0人(独居)	233 100.0	65 27.9	92 39.5	72 30.9	95 40.8	53 22.7	12 5.2	14 6.0	42 18.0	15 6.4	28 12.0
	1人	441 100.0	138 31.3	152 34.5	136 30.8	197 44.7	116 26.3	39 8.8	27 6.1	79 17.9	30 6.8	36 8.2
	2人	324 100.0	88 27.2	128 39.5	99 30.6	139 42.9	69 21.3	28 8.6	22 6.8	62 19.1	15 4.6	29 9.0
	3人	253 100.0	56 22.1	93 36.8	69 27.3	128 50.6	52 20.6	24 9.5	20 7.9	37 14.6	18 7.1	30 11.9
	4人	152 100.0	53 34.9	53 34.9	48 31.6	64 42.1	24 15.8	15 9.9	10 6.6	21 13.8	9 5.9	17 11.2
	5人	55 100.0	15 27.3	15 27.3	9 16.4	27 49.1	16 29.1	7 12.7	5 9.1	6 10.9	7 12.7	11 20.0
	6人以上	35 100.0	5 14.3	17 48.6	10 28.6	15 42.9	11 31.4	2 5.7	3 8.6	6 17.1	1 2.9	6 17.1
同居家族の該当者別	3歳以下の乳幼児	78 100.0	30 38.5	39 50.0	21 26.9	31 39.7	12 15.4	4 5.1	5 6.4	8 10.3	6 7.7	14 17.9
	4歳以上で小学校入学前の子ども	73 100.0	24 32.9	35 47.9	18 24.7	28 38.4	10 13.7	6 8.2	9 12.3	6 8.2	5 6.8	13 17.8
	小学生	146 100.0	32 21.9	58 39.7	41 28.1	77 52.7	35 24.0	16 11.0	19 13.0	13 8.9	15 10.3	24 16.4
	70歳以上の人	491 100.0	138 28.1	159 32.4	127 25.9	217 44.2	110 22.4	55 11.2	29 5.9	103 21.0	29 5.9	43 8.8
	日常生活で介護や支援を必要とする人	93 100.0	26 28.0	25 26.9	32 34.4	39 41.9	25 26.9	11 11.8	2 2.2	30 32.3	1 1.1	8 8.6
	妊産婦	9 100.0	4 44.4	6 66.7	2 22.2	4 44.4	-	-	-	-	1 11.1	1 11.1
	該当者はいない	587 100.0	156 26.6	227 38.7	197 33.6	257 43.8	143 24.4	41 7.0	41 7.0	96 16.4	41 7.0	61 10.4
区域別	浸水予測区域内	696 100.0	180 25.9	296 42.5	197 28.3	308 44.3	154 22.1	61 8.8	39 5.6	106 15.2	34 4.9	91 13.1
	浸水予測区域外	779 100.0	236 30.3	246 31.6	240 30.8	348 44.7	183 23.5	67 8.6	57 7.3	147 18.9	61 7.8	66 8.5

(11) 推表南 進さ海 れト たラ 場フ 合地 に震 備臨 え時 た情 対報 策が の発	(12) り自 の主 強防 化災 組 織 な ど 人 の つ な が	(13) 対生発 策活災 に後 の必 要応 と急 な対 策 燃活 料動 のや 確住 保民	(14) 復再住 興建民 対・生 策再活 開や 経す 済る た活 め動 のを 復早 旧期 ・に	(15) そ の 他	無 回 答
137	143	189	359	41	38
7.7	8.0	10.6	20.2	2.3	2.1
164	99	156	350	20	74
10.8	6.5	10.3	23.1	1.3	4.9
56	42	57	144	6	32
8.9	6.7	9.1	23.0	1.0	5.1
103	56	99	203	13	37
12.0	6.5	11.5	23.6	1.5	4.3
4	-	-	3	1	1
22.2	-	-	16.7	5.6	5.6
1	-	-	1	-	1
14.3	-	-	14.3	-	14.3
9	6	11	19	1	4
9.3	6.2	11.3	19.6	1.0	4.1
15	10	21	37	4	2
9.9	6.6	13.9	24.5	2.6	1.3
18	13	30	55	3	4
8.3	6.0	13.9	25.5	1.4	1.9
39	10	33	66	2	8
14.0	3.6	11.9	23.7	0.7	2.9
34	25	27	82	3	14
10.3	7.6	8.2	24.8	0.9	4.2
48	34	34	90	7	38
11.3	8.0	8.0	21.1	1.6	8.9
5	4	11	16	-	1
7.9	6.3	17.5	25.4	-	1.6
-	1	-	1	-	-
-	33.3	-	33.3	-	-
4	5	8	17	1	6
6.1	7.6	12.1	25.8	1.5	9.1
62	27	57	123	6	15
11.5	5.0	10.6	22.9	1.1	2.8
3	-	5	6	-	3
10.0	-	16.7	20.0	-	10.0
17	16	11	39	2	13
10.5	9.9	6.8	24.1	1.2	8.0
29	11	15	37	3	6
15.3	5.8	7.9	19.6	1.6	3.2
3	3	3	5	-	2
14.3	14.3	14.3	23.8	-	9.5
31	23	32	79	6	20
9.3	6.9	9.6	23.8	1.8	6.0
10	6	13	24	2	3
10.6	6.4	13.8	25.5	2.1	3.2
25	16	27	54	2	10
10.7	6.9	11.6	23.2	0.9	4.3
55	30	35	93	6	25
12.5	6.8	7.9	21.1	1.4	5.7
43	21	27	84	5	14
13.3	6.5	8.3	25.9	1.5	4.3
21	14	34	64	2	11
8.3	5.5	13.4	25.3	0.8	4.3
13	13	18	33	2	7
8.6	8.6	11.8	21.7	1.3	4.6
3	3	5	13	3	1
5.5	5.5	9.1	23.6	5.5	1.8
3	1	9	9	-	1
8.6	2.9	25.7	25.7	-	2.9
6	4	13	16	1	1
7.7	5.1	16.7	20.5	1.3	1.3
8	10	10	19	1	-
11.0	13.7	13.7	26.0	1.4	-
11	9	22	32	1	1
7.5	6.2	15.1	21.9	0.7	0.7
43	33	51	116	6	34
8.8	6.7	10.4	23.6	1.2	6.9
8	6	9	24	1	2
8.6	6.5	9.7	25.8	1.1	2.2
2	-	3	2	-	-
22.2	-	33.3	22.2	-	-
72	30	51	139	10	21
12.3	5.1	8.7	23.7	1.7	3.6
74	44	67	167	11	34
10.6	6.3	9.6	24.0	1.6	4.9
85	54	83	173	9	37
10.9	6.9	10.7	22.2	1.2	4.7

1. あなたのことに、おうかがいします。

1-② 年齢（ひとつだけ○）

		調査数	(1) 10歳代	(2) 20歳代	(3) 30歳代	(4) 40歳代	(5) 50歳代	(6) 60歳代	(7) 70歳以上	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%) 網掛け=										
全体		1,516 100.0	7 0.5	97 6.4	151 10.0	216 14.2	278 18.3	331 21.8	426 28.1	10 0.7
回答方法	郵送	1,145 100.0	6 0.5	47 4.1	78 6.8	113 9.9	192 16.8	290 25.3	411 35.9	8 0.7
	WEB	371 100.0	1 0.3	50 13.5	73 19.7	103 27.8	86 23.2	41 11.1	15 4.0	2 0.5

VII 自由回答

【インフラ整備】
・学校までの道が安全なのか全部の場所を見直してほしい。山から道に垂れている木など整備してほしい。市町村の備蓄品の確保。
・山の方に住んでいる方は道中に崖崩れがあると道が通れなくなる。その為、建設関係の職場と予め話をして、崖崩れがあると思うところにネットを貼るなどを対策してほしい。また、高齢者が多い場所で怪我などがおこると山に住んでいる人は、ヘリでしか病院に行くなどの対応できないのでヘリポートを増やすなどしてほしい。
・東洋町は孤立します。北からも南からも。一刻も早く高規格道路を実現して下さい。命の道です。
・高知県は道路が海岸に近い津波が怖い。道路の通行が出来なくなる。
・一般道、高速道路の整備を早急に進めてほしい。
・交通網が寸断されると救助活動に入って来られない事が予測され、とても不安に思う。自衛隊等、海、空、陸、田舎まで入って来られないと思う。救助活動の為の交通網の整備を早く。
・道路が寸断される地域の為、道路以外の物資搬入や傷病人の搬送経路等、対応策を事前に決めておくべき。
・奈半利町は山がたくさんあるので山の切り開き、大きい道路をつけて避難できる場所を整備してもらいたい。（津波でほとんどが水に浸かると思うので）
・私は阪神大震災の被災者です。住んでいた自宅から300m先に高速道路が（神戸市東灘区）倒れていました。電気は4日間、水道が2ヶ月、ガスが3ヶ月とまりました。友達や友達の家族も亡くなり、近所の人も何人も亡くなり、近くの小学校には死体がゴロゴロしていました。あのような思いは2度としたくないです。あの当時は神戸に地震が起こるとは誰も思っておらず、自宅に何の備えもなく、震災当日は食べ物がなく、1本2,000円の焼きいもを買った人もいました。ドアの壊れたコンビニや倒壊した家に泥棒が入ったり、治安も悪くなりました。そんな社会にならぬよう、避難場所に安心安全で行けるよう、物資もすぐ届くよう、高速道路を早く作るとか整備して欲しいです。（避難場所のトイレの用意など）倒壊しそうな家に住んでいる人には公務員宿舎などのあいている部屋を利用して住めるようにするとかして、倒壊家屋の下敷きでの死者数をゼロにして欲しい。津波からの避難の際、渋滞が予測されるので、安全な場所へ逃げるための道路を整備してほしい（大きな地震の後は道路も隆起して通れなくなるので更に渋滞が起こる。救急車も消防車も動けなくなる）
・道路添いにある倒壊しそうな空き家や塀の対策をお願いします。通学路でもあるので安全対策が必要と感じます。
・災害後すみやかに道路を車の通行が出来る態勢にする事。
・津波が防げたらなんとかなる。高層の構造物や高速道路が倒れたりしないようにしてほしい。輪島みたいになるのは（なってしまうと）、仕方がない。火災系はどうしても起こる。
・避難方法の確保。避難路の整備と常時使用できる維持管理（地域まかせになっているが高齢化のために使用不能の避難路多い）高齢、障害などで自力避難困難者を車輛等で移動する対策、発災後対策の早期実施、当市中心部は長期浸水地となっているが、避難者収容先が不十分、住居減失者が長期生活できる仮設住宅用地などが準備されていない、人命・人権を守るための対策が急務（食料、水、プライバシー保護）。自治体はもとより、国が防災対策予算を大切に増やす必要あり。
・地震による各道路の寸断、各地であります、高知市から幡多郡大月町に出張が多い。車移動で大方から土佐清水市経由、中村～宿毛経由で大月町に。津波で、道路が寸断だと行けないです。高知市から幡多郡大月町まで車で4～5時間ですが、地震が来た時には、高台のどこに逃げるにしても少ない、運転中に津波が来ても泳げないので覚悟はしています。県外のナンバーの多く、道路に避難所などの標識があった方が良くはないのでしょうか。西方面だけではないですが、車は確実に移動手段です。ガソリンスタンドも少ないので、燃料確保、病院、医療面が特に心配です。
・避難経路、緊急搬送経路、物資運搬経路となる道路が1本しかなく、土砂崩れで寸断される可能性が非常に高い地域の在住です。孤立する事を覚悟はしていますが、乳幼児もあり、食事形態も成長と共に変化し、備蓄にも限界があり、長期孤立、長期停電を恐れています。
・子どもの通学路が心配。
・古い建物、ブロック塀など、持ち主がなかなか動けない場合も多いと思うので、地震対策として自治体が動いてくれることを期待します。
・防災アプリの充実。
・自宅付近の状況はある程度把握しているが、出先で地震が起きた時、速やかに避難できるような機能があると助かる。

【災害後の対策】

- ・ 復旧に全力を注いで下さい（建物の損壊や道路補修、水の汲み出し）。
- ・ ルールも必要ではあると思いますが、臨機応変にやさしい方向に対応できる状況になればと思います。地震発生後セラピストなどによる心の救済があれば良いと考えます。
- ・ 災害は100%起こります。後の復興にはとにかく（道）が不可欠です。それと（安心）を行政が確保する事です。よろしくお願いします。
- ・ 地震後の生存者に対する生活再建の経済的支援。
- ・ 地震後の対策もちろん大切だが、地震が起きる前にできる対策をしっかりと考えて、県民の命を守ってほしい。
- ・ 混構造建築物にも耐震診断及、工事に高額補助を。1階鉄骨造車庫2、3階が木造住宅というケースが多い。倒壊しやすい建物です。
- ・ 支援物資ルートの確保。医療支援チーム強化。
- ・ 高知県、各市町村で地震が起きた時の防災、避難等については十分尽力して下さっていると思いますが、地震が起きた後の支援策をもっと強化して被害にあっても安心してらせるように助けていただきたいです。（住んでいるところが半島地区なので、自宅は高台にあり津波は大丈夫ですが、その後の生活が心配です）
- ・ 発災後の支援、復旧、復興への十分な備え（必需品や予算含め）をお願いします。
- ・ 震災後の生活再建、失職者のサポート。

【自主防災組織】

- ・ 普段仕事で、家に居ることが少ない働く世代の人たちにも自主防災に参加しやすいよう、お知らせ（回覧板のようなもの）をして欲しい。地域の方で、比較的、時間にゆとりのある方々数名で、地区の自主防災のとりまとめをしてもらい、地区の皆がいざという時に、適確に行動がとれるよう、事前の会合などをして欲しい。
- ・ 自主防災組織の長をしているのですが、私自身も77才と高齢です。長をやる人もいないし、責任もあるので大変です。常に倉庫の備品交換、高齢者の声かけ、部落長と民生委員との交流をしています。今日、豊後水近に震度7の地震がありました。自主防災組織としてどうあるべきか、常に緊張しています。
- ・ 地域での自主防災組織の役員の1人ですが訓練に参加する人が少ない。隣近所がコミュニケーションをとり助け合いや参加に誘うなど自分で自分を守る訓練も必要と思う。
- ・ 市（県）→自主防災組織→各家庭への連絡網、役割などが一目でわかるような「表、図」があればよい。
- ・ 町のやっていくこと、地域のやっていくことは別だと思う。同じ町でも、地区により災害も準備することも違うと思う。地域に任せてもバラツキが出るだけ。各市町村に防災カウンセラーを置いて、ある程度指針を示して誘導していかなければ、その地域にあった特性のある自主防災の強化ができないのではないだろうか。地域のつながり、地域によって想定される正しいであろう準備と知識が、足りていないと思う。
- ・ 自治体職員による対応はマンパワーを考えても無理があります。周知等は外部委託により行い、自衛の必要性を呼びかけないと限界があると思います。県も市町村の防災の職員さんは手一杯で頑張っていて、限界があると思います。
- ・ 自主防災組織と市町村の連携の強化。

【災害対策】

- ・ 震災車の活用促進。人命救助の推進。消火器の使用法推進。
- ・ ガラス飛散防止フィルムの配付。
- ・ 地域の防災放送、（スピーカー）が聞こえない所がある事を理解（アンケート）する事が大切。市町村がもう少し力を入れるべきではないか。
- ・ 川の氾濫を防ぐ。

【災害対策】

- ・河川や海岸浴い等の堤防、防潮堤の改修・強化・各家庭への災害時の飲料水や食料品等の備蓄品の配布。
- ・道幅の狭い通りの建築物で明らかに倒壊の恐れがある所を重点的に調査。早急に耐震化をしてもらうなり解体してもらうなりしないと、至る所で避難路が塞がれ逃げ遅れると思います。助かるはずの命が助からなくなれば、当然人手も減ることにもつながります。高齢者など多い地域だと人手もたくさん必要になると思いますので、そういう方々のためにも早急に対応していただきたいです。各避難所に警察官の方などは配置していただけるのでしょうか？震災時はいろんな犯罪が増えると聞きます。あまりこのことについての対策は耳にしません、せつかく生きのびたとしてもそれで命を落としては助かった意味がありません。震災後のことも過去の震災に起こった事を参考にして対策を考えていただきたいです。
- ・絶対に無理だと思いますが、放置空き家対策。自宅周辺に空き家が10軒あります。半年程前に隣の空き家の2階の雨戸が路地に落ち危険性を感じています。自宅解体費用の補助金を上げるブロック塀等撤去の補助金を上げる
- ・これを機に、家具を固定したり、子供と話し合うなど、改めて考えてみたいと思いました。
- ・避難タワーを沿岸地域で設置してくださっているが、海拔+建物の高さが本当に足りるのか甚だ疑問です。何か根拠があるのか、また根拠があれば分かるように明示してもらいたい。
- ・自宅から避難所までの確定最短ルート情報。避難所を増やす。倉庫の設置場所を以前より増やす。普段から回りの塀や地面などのコンクリート、各家の耐震点検。防災グッズのお店みたいな建物(簡易)を各市町村に建てる。防災知識の事が分かりやすく載った辞典(冊子)を作ってみんなに配布する。
- ・危険な場所や建物についての調査を進めて頂きたい。住宅付近に危険物(燃料タンク)がある場所もあるのではないのでしょうか。
- ・避難所の見直し、避難ルート確認。備蓄管理。

【啓発活動・情報発信】

- ・地震時の火災が原因と分かっている6~7割が電気復旧地の電流の流によるものとは知りませんでした。こんなことを、住民にいきわたるようにしてほしい。このことを知っただけで、地震がおきたらまず、ブレーカーを切ろうと思いました。この気づきは大切だと思います。
- ・高知県に臨時情報が出たら、高齢者等は、焦りや、逃げ遅れがあるので、特に危険区域の人は、どこに避難するのか、いち早く的確な指示が伝わる様、テレビで流してもらったり、グループ別担当職員の振り分けと、安否連絡先の名簿作り及び日頃の訓練や、指導が出来ていれば良いかと思います。一人でも命が助かれば幸いです。
- ・宿毛市では震度6弱の地震がありマンション4Fに住んでいるため、激しい揺れで家具が倒れ、食器はすべて割れ、後始末が大変でした。大量のゴミ袋を買いに地震直後から、後片づけに追われました。近所の方から市役所でゴミ袋を配っているよと知ったのは10日ほどあとの事です。もっと早く知らせるべきだと思います。
- ・まずは人命が守れるような対策(住宅の耐震強化や、人命を守るにはどうすればよいか、何が要因で亡くなる人が多いかをたくさんの人に知ってもらうには?)人命が守られた後の避難所での生活で注意することは何か。など具体的に知りたい。復興の目処(生活に必要な水、電気の確保時期)の情報を知る方法。子供の命を守り、安心して生活できる対策(衣、食、住の確保。メンタルの安定)。
- ・ハザードマップの更新。避難所内のストック品の確保。
- ・防災への取り組みは非常に重要であると思いますが、被災後の生き辛さに対する不安を軽減できるような取り組みにも力を入れていただき、情報発信していただきたいです。

【啓発活動・情報発信】
・アプリや掲示板などで安否確認や避難場所の確認が出来るようなものがあればチラシや広告、SNS、などで分かりやすく配布や告知をしてほしいです。
・学校への指導をよろしくお願いします。
・事前対策の必要性があることは知っているが、実際に対策はしていないという家庭がほとんどだと思う。その理由としては、人は脅威だと感じ対策を講じようと思っても、その感情は一時的なものであるからだ。時間が経つにつれ薄れていき、優先順位がどんどん下がっていく。そのため、しつこく津波の脅威や実際に被災しか方の後悔等を発信しつづけることで、脅威を忘れさせないようにする。媒体は、テレビ、SNS等なんでもよいが、優先順位をさげさせない、脅威を忘れさせない環境作りを望みたい。
・第一に自分の命を守る。耐震家住宅、家具固定、火災（電源等の）の重用性をもう一度、この際に県民に伝えてほしいです。命があれば、自主防災やボランティアで助け合う方法等を各地域にて作るようにリーダーを作るとよい。（救護の方法や支える事があれば学習してみたいです。）
・被災も避難もしたことないので、たとえば直近の石川などでどのような1日がどのくらい続いたか具体例がほしい。家に人手がない中、どのような配布があって、どのような手続きがいつ必要なのか事前に知っておきたい。市も県もホームページで欲しい情報へたどりつきづらい。
・津波＝防災マップを見て下さい。的な事しか聞こえない。→周知が必要！！来る事は解っている→あきらめ＝年寄りや若者を守らなければ、未来はないと思っている。ならどうする！＝今回のアンケートの答えです。
・防災グッズを準備するために必要なものを細かく記載されたパンフレットを各家庭に配布する。（必要なもの・あったらいいもの、各個数を記載）避難所・高台マップの配布。
・地震発生時、どのような手段でどこに避難したらよいか、パニックになると混乱する可能性があるのので、地域でSNSで知らせてほしい。（皆が車で避難すると大渋滞になるし大変です）
・自分が住んでいる地域の避難所がすぐに分かる資料がほしい。携帯で見て見たが分かりにくい。
・情報を分かりやすく教えて欲しい
・おおそね甲に住んでいますが、南国市の商工会館からの放送が、自宅からは何をいっているか全く聞き取れません。せっかく流しても意味が無いと思います。
・情報を必要としている人に迅速に確実に正確に届けること
・子どもがまだ小さいので、子どもの親や家族は、避難時や被災後に過ごしていけるのかが不安です。住んでる自治体での避難場所が本当に安全なのかも分からず、かといって他に避難できそうな場所も無いので、尚更実際に起きた時のことを思うと不安です。その不安をどうすれば取り除けるのかをもっと具体的に県や市町村には取り上げてほしいですし、SNSなどの媒体でも伝えてほしいです。なんせ子どものことが不安です。
・地域の若者達に防災活動を通じて、助け合いの精神や、命の大切さを育むような取り組みを行って欲しい。各避難所の位置情報のみならず、収容人数、備蓄品、設備の情報などを、県民が日頃から知り得るように情報発信して欲しい。自分の地域の避難所情報を知っていると安心して暮らせる。
・このアンケートが届いた日に、日向灘で地震があり、現在も高齢者等の避難情報が出ています。疑問があり、なぜ高知市は出ていないのか、沿岸部全域は出ていないのかということです。こんなことが細かく分かる情報が知りたいと思いました。
【要配慮者】
・要介護の老人がおり、毎日のオムツは不可欠です。
・高齢者で、持病がある者への持病薬を早く届けてほしいです。
・高齢者や、小さな子ども達が逃げ遅れる事のないよう、日頃からの呼びかけや、地域の協力体制づくりが重要だと思います。
・もう年だからいいと思っていたけどこれを書いている時、8/8地震があったので、これからはもっと勉強しようと思いました。
・高齢者への又、障害者への声がけ（避難時）誘導・転入時、自治会長の氏名が分からない（分からなかった）
・古い借家や賃貸に住んでいる、独居者等の把握。（家主・管理会社等との連携による）→発災後に、見落される可能性が高いため。自宅にいる時に発災するとは、限らないため、仕事先での避難場所での受入態制の整備→地域住民以外の場合、様々な面で、対応に差が出るのを防ぐため。（田舎に行く程強いと思う）発災後の避難所での弱者の保護→過去の大震災では弱者（特に女性）が、表には出ていないが、虐げられることもあったため。

【要配慮者】

- ・身体、精神障害者が避難所で困ることがないように、障害者専用の避難所を作って対策をしてほしいです。あと、薬をのんでいる人に対して限日で対策できる医療支援チーム作りを進めてほしい。すぐに対応はむずかしいと思うが、障害者が避難所生活をつづけるのは、むずかしいことだから県や市町村は、弱者に対してもっとわかりやすいPR活動をしたりしてほしいです。
- ・長期間避難所生活となる場合を考えて、特に女性・老人・に配慮した場所を確保してほしい。市や県のトップの方々に、実際被害にあわれた方達の「生の声」を聞きに行って、どうすればいいのか知る事が大切だと思います。男性には分からない事が多いのが現実。固った時に是非「力」になって下さい！！お願いします！！
- ・町内会につきましては、独居老人、又空き家も増えて、なかなか、皆での訓練など難しい所に来ています。高齢者世帯への、わかり易い防災の周知、指導、声かけなど、必要ではと思います。子供達に対しても今よりも防災について授業化し日頃より、指導していくことも、重要ではと思います。
- ・障害者、高齢者など弱い人々を張先的に助ける仕組みをととのえてほしい
- ・高齢者の方ほど、古い家屋に住んでいる傾向があり、耐震工事も援助の受け方がよくわからず進められていないように感じます。若い世代の人が声をかけたり、出向いたりして対策をしないと、そういう家が倒壊して被害が出たり、火事になったりするのではないかと考えています。土佐市の比較的新しい賃貸の家に4年ほど前より住んでいますが、正直地元の方との繋がりは、子どもの保育園の先生・保護者を除いてほぼ皆無です。(子供が生まれた時に一度だけ民生委員さんがきましたが)近所に助けが必要な人や気にかけた方がいい家庭があるのかどうかもわかる術がありません。民生委員さんなども、皆年齢が高い方が多いと思いますし、実際有事の際は困るような気もしています。何か若い世代がコミュニティをもったり、地域に関わり動けるようなことはあるのでしょうか？私が知らないだけなのかもしれませんが、賃貸の場合だからなのか、特に地元の広報誌なども配られませんか、こういった取り組みや機会があるのか分かりません。そういうものは賃貸など関係なく、分け隔てなく配布していただきたいといつも思っております。防災意識を高めていけば1人でも多くの命が救えると思いますので、よろしくお願いします。

【防災への意識】

- ・防災の必要性を詳しく伝える定期的に各地区をまわり直接伝える機会を増やす。県・市町村の熱意がまず必要である。
- ・2日前に巨大地震注意になり、対策を見なおし自分の見の廻りの物を片づけ、準備力が必要だと思いました。速く対応をします。
- ・南海地震の「巨大地震注意」情報が発令され、その可能性が更に大きくなったと実感しています。
- ・今まで以上に踏み込んだ各項目への対策を行なっていく。
- ・行政だけでなく、事業所や病院など、組織を超えた連携。支援をしてもらえるよう、他県との関係づくり。
- ・危機感を意識づけるよう、地域での必要性を徹底する(このアンケートにて感じました)。地域(市町村)のお知らせ放送があるけど聞きとりにくいので行きわたる様にしてほしい。
- ・先日の地震で南海大地震がより身近に感じ備えをしなくてはと思った。
- ・いつ発生するかわからないので準備だけはしておきたいと思うが不安だらけ！必要な施策は早急にすすめて欲しいです。
- ・個人個人が防災に対する意識を高めるために啓発運動等に力を入れてもらいたいです。
- ・自分の住んでいるところの、どこが、どういうところが危ないのか、家も含めて、今より細かいところを知りたい。
- ・能登地震のあと6ヶ月たっても、一般家庭の修善がとどこうっている罹災証明ももらえるまでも、大変だったと知人から聞いている。事業者も被災者となるので陸の孤島となる高知県も同様のことが想像できる。官と民でどのように対応できるのか、しっかり考えてほしい。北海道2018年地震に旅行中遭遇した孫は、ホテル・社協・避難所とたらいまわしにあって、土地感のない所で途方にくれたと言っていました。各個々の訓練も必要ですが、どうしたら上手く連携がとれるか、考えてほしいと思います。
- ・場所によって色々違うと思うので、その場に合った支援をできる様に、まず自分達が出来る事することだと思う。おまかせにならない様にしたい。出来ない事は助けてもらいたい。
- ・「自分や自分の家族は自分で守る」という概念を県民に、拡大してほしい。地震に関して利権や忖度の無い学者や人、団体による知的で現実的な情報を広報して欲しい。
- ・危機意識はありますが、何の備えもすることなく日々の暮らしに追われています。

【防災への意識】

- ・私を含め、まだまだ地震防災に対する意識力が薄いと思います。繰り返し、防災対策や防災訓練の必要性を広報活動で強化をしてほしいと思います。
- ・防災対策は早急に取り組むべきだと思います。長期のものも少しでも早く取りくんで頂きたいです。
- ・高知県は東西に長く人口が分布されています。田舎に行くほど、施策もむずかしくなると思います。どうかヘリコプターなどが着陸出来る場所を増やし、田舎を見捨てることのないようお願いします。
- ・防災の視点からのまちづくり・平時からの備えを個人に伝える。仕組みづくり。
- ・いろんな年代の人が一緒に楽しく学べる防災学習や訓練の実施。ペットも共に気がねなく避難できる避難所の設置。
- ・何時かは起こる、ではなく、必ず起こる絶対起こると思って対策を講じて欲しいです。大変だとは思いますが、よろしくお願いします。
- ・この調査書がといた次の日に、南海トラフ地震警戒アラートが発信されました。そして、急に身近かになり、備蓄の品を買いに求めたり（品切れで入手できない物もあった）。家具の固定など、危ない所から手を付けています。まだ完全ではありませんが、家具の配置の見直しなどしている最中です。能登の地境の様子を見ていて、まだ、片付けが何も進んでいない地域があったりして、大規模な南海地震が起きた時などは、どうなるんだろうと考えてしまいます。やはり耐震化を進める事と、長期化した時の対策が一番気になります。私達の地域では、避難所が低地にある為、あまりあてにならない気がしています。自宅にもどれない時に避難する場所があるのかが気になります。
- ・あらかじめ各家庭で各場面に対してどうするのか確認をする事を促す。
- ・同じ地震でも規模、時期、地域など個別性あるので防災対策って本当に難しいと思う。高知県は防災意識高いと思う。高知県は頑張っていると思う。この調子でいいと思う。今の時期とても暑いので、こんな季節に避難所生活になったらどうしようという不安はある。コロナも心配。
- ・誰かが助けてくれると思うと全てを依存してしまいがちです。高知には人員も財源もない、全ての民の命を救うことは不可能です。自分や大切な家族の命は自分たちで守ることを前提に考えて下さい。そうシビアに伝えた方が良くと思います。緊張感が必要です。行政には、有事の際、住民と行政を繋ぐ大きな命綱であって欲しいと思います。水や食料・生活に関わる全般がスムーズに解決できるように、また他県・国からの援助を頂けるように。お願い致します。
- ・自治体に頼り切らず自分たちでできることは自分でやりたい。
- ・中学生、高校生からの防災意式、防災士など学校単位での受講、救急講習への参加しやすさ。

【経済面】

- ・災害道具や特に非常食が高すぎて買いたくても手が届かない
- ・経済的に苦しい日々の生活が背いっばいで、大震災は、自らの終止符とあきらめて生きています。
- ・防災対策についての補助金額の引き上げ。
- ・補助金の強化。若い人が積極的に協力できる環境作り（いざという時に、若い人の力が絶対必要のため、何ができるのかを考える環境・体制作り）
- ・各家庭に無料か、格安で耐震診断をしてほしいです。どこに頼んだらよいかわからないです。
- ・私は独身で低収入であること、両親も年金受給者のため経済面での不安があります。住宅の倒壊で、まず生き残るかが分かりませんが運良く生き残ることができた場合は、避難生活が長く続くと予想されるため、その部分でも経済面での不安は大きいです。長い避難生活を支える（精神面・身体面・金銭面）対策をお願いいたします。
- ・県(行政)が各家を見回って、耐震に備えてるかどうかの判定をして、そうでなければ補助金等を出して耐震に備える。

【避難場所】

- ・地震、津波など大災害により、復旧・復興が出来ない地区地域が必ず出ると思う。事前避難情報が出る前に、前もって避難生活が出来る、又は定住出来る場所を確保すべきではないか？地震津波が来る前に前もって生活可能な、避難所を造るべきと考える。
- ・避難場所生活になった際、生理用品等への不安と衛生面の心配。
- ・ペットと避難できる場所を増やす。非常時に動物の事は二の次という意見もあるが、犬と一緒にいないと不安で避難できない。離れ離れになる位なら、避難しない。
- ・私の住んでいる所は高齢者が多く、空き家がとても多い所です。空き家を市や自治会で管理できるようにし、災害の時には一時避難所として使わせていただけるようにすることも大切なことではないかと思います。高齢者が多いためか、防災意識の低さに驚かされます。地域でもう少し力を入れて、皆で防災について考えることが大切だと思います。地域に合わせた防災について考えていただければと思います。
- ・ペットと一緒に避難できる場所・施設の情報・要介護または要支援が高い方向けの、福祉避難所情報・避難所で最低限度の福祉サービス（物資の代行、移動介助など）の保障。介護を除く生活支援。
- ・ペット可能な避難場所などを多くしてほしい。

【避難場所】

- ・浦戸湾左岸・右岸地域では、早い時間から津波が到達します。住民の努力だけでは、被害が増えるだけです。左岸・右岸それぞれで、協議会を設置して、地区で事業を行っている事業所・医療機関・量販店等の出席を義務化して、避難所の運営や備蓄の確保等、地域単位をグループ化して、対応するネットワーク作りが必須と考えられます。（組織化）住民個々の努力では被害者を減らすことは困難である事は、周知の事実です。（東北や石川県の例でも明らかと考えられています。）
- ・学生に対しての対応。遠方から交通機関を使って通学している子、自転車。
- ・できるだけ早い避難所づくり（自宅の壊れでライフラインができなくなる。プレハブ）。
- ・避難場所は山に階段がついていますが、行き止まりで、そこには広場も何も無く、高齢者が階段を登る事は無理です。何日か過せる場所、物品の準備等全然進んでいません。話し合いもありません。私達高齢者は家族に振り向かず逃げてもらいたいと話してあります。地域を見ても今でも山に登れない方が多数います。どうしたらいいのでしょうか？
- ・地震が起きた時の避難場所はここらしいというあやふやな情報しか持っていない。そこへ行くのに橋を渡るけれど橋が落ちて通れない時はどうするか！など具体的につめていくことが大事だと分かっているけれど、周りも動きがないため今に致っている。出来れば具体的に、この時はこうしようとか、ここへ避難するべきとか、具体的に話し合って住民と一緒に考えるべきだと思う。今は訓練ですとサイレンになって参加しているのかしていないのかわからない状態。
- ・我が家は浸水地域ではなく、自宅は耐震住宅であるため、災害時は自宅で過ごすことになると思われる。一日も早いインフラの回復が出来るような対策を望んでいます。
- ・集団生活ができないので、住む所を確保してほしい。空き家、トレーナーハウス、テント等。
- ・災害時の避難場所が不明。
- ・ペット可の避難所を多くして欲しいです。
- ・浸水予測場所に避難所があるのかと思う。まず先にそういう地域に安全に避難できる設備施設を作るべきだと思う。実際に地震後浸水して避難所が開けられず家の中にいるしかなくなると県の取り組みはゼロでしかなくなるので。
- ・ペットと一緒に避難できる場所を作って下さい。
- ・避難場所に確保（プライバシーが守れるような）が速やかにできるように体制作りを望みます。
- ・共に70代後半の夫婦だけの生活ですので、耐用年数の長い住宅は必要ではなく、震災後に建てられる「仮設住宅」や「簡易住宅（言葉だけでどんな建物かは全く解りませんが…）」で良いのではないかと考えています。が資料がなく判断の仕様がありません。現住している住宅の耐震補強だけではなく、こうした方向での対策は何かあるのでしょうか？

【避難場所】

- ・海沿いの防潮堤などのハード整備はもちろんですが、避難場所や避難所、避難の整備等を充実させてほしい。私の住む市町村では、津波がすぐ来ると言われている為、保育園や学校が高台に移転が決まっておりましたが、何年も経ってから「できない」となり、話がとんざしました。高台へは移転できなくなったので、津波浸水地域ではない所へ移転となりました。しかし、未だに進展はなく、目に見えた動きもない行政には不信感しかありません。やるなら早くやってほしい。これが正直な気持ちです。また私の地域では空き家も多く、倒壊の恐れも多いのでその辺も何とかしてほしいです。お年寄りも多いので、海と山の間に避難タワーももっと作っても良いかなとも思います。
- ・避難所の衛生環境が整っていればストレスは少ないと思う。車内泊する人へ水分の配給があればいいかなと思う。
- ・海に近い学校の避難場所が心配です。自分の子供は、工専に通っています。学校の屋上が避難場所になっていますが、津波がきたら学校校社じゃ、低すぎます。防災津波タワーも、低すぎです。波にのみこまれます。そうていを超えることを考えてない！
- ・町民全員が高台に移転が可能になること。
- ・避難所の確保と連絡手段の確保。犯罪の抑制。
- ・地震が起こった後の避難所や仮設住宅の迅速な設置。
- ・人が一番ですが、ペットを家族としている人たちも多数います。その人たちの以降のストレスは、たかが犬や猫が、じゃありません。一緒に避難できる区画の確保も考えておいてください。それから、小中学校時の防災教育はとても大事だし、頭に残ります。本物の消防士や防災士を各学校に派遣し、実際の寿映像を見させて、どうすれば命が助かりやすいとか、”その時どうする”を考えさせる教育をする。それは一般論ではなく、その地域にあった避難方法を提案する。その学校の立地を主体的ににおいて具体例をみんなに話すこと。
- ・南海トラフが発生したら、今まで経験したことのないことがたくさん起こると思います。全てを完璧にはできないと思いますが、特に避難所の安全面や衛生面の準備をお願いしたいです。しっかり管理できるトイレ、プライバシーが確保された空間をどうかよろしくお願いします。
- ・女性や子供が1人で避難しても安全にトイレや睡眠が出来るよう、非常時でもプライバシーを守れる場所が欲しいです。今は避難所についてもネットでいろいろな情報が出回っていて、実際に南海トラフが起きたらどうなるのか、どこまで県に助けてもらえるのかが不明なため、明確に分かる情報の発信が普段からあれば、震災後のリアルな生活を想像しやすいかと思います。非常時こそ助け合い、疑心暗鬼にならず県民で協力することが必要かと思うので、老若男女の意見を平等に取り入れた避難所を作って頂きたいです。
- ・各地区に医療者がどの程度いるのか、被災時間などにもよりますが、自宅で被災した場合は地域の避難所などで活動できる人の把握はしても良いのかと思います。
- ・発災後、地域住民が避難所運営に関わる必要があるのであれば、どうやって進めて行けば良いのか知っておきたい。
- ・避難先での安心できる環境を作っていただきたいです。ペットと避難できる環境、女性1人でも安心して避難できる環境。

【避難経路】

- ・公園などに塀があるが、市や県は公共の危険な物に対し、対応しているのでしょうか？
- ・県西部、東部において、国道55, 66号が寸断されると救助や、物資が止まることとなります。国道では、高速の延長が進められていますが、補助的う回路として県道、市道の見直しや、幅員拡張などを望みます。
- ・私は、南海学園で息子がお世話になっています。南海学園の入り口から信号までの道がとても、狭くて、いつもこの間が広まらないかと思っています。どうぞ、この南海地震が来るまでに、スムーズに出入りできるようにお願い致します。
- ・安全な避難経路の確保。避難先での生活復帰に向けての取り組み方。

【避難訓練】

- ・学校などで急な避難訓練があるように、地域全体を巻き込んで突発的な避難訓練をするべき。物資の供給がすばやくできるように、緊急時の輸送路など確実に備える。高齢者などが多い地域から、優先的に避難路の整備をする。
- ・地域の避難訓練をもっと増やして、いざという時に各住人の人々が（高齢者や逃げるのに時間がかかりそうな人）残らずなるだけ自力であきらめたりせずに避難できるようにしていきたい。していった方がいいです。
- ・地区ごとの訓練。
- ・大変な事業ですが、一人でも多く県民の命が助かる様ご尽力下さりありがとうございます。地域の防災、訓練、特に夜間や学校での避難訓練をもっと増やして頂きたいです。
- ・訓練を義務化しないと、誰も参加しないと思います。
- ・小学校で防災訓練のレベルが凄く低く感じました。もう少し意味のある訓練を行われた方が身になると思います。想定力がない訓練は無駄な時間だと思います。学校任せでなく、プロの方等の意見を取り入れた訓練をされた方がいいかと思います。
- ・子ども達に避難介助より自己避難を優先させる防災訓練。

【備蓄品】

- ・避難生活での食料、水、トイレ等の備えについては以前からよく聞きます。医療についても負傷者の救助も必要なことだと思います。しかし私も含め日常的に薬を服用している方もいるのですが病院（主治医）からは家に備蓄する為と頼んでも次の受診日までの量しかだしてくれません。食料や水であっても避難場所に届くまで3日はかかると言われてるので、医療薬も同じくらいかそれ以上かかると思うと不安になります。避難所に届けてくださる薬も飲み合わせなどありますし、鎮痛薬やかぜ薬などと違い1回でも欠かすことなく服用しないといけない人もいますかと思いますが、県や市町村の方からも行政に対してその辺の決まりを今一度検討してもらえよう行動して頂きたいです。
- ・（水）1人何本×10日分→等、具体的な→本数を各家庭に配って欲しい。※（水）は老人に重労働。
- ・水、食料、屋根と壁（テントなど）がある避難所、ペット等の為の対策、強姦などを未然に防ぐための取り組み、取り残された高齢者や子どもはどうするか、避難後の対策にも目を向けてほしいです。
- ・土佐山田町で言えば避難所及び水、食料品が充分確保できるか不明なので、そこに対する手当。発生した場所できるだけ早い電気、水道の復旧。
- ・備蓄品（水など）を定期的に配ればいいのに。2～3年に1回とか。それを備えておくかどうかはどうするかは各家庭の責任です。お年寄りがスーパーなどでケース買いできないですよ。山の上の住宅街もどうするんでしょう。（市内に結構あるけど）1つしか出入口がないのに孤立した場合とか考えてないのかな。
- ・使わなくなった公民館などに、食料を備えておく。
- ・各個人の家で物資の備蓄をする為のスペースはない所が多いと思いますので、行政の方でどこか準備して大々的に備蓄するべきだと思う。
- ・今は特に何も望んでいません。今、自分がすべき事、水分や食料の確保等に気を付ける事だと思っています。後は、その時にならないと分からない。
- ・家庭に必要な避難備品をリュックで配ってほしい。分かっているけどすぐ買えない。生活保護を受けていて余裕が無く、何も出来ない。出来ないのに、地震に関心を示すことはできないから…何を聞いても他人言になる。
- ・備蓄の充実と広報。
- ・長期保存ができる水などは事前に配布しても良いのでは。極端な事を言うと古い家に住んでいて、耐震工事もしない、引っ越しもしない高齢の方々や活動に後ろ向きの方々は切り捨てて、若い世代や前向きに取り組んでくれる方々が得をするような方向で進めていただきたいです。

【津波】

- ・久礼地区住宅密集地域の順先高台移転。災害復旧住宅用地の高台造成／用地確保。商店街（c f、大正町市場）の耐震化・津波避難施設・避難ルートの整備拡充。久礼市団地→避難場所（久礼小中学校）への通難路、ルートの拡充。笹塚小学校跡地の緊急時使用ルールの調達“見える化” c f、体育館
- ・津波や家屋の倒壊ばかり強調されているが、海（南）の危険は理解できるが、背面（山、北側）の危険度が軽視されているのではないかと。特に鏡ダムについては正しい情報の提供と対策が不可欠。老朽化・危険住宅、高齢者のみの世帯等については、危険住宅の解体を義務付け、公営の集合住宅を整備し、入居促進を図ればウィンウィンにならないか。
- ・高知県は海沿いで、津波が最も怖いと思う。それに対しての対策を今後取り組んでもらいたい。1人でも多くの人達がなくなる事なく、みんなで協力して災害が起きても楽しくすごせるようにしていきたい。一人でも多くの命が守られますように。県での対策をお願いします。
- ・私達の避難場所は山なんです、高さ13mです。津波は30mと聞きます。どうしたら良いですか？
- ・津波を防ぐ防潮堤などハード整備の構築。
- ・居住地区に石油タンクやガスタンクがあります。南海トラフ地震が今起きた場合、漏れた油に火がついて津波と一緒に押し寄せてくるとガスタンクの爆発で家が吹き飛ぶのではないかと心配しています。大量危険物等の安全対策の徹底をお願いします。
- ・高知県は南海大地震が発生すると津波で大被害が出ると言われている為津波に対する擁壁の建設を行う。又、他県からの物資応援を早くどの県より呼べる体制メインはヘリによる応援となる為、ヘリポート建設拡大をする。県庁の移転建設を望みます。耐震補強を行ったとはいえ、場所的には津波浸水予測範囲内であるため、地震が発生したら機能しないと考える。
- ・土砂くずれが心配、津波は対策が難しいと思う。
- ・津波が来れば確実に浸水し、家はダメになるため、津波の対応・対策を早目にとれる・生活できる状況を検討してほしいです。
- ・山等の避難場所の道作り、コンテナ式の仮設住宅、津波を少しでも弱くする方法。
- ・津波対策だからといって、海岸沿いを高い防波堤のコンクリートで固めないで欲しい。防波堤に限らず、将来メンテナンスしていく負担を考えると他の方法にした方がいいと思います。
- ・津波や崖崩れ等に関する建築制限区域の強化。高台等への移転奨励。（補助金）
- ・防潮堤などのハード整備が出来ていない津波が来るのがわかっているならば、ハード面を充実すべきサイレントパイラー（技研製作所）の杭打を採用するべき
- ・自宅は海岸沿いの為津波は避けることはできないと思います。現在防波堤が低いのもっと高くしてほしい。
- ・南中・高校を津波を理由に閉校したのなら、わんぱくここの場所も移転してほしい。地震、津波等の被害が心配されるのに、動物はそのままですか？対処できずに殺処分、なんて太平洋戦争中のようなことはあってはならないはずです。人も大事ですが、動物も同じだと思います。
- ・津波の浸水予測について、陸地だけでなく河川を遡上した津波による浸水予測シミュレーションを河川ごとに分析し、ハザードマップの精度を高めてもらいたい。
- ・港湾河川のムダな嵩上げはやめてその予算を復興費にあててはどうですか？本当に堤防の嵩上げで、すべての津波が防げると思ってやってるんですか？
- ・スーパーなど人が集まる場所の近辺にも、津波避難タワー等の建設をして欲しい。近隣住民以外にも人が集まる事や、高齢者や足が不自由な人が居ることを考えた場合、その大勢の避難が間に合うとは思えない場所にタワー、避難場所が設定されている事も少なくない。
- ・地震や津波が起こってからではどうなるか分からないし、どうなったとしても何とかできる力が日本にはあると思う。そのため、私は現時点では県民1人1人の防災に関する意識を高めることが最優先だと考える。危険だと知らせるだけでなく、自分の身は自分で守る、という責任感を地域住民にもってもらうことが大事だろう。市区町村だけでなくもっと狭い地域ごとに、質問でもあったような消防団への関心を増加させる取り組みや、各家庭で家具の固定ができているかを確認するべきである。また、インターネットや郵送だと家庭内のみで終わる話になってしまう。それを、近所の人はこうゆう取り組みをしていた、うちもやってみよう、という流れに変えたい。話題になるという点で、やはり専門家や人員を派遣して市区町村よりも狭い地域で話をしたり、実際に家具を固定しに行くサービスを行ってみるのも良いかもしれない。話を聞くだけでは危機感をもつだけで行動にうつる人は少ないと思うので、話を聞きに来てくれた人の中から抽選で上記のようなサービスを行うことで、話題性にもなり行動にうつす人が増えると思われる。

【津波】

- ・私は、沿岸部に住んでいます。津波の被害をもろに受ける為、避難場所に避難する事になります。ヘリポートを設置して頂きありがたく思いますが、地震発生後何日でヘリコプターによる救助活動が行えるかによって、何もない山の上の避難場所に何日過ごす事になるかによって、防災計画が変わってきます。「3 日程度」という、定型文ではなく、現実的な個別の防災計画の策定をお願いしたい。

【地域】

- ・南海地震の被害は広域に渡るため、高知県への公助はかなり遅れることが予想される。よって何よりも、自動（家屋の耐震、家具の転倒防止、食料、水の備蓄が生命を守る上で最も大事）その上で共助としての地域住民のつながり、助け合いが、次の段階では必須となる。そのためにも、日頃からの付き合い、相互扶助、町内会活動の活性化が求められる。
- ・地域のつながりや行事が希薄になってる現状では地域での防災に対する取り組みの必要性が低くとらえられがちだと思います。ただ、災害の時はまず地域の人達と支え合わないといけません。地域のつながりを強くすれば、自ずと防災の意識や災害時の助け合いはうまれると思う。防災の観点からも地域の夏祭りなどのとりくみの支援をすべき。
- ・地域の防災活動が全くなされていない。自治会などの防災活動を盛んにする必要がある。
- ・このアンケートの回答を始めて間もなく、日向灘を震源とする地震が発生し、他人事ではないと、改めて感じました。避難袋の見直しや、食料の備蓄等できることをしてきましたが、家自体壊れてしまったらという気持ちも否めませんし、どこにどう相談していけばとそんな不安を抱えたままです。地域への呼びかけ等些細なことでもお伝えしていただきたい。
- ・どの地域も、温度差がないように、対策して頂ける様にしていきたい。
- ・普段からの地域のつながりが大事だと思います。
- ・地域の活動に参加することができないので町内会など、どのようなことをしたのかなど知りたい。
- ・小さいコミュニティ単位での訓練を繰り返し行う。山崩れ、石垣への補助をしてほしい。

【ライフライン】

- ・下水道の強化（新しくする）。
- ・ライフラインのうち特に水の仮供給までの時間を早急に行なえるよう立案し改善しておいてほしい。能登の地震を見れば解かる思うが、自治体と国の対応が遅すぎる最重要なのは道路通行ができる事。前6 7問の15で答えた重機トラックなどの運転者を含めた、がれき撤去要員の確保と迅速な手配のための事前の連絡体制作り。

【プライバシー問題】

- ・各地の地震後の困った事を踏まえて準備しておいてもらいたい。予備を構えておいてほしい。一時的な物から何日も大丈夫なように。（水、食料、トイレ、日用品等々）個人的なプライバシーや衛生面も気をつける事
- ・避難所に行ったものの、施錠されていては困るというのはいかがなものか。しかし、開きっぱなしでは困るので、良い対策があれば考えて欲しい。避難所だけでなく、普通使っている場所が利用できる方法を考えて欲しい。すでに被災して復旧（復興）している地域からの聞き取りなどでより現実的に添った対策を希望しています。
- ・避難した際にプライベート確保できるように、拡充してほしい。大地震が実際起きないとイメージできない人が多く、事前に準備できない人も多いので、県民へ意識を高くする工夫をしてほしい。
- ・想定被害規模ごとに復興プランの事前策定とその公開。プライバシーが確保できる避難生活ができるように、事前準備の徹底。震災後に各市町村でどのくらいの人が、どの程度の資産を失い、どのくらいの期間で震災前の水準で生活できるのか、あるいはどのくらいの割合で震災前の水準で生活できないのか、また、市町村ごとにどのくらいの人口が震災後減るのか。震災後の生活がどうなるかの詳細なシミュレーションの策定と公開。
- ・能登半島地震で多くの建物が崩れ、避難生活を強いられるニュースを見て感じた点は、避難所のプライバシーの確保（簡易テントなど）。長期間の避難になると特にプライバシーの確保は大事だと思います。清潔なトイレの確保、住めなくなった住宅への対応（住宅再建できない場合どうしたらいいか、行政がどこまで支援してくれるか不安があります）。まずは避難！ですが、その後の日常をなかなか取り戻せていない石川の方々を見て、防災対策の難しさを感じています。ライフラインの早期復旧、仮設住宅の早期設置をして、震災前の状態に少しでも早く戻る手助けを行政には希望します。

【行政】

- ・自助、公助、共助をバランスよく進展させるような取り組みが大事だと思いますが、それに向け尽力しているように感じます。
- ・岸田政権は全く助けてくれる事は無いと思うので高知県知事、高知市長の支援その他を望みます。
- ・県と市町村の緊密な連携をお願いします。
- ・職員ひとりひとりに明確な役割分担を認識してもらうような訓練。罹災後の避難生活に地域差が出ないようにお願いします。
- ・県や市町村の行政職員の品質の向上国民に何でも押し付けるのはやめて
- ・県・市何に対しても、本気で言っているようには聞こえない。また、やかましいこと言っているとは思えない。なんとかして下さい。
- ・望むと言うよりもよくやっていると聞いています。

【アンケート】

- ・8/8は地震があったが、放送は四万十市の方が早く、宿毛市の取り組みの無さを感じました。以前、震度6弱の地震があった際もブルーシートなど配っていましたが、自宅が倒壊して中々役所までも取りに来れないのに、わざわざ役所まで取りに行かすのはどうかと思いました。高齢者、介護で中々外に出れない方（災害弱者）、地震が起こった際に毎回このようなアンケートや具体的な対策を話と合っているのではと思いますが、一体何が改善されたのか全く分かりません。全てが中途半端なかんじですよね。市民のためにも改善をよろしくお願いします。そして、改善策を示して下さい。仕事上、市民の生の声を聞く機会があるので…市役所の方々が思っている以上に不安に思う方は多くいますよ！
- ・2024年8月8日（木）南海トラフ巨大地震注意が発表されました。このアンケートが無事届けば良いと思います。このアンケートのおかげで、直近で知りたい情報が分かりました。いざ本当にこうなると、自分の用意のなさが悔やまれます。今、現在（21：00）高知県のHPには発表の記事のみ、高知市のHPには何もありません。今後、自分達がどう行動すべきか、また、不安を取り除くための情報を市と県に早急に発表して欲しいと思います。ありがとうございました。
- ・このアンケートを書いている時に宮崎で地震があり、その後臨時情報が出てドキドキしました。おかげで再確認ができました。行政にはすべてを望む事は無理があります。この事としてあるていどは自分で用意しなければと思っています。いい意味でシミュレーションになればいいですね。
- ・このアンケートを記入した改めて感じた事は、お金がないと命も守れないという事です。当然、行政が私たちのような貧しい世帯の防災にかかる費用を全てまかなう事は、出来ないし、地震を止める事も出来ません。耐震工事などやりたくても出来ない世帯は他にもあると思うので、それを前提とした対策を望みます。お金の問題で対策出来ず、命をおとすのは自分の責任ですが、そのせいで人に迷惑を（緊急車両が通れない等）かけたくないです。コロナ以降なるべく他人と交流しない考えになってましたがこれを記入した人で少し考えがかわりました。このアンケートもひとつの対策になってると思いました。アンケートに答える中で勉強にもなりました。
- ・個人的にはこうしたアンケートを含め、県・市町村が努力してくださっていることに感謝しています。事前にできることをして備えておくことは大切だと思います。そうしておくなら、起きた時に落ち着いて行動することができるのでよいと思います。時々警戒心がゆるむので、みなさんのおかげで思いおこすことができます。ありがとうございます。
- ・南海トラフの事など気になっていましたが、避難する場所や家の耐震など、頭の中で行動力がともなわず、今回のこのアンケートで少し踏み出していかなくてはと家で（夫と）話をしました。でも断捨離などまだまだ。この企画、ありがとうございました。
- ・今までに何回かアンケートありましたが、何回したら県は体制を提示できますか？アンケートはもっとシンプルに。
- ・トイレ問題。このアンケートのように色々を考えてくださっていることを心強く思います。自助力が弱い、1家庭単位ではできないこと、同団地内でもほとんどつながりが無いことが不安です。このアンケートで、自分の家庭の準備がまだまだ不足していることに気づかされました。参考になりました。ありがとうございます。
- ・アンケートが長くて途中で入力をやめそうになりました。途中でやめられた方も多いかもかもしれません。防災に関わる大切な事なのでアンケートは欠かせないものだと思いますが、もう少し調査方法を考えられても良いかと思います。

【アンケート】

- ・ 本当に災害が起こる事を前提で考えて欲しい。例えば、自分の住んでいる自治体は台風等の事前にある程度予測できる場合でも、過去の取り組みで空振り(台風が大したことなかった)等で真剣に取り組まない。人命第一で考える公務員がどれほどいるのか？こんなアンケートもやってます感を出すために感じる。
- ・ アンケートを取るのには良いが、量が多すぎる。もっと簡潔に要点をしぼるべき。地震災害時対策マニュアルのような小冊子を各家庭に配ると良い。

【耐震強化】

- ・ 住宅の耐震化の推進が最も重要だと思っています。本当は耐震診断や耐震化の強制力を行政が持つべきだと思っていますが、現実的ではないので、支援策を充実させていくことしかないように思います。
- ・ 築53年の木造で、あちこちがボロボロで、不安の中で生活しているが、お金もなく助成金で何とか！と思っているがどのようにすれば良いかわかりやすくしてほしい※(追)8/8地震後、意識変化し飲食料も準備します。

【南海トラフ地震臨時情報】

- ・ 先日、宮崎で起きた地震で初めて南海トラフ地震臨時情報がテレビ等で発信されてましたが、実際何をどうすれば良いのか良くわからない。
- ・ 今回この書類が届いた時にちょうど南海トラフの臨時情報がありましたが、高知が一番危ない、ましてや須崎はもっと危ないのに、行政の動きがとても遅く不安になりました。避難すべきかどうか、須崎の判断はとても遅かったと思います。不安な一週間を過ごしました。簡易のトイレ、ありがたいですが、5人家族に一回分いただいても足りるわけありません…(お店で手に入らなかったのありがたいですが…)もうすこし考えてほしいです…
- ・ 南海トラフに対してのお金の補助、支援等を積極的に進めないと県民は地震への対策をしないと思う。若者はテレビを見ないし、かといってSNSでは自分の興味のある話題にしか関心を示さない。この間の地震で初めて「南海トラフ地震臨時情報」というワードも聞いたし、この冊子で初めて聞くワードもたくさんあった。この意識調査を3,000人対象ではなく全県民にむけて知ってもらうことが大切だと思う。学校や職場等、地震への対策を知ってもらう為に講義をしたり、冊子を配る等した方が良いと思う。知らないじゃなく、皆知ってるぐらいの地震への知識を高めないといまのままだと確実にダメな方向に進むと思う。
- ・ 8月に巨大地震発生注意の臨時情報が一週間出され緊張しました。持ち出し袋、水、食料の見直しや、地震への備えをもう一度考え直す機会になりました。観光地や経済の面からは減収になり、残念でしたしょうが本当に地震が来ていたら注意が出ていてよかったということになったと思います。注意が出てよかったです。
- ・ 先日、南海トラフの臨時情報が出され、地震に対する備えの大切さを実感した。日頃の備えが不十分だった事に気づき、現在は少しずつ備蓄品を増やしている。簡易トイレを購入しようとしているが、どの商品を選んで良いか判断しにくい。県から防災セットを販売してもらえると安心して購入できると思う。季節ごとに防災用品や心構えが変わってくるので、時期に合った啓発活動があれば気づきになる。
- ・ 8日に宮崎で起きた地震により、南海トラフの臨時情報が出された。家具の転倒防止など、本格的に取り組む必要性を感じている。また、同居していない家族との連絡方法なども考える必要がある。今はラインやSNSがあるが、果たして回線が上手くいくのかは心配。いつ、どこにいて被災するのかで状況が変わるのことも心配。

Ⅷ 自由回答

〔その他〕

問1 あなたご自身のことをお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。(回答者 75人)

③ 職業

・医療従事者 (9)	・飲食業
・介護職 (8)	・家のお手伝い
・自営業 (5)	・会計年度任用職員
・建設業 (4)	・議員
・看護師 (3)	・個人事業主、不動産貸付業
・年金受給者 (3)	・再雇用契約
・無職 (3)	・作業所
・臨時職員 (3)	・作業療法士
・運転手 (2)	・事務職
・契約社員 (2)	・障害年金
・就労支援 B 型 (2)	・情報通信業
・独居 (2)	・水仕 (パート)
・福祉系 (2)	・生保
・保育士 (2)	・製造業
・土木系 (2)	・倉庫、ティバック詰め、PC あり
・団体職員	・アパート業
・ガイド週3回	・美容室
・サービス	・両親の介護

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(回答者 57人)

・液状化 (17)	・浸水 (7)
・地盤沈下 (6)	・道路寸断 (5)
・ブロック塀 (4)	・建物倒壊 (3)
・川の氾濫 (3)	・橋の崩壊 (2)
・孤立 (2)	・停電、断水 (2)
・水害	・建物崩壊
・生活ライン	・地割れ
・津波の到達時間	・電柱・電線の破損
・ため池が決壊した際に水が来る	・分からない
・火事場泥棒・周辺国の信仰・避難所の小学校までが遠い。	
・階段がつぶれないか心配。コンクリが割れて落ちていることがあった。	
・救助が来ない期間が長く、自助できるかどうか	
・古い家だったので、今年新築の予定	
・渋滞、人々の混乱、SNS のデマあげればきりが無い	
・道狭いので通れなくなるとか	
・離れの家屋の床下の基礎を悪徳業者に壊された。	

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(回答者 76人)

・玄関、ドア、窓を開ける(16)	・何もできない(8)
・火を消す(6)	・高いところへ行く(6)
・様子を見る(3)	・わからない(3)
・状況判断(3)	・安全な場所へ移動する(2)
・家具などから離れる(2)	・情報を待つ・調べる(2)
・お客様に知らせる	・その時に応じて対応を考える 逃げ道を確認する
・ヘルメット、靴の用意	・安全な場所がありません
・安全を見て人助けする	・家具などを支える
・緊急地震速報の内容を確認する	・犬を抱く
・子供たちを守る。布団で頭部を守る	・状況の把握
・施設ハウスに入る	・身がまえる
・心構えをする。落ち着く。	・水の確保
・避難所に逃げる	・津波があるかないかを調べる
・非常用品の袋をそばに置く	・隣のビル(病院)に避難する
・何十秒後の時間に余裕があればですが	→玄関を開けておく、靴、ヘルメット装着、火の使用 中なら消す。
・家具等のそばには寄らない(今の所対処している)	
・(長い強い揺れ) 2～3分以上ぐらいなら、津波からにげる行動をとる。揺れが止まったら、 すぐに、高所へにげる	
・周りに地震が来る事と身を守る行動をとること、可能なら火の始末をすることを促す	
・職場なら、保育の子の身、家なら我が子の身を確認しに行きます。	

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(回答者 18人)

・スマートフォン・携帯電話(7)	・防災アプリ(2)
・iPhone緊急アラート	・家族
・基礎疾患等のためどうにもできない	・市町村の広報誌
・職場での口コミ	・地区の自主防災訓練など
・余りない	

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。
これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。
(回答者 21人)

・学校の授業(2)	・職場での研修等(2)
・町内会・地域等のイベント(2)	・あまり目にしていない
・インターネット	・ローリングストックチラシ、防災アプリチラシ
・講演会	・高知県が発信したものは見たことがない
・高知県防災アプリ	・子どもの学校での授業、防災イベント
・全く残っていない	・分からない
・防災アプリ	・防災士の普及活動
・防災人づくり塾	・自治体広報誌・啓発冊子
・仕事でサイレントパイラーの製造にかかわっている	
・さまざまな手段など詳しく知らない。細かい情報入ってこない。	

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(回答者 49人)

・自治会の広報活動	・避難訓練の義務化
・無策よりましなもの	・町内会単位での取り組み
・地域の避難訓練など進める	・説明がわかりにくい
・本当のことを言うべき	・避難場所を具体的に教えてほしい
・学校での取り組みの重要性	・詳しい情報があまり家に届かない
・それぞれの市での政策・取り組み	・インフルエンサーの起用
・その場所での政策、取り組みのわかりやすい紹介を優先順位を明確に提示する	
・避難場所への経路確認も兼ねた、実際のシュミレーション	
・市町村単位の方がもっと身近に感じられると思う	
・全ての危険情報をかくさず提供すること	
・三重防護の進展具合を知りたい。併せて河川堤防の強化の状況も。避難生活時の対策、医療面の支援可能度合。	
・各企業、自治体と協力して避難訓練をするべき	
・高齢者や3失障害者(身体・知的・精神)、要支援の高い方への呼びかけや、避難方法	
・田舎より街のことばかり行政は考えてない	
・何をしても地震(南海トラフ)には勝てないと思う	
・8/8(木)宮崎県の地震で高知県が県民にこれからの取組をわかりやすく知らせてほしい	
・保育園や小学校などに県や市取り組みや地域の情報がみれるようにしてほしい	
・具体的に地域ごとに予想される地震・津波が発生した際の被害の可視化をする。家のモックアップや造り家を破壊する等	
・過去の地震の被害状況を知り、住んでいる地域の安全性や危険な所を認知してもらう	

- ・耐震対策の業者に基礎部分を壊されたので、悪徳業者等に注意する方法を啓発してほしい。
- ・年代に沿ったカリスマ性のあるリーダーを立て、今までよりも興味を引く様にする。
- ・仕事もそうですが、頭で理解していても体験、経験で理解が深まります。なので、体験するイベントの広報を充実させて欲しい。
- ・十分に啓発されていると思う
- ・教育現場ですでに取り組んでいて企業及び会社で働いていない人達への啓蒙
- ・個人がいかに南海トラフ地震を対策するか情報
- ・それぞれの地域の取り組みを紹介する
- ・忖度のない専門家の話を聞きたい。(大学教授は、これにあてはまらない傾向が強い)
- ・過去の地震で事前対策しなかった家庭がどのように困ったか、実体験を詳しく紹介。
- ・この地区(自宅がある地区)は3.5mの津波が来た時は自宅が何mつかののかを自覚してもらう。地区によってつかの高さが違うと思うので。自分の家は大丈夫だと思っている人が多い。今もなお、危険地域に新築の家を建てる人がいる。
- ・県の取り組みよりも市町村での取り組みの方が住民に伝わりやすい
- ・TVや新聞での広報(今送映されているようなCMなど)
- ・実際に起きた災害をTVやSNSで発信する
- ・県の政策が市町村の政策とリンクしていない
- ・小さい地域から広報活動を充実させる、具体例で身近に紹介できる
- ・その時、在宅しているとは限らないので、様々な場面での退避方法を示してほしい。買物中とか車中にいる時とか。
- ・実際に各地域で防災訓練(炊き出しやケガ人の対応、避難場所で1晩過ごしてみる)をするように働きかける(私の住む場所は23年前から住んでいますが、町内会等がなく、同じ団地の人の名前もほとんど知りません。近所同士が関われる環境が安心)
- ・地震の仕組みなどではなく、地震と津波が起こることを想定し、【その時どうする】【日頃からの備え】など様々な情報を伝え続ける。特に災害時はどこにいるかによって被災内容も変わってくるので、時と場所による備えは大切。そこを広報していく。
- ・メーリングリスト、「自分が住んでいる地域に特化した情報」や「おでかけの際のチェックポイント」を、身近な内容など角度を変えて紹介する。インスタグラムで身近な防災に役立つ情報に特化したアカウントを作り、情報を届ける。
- ・津波の際 高い建物が少ないので橋やトンネルを通ることを考えているのですが、壊れている可能性があると思うので、その際の情報を
- ・市街地や危険地域、従業員数の多い企業と広報活動で協力する
- ・SNSの広告を利用して、若い人の目に留まるようにする
- ・災害発生時、実生活がどのように変化し、何を備える必要があるか知らせてほしい。また、地区を離れて行動することもあるので、地域で取り組まれていること(例えば葛島の排水ポンプ場建設とか、浦戸湾などの護岸工事で何がかわるのかなど)、誰もがいつでもアクセスできるデータとして、県の取り組みを知ることができるデータベースとして提供してほしい。自分の生活と照らし合わせないと、実感がないので、どうしたらいいか考えられない。
- ・場所、方法など具体的に地域ごとに示す

問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。 (回答者 16 人)

・なんとなく (2)	・インターネット
・テレビ	・よく分からない
・家族	・過去数回浸水
・研修	・自分で考えた
・人から聞いた	・川が近いから
・祖父より言われている	・町中のくい、鉄柱のたぐい。
・道路標識等	・忘れた

問12 問11で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm 未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

すぐに避難しない理由はなんですか。 (回答者 12人)

・ペットがいるため	・自宅が避難場所のため
・どのすればわかるのかなど知りたい	
・パニックをおこしそうで避難できない。他人に迷惑をかけるので家にいる方が安全。	
・メディアの生き残り命令を判断する。	
・一人暮らしなのでいつ死んでもいい。みよりもないし	
・自宅が高台にあり付近に川もなく、津波が到来する危険がないため。	
・職場へ参集など、仕事方の動きもあるため	

問14 問13で「1 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。 (回答者 27人)

・自宅 (3)	・タワー (2)
・自宅が3階なので (2)	・タマイホテル
・とり合えず2階に上る	・パニックをおこしたら避難できない
・家に居ない場合、高台へ	・近くの山
・犬がいっしょにいれる所	・高速道路上
・その時の場所によると思う	・自宅近くの義父母の家 (津波が来ない場所)
・自宅近くの広場	・車で高台へ
・職場	・同建物の上の階
・日章福祉交流センター	・迷っている
・友人の家	・自宅が高台にあるため避難しない
・走行中であれば高速 (高知 IC) のように高さや広さが有る場所に行きたい	
・時間的な余裕があれば避難所で、なければ高台等	
・自主防災会で整備した避難場所 (山林、高さ不足)	

問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(回答者 128人)

- ・橋の倒壊が不安(8)
- ・避難場所が川や海に近い(7)
- ・高齢者を連れていけるか不安(5)
- ・わからない(3)
- ・避難場所の高さに不安が(3)
- ・歩行困難のため時間がかかる(3)
- ・坂道なのできつい(2)
- ・足の不自由な家族がいる(2)
- ・避難場所に入れるか不安(2)
- ・その時の状況による
- ・ペットがいるので
- ・マンションなので入れるのか不安
- ・海の方へ向うことになる為
- ・外出時、安全な所に車で移動する。
- ・近くの避難場所には行きたくない
- ・高齢のため、移動に不安
- ・佐川町は津波はこない
- ・山が近いので車で山の方へにげる。
- ・自宅が高台なので避難しない
- ・足が悪くゆっくりしか歩けない
- ・避難経路が海岸線沿い
- ・避難場所が安全な場所か不安
- ・いつもの草が生い茂っていて通れるか不安
- ・ブレーカーを切ったり おちついて行動できるか…
- ・橋がある校区外へ通学の為知らないので行きにくい
- ・近くに避難タワーは、あるか、高さに充分なのか？
- ・家や道が崩れて行けるか不安。子供も小さく行っても帰ってこないといけないかもしれない。
- ・自宅ではないところで、避難の呼びかけがあった場合、速やかに適切な判断、行動がとれるか不安。
- ・自閉症なので他人に迷惑をかけることが一番不安。
- ・行政の決めた避難場所に関して、高さに不安を感じる。
- ・高知市内に学校に通ってる7才を迎えに行けないだろうことが悩み。
- ・自宅5Fで家族と居る・子どもがいるので、その子のストレスや、周りへの迷惑声や音など。
- ・耳があまり聞こえず、足も惑くて杖やシルバーカーがないと長く歩けない。
- ・住宅密集地に家があるので、火災が起きたら危ない。さらに、火が回ってからでは移動できなくなるかもしれないので不安だ。在宅避難希望だが一旦早めに家を出る方がいいのか悩んでいる。
- ・親と同居なのでいっしょに避難出来るか心配
- ・避難場所がわからない(7)
- ・液状化(6)
- ・避難場所までの道が混雑するかもしれない(4)
- ・避難経路が川の側にある(3)
- ・避難場所の耐震性が不安(3)
- ・高齢のため、歩けるか不安(2)
- ・持病等があり、避難場所で過ごすのが不安(2)
- ・避難した後が不安(2)
- ・小さい子供を連れて避難できるか不安(2)
- ・その時の道路状況による
- ・マムシがいる。
- ・家族が集合できるか
- ・一人暮らしの老人や歩行困難な方の同行避難
- ・居住地以外に居る時は情報が不明になる
- ・空き家が多い
- ・国道を渡る必要がある
- ・坂が急であり、時間がかかる
- ・川が下に流れている
- ・自宅にいるのが一番安全
- ・避難しない。
- ・避難場所が現在ない。
- ・墓石が沢山有る。

- ・知っている人がいない場所に1人で避難するのは不安がある。少し遠くても家族の避難している場所へ行きたい。
- ・地区の避難場所自体に不安がある
- ・津波が来た場合、横に逃げてから山へかけ上がらないといけない。←逃げている時に津波にさらわれる可能性がある。
- ・津波浸水地域ではないが頂度、その地域へ出かけて行っている時に津波が来た時心配
- ・津波到達前に徒歩で避難できるか不安
- ・田舎は、山に逃げることになってるけど、夜の避難はイノシシなどがいるため、避難できない
- ・徒歩5分～7分のところに高層のマンションが2棟あるが、エントランスの扉がオートロックのため、実際に津波が来たときオートロックが解錠されるのか???が疑問。
- ・倒壊があっても、通れなくなることはない場所である。
- ・道路に亀裂、陥没、隆起があるのではないか
- ・道路沿いなので、車道がパニックになった時どうなるか?
- ・避難するつもりはない。家が耐震、高台。
- ・避難場所がそこで合っているか確信が無い
- ・避難場所が津波のくる方向にあるため津波に向かって行くようで不安
- ・避難場所での食料等の備蓄があるか不安
- ・避難場所に行くまで体力に自信がない
- ・避難場所に着くまでにコンクリートの階段や擁壁の肩を利用して造った通路などが壊れると避難場所に行けない。またその確認が可能かどうか
- ・避難場所に備蓄がない
- ・避難場所は高台ですが、高台が孤立するので不安です（島のようになる）
- ・避難中に「助けて」等聞こえてきたら放置出来なくて助けようとして逃げ遅れる
- ・不安はないが、隣の家ブロック塀が倒壊するかが気になる。
- ・夜中の場合は学校なので閉鎖している可能性がある
- ・薊野大橋の下だけで、橋に登れる階段があると良い

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。 3日以上食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。（回答者 58人）

【飲料水】

・津波が来るので（7）	・準備する予定（6）
・重たい（5）	・期限が気になる（3）
・ウォーターサーバーや水道水を使用しているので購入していない（2）	
・避難所に備蓄（2）	・実感がない（2）
・グループホームにいるため	・揺れると家には入れないから
・どうせ出勤しないといけないから	・のんきにしました
・ミネラルウォーター確保・リュックに入りきらない。他の大事な物も入れているから	
・ローリングストックをしている	・井戸・湧き水がある
・引っ越したばかりだから	・何となく

- ・家にいる可能性が低い
- ・間違えました
- ・今の量では少なすぎたかも
- ・真剣に考えてなかった
- ・売ってない。売り切れ
- ・津波がくるので早く避難したい
- ・長期保存水のことは知らなかった
- ・障害者を連れ出さないといけないので重い物はもてない。
- ・地震等に備えて用意しても家族が不要と判断して処分してしまう。
- ・避難場所に置くものと考える手ぶらで避難したい。
- ・病気療養中でなかなか買い物に出られない。同居の母も高齢で、買い物に出られない。
- ・湧き水がある
- ・家がつぶれて、置場所に行けない状態になると思う
- ・考えがまとまらない
- ・山水がある（きれいな水）
- ・水は何とでもなる
- ・避難所に近く、家の前が小川
- ・必要だと感じている
- ・大量の備蓄の管理まで手が回らない

【食 料】

（回答者 63人）

- ・津波が来るので（7）
- ・実感がない（2）
- ・これから購入予定（2）
- ・重い（2）
- ・2日分あれば3～4日分にできる
- ・しなければと思いながらまだ動けてないです
- ・ストックローリングをしようと思っているができてない
- ・どうせ出勤しないといけないから
- ・なかなか備蓄の用意が出来ない（分かってはいるが）
- ・のんきにしてみました
- ・リュックに入りきらない
- ・引っ越したばかりだから
- ・何となく
- ・家にいる可能性が低い
- ・考えがまとまらない
- ・思っているが、買っていない。
- ・消費している
- ・生活の為に備蓄
- ・追加で買おうと思っている
- ・避難所に備蓄
- ・地震等に備えて用意しても家族が不要と判断して処分してしまう
- ・家に帰れるかわからない避難する時、たくさん持って行けない
- ・家がつぶれて、置場所に行けない状態になると思う
- ・缶詰等の腐らぬ物は近くで売ってない（車がない）ので…
- ・自宅で災害があるかわからないし自宅であっても持ち出すことがむづかしい
- ・避難場所に置く物と考える、手ぶらで避難したい
- ・賞味期限が気になる（5）
- ・賞味期限が切れて補充していない（4）
- ・準備中（2）
- ・じゃがいも、米、野菜がある（畑）
- ・グループホームにいるため
- ・ゆれると家にはいれないから
- ・ローリングストックをしている
- ・衛生上、心配
- ・何を準備して良いかわからない
- ・実際には3日以上ある
- ・今の量では少なすぎたかも
- ・持って逃げる事は不可能
- ・真剣に考えてなかった
- ・他に食量は有ると思う
- ・費用がない
- ・避難所にあり、農家で備蓄米や野菜がある

- ・病気療養中でなかなか買い物に出られない。又、同居の母も高齢であり買い物に出られない
- ・冷蔵庫内には食料はあるが、災害時に常温で食べられるもののストックは少ない。

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。
あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。

(回答者 30人)

- ・自宅の庭・畑を活用（8）
- ・汲み取り式トイレ（5）
- ・浄化槽を設置している（3）
- ・オフ口に水をためている。
- ・オムツ使用
- ・自家へかえる
- ・トイレ用の水を備蓄している
- ・ポータブルトイレ
- ・緊急避難トイレをもらった
- ・山の中に住んでいるのでなんとかなる
- ・川
- ・高台にすぐにげるので家には備蓄していない
- ・近くの自分の土地（山）に、キャンプ式に利用する。
- ・ペット用のトイレシートとゴミ袋を用意しようと思う
- ・住居のトイレに外トイレと離れのトイレがある
- ・津波から逃げる時に簡易トイレを持って行政の定めた高台・山へは逃げきれない
- ・別で確保できる

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(回答者 57人)

- ・何もしていない(25)
- ・家具等の固定（3）
- ・ヘルメットの準備（2）
- ・テレビの固定（2）
- ・準備中（2）
- ・非常用バッテリー等の準備（3）
- ・携帯電話持参
- ・避難経路の確認
- ・ガラス面のない食器棚を使用
- ・ガソリンをこまめに満タンにしている
- ・寝室に物を置いてない
- ・柱を1本つけた。自分で。
- ・非常持ち出し品を用意している
- ・鉄筋造りの家に備蓄品を置いている
- ・防災アプリの使用、家具の固定
- ・冷蔵庫が倒れないようにしているのみ
- ・ソーラーパネルとポータブル電源の用意
- ・ペットボトル（4l×6本、2l×10本）に水を溜めている（3～10日ごと定期的に入替）
- ・引越しをしないといけない為、今現在出来ていない。ペットがいるので心配です。
- ・固定できる家具は固定した
- ・子どもには、それぞれ通学中等どうすべきか、親がどういう状況におちいる可能性があるか伝えていきます。
- ・持出品を一覧表にして、見える所に貼っている
- ・小型の太陽光ソーラーパネルを置いています
- ・食器棚やタンス、仏壇など転倒防止をしている
- ・発電機など備えている。ガソリン等も備えている。

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(回答者 83人)

- ・これから固定する予定(18)
- ・一部は固定している(7)
- ・背の高いものはない(2)
- ・家族に反対される(2)
- ・グッズが売り切れていることが多い
- ・テレビだけしか無い
- ・何となく
- ・家屋自体の老朽化があるため
- ・起きている時は安全な場所に移動可
- ・高令の為、自分では出来ない
- ・最善の方法を検討中
- ・居室内の配置変えなどをするから
- ・寝室でも大丈夫な所で寝てる
- ・適切な固定方法がわからない
- ・居住スペースにはできるだけ固定が必要な物は置かないようにしている
- ・見た目が悪くなるのでしていなかったが近日中に対策をする
- ・固定している物もあるが冷蔵庫等はしていない
- ・固定する道具は買ったが、まだとりつけてない
- ・テレビは1台のみしているが、外はしてない
- ・家具固定グッズはわりと高く、また売り切れで買えない
- ・リビングやキッチンにある家電が倒れても下敷きにならない間取りになっている。食器棚は耐震ロック機能がついているシステムキッチンである。
- ・押し入れの扉がすぐはずれるので意味がないから
- ・固定具を購入したが形状が合わないため買い直す必要があるが、まだ購入できていない。置き型の電子レンジの足にゴムをつけているが、大きな揺れには耐えられないと思う。
- ・固定場所の部屋の片づけをしてない
- ・主だった家具はできているが、普段利用していない部屋なのでできていない家具もある。でも、そこしか逃げ道がない場合になったら大変なのでやりたい気持ちがある。あと、人の背以下の比較的低い家具家電が固定できていない
- ・食器棚は備え付けでクローゼットの為
- ・寝室以外は固定するような家具ではない
- ・適切な固定方法、用具がわからない高齢者ばかりで設置できない
- ・倒れても大きな被害がないような高さの家具を購入するようにしている
- ・必要性を認識。至急実施したい
- ・部屋が広いので必要ないと思っている。
- ・しようと思っていて、まだできていない(9)
- ・後回しにしている(4)
- ・どこまでしたらいいかわからない(2)
- ・特に考えていなかった(2)
- ・テーブル等は固定すると普段使うのに都合が悪い
- ・テレビ以外はクローゼットの中
- ・固定できる住居ではない
- ・家具を設置している所は別部屋
- ・家電が転倒してもケガのないような所にある
- ・実家住まいなので
- ・自分一人ではできない
- ・近々、家の改装をする予定なので
- ・独居なので1人で出来ない
- ・物が少ないため

問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(回答者 31人)

- ・ わからない (2)
- ・ ニュースや CM で流してほしい (2)
- ・ 冷蔵庫を替えたのではずした
- ・ 個人の自由
- ・ 現状の促進でよい
- ・ 補助金の申請方法が分からない
- ・ イベントの際、参加者のニーズに合わせて配布する。
- ・ 固定してくれる専門家の連絡先等の一覧表を作ってもらいたい
- ・ 耐震対策のような悪徳業者にかかるのが怖いし、金も約4, 300万円失ってしまい、無い
- ・ 高齢者や障害者にも分かるような周知方法
- ・ 賃貸物件等でも固定できるようにすべき。(退去時の現状回復等があるため、傷をつけることができない)
- ・ 「2. 詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」、「3. 固定してくれる専門家の派遣」、詐欺の恐れがある。
- ・ 借家であるため建物を傷つけない方法を教えてほしい
- ・ 固定する位置に強度が有るか分からない
- ・ 「5. 個人宅なので行政は何もすべきでない」に近いが、これだけ南海トラフ周知されてて何もしていないのは個人責任
- ・ 家具の購入時に固定を義務化とかまたは引っ越し時
- ・ 防災フェスタなどで紹介されるグッズは高い。物価高で日常の生活に余裕がなく、後回しにしている。補助は高齢者世帯しかない。チープな防災グッズ【百均など】を利用した家具固定を是非紹介して欲しい。
- ・ SNS など、イレギュラーな固定方法事例を伝える
- ・ 心配や不安はきりが無い。「かもしれない」に備えるのは各住民に任せ、行政には有事の際にしっかりと手を貸して下さることを望みます。
- ・ 県や自治体の防災担当は手一杯なので外部に委託して補助制度の窓口や周知をしてもらう
- ・ 子供部屋にピアノを設置しているが、適切な固定方法や固定金具が分からず、困っているの
で、可能であれば専門的な助言を受けたい
- ・ 家具・家電の固定方法や費用を記載したパンフレットやポスターを家具店や家電量販店に設
置し、購入者にその必要性を呼びかける
- ・ 販売店頭、店頭での PR (2)
- ・ しなかった場合の実体験を詳しい紹介
- ・ 固定する為のお金の給付
- ・ 各市町村のインターネット情報を探しにくい
- ・ もっと家の構造を知った上で対処してほしい
- ・ 賃貸でも利用しやすい制度設計

問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(回答者 11人)

- ・ マンション・アパート (3)
- ・ セメント塀だが古い
- ・ フェンスに変える予定で見積もりも終わり、工事を待つだけになっている
- ・ 電信柱
- ・ 倒壊するかどうか
- ・ 門柱だけある
- ・ 隣の家にある
- ・ 新築時に「3. 安全なフェンスや生け垣に変えた」の対策済み
- ・ 敷地の下が田んぼで高低差があり、その部分が練り石積みだが、最近施工したので安全性は高い。道路側は30センチの低い擁壁だけであえて、敷地にフェンスは施さなかった

問32 問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(回答者 37人)

- ・ 高さが低いから (5)
- ・ 隣人との共有のため (5)
- ・ ブロック塀に鉄筋が入っている (2)
- ・ 道路から離れている (2)
- ・ グループホームにいるため
- ・ そこまで考えていなかった
- ・ フェンスの塀
- ・ ブロック塀が壊れても民家が離れている
- ・ ブロック塀に気が付かなかった
- ・ もっと重要なことの点検、対策ができてない
- ・ 古くて、家の前は公道でない
- ・ 近隣や道路等に被害を及ぼす状況ではない
- ・ 工事の課程を見ているから
- ・ 出来て新しく、高さも低いため
- ・ 人に危険を与える場所ではない
- ・ 人の通行実態はほとんどない
- ・ 他人の土地には被害はない
- ・ 点検が必要であると知らなかった
- ・ 他人の土地であるブロック塀の方が高い。

問35 問34で「1. 知っている」、「3. 既に利用した (利用中を含む)」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。(回答者 11人)

- ・ 学校の授業でも教えてもらった
- ・ 携帯電話
- ・ 市の公報で
- ・ 市役所ホームページ
- ・ 設計事務所勤務
- ・ 夫から聞いて
- ・ 今回のアンケート調査の封筒に入ってた
- ・ 仕事が建設業なので解体の費用等は知っていました。
- ・ 消防団で活動しているので周知している
- ・ 聞いたことがあるそれだけ。詳細不明。

問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(回答者 33人)

- ・ CM
- ・ 借家なので以下わかりません
- ・ 補助が出て防止工事費用が無い
- ・ 共有の場合どうすべきか
- ・ 石垣も入れるべき
- ・ 一部しか道路上の部分しか出ないので、自宅構造上出ないことが残念
- ・ 専門家のチェックで無料の修善（さぎに合わない為に）
- ・ 避難路にて危険性の高い物件は強制的に改善する
- ・ 補助金制度の順番を待ってたら間に合わないので工事後に補助金が出るとうれしいのに（我が家はブロックにキレツがあったので自費でやりました）
- ・ 県条例でブロック塀を規制、全面撤去させるべきだ。
- ・ 倒壊する危険性の有る家へ期限と決め改修・補強させる。守れない場合罰則金を徴収する
- ・ 町内の危険ヶ所を把握し住民へ積極的に制度利用等を促す
- ・ 危険と思われる施設や家への戸別指導
- ・ ブロック塀は取り壊しています。フェンスに変えてる
- ・ 隣の家の塀なのでこちらは何とも言えないが、正直崩れるのではないかと心配している。自身の家だけでなく、隣家で悩んでいる家にも働きかけないと意味がないですよ。
- ・ パトロールと該当家屋への連絡、対策へのアドバイス
- ・ たくさんの人が行き来する道でないと言われた
- ・ いつも家にいない人の所はどうするか
- ・ 一戸あたりの宅地面積（道路面積）を拡大する、都市計画の見直し
- ・ 補助範囲の多少の部分は、臨機応変に対応してほしい
- ・ 実際に被害を出してしまった人の後悔等の実体験
- ・ 学校で、通学路への危険な所は、配布。（3月に）
- ・ 倒壊防止の工事をしてもらうのに条件があるらしいがそういうのはやめたらよい
- ・ お金が無。その日暮らしなのに預金も無。なにも出来ないよ。
- ・ 通学路など倒壊時の影響が大きい箇所を中心に町が責任をもって管理を行う。
- ・ 倒壊の可能性があるのに放置していた場合の罰則など、条例の制定
- ・ 身近な人から教えてもらう。申請など、手続きを一緒にしてもらう
- ・ 個人宅ブロック塀の倒壊により生じる賠償リスクの周知
- ・ 個人宅だが空き家で所有者不明の場合は、行政が塀を撤去できるように仕組みを作してほしい

問 38 問 37 で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。（回答者 88 人）

- ・借家のため(43)
- ・わからない(2)
- ・2000年に建ててるため
- ・マンションの為
- ・めんどくさい
- ・公営団地
- ・借主にはできない
- ・自身の診断で(建築士)
- ・寮なので知らない
- ・賃貸で出る予定
- ・急ぐに避難出来ると考えている
- ・耐震の事など周知が来ない
- ・自宅は少し耐震しています
- ・平成20年ごろリフォームした
- ・耐震をお願いしたいと思っています
- ・家が古くて耐震をずっとしたいと思ってますが家の中の片付けがなかなかすすまず、今にいたってます
- ・家の下が鉄筋コンクリートの車庫であり、前に見てもらったら耐震の補助は受けれないと言われた
- ・官舎の為どうしたら良いか分からないが、管理者等に要望を出し確認してもらっている
- ・高齢のため、いつまでここで住めるかわかりません
- ・自身が所有している家ではないので理由不明
- ・少し、チラッと大工さん見てもらい、多分大丈夫と話されていた
- ・新築にして1年経過したばかりであったから
- ・診断を受けて、助成金で一日でも早く今より安心できる家にしたいがどんな書類がいるのか？どこでどうすればしてもらえるのか分からない。娘に書類がほしいと言ってお願いしたが、そのまま。
- ・前に住んでいた方が診断したか不明(4年前に引っ越してきたので分からない)
- ・耐震化しても地震後改修が必要になる
- ・耐震診断はを受けていないですが、3年前くらいから外壁の貼り替え、断熱材を(天井、外壁)に張ってもらっています。その時に補強もお願いして終わりましたので、安心して過ごしております
- ・大家さんが施設に入っていて連絡がとりづらい
- ・鉄骨と木造の混合建物であるので(混構造)耐震診断をしてくれる建築士がいない。いたとしても相当な高額になると言う事です。昨年高松市と大阪府の建築課に問い合わせましたが、今まで混構造の診断補助は1件もないとのことでした
- ・近いうちに受けたいと思っている(2)
- ・自宅ではないから(2)
- ・宗教法人だから
- ・県営住宅
- ・簡易補強済み
- ・改修費用がない
- ・若い人に任せている
- ・今後利用しようと思っている
- ・大工による耐震リフォームをした。
- ・理由はない
- ・市営住宅なので診断は受けない
- ・耐震化しても液状化で全壊
- ・親族の持ち家なので勝手がきかない
- ・親から受けた話を聞いたことないから
- ・年数的に大丈夫かな(平成17年建築)

問40 問39で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。（回答者 18人）

- ・ 借家のため（9）
- ・ 築年数が古いため（2）
- ・ 建て替え費用などない
- ・ わからない
- ・ 自宅ではない
- ・ 持ち家ではなく、自由がきかない
- ・ 10年前に建てた家なので耐震になってるかわからない
- ・ 緊急性が低いと思われるから（診断でそういう話だった）
- ・ 診断してくれた業者さんが忙しく順番が来ない

問43 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（回答者 28人）

- ・ わからない（2）
- ・ マンション、一室借りて住んでいる
- ・ 耐震工事を申請して工事待ち
- ・ 耐震診断士が本当に信頼出来るか心配
- ・ 地震保険の支払基準を拡張すべき
- ・ 隣の家で悩んでいるお宅への聞き取り
- ・ 町内会単位で対策をとらす
- ・ 不動産業者の不正取締まり強化
- ・ 無料で全戸やってほしい！
- ・ 役所と業者の癒着
- ・ 建物が古すぎる
- ・ 個人の責任であると思う
- ・ 高齢で費用の面で出来ない
- ・ 建築年度に関係なく耐震診断が必要と思う。
- ・ リフォーム1／3が必要補助金はいくら。
- ・ 悪徳業者を取り締まってほしい。ひどい目に遭った！
- ・ 一階が鉄骨の店舗が有り、2階が木造住宅になっている住居の耐震診断を高知市に申請したが、鉄骨部分有り耐震工事費用が出なかった為、耐震工事が出来てない！！50年近くになる古いですが工事は無理です。
- ・ 今は、税金を払うので精一杯の生活で、全く余裕がありません。
- ・ 混構造の家屋、他の人は知らないが自分はなすすべがない
- ・ 昭和56年6月以降の家はどこにいればいいのかね
- ・ 昭和56年以降の木造住宅でも耐震に不安のある場合は耐震診断をしていただきたい。震度7以上に耐える地盤、構造かとても不安です。
- ・ 昭和57年の木造住宅なので耐震診断してほしい。（昭和56年5月以降は耐震基準が変更になったのは知っていますが、不安があります）
- ・ 生き残った人たちの中での病人や傷病者への迅速な手当と、処置ができるように、ヘリでの搬送、病院屋上へのテントや仮設治療所の設置等を。
- ・ 戦前（意味わかりますか？）の建物で老朽化も進み倒壊は確実だと思われるが、耐震の建て替えの支援のみではなく、耐震防護ベッド等への補助制度はなぜないのか
- ・ 相談にいつでも、話をろくに聞かず、あちこちと回される。
- ・ 耐震の度合が不明確、地震の規模が不明なので実施不可

問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(回答者 59人)

- ・ 借家のため(22)
- ・ マンションのため(4)
- ・ 町営住宅(3)
- ・ 大家さんに相談や許可が必要(2)
- ・ 家が古いから
- ・ 検討中
- ・ 公営住宅
- ・ 社宅のため
- ・ 効果に不安がある
- ・ 工務店にいたため
- ・ 設置しているかわからない
- ・ 設置しようと思ってる
- ・ 知っているが、まだ設置していない
- ・ 遅れている
- ・ 特に理由なし
- ・ 必要であることを知らなかった
- ・ 忘れていた
- ・ 夜間に照明が消えると支障あり
- ・ 多分設置している
- ・ 感震ブレーカーかどうかわからない
- ・ 業者にまかせた為、感震ブレーカーかどうか不明
- ・ 建築計画時にそこまで頭がまわらなかった
- ・ 誤作動するのではないかと心配
- ・ 最近チラシ等で知ったが必要なのかどうかよくわからない
- ・ 最近知ったため設置してなかったが今後設置予定
- ・ 作れるが作ってない(おもり+テグス→主ブレーカレバー穴へ)
- ・ 子どものため
- ・ (家主・世帯主ではないため)
- ・ 重りがぶら下げられる形のブレーカーではない為
- ・ 耐震で、しなくてはいけないことがたくさんあり、何から先にやればいいのか、さらに仕事が忙しくなかなか行動にうつせていない
- ・ 変電所が止まるので、個人対策は不要と考えている
- ・ 夜中に停電は困る。少しでも明りが有れば避対応が出来る
- ・ カバーがあって設置しにくい状況なのでまだどうしようか迷っていて、手動で下ろすと考えているため

問 49 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。
(回答者 36 人)

・ わからない (4)	・ 倉庫 (4)
・ 実家 (3)	・ 息子の家 (3)
・ その時にならないとわからない (2)	・ 農業用ハウス (2)
・ 不明 (2)	・ 職場 (2)
・ 家族と相談	・ 壊れない
・ 県内の別宅	・ 高台の別宅
・ 仕事場 (病院)	・ 子供の所
・ 施設ハウス	・ 民間宿泊施設
・ 出張先の家	・ 納屋
・ 避難生活する場所がない	・ 病院
・ 自宅は賃貸なので、県内郡部にある実家、自家用車	
・ 庭にコンテナハウス、ガレージがあるためそこで過ごす	

問50 問49で「4. 自家用車の中 (車中泊)」、「5. テント (野宿)」と回答した人におたずねします。
自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか (回答者 12人)

・ 避難所に行く方法がない (2)	・ ストレス回避
・ 県内の実家	・ 持病もちなので
・ 自由でいたい	・ 車中泊できる車がある
・ 人がいると落ち着かないから	・ 避難所が近くにない
・ 他者の声いびきなどで安心してすごせないため	
・ 妊婦のため避難所生活が送れるか心配	
・ 公務員なので職場で災害対策に従事する必要がある	

問51 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。 (回答数 24人)

・ 性被害 (5)	・ 感染症拡大 (3)
・ 犯罪に巻き込まれる懸念 (2)	・ 家族が高齢であること
・ いびき等人に迷惑がかからないか不安	・ 我が子の心身の安全、性的なことも含め
・ 義理の母が認知症である	・ 問題を起こす人がいること
・ 避難所運営がきちんとできるか不安	・ 服薬中の薬が手に入らなくなる不安
・ 持病薬の入手	・ 職場までの移動
・ 学校の体育館が避難所だが、エアコンがあるか、一人で避難の場合、防犯対策ができるか	
・ 子どもが発達障害の傾向があり、環境の変化により喘息やストレス性の体調不良、パニック症状が起こりうる。個室や十分なスペース、音が遮られる空間など安心できる場所がどこかに確保できるとよい。	
・ 足腰が悪くて、動作がおそい事で不安	

- ・乳幼児用の食料や女性用の生理用品等があるか不安
- ・目が悪いので常にハードコンタクトレンズを着用しているが、水が自由に使えない避難所ではコンタクトレンズを清潔に保つ事ができず、裸眼で生活を送らなければならない恐れがあること。

問55 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。(回答数 33人)

- ・集合住宅の住民への周知
- ・自分達が高齢で障害があります
- ・役員などの世代交代を図る
- ・高齢者ばかりで活動は困難
- ・色々あるがマンパワー不足
- ・形だけの訓練なのでだめ
- ・避難所の運営
- ・実際の避難生活の体験
- ・関りたいが、高齢のため残念ながら迷惑をかけるだけとなる
- ・町内会が仲良くないグループもありなかなか協力出来ないと思う
- ・自分自身が眼や身体が不自由で、考える心の余裕がない
- ・若い世会の認知度の低さを感じる。SNS等でしつこくても良いから、まずは知ってもらう
- ・避難所の現状の広報→知ってないと行動できない
- ・役所職員の知識向上、聞いても分らない事が多い
- ・私の町内には商業地域で、元々住民が少ない
- ・もっと若い世代が前に立ってやる。年配の方が多い
- ・私達の所は毎年カレーを作るだけで…ただの地域のおたのしみ会みたいで意味がないです
- ・地区の世帯は多くないが、各世帯の住んでいる人の状況は把握出来ていない。個人情報に盛んに言われているので、行政にも頼れない。どうやって把握していくかが喫緊の課題 更には津波浸水予想地域なので、一番近い山に少しだけ広い広場を作っただけの避難場所であるので、雨を避ける屋根もなく、半日いるのは大丈夫としても、夜をあかすには不安だらけ 備蓄倉庫も一つしかなく倉庫が足りていないが町も倉庫の予算はないとのこと 自主坊には備蓄品を交換していく予算ぐらいしかない 欲しい備品もあるが倉庫が足りないので買えない 避難場所に関しては不安しかない
- ・町の防災組織は、男性メンバーが中心、重鎮のような人がいて形式的な雰囲気がある。女性や子ども、目に見えない障害者への理解を深め、配慮がしっかり行き届くような研修が必要と感じる
- ・独居で仕事をしている為、訓練が行われている事は知っているが参加出来ない。参加出来ない住人への情報提供が欲しい
- ・津波浸水予測地域であるため、まずは津波避難について周知徹底する
- ・公務員なので発災時はそっちの対応になるため
- ・活動を知らない人が多いように思う。もっと活動を周知して参加者を増やせたら良いと思う
- ・ペットとの避難できる場所の選定
- ・組織があるかも分からない。あるなら活動の周知が必要
- ・防災訓練専門家の派遣
- ・高齢のため人に迷惑をかけたくない
- ・冬の避難訓練
- ・アパート等の住民は、地域での活動が難しい
- ・地域住民による避難所の運営訓練
- ・みんなが交流しておくだけで意味があると思う
- ・防災修外の日常的なつながりを作る活動
- ・足が悪いのでいけない

問57 問56で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きます。どういった理由で入団されましたか。（回答数 2人）

- ・体力がない
- ・75歳、高齢だから

問58 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。（回答数 29人）

- ・飲み会が多い（4）
- ・わからない（2）
- ・いつ活動しているかわからない（3）
- ・子がいるため参加できない
- ・高齢なので迷惑をかける
- ・夫は消防団員でしたが退職しました
- ・女性が入りにくい
- ・自分の地域区は年齢的に活動が難しい
- ・体調不良の為、無理です
- ・地元の人の人間関係が面倒
- ・年齢的に無理
- ・臨機応変に動ける知識が必要
- ・特にイメージを持っていない
- ・そもそも活動について、どのようなことをされているのか把握できていない
- ・ダラダラとしている。実際知り合いの消防団が食事会ではしゃぎまくりだから
- ・以前に比べれば、活動が少なくなっているから、よく分からない
- ・私は聴覚障害者ですので…。危険ですので控めにお願いしたい
- ・自己満足の人が多い。やってはいけない事が伝統的に行われる
- ・主人が若い時に入団していて、火事の時には皆んな活躍しました
- ・消防団は役場職員も多く、災害時はその人たちは行政に回るので、そう考えると人手不足
- ・地区の消防団は近所の火災時にかけつけ消火に協力する。今は消防団はありません
- ・入団していたが、単身赴任で出張が多かった為、辞めろと言われたので辞めた
- ・入団のしかたがわからない。消防団について、あまり知らない。

問59 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。（回答数 60人）

- ・わからない（16）
- ・報酬を充実させる（7）
- ・具体的な活動内容の周知（5）
- ・活動時、仕事の休みを有給にするなど（2）
- ・100%起こる災害に対する意識の共有、地域との連携の広報
- ・ご近所さん同士での声かけ
- ・そもそも消防団に興味がない
- ・しょっちゅう飲み会がある！
- ・どう活動しているかわからない
- ・ボランティアで命を掛けるか
- ・メリットの強調
- ・義務化してはどうか
- ・古い体質からの脱却
- ・団のモラルやイメージの向上
- ・地域の祭りや催しで活動内容を紹介する
- ・地域の方とのふれあい
- ・地区に若い人が少なく老人が多いです
- ・町内会との連携
- ・入団することによるインセンティブが発生する
- ・不明
- ・老朽化した屯所の建て替え操法大会廃止
- ・学校等に出向き、大切さを知ってもらう。やがて成人した時、入団してくれる人がいるのでは

- ・割引ではなく訓練日などの食事の公費負担、大地震対策の団買いの優先実施
- ・高齢者に付、参加しても迷惑を掛けるので、消防団の方に頑張ってもらって有りと有らゆる事をしてもらって、若い人達に参加してもらえる様さまざまなPRをしてもらったらと…と思います
- ・私も消防署内部の団体のことだと勘違いしていた。まずは認知向上
- ・自宅はあるが、仕事で地区外へ行っている人への対応又、その逆
- ・実際におこる地震の時に、どのような動きがあるのか知りたい
- ・小さいお手伝いでもよいという状況であれば興味がわく
- ・小中学校等を通じて、保護者、こども対象のイベント、学習会の開催
- ・消防団はとても大事な事をしているが、私は団に属さないで災害時に自分の地域の方に直接関われる自主防災で頑張りたい
- ・体力のある若者が加入するよう非常勤手当を高額にする
- ・中・高・大学生への教育、事業所単位で団員登録する
- ・体調不良の為、無理です

問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。（回答数 10人）

- ・業務継続訓練
- ・医療
- ・災害VC運営訓練
- ・災害時透析受入訓練
- ・避難場所（通路含む）の掃除、防災機器の整理
- ・町内会の避難場所、避難所の地図上での確認
- ・非常食試食（消味期限間近の）※入れ替えの為
- ・DMAT 参加で職場（医療機関）での地震発生後のトリアージ訓練、対応等
- ・院内救護所での救援活動
- ・プライベートスペースをつくる為のテントや、ダンボールバットの組み立て、簡易トイレの作成など

問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

（回答数 42人）

- ・わからない(6)
- ・高齢者が多く、参加が難しい(6)
- ・学校を通じて、参観日等に授業の一環として行う(2)
- ・皆自分の生活で手一杯
- ・参加しない人はしない
- ・形だけだから参加しない
- ・参加しやすい時間に開催
- ・減税
- ・今は体力的に無理
- ・何もしない
- ・何をしても参加者が増えるとは思えない
- ・充分やってくれている。
- ・足が悪いので動けない
- ・知識として、回覧板で情報を回す
- ・日時以外にもする

- ・ 日常で利用しやすい特典を配布
- ・ 報酬を発生させる
- ・ 放送やSNSなどの情報発信
- ・ 毎日の生活に追われてそんな時間はない
- ・ 「3. 訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する」、「5. 参加を義務化する」の折衷案として曜日や時間帯の異なる複数の日程を設け、年に1回は参加できる環境作りを行う
- ・ 1946年の南海地震の記録などを視聴する機会をつくる。
- ・ スーパーなどで開催する（気軽に）立ち寄り参加可能にする
- ・ なかなか仕事などで時間をとれない人にも参加しやすい方法を考える
- ・ 会社が有休で対応するなど協力があれば参加を考える
- ・ 訓練日を決める、避難場所を示したパンフレットの配布
- ・ 国家及び地方公務員（行政）の義務化しかない
- ・ 参加しても具体的な知識の向上につながらないです
- ・ 自分が参加する力がないのに、他人には言いづらい
- ・ 炊き出し訓練や避難所体験等を実施、体験してもらう
- ・ 地域の消防署の方が来てくださるが、県から派遣するなどさまざまな視点で起こりうること、対処法などを学べると良い。（毎回内容が同じで、形骸化していく）。建物自体が倒壊の危険性があるので、訓練通りには絶対にならないだろうと感じる
- ・ 毎回同じ訓練内容なので、新たな（目新しい）内容を取り入れてほしい

問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

（回答数 26人）

- ・ わからない(5)
- ・ 必要ない
- ・ 地域がまとまっていない
- ・ 各自治体の真剣さが伝わる施策
- ・ 個人の備蓄推進
- ・ 既に十分に行われていると思う
- ・ 地域住民の人間関係が難しい
- ・ 住民が高齢化の為、全ての事が困難
- ・ 避難所運営のシミュレーション
- ・ 防災用の公園を整備する
- ・ ハザードマップの見方が子どもには分かりづらい
- ・ 過去の南海地震等（稲村の火）などのアピールをする
- ・ 頑張ってくれてます。してないものが「必要」などと失礼なこと言えません
- ・ 近所との関係づくりは出来ているが皆が年寄りばかりで自分が迷惑をかけない様にする事
- ・ 個人でものごとを考えられる人材の育成（緊急時において）役所／他人にばかり頼らない。
- ・ 高知県の人でも、南海トラフ地震について、知らない人も、まあ、いる。デマ、ウソだと思っている人もいる。40代の知人・友人、に、→地震や津波について、話しても、「大げさね」「もう想すごいね」「来ないよ」と言われた。もちろん備えもしていない。
- ・ 高齢者が多いので防災力を高めるのは厳しいと思う。
- ・ 市、県、チラシあかるい町などに載せれば役割をはたしたと思っている。
- ・ 若い人が減りすぎ。忙しすぎ。職場単位で消防団を組織化を促す。
- ・ 人命救助のためのジャッキ配備（今の車にはジャッキはついてない）
- ・ 地域、マンションでの防災訓練の義務化
- ・ 津波災害が予想される町なので、とにかく、逃げる事が最重要。逃げることを諦めてしまうことがないよう啓発していくことが大事

問67 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。（回答数 17人）

- ・ わからない(5)
- ・ インフラ整備と、都市計画
- ・ 避難所のトイレ問題を強化！
- ・ 県内災害拠点病院への日頃からの支援
- ・ 壊れずに残った学校の教室等をうまく活用するといいいのでは
- ・ 土建業者の重機で道を通れるよう手配する体勢作り
- ・ 皆、住んでいる状況は違うので、個々の家の位置で起こる事は個々に通知する
- ・ どこで被災するかわからないから、海岸淵の国道の避難道をわかりやすくする。短いスパンで
- ・ 子どものケア
- ・ 知らない。真剣さが足りない。
- ・ ペットと避難できる環境作り
- ・ 地震保険料の補助と支払基準の拡大

X 經年比較

XI 経年比較

1. 経年変化の目的

平成16年度、平成19年度、平成22年度に4県（三重県・和歌山県・徳島県・高知県）が共同で地震・津波県民意識調査、平成25年度、平成27年度、平成30年度、令和3年度に地震・津波に対する県民意識調査を実施しており、結果を比較することにより、これまで行ってきた防災策を評価するとともに、今後の防災対策の進め方に反映させることが目的である。

2. 経年変化の事項

（1）南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

（2）津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／いつ避難するか／避難場所を確認しているか／避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか

（3）家庭での備えについて

飲料水・食料の備蓄状況／備蓄していない理由／南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／

（4）地震の揺れ対策について

・家具や家電などの固定について

家具や家電などを固定しているか／固定していない理由／補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

・ブロック塀などの倒壊防止について

自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／補助制度を知っているか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

・住宅の耐震化について

補助制度を知っているか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／

（5）地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

（6）自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからこういった活動に取り組んでいけばよいか

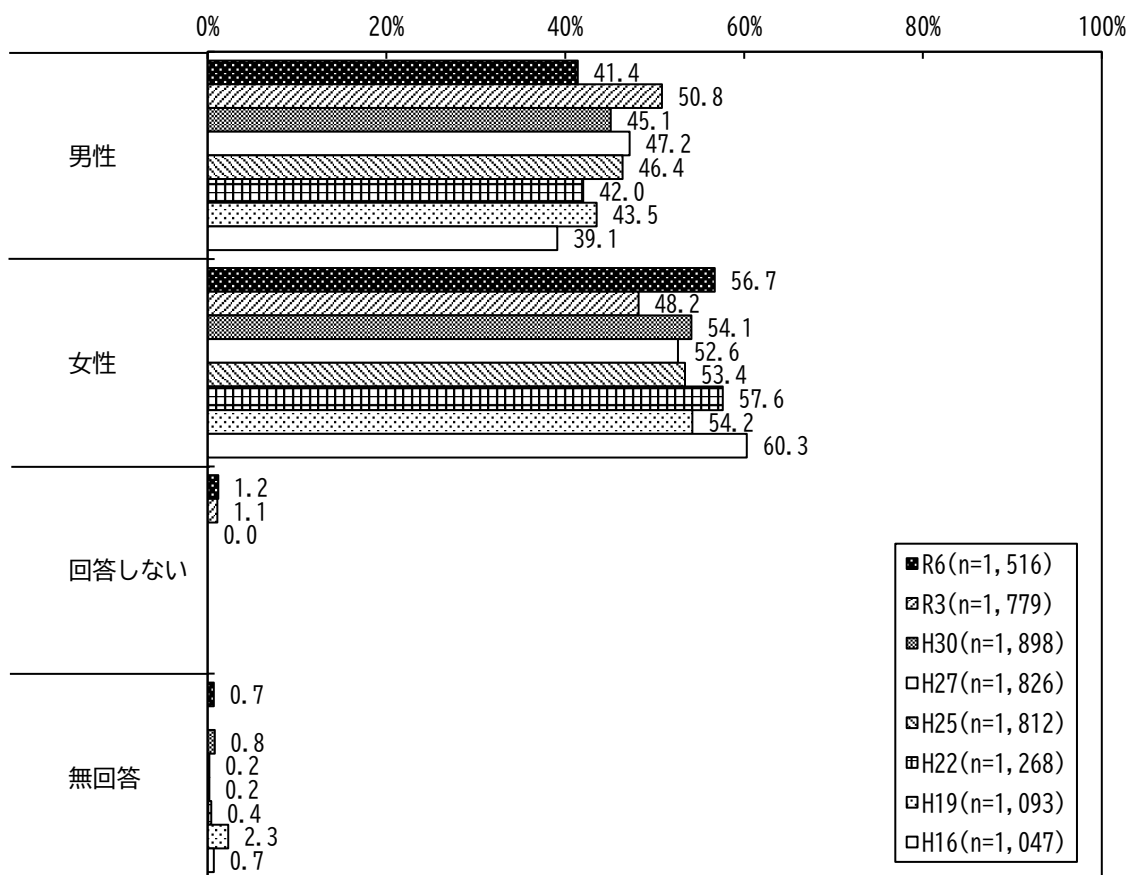
（7）地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問1 ①性別

上段：人数
下段：%

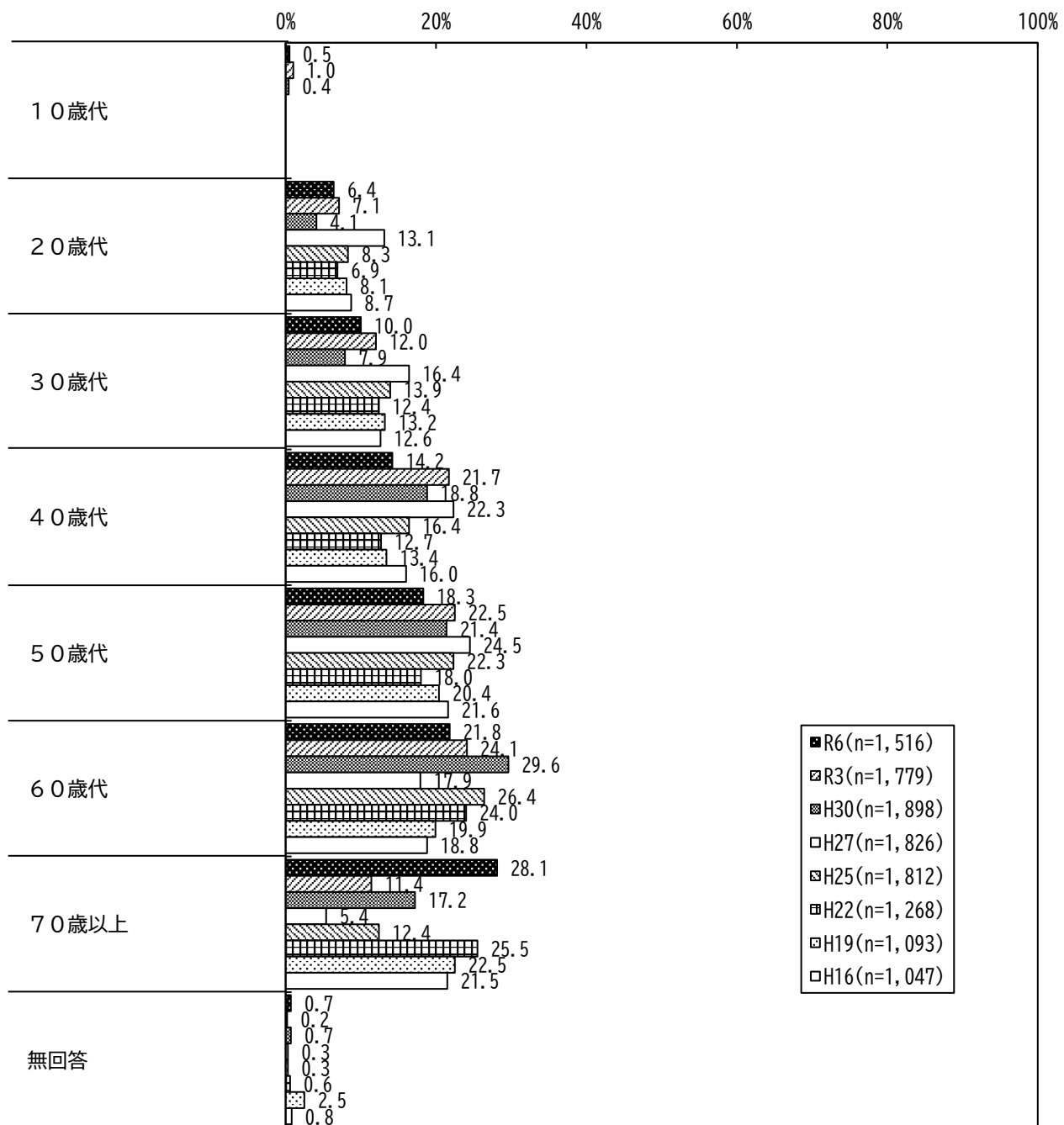
	男性	女性	回答しない	無回答	合計
R6	627 41.4	860 56.7	18 1.2	11 0.7	1,516 100.0
R3	903 50.8	857 48.2	19 1.1	- -	1,779 100.0
H30	856 45.1	1,026 54.1	0 0.0	16 0.8	1,898 100.0
H27	861 47.2	961 52.6	- -	4 0.2	1,826 100.0
H25	840 46.4	968 53.4	- -	4 0.2	1,812 100.0
H22	533 42.0	730 57.6	- -	5 0.4	1,268 100.0
H19	476 43.5	592 54.2	- -	25 2.3	1,093 100.0
H16	409 39.1	631 60.3	- -	7 0.7	1,047 100.0



問1 ②年齢

上段：人数
下段：%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
R6	7 0.5	97 6.4	151 10.0	216 14.2	278 18.3	331 21.8	426 28.1	10 0.7	1,516 100.0
R3	18 1.0	126 7.1	214 12.0	386 21.7	400 22.5	428 24.1	203 11.4	4 0.2	1,779 100.0
H30	7 0.4	78 4.1	149 7.9	356 18.8	406 21.4	562 29.6	326 17.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	－ －	240 13.1	300 16.4	407 22.3	448 24.5	326 17.9	99 5.4	6 0.3	1,826 100.0
H25	－ －	151 8.3	251 13.9	297 16.4	404 22.3	479 26.4	224 12.4	6 0.3	1,812 100.0
H22	－ －	87 6.9	157 12.4	161 12.7	228 18.0	304 24.0	323 25.5	8 0.6	1,268 100.0
H19	－ －	89 8.1	144 13.2	146 13.4	223 20.4	218 19.9	246 22.5	27 2.5	1,093 100.0
H16	－ －	91 8.7	132 12.6	168 16.0	226 21.6	197 18.8	225 21.5	8 0.8	1,047 100.0



問1 ③職業

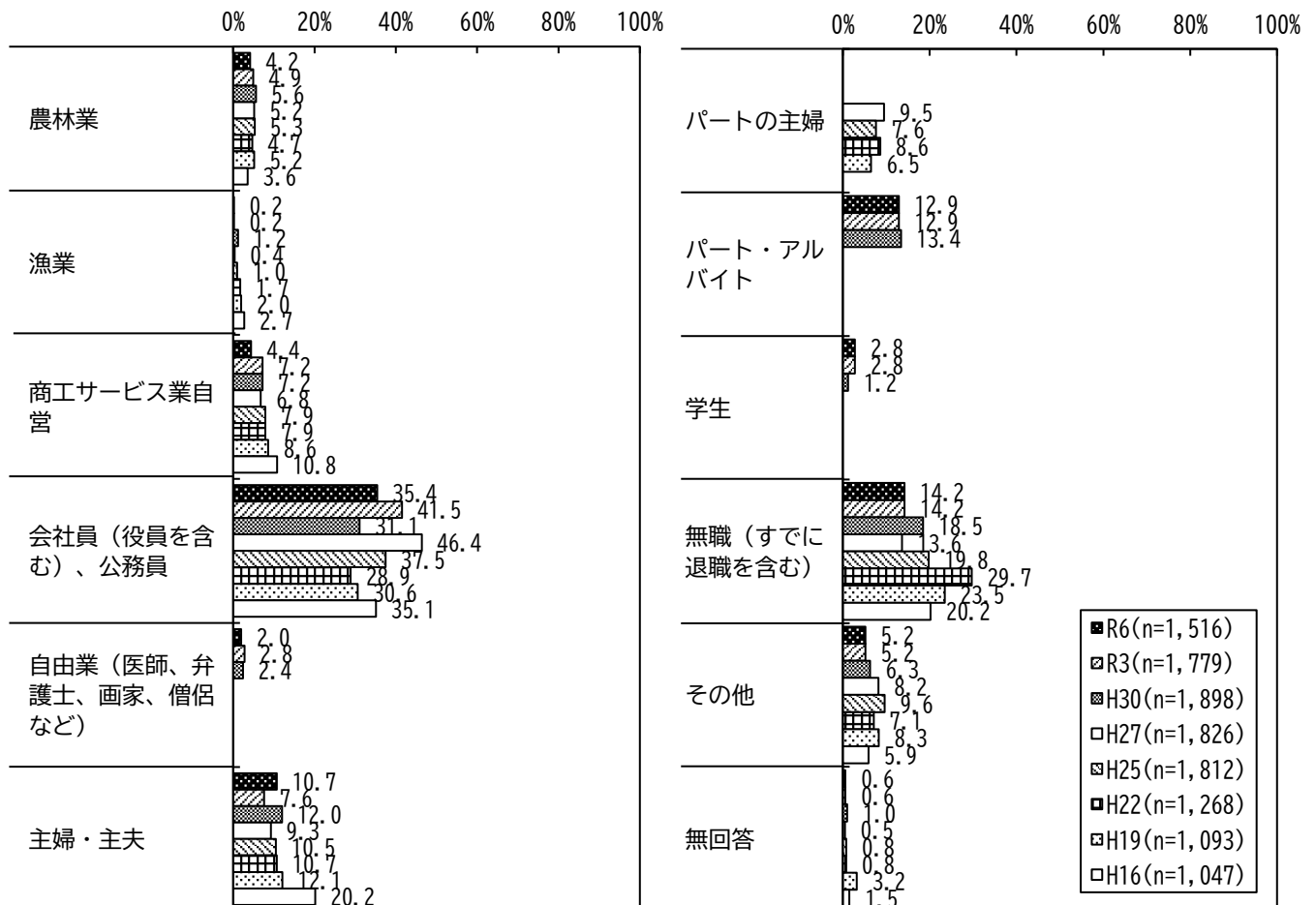
上段：人数
下段：%

	農林業	漁業	営 商工サービス業自 営※ ₁	会社員（役員を含む）、公務員※ ₂	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	主婦・主夫※ ₃	パートの主婦	パート・アルバイト	学生	無職（すでに退職を含む）	その他	無回答	合計
R6	63 4.2	3 0.2	66 4.4	53.7 35.4	30 2.0	162 10.7	- -	189 12.5	21 1.4	332 21.9	94 6.2	19 1.2	1,516 100.0
R3	88 4.9	4 0.2	128 7.2	739 41.5	50 2.8	136 7.6	- -	229 12.9	49 2.8	253 14.2	92 5.2	11 0.6	1,779 100.0
H30	107 5.6	22 1.2	137 7.2	591 31.1	46 2.4	227 12.0	- -	255 13.4	22 1.2	352 18.5	120 6.3	19 1.0	1,898 100.0
H27	95 5.2	7 0.4	125 6.8	847 46.4	- -	169 9.3	174 9.5	- -	- -	249 13.6	150 8.2	10 0.5	1,826 100.0
H25	96 5.3	19 1.0	143 7.9	679 37.5	- -	190 10.5	138 7.6	- -	- -	358 19.8	174 9.6	15 0.8	1,812 100.0
H22	60 4.7	22 1.7	100 7.9	366 28.9	- -	136 10.7	109 8.6	- -	- -	377 29.7	90 7.1	10 0.8	1,268 100.0
H19	57 5.2	22 2.0	94 8.6	334 30.6	- -	132 12.1	71 6.5	- -	- -	257 23.5	91 8.3	35 3.2	1,093 100.0
H16	38 3.6	28 2.7	113 10.8	368 35.1	- -	211 20.2	- -	- -	- -	211 20.2	62 5.9	16 1.5	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「商工自営業」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「勤め人（会社員・公務員）」と答えた人数

※3 平成16年度は「主婦」、平成19年度～平成27年度は「専業主婦」と答えた人数

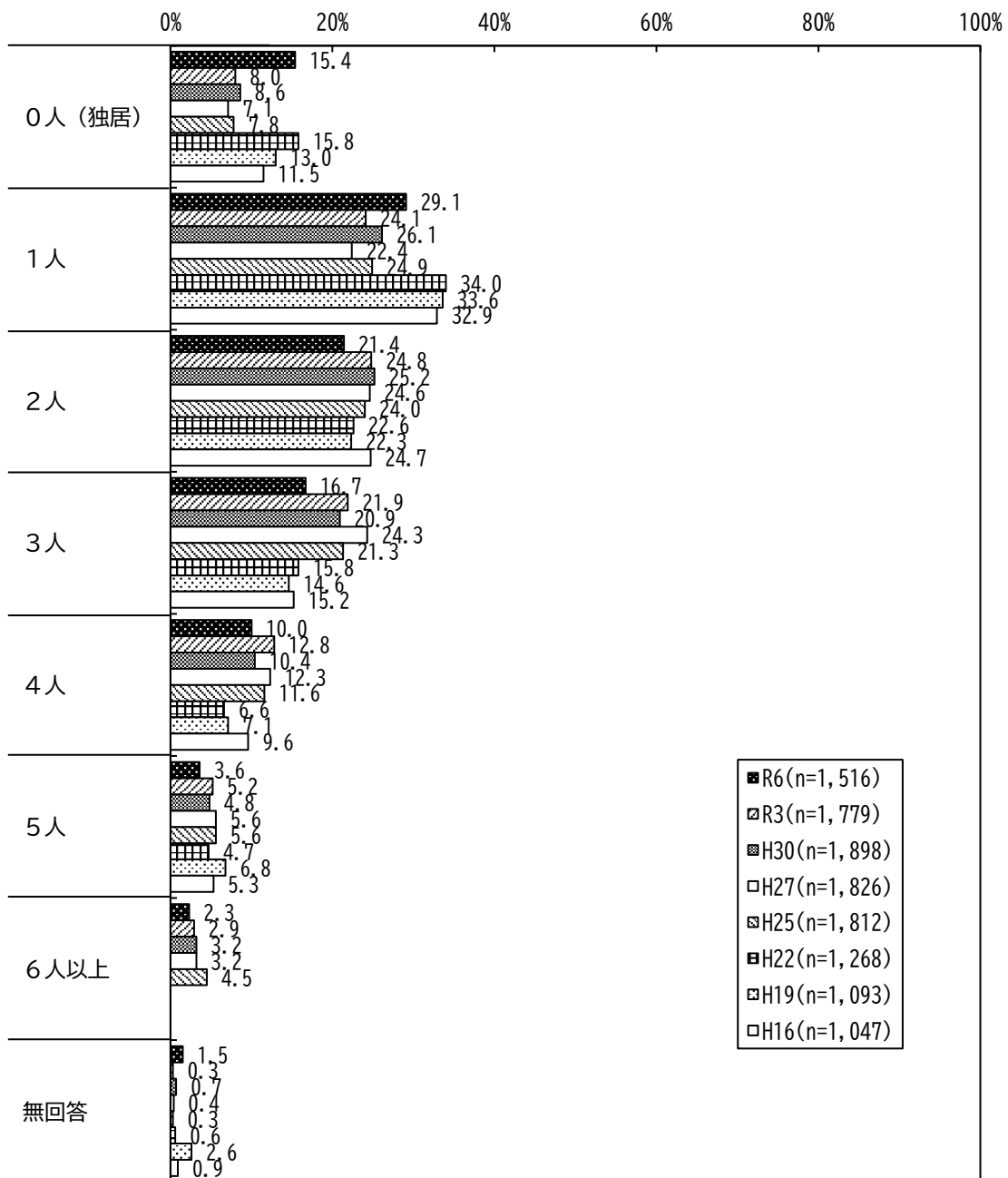


問1 ④同居しているご家族は何人いますか

上段：人数
下段：%

	0人 (独居)	1人	2人	3人	4人	5人 ※1	6人以上	無回答	合計
R6	233 15.4	441 29.1	324 21.4	253 16.7	152 10.0	55 3.6	35 2.3	23 1.5	1,516 100.0
R3	143 8.0	428 24.1	441 24.8	390 21.9	227 12.8	92 5.2	52 2.9	6 0.3	1,779 100.0
H30	164 8.6	495 26.1	478 25.2	397 20.9	198 10.4	91 4.8	61 3.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	129 7.1	409 22.4	450 24.6	444 24.3	224 12.3	103 5.6	59 3.2	8 0.4	1,826 100.0
H25	142 7.8	452 24.9	434 24.0	386 21.3	210 11.6	101 5.6	81 4.5	6 0.3	1,812 100.0
H22	200 15.8	431 34.0	287 22.6	200 15.8	84 6.6	60 4.7		8 0.6	1,268 100.0
H19	143 13.0	368 33.6	243 22.3	160 14.6	77 7.1	74 6.8		28 2.6	1,093 100.0
H16	120 11.5	344 32.9	259 24.7	159 15.2	101 9.6	55 5.3		9 0.9	1,047 100.0

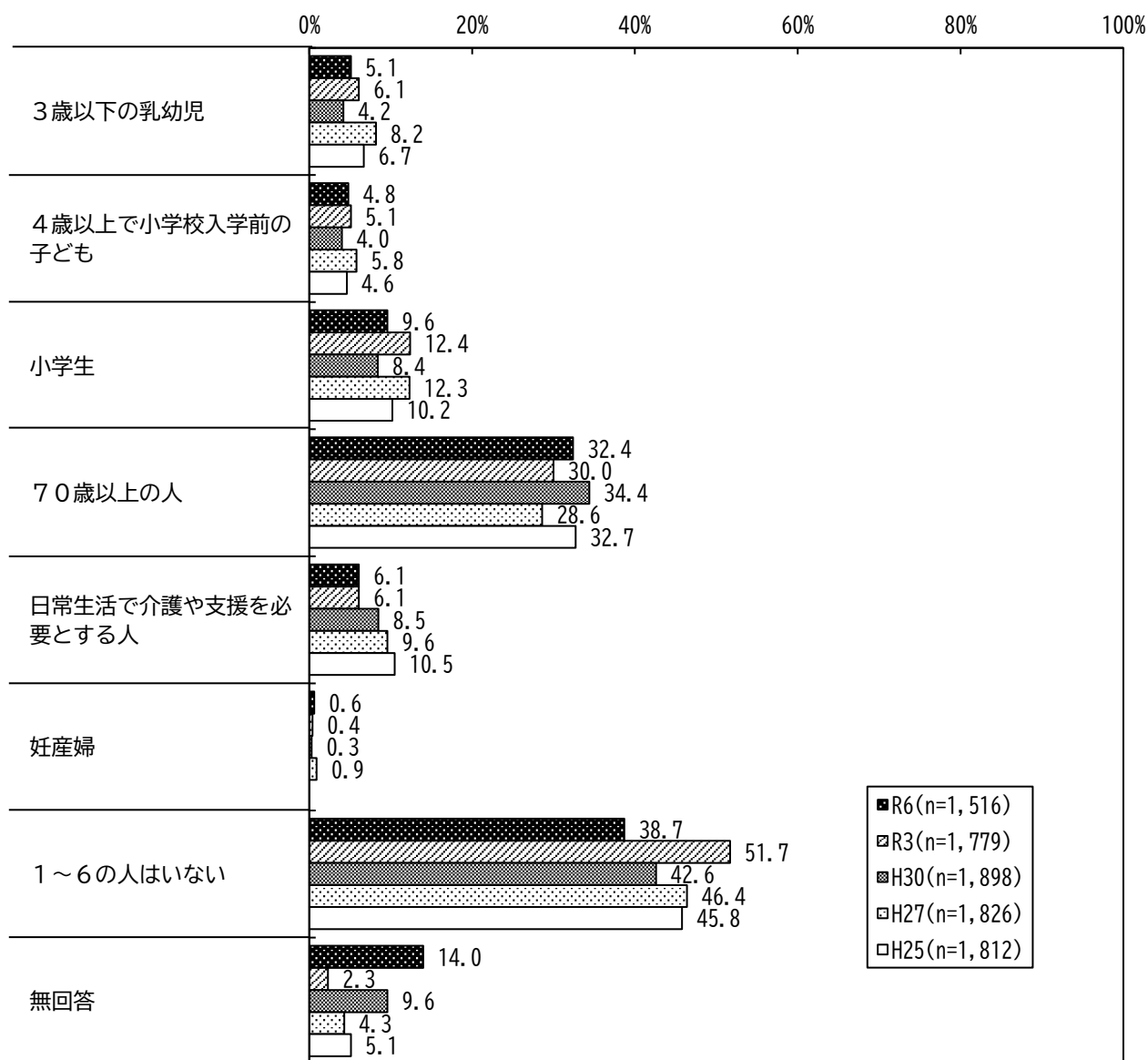
※1 平成22年度以前は「5人以上」と答えた人数



問1 ⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか

	3歳以下の乳幼児	4歳以上で小学校入学前の子ども	小学生	70歳以上の人	日常生活で介護や支援を必要とする人	妊産婦	1～6の人はいない	無回答	合計
R6	78 5.1	73 4.8	146 9.6	491 32.4	93 6.1	9 0.6	587 38.7	212 14.0	1,516
R3	108 6.1	90 5.1	221 12.4	533 30.0	108 6.1	8 0.4	920 51.7	41 2.3	1,779
H30	79 4.2	75 4.0	160 8.4	653 34.4	162 8.5	5 0.3	808 42.6	183 9.6	1,898
H27	149 8.2	105 5.8	224 12.3	522 28.6	176 9.6	16 0.9	848 46.4	79 4.3	1,826
H25	122 6.7	84 4.6	185 10.2	592 32.7	191 10.5	－ －	830 45.8	93 5.1	1,812

※1 平成27年度以前は「3歳以下の幼児」と答えた人数

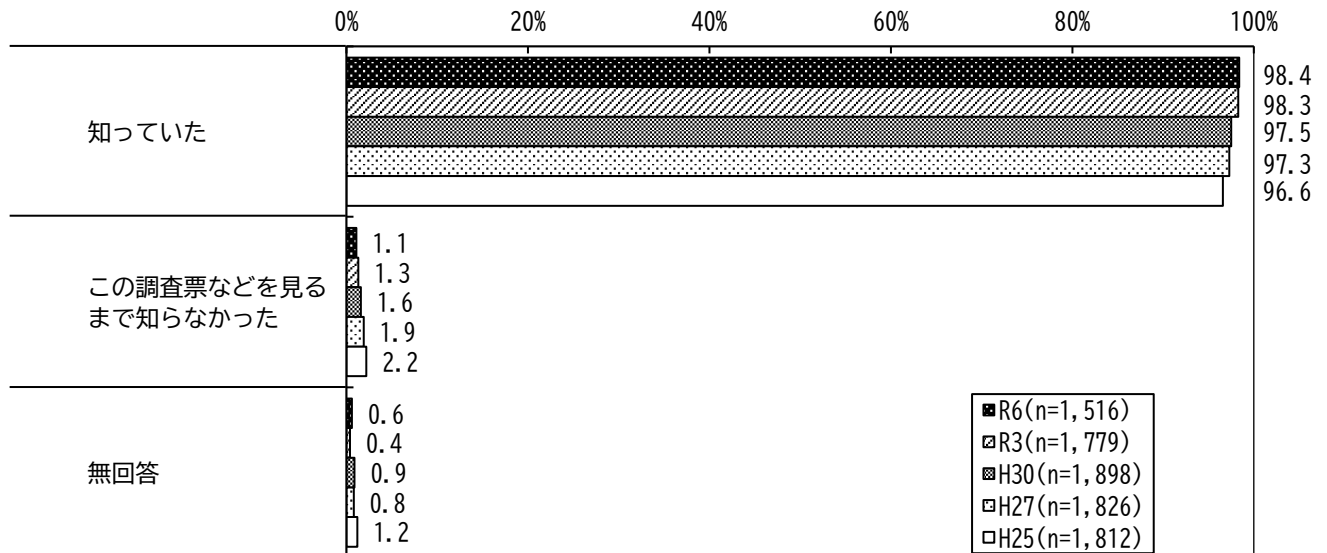


問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

「知っていた」は、平成25年度と比較すると1.8%増加している。

平成25年度以降の調査結果の推移をみると、南海トラフ地震の認知度は向上し続けており、県民に浸透していることが伺える。

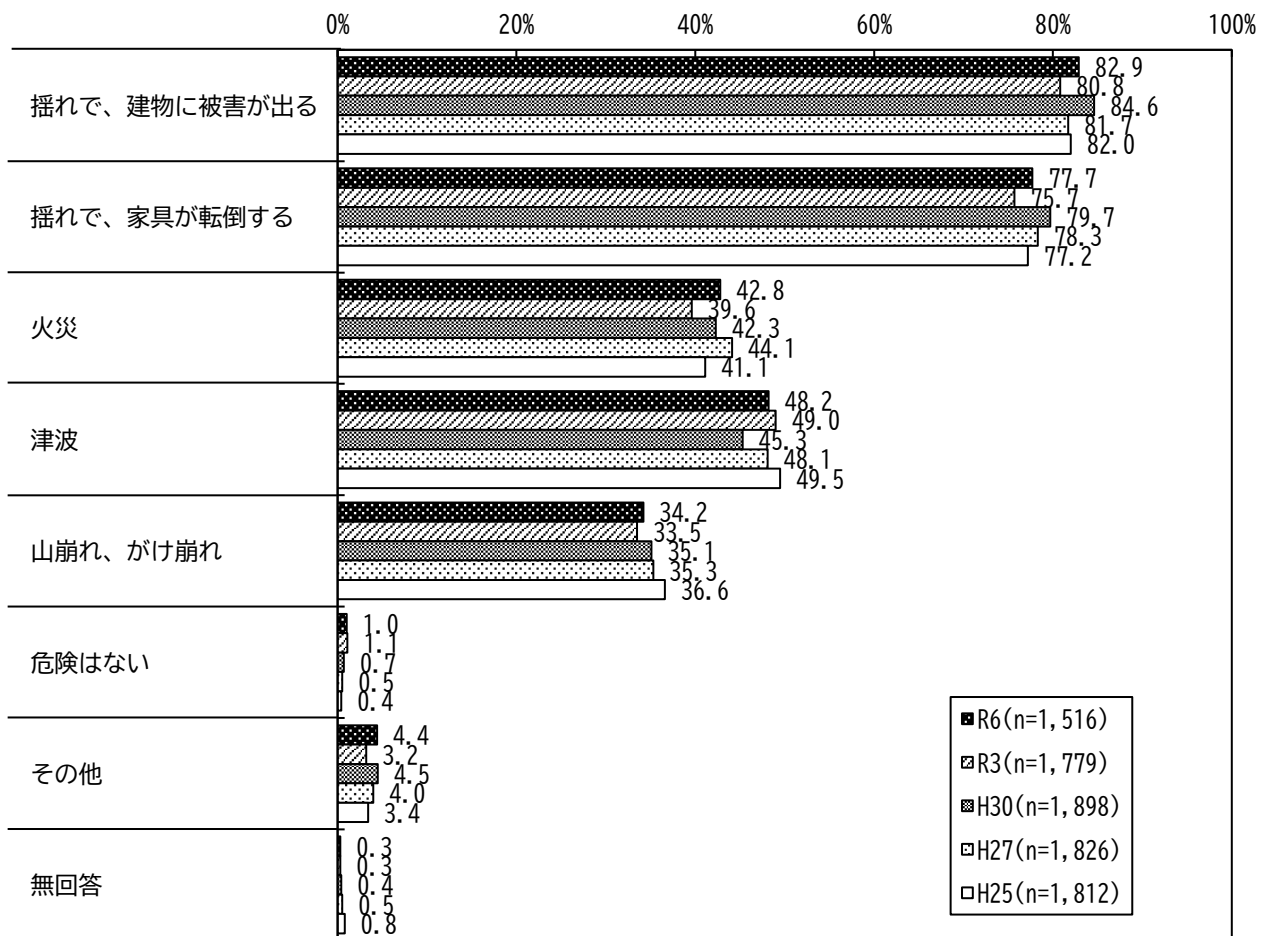
	上段：人数 下段：%			
	知っていた	この調査票などを見るまで知らなかった	無回答	合計
R6	1,491 98.4	16 1.1	9 0.6	1,516 100.0
R3	1,748 98.3	23 1.3	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,851 97.5	30 1.6	17 0.9	1,898 100.0
H27	1,776 97.3	35 1.9	15 0.8	1,826 100.0
H25	1,751 96.6	40 2.2	21 1.2	1,812 100.0



問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

「揺れで、建物に被害が出る」は平成25年度から、増減を繰り返しながら、8割台を推移している。

	揺れで、 建物に被害が 出る	揺れで、家具が 転倒する	火災	津波	山崩れ、 がけ崩れ	危険はない	その他	無回答	合計
R6	1,257 82.9	1,178 77.7	649 42.8	730 48.2	518 34.2	15 1.0	67 4.4	5 0.3	1,516
R3	1,437 80.8	1,347 75.7	704 39.6	871 49.0	596 33.5	20 1.1	57 3.2	6 0.3	1,779
H30	1,605 84.6	1,512 79.7	803 42.3	859 45.3	667 35.1	14 0.7	86 4.5	7 0.4	1,898
H27	1,491 81.7	1,430 78.3	805 44.1	879 48.1	645 35.3	10 0.5	73 4.0	9 0.5	1,826
H25	1,486 82.0	1,399 77.2	744 41.1	897 49.5	663 36.6	8 0.4	62 3.4	15 0.8	1,812

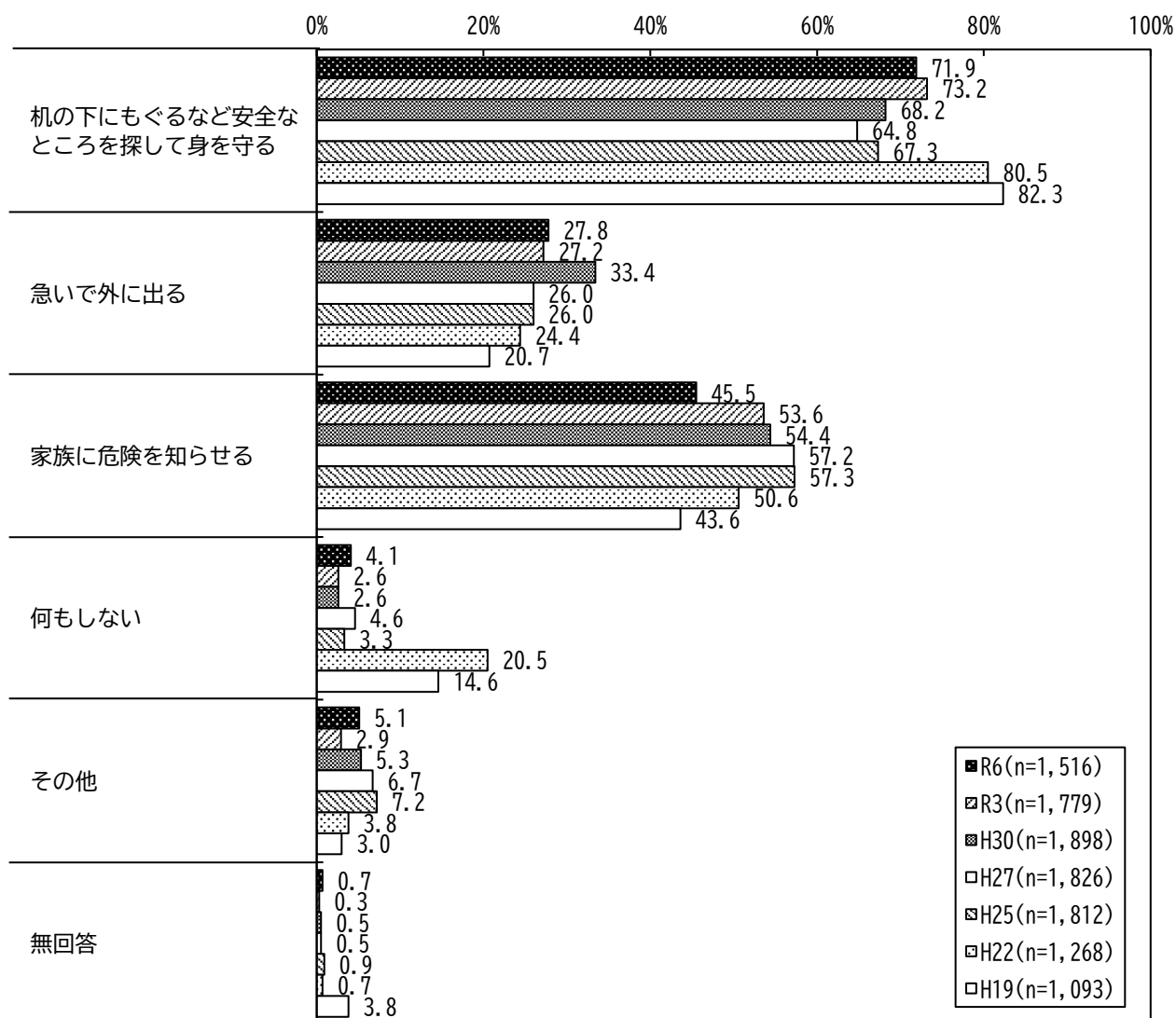


問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」、「急いで外に出る」と続いている。

平成27年度以降「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が7割台に増加してきている。これは、まず自身の安全を第一に確保とするという意識がより定着してきた結果と考えられる。

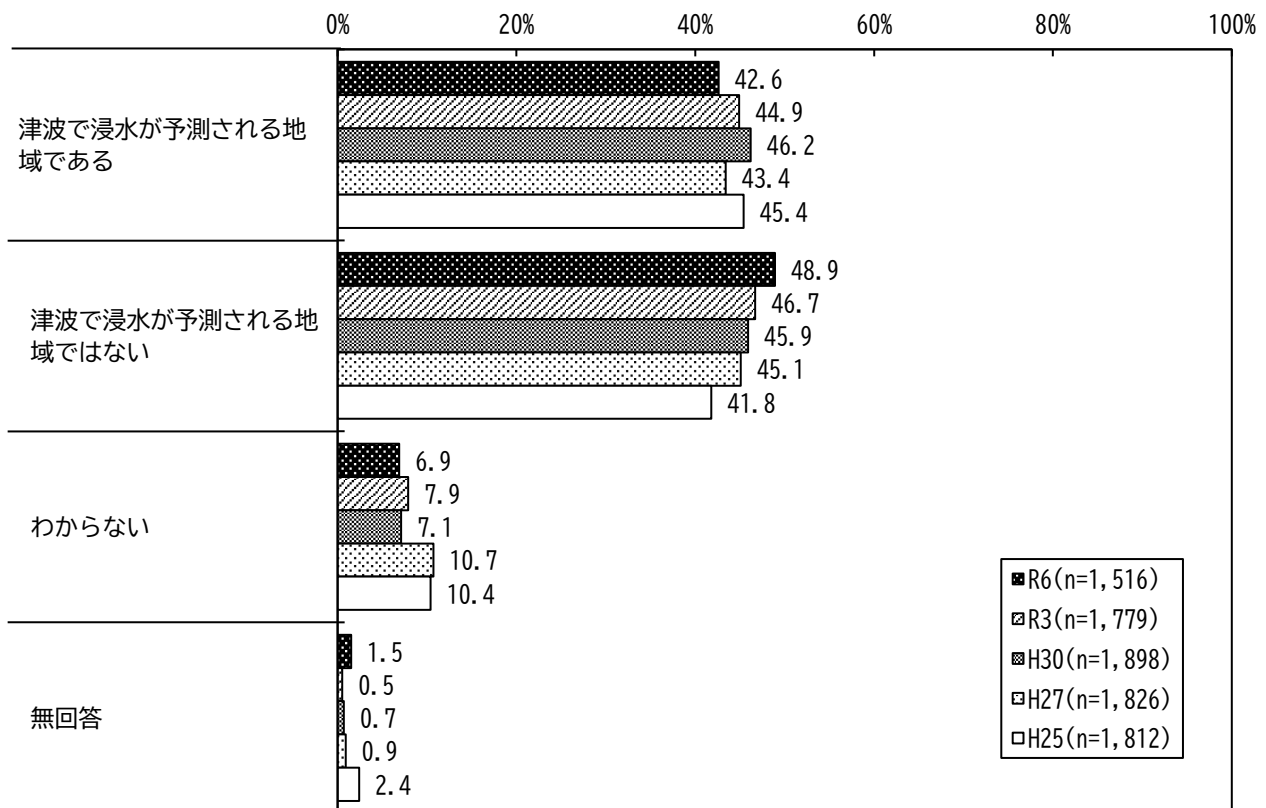
		上段：人数 下段：%					
	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	急いで外に出る	家族に危険を知らせる	何もしない	その他	無回答	合計
R6	1,090 71.9	422 27.8	690 45.5	62 4.1	78 5.1	11 0.7	1,516
R3	1,303 73.2	484 27.2	954 53.6	46 2.6	52 2.9	6 0.3	1,779
H30	1,295 68.2	634 33.4	1,032 54.4	49 2.6	100 5.3	9 0.5	1,898
H27	1,183 64.8	475 26.0	1,044 57.2	84 4.6	122 6.7	10 0.5	1,826
H25	1,220 67.3	471 26.0	1,038 57.3	60 3.3	130 7.2	17 0.9	1,812
H22	1,021 80.5	309 24.4	642 50.6	260 20.5	48 3.8	9 0.7	1,268
H19	900 82.3	226 20.7	477 43.6	160 14.6	33 3.0	42 3.8	1,093



問8 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな変化はない。

	上段：人数 下段：%				
	津波で浸水が予測される地域である	津波で浸水が予測される地域ではない	わからない	無回答	合計
R6	646 42.6	742 48.9	105 6.9	23 1.5	1,516 100.0
R3	799 44.9	831 46.7	140 7.9	9 0.5	1,779 100.0
H30	877 46.2	872 45.9	135 7.1	14 0.7	1,898 100.0
H27	792 43.4	823 45.1	195 10.7	16 0.9	1,826 100.0
H25	823 45.4	758 41.8	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0



問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

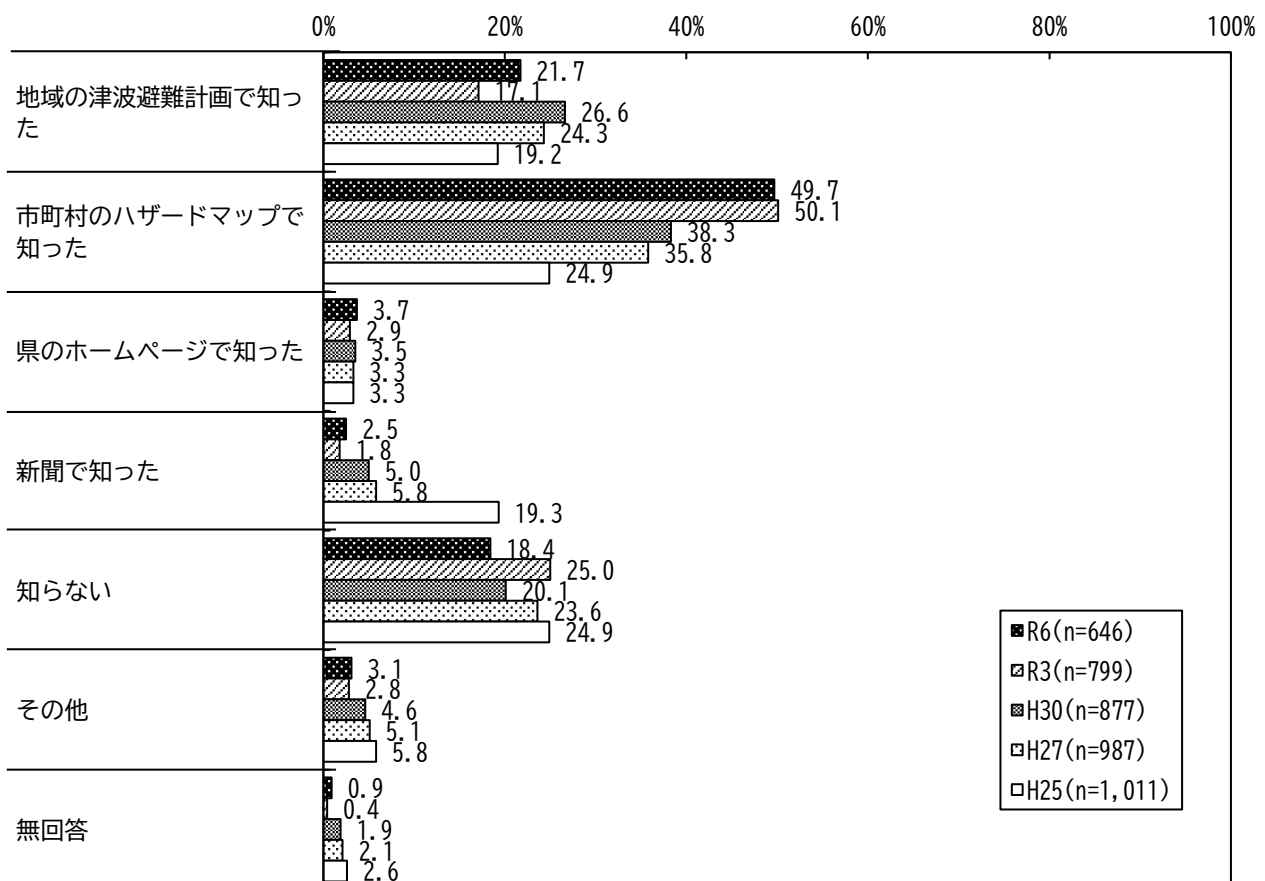
「市町村のハザードマップで知った」が年々増加しており、令和6年度は平成25年度の24.9%と比べると24.8ポイントの増加となっている。

また、「地域の津波避難計画で知った」は令和3年度の17.1%から4.6ポイント増加している。

	地域の津波避難計画で知った	市町村のハザードマップで知った	県のホームページで知った	新聞で知った	知らない	その他	無回答	合計
	上段：人数 下段：%							
R6	140 21.7	321 49.7	24 3.7	16 2.5	119 18.4	21 3.1	6 0.9	646 100.0
R3	137 17.1	400 50.1	23 2.9	14 1.8	200 25.0	22 2.8	3 0.4	799 100.0
H30※1	233 26.6	336 38.3	31 3.5	44 5.0	176 20.1	40 4.6	17 1.9	877 100.0
H27※2	240 24.3	353 35.8	33 3.3	57 5.8	233 23.6	50 5.1	21 2.1	987 100.0
H25※2	194 19.2	252 24.9	33 3.3	195 19.3	252 24.9	59 5.8	26 2.6	1,011 100.0

※1 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問11 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

平成25年度以降、「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっており、津波に対する避難活動の開始を迅速に行い、身の安全を守るという意識が定着してきた結果と考えられる。

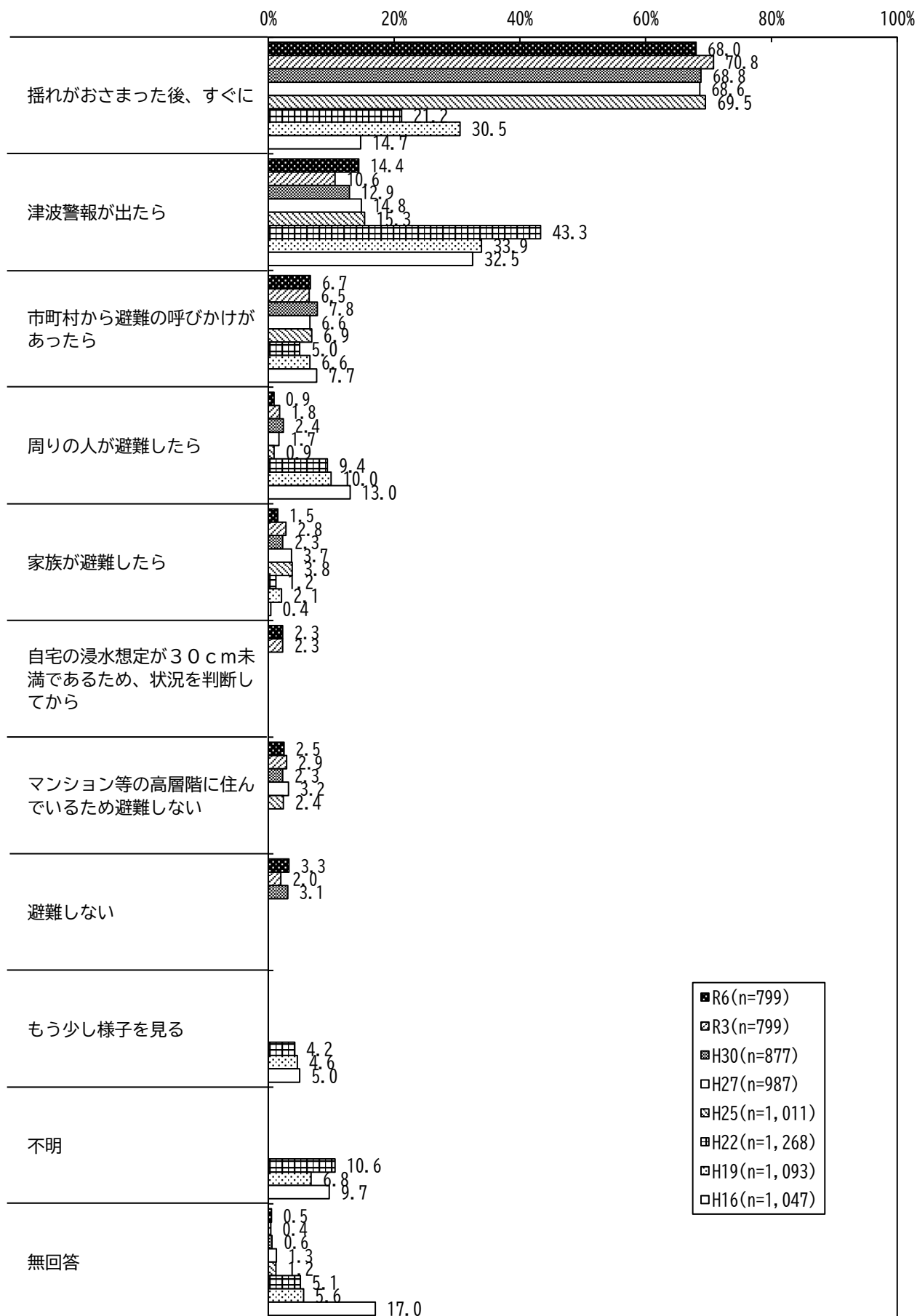
上段：人数
下段：%

	揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら※1	家族が避難したら	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	避難しない	もう少し様子を見る	不明	無回答	合計
R6	439 68.0	93 14.4	43 6.7	6 0.9	10 1.5	15 2.3	16 2.5	21 3.3	- -	- -	3 0.5	646 100.0
R3	566 70.8	85 10.6	52 6.5	14 1.8	22 2.8	18 2.3	23 2.9	16 2.0	- -	- -	3 0.4	799 100.0
H30※2	603 68.8	113 12.9	68 7.8	21 2.4	20 2.3	- -	20 2.3	27 3.1	- -	- -	5 0.6	877 100.0
H27※3	677 68.6	146 14.8	65 6.6	17 1.7	37 3.7	- -	32 3.2	- -	- -	- -	13 1.3	987 100.0
H25※3	703 69.5	155 15.3	70 6.9	9 0.9	38 3.8	- -	24 2.4	- -	- -	- -	12 1.2	1,011 100.0
H22	269 21.2	549 43.3	63 5.0	119 9.4	15 1.2	- -	- -	- -	53 4.2	134 10.6	65 5.1	1,268 100.0
H19	333 30.5	371 33.9	72 6.6	109 10.0	23 2.1	- -	- -	- -	50 4.6	74 6.8	61 5.6	1,093 100.0
H16	154 14.7	340 32.5	81 7.7	136 13.0	4 0.4	- -	- -	- -	52 5.0	102 9.7	178 17.0	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「近所の人々が避難したら」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

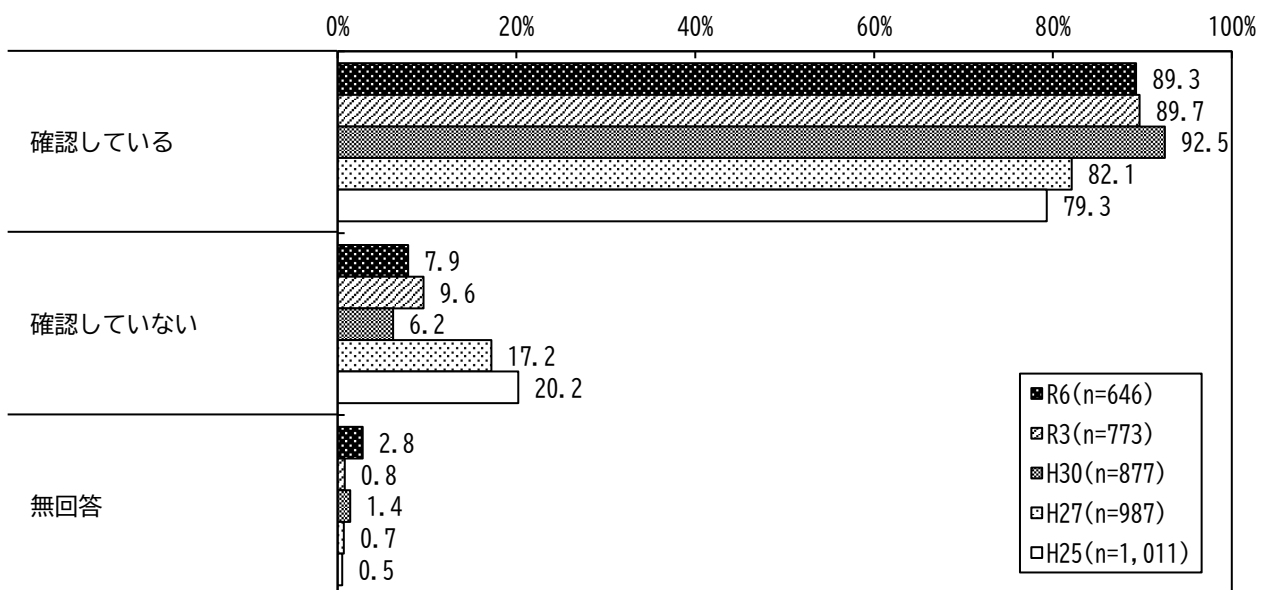
※3 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問13 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

「確認している」は、平成25年度から8割台を推移しており、最も高くなっているが、平成30年度の92.5%をピークにやや減少傾向にあるため、避難に関する意識がやや低下していると考えられる。

	上段：人数 下段：%			
	確認している	確認していない	無回答	合計
R6	577 89.3	51 7.9	18 2.8	646 100.0
R3	693 89.7	74 9.6	6 0.8	773 100.0
H30	811 92.5	54 6.2	12 1.4	877 100.0
H27	810 82.1	170 17.2	7 0.7	987 100.0
H25	802 79.3	204 20.2	5 0.5	1,011 100.0



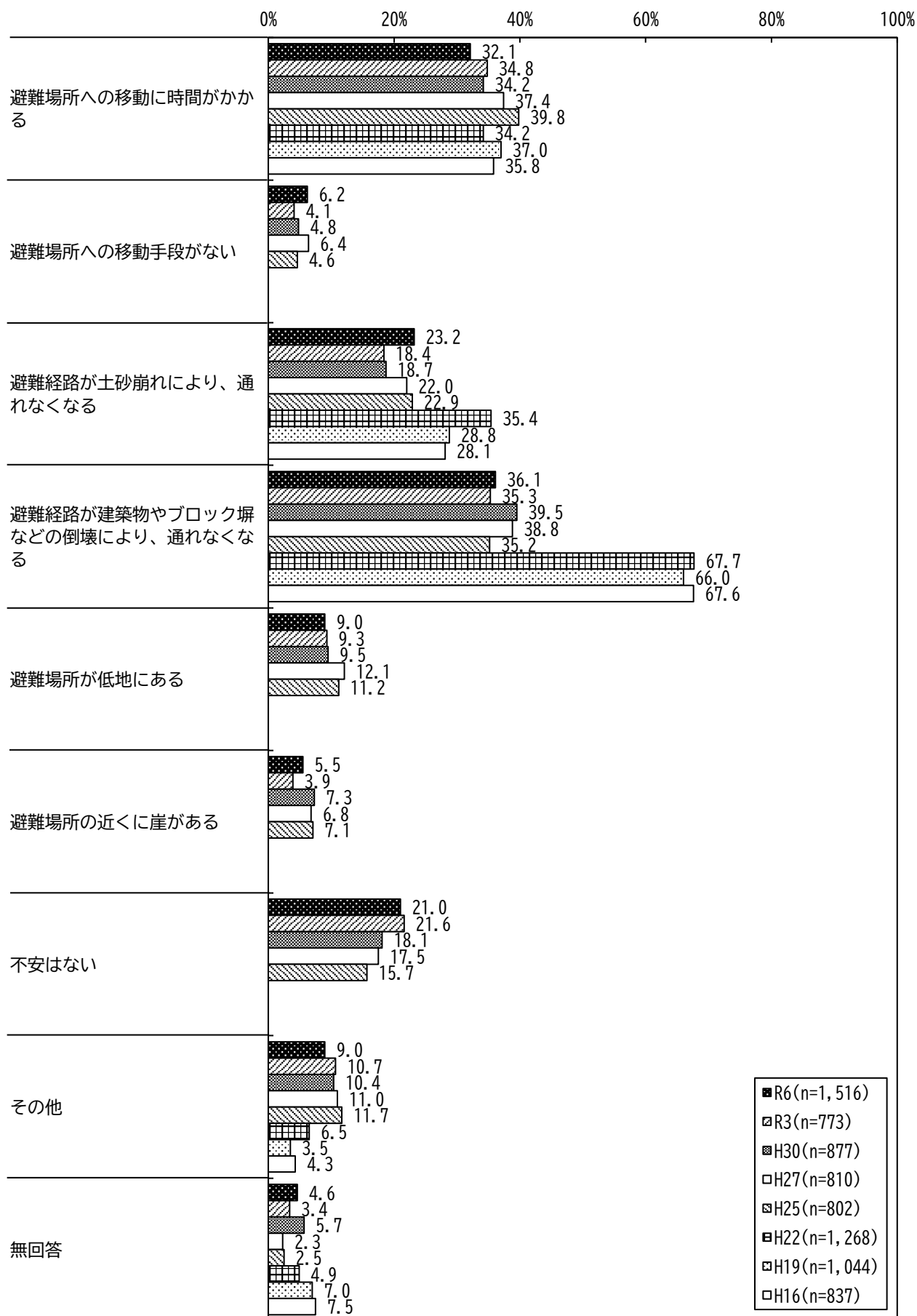
問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

「不安はない」は、平成25年以降割合が高くなってきている。また、「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」は、令和3年度より4.8ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	避難場所への移動に時間がかかる	避難場所への移動手段がない	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	避難場所が低地にある	避難場所の近くに崖がある	不安はない	その他	無回答	合計
R6	487 32.1	64 6.2	351 23.2	547 36.1	137 9.0	83 5.5	319 21.0	137 9.0	69 4.6	1,516
R3	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4	773
H30※ ₁	300 34.2	42 4.8	164 18.7	346 39.5	83 9.5	64 7.3	159 18.1	91 10.4	50 5.7	877
H27※ ₁	303 37.4	52 6.4	178 22.0	314 38.8	98 12.1	55 6.8	142 17.5	89 11.0	19 2.3	810
H25※ ₁	319 39.8	37 4.6	184 22.9	282 35.2	90 11.2	57 7.1	126 15.7	94 11.7	20 2.5	802
H22	434 34.2	- -	449 35.4	858 67.7	- -	- -	- -	82 6.5	62 4.9	1,268
H19	386 37.0	- -	301 28.8	689 66.0	- -	- -	- -	37 3.5	73 7.0	1,044
H16	300 35.8	- -	235 28.1	566 67.6	- -	- -	- -	36 4.3	63 7.5	837

※1 「津波からの避難場所を確認している」と答えた人数



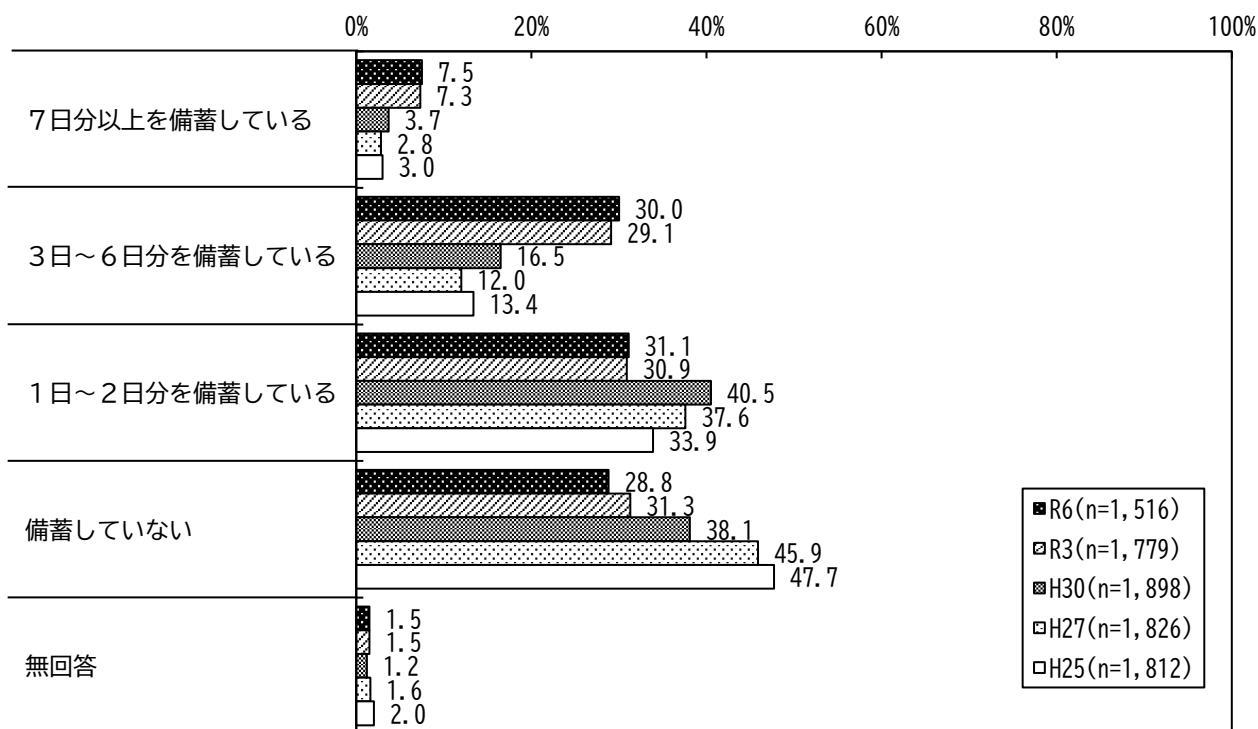
問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

令和6年度では「7日分以上の備蓄をしている」の割合が、平成27年度の2.8%より4.7ポイント増加している。

	蓄 7日 分以上 を備 蓄 している	備 蓄 3日 ～6日 分を している	備 蓄 1日 ～2日 分を ※	備 蓄 して いない	無 回 答	合 計
R6	113 7.5	455 30.0	471 31.1	437 28.8	40 2.6	1,516 100.0
R3	129 7.3	518 29.1	549 30.9	557 31.3	26 1.5	1,779 100.0
H30	71 3.7	313 16.5	768 40.5	724 38.1	22 1.2	1,898 100.0
H27	52 2.8	220 12.0	686 37.6	839 45.9	29 1.6	1,826 100.0
H25	54 3.0	242 13.4	614 33.9	865 47.7	37 2.0	1,812 100.0

※R6 選択肢項目の「2日分を備蓄している」、「1日分を備蓄している」を合算

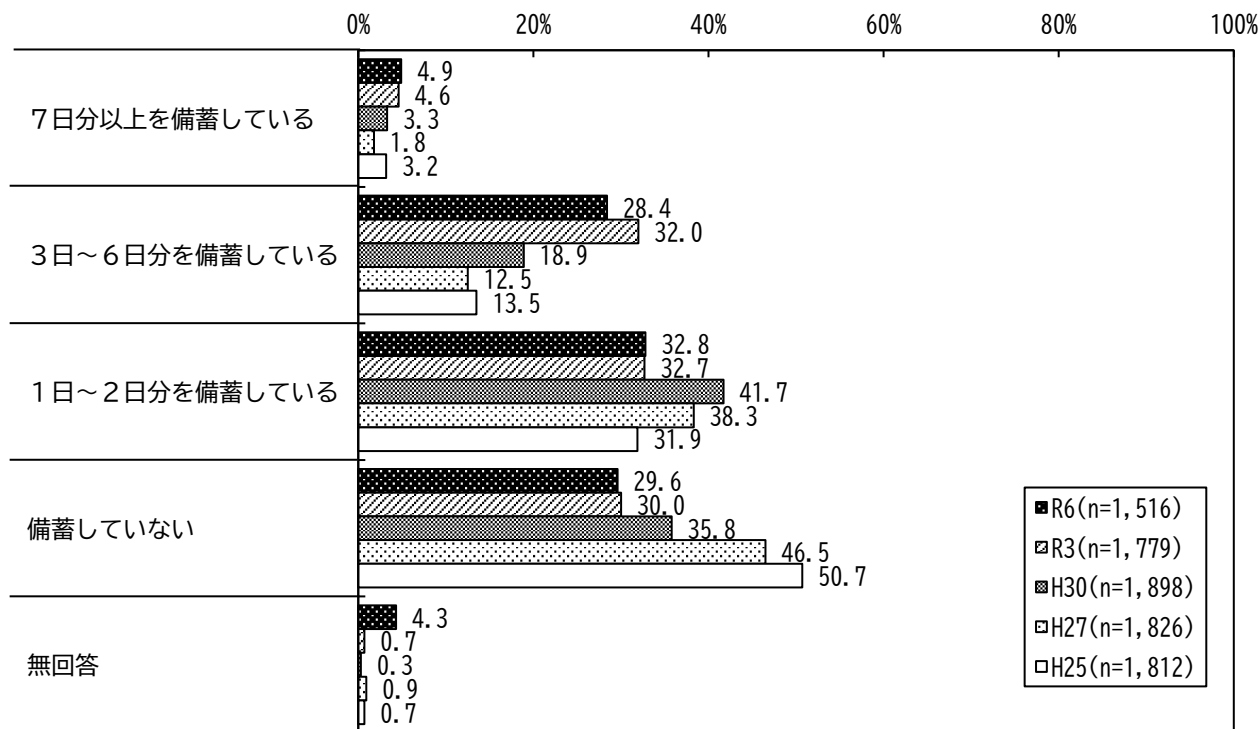


【食料】

令和6年度では「7日以上を備蓄している」の割合が平成27年度の1.8%より3.1ポイント増加している。また、飲料水と食料のいずれも平成25年度以降、「備蓄をしていない」の割合が減少し続けており、今まで備蓄をしなかった方が、行動を開始するなど意識変化が見られるものの、備蓄量を増やしていく等の取組が課題となっている。

	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している※	備蓄していない	無回答	合計
	上段：人数 下段：%	上段：人数 下段：%	上段：人数 下段：%	上段：人数 下段：%	上段：人数 下段：%	上段：人数 下段：%
R6	75 4.9	430 28.4	498 32.8	448 29.6	65 4.3	1,516 100.0
R3	82 4.6	570 32.0	582 32.7	533 30.0	12 0.7	1,779 100.0
H30	63 3.3	358 18.9	792 41.7	680 35.8	5 0.3	1,898 100.0
H27	33 1.8	228 12.5	699 38.3	849 46.5	17 0.9	1,826 100.0
H25	58 3.2	245 13.5	578 31.9	918 50.7	13 0.7	1,812 100.0

※R6 選択肢項目の「2日分を備蓄している」、「1日分を備蓄している」を合算



問19 問17で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

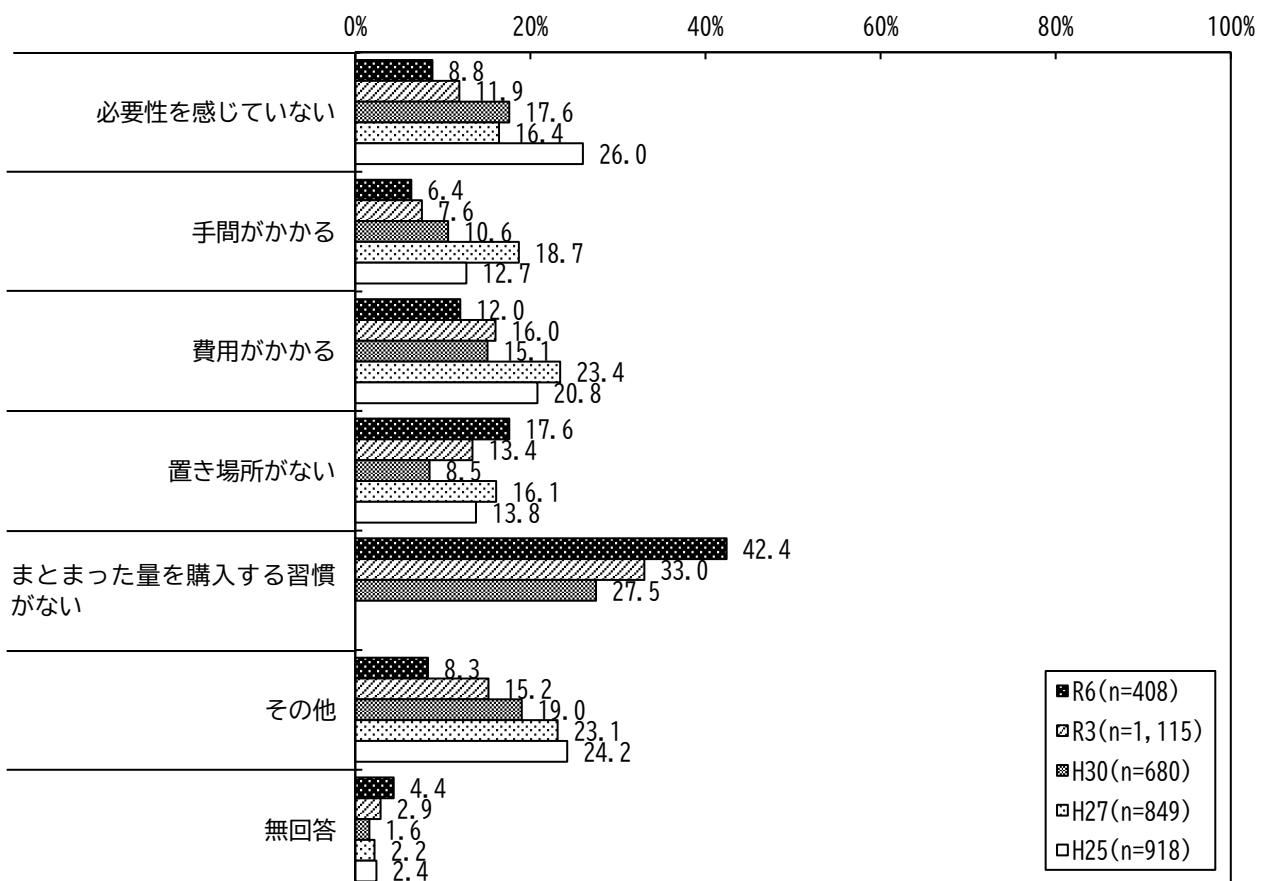
【飲料水】

令和3年度に続き「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっており、13.8ポイント増加している。

	必要性を感じていない	手間がかかる※1	費用がかかる	置き場所がない	まとまった量を購入する習慣がない※2	その他	無回答	合計
R6	36 8.8	26 6.4	49 12.0	72 17.6	173 42.4	34 8.3	18 4.4	408 100.0
R3	110 9.9	125 11.3	123 11.1	238 21.5	296 26.8	194 17.5	20 1.8	1,106 100.0
H30	148 20.4	115 15.9	83 11.5	111 15.3	— —	245 33.8	22 3.0	724 100.0
H27	149 17.8	155 18.5	138 16.4	162 19.3	— —	219 26.1	16 1.9	839 100.0
H25	210 24.3	121 14.0	122 14.1	165 19.1	— —	232 26.8	15 1.7	865 100.0

※1 平成30年度は「保存用の飲料水を準備するのが面倒である」と答えた人数

※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数



【食料】

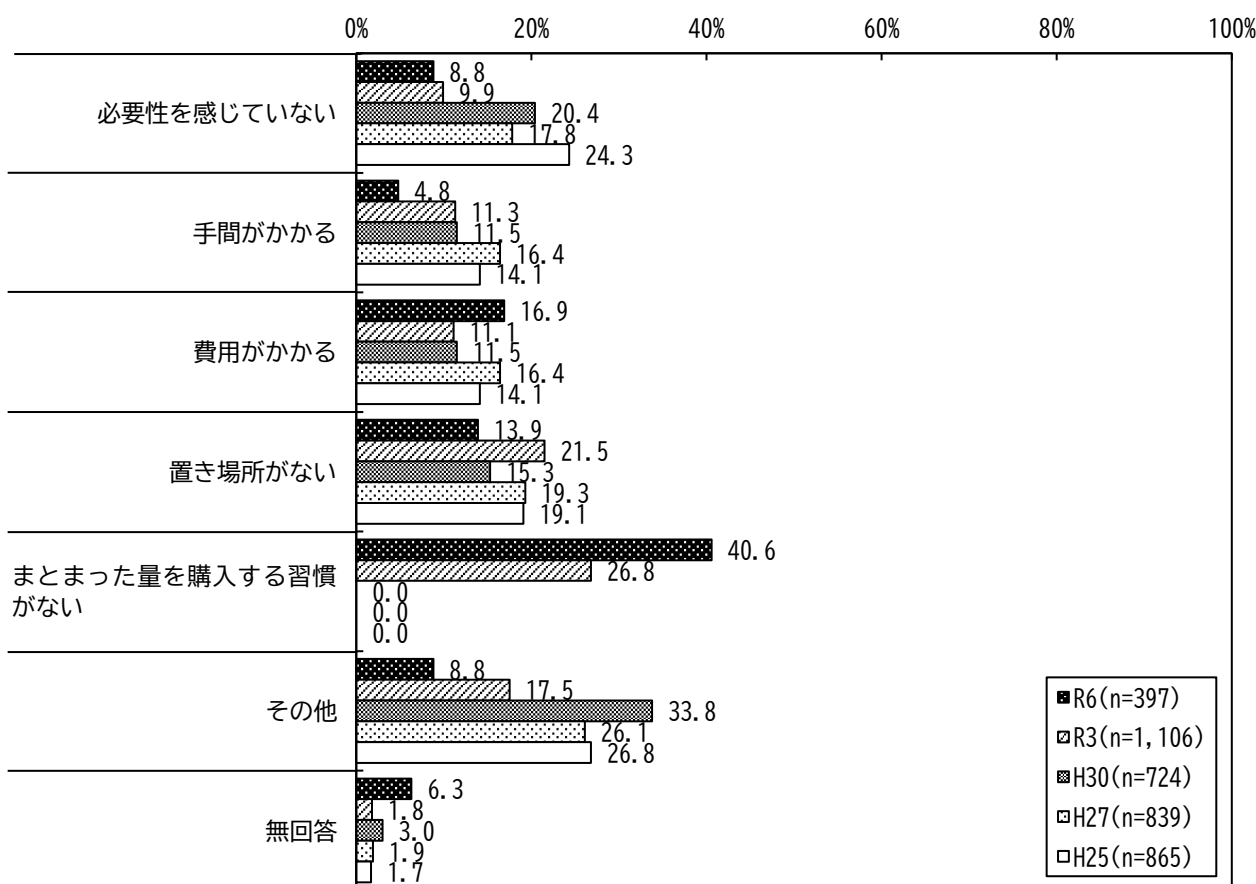
平成30年度に続き、「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっており、飲料水と食料のいずれも備えの必要性の啓発や、必要な備蓄量を明確にできるよう具体的な情報提示が必要である。

上段：人数
下段：%

	必要性を感じていない	手間がかかる※1	費用がかかる	置き場所がない	まとまった量を購入する習慣がない※2	その他	無回答	合計
R6	35 8.8	19 4.8	67 16.9	55 13.9	161 40.6	35 8.8	25 6.3	397 100.0
R3	133 11.9	85 7.6	178 16.0	149 13.4	368 33.0	170 15.2	32 2.9	1,115 100.0
H30	120 17.6	72 10.6	103 15.1	58 8.5	187 27.5	129 19.0	11 1.6	680 100.0
H27	139 16.4	159 18.7	199 23.4	137 16.1	－	196 23.1	19 2.2	849 100.0
H25	239 26.0	117 12.7	191 20.8	127 13.8	－	222 24.2	22 2.4	918 100.0

※1 平成30年度は「アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である」と答えた人数

※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数



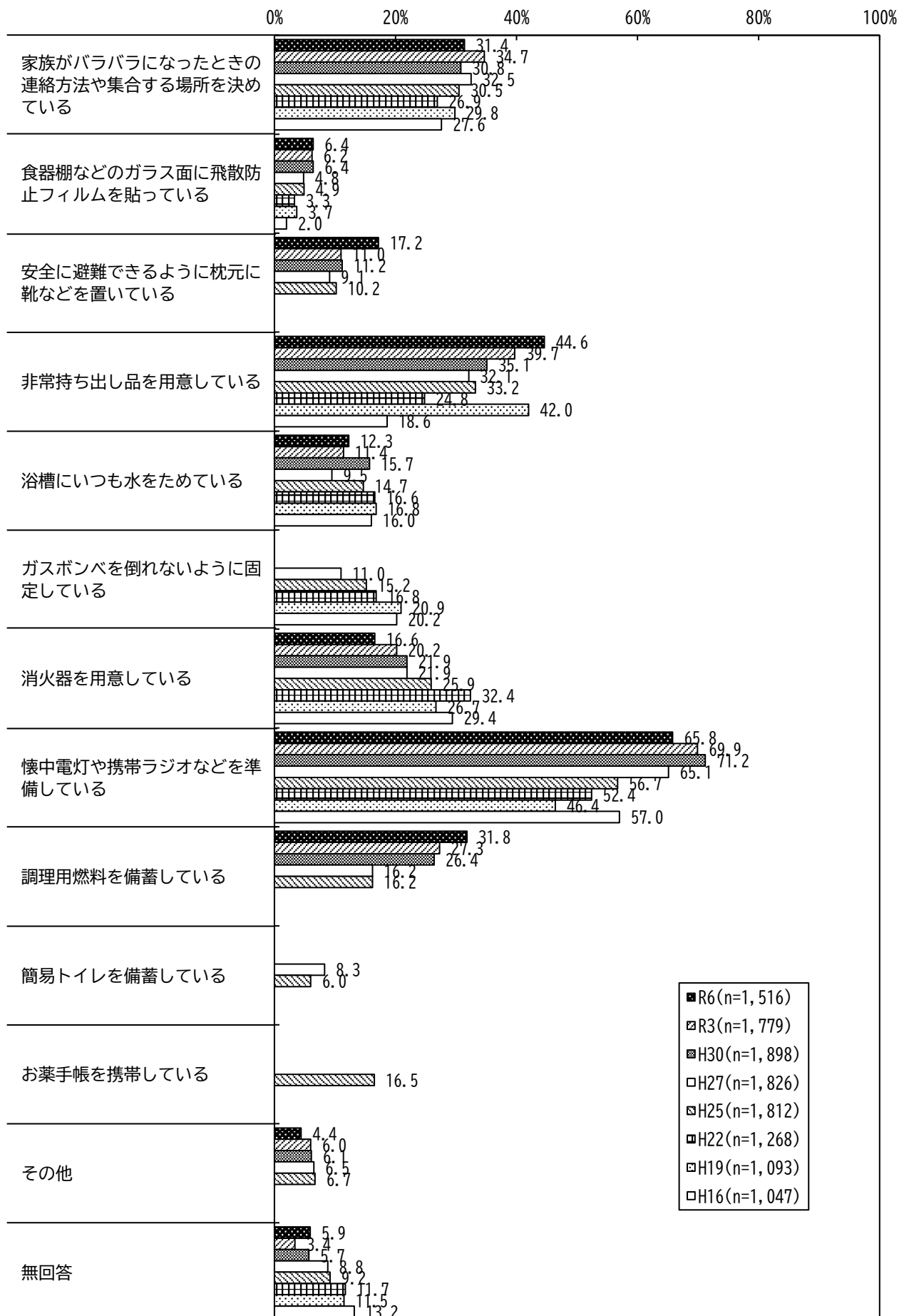
問22 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

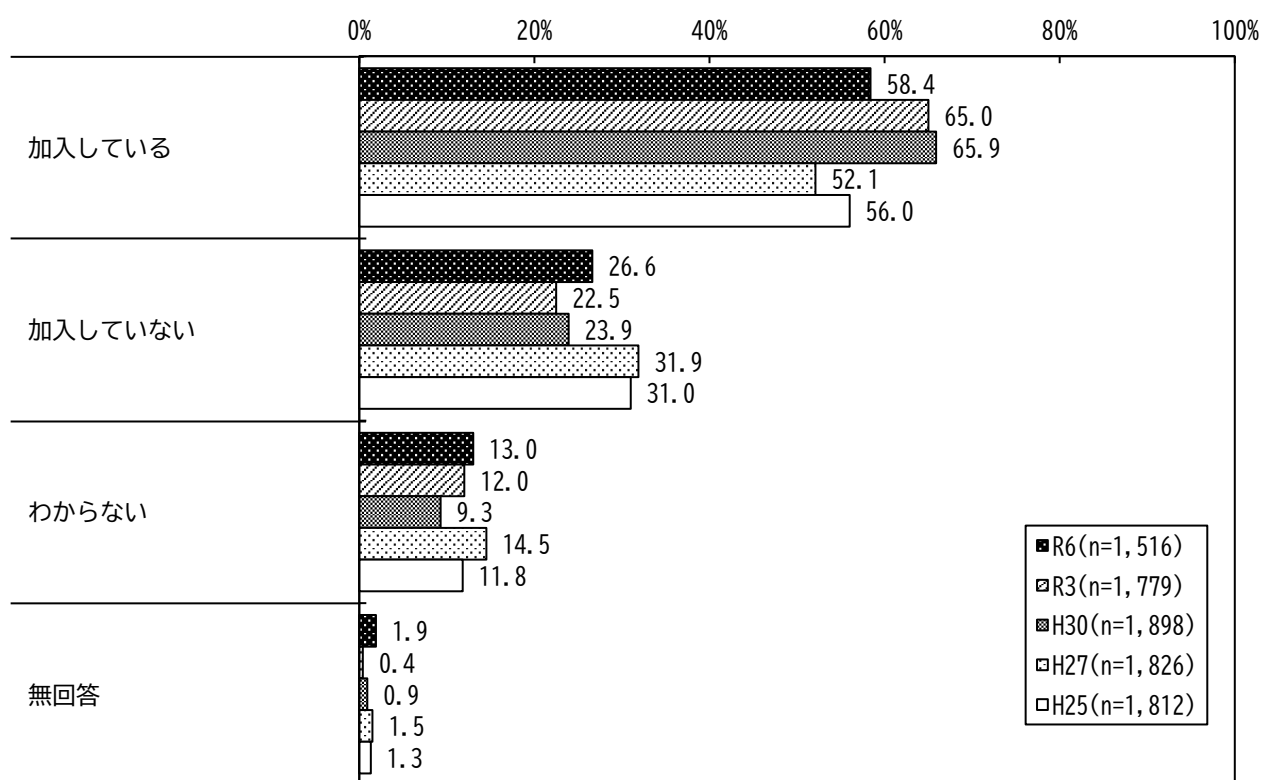
	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	非常持ち出し品を用意している	浴槽にいつも水をためている	ガスボンベを倒れないように固定している	消火器を用意している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	調理用燃料を備蓄している	簡易トイレを備蓄している	お薬手帳を携帯している	その他	無回答	合計
R6	476 31.4	97 6.4	261 17.2	676 44.6	187 12.3	- -	252 16.6	997 65.8	482 31.8	- -	- -	67 4.4	90 5.9	1,516
R3	618 34.7	111 6.2	196 11.0	706 39.7	202 11.4	- -	359 20.2	1,243 69.9	486 27.3	- -	- -	107 6.0	60 3.4	1,779
H30	585 30.8	121 6.4	212 11.2	667 35.1	298 15.7	- -	415 21.9	1,352 71.2	501 26.4	- -	- -	115 6.1	109 5.7	1,898
H27	594 32.5	87 4.8	166 9.1	587 32.1	173 9.5	200 11.0	399 21.9	1,189 65.1	296 16.2	151 8.3	- -	119 6.5	161 8.8	1,826
H25	552 30.5	88 4.9	185 10.2	601 33.2	266 14.7	276 15.2	469 25.9	1,028 56.7	294 16.2	109 6.0	299 16.5	122 6.7	167 9.2	1,812
H22	341 26.9	42 3.3	- -	314 24.8	210 16.6	213 16.8	411 32.4	664 52.4	- -	- -	- -	- -	148 11.7	1,268
H19	326 29.8	40 3.7	- -	459 42.0	184 16.8	228 20.9	292 26.7	507 46.4	- -	- -	- -	- -	126 11.5	1,093
H16	289 27.6	21 2.0	- -	195 18.6	168 16.0	211 20.2	308 29.4	597 57.0	- -	- -	- -	- -	138 13.2	1,047



問24 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

「加入していない」が平成25年以降割合が減少していたが、令和6年度に4.1ポイント増加している。

	上段：人数		下段：%		
	加入している	加入していない	わからない	無回答	合計
R6	886 58.4	404 26.6	197 13.0	29 1.9	1,516 100.0
R3	1,156 65.0	401 22.5	214 12.0	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,250 65.9	454 23.9	176 9.3	18 0.9	1,898 100.0
H27	952 52.1	582 31.9	264 14.5	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,014 56.0	561 31.0	214 11.8	23 1.3	1,812 100.0



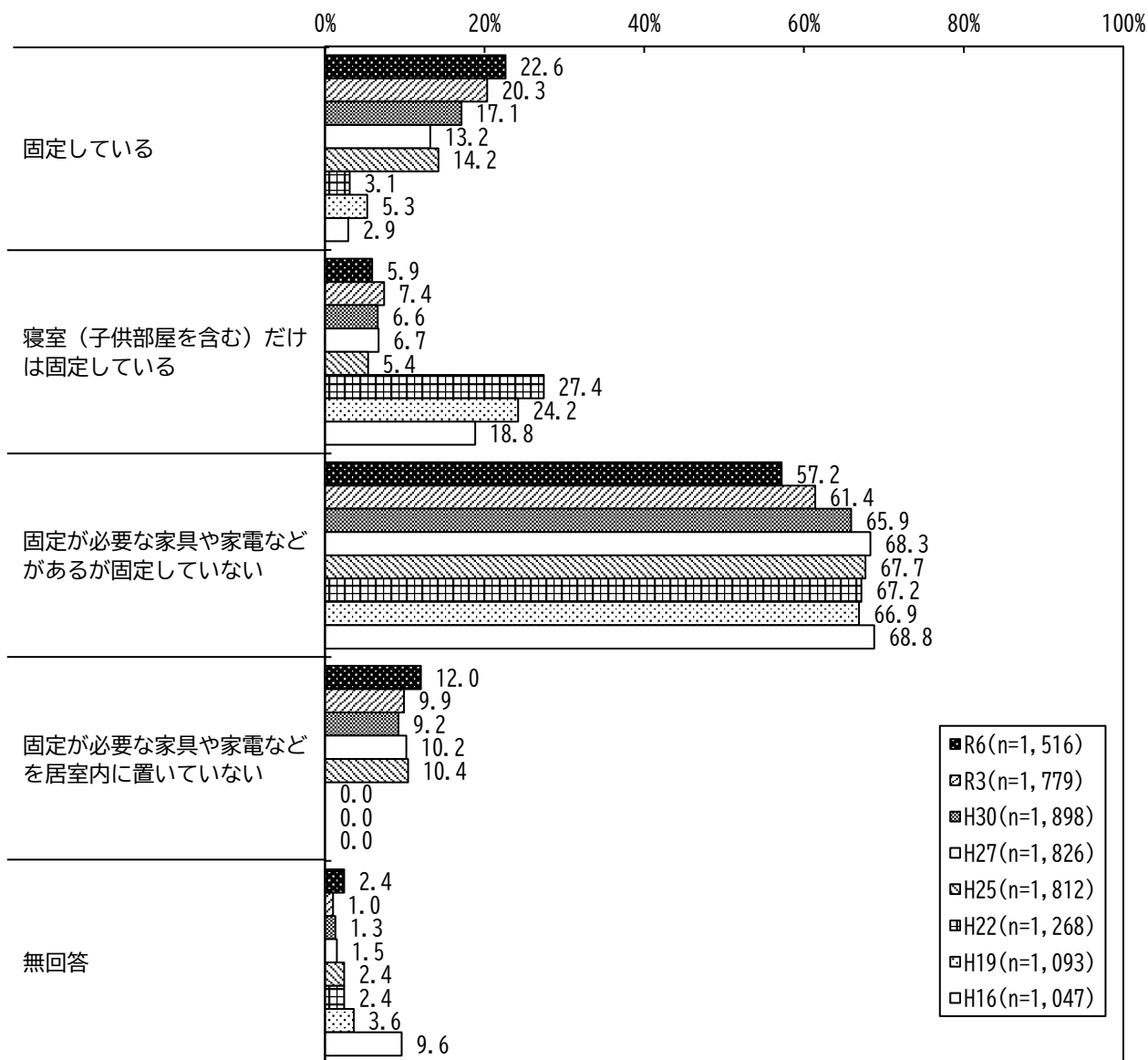
問26 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

「固定している」は、平成27年度以降高くなってきているが割合はまだ低く、各年度とも「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が5割以上と最も高いため、さらなる啓発が必要である。

		上段：人数 下段：%				
	固定している	寝室（子供部屋を含む） ※1 だけは固定している	固定が必要な家具や 家電などがあるが固 定していない※2	固定が必要な家具や 家電などを居室内に 置いていない	無回答	合計
R6	342 22.6	89 5.9	867 57.2	182 12.0	36 2.4	1,516 100.0
R3	361 20.3	131 7.4	1,093 61.4	176 9.9	18 1.0	1,779 100.0
H30	324 17.1	125 6.6	1,251 65.9	174 9.2	24 1.3	1,898 100.0
H27	241 13.2	123 6.7	1,248 68.3	186 10.2	28 1.5	1,826 100.0
H25	257 14.2	98 5.4	1,226 67.7	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0
H22	39 3.1	347 27.4	852 67.2	- -	30 2.4	1,268 100.0
H19	58 5.3	265 24.2	731 66.9	- -	39 3.6	1,093 100.0
H16	30 2.9	197 18.8	720 68.8	- -	100 9.6	1,047 100.0

※1 平成22年度以前は「一部固定している」と答えた人数

※2 平成22年度以前は「固定していない」と答えた人数



問27 問26で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」～「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。
家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○）

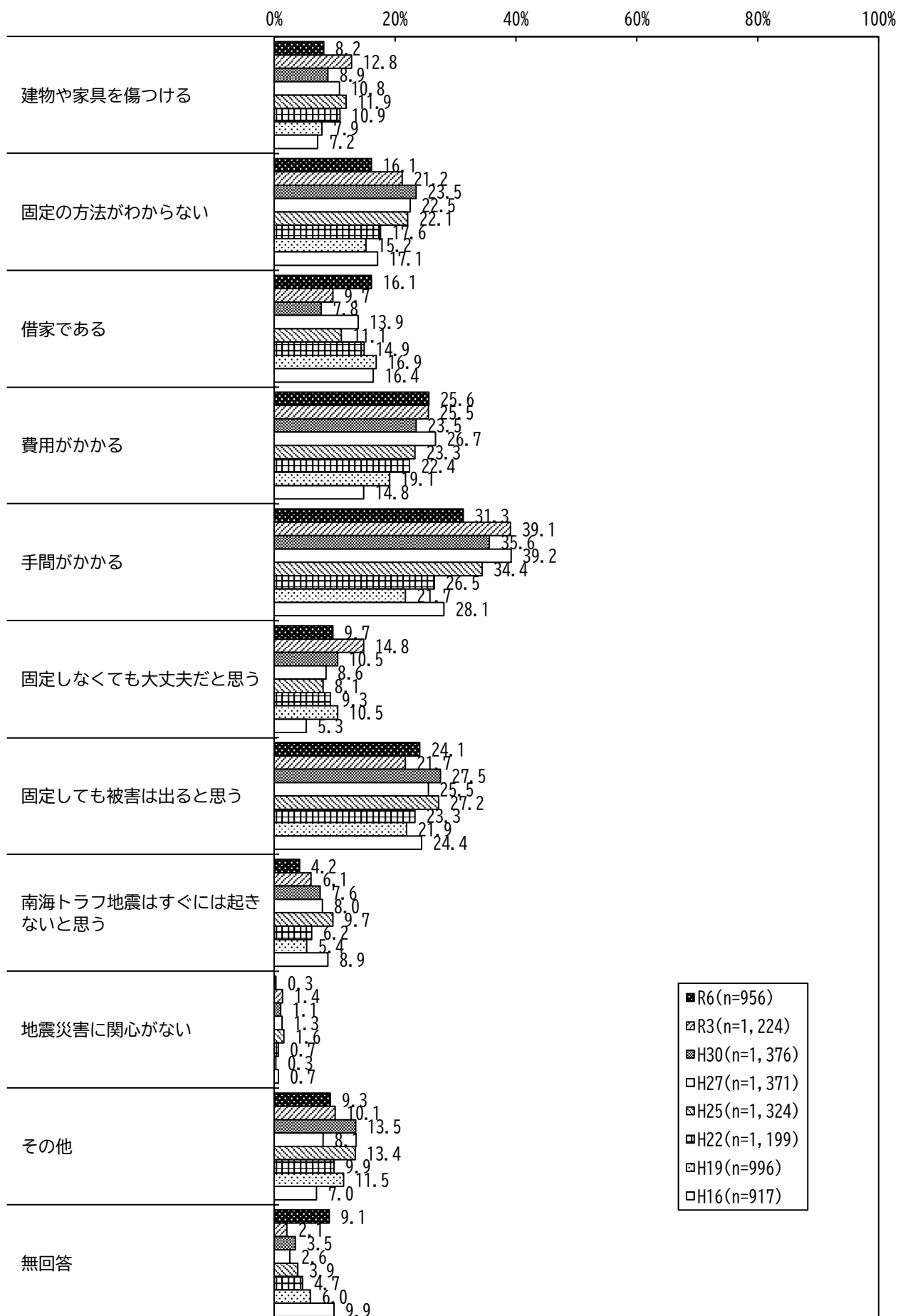
各年度とも「手間がかかる」が最も高くなっており、少ない手間や費用で実施できる転倒防止策について具体的な情報発信が必要である。

上段：人数
下段：%

	建物や家具を傷つける	固定の方法がわからない	借家である	費用がかかる	手間がかかる	固定しなくても大丈夫だと思う	固定しても被害は出ると思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答	合計
R6	78 8.2	154 16.1	154 16.1	245 25.6	299 31.3	93 9.7	230 24.1	40 4.2	3 0.3	89 9.3	87 9.1	956
R3※1	157 12.8	259 21.2	119 9.7	312 25.5	479 39.1	181 14.8	265 21.7	75 6.1	17 1.4	124 10.1	26 2.1	1,224
H30※1	122 8.9	324 23.5	108 7.8	323 23.5	490 35.6	144 10.5	378 27.5	105 7.6	15 1.1	186 13.5	48 3.5	1,376
H27※1	148 10.8	309 22.5	191 13.9	366 26.7	538 39.2	118 8.6	350 25.5	109 8.0	18 1.3	111 8.1	36 2.6	1,371
H25※1	158 11.9	293 22.1	147 11.1	308 23.3	455 34.4	107 8.1	360 27.2	128 9.7	21 1.6	178 13.4	51 3.9	1,324
H22※2	131 10.9	211 17.6	179 14.9	269 22.4	318 26.5	112 9.3	279 23.3	74 6.2	8 0.7	119 9.9	56 4.7	1,199
H19※2	79 7.9	151 15.2	168 16.9	190 19.1	216 21.7	105 10.5	218 21.9	54 5.4	3 0.3	115 11.5	60 6.0	996
H16※2	66 7.2	157 17.1	150 16.4	136 14.8	258 28.1	49 5.3	224 24.4	82 8.9	6 0.7	64 7.0	91 9.9	917

※1 「寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」・「固定が必要な家具や家電はあるが固定していない」と答えた人数

※2 「固定はしていない」・「一部固定している」と答えた人数

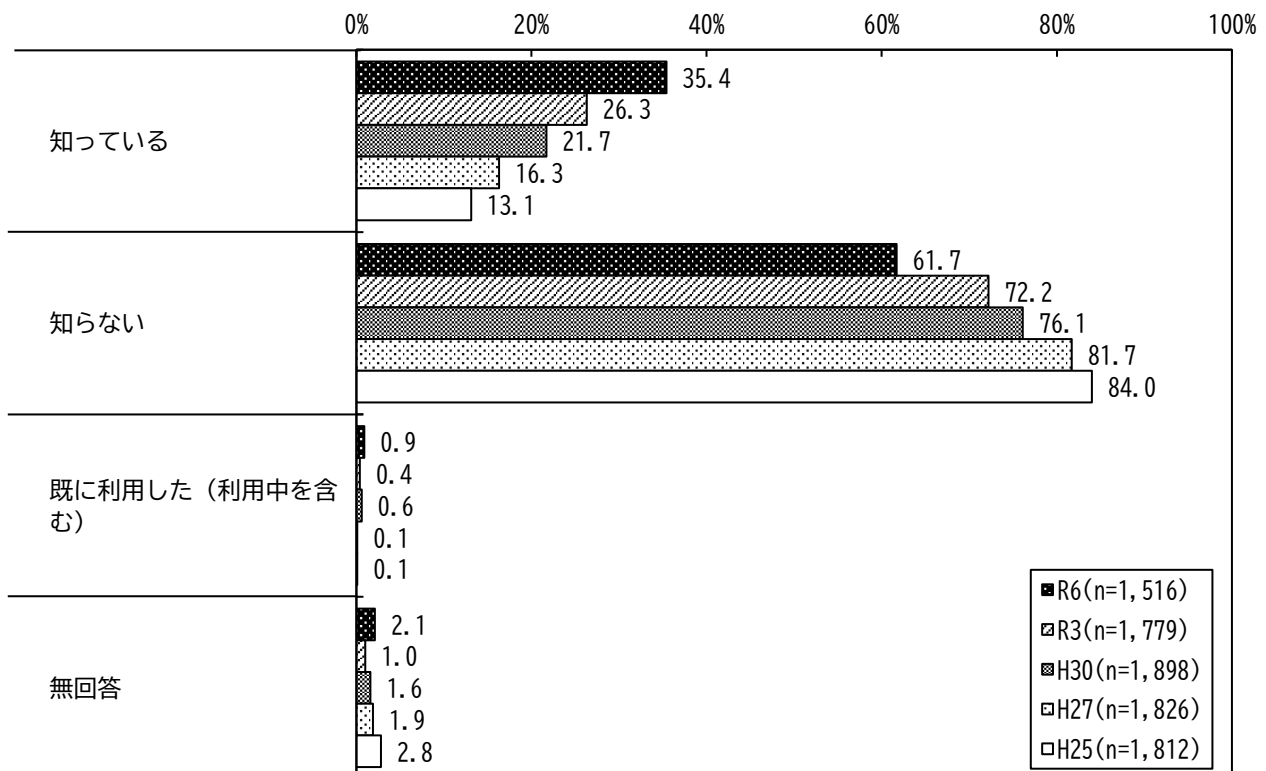


問28 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は年々増加しており、令和6年度では35.4%となっており、平成25年度の13.1%から22.3ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%	
	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	合計	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R6	536 35.4	935 61.7	13 0.9	32 2.1	1,516 100.0	35.4	61.7	0.9	2.1	100.0
R3	468 26.3	1,285 72.2	8 0.4	18 1.0	1,779 100.0	26.3	72.2	0.4	1.0	100.0
H30	411 21.7	1,445 76.1	12 0.6	30 1.6	1,898 100.0	21.7	76.1	0.6	1.6	100.0
H27	298 16.3	1,491 81.7	2 0.1	35 1.9	1,826 100.0	16.3	81.7	0.1	1.9	100.0
H25	238 13.1	1,522 84.0	1 0.1	51 2.8	1,812 100.0	13.1	84.0	0.1	2.8	100.0



問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

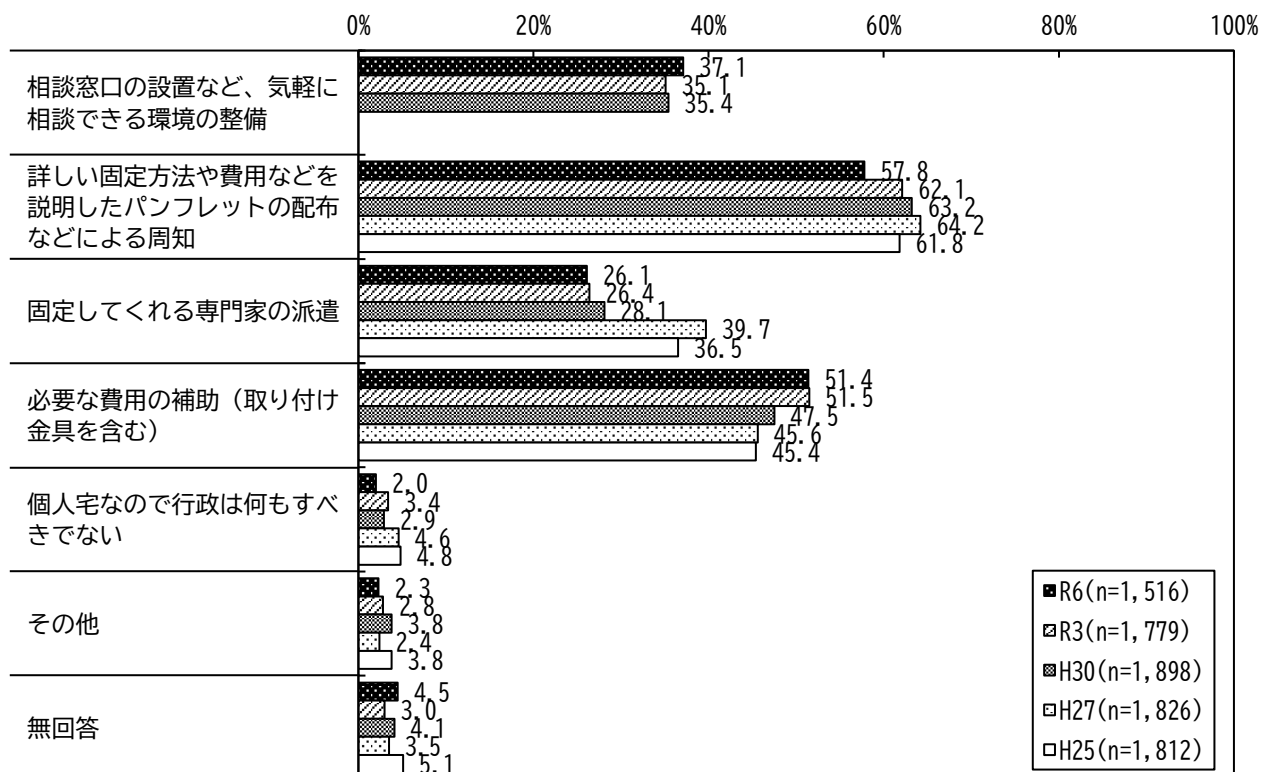
平成25年以降「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」が増加している。

各年度とも「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっており、更なる周知徹底が必要である。

上段：人数 下段：％								
	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知※ ¹	固定してくれる専門家の派遣※ ²	必要な費用の補助（取り付け金具を含む）	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R6	562 37.1	876 57.8	396 26.1	779 51.4	31 2.0	35 2.3	68 4.5	1,516
R3	625 35.1	1,104 62.1	469 26.4	917 51.5	61 3.4	49 2.8	53 3.0	1,779
H30	672 35.4	1,200 63.2	533 28.1	901 47.5	55 2.9	72 3.8	78 4.1	1,898
H27	－ －	1,173 64.2	725 39.7	833 45.6	84 4.6	43 2.4	63 3.5	1,826
H25	－ －	1,119 61.8	661 36.5	823 45.4	87 4.8	69 3.8	92 5.1	1,812

※1 平成27年度以前は「詳しい方法や費用の広報」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「無料で固定してくれる専門家の派遣」と答えた人数

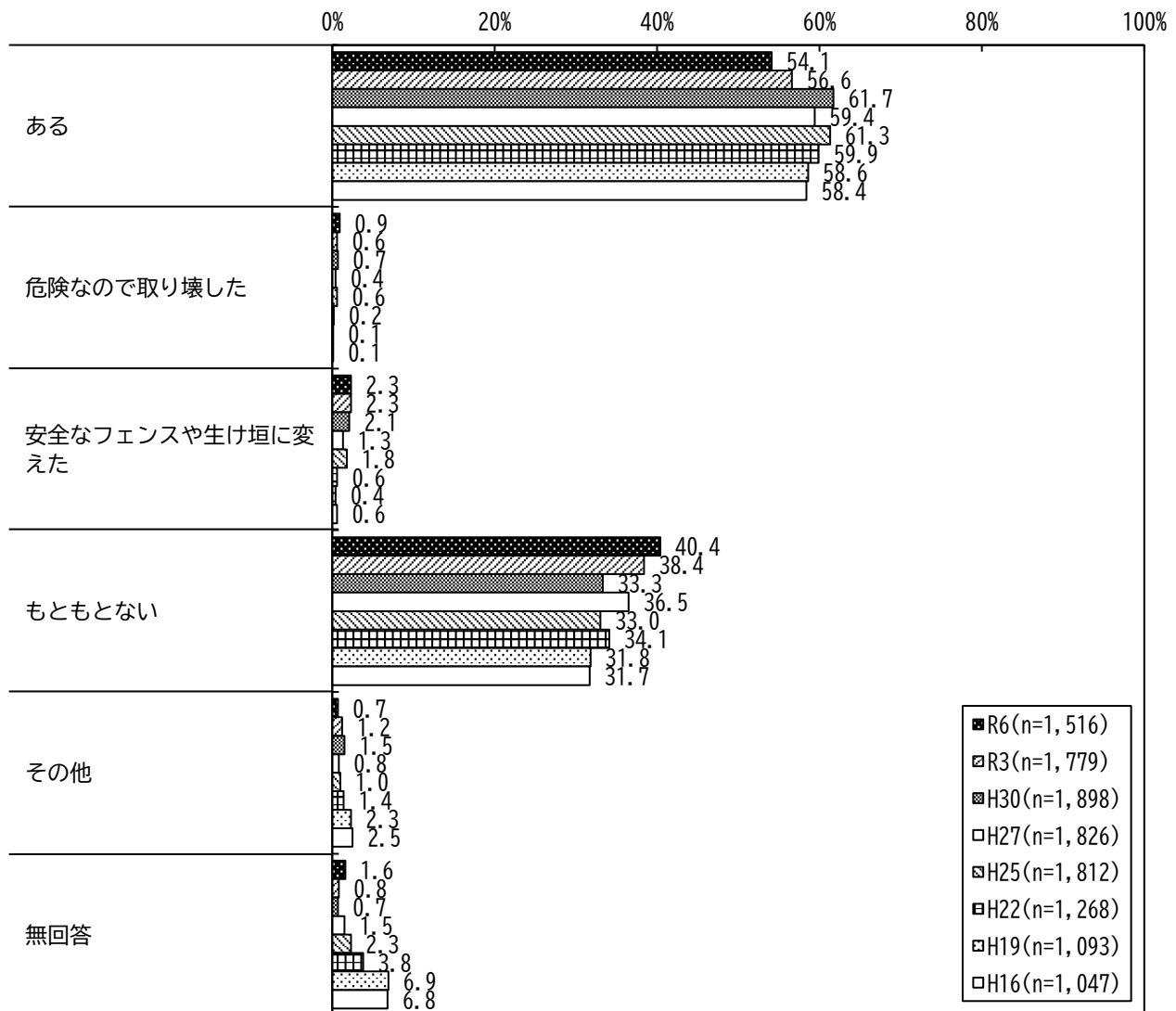


問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

各年度とも大きな差はないが、「ある」が54.1%と各年度の中で最も低くなっている。

	ある	危険な ので取り壊 した	安全なフェンスや 生け垣に変えた	もともとない	その他	無回答	合計
R6	820 54.1	13 0.9	35 2.3	613 40.4	11 0.7	24 1.6	1,516 100.0
R3	1,007 56.6	11 0.6	41 2.3	684 38.4	22 1.2	14 0.8	1,779 100.0
H30	1,172 61.7	13 0.7	39 2.1	632 33.3	28 1.5	14 0.7	1,898 100.0
H27	1,085 59.4	8 0.4	24 1.3	666 36.5	15 0.8	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,111 61.3	10 0.6	32 1.8	598 33.0	19 1.0	42 2.3	1,812 100.0
H22	760 59.9	3 0.2	8 0.6	432 34.1	18 1.4	48 3.8	1,268 100.0
H19	640 58.6	1 0.1	4 0.4	348 31.8	25 2.3	75 6.9	1,093 100.0
H16	611 58.4	1 0.1	6 0.6	331 31.7	26 2.5	71 6.8	1,047 100.0

上段：人数
下段：%



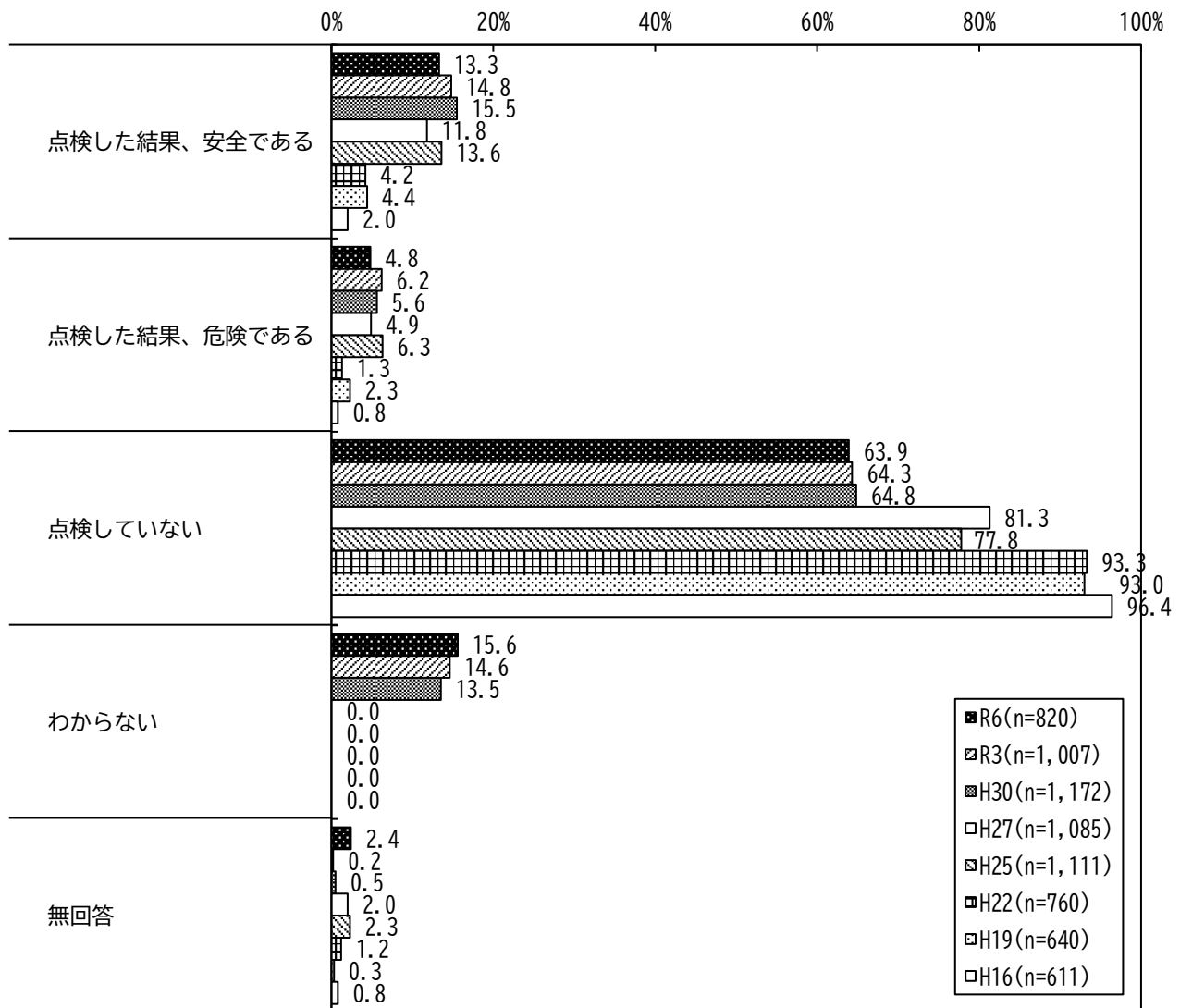
問31 問30で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

各年度とも「点検していない」が最も高く、令和6年度でも63.9%となっているが、平成16年度以降減少の傾向にある。

	点検した結果、 安全である	点検した結果、 危険である	点検して いない	わからない	無回答	合計
R6	109 13.3	39 4.8	524 63.9	128 15.6	20 2.4	820 100.0
R3	149 14.8	62 6.2	647 64.3	147 14.6	2 0.2	1,007 100.0
H30※1	182 15.5	66 5.6	760 64.8	158 13.5	6 0.5	1,172 100.0
H27※1	128 11.8	53 4.9	882 81.3	— —	22 2.0	1,085 100.0
H25※1	151 13.6	70 6.3	864 77.8	— —	26 2.3	1,111 100.0
H22	32 4.2	10 1.3	709 93.3	— —	9 1.2	760 100.0
H19	28 4.4	15 2.3	595 93.0	— —	2 0.3	640 100.0
H16	12 2.0	5 0.8	589 96.4	— —	5 0.8	611 100.0

※1 「敷地にブロック塀や石塀・門柱などがある」と答えた人数



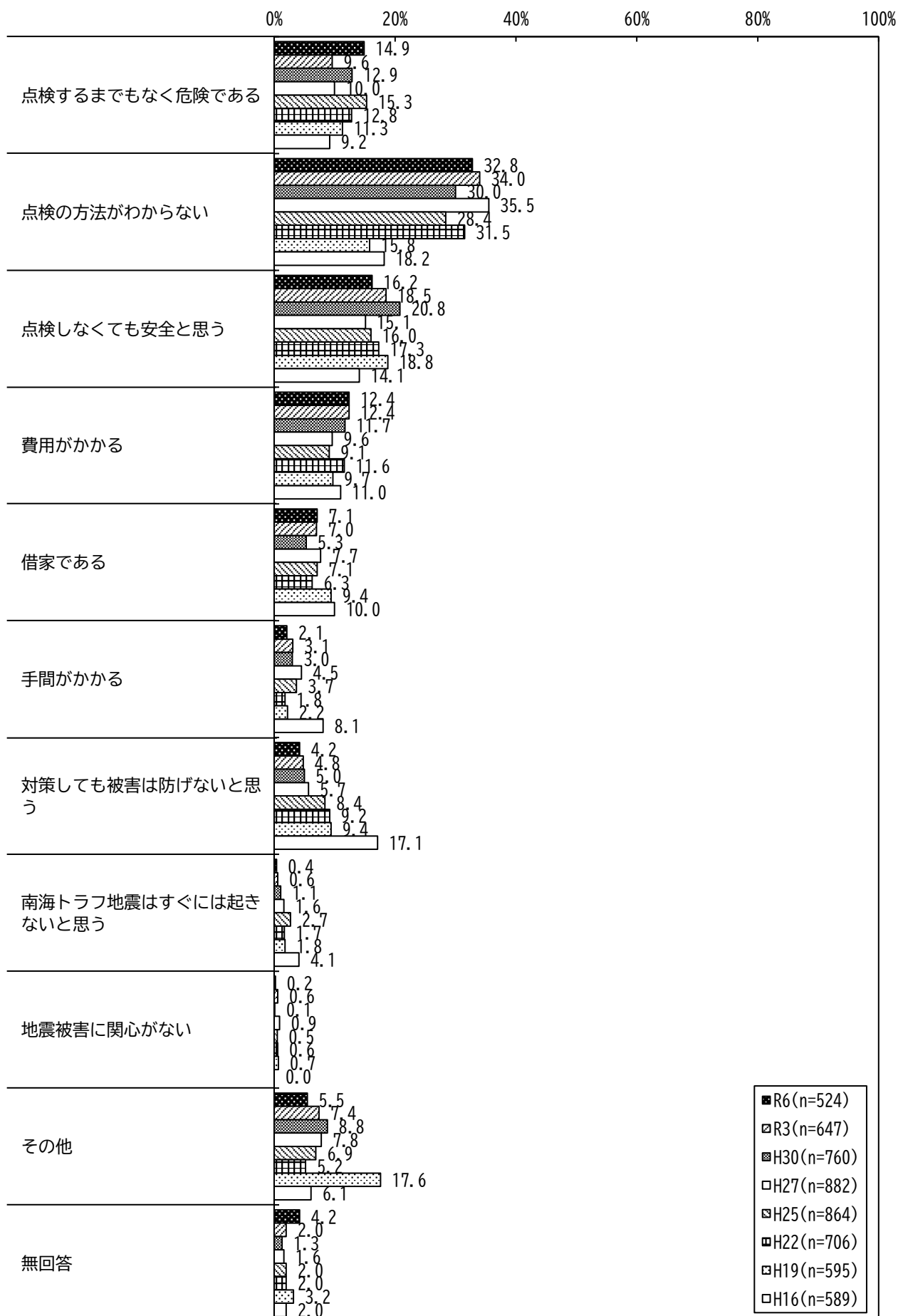
問32 問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

各年度で大きな変化はない。

上段：人数
下段：%

	点検するまでもなく危険である	点検の方法がわからない	点検しなくても安全と思う	費用がかかる	借家である	手間がかかる	対策しても被害は防げないと思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震被害に関心がない	その他	無回答	合計
R6	78 14.9	172 32.8	85 16.2	65 12.4	37 7.1	11 2.1	22 4.2	2 0.4	1 0.2	29 5.5	22 4.2	524 100.0
R3	62 9.6	220 34.0	120 18.5	80 12.4	45 7.0	20 3.1	31 4.8	4 0.6	4 0.6	48 7.4	13 2.0	647 100.0
H30※1	98 12.9	228 30.0	158 20.8	89 11.7	40 5.3	23 3.0	38 5.0	8 1.1	1 0.1	67 8.8	10 1.3	760 100.0
H27※1	88 10.0	313 35.5	133 15.1	85 9.6	68 7.7	40 4.5	50 5.7	14 1.6	8 0.9	69 7.8	14 1.6	882 100.0
H25※1	132 15.3	245 28.4	138 16.0	79 9.1	61 7.1	32 3.7	73 8.4	23 2.7	4 0.5	60 6.9	17 2.0	864 100.0
H22※2	90 12.8	222 31.5	122 17.3	82 11.6	45 6.3	13 1.8	65 9.2	12 1.7	4 0.6	37 5.2	14 2.0	706 100.0
H19※2	67 11.3	94 15.8	112 18.8	58 9.7	56 9.4	13 2.2	56 9.4	11 1.8	4 0.7	105 17.6	19 3.2	595 100.0
H16※2	54 9.2	107 18.2	83 14.1	65 11.0	59 10.0	48 8.1	101 17.1	24 4.1	0 0.0	36 6.1	12 2.0	589 100.0

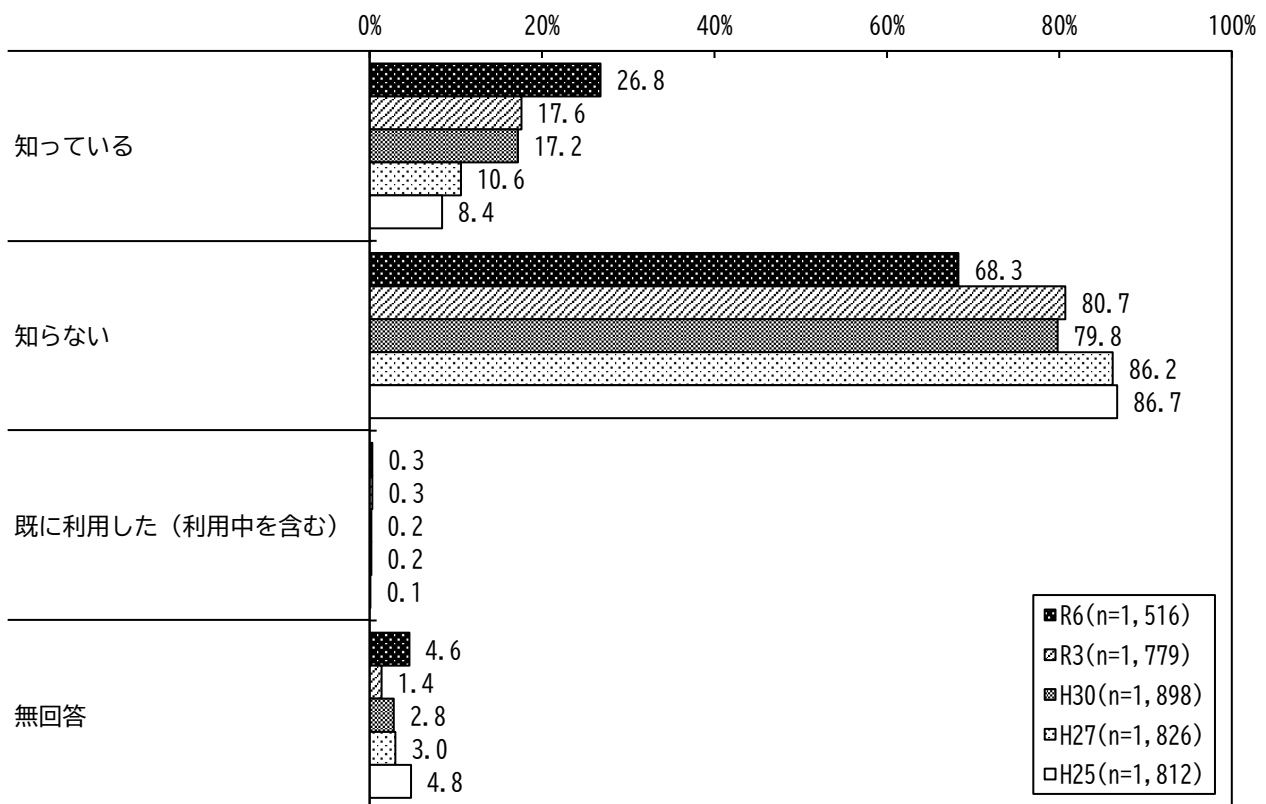
※1 「ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の点検をしていない」と答えた人数



問34 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助をしていますか。 (ひとつだけ○)

令和6年度では、「知らない」の割合が68.3%と令和3年度より12.4ポイント減少している。

	上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%		上段：人数 下段：%	
	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	合計	
R6	406 26.8	1,036 68.3	5 0.3	69 4.6	1,516 100.0	
R3	313 17.6	1,435 80.7	6 0.3	25 1.4	1,779 100.0	
H30	326 17.2	1,515 79.8	3 0.2	54 2.8	1,898 100.0	
H27	193 10.6	1,574 86.2	4 0.2	55 3.0	1,826 100.0	
H25	152 8.4	1,571 86.7	2 0.1	87 4.8	1,812 100.0	



問43 問42で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

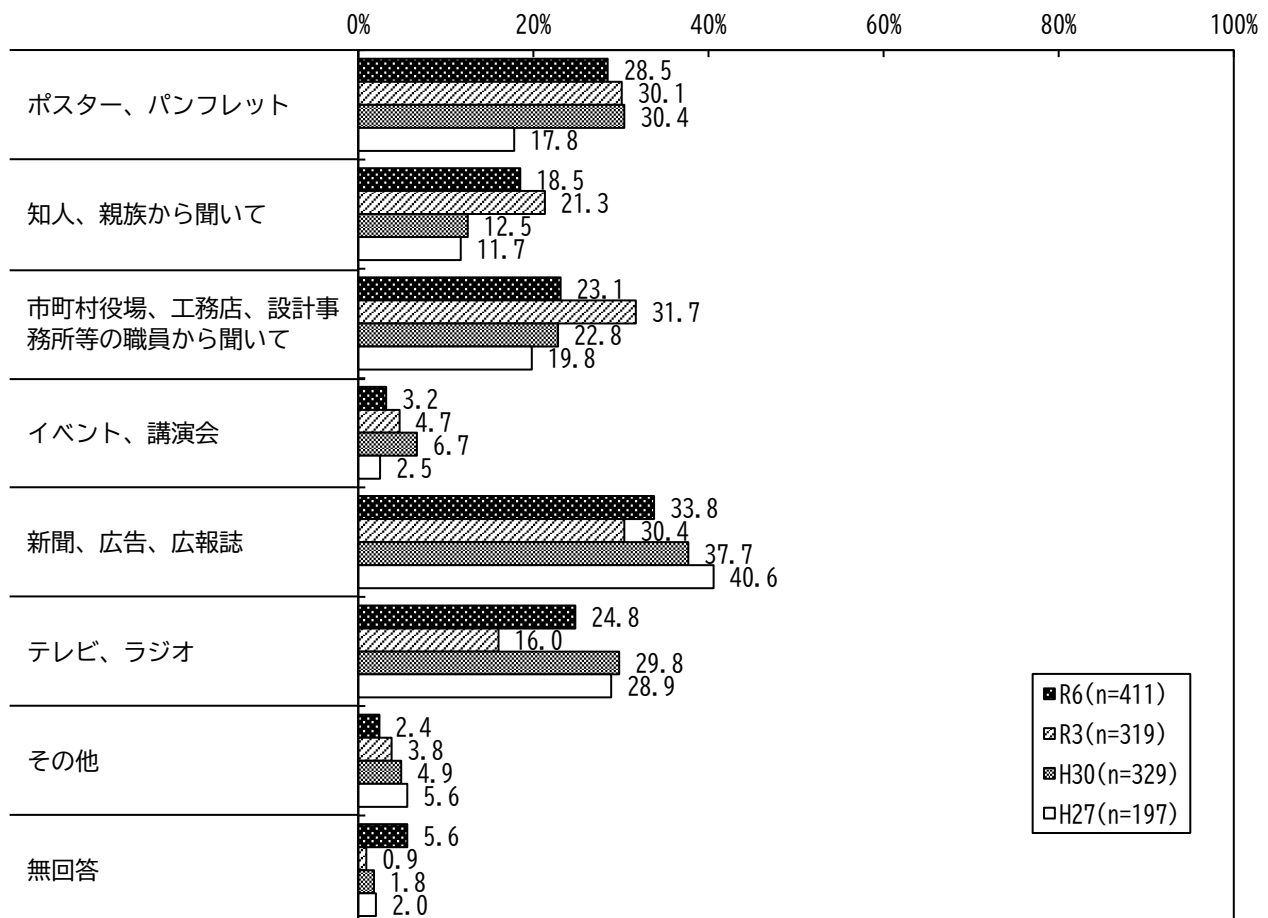
令和3年度と比較すると、「新聞、広告、広報誌」が3.4ポイント、「テレビ、ラジオ」が8.8ポイント増加している。

一方、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が8.6ポイント減少している。

上段：人数
下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて※	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R6	117 28.5	76 18.5	95 23.1	13 3.2	139 33.8	102 24.8	10 2.4	23 5.6	411
R3	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9	319
H30	100 30.4	41 12.5	75 22.8	22 6.7	124 37.7	98 29.8	16 4.9	6 1.8	329
H27	35 17.8	23 11.7	39 19.8	5 2.5	80 40.6	57 28.9	11 5.6	4 2.0	197

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数



問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

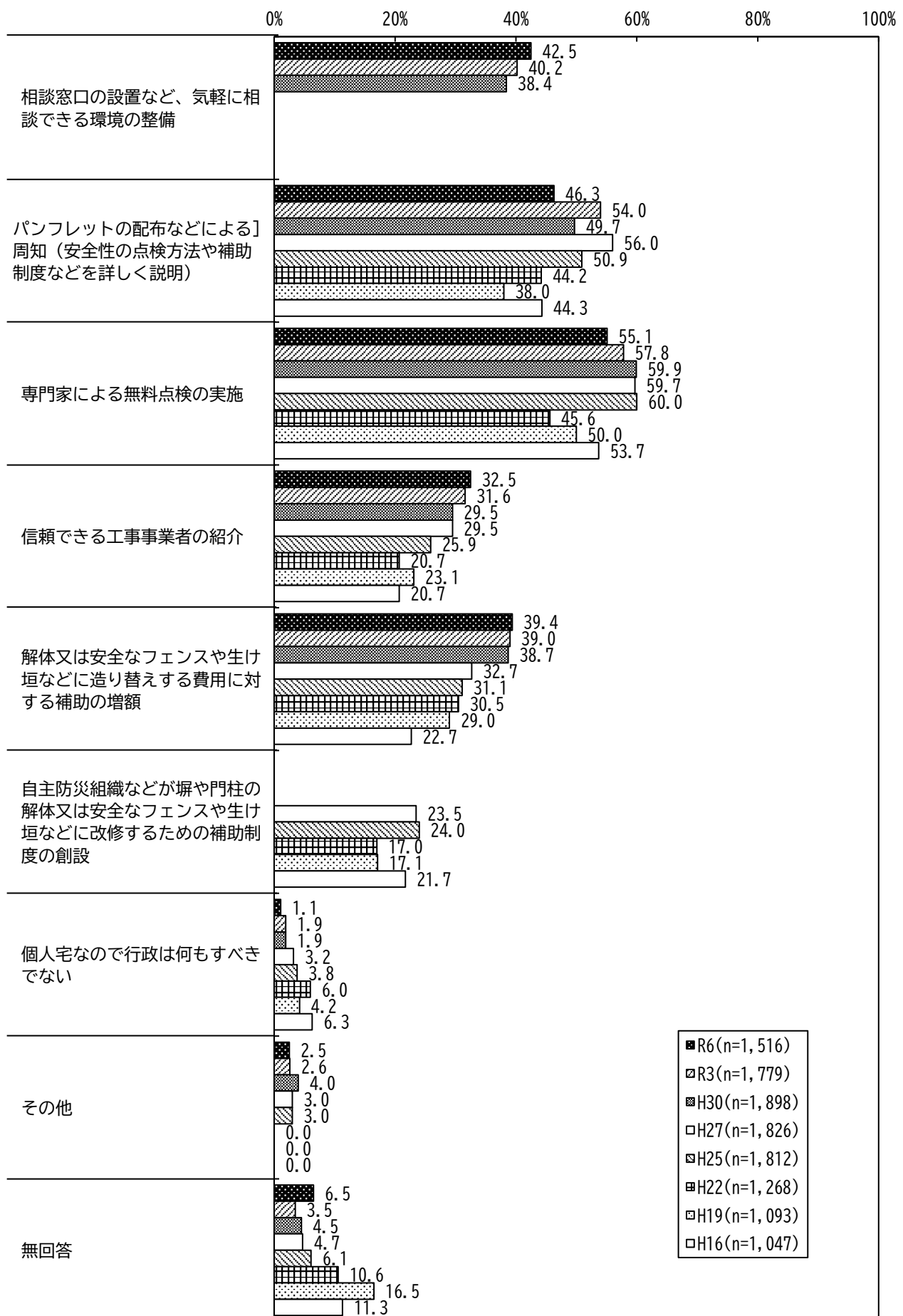
各年代で「専門家による無料点検の実施」が最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明)」が高くなっており、この順番は平成16年度以降変わっていない。

上段：人数
下段：%

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明) ※1	専門家による無料点検の実施	信頼できる工事業業者の紹介	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額※2	自主防災組織などが塀や門柱の解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修するための補助制度の創設	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R6	645 42.5	702 46.3	835 55.1	493 32.5	597 39.4	- -	17 1.1	38 2.5	98 6.5	1,516
R3	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	- -	33 1.9	46 2.6	62 3.5	1,779
H30	728 38.4	944 49.7	1,137 59.9	560 29.5	734 38.7	- -	36 1.9	76 4.0	85 4.5	1,898
H27	- -	1,022 56.0	1,090 59.7	538 29.5	598 32.7	429 23.5	59 3.2	54 3.0	86 4.7	1,826
H25	- -	923 50.9	1,088 60.0	469 25.9	563 31.1	434 24.0	69 3.8	55 3.0	110 6.1	1,812
H22	- -	561 44.2	578 45.6	263 20.7	387 30.5	216 17.0	76 6.0	0 0.0	134 10.6	1,268
H19	- -	415 38.0	547 50.0	253 23.1	317 29.0	187 17.1	46 4.2	0 0.0	180 16.5	1,093
H16	- -	133 44.3	161 53.7	62 20.7	68 22.7	65 21.7	19 6.3	0 0.0	34 11.3	300

※1 平成27年度以前は「安全性の点検方法や解体、改修方法などを詳しく説明したパンフレットの配布」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対する補助の増額」と答えた人数



問41 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

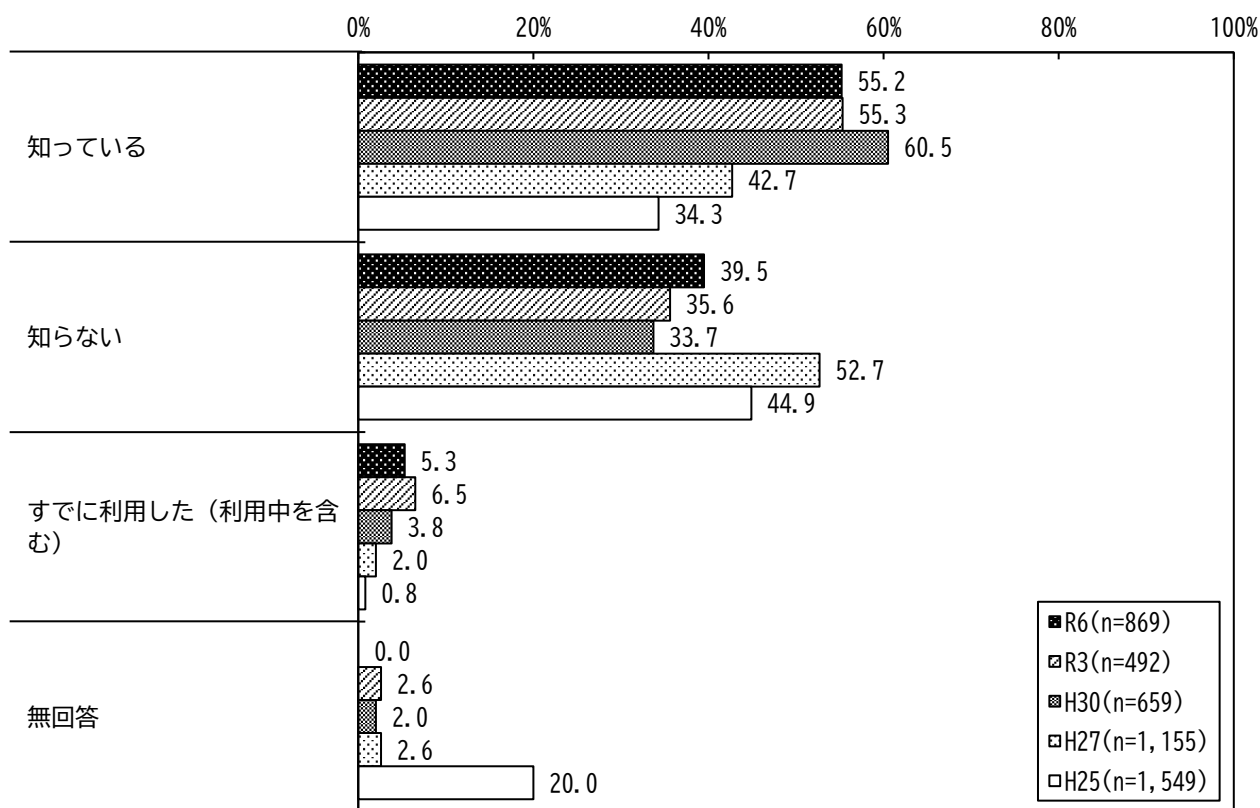
「知っている」は令和6年度は55.2%と、令和3年度と変化はなく、依然として50%以上となっている。

	知っている	知らない	すでに利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R6	480 55.2	343 39.5	46 5.3	- -	869 100.0
R3	272 55.3	175 35.6	32 6.5	13 2.6	492 100.0
H30※1	399 60.5	222 33.7	25 3.8	13 2.0	659 100.0
H27※2	493 42.7	609 52.7	23 2.0	30 2.6	1,155 100.0
H25※3	531 34.3	695 44.9	13 0.8	310 20.0	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問42 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

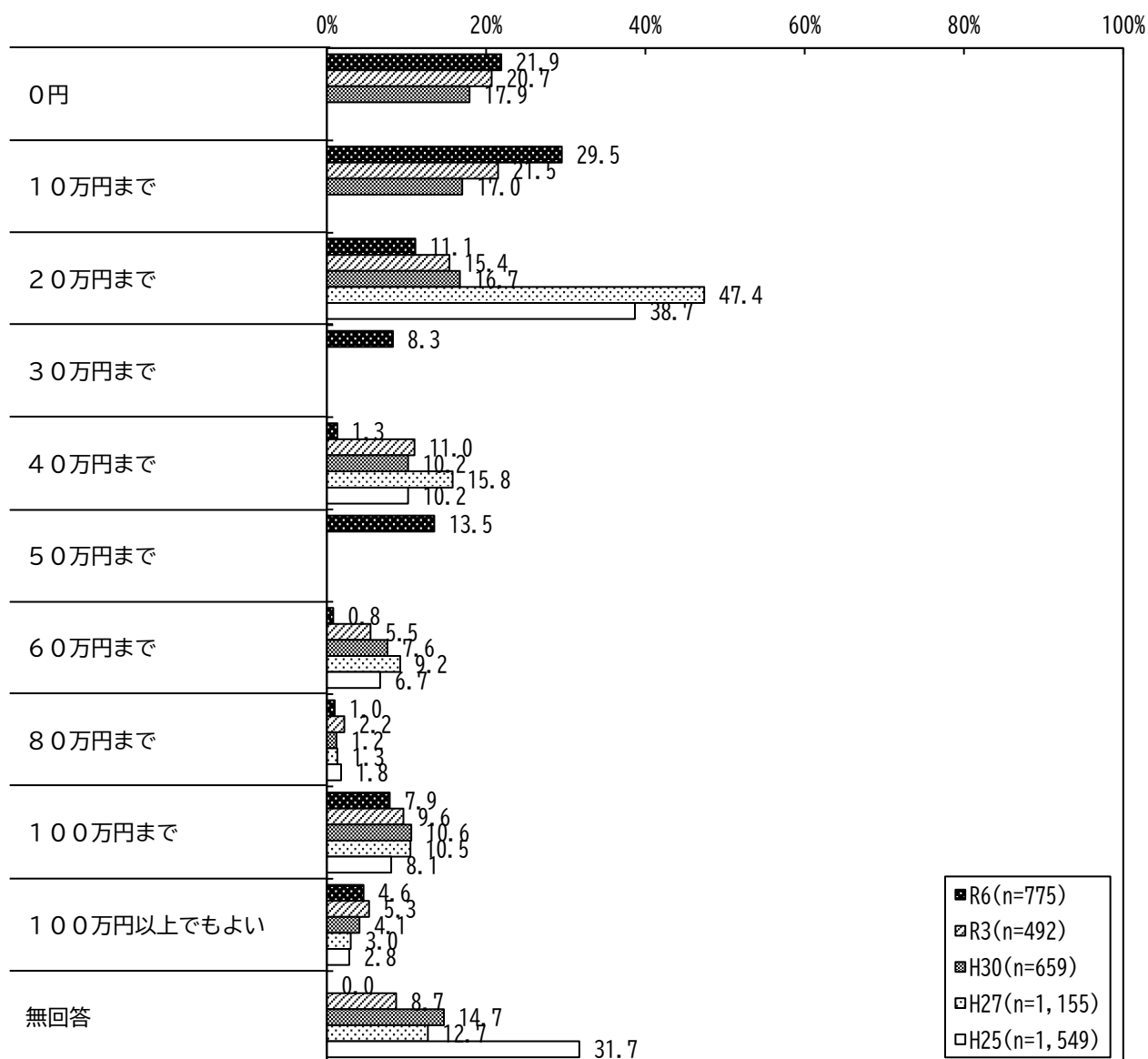
令和6年度では「0円」、「10万円まで」、「20万円まで」を合計すると62.5%となり、平成25年度以降の「20万円まで」で比較すると年々増加している。

	0円	10万円まで	20万円まで	30万円まで	40万円まで	50万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答	合計
R6	170 21.9	229 29.5	86 11.1	64 8.3	10 1.3	105 13.5	6 0.8	8 1.0	61 7.9	36 4.6	- -	775 100.0
R3	102 20.7	106 21.5	76 15.4	- -	54 11.0	- -	27 5.5	11 2.2	47 9.6	26 5.3	43 8.7	492 100.0
H30※1	118 17.9	112 17.0	110 16.7	- -	67 10.2	- -	50 7.6	8 1.2	70 10.6	27 4.1	97 14.7	659 100.0
H27※2	- -	- -	548 47.4	- -	183 15.8	- -	106 9.2	15 1.3	121 10.5	35 3.0	147 12.7	1,155 100.0
H25※3	- -	- -	599 38.7	- -	158 10.2	- -	104 6.7	28 1.8	125 8.1	44 2.8	491 31.7	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

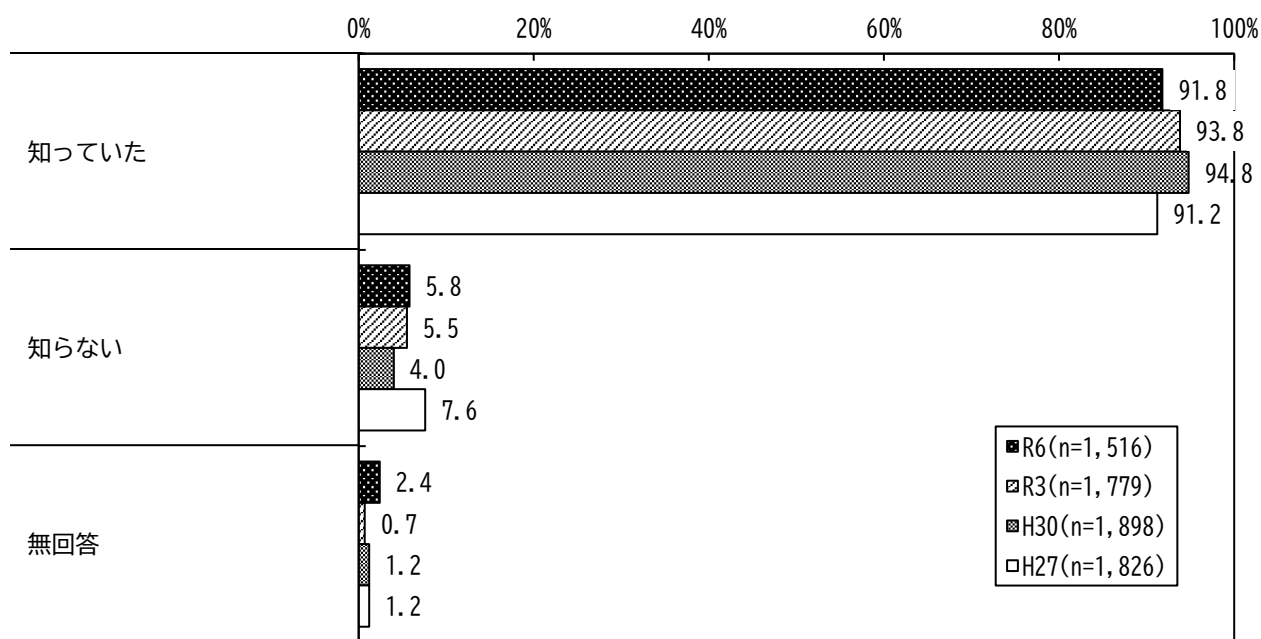
※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問44 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな差はない。

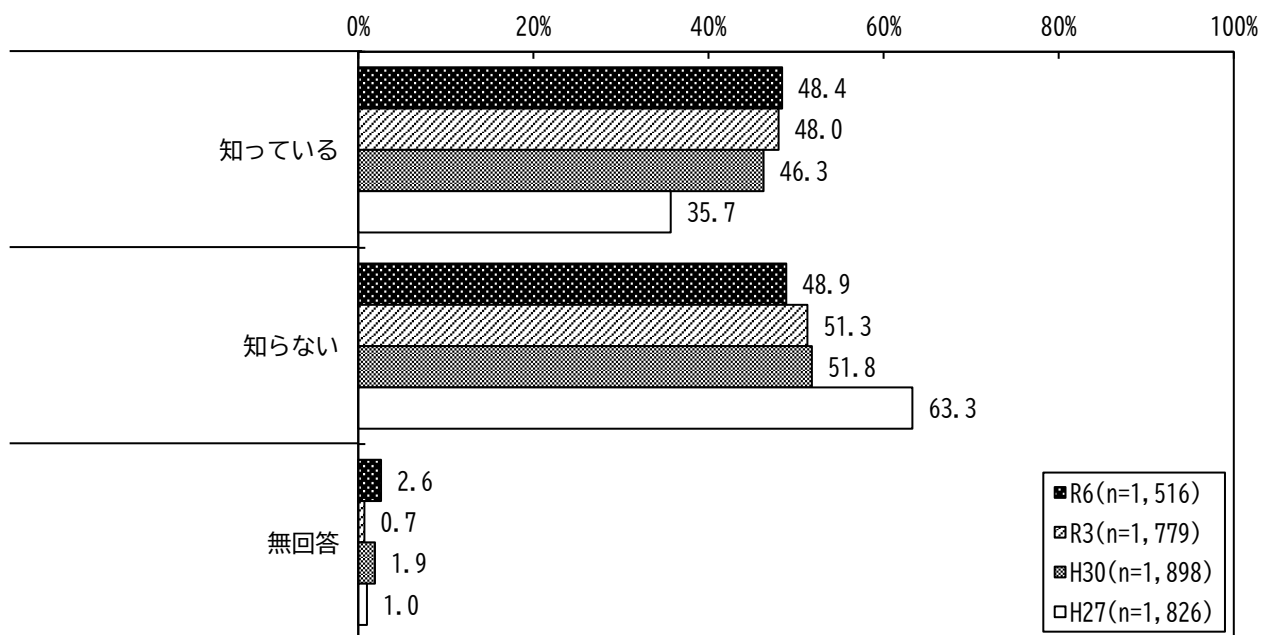
	上段：人数 下段：%			
	知っていた	知らない	無回答	合計
R6	1,391 91.8	88 5.8	36 2.4	1,516 100.0
R3	1,669 93.8	97 5.5	13 0.7	1,779 100.0
H30	1,800 94.8	76 4.0	22 1.2	1,898 100.0
H27	1,666 91.2	139 7.6	21 1.2	1,826 100.0



問45 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。
(ひとつだけ○)

「知っている」は平成27年度以降増加している。

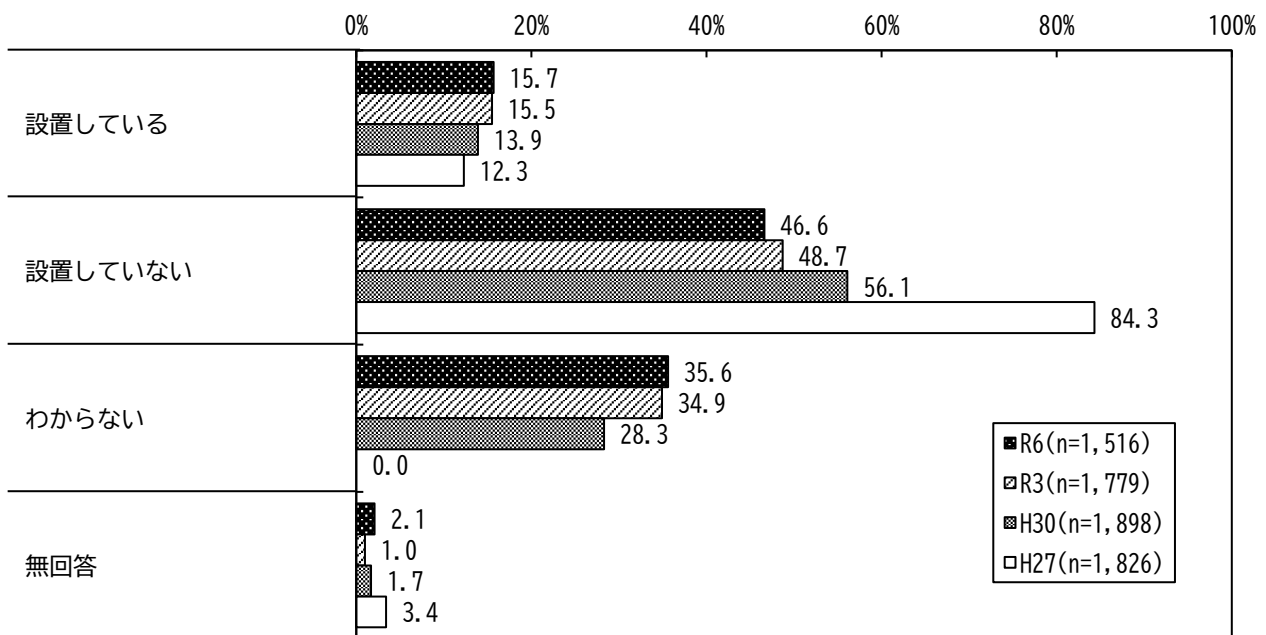
	上段：人数 下段：%			
	知っている	知らない	無回答	合計
R6	734 48.4	742 48.9	40 2.6	1,516 100.0
R3	854 48.0	913 51.3	12 0.7	1,779 100.0
H30	878 46.3	984 51.8	36 1.9	1,898 100.0
H27	651 35.7	1,156 63.3	19 1.0	1,826 100.0



問46 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

「設置していない」の割合は、平成27年度は84.3%だったが、令和6年度では46.6%まで減少している。
「わからない」は平成30年度から7.3ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%				
	設置している	設置していない	わからない	無回答	合計
R6	238 15.7	707 46.6	539 35.6	32 2.1	1,516 100.0
R3	276 15.5	866 48.7	620 34.9	17 1.0	1,779 100.0
H30	264 13.9	1,064 56.1	538 28.3	32 1.7	1,898 100.0
H27	225 12.3	1,539 84.3	－ －	62 3.4	1,826 100.0



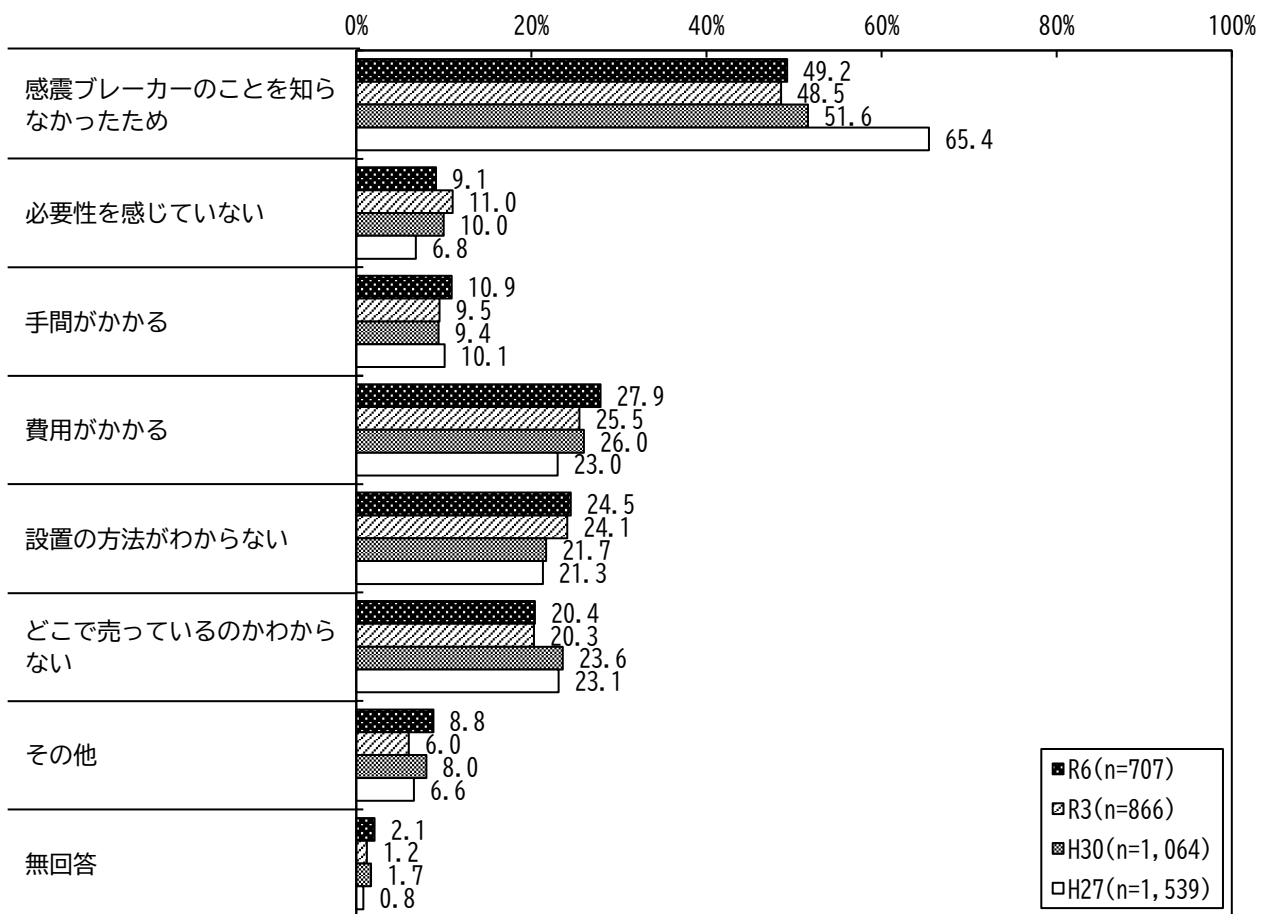
問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○）

「感震ブレーカーのことを知らなかったため」は平成27年度から割合が減少しており、平成27年度では65.4%だったが、令和6年度は49.2%と16.2ポイント減少している。

上段：人数
下段：%

	感震ブレーカーの ことを知らな かったため	必要 性を感 じて いない	手 間が かか る	費 用が かか る	設 置の 方法 がわ から ない	い どこ で売 っ て い るの か わ か ら ない	そ の 他	無 回 答	合 計
R6	348 49.2	64 9.1	77 10.9	197 27.9	173 24.5	144 20.4	62 8.8	15 2.1	707 100.0
R3	420 48.5	95 11.0	82 9.5	221 25.5	209 24.1	176 20.3	52 6.0	10 1.2	866
H30	549 51.6	106 10.0	100 9.4	277 26.0	231 21.7	251 23.6	85 8.0	18 1.7	1,064
H27	1,007 65.4	104 6.8	155 10.1	354 23.0	328 21.3	355 23.1	101 6.6	12 0.8	1,539

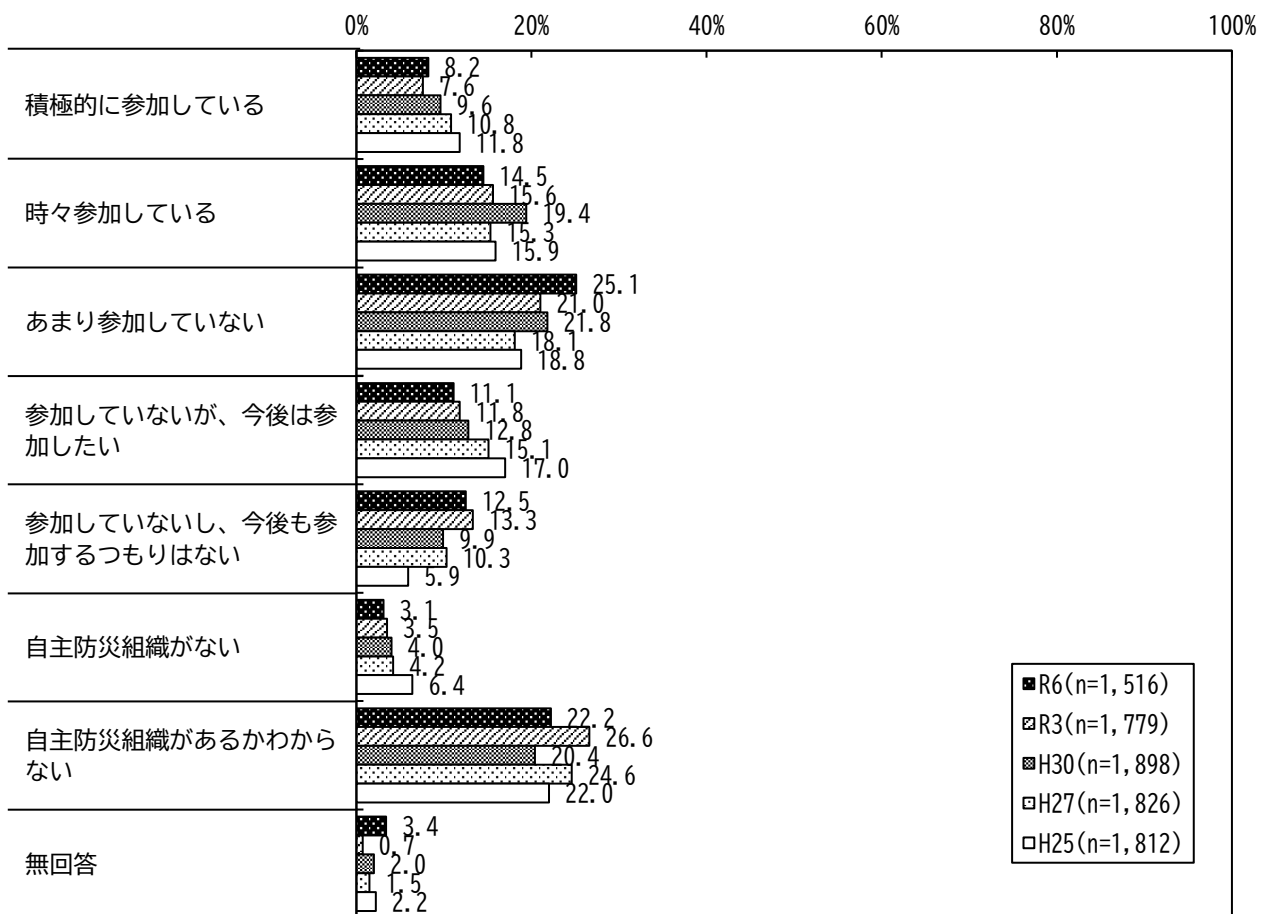


問53 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練、学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

「積極的に参加している」は平成25年度以降減少していたが、令和6年度は8.2%と前年度より0.6ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	積極的に参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していないが、今後は参加したい	参加していないし、今後参加するつもりはない	自主防災組織がない	自主防災組織があるかわからない	無回答	合計
R6	125 8.2	220 14.5	380 25.1	168 11.1	189 12.5	47 3.1	336 22.2	51 3.4	1,516 100.0
R3	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7	1,779 100.0
H30	183 9.6	369 19.4	413 21.8	243 12.8	188 9.9	76 4.0	388 20.4	38 2.0	1,898 100.0
H27	198 10.8	280 15.3	331 18.1	276 15.1	188 10.3	76 4.2	449 24.6	28 1.5	1,826 100.0
H25	213 11.8	289 15.9	341 18.8	308 17.0	107 5.9	116 6.4	398 22.0	40 2.2	1,812 100.0



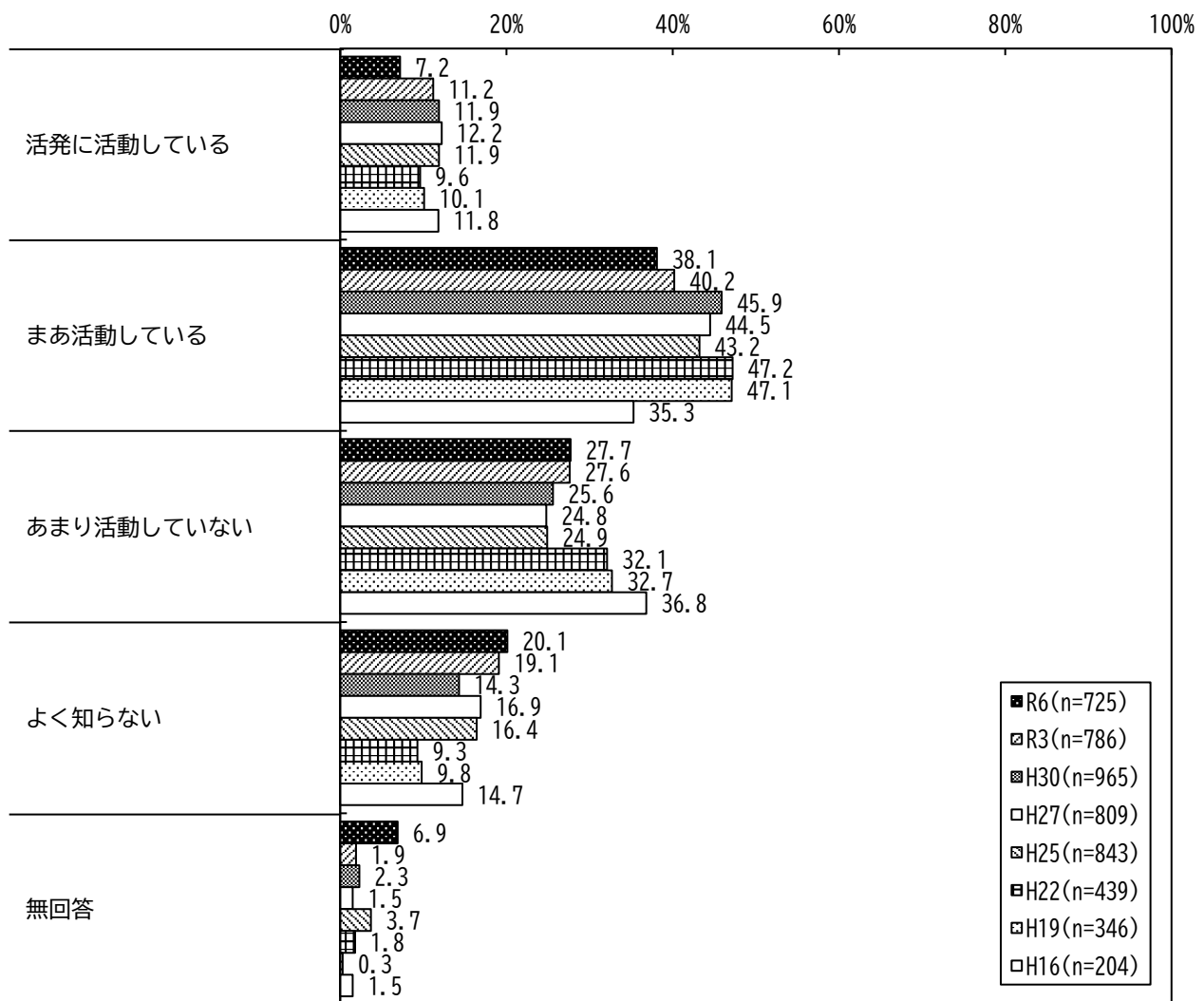
問54 問53で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

「よく知らない」が平成22年度より10.8ポイント増加している。

	活 発 に 活 動 し て い る	ま あ 活 動 し て い る	あ ま り 活 動 し て い な い	い よ く 知 ら な い	無 回 答	合 計
R6	52 7.2	276 38.1	201 27.7	146 20.1	50 6.9	725 100.0
R3	88 11.2	316 40.2	217 27.6	150 19.1	15 1.9	786 100.0
H30※1	115 11.9	443 45.9	247 25.6	138 14.3	22 2.3	965 100.0
H27※1	99 12.2	360 44.5	201 24.8	137 16.9	12 1.5	809 100.0
H25※1	100 11.9	364 43.2	210 24.9	138 16.4	31 3.7	843 100.0
H22	42 9.6	207 47.2	141 32.1	41 9.3	8 1.8	439 100.0
H19	35 10.1	163 47.1	113 32.7	34 9.8	1 0.3	346 100.0
H16	24 11.8	72 35.3	75 36.8	30 14.7	3 1.5	204 100.0

※1 「お住まいの地域の自主防災組織の活動に参加したことがある」と答えた人数

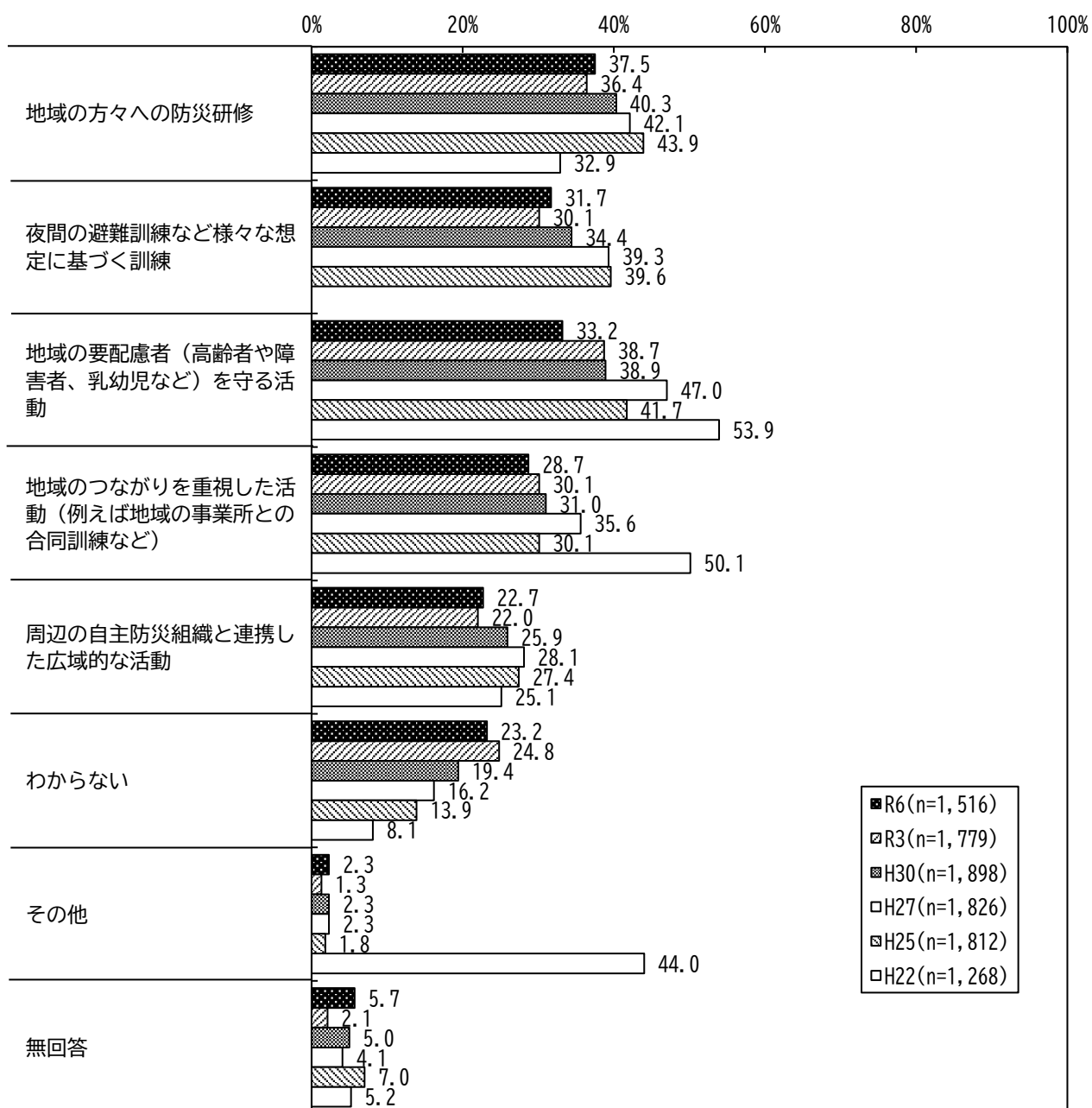


問55 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

それぞれの活動の割合は大きな変化見られないが、「わからない」の割合は、平成22年度の8.1%だったが、令和6年度では23.2%と、15.1ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	地域の方々への防災研修	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	わからない	その他	無回答	合計
R6	568 37.5	480 31.7	504 33.2	435 28.7	344 22.7	352 23.2	35 2.3	87 5.7	1,516
R3	648 36.4	535 30.1	689 38.7	535 30.1	391 22.0	442 24.8	24 1.3	38 2.1	1,779
H30	764 40.3	653 34.4	738 38.9	589 31.0	492 25.9	368 19.4	43 2.3	95 5.0	1,898
H27	769 42.1	718 39.3	858 47.0	650 35.6	514 28.1	296 16.2	42 2.3	74 4.1	1,826
H25	795 43.9	717 39.6	755 41.7	545 30.1	497 27.4	252 13.9	33 1.8	126 7.0	1,812
H22	239 32.9	- -	391 53.9	364 50.1	182 25.1	59 8.1	319 44.0	38 5.2	726



問60 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

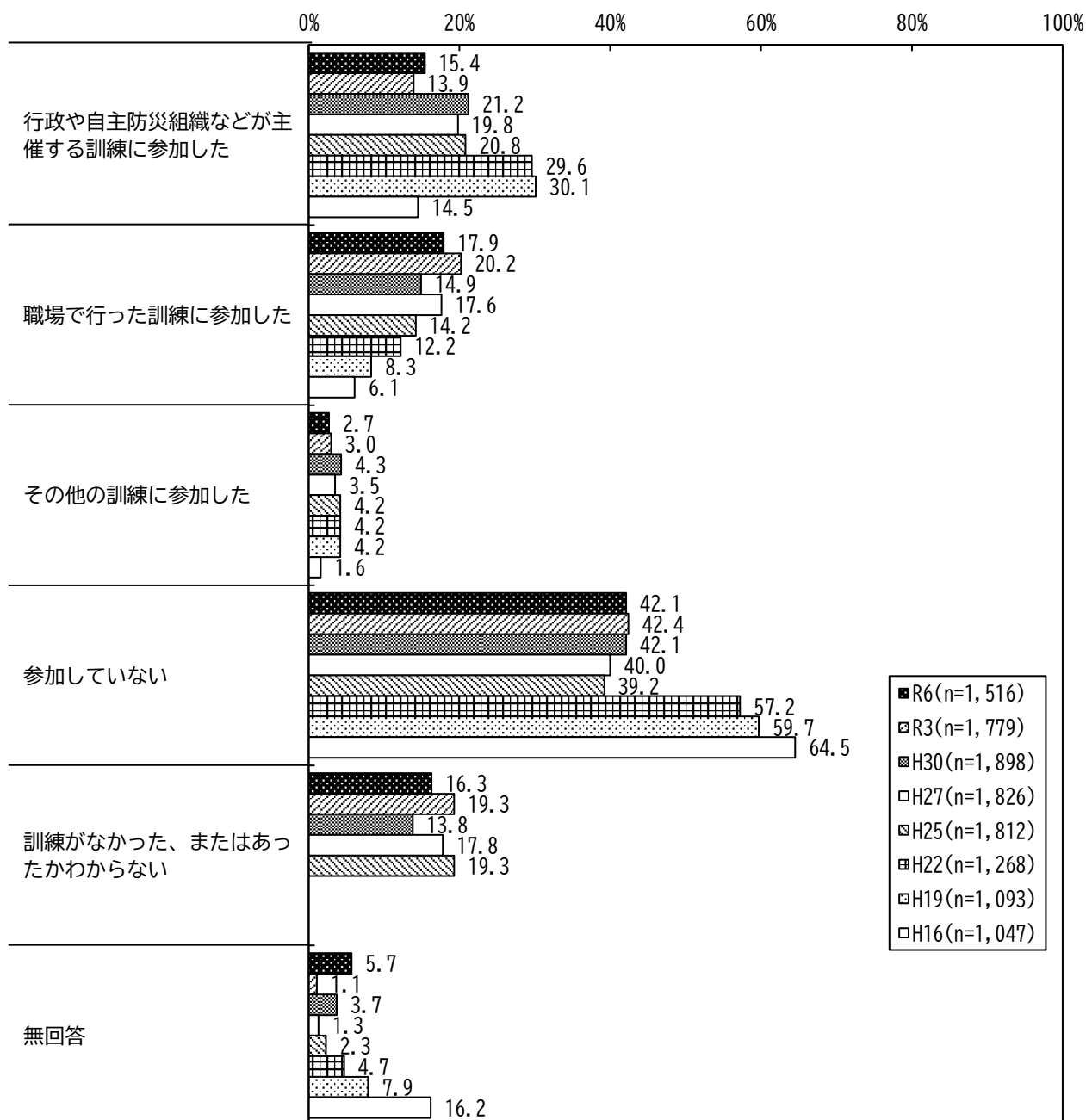
「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は、平成25年後以降は約20%で推移していたが、令和6年度では15.4%と5.4ポイント近く減少した。

「参加していない」は、各年度で最も高くなっており、防災訓練の参加者を増やす取り組みをさらに力を入れる必要がある。

上段：人数
下段：%

	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	職場で行った訓練に参加した	その他の訓練に参加した	参加していない	訓練がなかった、またはあったかわからない	無回答	合計
R6	233 15.4	271 17.9	41 2.7	638 42.1	247 16.3	86 5.7	1,516 100.0
R3	248 13.9	359 20.2	54 3.0	754 42.4	344 19.3	20 1.1	1,779 100.0
H30	403 21.2	283 14.9	81 4.3	799 42.1	262 13.8	70 3.7	1,898 100.0
H27	362 19.8	321 17.6	64 3.5	731 40.0	325 17.8	23 1.3	1,826 100.0
H25	376 20.8	258 14.2	77 4.2	710 39.2	350 19.3	41 2.3	1,812 100.0
H22※1	349 29.6	137 12.2	40 4.2	686 57.2	－ －	56 4.7	1,268
H19※1	310 30.1	76 8.3	22 4.2	609 59.7	－ －	76 7.9	1,093
H16※1	147 14.5	60 6.1	19 1.6	664 64.5	－ －	157 16.2	1,047

※1 平成16年度～平成22年度は複数回答



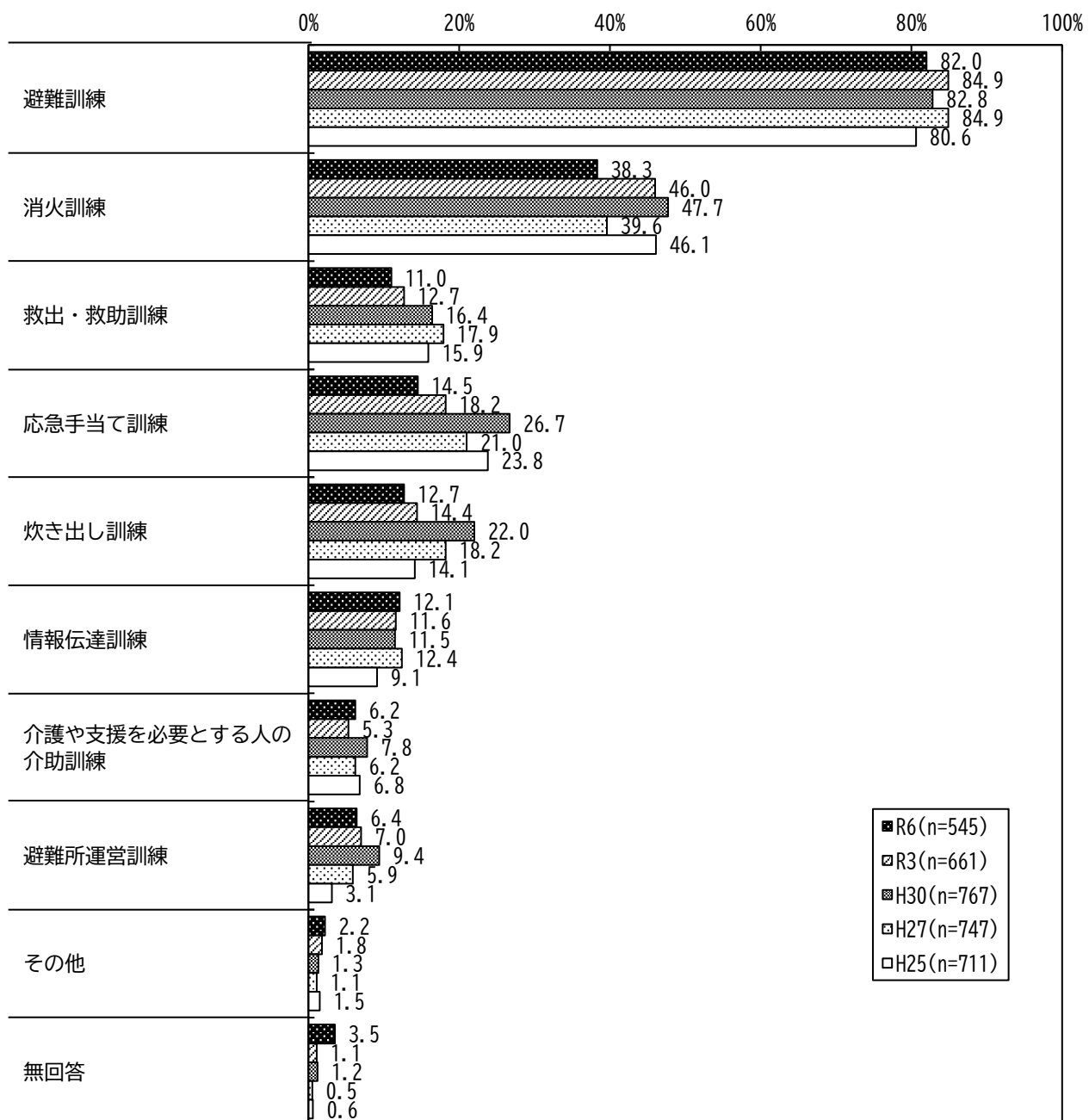
問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

各年度、「避難訓練」の割合が8割台と最も高くなっている。

	避難訓練	消火訓練	救出・救助訓練	応急手当訓練	炊き出し訓練	情報伝達訓練	介護や支援を必要とする人の介助訓練	避難所運営訓練	その他	無回答	合計
R6	447 82.0	209 38.3	60 11.0	79 14.5	69 12.7	66 12.1	34 6.2	35 6.4	12 2.2	19 3.5	545
R3	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1	661
H30	635 82.8	366 47.7	126 16.4	205 26.7	169 22.0	88 11.5	60 7.8	72 9.4	10 1.3	9 1.2	767
H27	634 84.9	296 39.6	134 17.9	157 21.0	136 18.2	93 12.4	46 6.2	44 5.9	8 1.1	4 0.5	747
H25	573 80.6	328 46.1	113 15.9	169 23.8	100 14.1	65 9.1	48 6.8	22 3.1	11 1.5	4 0.6	711

上段：人数
下段：%



問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

(2つまで○)

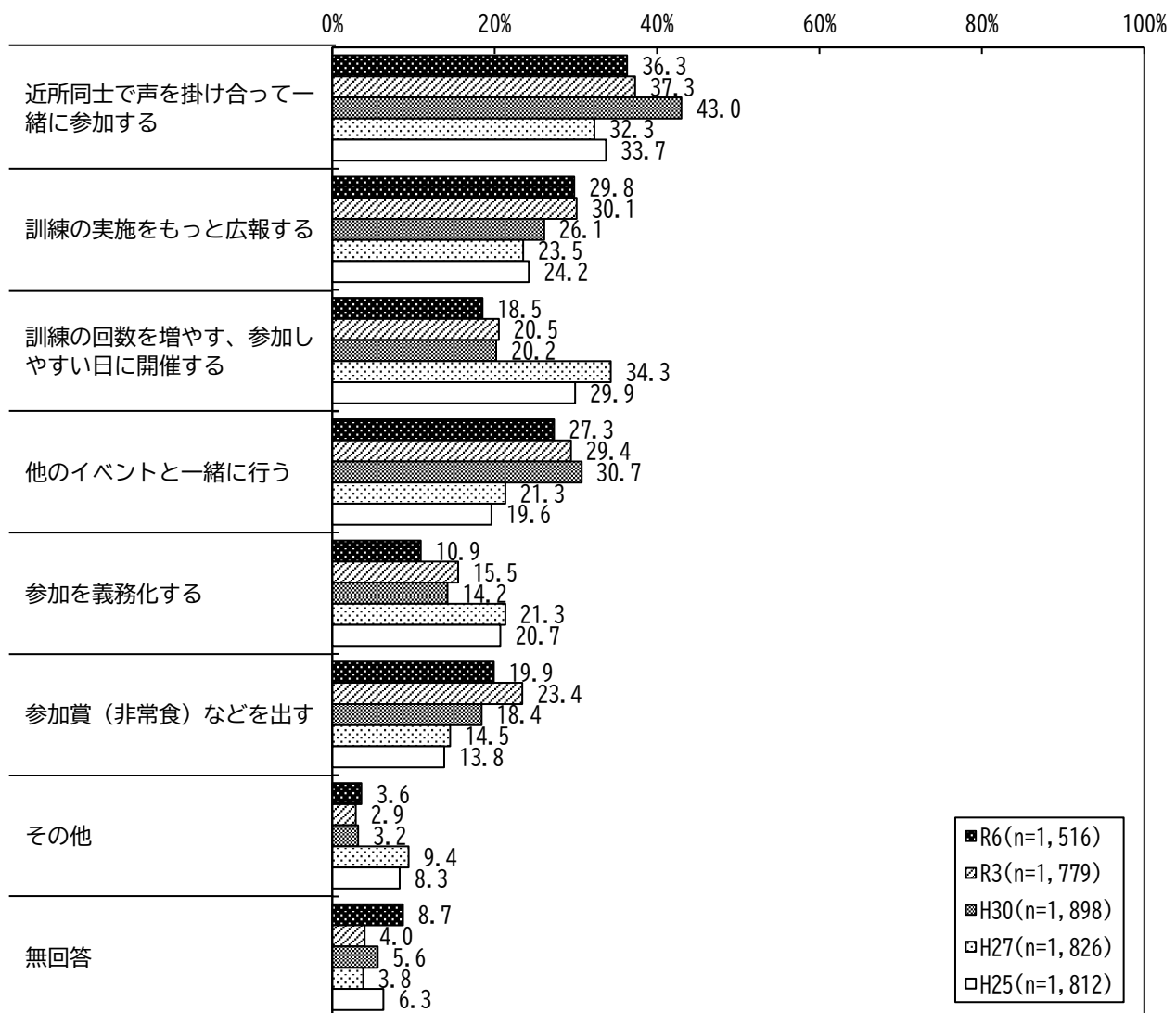
各年度、大きな変化は見られなかった。

	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	訓練の実施をもっと広報する※1	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	他のイベントと一緒に 行う	参加を義務化する	参加賞(非常食)などを出す※2	その他	無回答	合計
R6	550 36.3	452 29.8	280 18.5	414 27.3	165 10.9	301 19.9	54 3.6	132 8.6	1,516
R3	664 37.3	535 30.1	365 20.5	523 29.4	275 15.5	417 23.4	51 2.9	72 4.0	1,779
H30	817 43.0	496 26.1	383 20.2	583 30.7	270 14.2	349 18.4	61 3.2	106 5.6	1,898
H27※3	236 32.3	172 23.5	251 34.3	156 21.3	156 21.3	106 14.5	69 9.4	28 3.8	731
H25※3	239 33.7	172 24.2	212 29.9	139 19.6	147 20.7	98 13.8	59 8.3	45 6.3	710

※1 平成27年度以前は「パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「非常食などを出す」と答えた人数

※3 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に「参加していない」と答えた人数



問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

「地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化」の割合が、平成27年度の44.5%をピークに減少しており、令和6年度では25.5%とその差は19.0ポイントとなっている。

上段：人数
下段：%

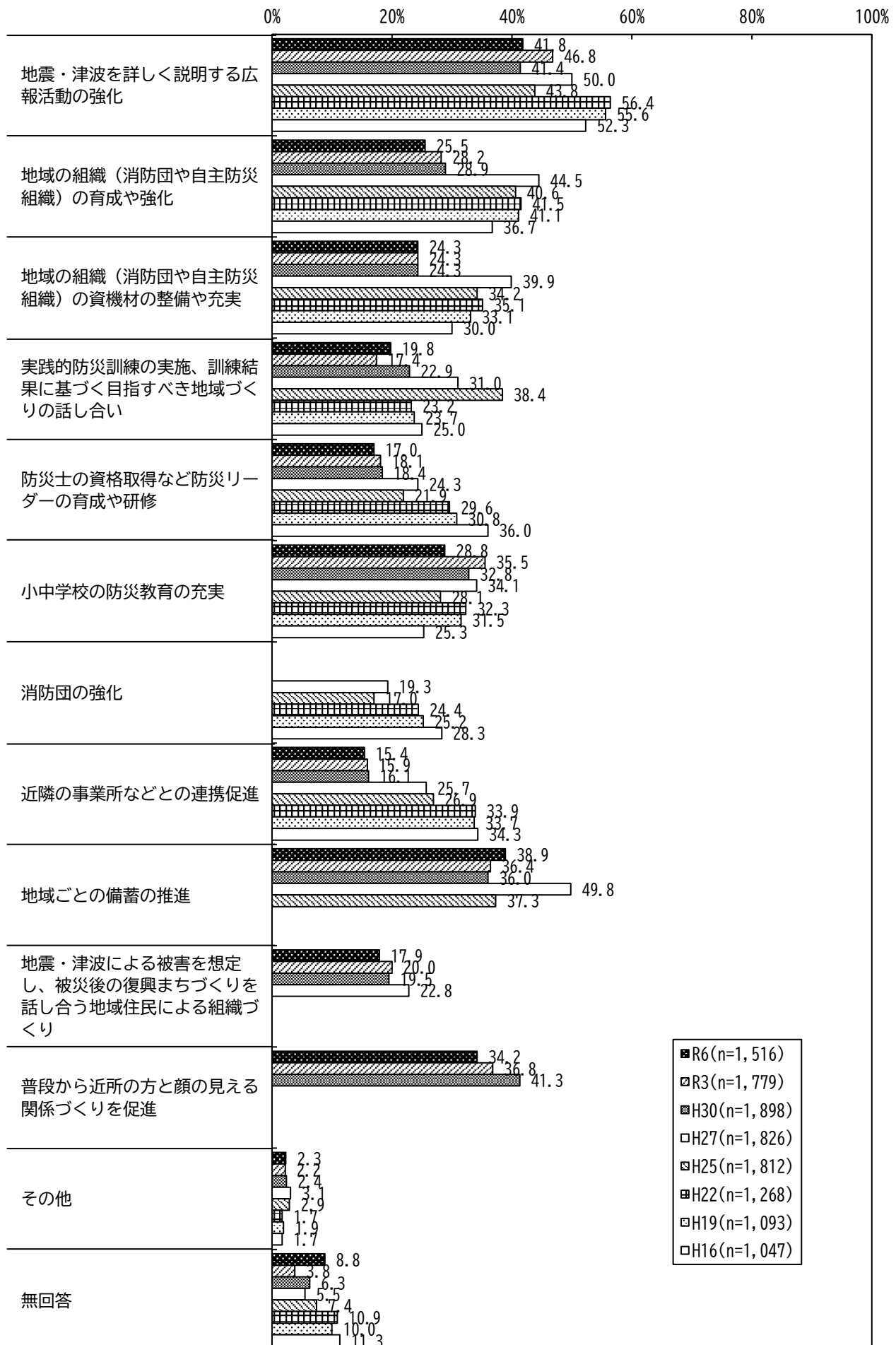
	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化※1	地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実※2	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	小中学校の防災教育の充実	消防団の強化	近隣の事業所などとの連携促進※3	地域ごとの備蓄の推進※4	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	その他	無回答	合計
R6	634 41.8	387 25.5	369 24.3	300 19.8	257 17.0	436 28.8	- -	233 15.4	589 38.9	271 17.9	519 34.2	35 2.3	133 8.8	1,516
R3	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	- -	283 15.9	648 36.4	356 20.0	655 36.8	39 2.2	67 3.8	1,779
H30	785 41.4	548 28.9	461 24.3	434 22.9	350 18.4	623 32.8	- -	306 16.1	683 36.0	371 19.5	783 41.3	45 2.4	119 6.3	1,898
H27	913 50.0	813 44.5	729 39.9	566 31.0	444 24.3	622 34.1	352 19.3	469 25.7	909 49.8	417 22.8	- -	57 3.1	101 5.5	1,826
H25	794 43.8	735 40.6	620 34.2	695 38.4	397 21.9	509 28.1	308 17.0	488 26.9	675 37.3	- -	- -	53 2.9	134 7.4	1,812
H22	710 56.4	519 41.5	443 35.1	291 23.2	380 29.6	405 32.3	304 24.4	431 33.9	- -	- -	- -	25 1.7	139 10.9	1,268
H19	612 55.6	448 41.1	360 33.1	262 23.7	338 30.8	349 31.5	273 25.2	371 33.7	- -	- -	- -	21 1.9	109 10.0	1,093
H16	156 52.3	111 36.7	90 30.0	75 25.0	108 36.0	75 25.3	84 28.3	102 34.3	- -	- -	- -	6 1.7	33 11.3	300

※1 平成27年度以前は「自主防災組織の育成や強化」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「自主防災組織の防災資機材の整備や充実」と答えた人数

※3 平成27年度以前は「消防団や近隣の事業所などとの連携促進」と答えた人数

※4 平成27年度以前は「地域ごとの備蓄」と答えた人数



XI 参考資料

〔調査票〕

地震・津波県民意識調査

【調査票】

《回答にあたってのお願い》

アンケートの回答期限：令和6年8月27日（火）

1. この調査は、個人を対象としていますので、宛名のご本人がご回答ください。
(ご本人が病気などで記入できない場合は、ご家族がご本人の立場でご回答ください)
2. この調査は、郵送またはオンラインで回答することができます。
3. 郵送で回答する場合は、この調査票の当てはまる番号に○印をつけていただき、
ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、8月27日（火）までにご投
函ください。（切手は不要です）
4. オンラインで回答する場合は、8月27日（火）までに下記の専用回答フォームから
ご回答ください。
 - ※ オンラインでご回答いただく場合は、調査票の郵送は必要ありません。
 - ※ 郵送とオンラインで重複して回答することはできません。
 - ※ 重複回答があった場合は、郵送の回答が優先されます。

＜オンライン回答はこちらから＞

【URL】

https://www.pref.kochi.lg.jp/form/010201/kenminisikicyousa_r6/

【調査票番号】

7js4r3



- ※ 調査票番号はオンライン回答時にご入力ください。
- ※ この番号から個人を特定することはありません。

1. あなたのことに、おうかがいします。

問1 以下の項目は、アンケートでいただいた回答が年代、世帯状況などによってどういう違いが見られるか、といった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

1-① 性別（ひとつだけ○）

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない

1-② 年齢（ひとつだけ○）

1. 10 歳代	2. 20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
5. 50 歳代	6. 60 歳代	7. 70 歳以上	

1-③ 職業（主なものにひとつだけ○）

1. 農林業	2. 漁業
3. 商工サービス業自営	4. 会社員（役員を含む）、公務員
5. 自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	6. 主婦・主夫
7. パート、アルバイト	8. 学生
9. 無職（すでに退職を含む）	10. その他（ ）

1-④ 同居しているご家族は何人いますか。（ひとつだけ○）

1. 0 人（独居）	2. 1 人	3. 2 人	4. 3 人
5. 4 人	6. 5 人	7. 6 人以上	

1-⑤ 同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。

（当てはまるものすべてに○）

1. 3 歳以下の乳幼児	2. 4 歳以上で小学校入学前の子ども
3. 小学生	4. 70 歳以上の人
5. 日常生活で介護や支援を必要とする人	6. 妊産婦
7. 1～6 の人はいない	

2. 南海トラフ地震に関する認識について、おうかがいします。

南海トラフを震源とする地震は、これまで概ね 90 年から 150 年ごとに発生し、高知県はそのたびに大きな被害を受けてきました。昭和 21 年（1946 年）12 月に発生した昭和南海地震から 70 年以上が経過し、南海トラフのどこかでマグニチュード 8 以上の地震が発生する確率は、今後 30 年以内に 70%～80%程度と公表されています。

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。（ひとつだけ○）

1. 知っていた	2. この調査票などを見るまで知らなかった

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 揺れで、建物に被害が出る	2. 揺れで、家具が転倒する
3. 火災	4. 津波
5. 山崩れ、がけ崩れ	6. 危険はない
7. その他 ()	

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

※緊急地震速報とは、地震による強い揺れが発生することを事前(揺れる前)にテレビやラジオ、携帯電話などでお知らせするものです。

1. 机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	
2. 急いで外に出る	3. 家族に危険を知らせる
4. 何もしない	5. その他 ()

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

1. 新聞	2. テレビ
3. ラジオ	4. インターネット (SNS 含む)
5. 街頭のチラシ、ポスター、掲示板	6. その他 ()

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

1. 啓発テレビ番組、テレビ CM	2. 啓発ラジオ番組、ラジオ CM
3. SNS (YouTube、LINE など)	4. 新聞広告
5. 路面電車、路線バスの吊り広告	6. 県のホームページ
7. 啓発冊子「南海トラフ地震に備えちょき」※R2 年度に全戸配布	
8. イベント等に出演している高知県ブース	9. 起震車体験
10. その他 ()	

問7 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 県の政策・取り組みをより詳しく紹介する |
| 2. 県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する |
| 3. 県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する |
| 4. 県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する |
| 5. 災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する |
| 6. 県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する |
| 7. 特にない |
| 8. わからない |
| 9. その他 () |

3. 津波避難対策について、おうかがいします。

南海トラフ地震が発生すると強い揺れの後に津波が沿岸部を襲います。津波から命を守るためには、揺れがおさまったら、津波警報や市町村からの避難の呼びかけを待たずにすぐに逃げることや、日頃から避難場所を確認しておくことが大変重要となります。

問8 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

1. 津波で浸水が予測される地域である
2. 津波で浸水が予測される地域ではない →問15へ
3. わからない →問15へ

※津波による浸水が予測される地域は、県や市町村の防災マップで確認することができますので、この機会にご確認ください。

【高知県防災マップ】<https://bousaimap.pref.kochi.lg.jp/>



問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

※津波は30cmの深さで避難できなくなり、1mになると命を落とすと言われています。

1. 地域の津波避難計画※で知った	2. 市町村のハザードマップ※※で知った
3. 県のホームページで知った	4. 新聞で知った
5. 知らない →問11へ	6. その他() →問11へ

※地域の津波避難計画とは、お住まいの地域の津波浸水予測や避難経路、避難場所などを明らかにし、いざというときに安全に避難するために作成するものです。

※※ハザードマップとは、津波浸水予測や避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したものです。

問10 問9で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

1. 10分未満	2. 30分未満	3. 60分未満
4. 60分以上	5. 具体的な時間は知らない	

問11 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

1. 揺れがおさまった後、すぐに →問13へ
2. 津波警報が出たら
3. 市町村から避難の呼びかけがあったら
4. 周りの人が避難したら
5. 家族が避難したら
6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから
7. マンション等の高層階に住んでいるため避難しない →問16へ
8. 避難しない

問12 問11で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が 30cm 未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

すぐに避難しない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 津波が到達するまで時間があるため |
| 2. 本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため |
| 3. 避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため |
| 4. 自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため |
| 5. 家や家財を残して避難することに抵抗があるため |
| 6. その他 () |

問13 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

※避難場所とは、市町村が指定した高台や津波避難ビル、津波避難タワーなどのことです。

1. 確認している	2. 確認していない →問15へ

問14 問13で「1 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 行政や地域住民が決めた避難場所	2. 自宅近くの高台、高所
3. その他 ()	

問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 避難場所への移動に時間がかかる |
| 2. 避難場所への移動手段がない |
| 3. 避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる |
| 4. 避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる |
| 5. 避難場所が低地にある |
| 6. 避難場所の近くに崖がある |
| 7. 不安はない |
| 8. その他 () |

問16 お子さんが学校に通っている方のみお答えください。

東日本大震災では、お子さんを学校に迎えに行き、犠牲になるケースが多くありましたが、お子さんが通っている学校の避難場所を知っていますか。(ひとつだけ○)

※学校によっては避難場所が「学校」ではない場合があります。

1. 知っている	2. 知らない

4. 家庭での備えについて、おうかがいします。

南海トラフ地震が発生すると地域が孤立したり、被害が広範囲に及ぶため、県外などからの応援がすぐには届かないことも想定されます。このため、食料や飲料水などを家庭で備蓄することが大変重要となります。

※高知県としては3日分以上の備蓄を推奨しています。

問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

飲料水	食料
1. 7日分以上を備蓄している	1. 7日分以上を備蓄している
2. 3日～6日分を備蓄している	2. 3日～6日分を備蓄している
3. 2日分を備蓄している	3. 2日分を備蓄している
4. 1日分を備蓄している	4. 1日分を備蓄している
5. 備蓄していない	5. 備蓄していない

※長期保存の飲料水と食料とは、5年保存水、7年保存水などの長期保存水や、乾パン、アルファ化米などの非常用保存食品をいいます。また、飲料水は、1人1日3リットル必要と言われています。

問18 問17でお聞きした長期保存の飲料水や食料とは別に、あなたのご自宅には日常的に消費する飲料水、食料のストックが、おおよそ何日分ありますか。(それぞれ1つだけ○)

飲料水	食料
1. 7日分以上に相当する量がある	1. 7日分以上に相当する量がある
2. 3日～6日分に相当する量がある	2. 3日～6日分に相当する量がある
3. 2日分に相当する量がある	3. 2日分に相当する量がある
4. 1日分に相当する量がある	4. 1日分に相当する量がある
5. 1日分に満たない	5. 1日分に満たない

問19 問17と問18で回答した量が、合計しても3日分に満たない方のみお答えください。

飲料水、食料を3日分以上確保していない(できていない)のはどのような理由からですか。(それぞれ、最も大きな理由にひとつだけ○)

飲料水	食料
1. 必要性を感じていない	1. 必要性を感じていない
2. 手間がかかる	2. 手間がかかる
3. 費用がかかる	3. 費用がかかる
4. 置き場所がない	4. 置き場所がない
5. まとまった量を購入する習慣がない	5. まとまった量を購入する習慣がない
6. その他 ()	6. その他 ()

問20 南海トラフ地震の発生時には、下水道や排水管などが被災し、トイレが使えなくなる場合があります。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら(なるとしたら)、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

1. 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している
2. 携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定 →問22へ
3. 避難所のトイレを使用する →問22へ
4. 他に使用できる場所(避難所以外、屋外等)を探す →問22へ
5. 自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる →問22へ
6. 特に考えていない →問22へ
7. その他() →問22へ

問21 問20で「1. 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

あなたのご自宅では、トイレが使えなくなったときに備えて、家族分の簡易トイレや携帯トイレをどのくらい備蓄していますか。(1つだけ○)

※1人1日の平均排泄回数は5回とされています。

1. 7日以上を用意している	2. 3日～6日分を用意している
3. 1日～2日分を用意している	4. 1日分に満たない少量を用意している

問22 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている
2. 食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている
3. 安全に避難できるように枕元に靴などを置いている
4. 非常持ち出し品を用意している
5. 浴槽にいつも水をためている
6. 消火器を用意している
7. 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している
8. 調理用燃料を備蓄している
9. その他()

問23 お薬手帳(電子版)は、スマートフォン内で情報管理ができるため、自身だけでなく家族の服薬情報の保管や携帯性が高いため持ち運びが容易といったメリットがあり、災害時には大変有用なツールとなりますが利用していますか。(ひとつだけ○)

※お薬手帳(電子版)はスマートフォンでのみ利用可能

1. すでに利用している	2. 利用しようと思う
3. 利用したいが、やり方がわからない	4. スマートフォンを持っていないため、利用できない
5. 利用する予定はない	

問24 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

※地震によって発生した火災は、火災保険では補償されません。地震による建物(住宅)や家財の損害に備えるためには、火災保険にセットして地震保険に加入する必要があります。(地震保険だけの加入はできません。)

1. 加入している	2. 加入していない	3. わからない

問25 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つことが必要です。

あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(それぞれひとつだけ○)

いつ	どのくらい
1. 残量が半分くらいになった時	1. 満タンにする
2. 残量が4分の1程度になった時	2. 満タンにせず、一定の量を入れる
3. 残量がほとんど無くなった時	3. 満タンにせず、一定の金額分を入れる
4. 給油する機会はない	4. 給油する機会はない

※電気自動車を使用している場合など、ガソリン車を所有しておらず、ガソリンスタンドで給油する機会がない方は、選択肢4を選んでください。

5. 地震の揺れ対策について、おうかがいします。

南海トラフ地震が発生すると、強い揺れにより建物が全半壊するなど、大きな被害を受けることが想定されます。さらに揺れによって建物が被害を受けた場合、すぐに襲ってくる津波から避難することが困難となり、津波に巻き込まれる場合があります。

このため住宅の耐震化や家具の固定、ブロック塀の倒壊防止など県民の皆様の備えが大変重要となります。

<家具や家電などの固定について>

強い揺れにより、家具(タンス、本棚、食器棚、戸棚)や家電(冷蔵庫、電子レンジ、テレビ)などの転倒により死傷する場合があります。耐震金具などにより家具や家電などを固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

問26 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 固定している →問28へ |
| 2. 寝室(子供部屋を含む)だけは固定している |
| 3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない |
| 4. 固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない →問28へ |

問27 問26で「2. 寝室(子供部屋を含む)だけは固定している」～「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 建物や家具を傷つける	2. 固定の方法がわからない
3. 借家である	4. 費用がかかる
5. 手間がかかる	6. 固定しなくても大丈夫だと思う
7. 固定しても被害は出ると思う	8. 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う
9. 地震災害に関心がない	10. その他 ()

問28 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

1. 知っている	2. 知らない
3. 既に利用した(利用中を含む)	

問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備 |
| 2. 詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知 |
| 3. 固定してくれる専門家の派遣 |
| 4. 必要な費用の補助(取り付け金具を含む) |
| 5. 個人宅なので行政は何もすべきでない |
| 6. その他 () |

<ブロック塀などの倒壊防止について>

強い揺れにより倒壊した塀の下敷きになって死傷することや、倒壊した塀が避難や消火活動を妨げる場合があります。是非、ご自分でブロック塀などの安全性を点検してください。(添付のチラシに点検項目がございますのでご利用ください。)

点検後、危険な場合は、安全なフェンスや生け垣に変えるなど安全対策を行うことが重要となります。

問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------------------|
| 1. ある |
| 2. 危険なので取り壊した →問34へ |
| 3. 安全なフェンスや生け垣に変えた →問34へ |
| 4. もともとない →問34へ |
| 5. その他 () →問34へ |

問31 問30で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などは、地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 点検した結果、安全である →問34へ
- 2. 点検した結果、危険である →問33へ
- 3. 点検していない
- 4. わからない →問34へ

問32 問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

- 1. 点検するまでもなく危険である
- 2. 点検の方法がわからない
- 3. 点検しなくても安全と思う
- 4. 費用がかかる
- 5. 借家である
- 6. 手間がかかる
- 7. 対策しても被害は防げないと思う
- 8. 南海トラフ地震はすぐには起きないと思う
- 9. 地震被害に関心がない
- 10. その他 ()

問33 自宅の塀について、自己負担がどのくらいの費用なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

- 1. 0円
- 2. 10万円まで
- 3. 20万円まで
- 4. 40万円まで
- 5. 60万円まで
- 6. 80万円まで
- 7. 100万円まで
- 8. 100万円以上でもよい

問34 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助をしていますか。ご存知ですか。(ひとつだけ○)

※市町村によっては補助制度がない場合があります。

- 1. 知っている
- 2. 知らない →問36へ
- 3. すでに利用した(利用中を含む)

問35 問34で「1. 知っている」、「3. すでに利用した(利用中を含む)」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。(当てはまるものすべてに○)

- 1. ポスター、パンフレット
- 2. 知人、親族から聞いて
- 3. 市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて
- 4. イベント、講演会
- 5. 新聞、広告、広報誌
- 6. テレビ、ラジオ
- 7. その他 ()

問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備
2. パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）
3. 専門家による無料点検の実施
4. 信頼できる工事事業者の紹介
5. 解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替えする費用に対する補助の増額
6. 個人宅なので行政は何もすべきでない
7. その他（ ）

<住宅の耐震化について>

地震による住宅の倒壊は、命が失われる直接的な原因となるだけでなく、その後の地震火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れにつながるほか、倒壊した住宅のがれきが道路をふさいでしまうことによって消防活動や救急搬送が阻害され、さらに多くの命が失われることにもなります。

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は耐震診断を受け、耐震化が必要な場合は耐震改修を行いましょう。

問37 「昭和56年5月以前の木造住宅」にお住まいの方におたずねします。(増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。)

「昭和56年6月以降の木造住宅」にお住まいの方⇒問43へ

専門家による耐震診断(地震の揺れに対する建物の強さの診断)を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。(ひとつだけ○)

1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された →問39へ
2. 診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された →問41へ
3. 診断を受けたことはない

問38 問37で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断は補助制度を利用すると、3千円以下で行えますが、住宅の耐震診断を受けていない理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

※多くの市町村では、耐震診断は無料で行えます。

1. 自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う
2. 自宅が地震に強いと思っている
3. 自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味がない
4. 申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる
5. 耐震診断の費用がかかる
6. 耐震診断のやり方がわからない
7. 近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである
8. 近いうちに建て替えるつもりである
9. 耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない
10. どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う
11. その他（ ）

問39 問37で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。(ひとつだけ○)

1. 耐震改修工事を行った →問41へ
2. 今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定 →問41へ
3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない
4. 検討中

問40 問39で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 費用が高い
2. 申込み手続きに手間がかかる
3. 家の中に他人に入ってほしくない
4. 工事中の生活に支障が出る
5. 工事に伴う荷物の移動が面倒だ
6. 信頼できる業者を知らない
7. どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う
8. その他（ ）

問41 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事に係る費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. 知っている
2. 知らない
3. すでに利用した（利用中を含む）

問42 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの費用なら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

1. 0円	2. 10万円まで	3. 20万円まで
4. 30万円まで	5. 40万円まで	6. 50万円まで
7. 60万円まで	8. 80万円まで	9. 100万円まで
10. 100万円以上でもよい		

問43 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

1. 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備
2. 地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知
3. 戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明
4. 耐震診断士の無料派遣
5. 耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ
6. 一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援
7. 昭和 56 年 6 月以降（新耐震基準）で平成 12 年 5 月以前（2000 年基準）の住宅の耐震化（耐震診断、耐震設計、耐震改修工事）への費用の支援
8. 民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援
9. 信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策
10. 現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供
11. オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進
12. 行政には特に期待していない
13. その他（)

6. 地震火災対策について、おうかがいします。

地震時には、複数の場所で火災が同時に発生し、消防の対応力を超えてしまうことや、家屋やブロック塀が倒壊して道路をふさぎ、火災現場へ消防車両が入っていけないことも想定されますので、大規模火災に発展する可能性があります。

また、地震火災は、ストーブなどが転倒したり、その上に可燃物が落ちてくることにより火災が発生していますが、なかでも、阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因の分かっている火災のうち、6～7割が、電気が復旧した時に、破損した電気機器や屋内配線に、再び電流が流れることにより発生したものでした。

地震火災を防ぐためには、揺れが収まったあと、避難する時にブレーカーを落とすことが重要となります。

問44 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。
(ひとつだけ○)

1. 知っていた

2. 知らなかった

問45 電気機器類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー」を知っていますか。
(ひとつだけ○)

1. 知っている

2. 知らない

※感震ブレーカーとは、大きな揺れを感知した場合に、電気を自動的に遮断する装置です。分電盤タイプやコンセントタイプ、分電盤に設置する簡易タイプなど用途に応じて選択でき、電気による火災の発生を防止します。

※夜間に地震が発生した場合には、照明が消えることで屋外への避難の支障になる可能性もありますので、日頃から非常灯などの準備をしておくことが大切です。

※地震発生時に住宅内のすべての電気を遮断するタイプの場合は、常時電気を必要とする機器類（医療機器等）への電気も遮断しますので、設置にあたっては注意が必要です。

問46 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。(ひとつだけ○)

1. 設置している

2. 設置していない

3. わからない

問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものをすべてに○)

1. 感震ブレーカーのことを知らなかったため

2. 必要性を感じていない

3. 手間がかかる

4. 費用がかかる

5. 設置の方法がわからない

6. どこで売っているのかわからない

7. その他（

）

7. 避難生活について、おうかがいします。

強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住民の皆さま自らが行っていただく必要があります。

問48 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. 知っている	2. 知らない

※避難場所：津波などの災害から一時的に避難を行う場所

※避難所：自宅が全壊・半壊した場合やライフラインが使用できない場合に、一定期間生活するための場所

問49 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

1. 最寄りの避難所 →問51へ	2. 県内の親せきや友人の家 →問51へ
3. 県外の親せきや友人の家 →問51へ	4. 自家用車の中（車中泊）
5. テント（野宿）	6. その他（ ） →問51へ

問50 問49で「4. 自家用車の中(車中泊)」、「5. テント(野宿)」と回答した人におたずねします。 自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか。(3つまで○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う |
| 2. 避難所ではプライバシーが確保できないと思う |
| 3. 自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配 |
| 4. 自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活が送れるか心配 |
| 5. 家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配 |
| 6. ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配 |
| 7. その他（ ） |

問51 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。 (3つまで○)

1. 食料や水の問題	2. 日用品の問題
3. プライバシーの問題	4. 人間関係の問題（知らない人が多く不安など）
5. トイレの問題	6. 洗濯・入浴の問題
7. 避難生活によるストレスや体調不良	8. 持病の治療や悪化
9. 自分や家族が高齢者であること	10. 自分や家族が障害者であること
11. 家族に乳幼児がいること	12. ペットの問題
13. 不安はない	14. その他（ ）

問52 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

1. 関わりたい	2. 関わりたいが、やり方がわからない
3. できれば関わりたいくない	4. 関わりたいくない
5. わからない	

8. 自主防災組織について、おうかがいします。

県内各地では、地域の防災力を高めるために自主防災組織が結成され、さまざまな防災活動を行っています。積極的に自主防災組織の活動に参加しましょう。もし、お住いの地域に自主防災組織がない場合は、地域のみなさんと協力し、一緒に自主防災組織を立ち上げましょう。

問53 お住いの地域の自主防災組織の活動(訓練や学習会、避難路の点検など)へ参加していますか。(ひとつだけ○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 積極的に参加している |
| 2. 時々参加している |
| 3. あまり参加していない |
| 4. 参加していないが、今後は参加したい →問55へ |
| 5. 参加していないし、今後も参加するつもりはない →問55へ |
| 6. 自主防災組織がない →問55へ |
| 7. 自主防災組織があるかわからない→問55へ |

問54 問53で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住いの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

1. 活発に活動している	2. まあ活動している
3. あまり活動していない	4. よく知らない

問55 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 地域の方々への防災研修	
2. 夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	
3. 地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	
4. 地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	
5. 周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	
6. わからない	
7. その他（	）

9. 消防団について、おうかがいします。

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。

「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問56 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

1. 入団し、積極的に参加している
2. 入団し、時々参加している
3. 入団しているが、あまり参加していない
4. 入団していないが、参加してみたい →問58へ
5. 入団していないし、今後も参加する予定はない →問58へ
6. 住んでいる地域に消防団があるかわからない →問58へ

問57 問56で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○)

1. 自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから	2. 友人・知人に誘われたから
3. 報酬に魅力を感じたから	4. 人脈を広げられるから
5. カッコいいと思ったから	6. その他 ()

問58 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

1. 地域に密着した防災活動をしている
2. 地域を守る意識の高い方が参加している
3. 地元の人同士で和気あいあいと活動している
4. 体力が必要
5. 会社員は仕事があるので参加しづらい
6. 土日に訓練等の活動があり、大変
7. 若い人が不足している
8. 規律が厳しい
9. そもそも消防団とは何か知らない
10. その他 ()

問59 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。(3つまで○)

1. 団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる
2. 団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する
3. パンフレットやチラシ、テレビ CM などでもっと広報する
4. 訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する
5. 消防団の担っている役割の大切さや必要性を PR する
6. 消防団は必要ない
7. その他 ()

10. 地域の防災力について、おうかがいします。

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問60 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した
2. 職場で行った訓練に参加した
3. その他の訓練に参加した
4. 参加していない →問62へ
5. 訓練がなかった、またはあったかわからない →問62へ

問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

1. 避難訓練	2. 消火訓練
3. 救出・救助訓練	4. 応急手当訓練
5. 炊き出し訓練	6. 情報伝達訓練
7. 介護や支援を必要とする人の介助訓練	8. 避難所運営訓練
9. その他 (	)

問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○)

1. 近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	2. 訓練の実施をもっと広報する
3. 訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	4. 他のイベントと一緒にやる
5. 参加を義務化する	6. 参加賞（非常食）などを出す
7. その他 (	)

問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化
2. 地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化
3. 地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実
4. 実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い
5. 防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修
6. 小中学校の防災教育の充実
7. 近隣の事業所などとの連携促進
8. 地域ごとの備蓄の推進
9. 地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり
10. 普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進
11. その他 (

11. 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）について、おうかがいします。

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、調査を開始した場合や、調査結果から南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることとなっています。（平成29年11月1日運用開始）

問64 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。（ひとつだけ○）

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 知らない	

※「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表されます。

※実際の地震の発生を知らせる「緊急地震速報」とは異なります。

問65 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。

お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

- | |
|-----------------------|
| 1. 事前避難対象地域である |
| 2. 事前避難対象地域ではない →問67へ |
| 3. わからない →問67へ |

問66 問65で「1. 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。（ひとつだけ○）

1. 避難する	2. 避難しない

12. 県の施策について、おうかがいします。

問67 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

1. 住宅の耐震化の強化
2. 津波からの避難場所や避難路の整備
3. 体育館などの避難所の確保や運営体制の充実
4. 支援物資が避難所に確実に届く体制づくり
5. 人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化
6. 前方展開型による医療救護体制の推進※
7. 防災教育の強化
8. 高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり
9. 地震火災・津波火災対策の推進
10. 津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備
11. 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進
12. 自主防災組織など人のつながりの強化
13. 発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策
14. 住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策
15. その他 ()

※負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくり（地域ごとの医療救護計画の策定、医療支援チームが効果的に活動できるような受援態勢の整備など）を強化していくこと。

問68 県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。(自由記入)

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
この回答を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。